

鹿児島県民保健医療意識調査
調査報告書

令和5年3月

鹿児島県くらし保健福祉部

まえがき

この報告書は、県民の保健医療に対する関心や意向を把握することにより、鹿児島県保健医療計画の見直し及び県の保健医療行政の推進のための基礎資料を得ることを目的として、令和4年12月に実施した「鹿児島県民保健医療意識調査」の結果を取りまとめたものです。

本書が県民の保健医療向上のための基礎資料として広く御活用いただければ幸いと存じます。

なお、この調査の実施に当たって、終始御協力を賜りました鹿児島県保健医療計画策定委員会委員の皆様、調査に御協力いただきました県民の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

鹿児島県くらし保健福祉部長

房村 正博

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の設計	2
4. 回収結果	3
5. 回答者の属性	10
II. 調査結果の要約	12
1. 健康診断（問 1、2、3）	12
2. 保健衛生サービスへの希望（問 4）	12
3. 医療機関を選ぶ際に必要な情報（問 5）	13
4. 地域で不自由を感じている診療科目（問 6）	13
5. 歯科医療と歯科保健（問 7）	13
6. 定期的（月 1 回以上）に通院している医療機関（問 8、9）	14
7. 入院する際に受けた説明（問 10）	14
8. 退院する際に受けた説明（問 11）	14
9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局（問 12）	14
10. かかりつけ薬局の機能等（問 13）	15
11. 在宅医療（入院以外の医療）や介護（問 14）	15
12. 人生の最終段階における医療（問 15）	15
13. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度（問 16）	16
14. 救急医療（問 17、18）	16
15. 安心して医療を受けるために重要なこと（問 19）	16
16. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）（問 20）	17
17. 感染症対策に重要なこと（問 21）	17
18. 優先して充実すべき本県の医療体制（問 22）	17
19. QOL（生活の質）（問 23）	17
20. うつの可能性（問 24）	18
III. 調査結果の詳細	19
1. 健康診断	19
2. 保健衛生サービスへの希望	37
3. 医療機関を選ぶ際に必要な情報	41
4. 地域で不自由を感じている診療科目	48
5. 歯科医療と歯科保健	99
6. 定期的（月 1 回以上）に通院している医療機関	118
7. 入院する際に受けた説明	152
8. 退院する際に受けた説明	155
9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局	158
10. かかりつけ薬局の機能等	211
11. 在宅医療（入院以外の医療）や介護	219

12. 人生の最終段階における医療.....	285
13. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度.....	341
14. 救急医療.....	343
15. 安心して医療を受けるために重要なこと.....	364
16. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）.....	367
17. 感染症対策に重要なこと.....	373
18. 優先して充実すべき本県の医療体制.....	375
19. QOL（生活の質）.....	395
20. うつの可能性.....	464
IV. 自由意見の主なもの.....	505
1. 地域の医療提供体制に関すること.....	505
2. 救急医療に関すること.....	506
3. 離島の医療に関すること.....	506
4. 新型コロナウイルス感染症、感染症対策に関すること.....	507
5. 地域包括ケア体制の整備の充実に関すること.....	507
6. 医療従事者の確保及び資質の向上等に関すること.....	508
7. 医療情報の提供に関すること.....	508
8. 健康づくり・疾病予防に関すること.....	509
9. 公共交通の充実に関すること.....	510
10. 経済的負担の軽減に関すること.....	510
11. その他.....	510
V. 資料.....	512
1. 調査結果の数表.....	512
2. 調査票.....	545

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、県民の保健医療に対する関心や意向を把握し、長期的な保健医療施策の参考となる基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

1. 健康診断…………… (問1、問2、問3)
2. 保健衛生サービスへの希望…………… (問4)
3. 医療機関を選ぶ際に必要な情報…………… (問5)
4. 地域で不自由を感じている診療科目…………… (問6)
5. 歯科医療と歯科保健…………… (問7)
6. 定期的（月1回以上）に通院している医療機関…………… (問8、9)
7. 入院する際に受けた説明…………… (問10)
8. 退院する際に受けた説明…………… (問11)
9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局…………… (問12)
10. かかりつけ薬局の機能等…………… (問13)
11. 在宅医療（入院以外の医療）や介護…………… (問14)
12. 人生の最終段階における医療…………… (問15)
13. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度…………… (問16)
14. 救急医療…………… (問17、18)
15. 安心して医療を受けるために重要なこと…………… (問19)
16. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）…………… (問20)
17. 感染症対策に重要なこと…………… (問21)
18. 優先して充実すべき本県の医療体制…………… (問22)
19. QOL（生活の質）…………… (問23)
20. うつの可能性…………… (問24)

3. 調査の設計

(1) 調査地域

鹿児島県全域

(2) 調査対象

県内の満 20 歳以上の男女

(3) 標本数

5,000 件

(4) 抽出方法

離島・へき地のニーズも含め、圏域内の状況を詳細に把握するために、全市町村（薩摩川内市は「本土」、「甕島」に分ける）に 50 件ずつ配分した。残りの標本数については、各市町村の人口割合に応じて配分した。

なお、対象者は各市町村において無作為抽出している。

(5) 調査方法

郵送法

(6) 調査期間

令和 4 年 12 月 16 日（金）～令和 5 年 1 月 20 日（金）

4. 回収結果

(1) 有効回収数 : 2,184 件 (有効回収率 43.7%)

図表 I-1 回収結果【市町村別】

	標本数	有効回収数	有効回収率
鹿 児 島 市	1,094	486	44.4%
鹿 屋 市	224	94	42.0%
枕 崎 市	87	33	37.9%
阿 久 根 市	85	38	44.7%
出 水 市	141	60	42.6%
指 宿 市	120	52	43.3%
西 之 表 市	76	31	40.8%
垂 水 市	76	28	36.8%
薩 摩 川 内 市 (本 土)	203	83	40.9%
薩 摩 川 内 市 (甑 島)	58	23	39.7%
日 置 市	132	70	53.0%
曾 於 市	111	55	49.5%
霧 島 市	262	110	42.0%
い ち き 串 木 野 市	98	41	41.8%
南 さ つ ま 市	109	54	49.5%
志 布 志 市	102	31	30.4%
奄 美 市	123	44	35.8%
南 九 州 市	110	39	35.5%
伊 佐 市	95	39	41.1%
始 良 市	182	86	47.3%
三 島 村	51	23	45.1%
十 島 村	51	25	49.0%
さ つ ま 町	87	46	52.9%
長 島 町	67	24	35.8%
湧 水 町	67	49	73.1%
大 崎 町	72	27	37.5%
東 串 良 町	61	30	49.2%
錦 江 町	63	31	49.2%
南 大 隅 町	62	20	32.3%
肝 付 町	75	36	48.0%
中 種 子 町	64	29	45.3%
南 種 子 町	60	33	55.0%
屋 久 島 町	71	25	35.2%
大 和 村	52	24	46.2%
宇 検 村	53	31	58.5%
瀬 戸 内 町	65	20	30.8%
龍 郷 町	60	24	40.0%
喜 界 町	62	24	38.7%
徳 之 島 町	68	28	41.2%
天 城 町	60	19	31.7%
伊 仙 町	61	17	27.9%
和 泊 町	61	25	41.0%
知 名 町	60	26	43.3%
与 論 町	59	23	39.0%
居 住 地 無 回 答	—	28	—
県 全 体	5,000	2,184	43.7%

図表 I-2 回収結果【二次保健医療圏別】

二次保健医療圏	市町村	標本数	有効回収数	有効回収率
鹿児島保健医療圏	鹿児島市、日置市、いちき串木野市 三島村、十島村	1,426	645	45.2%
南薩保健医療圏	枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市	426	178	41.8%
川薩保健医療圏	薩摩川内市、さつま町	348	152	43.7%
出水保健医療圏	阿久根市、出水市、長島町	293	122	41.6%
始良・伊佐保健医療圏	伊佐市、霧島市、始良市、湧水町	606	284	46.9%
曾於保健医療圏	曾於市、志布志市、大崎町	285	113	39.6%
肝属保健医療圏	鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町 南大隅町、肝付町	561	239	42.6%
熊毛保健医療圏	西之表市、中種子町、南種子町 屋久島町	271	118	43.5%
奄美保健医療圏	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町 龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町 伊仙町、和泊町、知名町、与論町	784	305	38.9%
居住地無回答		—	28	—
県全体		5,000	2,184	43.7%

※有効回収数は2,184であるが、県全体及び二次保健医療圏別の分析を行う際には、居住地無回答の28を除く。

図表 I-3 回収結果【性・年齢別】

	男性		女性		無回答		総計	
	有効回収数	構成比	有効回収数	構成比	有効回収数	構成比	有効回収数	構成比
20歳代	50	5.3%	58	4.9%	0	0.0%	108	4.9%
30歳代	77	8.2%	107	9.0%	2	3.9%	186	8.5%
40歳代	124	13.1%	166	13.9%	1	2.0%	291	13.3%
50歳代	134	14.2%	193	16.2%	1	2.0%	328	15.0%
60～64歳	98	10.4%	124	10.4%	1	2.0%	223	10.2%
65～69歳	120	12.7%	125	10.5%	2	3.9%	247	11.3%
70～74歳	142	15.1%	146	12.3%	0	0.0%	288	13.2%
75歳以上	196	20.8%	269	22.6%	8	15.7%	473	21.7%
無回答	2	0.2%	2	0.2%	36	70.6%	40	1.8%
県全体	943	100.0%	1,190	100.0%	51	100.0%	2,184	100.0%

(2) 分析の方法

○各設問共通

① 県全体及び二次保健医療圏別の分析について

本調査においては、市町村別の母集団構成比と一部無関係に標本数を割り当てている。そのため、県全体及び二次保健医療圏別の分析を行う際には、各市町村の抽出率が均等になるよう係数を算出し加重集計を行った市町村ごとの規正標本数を、二次保健医療圏ごとに合算したデータを用いて分析を行っている。

なお、その場合の県全体の標本数は 2,156（有効回収数 2,184 から居住地無回答の 28 を除く）。

●各市町村の「加重係数」と「規正標本数」について

- ・各市町村の 20 歳以上人口、各市町村の有効回収数、県全体の 20 歳以上人口、県全体の有効回収数のデータを使用し、各市町村の抽出率を均等にするための係数（以下「加重係数」という。）を算出し、加重係数と各市町村の有効回収数を乗算し、規正標本数を算出している。（各市町村の加重係数及び規正標本数は P7 参照）

$$\text{加重係数} = \frac{\text{各市町村の 20 歳以上人口}}{\text{各市町村の有効回収数}} \times \frac{\text{県全体の有効回収数}}{\text{県全体の 20 歳以上人口}}$$

$$\text{規正標本数} = \text{加重係数} \times \text{有効回収数}$$

※加重係数は、乗算結果の小数点第 16 位までを使用している。

※規正標本数は、乗算結果の小数点第 2 位までを使用し、小数点以下を四捨五入して規正標本数を算出しているため、各標本数の合計と全体の標本数が一致しない場合がある。

●各二次保健医療圏の「規正標本数」の算出について

- ・二次保健医療圏を構成する各市町村の規正標本数を合算し、二次保健医療圏の規正標本数を算出している。（各二次保健医療圏の規正標本数は P8 参照）

② 上記①以外の分析について

各属性別（性別、年齢別、健康保険の種類別、同居状況別、独居高齢者別）の分析を行う際には、加重集計前のデータを用いて分析を行っている。その場合の県全体の標本数は 2,184。

○二次保健医療圏の個別分析及び離島別の分析を行う設問

下記に掲げる設問について二次保健医療圏の個別分析や離島別の分析を行う際には、地域ニーズをより詳細に把握するため、加重集計前のデータを用いて分析を行っている。

4. 地域で不自由を感じている診療科目…………… (問 6)
5. 歯科医療と歯科保健…………… (問 7)
6. 定期的 (月 1 回以上) に通院している医療機関…………… (問 8、9)
9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局
 - (1) かかりつけ医の有無…………… (問 12)
 - (2) かかりつけ歯科医の有無…………… (問 12)
 - (3) かかりつけ薬局の有無…………… (問 12)
11. 在宅医療 (入院以外の医療) や介護
 - (1) 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと…………… (問 14-1)
 - (2) 入院以外の医療や介護を受けたい場所…………… (問 14-2)
 - (3) 家族の介護が必要となったときの対応…………… (問 14-3)
12. 人生の最終段階における医療…………… (問 15)
 - (4) 自分の最期を迎えたい場所…………… (問 15-5)
 - (5) 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの…………… (問 15-6)
14. 救急医療 (地域救急医療に重要なこと) …… (問 18)
18. 優先して充実すべき本県の医療体制…………… (問 22)
19. QOL (生活の質) …… (問 23)
20. うつの可能性…………… (問 24)

図表 1-4 加重集計結果【市町村別】

	20歳以上人口	有効回収数	加重係数	規正標本数
鹿 児 島 市	489,619	486	1.6533896363062200	804
鹿 屋 市	81,644	94	1.4254422864700000	134
枕 崎 市	17,197	33	0.8552478068272410	28
阿 久 根 市	16,639	38	0.7186159344000480	27
出 水 市	42,683	60	1.1675000393291800	70
指 宿 市	33,049	52	1.0430573728630100	54
西 之 表 市	12,435	31	0.6583204005398400	20
垂 水 市	12,159	28	0.7126774951320620	20
薩摩川内市（本土）	71,868	83	1.4210543374229500	118
薩摩川内市（甌島）	3,610	23	0.2575921260971430	6
日 置 市	38,679	70	0.9068394714767020	64
曾 於 市	28,588	55	0.8530496354565510	47
霧 島 市	99,349	110	1.4822587839823200	163
い ち き 串 木 野 市	22,631	41	0.9058850775704510	37
南 さ つ ま 市	27,557	54	0.8375126861278170	45
志 布 志 市	24,285	31	1.2856703600410200	40
奄 美 市	34,176	44	1.2747404654646700	56
南 九 州 市	28,199	39	1.1866491112132000	46
伊 佐 市	20,938	39	0.8810971697784350	34
始 良 市	61,838	86	1.1800766074621200	102
三 島 村	304	23	0.0216919685134437	1
十 島 村	588	25	0.0386002871283963	1
さ つ ま 町	17,373	46	0.6198265937237780	29
長 島 町	7,999	24	0.5469878414470700	13
湧 水 町	7,968	49	0.2668741217540100	13
大 崎 町	10,564	27	0.6421224383099940	17
東 串 良 町	5,156	30	0.2820621888237120	9
錦 江 町	6,067	31	0.3211925910796310	10
南 大 隅 町	5,746	20	0.4715077590131070	9
肝 付 町	11,917	36	0.5432724179293030	20
中 種 子 町	6,351	29	0.3594159388230780	10
南 種 子 町	4,571	33	0.2273267270458410	8
屋 久 島 町	9,911	25	0.6506249077032930	16
大 和 村	1,180	24	0.0806907929625632	2
宇 検 村	1,395	31	0.0738525901691256	2
瀬 戸 内 町	7,284	20	0.5977136297687900	12
龍 郷 町	4,690	24	0.3207117110122210	8
喜 界 町	5,601	24	0.3830077384604380	9
徳 之 島 町	8,258	28	0.4840275314417770	14
天 城 町	4,536	19	0.3918074257393610	7
伊 仙 町	4,963	17	0.4791247124305500	8
和 泊 町	5,158	25	0.3386059200820890	9
知 名 町	4,778	26	0.3015963041265660	8
与 論 町	4,197	23	0.2994776047727730	7
県 全 体	1,313,698	2,156	—	2,156

※ 20歳以上の人口は、令和2年 国勢調査結果

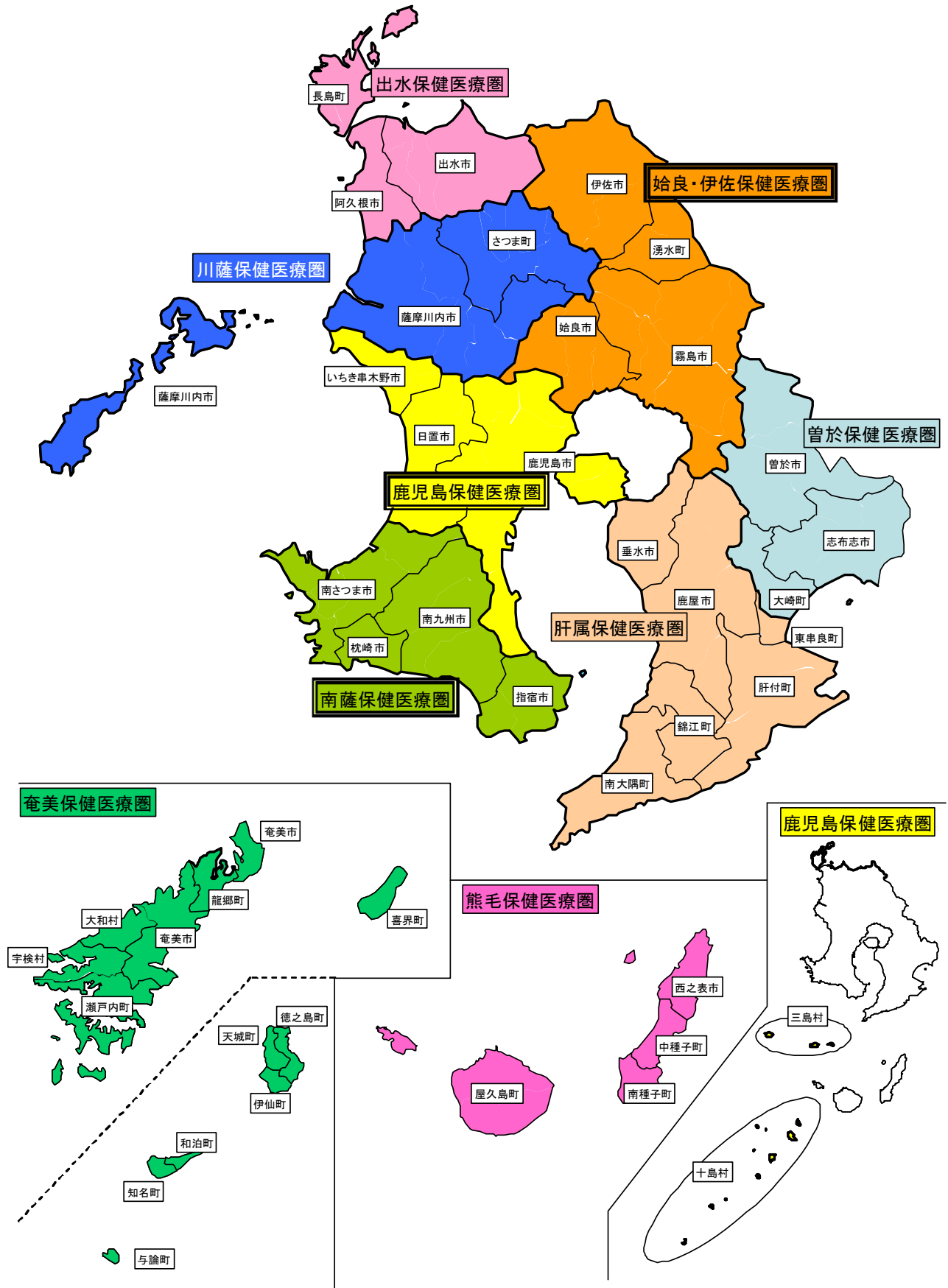
図表 I-5 加重集計結果【二次保健医療圏別】

二次保健医療圏	市町村	20歳以上人口	有効回収数	規正標本数
鹿児島保健医療圏	鹿児島市、日置市、いちき串木野市 三島村、十島村	551,821	645	906
南薩保健医療圏	枕崎市、指宿市、南さつま市 南九州市	106,002	178	174
川薩保健医療圏	薩摩川内市、さつま町	92,851	152	152
出水保健医療圏	阿久根市、出水市、長島町	67,321	122	111
始良・伊佐保健医療圏	伊佐市、霧島市、始良市、湧水町	190,093	284	312
曾於保健医療圏	曾於市、志布志市、大崎町	63,437	113	104
肝属保健医療圏	鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町 南大隅町、肝付町	122,689	239	202
熊毛保健医療圏	西之表市、中種子町、南種子町 屋久島町	33,268	118	55
奄美保健医療圏	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町 龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町 伊仙町、和泊町、知名町、与論町	86,216	305	142
県全体		1,313,698	2,156	2,156

(3) 結果の表示

- ① 結果は百分比（％）で表示し、表及びグラフは小数第2位を四捨五入しているため、個々の百分比の合計と全体を示す数値とは一致しない場合がある。
- ② 百分比は、全員に対する質問では回答者数を100％と表し、一部の該当者に対する質問では該当者数を100％と表している。
- ③ 複数回答を認めた設問では、個々の百分比の合計は100％を超える場合がある。
- ④ すべての設問について、県全体、二次保健医療圏及び各属性の状況を棒グラフで表示し、さらに「4(2)分析の方法」(P.6)に掲げる設問については二次保健医療圏及び離島別の状況を表示している。
- ⑤ 「III 調査結果の詳細」(P.19～)の標本数(N)は、性別、年齢別等の各項目の右横に括弧書きで表示している。また、各グラフに表示した数値は百分比（％）である。

図表 1-6 鹿児島県の二次保健医療圏

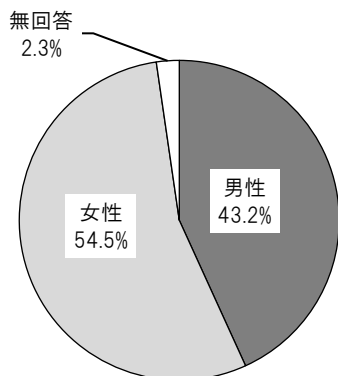


5. 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりである。

(1) 性別

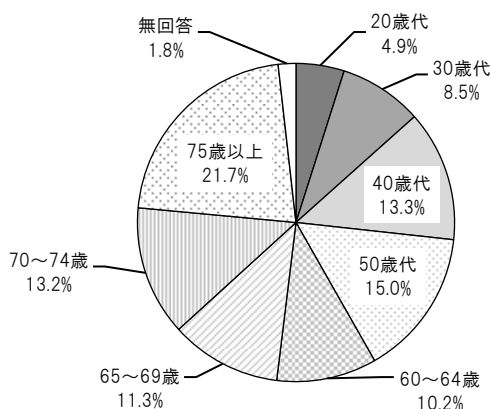
図表 I-7 性別



項目	回答数	構成比
男性	943	43.2%
女性	1,190	54.5%
無回答	51	2.3%
合計	2,184	100.0%

(2) 年齢

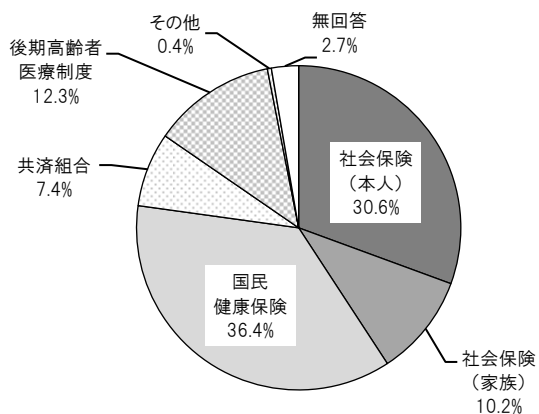
図表 I-8 年齢



項目	回答数	構成比
20歳代	108	4.9%
30歳代	186	8.5%
40歳代	291	13.3%
50歳代	328	15.0%
60～64歳	223	10.2%
65～69歳	247	11.3%
70～74歳	288	13.2%
75歳以上	473	21.7%
無回答	40	1.8%
合計	2,184	100.0%

(3) 健康保険の種類

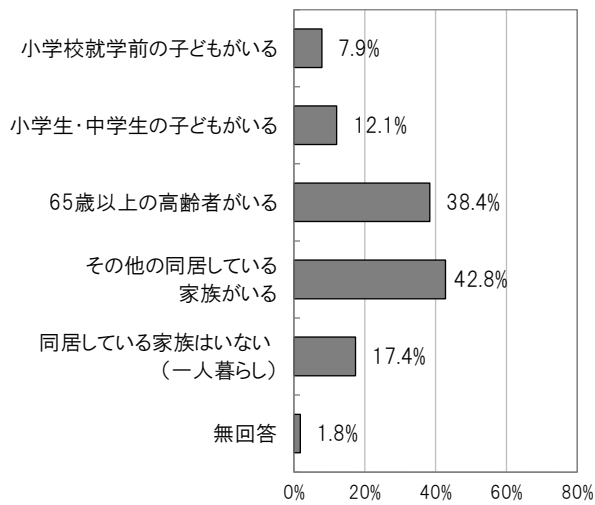
図表 I-9 健康保険の種類



項目	回答数	構成比
社会保険(本人)	668	30.6%
社会保険(家族)	223	10.2%
国民健康保険	795	36.4%
共済組合	161	7.4%
後期高齢者医療制度	269	12.3%
その他	9	0.4%
無回答	59	2.7%
合計	2,184	100.0%

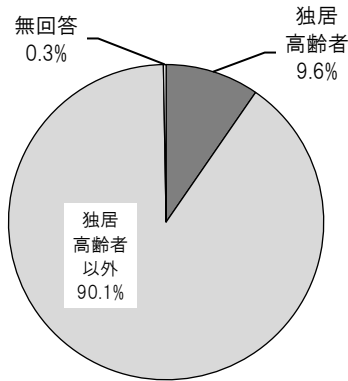
(4) 同居状況

図表 I-10 同居状況・複数回答



項目	回答数	構成比
小学校就学前の子どもがいる	172	7.9%
小学生・中学生の子どもがいる	264	12.1%
65歳以上の高齢者がいる	838	38.4%
その他の同居している家族がいる	934	42.8%
同居している家族はいない(一人暮らし)	381	17.4%
無回答	39	1.8%
標本数	2,184	100.0%

図表 I-11 独居高齢者

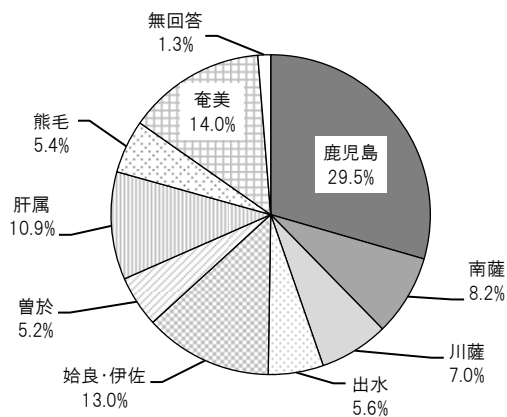


項目	回答数	構成比
独居高齢者	210	9.6%
独居高齢者以外	1,968	90.1%
無回答	6	0.3%
合計	2,184	100.0%

※ 「独居高齢者」 65歳以上の一人暮らし
 「独居高齢者以外」 上記以外
 「無回答」 年齢、同居状況がともに無回答

(5) 居住地域

図表 I-12 居住地域



項目	回答数	構成比
鹿児島	645	29.5%
南薩	178	8.2%
川薩	152	7.0%
出水	122	5.6%
始良・伊佐	284	13.0%
曾於	113	5.2%
肝属	239	10.9%
熊毛	118	5.4%
奄美	305	14.0%
無回答	28	1.3%
合計	2,184	100.0%

II. 調査結果の要約

1. 健康診断（問 1、2、3）（P19～36 参照）

最近 1 年間に健康診断を受診した人は 6 割台半ばとなっており、そのうち 4 割は生活習慣病などが原因とされる肥満等の指摘を受けなかった。一方、指摘を受けたのは「高血圧（血圧が高い）」（26.5%）が最も多かった。

- 最近 1 年間に健康診断（がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、免許取得や就職に伴う健康診断、病院や診療所で行う診療としての検査を除く）を受診したかどうかについて、「受けた」と回答したのは 65.2%となっている。
- 健康診断の受診者の中で、「上記（肥満、高血圧、糖尿病、血中の脂質、腎機能の低下や腎障害）の指摘は受けなかった」は 43.4%となっている。指摘された生活習慣病としては、「高血圧（血圧が高い）」（26.5%）、「血中の脂質（中性脂肪又は悪玉コレステロール値など）の以上」（23.8%）が高くなっている。
- 健康診断の受診者の中で、「（保健）指導を受けて実行している」は 19.0%で、「指導を受けていない」は 7 割を超えている。
- 健康診断の受診者の中で、最終的に医療機関の受診を「勧められていない」は 63.3%となっている。また、医療機関の受診を「勧められて医療機関に行った」は 26.1%となっている。
- 健康診断を受診しなかった理由としては「医師の診療を受けていたから」（39.8%）が最も高く、次いで「都合がつかなかったから」（31.6%）、「健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから」（13.4%）の順となっている。
- 健康診断を実施する場合に工夫してほしいことは、「セット検診（基本健診+がん検診等）の実施」（33.6%）が最も高く、次いで「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」（30.0%）、「何らかの理由で健診を受診できなかった方に対する再健診の実施」（26.4%）の順となっている。

2. 保健衛生サービスへの希望（問 4）（P37～40 参照）

高齢者への対応の希望や生活習慣病の対応が上位となっている。「新型インフルエンザその他の感染症、難病などについての講習会や相談」などで前回調査より増加傾向がみられた。

- 保健所や市町村が行う保健衛生サービスで、今後、力を注いでほしいことは、「寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」（38.8%）が最も高く、次いで「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」（33.1%）となっており、平成 28 年調査と比較すると「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」と「新型インフルエンザその他の感染症、難病などについての講習会や相談」で増加傾向がみられた。

3. 医療機関を選ぶ際に必要な情報（問5）（P41～47 参照）

診療日や所在地など医療機関の基本的な情報をもとに選ぶ人が多くみられる。インターネットからの情報取得は年齢による違いがみられるが、平成23年調査から増加傾向である。

- 医療機関を選ぶ際に必要な情報は、「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」（57.2%）が最も高く、次いで「病院・診療所の名称、電話番号、所在地」（35.7%）、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」（32.6%）の順となっている。また、75歳以上では「交通アクセスの方法（交通手段や地図、送迎など）」（27.5%）が他の年代に比べて高くなっている。
- 医療機関を選ぶ際の情報取得の手段は、「家族・友人などからの口コミ情報」（74.4%）が最も高く、次いで「かかりつけ医などからの紹介」（58.9%）、「インターネット」（46.1%）の順となっている。また、「インターネット」が平成28年調査より13.1ポイント、平成23年調査からは24.8ポイント増加しているが、高齢になるほど「かかりつけ医などからの紹介」は高く、「インターネット」は低くなる傾向がみられた。

4. 地域で不自由を感じている診療科目（問6）（P48～98 参照）

4割弱の人は不自由を感じていないものの、眼科では約2割の人が不自由を感じている。産婦人科（産科・婦人科）に不自由を感じている人は、30歳代では3割を超えている。二次保健医療圏別にみると、南薩保健医療圏では産婦人科（産科・婦人科）、出水保健医療圏では眼科、始良・伊佐保健医療圏では耳鼻いんこう科、熊毛保健医療圏では皮膚科が最も高くなっている。

- 地域で不自由を感じている診療科目について、「不自由を感じていないものはない」（36.2%）が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「眼科」（19.0%）が最も高く、次いで「皮膚科」（15.8%）、「耳鼻いんこう科」（14.5%）の順となっている。30歳代では「産婦人科（産科・婦人科）」は3割を超えている。二次保健医療圏別にみると「南薩保健医療圏」では「産婦人科（産科・婦人科）」、「出水保健医療圏」では「眼科」、「始良・伊佐保健医療圏」では「耳鼻いんこう科」、「熊毛保健医療圏」では「皮膚科」が最も高くなっている。

5. 歯科医療と歯科保健（問7）（P99～117 参照）

休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実を望むのが最も高い。

- 歯科医療や歯科保健に望むことは、「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」（55.5%）が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」（30.0%）、「歯の健康指導や予防サービスの充実」（27.3%）の順となっている。女性は男性より「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が8.7ポイント高くなっている。また、「小学生・中学生がいる」回答者では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が約6割となっている。

6. 定期的（月1回以上）に通院している医療機関（問8、9）（P118～151 参照）

定期的に通院している人の約7割が自家用車を使用しているが、75歳以上では家族の送迎が2割を超えている。

- 現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関が「ある」と回答したのは、57.0%となっている。
- 定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」（71.2%）が最も高く、次いで「家族の送迎」（10.7%）、「公共交通機関（バス、電車、船など）」（6.3%）の順となっている。二次保健医療圏別にみると「自家用車」は「鹿児島保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」を除くすべての保健医療圏で7割を超えており、年齢別にみると75歳以上では「家族の送迎」（21.9%）で他の年代より高くなっている。

7. 入院する際に受けた説明（問10）（P152～154 参照）

入院中の治療内容等の説明を受けたいとの回答が7割を超えている。

- 入院する際に受けた説明について、「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」（74.7%）が最も高く、次いで「入院治療に要する費用の見込み」（59.0%）、「入院に当たっての手術や準備」（43.0%）の順となっている。

8. 退院する際に受けた説明（問11）（P155～157 参照）

退院後の治療内容の説明を受けたいとの回答が6割を超えている。

- 退院する際に受けた説明について、「退院後の治療内容、治療方針、治療計画」（65.7%）が最も高く、次いで「退院後の病気の再発や急病時の対応について」（39.6%）、「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」（34.0%）の順となっている。

9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局（問12）（P158～210 参照）

かかりつけ医や歯科医は6割以上の人が決めており、特に出水保健医療圏ではいずれも7割を超えている。

- かかりつけ医を「決めている」と回答したのは65.8%で、「現在は決めていないが決めたいと思う」と回答したのは27.7%となっている。二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」では「決めている」が7割を超えている。
- かかりつけ歯科医を「決めている」と回答したのは64.7%で、「現在は決めていないが決めたいと思う」と回答したのは23.6%となっている。二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」において「決めている」が7割を超えている。
- かかりつけ薬局を「決めている」と回答したのは42.8%で、「現在は決めていないが決めたいと思う」と回答したのは30.7%となっている。二次保健医療圏別にみると、「決めている」は「南薩保健医療圏」では6割、「川薩保健医療圏」と「熊毛保健医療圏」では5割を超えている。

10. かかりつけ薬局の機能等（問 13）（P211～218 参照）

かかりつけ薬局の夜間・休日対応を知っているのは2割未満となっている。

- かかりつけ薬局の夜間・休日対応を知っていると回答したのは16.9%となっている。二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」と「出水保健医療圏」では2割を超えており、他の保健医療圏より高くなっている。
- かかりつけ薬局の服薬情報の一元的・継続的の把握を知っていると回答したのは68.8%となっている。二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」では80.9%となっているが、「奄美保健医療圏」では57.2%となっている。
- かかりつけ薬局の医療機関との連携を知っていると回答したのは51.3%となっている。二次保健医療圏別にみると、「奄美保健医療圏」では知らないとの回答が半数を超えている。
- かかりつけ薬剤師制度を知っていると回答したのは28.0%となっている。年齢別にみると、40歳代以上では、高齢になるほど知っているとの回答が高くなる傾向がみられる。

11. 在宅医療（入院以外の医療）や介護（問 14）（P219～284 参照）

自宅での医療や介護を希望する割合が前回調査より10.8ポイント増加しているが、自宅での医療や介護のためには病状の急変や介護する家族への負担に対応する体制が必要であるとの回答が約6割となっている。

- 自宅での医療や介護を受け入れるために必要なことは、「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（64.2%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなならない体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（57.2%）、「経済的負担が大きくなならない」（37.1%）の順となっている。
- 入院以外の医療や介護を受けたい場所は、「自宅」（45.3%）が最も高く、平成28年調査より10.8ポイント増加している。
- 家族の介護が必要となったときの対応は、「自宅で介護する」（30.5%）が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」（29.2%）、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」（21.7%）の順となっている。二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「曾於保健医療圏」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている一方、「鹿児島保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「姶良・伊佐保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「自宅で介護する」が最も高くなっている。

12. 人生の最終段階における医療（問 15）（P285～340 参照）

人生の最終段階における医療について3割以上の人になんらかの形で家族等と話し合っており、約8割が真の病状等を医師から説明を受けたいと思っている。最期を自宅で迎えたい人は4割を超えており、医師の往診や家族の理解、緊急時の受入医療機関などが必要となる。

- 人生の最終段階における医療について、「詳しく話し合っている」（3.4%）、「一応話し合っている」（32.0%）、「全く話し合っていない」（62.3%）となっている。

- 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいかについて、「受けたい」が80.2%、「受けたくない」が2.4%となっている。
- 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたくない、あるいはわからない理由として、「家族の判断に任せるだろうから」(26.3%)が最も高く、次いで「医師の判断に任せるだろうから」(26.1%)、「怖いから」(25.2%)の順となっている。
- 医療・療養を受けたい場所は、「自宅」(48.8%)が最も高く、次いで「医療機関」(36.3%)、「特養・老健等の介護保険施設」(7.6%)の順となっている。
- 自分の最期を迎えたい場所は、「自宅」(42.6%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟（終末期等における症状を和らげることを目的とした病棟）」(20.5%)、「医療機関」(10.8%)の順となっている。
- 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なのは、「医師の定期的な往診」(60.6%)が最も高く、次いで「家族の理解」(52.6%)、「緊急時の受入医療機関」(47.3%)の順となっている。

13. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度（問16）（P341～342参照）

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）は6割弱が知らないと回答している。

- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）については、「知らない」(58.7%)が最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」(32.9%)、「よく知っている」(6.5%)の順となっている。

14. 救急医療（問17、18）（P343～363参照）

小児救急電話相談窓口は約7割の人が知らないと回答している。夜間・休日の対応を求める声が多くなっている。

- 「小児救急電話相談窓口」の認知・利用については、「知らなかった」(69.4%)が最も高く、次いで「知っているが、まだ利用したことがない」(20.5%)となっている。
- 地域救急医療の充実のために重要なことは、「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(72.4%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(48.7%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(37.6%)の順となっている。

15. 安心して医療を受けるために重要なこと（問19）（P364～366参照）

安心して医療を受けるために十分な説明を受け、納得して治療を受けること（インフォームドコンセント）を7割以上の人が望んでおり、若い年代では治療から完治までの大まかな医療費の説明を望んでいる。

- 安心して医療を受けるために重要なことは、「十分な説明を受け、納得して治療を受けること（インフォームドコンセント）」(74.7%)が最も高く、次いで「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」(43.0%)、「診断や治療方針について主治医以外の医師の意見も聞くこと（セカンドオピニオン）」(40.6%)の順となっている。また、年代が低いほど「治療から完治までの大まかな医療費についてあらかじめ説明を受けること」が高くなっている。

16. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）（問 20）（P367～372 参照）

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方は近年増えてきている。若い年代では費用を抑えるために自分から希望する声もあるが、高齢者では医師の薦めを希望している。

- これまでの後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方については、「病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」（31.3%）が最も高く、『処方してもらった』（「自分から依頼して処方してもらった」＋「病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」＋「薬局で説明を受け後発医薬品を選択した」）は平成 23 年調査から 48.1 ポイント増加している。
- 今後の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方の希望については、「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」（42.7%）が最も高く、次いで「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」（41.6%）、「わからない」（5.9%）の順となっている。年齢別にみると、20 歳代から 60～64 歳までと 70～74 歳では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」、65～69 歳、75 歳以上では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」が最も高くなっている。

17. 感染症対策に重要なこと（問 21）（P373～374 参照）

感染症防止に対する正しい知識の普及が求められている。

- 感染症対策に重要なことは、「感染症防止に対する正しい知識の普及啓発」（68.5%）が最も高く、次いで「医療機関・薬局等における PCR 検査等病原体検査の体制整備」（47.0%）、「万一の際の相談窓口の設置」（45.7%）の順となっている。

18. 優先して充実すべき本県の医療体制（問 22）（P375～394 参照）

地域における救急医療体制の充実等が求められている。

- 優先して充実すべき本県の医療体制は、「地域における救急医療体制の充実」（24.6%）が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（24.4%）、「近所のかかりつけ医の充実」（16.7%）の順となっている。

19. QOL（生活の質）（問 23）（P395～463 参照）

『満足している』が 5 割を超えているのは人間関係のみとなっている。睡眠、性生活、医療、交通などで 3 割未満と満足度は低くなっている。

- 自分の健康状態について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」）は 43.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」）は 18.2%となっている。
- 睡眠について、『満足している』は 47.5%、『不満である』は 21.9%となっている。
- 毎日の活動をやり遂げる能力について、『満足している』は 47.6%、『不満である』は 14.8%となっている。
- 自分の仕事をする能力について、『満足している』は 46.1%、『不満である』は 15.0%となっている。
- 自分自身について、『満足している』は 42.9%、『不満である』は 16.6%となっている。

- 人間関係について、『満足している』は52.4%、『不満である』は10.0%となっている。
- 性生活について、『満足している』は17.1%、『不満である』は10.0%となっている。
- 友人との交わりについて、『満足している』は51.5%、『不満である』は6.0%となっている。
- 必要なものが買えるだけのお金を持っているかについて、『満足している』は42.1%、『不満である』は21.1%となっている。
- 医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさについて、『満足している』は28.3%、『不満である』は14.4%となっている。
- 周辺の交通の便について、『満足している』は30.1%、『不満である』は33.7%となっている。

20. うつの可能性（問 24）（P464～504 参照）

約6割の人にうつの可能性がみられる。

- アンケート調査（問 24）で最近の様子に関する質問を行い、「うつの可能性」の判定を行った結果、「うつの可能性がある」は59.4%（加重集計後）となっている。

判定方法 下記のいずれかが該当した場合、「うつの可能性がある」と判定（分類Cは使用しない）

- ・分類Aの質問で、網掛け部分に○が2個以上ある
- ・分類Bの質問で、網掛け部分に○が1個以上ある

	はい	いいえ	分類
毎日の生活が充実していますか			A
これまで楽しんでやれていたことが、今も楽しんでできていますか			
以前は楽に出来ていたことが、今ではおっくうに感じられますか			
自分は役に立つ人間だと考えることが出来ますか			
わけもなく疲れたような感じがしますか			B
死について何度も考えることがありますか			
気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか			C
最近ひどく困ったことや、つらいと思ったことがありますか			

※ 厚生科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業

「うつ状態のスクリーニングとその転機としての自殺の予防システム構築に関する研究」

III. 調査結果の詳細

1. 健康診断

(1) 最近1年間の健康診断の受診

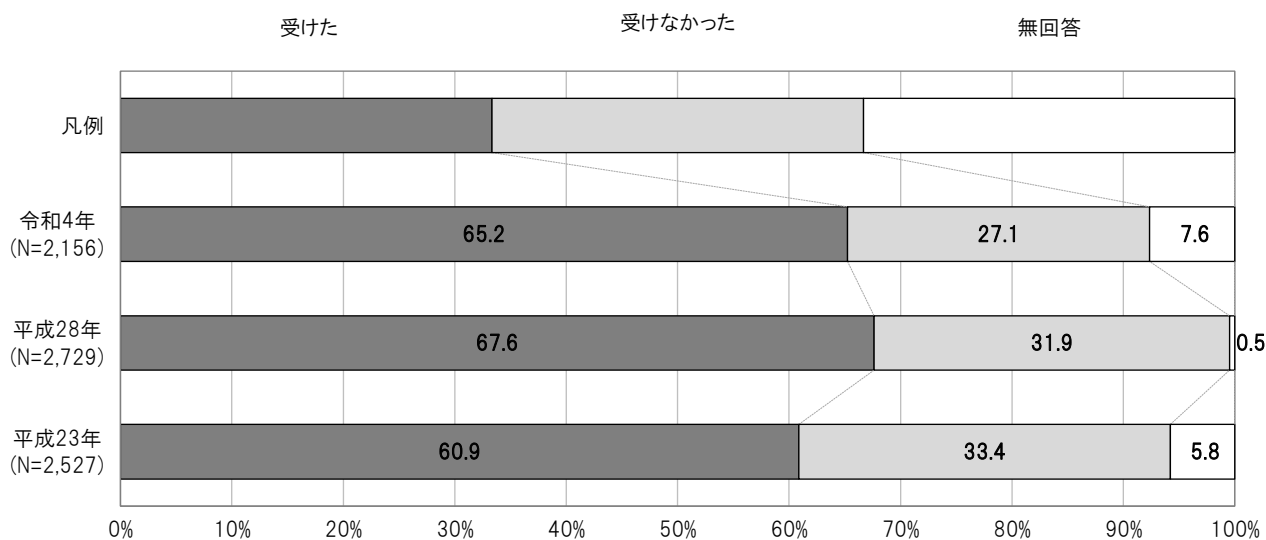
問1 この1年間に健康診断を受けましたか。(○は1つ)

※ がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、免許取得や就職に伴う健康診断、病院や診療所で行う診療としての検査は除きます。

最近1年間の健康診断の受診について、全体では「はい(受けた)」は65.2%、「いいえ(受けていない)」は27.1%となっている。

調査年別にみると、健康診断を「はい(受けた)」は、平成23年調査から4.3ポイント増加している。

図表 III-1 最近1年間の健康診断の受診【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「はい（受けた）」は「南薩保健医療圏」は7割を超えているが、「曾於保健医療圏」は6割を下回っている。

性別にみると、「はい（受けた）」は「男性」（71.5%）が「女性」（63.9%）より7.6ポイント高くなっている。

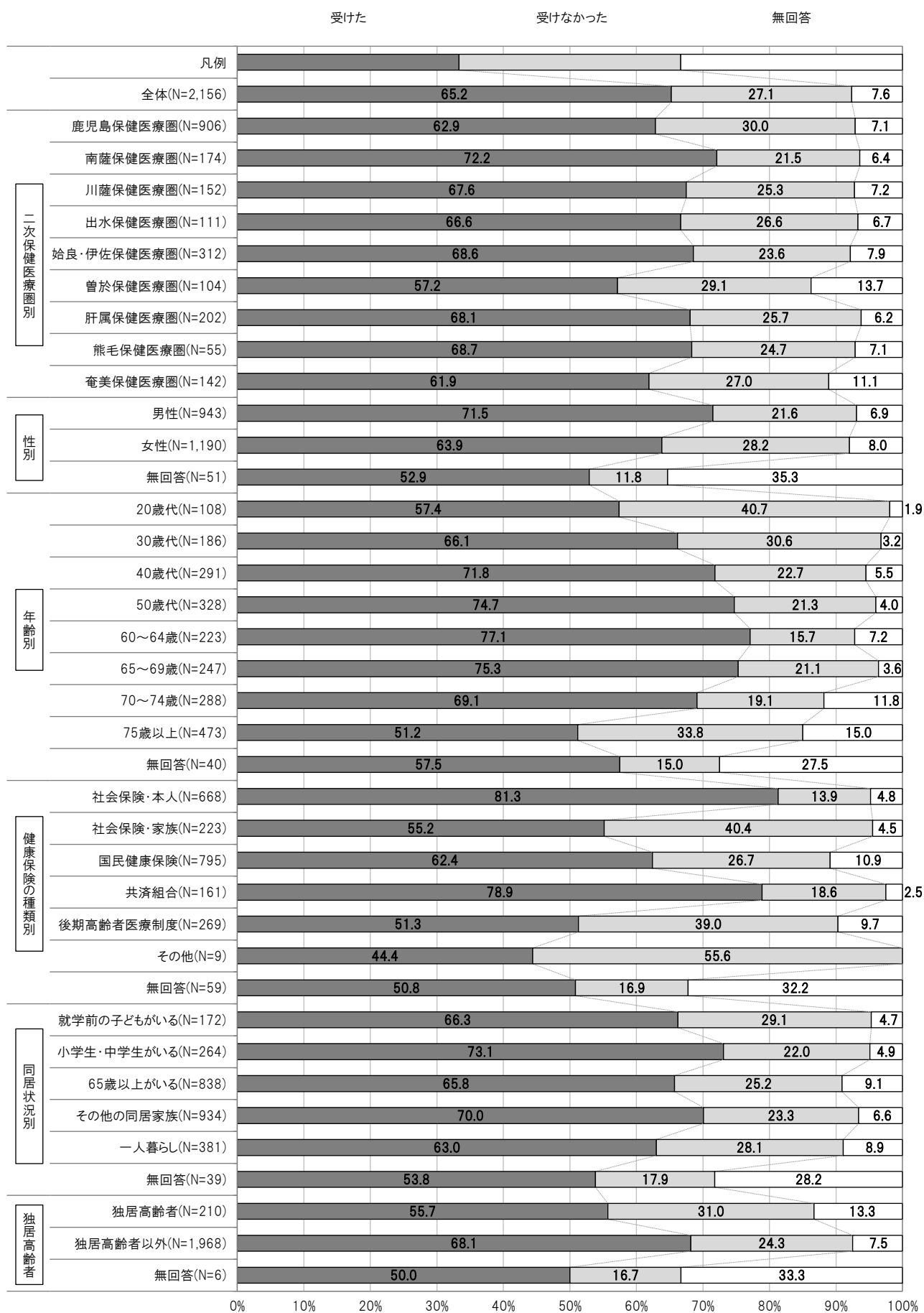
年齢別にみると、「はい（受けた）」は40～60歳代は7割を超えているが、75歳以上では約5割となっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「共済組合」では「はい（受けた）」が約8割となっているが、「後期高齢者医療制度」では約5割となっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「はい（受けた）」は7割を超えているが、「一人暮らし」（63.0%）は同居家族がいる人に比べ、やや低くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい（受けた）」（55.7%）が「独居高齢者以外」より12.4ポイント低くなっている。

図表 III-2 最近1年間の健康診断の受診【属性別】



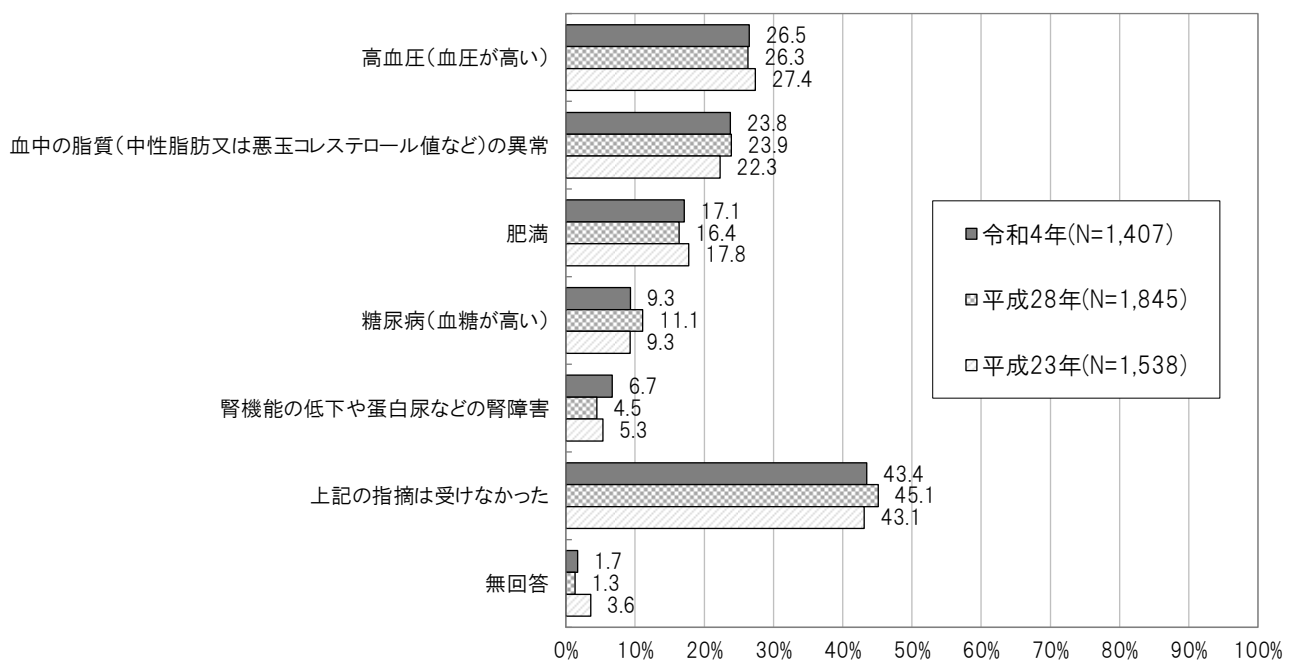
(2) 指摘された生活習慣病

問 2-1 問 1 で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。
健康診断で、生活習慣などが原因とされる次の指摘を受けましたか。(○はいくつでも)

健康診断の受診者の中で、「上記の指摘は受けなかった」は 43.4% となっている。指摘された生活習慣病については、全体では「高血圧（血圧が高い）」(26.5%) が最も高く、次いで、「血中の脂質（中性脂肪又は悪玉コレステロール値など）の異常」(23.8%)、「肥満」(17.1%) の順となっている。

調査年別にみると、平成 28 年調査と比較して「糖尿病（血糖が高い）」と「上記の指摘は受けなかった」では減少傾向がみられた。

図表 III-3 指摘された生活習慣病・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、指摘された生活習慣病は、「奄美保健医療圏」では「肥満」、「出水保健医療圏」では「高血圧」が他の保健医療圏と比べて高く、一方、「南薩保健医療圏」と「川薩保健医療圏」では他の保健医療圏と比べて「肥満」が低くなっている。

性別にみると、女性は「上記の指摘は受けなかった」（48.6%）が男性より14.9ポイント高くなっている。また、指摘された生活習慣病は、男性は「肥満」と「糖尿病（血糖が高い）」が女性より6.5ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「上記の指摘は受けなかった」が減少傾向となっている。また、指摘された生活習慣病は、「血中の脂質（中性脂肪又は悪玉コレステロール値など）の異常」が50歳代（32.7%）をピークに低下しているのに対し、「高血圧（血圧が高い）」は高齢になるほど高くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では他の健康保険に比べ、「上記の指摘は受けなかった」（31.0%）が低くなっている。指摘された生活習慣病は「共済組合」では「肥満」（26.8%）が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では、他の同居状況と比べ「上記の指摘は受けなかった」（32.7%）は低くなっている。指摘された生活習慣病は「就学前の子どもがいる」では「肥満」（20.2%）、「小学生・中学生がいる」では「血中の脂質（中性脂肪又は悪玉コレステロール値など）の異常」（19.2%）が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高血圧（血圧が高い）」（41.9%）が「独居高齢者以外」より13.8ポイント高くなっている。

図表 III-4 指摘された生活習慣病・複数回答【属性別】

	肥満	高血圧 (血圧が高い)	糖尿病 (血糖が高い)	血中の脂質(中性脂肪又は悪玉コレステロール値など)の異常	腎機能の低下や蛋白尿などの腎障害	上記の指摘は受けなかった	無回答
全体(N=1,407)	17.1	26.5	9.3	23.8	6.7	43.4	1.7
二次保健医療圏別							
鹿児島保健医療圏(N=569)	20.1	26.9	9.0	25.5	7.6	43.7	0.6
南薩保健医療圏(N=126)	8.4	30.9	8.7	18.6	7.6	42.2	1.9
川薩保健医療圏(N=103)	10.7	21.3	16.0	22.4	8.1	47.1	1.9
出水保健医療圏(N=74)	17.9	35.2	13.5	26.0	9.5	35.5	2.6
始良・伊佐保健医療圏(N=214)	14.6	22.3	9.9	21.9	5.4	47.5	3.1
曾於保健医療圏(N=60)	19.0	28.1	8.7	23.2	2.9	39.5	2.5
肝属保健医療圏(N=137)	14.1	24.1	6.0	22.7	4.7	43.5	3.1
熊本保健医療圏(N=38)	17.9	28.8	5.1	26.7	11.2	41.6	2.9
奄美保健医療圏(N=88)	25.8	28.9	7.4	24.8	2.7	39.2	1.1
性別							
男性(N=674)	21.1	35.0	13.8	25.2	6.7	33.7	1.2
女性(N=760)	14.6	23.9	6.7	23.6	5.8	48.6	2.0
無回答(N=27)	7.4	33.3	3.7	29.6	3.7	25.9	11.1
年齢別							
20歳代(N=62)	12.9	3.2	0.0	9.7	6.5	67.7	1.6
30歳代(N=123)	17.1	5.7	0.8	10.6	4.9	70.7	0.0
40歳代(N=209)	18.7	13.4	4.8	21.5	1.9	58.4	1.4
50歳代(N=245)	19.6	20.8	9.8	32.7	5.7	40.8	0.8
60～64歳(N=172)	18.6	32.6	9.3	28.5	5.2	37.8	1.7
65～69歳(N=186)	18.8	34.4	16.7	29.6	5.4	33.9	1.1
70～74歳(N=199)	18.1	45.2	14.1	26.6	7.5	26.1	3.5
75歳以上(N=242)	14.5	49.2	14.0	19.8	10.7	27.7	2.9
無回答(N=23)	4.3	43.5	4.3	34.8	8.7	21.7	4.3
健康保険の種類別							
社会保険(本人)(N=543)	17.3	20.8	6.1	21.4	4.2	51.0	1.1
社会保険(家族)(N=123)	13.8	22.0	4.9	26.8	3.3	48.0	4.1
国民健康保険(N=496)	16.3	36.9	13.5	28.2	8.3	31.0	2.2
共済組合(N=127)	26.8	22.0	9.4	23.6	5.5	49.6	0.0
後期高齢者医療制度(N=138)	17.4	42.8	15.9	16.7	8.0	32.6	2.2
その他(N=4)	50.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
無回答(N=30)	10.0	46.7	13.3	43.3	10.0	16.7	3.3
同居状況別							
就学前の子どもがいる(N=114)	20.2	10.5	1.8	14.9	4.4	61.4	0.0
小学生・中学生がいる(N=193)	14.5	12.4	3.1	19.2	3.1	64.2	1.6
65歳以上がいる(N=551)	17.4	36.3	13.1	24.9	6.7	32.7	2.7
その他の同居家族(N=654)	19.7	26.1	8.9	24.3	6.3	44.0	1.2
一人暮らし(N=240)	15.4	30.4	11.3	27.1	6.7	41.7	1.3
無回答(N=21)	14.3	57.1	9.5	19.0	19.0	23.8	4.8
高齢者別							
独居高齢者(N=117)	14.5	41.9	14.5	30.8	8.5	28.2	2.6
独居高齢者以外(N=1,341)	17.7	28.1	9.5	23.9	6.0	42.4	1.7
無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

(単位:%)

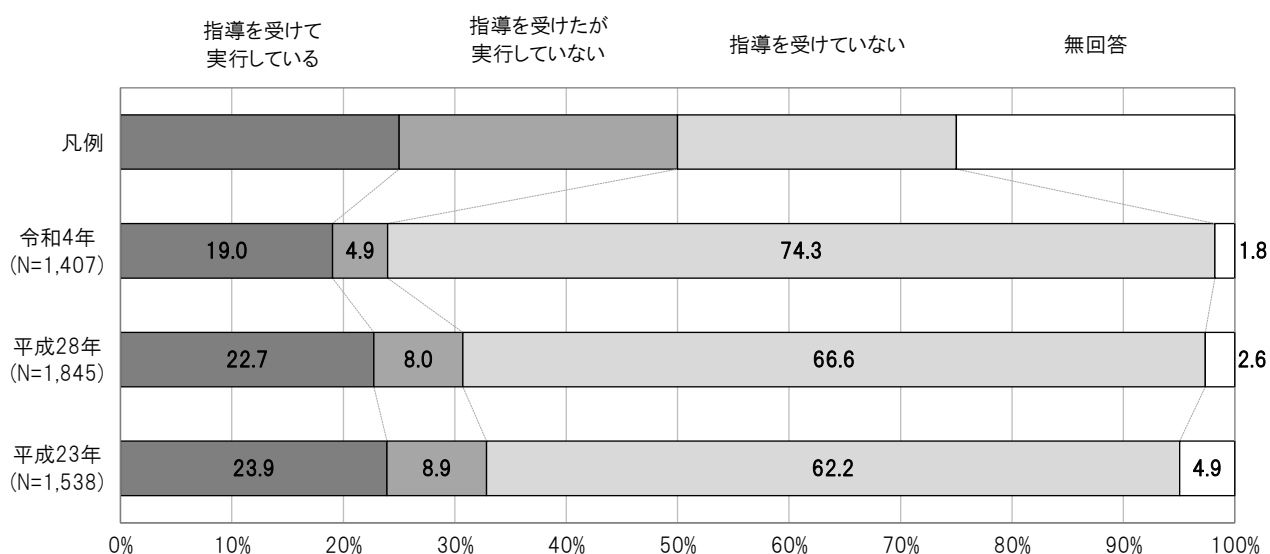
(3) 保健指導（食事や生活習慣の改善指導）

問 2-2	問 1 で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。 健康診断で、保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。また、指導された内容を実行していますか。（○は1つ）
-------	---

保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）について、全体では「指導を受けて実行している」が 19.0% である一方、「指導を受けたが実行していない」が 4.9%、「指導を受けていない」が 74.3% となっている。

調査年別にみると、平成 23 年調査より継続して「指導を受けて実行している」は減少、「指導を受けていない」は増加傾向がみられた。

図表 III-5 保健指導（食事や生活習慣の改善指導）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「指導を受けて実行している」は「南薩保健医療圏」では22.5%と他の保健医療圏と比べて高くなっている。

性別にみると、男性は「指導を受けて実行している」(23.0%)で女性より4.8ポイント高くなっている。また、女性は「指導を受けていない」が74.9%となっている。

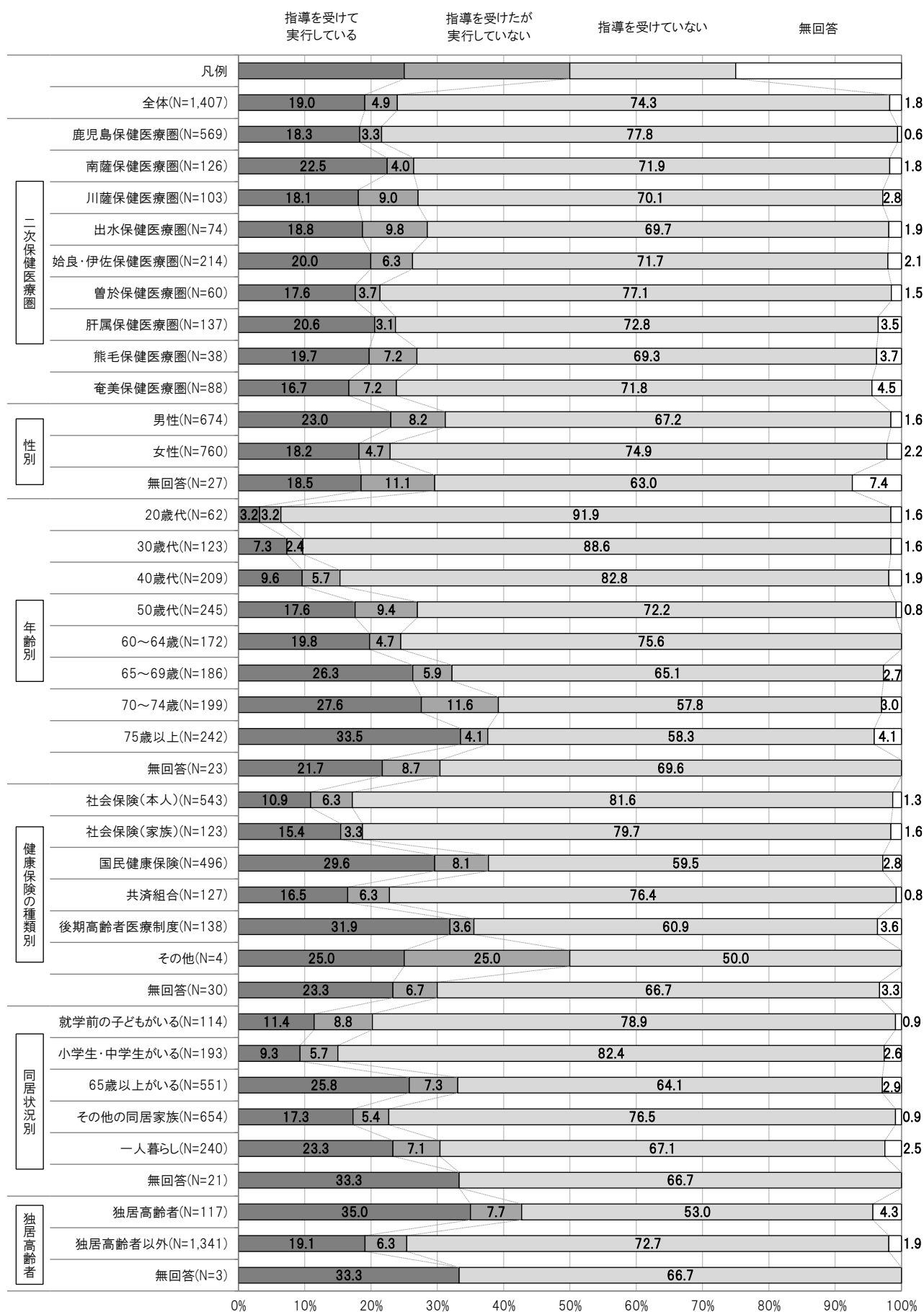
年齢別にみると、「指導を受けて実行している」は高齢になるほど高くなる傾向がみられ、75歳以上では3割を超えている。一方、「指導を受けていない」は若年になるほど高くなる傾向がみられ、40歳代以下では8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「指導を受けて実行している」が他の健康保険と比べて高くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「指導を受けて実行している」(25.8%)が他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「指導を受けて実行している」(35.0%)が「独居高齢者以外」より15.9ポイント高くなっている。

図表 III-6 保健指導（食事や生活習慣の改善指導）【属性別】



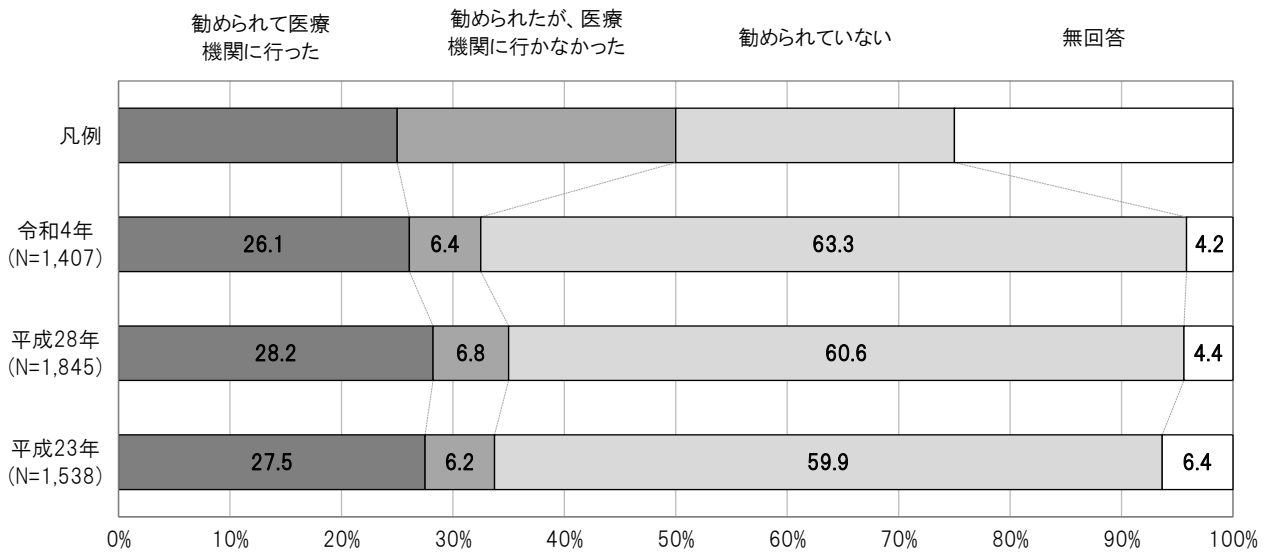
(4) 医療機関への受診の勧め

問 2-3 問 1 で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。
最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。また、勧められた方は、その後、医療機関に行きましたか。(○は1つ)

医療機関への受診の勧めについて、全体では「勧められて医療機関に行った」(26.1%)、「勧められていない」(63.3%)、「勧められたが、医療機関に行かなかった」(6.4%)となっている。

調査年別にみると、平成 23 年調査より継続して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-7 医療機関への受診の勧め【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」では「勧められて医療機関に行った」が他の保健医療圏と比べて高くなっている。

性別にみると、男性は「勧められて医療機関に行った」と「勧められたが、医療機関に行かなかった」が女性より高い傾向がみられた。

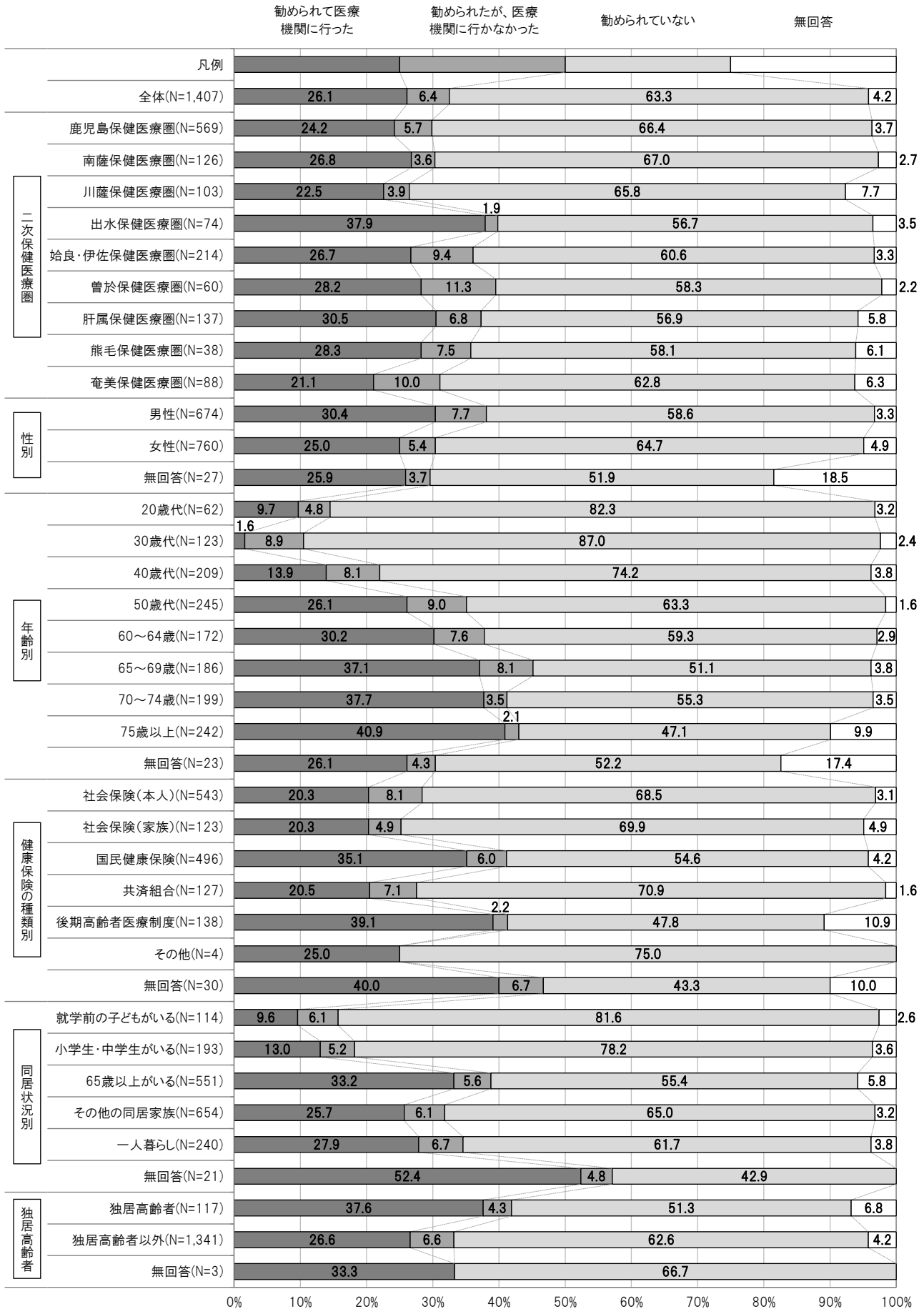
年齢別にみると、高齢になるほど「勧められて医療機関に行った」が高くなる傾向がみられた。一方、「勧められていない」は20歳代と30歳代では8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「勧められて医療機関に行った」が3割を超えており、他の健康保険と比べて高くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「勧められて医療機関に行った」が3割を超えており、他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「勧められて医療機関に行った」(37.6%)が「独居高齢者以外」より11.0ポイント高くなっている。

図表 III-8 医療機関への受診の勧め【属性別】



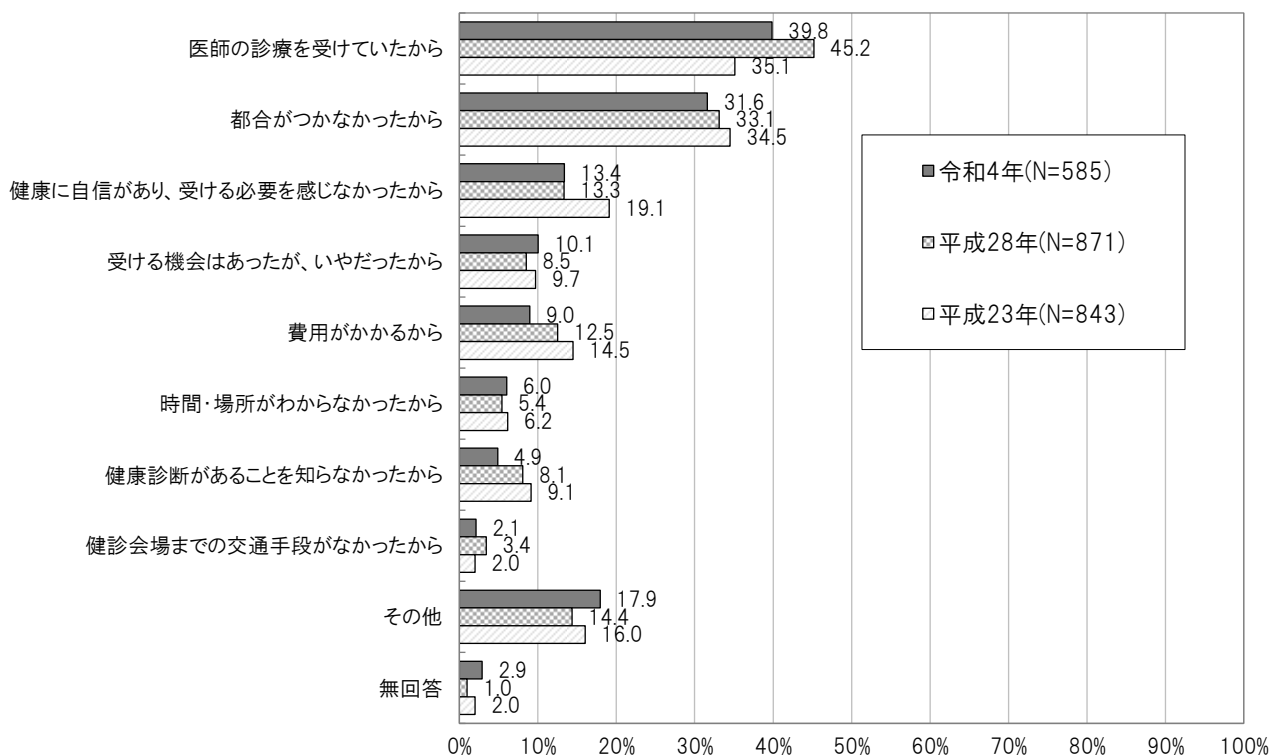
(5) 健康診断を受診しなかった理由

問 3-1 問 1 で「2. 受けなかった」と回答された方にお尋ねします。
健康診断を受けなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

健康診断を受診しなかった理由について、全体では「医師の診療を受けていたから」(39.8%)が最も高く、次いで「都合がつかなかったから」(31.6%)、「健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから」(13.4%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「医師の診療を受けていたから」は5.4ポイント、「費用がかかるから」は3.5ポイント減少している。

図表 III-9 健康診断を受診しなかった理由・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「熊毛保健医療圏」と「奄美保健医療圏」を除く保健医療圏においては、「医師の診療を受けていたから」が最も高く、中でも「南薩保健医療圏」では約6割となっている。一方、「熊毛保健医療圏」と「奄美保健医療圏」では「都合がつかなかったから」が最も高く、特に「熊毛保健医療圏」では5割を超えている。

性別にみると、男性は「健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから」（18.6%）が女性より9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「医師の診療を受けていたから」は高くなり、「健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから」、「費用がかかるから」は低くなる傾向がみられた。また、20～64歳では「都合がつかなかったから」が最も高く、特に20歳代、40歳代、50歳代では5割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」、「社会保険（家族）」、「共済組合」では「都合がつかなかったから」が最も高くなっている。「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「医師の診療を受けていたから」が最も高くなっており、特に「後期高齢者医療制度」では7割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「医師の診療を受けていたから」が最も高く約5割となっている。一方、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「都合がつかなかったから」が最も高く約5割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医師の診療を受けていたから」が最も高く、6割を超えている。

図表 III-10 健康診断を受診しなかった理由・複数回答【属性別】

	健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから	健康診断があることを知らなかったから	時間・場所がわからなかったから	都合がつかなかったから	健診会場までの交通手段がなかったから	受ける機会があったが、いやだったから	費用がかかるから	医師の診療を受けていたから	その他	無回答	
全体(N=585)	13.4	4.9	6.0	31.6	2.1	10.1	9.0	39.8	17.9	2.9	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=272)	16.8	3.6	6.7	26.6	2.4	8.8	11.0	36.2	23.6	1.0
	南薩保健医療圏(N=37)	8.0	2.7	0.0	28.6	2.7	5.1	4.8	59.6	15.8	7.2
	川薩保健医療圏(N=39)	4.9	7.3	11.9	33.7	1.6	1.6	7.3	37.3	15.0	9.6
	出水保健医療圏(N=29)	16.0	4.1	4.1	38.1	2.4	5.8	9.5	52.4	10.2	0.0
	始良・伊佐保健医療圏(N=74)	6.4	3.7	6.8	35.1	0.0	10.7	6.9	38.0	9.8	3.7
	曾於保健医療圏(N=30)	9.2	8.6	4.3	32.0	0.0	17.2	9.2	52.1	11.9	3.0
	肝属保健医療圏(N=52)	13.7	5.6	8.3	35.3	2.7	18.7	11.6	38.8	15.3	7.9
	奄美保健医療圏(N=38)	17.8	11.5	1.6	41.6	1.6	16.5	1.6	37.7	16.0	1.3
性別	男性(N=204)	18.6	4.4	2.5	36.8	2.5	9.3	7.4	42.2	11.8	3.9
	女性(N=335)	9.0	5.7	6.3	33.4	1.8	10.4	8.1	40.0	19.1	2.4
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7
年齢別	20歳代(N=44)	34.1	15.9	11.4	50.0	0.0	2.3	15.9	9.1	11.4	2.3
	30歳代(N=57)	12.3	10.5	17.5	47.4	1.8	3.5	26.3	7.0	22.8	0.0
	40歳代(N=66)	13.6	3.0	3.0	54.5	1.5	13.6	13.6	10.6	19.7	1.5
	50歳代(N=70)	8.6	2.9	4.3	52.9	1.4	12.9	2.9	22.9	22.9	1.4
	60～64歳(N=35)	5.7	0.0	2.9	34.3	2.9	11.4	5.7	31.4	14.3	5.7
	65～69歳(N=52)	11.5	7.7	3.8	34.6	1.9	19.2	1.9	46.2	17.3	5.8
	70～74歳(N=55)	3.6	1.8	0.0	14.5	1.8	16.4	1.8	72.7	14.5	1.8
	75歳以上(N=160)	13.1	3.8	1.9	16.9	3.1	5.6	2.5	71.3	11.9	4.4
無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	66.7	16.7	16.7	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=93)	11.8	3.2	5.4	48.4	0.0	4.3	9.7	24.7	20.4	0.0
	社会保険(家族)(N=90)	8.9	11.1	11.1	47.8	1.1	7.8	17.8	21.1	15.6	1.1
	国民健康保険(N=212)	13.2	3.8	2.4	34.0	2.8	16.0	3.8	43.9	14.2	3.3
	共済組合(N=30)	23.3	13.3	13.3	33.3	0.0	6.7	16.7	16.7	26.7	3.3
	後期高齢者医療制度(N=105)	11.4	2.9	1.9	16.2	3.8	4.8	2.9	72.4	14.3	5.7
	その他(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0
	無回答(N=10)	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	60.0	10.0	10.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=50)	12.0	4.0	10.0	48.0	0.0	4.0	24.0	8.0	26.0	2.0
	小学生・中学生がいる(N=58)	12.1	5.2	3.4	53.4	0.0	6.9	19.0	15.5	19.0	1.7
	65歳以上がいる(N=211)	10.9	5.2	4.3	26.1	2.4	12.3	6.2	53.6	13.3	4.3
	その他の同居家族(N=218)	12.4	4.1	4.6	44.0	0.9	11.0	6.0	32.6	15.6	1.8
	一人暮らし(N=107)	16.8	5.6	3.7	26.2	5.6	7.5	3.7	47.7	20.6	2.8
	無回答(N=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3
高齢者別	独居高齢者(N=65)	13.8	4.6	3.1	18.5	4.6	9.2	1.5	63.1	15.4	1.5
	独居高齢者以外(N=479)	12.3	5.2	5.0	36.5	1.9	10.0	8.6	38.2	16.3	3.3
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(単位:%)

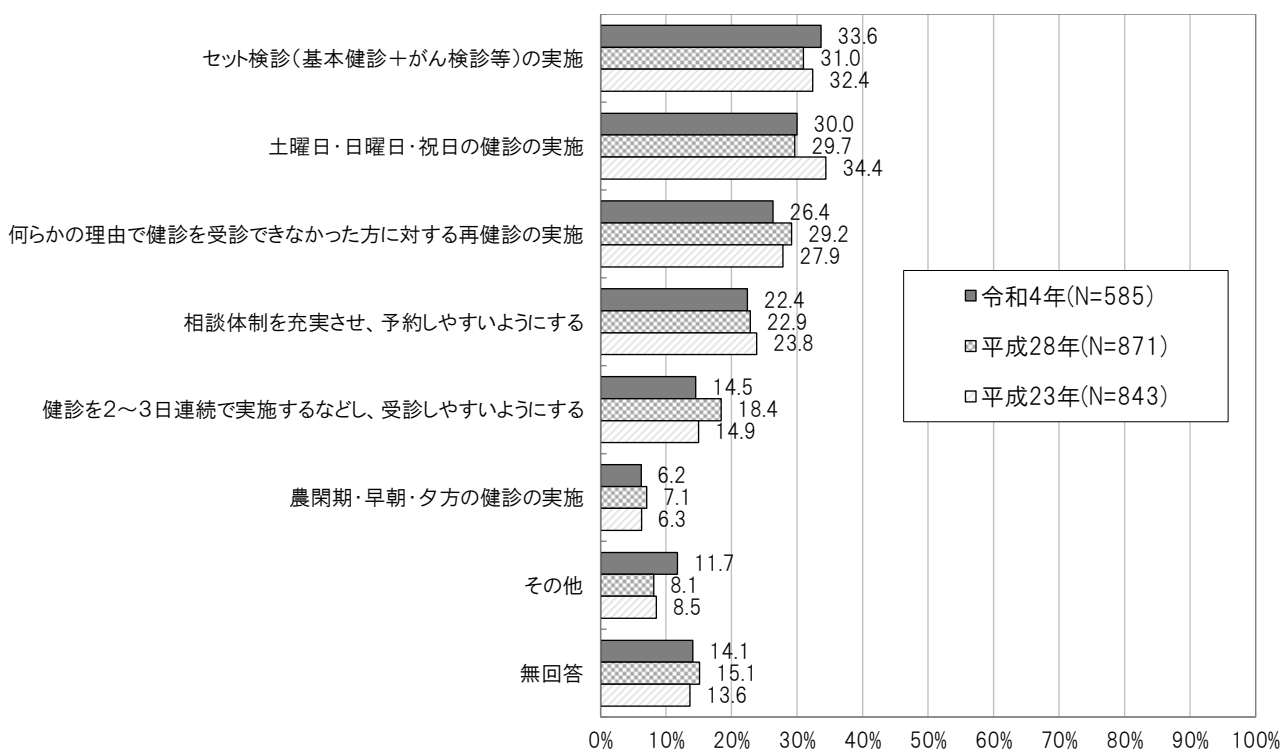
(6) 健康診断を実施する場合の工夫

問 3-2 問 1 で「2. 受けなかった」と回答された方にお尋ねします。
健康診断を実施する場合、工夫してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

健康診断を実施する場合の工夫について、全体では「セット検診（基本健診+がん検診等）の実施」（33.6%）が最も高く、次いで「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」（30.0%）、「何らかの理由で健診を受診できなかった方に対する再健診の実施」（26.4%）の順となっている。

調査年別にみると、平成 28 年調査と比較して「セット検診（基本健診+がん検診等）の実施」は増加傾向がみられた。一方、平成 23 年調査より継続して「相談体制を充実させ、予約しやすいようにする」は減少傾向がみられた。

図表 III-11 健康診断を実施する場合の工夫・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」では「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」が最も高く4割を超えている。また、「肝属保健医療圏」では「健診を2～3日連続で実施するなどし、受診しやすいようにする」が他の保健医療圏と比較して高くなっている。

性別にみると、男性は「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」(31.9%)が最も高く、女性は「セット健診(基本健診+がん検診等)の実施」(34.6%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、30～40歳代では「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」が最も高く5割弱となっている。また、60～64歳では「何らかの理由で健診を受診できなかった方に対する再健診の実施」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」(47.3%)が最も高くなっている。「セット検診(基本健診+がん検診等)の実施」は「共済組合」で5割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」が最も高く約5割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「セット健診(基本健診+がん検診等)の実施」(27.7%)が最も高く、次いで、「相談体制を充実させ、予約しやすいようにする」(21.5%)「土曜日・日曜日・祝日の健診の実施」(20.0%)の順となっている。また、「農閑期・早朝・夕方の健診の実施」との回答はなかった。

図表 III-12 健康診断を実施する場合の工夫・複数回答【属性別】

	何らかの理由で健康診を受診できなかつた方に対する再健康診の実施	土曜日・日曜日・祝日の健康診の実施	農閑期・早朝・夕方の健康診の実施	セット検診（基本健康診＋がん検診等）の実施	健康診を2～3日連続で実施するなどし、受診しやすいようにする	相談体制を充実させ、予約しやすいようにする	その他	無回答	
全体(N=585)	26.4	30.0	6.2	33.6	14.5	22.4	11.7	14.1	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=272)	27.2	31.6	5.8	34.5	13.6	22.8	12.6	10.5
	南薩保健医療圏(N=37)	18.2	29.7	4.8	28.6	16.0	23.5	18.2	15.0
	川薩保健医療圏(N=39)	35.2	42.2	8.0	26.4	16.3	17.1	1.6	26.4
	出水保健医療圏(N=29)	23.5	28.9	7.8	28.2	7.8	27.6	17.7	9.5
	始良・伊佐保健医療圏(N=74)	27.3	28.7	4.1	35.7	13.6	21.3	9.2	14.1
	曾於保健医療圏(N=30)	21.8	27.1	4.3	31.0	11.9	25.7	7.6	13.2
	肝属保健医療圏(N=52)	27.6	19.9	6.8	39.0	24.1	23.2	8.3	23.6
	熊本保健医療圏(N=14)	32.6	21.5	6.7	36.3	8.9	26.7	8.1	17.8
	奄美保健医療圏(N=38)	18.8	30.1	12.0	34.0	15.7	18.1	19.1	16.2
性別	男性(N=204)	27.9	31.9	4.9	28.4	19.1	20.6	6.9	16.2
	女性(N=335)	26.0	27.8	6.3	34.6	13.1	23.0	14.6	13.7
	無回答(N=6)	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0
年齢別	20歳代(N=44)	36.4	36.4	9.1	27.3	15.9	27.3	4.5	6.8
	30歳代(N=57)	43.9	47.4	14.0	40.4	21.1	28.1	7.0	1.8
	40歳代(N=66)	31.8	48.5	10.6	31.8	12.1	25.8	10.6	6.1
	50歳代(N=70)	21.4	30.0	4.3	35.7	12.9	25.7	12.9	10.0
	60～64歳(N=35)	40.0	28.6	5.7	34.3	25.7	17.1	20.0	8.6
	65～69歳(N=52)	19.2	30.8	3.8	40.4	17.3	19.2	5.8	15.4
	70～74歳(N=55)	20.0	23.6	1.8	29.1	23.6	20.0	16.4	12.7
	75歳以上(N=160)	20.0	14.4	2.5	28.1	10.0	18.1	13.8	28.1
無回答(N=6)	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=93)	36.6	47.3	8.6	34.4	14.0	19.4	7.5	5.4
	社会保険(家族)(N=90)	32.2	28.9	12.2	38.9	17.8	27.8	7.8	8.9
	国民健康保険(N=212)	22.6	25.9	4.7	27.4	17.9	20.8	12.3	17.5
	共済組合(N=30)	40.0	43.3	0.0	53.3	10.0	40.0	10.0	3.3
	後期高齢者医療制度(N=105)	19.0	18.1	1.9	32.4	12.4	18.1	15.2	22.9
	その他(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
無回答(N=10)	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	60.0	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=50)	44.0	48.0	14.0	38.0	16.0	24.0	12.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=58)	29.3	50.0	10.3	34.5	8.6	27.6	8.6	8.6
	65歳以上がいる(N=211)	20.9	22.7	3.8	31.3	18.0	19.0	13.3	19.4
	その他の同居家族(N=218)	32.6	29.4	6.9	33.9	14.7	25.2	10.1	9.2
	一人暮らし(N=107)	21.5	29.0	2.8	29.0	11.2	19.6	13.1	23.4
	無回答(N=7)	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	57.1
高齢者別	独居高齢者(N=65)	12.3	20.0	0.0	27.7	4.6	21.5	13.8	26.2
	独居高齢者以外(N=479)	28.8	30.5	6.5	32.8	16.9	22.1	11.3	13.4
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(単位：%)

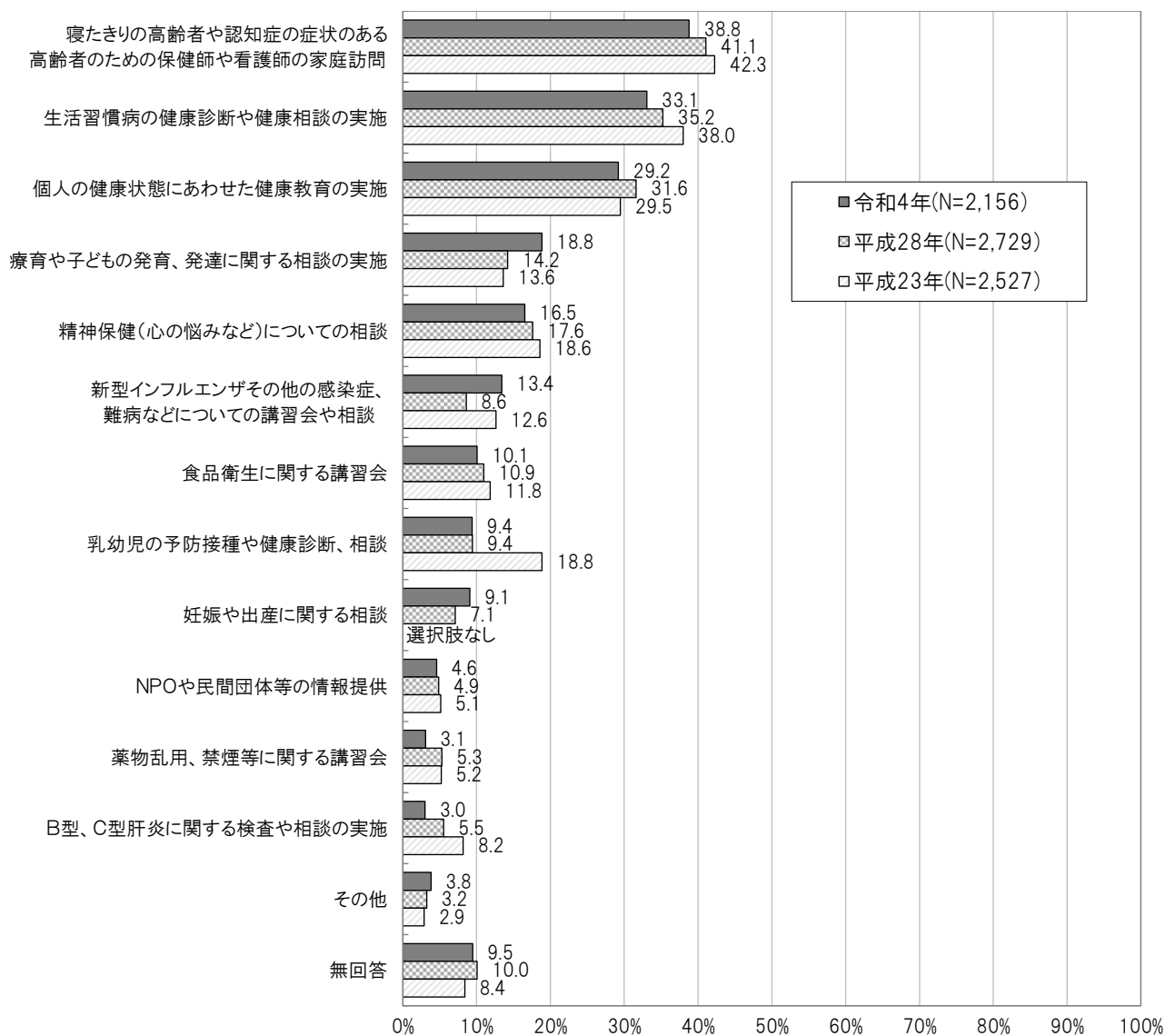
2. 保健衛生サービスへの希望

問 4 保健所や市町村が行う保健衛生サービスで、今後、どのようなことに力を注いでほしいですか。
(○は3つまで)

保健衛生サービスへの希望について、全体では「寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」(38.8%)が最も高く、次いで「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」(33.1%)、「個人の健康状態にあわせた健康教育の実施」(29.2%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」と「新型コロナウイルスその他の感染症、難病などについての講習会や相談」で増加傾向がみられ、特に「新型コロナウイルスその他の感染症、難病などについての講習会や相談」では4.8ポイント増加している。一方、平成23年調査より継続して「寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」や「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」などで減少傾向がみられた。

図表 III-13 保健衛生サービスへの希望・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「鹿児島保健医療圏」と「始良・伊佐保健医療圏」では「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」が2割を超えている。

性別にみると、男性は「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」(40.8%)が最も高く、女性と比べて10.9ポイント高くなっている。また、女性は「寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」(42.6%)が最も高く、男性と比べて7.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代と30歳代では「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」、40～50歳代と75歳以上は「寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」、60～74歳は「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」が各年代で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「妊娠や出産に関する相談」、「乳幼児の予防接種や健康診断、相談」、「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」が他の健康保険と比べて高くなっている。一方、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「妊娠や出産に関する相談」、「乳幼児の予防接種や健康診断、相談」、「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」は1割未満で、他の健康保険と比べて低くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」が最も高く4割を超えている。また、「一人暮らし」では「生活習慣病の健康診断や健康相談の実施」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「妊娠や出産に関する相談」、「乳幼児の予防接種や健康診断、相談」、「療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施」、「精神保健（心の悩みなど）についての相談」などで、「独居高齢者以外」と比べて低くなっている。

図表 III-14 保健衛生サービスへの希望・複数回答【属性別】1/2

	妊娠や出産に関する相談	乳幼児の予防接種や健康診断、相談	療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施	生活習慣病の健康診断や健康相談の実施	B型、C型肝炎に関する検査や相談の実施	個人の健康状態にあわせた健康教育の実施	精神保健(心の悩みなど)についての相談
全体(N=2,156)	9.1	9.4	18.8	33.1	3.0	29.2	16.5
二次保健医療圏別							
鹿児島保健医療圏(N=906)	10.3	11.2	21.2	32.5	2.0	30.8	17.0
南薩保健医療圏(N=174)	5.0	5.2	12.5	30.8	5.8	29.2	13.7
川薩保健医療圏(N=152)	5.9	8.9	14.2	25.6	5.0	24.9	14.1
出水保健医療圏(N=111)	7.4	6.0	16.2	31.4	1.1	32.0	16.9
始良・伊佐保健医療圏(N=312)	10.8	7.4	22.2	35.9	5.2	26.3	20.5
曾於保健医療圏(N=104)	8.8	9.0	18.4	31.8	4.1	24.2	10.1
肝属保健医療圏(N=202)	8.5	11.9	14.6	36.5	1.2	29.6	15.3
熊毛保健医療圏(N=55)	9.3	9.9	18.9	39.4	4.9	37.2	14.8
奄美保健医療圏(N=142)	7.8	6.7	17.0	36.3	1.7	27.8	17.1
性別							
男性(N=943)	8.2	9.1	15.8	40.8	3.8	31.8	13.1
女性(N=1,190)	9.2	8.2	19.4	29.9	2.3	28.8	18.8
無回答(N=51)	5.9	2.0	9.8	25.5	3.9	11.8	9.8
年齢別							
20歳代(N=108)	37.0	29.6	42.6	30.6	1.9	24.1	28.7
30歳代(N=186)	31.7	31.7	44.6	18.3	1.6	23.7	22.0
40歳代(N=291)	10.7	12.0	31.3	28.2	2.4	26.8	28.2
50歳代(N=328)	7.9	5.2	19.5	36.0	2.4	27.1	21.3
60～64歳(N=223)	5.8	6.3	14.3	41.7	3.6	34.1	14.8
65～69歳(N=247)	2.8	4.5	10.9	47.4	2.4	39.7	13.0
70～74歳(N=288)	1.4	2.8	7.3	40.6	3.8	34.4	8.3
75歳以上(N=473)	1.5	1.3	3.6	31.5	3.8	28.1	7.2
無回答(N=40)	5.0	5.0	10.0	27.5	5.0	15.0	15.0
健康保険の種類別							
社会保険(本人)(N=668)	14.7	13.5	27.7	32.5	3.0	29.3	21.6
社会保険(家族)(N=223)	9.9	9.9	23.8	35.9	3.1	28.7	22.9
国民健康保険(N=795)	3.6	3.8	8.9	38.5	3.1	31.2	12.8
共済組合(N=161)	20.5	22.4	36.6	29.8	0.6	26.7	19.3
後期高齢者医療制度(N=269)	1.9	1.5	4.1	30.9	3.7	31.6	6.7
その他(N=9)	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	33.3	22.2
無回答(N=59)	3.4	3.4	8.5	27.1	3.4	16.9	8.5
同居状況別							
就学前の子どもがいる(N=172)	29.7	34.9	55.8	21.5	1.2	22.1	18.6
小学生・中学生がいる(N=264)	14.0	14.4	42.4	24.2	2.3	25.0	23.9
65歳以上がいる(N=838)	3.3	3.9	9.9	39.0	3.0	32.0	12.2
その他の同居家族(N=934)	10.8	10.7	20.6	33.8	3.2	28.5	18.1
一人暮らし(N=381)	8.9	6.6	12.3	34.6	2.6	29.7	17.6
無回答(N=39)	2.6	0.0	7.7	35.9	2.6	17.9	7.7
高齢者別							
独居高齢者(N=210)	3.8	2.9	5.2	33.8	2.4	30.5	8.6
独居高齢者以外(N=1,968)	9.2	9.0	19.0	34.5	3.0	29.7	17.0
無回答(N=6)	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7	0.0

(単位:%)

図表 III-15 保健衛生サービスへの希望・複数回答【属性別】2/2

	会や相談	新型インフルエンザその他の感染症、難病などについて	寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問	食品衛生に関する講習会	薬物乱用、禁煙等に関する講習会	NPOや民間団体等の情報提供	その他	無回答
全体(N=2,156)	13.4	38.8	10.1	3.1	4.6	3.8	9.5	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	12.0	40.5	9.1	3.6	4.8	4.4	8.2
	南薩保健医療圏(N=174)	14.3	40.5	11.2	2.1	3.3	1.6	12.9
	川薩保健医療圏(N=152)	16.0	37.4	11.2	0.2	3.4	3.0	14.6
	出水保健医療圏(N=111)	18.6	37.2	13.8	2.1	4.8	4.9	9.5
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	12.7	32.4	11.9	3.1	4.6	4.0	8.8
	曾於保健医療圏(N=104)	18.7	42.7	8.0	2.9	4.5	1.6	11.3
	肝属保健医療圏(N=202)	13.3	38.8	9.2	4.1	4.9	3.3	9.0
	熊毛保健医療圏(N=55)	9.0	43.8	12.3	4.6	4.6	5.1	3.7
	奄美保健医療圏(N=142)	14.4	37.6	8.2	3.0	5.6	4.2	10.6
性別	男性(N=943)	14.8	35.2	11.1	4.2	3.7	4.1	8.7
	女性(N=1,190)	12.8	42.6	9.5	2.2	5.8	3.4	9.5
	無回答(N=51)	13.7	27.5	11.8	5.9	3.9	3.9	27.5
年齢別	20歳代(N=108)	11.1	16.7	8.3	6.5	0.9	1.9	1.9
	30歳代(N=186)	8.1	26.3	5.4	3.8	4.3	3.8	2.7
	40歳代(N=291)	16.5	37.8	6.9	4.1	5.2	5.2	6.2
	50歳代(N=328)	15.5	49.1	6.1	4.6	6.7	5.5	4.0
	60～64歳(N=223)	15.7	40.4	11.7	3.1	4.9	2.7	9.0
	65～69歳(N=247)	14.6	40.5	8.5	3.2	8.1	3.2	4.9
	70～74歳(N=288)	14.9	39.9	16.3	1.4	4.5	2.8	13.9
	75歳以上(N=473)	11.2	42.1	13.7	1.7	3.0	3.6	19.0
無回答(N=40)	15.0	27.5	15.0	2.5	5.0	2.5	22.5	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	15.0	38.6	6.7	3.1	6.1	2.7	5.2
	社会保険(家族)(N=223)	11.2	37.7	6.7	3.1	4.0	3.6	5.4
	国民健康保険(N=795)	14.2	39.9	13.8	3.0	4.2	3.8	11.7
	共済組合(N=161)	10.6	37.9	6.8	6.2	4.3	8.1	3.7
	後期高齢者医療制度(N=269)	11.5	42.0	13.8	1.9	4.5	4.1	16.7
	その他(N=9)	44.4	33.3	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1
	無回答(N=59)	15.3	28.8	10.2	1.7	5.1	1.7	28.8
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	8.1	19.2	9.9	4.1	3.5	2.9	3.5
	小学生・中学生がいる(N=264)	12.9	35.6	6.4	3.8	4.5	5.3	4.9
	65歳以上がいる(N=838)	14.0	43.6	11.6	2.6	5.0	2.9	11.7
	その他の同居家族(N=934)	14.1	42.2	9.3	4.0	4.7	3.1	7.3
	一人暮らし(N=381)	12.3	32.5	10.8	2.6	5.0	5.5	11.3
	無回答(N=39)	17.9	30.8	10.3	5.1	5.1	7.7	30.8
高齢者別	独居高齢者(N=210)	13.8	35.7	11.9	1.0	3.8	4.3	14.8
	独居高齢者以外(N=1,968)	13.7	39.4	10.1	3.4	5.0	3.7	9.0
	無回答(N=6)	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0

(単位:%)

3. 医療機関を選ぶ際に必要な情報

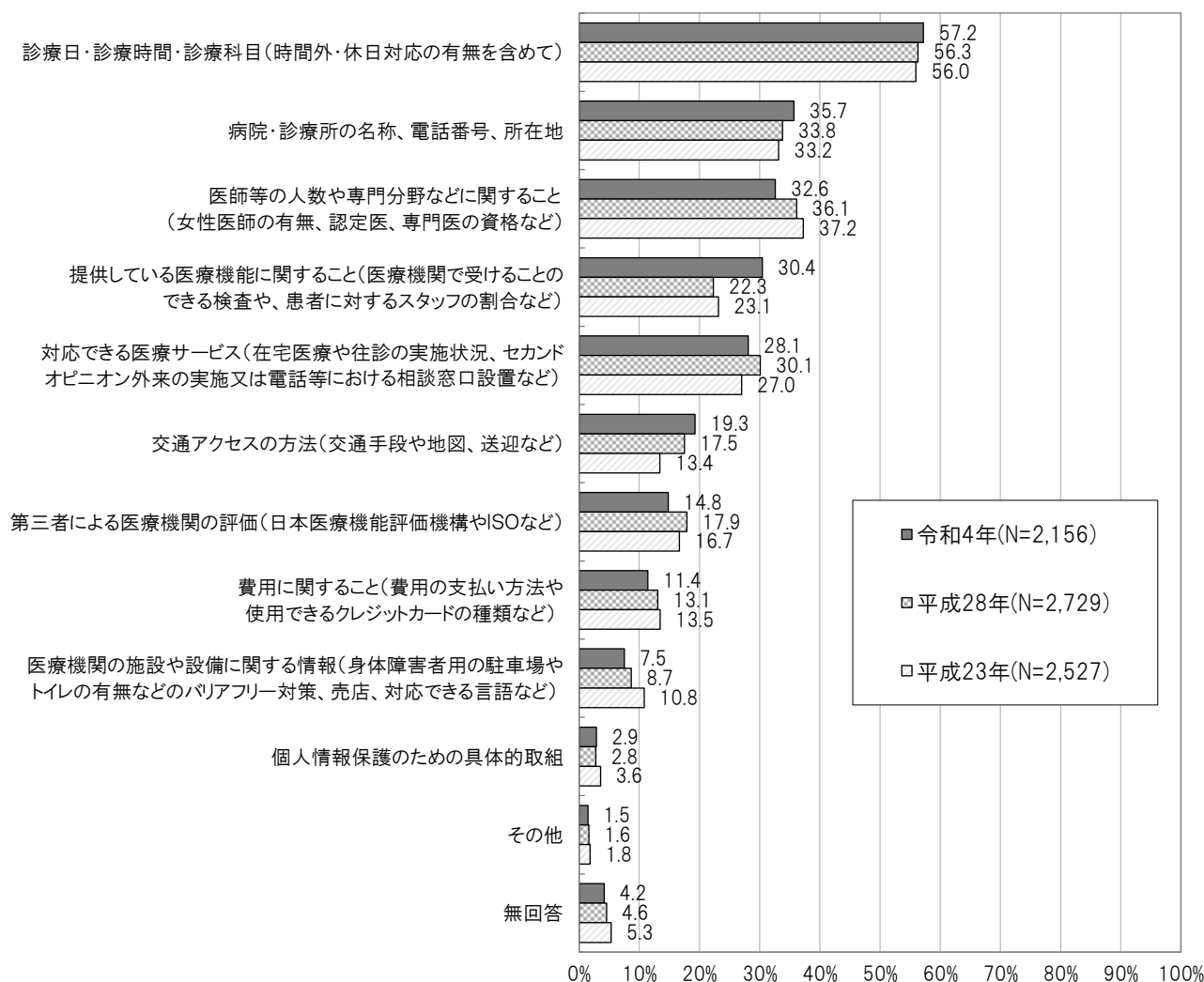
(1) 医療機関を選ぶ際に必要な情報

問 5-1 医療機関を選ぶ際に、どのような情報が必要と思いますか。(〇は3つまで)

医療機関を選ぶ際に必要な情報について、全体では「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」(57.2%) が最も高く、次いで「病院・診療所の名称、電話番号、所在地」(35.7%)、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」(32.6%)の順となっている。

調査年別にみると、平成 28 年調査と比較して「提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など）」が 8.1 ポイント増加している。また、平成 23 年調査より継続して「病院・診療所の名称、電話番号、所在地」と「交通アクセスの方法（交通手段や地図、送迎など）」は増加傾向がみられたが、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」などは減少傾向がみられた。

図表 III-16 医療機関を選ぶ際に必要な情報・複数回答【全体、調査年別】



※ 「提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など）」は平成 23 年と平成 28 年の「提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査やスタッフの患者数に対する割合など）」と比較

二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」、「曾於保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」が他の保健医療圏と比べて高く、6割を超えている。また、「熊毛保健医療圏」では「提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など）」で約4割となっており、他の保健医療圏より高くなっている。

性別にみると、女性は「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」が男性より6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、若年になるほど「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」で増加する傾向がみられた。一方、75歳以上では「交通アクセスの方法（交通手段や地図、送迎など）」（27.5%）が他の年代に比べて高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」、提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など）」が他の健康保険と比べて低くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」で他の同居状況に比べて低くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「独居高齢者以外」より「診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）」、「医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）」で10ポイント以上低くなっているが、「交通アクセスの方法（交通手段や地図、送迎など）」は7.2ポイント高くなっている。

図表 III-17 医療機関を選ぶ際に必要な情報・複数回答【属性別】1/2

	病院・診療所の名称、電話番号、所在地	診療日・診療時間 診療科目 (時間外・休日対応の有無を含めて)	医師等の人数や専門分野などに関する情報(女性医師の有無、認定医、専門医の資格など)	提供している医療機能に関する情報(医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など)	対応できる医療サービス(在宅医療や往診の実施状況、セカンドオピニオン外来の実施又は電話等における相談窓口設置など)	医療機関の施設や設備に関する情報(身体障害者用の駐車場やトイレの有無などのバリアフリー対策、売店、対応できる言語など)	7.5
	全体(N=2,156)	35.7	57.2	32.6	30.4	28.1	7.5
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	38.3	55.9	34.6	30.8	27.9	7.5
	南薩保健医療圏(N=174)	32.2	52.0	29.0	24.4	33.5	6.3
	川薩保健医療圏(N=152)	30.5	54.4	29.5	25.9	28.0	11.3
	出水保健医療圏(N=111)	33.7	62.9	33.8	28.6	32.1	6.2
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	37.1	59.0	29.8	33.5	25.3	7.6
	曾於保健医療圏(N=104)	33.0	62.4	29.4	28.7	28.7	8.3
	肝属保健医療圏(N=202)	38.9	58.2	33.6	34.2	29.8	5.3
	熊本保健医療圏(N=55)	26.6	55.9	35.3	43.0	30.4	5.5
	奄美保健医療圏(N=142)	28.1	61.2	32.4	25.4	22.1	9.7
性別	男性(N=943)	34.7	53.6	29.9	34.5	29.2	8.4
	女性(N=1,190)	33.4	60.2	34.5	28.2	28.7	7.1
	無回答(N=51)	35.3	31.4	15.7	21.6	23.5	11.8
年齢別	20歳代(N=108)	50.9	71.3	33.3	28.7	16.7	9.3
	30歳代(N=186)	37.1	79.0	41.9	37.1	18.8	4.3
	40歳代(N=291)	38.8	70.4	45.0	33.3	25.4	4.5
	50歳代(N=328)	33.5	64.6	38.4	30.5	31.7	7.9
	60～64歳(N=223)	30.9	53.8	34.5	40.4	32.7	10.8
	65～69歳(N=247)	33.2	54.7	32.4	32.8	32.0	6.5
	70～74歳(N=288)	28.1	45.1	27.1	30.6	32.3	5.9
	75歳以上(N=473)	31.7	41.6	18.8	22.0	30.2	10.4
無回答(N=40)	32.5	35.0	15.0	30.0	22.5	15.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	37.7	68.1	36.7	35.8	27.4	6.3
	社会保険(家族)(N=223)	38.1	62.3	36.8	30.5	27.8	4.0
	国民健康保険(N=795)	30.7	49.1	29.4	28.1	30.1	9.4
	共済組合(N=161)	35.4	69.6	42.9	38.5	28.0	4.3
	後期高齢者医療制度(N=269)	31.6	43.9	21.9	23.0	30.1	11.2
	その他(N=9)	33.3	33.3	22.2	22.2	33.3	0.0
無回答(N=59)	27.1	33.9	16.9	27.1	25.4	10.2	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	40.7	77.3	41.9	29.7	15.1	6.4
	小学生・中学生がいる(N=264)	37.5	69.7	43.2	33.3	22.3	6.4
	65歳以上がいる(N=838)	32.0	52.0	28.4	31.1	32.1	8.7
	その他の同居家族(N=934)	35.3	60.5	35.5	31.7	27.8	7.0
	一人暮らし(N=381)	33.3	50.1	28.9	29.4	28.1	7.6
	無回答(N=39)	23.1	41.0	12.8	20.5	28.2	15.4
高齢者別	独居高齢者(N=210)	30.0	43.3	22.9	25.2	31.9	6.7
	独居高齢者以外(N=1,968)	34.4	58.1	33.2	31.4	28.4	7.8
	無回答(N=6)	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7

(単位:%)

図表 III-18 医療機関を選ぶ際に必要な情報・複数回答【属性別】2/2

		第三者による医療機関の評価 (日本医療機能評価機構や SOSなど)	費用に関すること(費用の支払 い方法や使用できるクレジット カードの種類など)	個人情報保護のための具体的 取組	交通アクセスの方法(交通手段 や地図、送迎など)	その他	無回答
	全体(N=2,156)	14.8	11.4	2.9	19.3	1.5	4.2
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	18.0	12.2	1.7	21.4	2.0	3.2
	南薩保健医療圏(N=174)	11.0	6.8	4.3	17.5	1.1	5.3
	川薩保健医療圏(N=152)	11.5	14.4	3.8	21.7	0.2	6.5
	出水保健医療圏(N=111)	12.5	8.0	3.2	14.7	2.4	2.6
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	16.5	12.3	4.6	17.8	0.5	4.4
	曾於保健医療圏(N=104)	3.1	11.1	4.7	17.6	2.5	8.4
	肝属保健医療圏(N=202)	11.4	11.9	1.7	17.2	1.4	3.4
	熊毛保健医療圏(N=55)	14.3	8.2	4.8	13.7	1.1	2.9
	奄美保健医療圏(N=142)	14.1	10.2	3.3	18.9	0.9	5.4
性別	男性(N=943)	16.6	12.4	3.3	15.8	1.8	3.4
	女性(N=1,190)	11.3	10.5	2.9	22.0	1.2	4.4
	無回答(N=51)	11.8	3.9	2.0	13.7	0.0	25.5
年齢別	20歳代(N=108)	13.9	18.5	1.9	20.4	0.9	0.9
	30歳代(N=186)	11.8	18.8	2.2	15.6	0.5	1.1
	40歳代(N=291)	13.1	17.9	2.1	12.7	1.0	1.4
	50歳代(N=328)	17.7	9.8	2.1	17.1	1.2	1.5
	60～64歳(N=223)	14.8	9.4	2.2	17.9	1.3	1.3
	65～69歳(N=247)	13.8	7.7	3.2	21.5	0.4	4.9
	70～74歳(N=288)	18.4	8.7	4.9	16.0	2.4	6.3
	75歳以上(N=473)	8.2	8.0	3.8	27.5	2.3	9.7
無回答(N=40)	15.0	5.0	5.0	12.5	0.0	15.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	15.6	12.9	1.3	14.7	0.6	2.7
	社会保険(家族)(N=223)	13.9	17.0	1.3	17.5	1.3	2.7
	国民健康保険(N=795)	13.2	10.1	4.5	19.7	2.3	5.0
	共済組合(N=161)	21.1	9.3	1.9	21.7	0.0	0.6
	後期高齢者医療制度(N=269)	6.7	7.4	4.5	28.3	1.9	8.6
	その他(N=9)	0.0	11.1	11.1	44.4	11.1	0.0
無回答(N=59)	10.2	6.8	3.4	15.3	0.0	15.3	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	15.7	19.2	2.9	15.7	0.0	1.7
	小学生・中学生がいる(N=264)	12.1	17.4	1.1	14.0	1.1	1.5
	65歳以上がいる(N=838)	13.6	8.7	3.9	20.3	1.4	5.3
	その他の同居家族(N=934)	13.7	12.2	2.8	16.9	1.1	3.0
	一人暮らし(N=381)	12.9	10.8	2.6	24.7	2.4	6.0
	無回答(N=39)	12.8	10.3	2.6	15.4	2.6	17.9
高齢者独居別	独居高齢者(N=210)	10.0	7.6	2.9	25.7	2.4	9.0
	独居高齢者以外(N=1,968)	14.0	11.5	3.0	18.5	1.3	3.9
	無回答(N=6)	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7

(単位:%)

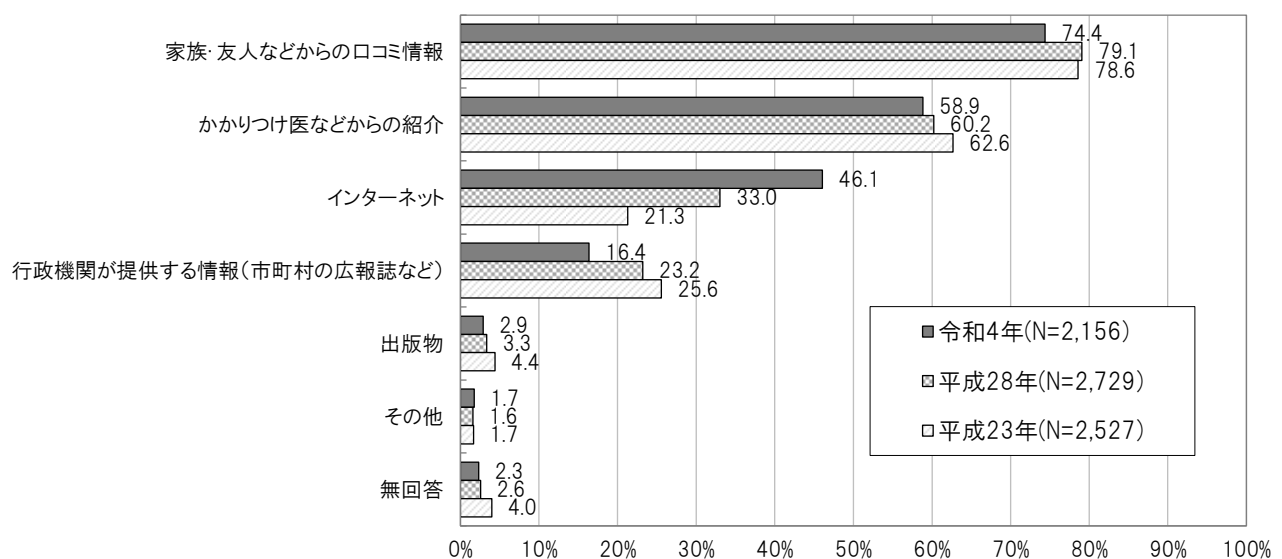
(2) 医療機関を選ぶ際の情報取得の手段

問 5-2 医療機関を選ぶ際に、どこから情報を集めますか。(〇は3つまで)

医療機関を選ぶ際の情報取得の手段について、全体では「家族・友人などからの口コミ情報」(74.4%)が最も高く、次いで「かかりつけ医などからの紹介」(58.9%)、「インターネット」(46.1%)の順となっている。

調査年別にみると、「インターネット」が平成28年調査より13.1ポイント増加しており、平成23年調査からは24.8ポイント増加している。一方、「かかりつけ医などからの紹介」や「行政機関が提供する情報(市町村の広報誌など)」、「出版物」は減少傾向がみられた。

図表 III-19 医療機関を選ぶ際の情報取得の手段・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「肝属保健医療圏」と「奄美保健医療圏」では「家族・友人などからの口コミ情報」が約8割をとなっている。また「鹿児島保健医療圏」では「インターネット」が5割を超えている。「出水保健医療圏」と「熊毛保健医療圏」では「かかりつけ医などからの紹介」が約7割となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかったが、その中で女性は「家族・友人などからの口コミ情報」が男性より5.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「かかりつけ医などからの紹介」は高く、「インターネット」は低くなる傾向がみられた。また60歳以上では「家族・友人などからの口コミ情報」も低くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「かかりつけ医などからの紹介」(78.1%)が最も高くなっている。また、「社会保険(本人)」、「社会保険(家族)」、「共済組合」では他の健康保険と比べて「インターネット」が高く、特に「共済組合」では7割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生の子どもがいる」では「家族・友人などからの口コミ情報」が8割、「インターネット」が6割を超えており、他の同居状況と比べて高くなっている。一方、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「インターネット」が約3割と他の同居状況と比べて低くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「かかりつけ医などからの紹介」(70.0%)が最も高くなっている。一方、「インターネット」は1割未満となっている。

図表 III-20 医療機関を選ぶ際の情報取得の手段・複数回答【属性別】

	報 家 族 ・ 友 人 な ど か ら の ロ コ ミ 情	か かり つ け 医 な ど か ら の 紹 介	出 版 物	イ ン タ ー ネ ッ ト	行 政 機 関 が 提 供 す る 情 報 (市 町 村 の 広 報 誌 な ど)	そ の 他	無 回 答	
全体(N=2,156)	74.4	58.9	2.9	46.1	16.4	1.7	2.3	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	74.7	55.7	3.5	55.7	13.7	2.0	1.5
	南薩保健医療圏(N=174)	73.0	65.6	2.9	25.8	20.8	2.1	2.1
	川薩保健医療圏(N=152)	76.4	62.5	3.2	39.1	11.9	1.6	1.4
	出水保健医療圏(N=111)	70.4	69.8	1.7	32.9	24.1	2.1	3.7
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	72.3	56.9	2.1	48.2	18.1	2.1	1.4
	曾於保健医療圏(N=104)	63.0	60.9	3.1	34.3	10.0	0.9	9.2
	肝属保健医療圏(N=202)	79.6	58.5	2.4	45.9	22.4	0.7	1.2
	熊毛保健医療圏(N=55)	76.7	70.0	3.1	38.6	19.4	1.1	5.1
奄美保健医療圏(N=142)	79.4	57.6	1.7	34.3	17.5	1.1	5.1	
性別	男性(N=943)	72.2	61.8	3.4	42.8	18.7	1.8	2.3
	女性(N=1,190)	77.6	62.2	2.4	41.4	16.8	1.4	2.2
	無回答(N=51)	54.9	70.6	2.0	11.8	11.8	2.0	17.6
年齢別	20歳代(N=108)	74.1	34.3	0.9	82.4	6.5	0.9	0.9
	30歳代(N=186)	81.7	33.9	1.6	79.6	9.1	0.0	1.1
	40歳代(N=291)	78.4	46.0	3.4	69.4	10.3	1.4	2.7
	50歳代(N=328)	80.2	61.6	2.4	57.6	10.1	0.9	1.2
	60～64歳(N=223)	81.6	63.7	2.2	44.4	19.7	1.3	0.9
	65～69歳(N=247)	76.1	70.9	3.6	30.4	22.3	1.2	2.4
	70～74歳(N=288)	71.9	75.0	2.8	19.8	25.0	2.4	2.4
	75歳以上(N=473)	64.7	76.3	3.4	8.2	24.9	2.7	4.4
無回答(N=40)	65.0	72.5	2.5	12.5	15.0	2.5	15.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	79.0	53.6	3.1	61.2	12.3	0.7	2.2
	社会保険(家族)(N=223)	79.4	51.6	1.8	55.2	13.9	0.9	0.9
	国民健康保険(N=795)	73.1	69.2	2.4	27.5	22.0	2.0	2.3
	共済組合(N=161)	83.9	47.8	3.1	72.0	8.7	1.2	1.2
	後期高齢者医療制度(N=269)	65.4	78.1	3.7	10.4	24.9	2.2	4.5
	その他(N=9)	22.2	55.6	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1
無回答(N=59)	55.9	74.6	3.4	11.9	18.6	5.1	11.9	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	83.1	40.7	2.3	75.6	12.2	0.0	1.2
	小学生・中学生がいる(N=264)	80.3	50.4	4.9	69.3	12.9	0.4	3.0
	65歳以上がいる(N=838)	74.1	73.0	3.5	27.7	21.7	1.3	2.4
	その他の同居家族(N=934)	76.9	58.4	2.5	51.4	15.6	1.2	1.9
	一人暮らし(N=381)	71.4	59.3	2.4	33.3	16.0	3.7	4.2
	無回答(N=39)	51.3	84.6	2.6	12.8	15.4	2.6	7.7
高齢者別	独居高齢者(N=210)	67.1	70.0	1.4	9.5	21.0	5.2	5.7
	独居高齢者以外(N=1,968)	75.6	61.3	2.9	44.8	17.2	1.2	2.2
	無回答(N=6)	50.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7

(単位:%)

4. 地域で不自由を感じている診療科目

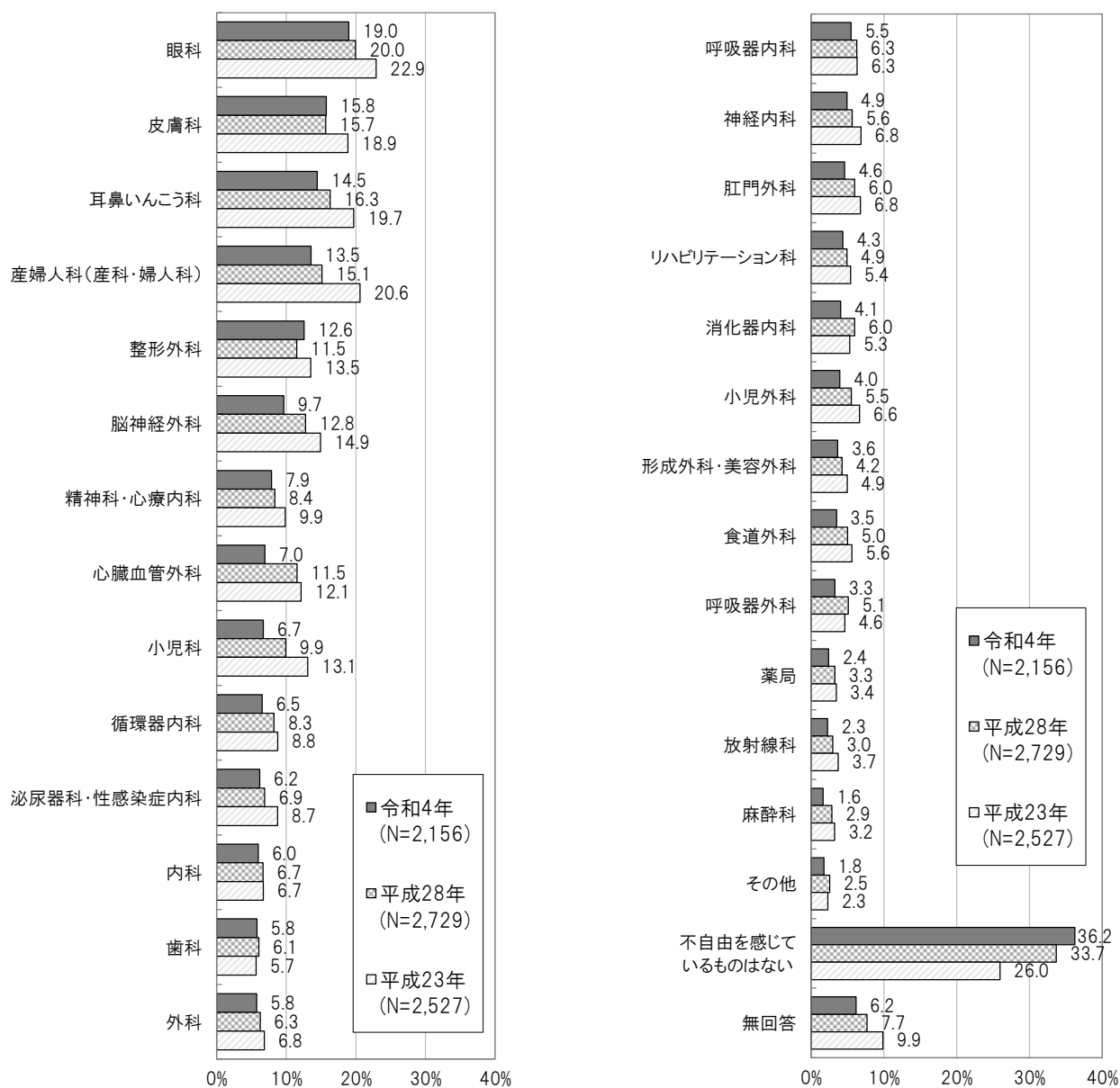
問 6 あなたの地域（一般的に通勤や通学ができたり、少し遠出の買物をするくらいの範囲）で、不自由を感じている診療科目等がありますか。（〇はいくつでも）

ア. 全体の分析

地域で不自由を感じている診療科目について、「不自由を感じているものはない」（36.2%）が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「眼科」（19.0%）が最も高く、次いで「皮膚科」（15.8%）、「耳鼻いんこう科」（14.5%）の順となっている。

調査年別にみると、平成 28 年調査と比較して「不自由を感じているものはない」が 2.5 ポイント増加し、多くの診療科目で減少傾向がみられた。

図表 III-21 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【全体、調査年別】



※ 「歯科」は平成 23 年の「歯科医院」と比較

二次保健医療圏別にみると、「不自由を感じているものはない」は「鹿児島保健医療圏」では45.2%で他の保健医療圏と比べて高く、「熊毛保健医療圏」では6.0%で他の保健医療圏と比べて低くなっている。また、不自由を感じている診療科目については、「南薩保健医療圏」では「産婦人科（産科・婦人科）」（19.4%）、「出水保健医療圏」では「眼科」（27.2%）、「熊毛保健医療圏」では「皮膚科」（39.6%）、「奄美保健医療圏」では「耳鼻いんこう科」（36.3%）が最も高くなっている。

性別にみると、男女ともに「不自由を感じているものはない」（男性：32.2%、女性：27.3%）が最も高くなっているが、診療科目別にみると、男性の上位3科目は「眼科」（23.8%）、「耳鼻いんこう科」（20.1%）、「皮膚科」（18.2%）、女性は「眼科」（26.6%）、「皮膚科」（22.9%）、「産婦人科（産科・婦人科）」（21.6%）の順となっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「不自由を感じているものはない」は低くなる傾向がみられた。20歳代は「皮膚科」、30歳代と40歳代は「産婦人科（産科・婦人科）」、それ以外の年代は「眼科」が最も高くなっている。特に、30歳代では「産婦人科（産科・婦人科）」は3割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「小児科」（17.4%）、「産婦人科（産科・婦人科）」（28.6%）が他の健康保険と比べて高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「小児科」、「小児外科」、「産婦人科（産科・婦人科）」が他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「眼科」（26.2%）が最も高く、次いで「整形外科」（19.0%）、「耳鼻いんこう科」（17.1%）となっている。「皮膚科」は、「独居高齢者以外」が「独居高齢者」より8.2ポイント高くなっている。

図表 III-22 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【属性別】 1/4

	内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
全体(N=2,156)	6.0	5.5	4.1	6.5	4.9	6.7	7.9	5.8
二次保健医療圏別								
鹿児島保健医療圏(N=906)	6.0	4.5	3.2	4.4	5.0	4.4	5.0	4.4
南薩保健医療圏(N=174)	4.9	7.5	4.4	8.2	4.5	8.6	5.1	6.5
川薩保健医療圏(N=152)	1.4	2.8	4.5	8.1	3.3	2.7	8.7	7.0
出水保健医療圏(N=111)	6.2	8.7	5.3	7.7	4.7	7.8	13.8	2.8
始良・伊佐保健医療圏(N=312)	5.0	4.5	2.1	6.8	4.6	6.4	8.9	5.9
曾於保健医療圏(N=104)	3.7	8.6	2.1	10.7	3.3	13.2	11.1	8.1
肝属保健医療圏(N=202)	8.8	5.3	7.3	5.7	4.9	7.1	10.3	5.6
熊毛保健医療圏(N=55)	14.5	12.3	9.3	12.6	9.9	13.7	16.5	15.6
奄美保健医療圏(N=142)	8.7	7.4	6.7	11.0	7.1	15.3	13.2	8.8
性別								
男性(N=943)	8.7	8.4	6.8	10.8	7.0	9.4	8.9	9.3
女性(N=1,190)	6.6	6.5	5.0	7.7	5.9	9.6	10.3	6.7
無回答(N=51)	13.7	11.8	9.8	7.8	9.8	5.9	9.8	13.7
年齢別								
20歳代(N=108)	9.3	4.6	1.9	3.7	1.9	6.5	5.6	3.7
30歳代(N=186)	6.5	4.8	3.2	5.9	5.4	23.7	11.8	6.5
40歳代(N=291)	9.3	8.9	6.5	5.8	8.2	13.7	16.5	6.9
50歳代(N=328)	7.3	8.8	7.0	8.5	7.3	11.6	12.5	11.3
60～64歳(N=223)	7.6	5.8	7.6	9.4	6.3	11.2	9.9	8.5
65～69歳(N=247)	5.3	8.1	7.3	15.0	6.5	7.7	8.9	10.1
70～74歳(N=288)	6.3	5.9	5.2	7.6	4.2	4.5	6.6	5.9
75歳以上(N=473)	9.3	7.8	5.3	11.6	7.6	3.6	5.7	8.0
無回答(N=40)	7.5	15.0	10.0	7.5	7.5	7.5	10.0	7.5
健康保険の種類別								
社会保険(本人)(N=668)	6.7	7.0	6.4	7.6	6.0	12.0	11.8	7.0
社会保険(家族)(N=223)	6.3	7.2	4.0	5.8	6.7	11.2	10.8	6.3
国民健康保険(N=795)	8.4	7.5	6.2	11.2	6.2	7.4	8.3	8.4
共済組合(N=161)	7.5	6.2	6.8	9.3	6.2	17.4	11.8	10.6
後期高齢者医療制度(N=269)	8.6	8.2	4.5	9.3	8.2	4.5	6.3	8.6
その他(N=9)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
無回答(N=59)	6.8	11.9	8.5	8.5	8.5	3.4	10.2	5.1
同居状況別								
就学前の子どもがいる(N=172)	7.0	6.4	2.9	5.2	4.1	27.3	9.9	4.7
小学生・中学生がいる(N=264)	8.0	6.8	6.8	6.1	8.0	22.0	15.2	6.4
65歳以上がいる(N=838)	7.4	8.4	5.4	9.9	7.2	6.2	9.5	7.8
その他の同居家族(N=934)	6.2	7.0	5.8	7.3	5.4	9.7	10.6	8.2
一人暮らし(N=381)	10.5	7.6	7.6	11.0	7.6	6.6	7.9	9.7
無回答(N=39)	7.7	7.7	5.1	15.4	5.1	7.7	10.3	5.1
高齢者別								
独居高齢者(N=210)	9.0	5.2	6.7	10.0	5.2	2.4	4.3	7.6
独居高齢者以外(N=1,968)	7.6	7.6	5.8	8.9	6.6	10.2	10.2	8.0
無回答(N=6)	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7

(単位:%)

図表 III-23 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【属性別】2/4

	整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
全体(N=2,156)	12.6	3.6	9.7	3.3	7.0	4.0	13.5	19.0
二次保健医療圏別								
鹿児島保健医療圏(N=906)	9.8	1.6	7.4	1.9	4.1	1.6	8.3	15.5
南薩保健医療圏(N=174)	12.8	4.4	14.1	2.2	10.3	4.4	19.4	16.5
川薩保健医療圏(N=152)	15.8	1.8	10.2	2.6	8.4	4.5	12.9	18.4
出水保健医療圏(N=111)	18.6	2.2	9.6	3.8	11.1	7.1	19.3	27.2
始良・伊佐保健医療圏(N=312)	13.6	4.4	8.6	3.6	7.8	4.4	9.7	11.9
曾於保健医療圏(N=104)	8.7	3.7	16.4	3.8	8.3	5.4	20.9	27.1
肝属保健医療圏(N=202)	11.7	8.4	9.8	6.1	5.4	3.9	22.8	21.3
熊本保健医療圏(N=55)	28.9	16.3	19.4	9.0	19.6	11.0	15.9	38.6
奄美保健医療圏(N=142)	16.7	5.7	11.6	5.8	11.1	10.5	25.2	37.0
性別								
男性(N=943)	15.9	4.3	15.1	5.9	10.7	6.0	12.2	23.8
女性(N=1,190)	16.1	6.7	10.5	4.5	9.2	5.8	21.6	26.6
無回答(N=51)	11.8	3.9	15.7	9.8	9.8	3.9	13.7	19.6
年齢別								
20歳代(N=108)	10.2	2.8	4.6	2.8	3.7	2.8	17.6	13.9
30歳代(N=186)	10.8	8.6	7.5	4.3	5.9	14.5	30.6	20.4
40歳代(N=291)	15.5	11.0	9.6	5.2	6.9	10.0	26.1	23.4
50歳代(N=328)	18.6	7.0	14.3	6.1	9.5	6.4	20.7	28.7
60～64歳(N=223)	14.8	5.8	13.9	6.7	12.6	6.3	20.6	28.7
65～69歳(N=247)	17.4	3.2	18.6	4.5	11.3	5.3	13.0	26.3
70～74歳(N=288)	15.6	4.2	10.4	5.2	10.4	2.1	10.4	28.5
75歳以上(N=473)	18.4	3.2	14.4	5.1	12.5	2.7	9.5	24.9
無回答(N=40)	5.0	2.5	15.0	10.0	10.0	5.0	15.0	17.5
健康保険の種類別								
社会保険(本人)(N=668)	13.9	7.6	11.4	5.2	7.6	6.3	20.4	24.6
社会保険(家族)(N=223)	16.1	4.5	10.3	3.6	8.5	8.5	22.9	21.1
国民健康保険(N=795)	17.4	4.9	14.2	5.7	11.7	5.0	13.2	27.2
共済組合(N=161)	17.4	7.5	10.6	5.0	8.7	9.9	28.6	26.1
後期高齢者医療制度(N=269)	17.1	3.3	14.1	5.2	11.5	3.0	12.6	25.7
その他(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
無回答(N=59)	8.5	1.7	13.6	8.5	11.9	5.1	11.9	18.6
同居状況別								
就学前の子どもがいる(N=172)	11.0	5.8	4.1	2.3	6.4	13.4	27.3	22.1
小学生・中学生がいる(N=264)	12.9	9.5	10.2	4.5	7.6	13.6	28.0	29.2
65歳以上がいる(N=838)	16.8	5.0	13.2	5.7	12.6	4.2	14.4	27.3
その他の同居家族(N=934)	15.7	6.0	13.3	4.8	9.4	6.3	19.4	23.7
一人暮らし(N=381)	17.8	6.0	11.5	6.0	8.7	4.5	14.7	24.7
無回答(N=39)	12.8	2.6	15.4	5.1	12.8	5.1	7.7	15.4
高齢者別								
独居高齢者(N=210)	19.0	3.8	8.6	3.8	7.1	1.0	6.7	26.2
独居高齢者以外(N=1,968)	15.5	5.8	13.0	5.4	10.1	6.4	18.5	25.2
無回答(N=6)	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7

(単位:%)

図表 III-24 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【属性別】 3/4

	耳鼻いんこう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
全体(N=2,156)	14.5	3.5	15.8	6.2	4.6	4.3	2.3	1.6
二次保健医療圏別								
鹿児島保健医療圏(N=906)	9.6	2.8	12.0	4.6	3.8	4.0	1.4	1.0
南薩保健医療圏(N=174)	9.9	2.9	11.5	12.5	5.8	6.9	2.9	2.4
川薩保健医療圏(N=152)	10.8	2.2	16.5	8.5	5.5	5.2	2.4	0.3
出水保健医療圏(N=111)	18.1	2.2	26.5	4.3	5.8	3.1	4.9	2.4
始良・伊佐保健医療圏(N=312)	14.3	4.1	10.4	5.7	4.7	3.0	0.6	1.2
曾於保健医療圏(N=104)	9.9	5.0	20.2	4.9	5.4	3.9	2.9	2.5
肝属保健医療圏(N=202)	23.0	4.1	20.4	4.7	3.3	3.1	3.7	1.6
熊毛保健医療圏(N=55)	35.5	7.7	39.6	11.7	9.9	9.5	7.1	4.0
奄美保健医療圏(N=142)	36.3	6.0	29.0	9.6	5.4	6.6	4.0	5.2
性別								
男性(N=943)	20.1	5.1	18.2	10.1	7.4	5.7	5.3	3.5
女性(N=1,190)	19.7	4.8	22.9	7.3	5.7	5.9	2.9	2.8
無回答(N=51)	29.4	11.8	19.6	9.8	5.9	11.8	2.0	2.0
年齢別								
20歳代(N=108)	9.3	3.7	19.4	4.6	2.8	4.6	2.8	1.9
30歳代(N=186)	21.5	4.3	24.7	5.4	3.2	2.7	2.7	4.8
40歳代(N=291)	18.9	4.5	23.0	7.9	6.9	5.2	5.2	5.2
50歳代(N=328)	23.2	4.6	27.1	8.2	6.4	6.1	5.8	3.7
60～64歳(N=223)	23.8	4.0	24.2	8.1	6.7	5.8	4.5	3.1
65～69歳(N=247)	21.5	5.3	16.2	10.1	9.7	6.5	4.0	3.2
70～74歳(N=288)	19.8	3.8	18.1	6.6	5.6	5.2	2.4	1.0
75歳以上(N=473)	17.5	7.2	16.3	11.8	7.4	7.8	3.4	2.1
無回答(N=40)	30.0	10.0	20.0	10.0	2.5	10.0	2.5	2.5
健康保険の種類別								
社会保険(本人)(N=668)	19.6	4.2	22.2	6.9	6.1	4.2	4.5	3.9
社会保険(家族)(N=223)	18.4	4.5	20.6	5.4	4.5	4.0	2.2	1.8
国民健康保険(N=795)	20.8	5.5	20.3	9.9	7.5	6.2	3.9	2.8
共済組合(N=161)	21.7	4.3	26.1	7.5	5.6	7.5	5.6	5.0
後期高齢者医療制度(N=269)	19.3	6.7	16.7	11.5	7.4	8.9	3.7	2.2
その他(N=9)	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
無回答(N=59)	23.7	6.8	16.9	11.9	1.7	11.9	1.7	1.7
同居状況別								
就学前の子どもがいる(N=172)	19.8	3.5	19.8	7.6	4.1	3.5	2.9	2.3
小学生・中学生がいる(N=264)	25.0	5.7	27.3	7.2	6.4	3.4	3.8	4.5
65歳以上がいる(N=838)	20.2	5.4	20.0	9.2	7.6	6.3	3.5	3.2
その他の同居家族(N=934)	19.5	4.4	20.7	7.8	5.7	4.2	4.2	3.0
一人暮らし(N=381)	21.0	6.3	18.6	9.7	6.6	9.7	4.7	3.4
無回答(N=39)	12.8	5.1	17.9	7.7	5.1	5.1	10.3	2.6
高齢者別								
独居高齢者(N=210)	17.1	4.3	13.3	8.6	3.8	7.6	1.0	0.0
独居高齢者以外(N=1,968)	20.4	5.1	21.5	8.5	6.7	5.7	4.2	3.4
無回答(N=6)	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7

(単位:%)

図表 III-25 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【属性別】 4/4

		歯科	薬局	その他	不自由を感じていない	無回答
全体(N=2,156)		5.8	2.4	1.8	36.2	6.2
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	6.3	1.9	2.2	45.2	4.8
	南薩保健医療圏(N=174)	2.7	1.7	2.2	27.0	7.8
	川薩保健医療圏(N=152)	4.2	3.6	0.9	32.9	8.0
	出水保健医療圏(N=111)	1.6	1.0	0.0	24.8	9.7
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	4.2	2.5	1.2	40.6	7.6
	曾於保健医療圏(N=104)	0.6	0.6	2.1	21.4	10.9
	肝属保健医療圏(N=202)	4.8	2.4	1.6	32.3	4.5
	熊毛保健医療圏(N=55)	23.4	5.7	6.4	6.0	2.0
	奄美保健医療圏(N=142)	13.6	6.5	0.4	21.5	5.7
性別	男性(N=943)	8.7	4.6	2.0	32.2	6.4
	女性(N=1,190)	7.3	3.5	2.8	27.3	5.5
	無回答(N=51)	7.8	3.9	0.0	19.6	21.6
年齢別	20歳代(N=108)	8.3	5.6	1.9	45.4	0.9
	30歳代(N=186)	12.9	3.8	3.8	34.9	0.5
	40歳代(N=291)	10.3	4.8	5.2	30.6	2.4
	50歳代(N=328)	8.8	3.4	3.0	28.0	3.4
	60~64歳(N=223)	4.9	2.7	0.9	30.5	4.5
	65~69歳(N=247)	6.5	3.6	2.0	28.3	5.3
	70~74歳(N=288)	5.9	1.7	2.1	26.7	9.4
	75歳以上(N=473)	7.4	5.7	1.1	26.0	12.1
無回答(N=40)	5.0	5.0	0.0	15.0	25.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	8.1	2.5	2.1	33.4	3.3
	社会保険(家族)(N=223)	6.7	4.5	1.8	30.0	4.9
	国民健康保険(N=795)	7.8	4.0	2.1	25.4	7.7
	共済組合(N=161)	10.6	5.0	5.6	34.2	2.5
	後期高齢者医療制度(N=269)	7.8	5.9	1.9	29.4	9.3
	その他(N=9)	11.1	11.1	11.1	33.3	0.0
無回答(N=59)	5.1	5.1	3.4	16.9	23.7	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	10.5	2.9	3.5	33.1	0.6
	小学生・中学生がいる(N=264)	9.8	3.4	3.8	26.5	2.7
	65歳以上がいる(N=838)	6.8	3.8	1.9	27.2	7.6
	その他の同居家族(N=934)	7.9	3.0	2.4	31.3	5.1
	一人暮らし(N=381)	9.7	6.0	2.9	28.9	7.3
	無回答(N=39)	5.1	5.1	2.6	25.6	23.1
高齢者別	独居高齢者(N=210)	6.2	2.9	1.0	24.8	12.9
	独居高齢者以外(N=1,968)	8.1	4.1	2.5	29.7	5.5
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

(単位:%)

イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 59・図表 III-26～62 図表 III-29)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「不自由を感じているものはない」(41.4%)が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「眼科」(19.1%)が最も高く、次いで「皮膚科」(15.2%)、「整形外科」(13.0%)の順となっている。

性別にみると、不自由を感じている診療科目の男性の上位3科目は「眼科」(17.4%)、「皮膚科」(14.9%)、「耳鼻いんこう科」(13.5%)、女性は「眼科」(19.9%)、「皮膚科」(15.7%)、「産婦人科(産科・婦人科)」(14.8%)の順となっている。

年齢別にみると、不自由を感じている診療科目は20歳代と40歳代では「皮膚科」が最も高く、20歳代では2割となっている。また、50～64歳と75歳以上では「眼科」が2割を超えている。一方、20歳代と30歳代では「不自由を感じているものはない」は5割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「不自由を感じているものはない」が他の健康保険に比べて低くなっている。不自由を感じている診療科目は「共済組合」では「眼科」と「皮膚科」、「後期高齢者医療制度」では「眼科」が2割を超えている。

同居状況別にみると、不自由を感じている診療科目は「就学前の子どもがいる」では「小児科」と「眼科」が最も高くなっている。また、「小学生・中学生がいる」では「眼科」と「皮膚科」、「一人暮らし」では「眼科」が2割を超えている。

独居高齢者別にみると、「不自由を感じているものはない」は「独居高齢者」が「独居高齢者以外」より12.8ポイント低くなっている。不自由を感じている診療科目は「独居高齢者以外」では「皮膚科」が「独居高齢者」より6.5ポイント高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 63・図表 III-30～図表 III-33)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「不自由を感じているものはない」(27.5%)が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「産婦人科(産科・婦人科)」(19.1%)が最も高く、次いで「眼科」(16.3%)、「脳神経外科」(13.5%)の順となっている。

性別にみると、男性の上位3科目は「眼科」(16.3%)、「耳鼻いんこう科」(15.0%)、「整形外科」(13.8%)と「産婦人科(産科・婦人科)」(13.8%)、女性は「産婦人科(産科・婦人科)」(24.4%)、「眼科」(17.8%)、「皮膚科」(15.6%)の順となっている。「産婦人科(産科・婦人科)」と「皮膚科」では女性が男性より8ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「皮膚科」(22.2%)が最も高くなっている。一方、60～64歳では「不自由を感じているものはない」が高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」、「国民健康保険」では「産婦人科(産科・婦人科)」で他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「小児科」、「産婦人科（産科・婦人科）」、「眼科」で他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「独居高齢者以外」より「外科」、「肛門外科」、「リハビリテーション科」で8ポイント以上高くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 67・図表 III-34～図表 III-37)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「不自由を感じているものはない」(26.3%)が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「眼科」(25.7%)が最も高く、次いで「整形外科」(20.4%)、「皮膚科」(19.1%)の順となっている。

性別にみると、男性は「脳神経外科」(22.4%)と「眼科」(32.8%)で女性より11ポイント以上高くなっており、女性は「産婦人科（産科・婦人科）」(19.6%)で男性より7.5ポイント高くなっている。また、女性は「整形外科」と「眼科」が最も高くなっている。

年齢別にみると、20～30歳代と60～64歳では「産婦人科（産科・婦人科）」が他の年代に比べて高くなっている。40～50歳代では「精神科・心療内科」が約2割となっている。「整形外科」は50～64歳と70歳以上で2割を超えている。また、20歳代と65～69歳では「薬局」が2割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「後期高齢者医療制度」では「不自由を感じているものはない」が2割未満となっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「産婦人科（産科・婦人科）」と「皮膚科」で3割を超えている。「一人暮らし」では「整形外科」(31.0%)が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「整形外科」(33.3%)が最も高く、「独居高齢者以外」より14.6ポイント高くなっている。

出水保健医療圏 (P. 71・図表 III-38～図表 III-41)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「皮膚科」(32.8%)が最も高く、次いで、「眼科」(30.3%)「耳鼻いんこう科」(22.1%)の順となっている。また、「不自由を感じているものはない」は22.1%となっている。

性別にみると、男性は「不自由を感じているものはない」(28.0%)で女性より9.7ポイント高く、女性は「産婦人科（産科・婦人科）」(29.6%)、「眼科」(35.2%)、「皮膚科」(38.0%)で12ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「皮膚科」が5割、60～64歳では「整形外科」、70～74歳では「眼科」で4割を超えている。また50歳代と75歳以上では「不自由を感じているものはない」が他の年代と比べて低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」では「皮膚科」、「国民健康保」では「産婦人科（産

科・婦人科)」が他の健康保険と比べて低くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「小児科」と「皮膚科」が他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「眼科」(40.0%)が「独居高齢者以外」より10.5ポイント高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P.75・図表 III-42～図表 III-45)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「不自由を感じているものはない」(34.9%)が最も高くなっている。不自由を感じている診療科目は「耳鼻いんこう科」(20.8%)が最も高く、次いで「整形外科」(14.4%)、「皮膚科」(14.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「外科」(9.8%)、「整形外科」(18.2%)で女性より6ポイント以上高くなっている。女性は男性より「産婦人科(産科・婦人科)」(19.2%)では13.1ポイント、「皮膚科」(18.5%)では8.7ポイント高くなっている。また、「不自由を感じているものはない」では男性が女性より7.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「精神科・心療内科」(24.2%)が最も高くなっている。60～64歳と70～74歳では「耳鼻いんこう科」で3割を超えている。また、20歳代では「不自由を感じているものはない」が5割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「整形外科」、「産婦人科(産科・婦人科)」、「耳鼻いんこう科」、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「耳鼻いんこう科」で2割を超えている。また、「共済組合」では「不自由を感じているものはない」が5割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「眼科」(20.0%)、「小学生・中学生がいる」では「産婦人科(産科・婦人科)」(20.0%)が最も高くなっている。「65歳以上がいる」では「耳鼻いんこう科」が2割を超えている。また、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「精神科・心療内科」が他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者以外」は「独居高齢者」より「脳神経外科」が11.7ポイント、「不自由を感じているものはない」が12.2ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P.79・図表 III-46～図表 III-49)

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「眼科」(27.4%)が最も高く、次いで「皮膚科」(22.1%)、「産婦人科(産科・婦人科)」(20.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「循環器内科」(15.6%)が女性より9.6ポイント高く、女性は「小児科」、「精神科・心療内科」、「外科」、「眼科」、「耳鼻いんこう科」、「皮膚科」で男性より10ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「小児科」、50歳代では「眼科」が5割を超えている。30歳代と50歳代では「産婦人科（産科・婦人科）」が他の年代と比べて高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「共済組合」では「産婦人科（産科・婦人科）」が他の健康保険と比べて高くなっている。また、「社会保険（家族）」では「不自由を感じているものはない」は1割未満となっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「小児科」と「産婦人科（産科・婦人科）」が4割弱となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「循環器内科」（18.2%）、「眼科」（36.4%）、「耳鼻いんこう科」（18.2%）が「独居高齢者以外」より8ポイント以上高くなっている。

肝属保健医療圏（P. 83・図表 III-50～図表 III-53）

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「眼科」（28.0%）が最も高く、次いで「耳鼻いんこう科」（24.3%）、「皮膚科」（22.2%）の順となっている。また、「不自由を感じているものはない」は26.8%となっている。

性別にみると、男性は「脳神経外科」（18.3%）で女性より10.9ポイント高く、女性は「産婦人科（産科・婦人科）」（26.4%）で男性より9.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳以下では「産婦人科（産科・婦人科）」、50歳以上では「眼科」が最も高くなっている。また、30歳代では「不自由を感じているものはない」が他の年代と比べて低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「眼科」が5割を超えている。「社会保険（家族）」では「耳鼻いんこう科」、「国民健康保険」では「産婦人科（産科・婦人科）」が他の健康保険と比べて低くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「産婦人科（産科・婦人科）」（35.7%）、「65歳以上がいる」では「眼科」（41.6%）が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「不自由を感じているものはない」（24.0%）は「独居高齢者以外」より3.1ポイント低くなっている。

熊毛保健医療圏（P. 87・図表 III-54～図表 III-57）

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「皮膚科」（39.8%）が最も高く、次いで「眼科」（39.0%）、「耳鼻いんこう科」（33.9%）の順となっている。また、「不自由を感じているものはない」は1割未満となっている。

性別にみると、男性は「神経内科」、「脳神経外科」、「泌尿器科・性感染症内科」で15ポイント以上女性より高く、女性は「皮膚科」（43.8%）で10.5ポイント男性より高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「皮膚科」、50歳代では「眼科」で6割弱となっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」では「眼科」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「産婦人科（産科・婦人科）」と「歯科」で他の同居状況と比べて高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「リハビリテーション科」（20.0%）が「独居高齢者以外」より11.7ポイント高くなっている。「耳鼻いんこう科」は「独居高齢者」の回答はなく、「独居高齢者以外」は37.0%となっている。

奄美保健医療圏（P.91・図表 III-58～図表 III-61）

地域で不自由を感じている診療科目について、全体では「眼科」（43.9%）が最も高く、次いで「耳鼻いんこう科」（38.4%）、「皮膚科」（30.5%）の順となっている。また、「不自由を感じているものはない」は17.4%となっている。

性別にみると、男女とも上位3科目は「眼科」、「耳鼻いんこう科」、「皮膚科」の順となっている。

年齢別にみると、30歳代代では「産婦人科（産科・婦人科）」（50.0%）が最も高く、「小児科」（40.0%）は他の年代と比べて高くなっている。65～69歳では「皮膚科」が他の年代と比べて低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「共済組合」では「耳鼻いんこう科」が最も高く5割を超えている。また、いずれの健康保険においても「眼科」が4割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「耳鼻いんこう科」（55.6%）、「小児科」（51.9%）、「産婦人科（産科・婦人科）」（51.9%）で5割を超えている。「小学生・中学生がいる」では「耳鼻いんこう科」が6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「内科」と「眼科」で「独居高齢者以外」より5.5ポイント以上高くなっている。また、「不自由を感じているものはない」も9.3ポイント高くなっている。

離島別の分析（P.95・図表 III-62～図表 III-65）

離島別にみると、「十島」では「内科」と「整形外科」、「種子島」では「皮膚科」、「与論島」では「産婦人科（産科・婦人科）」と「皮膚科」、「奄美大島」では「眼科」と「耳鼻いんこう科」、その他の離島では「眼科」が最も高く、特に「屋久島」、「三島」、「甑島」、「喜界島」では「眼科」が6割を超えている。また、「三島」「十島」ではすべての診療科目で3割を超えている。

図表 III-26 鹿児島保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

鹿児島 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=645)	9.6	7.6	6.4	8.1	7.6	7.1	7.8	7.8
	男性(N=282)	11.0	7.1	6.4	10.6	6.4	8.5	5.3	9.6
	女性(N=351)	7.7	8.3	6.3	6.0	8.8	6.0	10.0	6.3
	無回答(N=12)	33.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
年齢別	20歳代(N=45)	11.1	6.7	2.2	2.2	2.2	6.7	4.4	4.4
	30歳代(N=63)	7.9	9.5	7.9	6.3	7.9	12.7	9.5	7.9
	40歳代(N=108)	12.0	9.3	6.5	4.6	10.2	7.4	10.2	7.4
	50歳代(N=103)	6.8	7.8	4.9	6.8	9.7	7.8	10.7	11.7
	60～64歳(N=62)	11.3	3.2	9.7	11.3	6.5	8.1	11.3	6.5
	65～69歳(N=68)	7.4	7.4	7.4	10.3	4.4	7.4	4.4	5.9
	70～74歳(N=60)	8.3	8.3	6.7	11.7	5.0	3.3	6.7	6.7
	75歳以上(N=127)	11.0	7.9	6.3	10.2	9.4	4.7	4.7	8.7
	無回答(N=9)	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	6.7	4.9	4.5	3.6	6.3	6.7	6.7	4.9
	社会保険(家族)(N=79)	8.9	8.9	5.1	5.1	3.8	2.5	6.3	5.1
	国民健康保険(N=180)	11.7	10.0	9.4	13.9	9.4	7.8	10.0	8.9
	共済組合(N=64)	10.9	10.9	7.8	12.5	10.9	15.6	12.5	15.6
	後期高齢者医療制度(N=84)	11.9	7.1	6.0	6.0	9.5	4.8	4.8	9.5
	その他(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	無回答(N=12)	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	7.9	9.5	4.8	3.2	3.2	14.3	6.3	4.8
	小学生・中学生がいる(N=85)	10.6	11.8	11.8	8.2	11.8	10.6	10.6	9.4
	65歳以上がいる(N=218)	8.7	7.3	4.6	7.8	8.3	5.5	8.3	6.9
	その他の同居家族(N=299)	6.0	6.0	6.0	7.0	5.4	6.4	8.7	7.0
	一人暮らし(N=120)	15.0	10.8	10.0	12.5	10.0	7.5	7.5	11.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	13.0	9.3	9.3	11.1	5.6	0.0	5.6	5.6
	独居高齢者以外(N=590)	9.3	7.5	6.1	7.8	7.8	7.8	8.0	8.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 111-27 鹿児島保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

鹿児島 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
性別	全体(N=645)	13.0	4.7	10.4	5.0	7.4	4.5	11.8	19.1
	男性(N=282)	13.5	4.3	11.7	6.4	7.4	5.3	7.4	17.4
	女性(N=351)	12.3	5.1	9.4	4.0	7.7	4.0	14.8	19.9
	無回答(N=12)	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	33.3
年齢別	20歳代(N=45)	11.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	13.3	17.8
	30歳代(N=63)	12.7	9.5	11.1	9.5	9.5	11.1	15.9	14.3
	40歳代(N=108)	13.9	7.4	11.1	4.6	6.5	5.6	17.6	18.5
	50歳代(N=103)	16.5	5.8	10.7	5.8	7.8	5.8	12.6	21.4
	60～64歳(N=62)	8.1	3.2	8.1	3.2	9.7	1.6	11.3	22.6
	65～69歳(N=68)	10.3	1.5	13.2	1.5	2.9	2.9	4.4	17.6
	70～74歳(N=60)	10.0	3.3	5.0	5.0	6.7	1.7	10.0	13.3
	75歳以上(N=127)	15.7	3.1	14.2	6.3	11.0	3.9	7.9	22.0
	無回答(N=9)	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	11.2	4.9	7.6	4.0	4.0	3.6	11.2	19.3
	社会保険(家族)(N=79)	10.1	1.3	11.4	3.8	6.3	2.5	11.4	8.9
	国民健康保険(N=180)	13.3	5.6	12.8	5.6	11.1	6.1	12.2	19.4
	共済組合(N=64)	17.2	7.8	12.5	9.4	12.5	9.4	17.2	25.0
	後期高齢者医療制度(N=84)	16.7	3.6	10.7	4.8	7.1	2.4	8.3	21.4
	その他(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	無回答(N=12)	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	11.1	3.2	4.8	4.8	6.3	7.9	12.7	14.3
	小学生・中学生がいる(N=85)	12.9	8.2	15.3	8.2	10.6	8.2	14.1	24.7
	65歳以上がいる(N=218)	11.5	4.6	9.2	4.6	9.2	4.1	11.9	18.8
	その他の同居家族(N=299)	10.7	4.0	9.0	4.0	7.0	3.7	10.7	16.7
	一人暮らし(N=120)	19.2	5.8	15.0	5.8	7.5	5.0	12.5	22.5
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	14.8	0.0	13.0	1.9	3.7	0.0	3.7	20.4
	独居高齢者以外(N=590)	12.9	5.1	10.2	5.3	7.8	4.9	12.5	19.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 111-28 鹿児島保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

鹿児島 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=645)	12.4	6.0	15.2	7.6	6.8	6.7	4.3	3.7
性別	男性(N=282)	13.5	6.4	14.9	8.2	6.4	5.7	5.7	4.3
	女性(N=351)	11.1	5.7	15.7	7.1	7.1	7.4	3.4	3.4
	無回答(N=12)	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=45)	6.7	2.2	20.0	2.2	4.4	4.4	4.4	2.2
	30歳代(N=63)	15.9	11.1	12.7	7.9	6.3	6.3	7.9	7.9
	40歳代(N=108)	10.2	4.6	18.5	6.5	8.3	6.5	5.6	4.6
	50歳代(N=103)	13.6	6.8	20.4	7.8	4.9	7.8	4.9	4.9
	60～64歳(N=62)	12.9	0.0	16.1	8.1	6.5	8.1	1.6	3.2
	65～69歳(N=68)	11.8	5.9	11.8	7.4	5.9	4.4	2.9	0.0
	70～74歳(N=60)	13.3	5.0	11.7	5.0	8.3	5.0	1.7	1.7
	75歳以上(N=127)	13.4	9.4	11.8	11.8	8.7	8.7	4.7	3.9
	無回答(N=9)	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	12.6	4.0	14.8	4.9	4.5	4.5	4.0	2.7
	社会保険(家族)(N=79)	5.1	5.1	11.4	6.3	5.1	5.1	1.3	1.3
	国民健康保険(N=180)	15.0	8.3	17.8	9.4	10.0	7.8	5.0	5.0
	共済組合(N=64)	12.5	7.8	23.4	10.9	9.4	10.9	9.4	9.4
	後期高齢者医療制度(N=84)	14.3	7.1	9.5	10.7	7.1	9.5	3.6	2.4
	その他(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=12)	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	9.5	4.8	9.5	3.2	4.8	3.2	4.8	3.2
	小学生・中学生がいる(N=85)	15.3	9.4	23.5	7.1	10.6	5.9	8.2	7.1
	65歳以上がいる(N=218)	13.3	6.4	13.3	8.3	7.3	4.6	3.2	3.7
	その他の同居家族(N=299)	9.0	4.7	14.0	7.4	6.7	5.0	3.7	3.0
	一人暮らし(N=120)	19.2	8.3	19.2	9.2	6.7	13.3	6.7	5.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	11.1	5.6	9.3	5.6	1.9	11.1	1.9	0.0
	独居高齢者以外(N=590)	12.5	6.1	15.8	7.8	7.3	6.3	4.6	4.1
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-29 鹿児島保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

鹿児島保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
	全体(N=645)	9.3	4.5	4.3	41.4	4.7
性別	男性(N=282)	11.0	5.0	3.9	44.7	5.7
	女性(N=351)	7.4	4.3	4.8	39.6	3.4
	無回答(N=12)	25.0	0.0	0.0	16.7	16.7
年齢別	20歳代(N=45)	11.1	6.7	4.4	53.3	2.2
	30歳代(N=63)	15.9	6.3	6.3	57.1	0.0
	40歳代(N=108)	7.4	5.6	11.1	38.0	1.9
	50歳代(N=103)	10.7	5.8	3.9	44.7	1.9
	60～64歳(N=62)	4.8	1.6	1.6	41.9	1.6
	65～69歳(N=68)	4.4	1.5	2.9	41.2	0.0
	70～74歳(N=60)	6.7	1.7	1.7	40.0	11.7
	75歳以上(N=127)	11.8	5.5	1.6	31.5	11.8
	無回答(N=9)	11.1	0.0	0.0	22.2	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	8.1	2.7	3.1	46.6	1.3
	社会保険(家族)(N=79)	7.6	2.5	2.5	49.4	1.3
	国民健康保険(N=180)	9.4	6.1	5.0	35.0	7.8
	共済組合(N=64)	12.5	9.4	10.9	42.2	3.1
	後期高齢者医療制度(N=84)	10.7	4.8	2.4	36.9	8.3
	その他(N=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	無回答(N=12)	8.3	0.0	8.3	16.7	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	9.5	3.2	6.3	52.4	0.0
	小学生・中学生がいる(N=85)	9.4	4.7	8.2	42.4	0.0
	65歳以上がいる(N=218)	6.9	3.7	3.2	39.9	5.5
	その他の同居家族(N=299)	7.7	3.0	3.3	46.2	4.7
	一人暮らし(N=120)	15.8	8.3	7.5	31.7	6.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	9.3	1.9	1.9	29.6	13.0
	独居高齢者以外(N=590)	9.3	4.7	4.6	42.4	3.9
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(単位:%)

図表 III-30 南薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

南薩 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=178)	4.5	7.3	4.5	7.9	4.5	8.4	5.1	6.2
	男性(N=80)	5.0	8.8	7.5	5.0	2.5	7.5	3.8	6.3
	女性(N=90)	4.4	6.7	2.2	11.1	5.6	10.0	6.7	6.7
	無回答(N=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1	22.2
	40歳代(N=10)	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	50歳代(N=23)	0.0	4.3	4.3	8.7	4.3	8.7	8.7	8.7
	60～64歳(N=18)	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	5.6
	65～69歳(N=23)	0.0	4.3	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	70～74歳(N=31)	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	9.7	6.5
	75歳以上(N=57)	7.0	12.3	7.0	10.5	5.3	3.5	3.5	5.3
	無回答(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	3.8	9.4	5.7	9.4	1.9	15.1	7.5	7.5
	社会保険(家族)(N=9)	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
	国民健康保険(N=71)	2.8	2.8	1.4	5.6	4.2	5.6	5.6	7.0
	共済組合(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	5.7	11.4	5.7	8.6	2.9	5.7	0.0	5.7
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	50.0	10.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	4.3	10.8	6.5	7.5	5.4	6.5	6.5	3.2
	その他の同居家族(N=68)	4.4	8.8	4.4	8.8	4.4	11.8	2.9	8.8
	一人暮らし(N=28)	7.1	0.0	0.0	7.1	3.6	0.0	7.1	14.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	9.5	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	4.8	19.0
	独居高齢者以外(N=157)	3.8	8.3	5.1	7.6	4.5	9.6	5.1	4.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-31 南薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

南薩 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
全体(N=178)		12.9	4.5	13.5	2.2	10.1	4.5	19.1	16.3
性別	男性(N=80)	13.8	1.3	11.3	1.3	8.8	5.0	13.8	16.3
	女性(N=90)	12.2	7.8	14.4	3.3	12.2	4.4	24.4	17.8
	無回答(N=8)	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	30歳代(N=9)	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	55.6	22.2
	40歳代(N=10)	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	50.0	20.0
	50歳代(N=23)	8.7	4.3	17.4	4.3	13.0	13.0	26.1	17.4
	60～64歳(N=18)	11.1	16.7	11.1	0.0	5.6	5.6	16.7	11.1
	65～69歳(N=23)	17.4	0.0	17.4	0.0	4.3	0.0	17.4	13.0
	70～74歳(N=31)	16.1	6.5	16.1	3.2	12.9	3.2	19.4	16.1
	75歳以上(N=57)	14.0	0.0	12.3	1.8	14.0	1.8	7.0	15.8
無回答(N=5)		0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	11.3	3.8	17.0	1.9	11.3	7.5	24.5	18.9
	社会保険(家族)(N=9)	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	44.4
	国民健康保険(N=71)	11.3	7.0	9.9	1.4	8.5	2.8	14.1	9.9
	共済組合(N=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	20.0	0.0	11.4	2.9	11.4	2.9	14.3	17.1
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	33.3
	小学生・中学生がいる(N=10)	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	40.0
	65歳以上がいる(N=93)	12.9	6.5	12.9	4.3	14.0	4.3	16.1	19.4
	その他の同居家族(N=68)	14.7	1.5	14.7	2.9	11.8	5.9	25.0	16.2
	一人暮らし(N=28)	14.3	3.6	10.7	0.0	3.6	0.0	17.9	10.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	19.0	4.8	14.3	0.0	4.8	0.0	9.5	9.5
	独居高齢者以外(N=157)	12.1	4.5	13.4	2.5	10.8	5.1	20.4	17.2
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-32 南薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

南薩 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=178)	10.1	2.8	11.8	11.8	5.6	6.7	2.8	2.2
性別	男性(N=80)	15.0	1.3	7.5	11.3	5.0	5.0	3.8	0.0
	女性(N=90)	4.4	3.3	15.6	11.1	6.7	6.7	2.2	4.4
	無回答(N=8)	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=10)	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	50歳代(N=23)	8.7	4.3	17.4	13.0	4.3	0.0	8.7	4.3
	60～64歳(N=18)	11.1	0.0	22.2	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0
	65～69歳(N=23)	8.7	0.0	4.3	17.4	8.7	13.0	0.0	0.0
	70～74歳(N=31)	3.2	6.5	6.5	9.7	9.7	0.0	0.0	3.2
	75歳以上(N=57)	12.3	1.8	12.3	10.5	5.3	14.0	1.8	1.8
	無回答(N=5)	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	7.5	1.9	9.4	11.3	5.7	0.0	5.7	1.9
	社会保険(家族)(N=9)	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
	国民健康保険(N=71)	8.5	2.8	11.3	9.9	5.6	4.2	0.0	1.4
	共済組合(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	11.4	0.0	8.6	14.3	5.7	14.3	2.9	2.9
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	7.5	3.2	11.8	11.8	6.5	6.5	3.2	4.3
	その他の同居家族(N=68)	14.7	1.5	7.4	13.2	2.9	4.4	4.4	1.5
	一人暮らし(N=28)	14.3	3.6	14.3	7.1	10.7	10.7	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	14.3	4.8	9.5	4.8	14.3	14.3	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=157)	9.6	2.5	12.1	12.7	4.5	5.7	3.2	2.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-33 南薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

南薩 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じて いるものはない	無回答
	全体(N=178)	2.8	1.7	2.2	27.5	7.9
性別	男性(N=80)	3.8	2.5	3.8	32.5	10.0
	女性(N=90)	1.1	1.1	1.1	24.4	5.6
	無回答(N=8)	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5
年齢別	20歳代(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	30歳代(N=9)	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
	40歳代(N=10)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	50歳代(N=23)	0.0	0.0	8.7	26.1	8.7
	60～64歳(N=18)	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0
	65～69歳(N=23)	0.0	0.0	4.3	21.7	8.7
	70～74歳(N=31)	3.2	0.0	0.0	32.3	9.7
	75歳以上(N=57)	5.3	5.3	1.8	26.3	12.3
	無回答(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	0.0	0.0	3.8	28.3	5.7
	社会保険(家族)(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	国民健康保険(N=71)	1.4	0.0	1.4	32.4	7.0
	共済組合(N=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	5.7	5.7	2.9	25.7	14.3
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	65歳以上がいる(N=93)	4.3	3.2	1.1	26.9	6.5
	その他の同居家族(N=68)	2.9	0.0	4.4	26.5	4.4
	一人暮らし(N=28)	0.0	0.0	0.0	32.1	7.1
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高齢者独居者別	独居高齢者(N=21)	0.0	0.0	0.0	28.6	9.5
	独居高齢者以外(N=157)	3.2	1.9	2.5	27.4	7.6
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-34 川薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

川薩 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=152)	2.6	5.3	7.9	9.9	5.3	4.6	9.2	9.9
	男性(N=58)	3.4	10.3	10.3	13.8	8.6	8.6	6.9	12.1
	女性(N=92)	2.2	2.2	6.5	7.6	3.3	2.2	10.9	6.5
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	4.3	13.0	8.7	13.0	13.0	8.7	21.7	4.3
	50歳代(N=21)	0.0	4.8	19.0	9.5	4.8	9.5	19.0	14.3
	60～64歳(N=14)	7.1	0.0	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	14.3
	65～69歳(N=14)	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3
	70～74歳(N=18)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	11.1
	75歳以上(N=48)	0.0	4.2	2.1	10.4	4.2	0.0	4.2	8.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	2.2	6.5	8.7	10.9	4.3	4.3	10.9	10.9
	社会保険(家族)(N=19)	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3
	国民健康保険(N=55)	3.6	5.5	5.5	9.1	3.6	5.5	10.9	9.1
	共済組合(N=6)	0.0	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7
	後期高齢者医療制度(N=23)	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3
	小学生・中学生がいる(N=17)	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	5.9
	65歳以上がいる(N=61)	1.6	4.9	8.2	8.2	6.6	1.6	9.8	11.5
	その他の同居家族(N=59)	5.1	5.1	8.5	8.5	3.4	1.7	8.5	13.6
	一人暮らし(N=29)	0.0	3.4	6.9	10.3	6.9	6.9	10.3	6.9
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=18)	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=134)	3.0	6.0	8.2	10.4	5.2	5.2	10.4	11.2
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-35 川薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

川薩 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
	全体(N=152)	20.4	3.3	15.8	3.3	9.2	4.6	17.1	25.7
性別	男性(N=58)	19.0	1.7	22.4	5.2	8.6	6.9	12.1	32.8
	女性(N=92)	21.7	4.3	10.9	2.2	9.8	3.3	19.6	21.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	30歳代(N=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5
	40歳代(N=23)	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	13.0	17.4	21.7
	50歳代(N=21)	23.8	0.0	23.8	4.8	14.3	4.8	19.0	19.0
	60～64歳(N=14)	28.6	0.0	21.4	7.1	21.4	0.0	28.6	28.6
	65～69歳(N=14)	14.3	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3	35.7
	70～74歳(N=18)	27.8	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	11.1	38.9
	75歳以上(N=48)	27.1	4.2	18.8	4.2	10.4	2.1	10.4	27.1
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	13.0	4.3	13.0	0.0	8.7	2.2	15.2	23.9
	社会保険(家族)(N=19)	15.8	0.0	10.5	0.0	15.8	10.5	21.1	21.1
	国民健康保険(N=55)	25.5	3.6	18.2	7.3	7.3	3.6	14.5	27.3
	共済組合(N=6)	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3
	後期高齢者医療制度(N=23)	26.1	0.0	17.4	0.0	4.3	0.0	13.0	26.1
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	33.3	16.7
	小学生・中学生がいる(N=17)	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	5.9	11.8
	65歳以上がいる(N=61)	24.6	3.3	13.1	3.3	11.5	0.0	13.1	27.9
	その他の同居家族(N=59)	13.6	3.4	11.9	1.7	6.8	6.8	18.6	27.1
	一人暮らし(N=29)	31.0	3.4	20.7	3.4	6.9	6.9	17.2	20.7
	無回答(N=3)	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=18)	33.3	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	27.8
	独居高齢者以外(N=134)	18.7	3.0	17.2	3.7	10.4	5.2	17.9	25.4
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-36 川薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

川薩 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=152)	15.1	3.9	19.1	11.8	7.9	5.3	4.6	1.3
性別	男性(N=58)	13.8	5.2	19.0	12.1	10.3	8.6	8.6	1.7
	女性(N=92)	15.2	3.3	19.6	12.0	6.5	3.3	2.2	1.1
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	17.4	4.3	17.4	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3
	50歳代(N=21)	14.3	4.8	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	0.0
	60～64歳(N=14)	21.4	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	21.4	0.0	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(N=18)	5.6	0.0	16.7	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0
	75歳以上(N=48)	12.5	6.3	16.7	16.7	12.5	10.4	6.3	2.1
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	15.2	2.2	17.4	6.5	6.5	2.2	2.2	2.2
	社会保険(家族)(N=19)	15.8	0.0	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=55)	14.5	3.6	20.0	12.7	10.9	3.6	5.5	1.8
	共済組合(N=6)	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0
	後期高齢者医療制度(N=23)	8.7	8.7	13.0	21.7	4.3	8.7	8.7	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	8.3	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=61)	18.0	3.3	21.3	11.5	8.2	4.9	3.3	1.6
	その他の同居家族(N=59)	10.2	5.1	18.6	11.9	6.8	3.4	5.1	1.7
	一人暮らし(N=29)	13.8	3.4	10.3	13.8	6.9	6.9	6.9	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=18)	11.1	0.0	5.6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=134)	15.7	4.5	20.9	11.2	9.0	6.0	5.2	1.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-37 川薩保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

川薩 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
	全体(N=152)	7.2	7.2	0.7	26.3	7.9
性別	男性(N=58)	13.8	6.9	0.0	31.0	6.9
	女性(N=92)	3.3	6.5	1.1	23.9	8.7
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	30歳代(N=8)	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	40歳代(N=23)	13.0	8.7	0.0	34.8	8.7
	50歳代(N=21)	4.8	4.8	4.8	19.0	0.0
	60～64歳(N=14)	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
	65～69歳(N=14)	14.3	21.4	0.0	28.6	7.1
	70～74歳(N=18)	11.1	0.0	0.0	22.2	5.6
	75歳以上(N=48)	6.3	6.3	0.0	20.8	14.6
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	6.5	6.5	0.0	37.0	6.5
	社会保険(家族)(N=19)	5.3	15.8	5.3	10.5	10.5
	国民健康保険(N=55)	9.1	1.8	0.0	29.1	5.5
	共済組合(N=6)	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	後期高齢者医療制度(N=23)	8.7	8.7	0.0	13.0	17.4
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	0.0	0.0	0.0	35.3	11.8
	65歳以上がいる(N=61)	9.8	4.9	0.0	29.5	8.2
	その他の同居家族(N=59)	5.1	3.4	1.7	32.2	3.4
	一人暮らし(N=29)	6.9	13.8	0.0	17.2	13.8
	無回答(N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=18)	5.6	11.1	0.0	16.7	22.2
	独居高齢者以外(N=134)	7.5	6.7	0.7	27.6	6.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-38 出水保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

出水 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=122)	6.6	9.0	4.9	7.4	5.7	9.8	15.6	3.3
	男性(N=50)	6.0	4.0	4.0	10.0	10.0	6.0	20.0	4.0
	女性(N=71)	7.0	11.3	4.2	5.6	2.8	12.7	12.7	2.8
	無回答(N=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=10)	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	20.0	0.0
	40歳代(N=17)	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6	0.0
	50歳代(N=24)	12.5	16.7	12.5	12.5	4.2	12.5	12.5	12.5
	60～64歳(N=11)	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0
	65～69歳(N=11)	0.0	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	36.4	0.0
	70～74歳(N=18)	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	0.0
	75歳以上(N=27)	0.0	3.7	3.7	3.7	11.1	7.4	11.1	3.7
	無回答(N=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	7.3	14.6	9.8	9.8	9.8	9.8	17.1	4.9
	社会保険(家族)(N=11)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	9.3	7.0	2.3	11.6	2.3	0.0	16.3	0.0
	共済組合(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	11.1
	後期高齢者医療制度(N=15)	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	13.3	13.3	6.7
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	9.5	4.8	0.0	0.0	4.8	28.6	23.8	0.0
	65歳以上がいる(N=47)	4.3	10.6	8.5	6.4	6.4	6.4	19.1	2.1
	その他の同居家族(N=59)	5.1	10.2	6.8	6.8	6.8	5.1	18.6	6.8
	一人暮らし(N=15)	6.7	13.3	0.0	13.3	13.3	13.3	13.3	0.0
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	0.0	20.0	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0
	独居高齢者以外(N=112)	7.1	8.0	5.4	7.1	4.5	9.8	15.2	3.6
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-39 出水保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

出水 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
性別	全体(N=122)	20.5	2.5	9.8	4.9	10.7	8.2	21.3	30.3
	男性(N=50)	20.0	2.0	12.0	4.0	16.0	4.0	10.0	22.0
	女性(N=71)	21.1	2.8	8.5	5.6	7.0	11.3	29.6	35.2
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	30歳代(N=10)	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0
	40歳代(N=17)	17.6	0.0	5.9	0.0	11.8	23.5	29.4	23.5
	50歳代(N=24)	25.0	8.3	12.5	12.5	8.3	0.0	37.5	37.5
	60～64歳(N=11)	45.5	0.0	18.2	0.0	9.1	9.1	27.3	27.3
	65～69歳(N=11)	18.2	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1
	70～74歳(N=18)	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	44.4
	75歳以上(N=27)	22.2	0.0	3.7	3.7	18.5	7.4	14.8	29.6
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	22.0	2.4	12.2	7.3	12.2	7.3	29.3	24.4
	社会保険(家族)(N=11)	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	27.3	36.4	27.3
	国民健康保険(N=43)	14.0	0.0	11.6	4.7	7.0	2.3	4.7	32.6
	共済組合(N=9)	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6	44.4
	後期高齢者医療制度(N=15)	20.0	0.0	6.7	6.7	26.7	13.3	20.0	33.3
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2
	小学生・中学生がいる(N=21)	23.8	14.3	4.8	0.0	4.8	28.6	33.3	33.3
	65歳以上がいる(N=47)	17.0	0.0	14.9	6.4	14.9	2.1	17.0	29.8
	その他の同居家族(N=59)	23.7	1.7	15.3	6.8	11.9	3.4	32.2	28.8
	一人暮らし(N=15)	26.7	0.0	0.0	13.3	13.3	6.7	6.7	33.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	40.0
	独居高齢者以外(N=112)	20.5	2.7	10.7	3.6	9.8	8.0	22.3	29.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-40 出水保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

出水 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=122)	22.1	2.5	32.8	4.9	5.7	3.3	4.9	2.5
性別	男性(N=50)	22.0	0.0	26.0	2.0	10.0	6.0	6.0	4.0
	女性(N=71)	21.1	4.2	38.0	7.0	2.8	1.4	4.2	1.4
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=10)	30.0	0.0	50.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=17)	5.9	0.0	41.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=24)	29.2	4.2	45.8	4.2	8.3	0.0	8.3	4.2
	60～64歳(N=11)	27.3	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1
	65～69歳(N=11)	18.2	9.1	45.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=18)	11.1	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0
	75歳以上(N=27)	29.6	3.7	29.6	3.7	7.4	11.1	3.7	3.7
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	22.0	2.4	41.5	2.4	9.8	0.0	7.3	4.9
	社会保険(家族)(N=11)	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	国民健康保険(N=43)	14.0	2.3	16.3	9.3	2.3	4.7	2.3	0.0
	共済組合(N=9)	22.2	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=15)	40.0	0.0	46.7	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	18.2	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	19.0	4.8	52.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=47)	23.4	2.1	27.7	4.3	6.4	6.4	4.3	4.3
	その他の同居家族(N=59)	27.1	1.7	35.6	5.1	8.5	3.4	8.5	5.1
	一人暮らし(N=15)	13.3	0.0	26.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=112)	22.3	2.7	33.0	4.5	6.3	2.7	5.4	2.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-41 出水保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

出水 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
全体(N=122)		2.5	1.6	0.0	22.1	9.0
性別	男性(N=50)	4.0	0.0	0.0	28.0	10.0
	女性(N=71)	1.4	2.8	0.0	18.3	8.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	30歳代(N=10)	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	40歳代(N=17)	5.9	0.0	0.0	29.4	0.0
	50歳代(N=24)	4.2	0.0	0.0	12.5	8.3
	60～64歳(N=11)	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1
	65～69歳(N=11)	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
	70～74歳(N=18)	5.6	0.0	0.0	38.9	5.6
	75歳以上(N=27)	0.0	3.7	0.0	14.8	25.9
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	4.9	0.0	0.0	19.5	4.9
	社会保険(家族)(N=11)	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0
	国民健康保険(N=43)	2.3	2.3	0.0	25.6	11.6
	共済組合(N=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
	後期高齢者医療制度(N=15)	0.0	0.0	0.0	13.3	20.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	4.8	4.8	0.0	9.5	9.5
	65歳以上がいる(N=47)	0.0	0.0	0.0	23.4	8.5
	その他の同居家族(N=59)	1.7	0.0	0.0	16.9	6.8
	一人暮らし(N=15)	0.0	6.7	0.0	26.7	13.3
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	0.0	10.0	0.0	20.0	20.0
	独居高齢者以外(N=112)	2.7	0.9	0.0	22.3	8.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-42 始良・伊佐保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

始良・伊佐 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=284)	5.3	4.6	2.1	7.0	4.2	7.7	7.7	6.7
	男性(N=132)	5.3	6.1	1.5	7.6	3.0	6.8	7.6	9.8
	女性(N=146)	5.5	3.4	2.7	6.8	5.5	8.9	7.5	3.4
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
年齢別	20歳代(N=21)	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	4.8
	30歳代(N=26)	3.8	3.8	0.0	7.7	0.0	15.4	11.5	3.8
	40歳代(N=33)	6.1	3.0	3.0	3.0	9.1	12.1	24.2	3.0
	50歳代(N=37)	5.4	2.7	2.7	5.4	5.4	10.8	10.8	5.4
	60～64歳(N=27)	3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	11.1	3.7	14.8
	65～69歳(N=33)	6.1	6.1	3.0	9.1	0.0	6.1	0.0	9.1
	70～74歳(N=35)	0.0	5.7	2.9	2.9	2.9	8.6	2.9	5.7
	75歳以上(N=68)	10.3	4.4	1.5	8.8	5.9	2.9	4.4	7.4
	無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	7.1	4.8	4.8	7.1	3.6	11.9	11.9	6.0
	社会保険(家族)(N=28)	0.0	3.6	0.0	7.1	14.3	7.1	17.9	7.1
	国民健康保険(N=106)	4.7	4.7	1.9	6.6	1.9	9.4	2.8	7.5
	共済組合(N=17)	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	9.8	7.3	0.0	9.8	4.9	0.0	4.9	9.8
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	12.0	16.0	4.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	6.7	0.0	3.3	6.7	6.7	10.0	16.7	0.0
	65歳以上がいる(N=117)	6.0	6.0	0.9	9.4	4.3	5.1	6.8	7.7
	その他の同居家族(N=124)	4.8	4.8	3.2	3.2	3.2	11.3	8.9	4.8
	一人暮らし(N=42)	7.1	2.4	2.4	9.5	4.8	2.4	2.4	7.1
	無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	12.0	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	8.0
	独居高齢者以外(N=257)	4.7	5.1	1.9	7.4	4.3	8.2	8.2	6.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

(単位：%)

図表 III-43 始良・伊佐保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 2/4

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 始良・伊佐 保健医療圏 2/4 </div>		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
			全体(N=284)	14.4	3.9	10.6	4.6	9.9	4.2
性別	男性(N=132)	18.2	1.5	12.9	3.0	9.8	3.8	6.1	12.9
	女性(N=146)	11.6	6.2	8.9	6.2	9.6	4.8	19.2	15.1
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
年齢別	20歳代(N=21)	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	9.5	4.8
	30歳代(N=26)	7.7	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7	19.2	19.2
	40歳代(N=33)	21.2	6.1	6.1	3.0	3.0	15.2	12.1	15.2
	50歳代(N=37)	13.5	8.1	8.1	5.4	2.7	0.0	13.5	10.8
	60～64歳(N=27)	14.8	7.4	18.5	7.4	14.8	7.4	18.5	18.5
	65～69歳(N=33)	15.2	0.0	18.2	6.1	15.2	6.1	6.1	18.2
	70～74歳(N=35)	17.1	2.9	14.3	2.9	17.1	0.0	14.3	17.1
	75歳以上(N=68)	16.2	0.0	10.3	5.9	10.3	1.5	11.8	11.8
	無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	13.1	8.3	6.0	2.4	3.6	4.8	14.3	13.1
	社会保険(家族)(N=28)	21.4	14.3	7.1	7.1	10.7	10.7	21.4	14.3
	国民健康保険(N=106)	16.0	0.0	17.0	6.6	15.1	4.7	10.4	18.9
	共済組合(N=17)	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	9.8	0.0	9.8	4.9	9.8	0.0	14.6	12.2
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	12.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0	16.0	20.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	13.3	3.3	13.3	6.7	10.0	13.3	20.0	13.3
	65歳以上がいる(N=117)	17.9	1.7	15.4	5.1	12.0	2.6	10.3	14.5
	その他の同居家族(N=124)	13.7	7.3	12.9	5.6	10.5	6.5	15.3	15.3
	一人暮らし(N=42)	9.5	0.0	0.0	2.4	9.5	0.0	11.9	7.1
	無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	16.0	0.0	0.0	4.0	12.0	0.0	12.0	12.0
	独居高齢者以外(N=257)	14.4	4.3	11.7	4.7	9.3	4.7	12.8	14.4
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-44 始良・伊佐保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

始良・伊佐 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=284)	20.8	4.2	14.4	6.3	5.6	2.8	0.7	1.1
性別	男性(N=132)	20.5	3.8	9.8	9.1	4.5	3.0	0.8	1.5
	女性(N=146)	21.2	4.8	18.5	4.1	6.2	2.7	0.7	0.7
	無回答(N=6)	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=21)	9.5	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=26)	7.7	0.0	15.4	3.8	3.8	0.0	0.0	7.7
	40歳代(N=33)	12.1	3.0	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=37)	18.9	0.0	16.2	2.7	5.4	5.4	0.0	0.0
	60～64歳(N=27)	37.0	11.1	14.8	11.1	11.1	7.4	3.7	3.7
	65～69歳(N=33)	21.2	3.0	15.2	3.0	12.1	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(N=35)	31.4	2.9	20.0	5.7	5.7	5.7	2.9	0.0
	75歳以上(N=68)	22.1	7.4	13.2	11.8	5.9	2.9	0.0	0.0
	無回答(N=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	13.1	2.4	13.1	3.6	3.6	2.4	1.2	1.2
	社会保険(家族)(N=28)	25.0	3.6	17.9	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6
	国民健康保険(N=106)	28.3	4.7	15.1	8.5	8.5	3.8	0.9	0.0
	共済組合(N=17)	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	後期高齢者医療制度(N=41)	22.0	7.3	17.1	7.3	4.9	4.9	0.0	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	8.0	4.0	8.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	13.3	6.7	13.3	3.3	6.7	0.0	0.0	3.3
	65歳以上がいる(N=117)	24.8	5.1	13.7	6.8	8.5	3.4	0.9	0.0
	その他の同居家族(N=124)	19.4	4.0	16.1	4.8	4.8	1.6	0.8	1.6
	一人暮らし(N=42)	14.3	4.8	4.8	7.1	2.4	2.4	0.0	2.4
	無回答(N=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	20.0	4.0	8.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=257)	20.6	4.3	14.8	5.8	5.8	2.7	0.8	1.2
	無回答(N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-45 始良・伊佐保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

属性別		地域で不自由を感じている診療科目・複数回答				
		歯科	薬局	その他	不自由を感じていないものはない	無回答
始良・伊佐 保健医療圏 4/4						
性別	全体(N=284)	3.9	2.1	1.4	34.9	7.4
	男性(N=132)	3.0	3.0	0.8	39.4	5.3
	女性(N=146)	4.8	1.4	2.1	31.5	7.5
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0
年齢別	20歳代(N=21)	4.8	0.0	0.0	52.4	0.0
	30歳代(N=26)	3.8	3.8	0.0	38.5	0.0
	40歳代(N=33)	6.1	3.0	0.0	45.5	0.0
	50歳代(N=37)	5.4	0.0	0.0	35.1	5.4
	60～64歳(N=27)	3.7	3.7	0.0	25.9	7.4
	65～69歳(N=33)	6.1	0.0	6.1	33.3	9.1
	70～74歳(N=35)	0.0	0.0	2.9	25.7	11.4
	75歳以上(N=68)	2.9	4.4	1.5	33.8	10.3
無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	7.1	1.2	0.0	44.0	2.4
	社会保険(家族)(N=28)	0.0	3.6	0.0	28.6	3.6
	国民健康保険(N=106)	3.8	1.9	1.9	24.5	10.4
	共済組合(N=17)	0.0	0.0	0.0	52.9	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	2.4	4.9	4.9	41.5	9.8
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	4.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	6.7	3.3	0.0	43.3	3.3
	65歳以上がいる(N=117)	2.6	2.6	2.6	30.8	11.1
	その他の同居家族(N=124)	5.6	3.2	0.8	33.9	7.3
	一人暮らし(N=42)	2.4	0.0	0.0	38.1	7.1
	無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	4.0	0.0	0.0	24.0	12.0
	独居高齢者以外(N=257)	3.9	2.3	1.6	36.2	6.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

(単位:%)

図表 III-46 曾於保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

曾於 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	神経 内科	小児科	精神科・ 心療内科	外科
性別	全体(N=113)	2.7	8.0	1.8	9.7	3.5	15.0	11.5	8.0
	男性(N=45)	2.2	8.9	2.2	15.6	4.4	6.7	4.4	0.0
	女性(N=67)	3.0	7.5	1.5	6.0	3.0	20.9	16.4	13.4
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	53.3	26.7	6.7
	40歳代(N=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1
	50歳代(N=17)	5.9	23.5	0.0	0.0	5.9	23.5	17.6	11.8
	60～64歳(N=13)	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7
	65～69歳(N=14)	0.0	14.3	0.0	50.0	0.0	7.1	14.3	7.1
	70～74歳(N=12)	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
	75歳以上(N=23)	4.3	8.7	0.0	13.0	8.7	0.0	8.7	8.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	2.9	8.6	0.0	2.9	0.0	20.0	2.9
社会保険(家族)(N=15)		0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	33.3	33.3	13.3
国民健康保険(N=43)		4.7	9.3	2.3	16.3	4.7	7.0	11.6	9.3
共済組合(N=5)		0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0
後期高齢者医療制度(N=13)		0.0	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7
その他(N=0)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答(N=2)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	71.4	28.6	14.3
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	38.5	15.4	7.7
	65歳以上がいる(N=54)	5.6	9.3	1.9	9.3	5.6	7.4	9.3	9.3
	その他の同居家族(N=50)	0.0	8.0	2.0	10.0	2.0	20.0	12.0	4.0
	一人暮らし(N=12)	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1
	独居高齢者以外(N=102)	2.9	8.8	2.0	8.8	3.9	16.7	11.8	7.8
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-47 曾於保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

曾於 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
性別	全体(N=113)	8.8	3.5	15.9	4.4	8.0	6.2	20.4	27.4
	男性(N=45)	11.1	2.2	17.8	6.7	11.1	2.2	15.6	20.0
	女性(N=67)	7.5	4.5	14.9	3.0	6.0	9.0	23.9	32.8
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	30歳代(N=15)	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	20.0	46.7	6.7
	40歳代(N=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
	50歳代(N=17)	23.5	5.9	29.4	5.9	0.0	5.9	35.3	58.8
	60～64歳(N=13)	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	30.8
	65～69歳(N=14)	0.0	7.1	28.6	7.1	21.4	7.1	14.3	28.6
	70～74歳(N=12)	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	33.3
	75歳以上(N=23)	8.7	4.3	17.4	0.0	13.0	0.0	4.3	34.8
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	2.9	5.7	8.6	8.6	2.9	5.7	17.1	28.6
	社会保険(家族)(N=15)	20.0	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3	46.7	13.3
	国民健康保険(N=43)	14.0	0.0	20.9	4.7	9.3	2.3	14.0	30.2
	共済組合(N=5)	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	40.0	60.0	40.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0	7.7	30.8
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	15.4	7.7	0.0	15.4	23.1	38.5	7.7
	65歳以上がいる(N=54)	7.4	5.6	18.5	7.4	9.3	3.7	14.8	27.8
	その他の同居家族(N=50)	14.0	2.0	20.0	2.0	8.0	8.0	30.0	28.0
	一人暮らし(N=12)	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	33.3
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	36.4
	独居高齢者以外(N=102)	8.8	2.9	16.7	4.9	7.8	6.9	21.6	26.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-48 曾於保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

曾於 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=113)	10.6	4.4	22.1	5.3	5.3	3.5	2.7	2.7
性別	男性(N=45)	2.2	2.2	13.3	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0
	女性(N=67)	16.4	6.0	28.4	7.5	4.5	4.5	4.5	4.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	6.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=17)	11.8	0.0	35.3	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9
	60～64歳(N=13)	23.1	7.7	30.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	70～74歳(N=12)	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	75歳以上(N=23)	13.0	8.7	21.7	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	8.6	2.9	20.0	5.7	5.7	2.9	2.9	5.7
	社会保険(家族)(N=15)	13.3	6.7	26.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	7.0	4.7	20.9	7.0	4.7	2.3	4.7	2.3
	共済組合(N=5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	23.1	7.7	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=54)	9.3	5.6	22.2	5.6	9.3	5.6	5.6	3.7
	その他の同居家族(N=50)	10.0	2.0	32.0	4.0	2.0	4.0	0.0	2.0
	一人暮らし(N=12)	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=102)	9.8	3.9	23.5	4.9	5.9	3.9	2.9	2.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-49 曾於保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

曾於 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
全体(N=113)		0.9	0.9	1.8	21.2	10.6
性別	男性(N=45)	0.0	0.0	0.0	26.7	13.3
	女性(N=67)	1.5	1.5	3.0	17.9	7.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	30歳代(N=15)	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7
	40歳代(N=14)	0.0	0.0	7.1	42.9	21.4
	50歳代(N=17)	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9
	60～64歳(N=13)	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0
	65～69歳(N=14)	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4
	70～74歳(N=12)	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3
	75歳以上(N=23)	0.0	0.0	0.0	21.7	13.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	0.0	0.0	2.9	28.6	11.4
	社会保険(家族)(N=15)	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7
	国民健康保険(N=43)	0.0	2.3	2.3	16.3	14.0
	共済組合(N=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0
	65歳以上がいる(N=54)	0.0	0.0	1.9	18.5	14.8
	その他の同居家族(N=50)	2.0	2.0	2.0	24.0	4.0
	一人暮らし(N=12)	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	0.0	0.0	0.0	18.2	27.3
	独居高齢者以外(N=102)	1.0	1.0	2.0	21.6	8.8
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-50 肝属保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

肝属 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=239)	8.4	5.4	6.3	7.9	6.7	9.2	9.6	5.9
	男性(N=109)	8.3	7.3	9.2	10.1	7.3	8.3	11.0	9.2
	女性(N=121)	8.3	3.3	4.1	6.6	6.6	10.7	9.1	3.3
	無回答(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=16)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0
	30歳代(N=16)	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8	12.5	6.3
	40歳代(N=29)	10.3	6.9	3.4	0.0	3.4	13.8	13.8	6.9
	50歳代(N=33)	6.1	6.1	9.1	12.1	6.1	15.2	18.2	9.1
	60～64歳(N=33)	6.1	3.0	6.1	3.0	9.1	6.1	12.1	6.1
	65～69歳(N=28)	10.7	10.7	10.7	21.4	14.3	10.7	10.7	14.3
	70～74歳(N=42)	7.1	4.8	9.5	9.5	7.1	4.8	2.4	0.0
	75歳以上(N=33)	9.1	6.1	6.1	12.1	3.0	6.1	6.1	6.1
	無回答(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	6.5	3.2	4.8	4.8	4.8	12.9	17.7	4.8
	社会保険(家族)(N=27)	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	0.0
	国民健康保険(N=104)	9.6	7.7	10.6	10.6	12.5	9.6	7.7	7.7
	共済組合(N=19)	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	5.3	5.3
	後期高齢者医療制度(N=17)	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	17.9	14.3	3.6
	65歳以上がいる(N=89)	10.1	9.0	6.7	15.7	6.7	10.1	6.7	6.7
	その他の同居家族(N=98)	9.2	3.1	7.1	4.1	7.1	8.2	8.2	6.1
	一人暮らし(N=50)	8.0	4.0	4.0	2.0	8.0	4.0	8.0	6.0
	無回答(N=3)	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	4.0	4.0	8.0	4.0	8.0	8.0	4.0	4.0
	独居高齢者以外(N=214)	8.9	5.6	6.1	8.4	6.5	9.3	10.3	6.1
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-51 肝属保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

肝属 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
	全体(N=239)	14.2	8.4	12.1	7.1	7.9	5.0	21.8	28.0
性別	男性(N=109)	11.0	5.5	18.3	8.3	8.3	5.5	17.4	30.3
	女性(N=121)	18.2	11.6	7.4	6.6	8.3	5.0	26.4	27.3
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
年齢別	20歳代(N=16)	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	25.0	12.5
	30歳代(N=16)	12.5	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	43.8	18.8
	40歳代(N=29)	6.9	24.1	6.9	6.9	3.4	3.4	37.9	13.8
	50歳代(N=33)	21.2	9.1	9.1	12.1	12.1	12.1	24.2	33.3
	60～64歳(N=33)	6.1	6.1	12.1	12.1	12.1	6.1	27.3	39.4
	65～69歳(N=28)	21.4	7.1	21.4	10.7	17.9	7.1	21.4	28.6
	70～74歳(N=42)	9.5	2.4	11.9	2.4	7.1	0.0	4.8	26.2
	75歳以上(N=33)	33.3	6.1	24.2	3.0	3.0	3.0	12.1	42.4
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	16.1	16.1	11.3	12.9	8.1	4.8	33.9	24.2
	社会保険(家族)(N=27)	7.4	0.0	0.0	3.7	7.4	7.4	22.2	14.8
	国民健康保険(N=104)	14.4	7.7	13.5	7.7	8.7	5.8	11.5	33.7
	共済組合(N=19)	10.5	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	42.1	15.8
	後期高齢者医療制度(N=17)	29.4	5.9	35.3	0.0	11.8	5.9	23.5	52.9
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	7.1	14.3	3.6	7.1	0.0	3.6	35.7	14.3
	65歳以上がいる(N=89)	22.5	6.7	16.9	5.6	12.4	5.6	20.2	41.6
	その他の同居家族(N=98)	9.2	10.2	10.2	9.2	6.1	6.1	22.4	22.4
	一人暮らし(N=50)	12.0	8.0	6.0	4.0	2.0	0.0	10.0	20.0
	無回答(N=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7
高齢者別	独居高齢者(N=25)	20.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	28.0
	独居高齢者以外(N=214)	13.6	8.4	12.6	7.5	8.9	5.6	24.3	28.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-52 肝属保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

肝属 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
	全体(N=239)	24.3	4.2	22.2	6.3	4.2	2.9	3.8	2.1
性別	男性(N=109)	24.8	4.6	22.9	8.3	6.4	2.8	6.4	2.8
	女性(N=121)	23.1	3.3	21.5	4.1	2.5	2.5	1.7	1.7
	無回答(N=9)	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=16)	18.8	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=16)	31.3	6.3	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	40歳代(N=29)	24.1	0.0	17.2	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0
	50歳代(N=33)	27.3	6.1	30.3	6.1	6.1	9.1	6.1	3.0
	60～64歳(N=33)	21.2	3.0	24.2	9.1	9.1	0.0	6.1	0.0
	65～69歳(N=28)	25.0	7.1	25.0	14.3	14.3	3.6	10.7	10.7
	70～74歳(N=42)	14.3	0.0	11.9	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
	75歳以上(N=33)	33.3	6.1	24.2	9.1	3.0	3.0	3.0	0.0
	無回答(N=9)	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	30.6	4.8	25.8	1.6	3.2	1.6	1.6	1.6
	社会保険(家族)(N=27)	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=104)	23.1	3.8	22.1	10.6	6.7	2.9	6.7	3.8
	共済組合(N=19)	15.8	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	後期高齢者医療制度(N=17)	41.2	5.9	29.4	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	44.4	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	21.4	0.0	25.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=89)	24.7	5.6	30.3	10.1	5.6	5.6	5.6	3.4
	その他の同居家族(N=98)	23.5	4.1	17.3	2.0	2.0	0.0	4.1	2.0
	一人暮らし(N=50)	26.0	2.0	18.0	8.0	6.0	4.0	4.0	0.0
	無回答(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	32.0	0.0	12.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=214)	23.4	4.7	23.4	6.5	4.2	2.8	4.2	2.3
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-53 肝属保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

肝属 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
	全体(N=239)	5.9	2.9	1.3	26.8	5.9
性別	男性(N=109)	5.5	5.5	0.9	29.4	2.8
	女性(N=121)	6.6	0.8	1.7	24.8	7.4
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2
年齢別	20歳代(N=16)	0.0	6.3	0.0	37.5	0.0
	30歳代(N=16)	12.5	0.0	6.3	18.8	0.0
	40歳代(N=29)	3.4	0.0	3.4	27.6	0.0
	50歳代(N=33)	6.1	3.0	0.0	30.3	0.0
	60～64歳(N=33)	6.1	0.0	3.0	21.2	6.1
	65～69歳(N=28)	7.1	7.1	0.0	28.6	10.7
	70～74歳(N=42)	4.8	2.4	0.0	26.2	14.3
	75歳以上(N=33)	9.1	6.1	0.0	27.3	3.0
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	3.2	3.2	3.2	22.6	3.2
	社会保険(家族)(N=27)	7.4	0.0	0.0	37.0	14.8
	国民健康保険(N=104)	7.7	3.8	0.0	26.9	5.8
	共済組合(N=19)	5.3	0.0	5.3	47.4	0.0
	後期高齢者医療制度(N=17)	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	0.0	0.0	3.6	21.4	0.0
	65歳以上がいる(N=89)	9.0	4.5	0.0	24.7	10.1
	その他の同居家族(N=98)	4.1	4.1	1.0	25.5	7.1
	一人暮らし(N=50)	6.0	0.0	2.0	34.0	4.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	8.0	0.0	0.0	24.0	8.0
	独居高齢者以外(N=214)	5.6	3.3	1.4	27.1	5.6
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-54 熊毛保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

熊毛 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	小児科	精神科・心療内科	外科
性別	全体(N=118)	13.6	14.4	10.2	13.6	9.3	11.9	14.4	16.9
	男性(N=51)	17.6	19.6	15.7	19.6	17.6	15.7	15.7	21.6
	女性(N=64)	9.4	7.8	4.7	7.8	1.6	9.4	12.5	12.5
	無回答(N=3)	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
年齢別	20歳代(N=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	30歳代(N=9)	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1
	40歳代(N=14)	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	28.6	28.6	7.1
	50歳代(N=21)	4.8	28.6	14.3	19.0	9.5	9.5	14.3	23.8
	60～64歳(N=8)	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	25.0
	65～69歳(N=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	7.1
	70～74歳(N=19)	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	15.8
	75歳以上(N=25)	20.0	16.0	16.0	28.0	12.0	4.0	4.0	20.0
	無回答(N=3)	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	15.8	18.4	18.4	15.8	10.5	21.1	28.9	21.1
	社会保険(家族)(N=11)	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1
	国民健康保険(N=49)	14.3	4.1	4.1	8.2	6.1	2.0	4.1	14.3
	共済組合(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	11.1	33.3	22.2	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答(N=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	10.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	18.2	27.3
	65歳以上がいる(N=49)	14.3	10.2	10.2	12.2	14.3	4.1	14.3	12.2
	その他の同居家族(N=52)	15.4	15.4	7.7	9.6	5.8	17.3	15.4	19.2
	一人暮らし(N=18)	11.1	16.7	11.1	22.2	5.6	11.1	11.1	16.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	独居高齢者以外(N=108)	13.9	15.7	11.1	13.0	10.2	13.0	15.7	17.6
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-55 熊毛保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

熊毛 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
性別	全体(N=118)	31.4	15.3	21.2	9.3	21.2	8.5	16.1	39.0
	男性(N=51)	35.3	13.7	29.4	13.7	23.5	9.8	13.7	41.2
	女性(N=64)	29.7	17.2	14.1	3.1	17.2	6.3	18.8	37.5
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3
年齢別	20歳代(N=5)	80.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
	30歳代(N=9)	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3
	40歳代(N=14)	28.6	42.9	21.4	7.1	7.1	0.0	50.0	50.0
	50歳代(N=21)	38.1	14.3	14.3	4.8	23.8	9.5	14.3	57.1
	60～64歳(N=8)	50.0	25.0	37.5	12.5	37.5	12.5	37.5	37.5
	65～69歳(N=14)	21.4	0.0	21.4	7.1	21.4	14.3	0.0	35.7
	70～74歳(N=19)	26.3	10.5	5.3	10.5	15.8	5.3	0.0	52.6
	75歳以上(N=25)	28.0	8.0	32.0	8.0	28.0	4.0	4.0	16.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	36.8	23.7	28.9	10.5	21.1	10.5	28.9	47.4
	社会保険(家族)(N=11)	54.5	18.2	18.2	0.0	9.1	9.1	27.3	81.8
	国民健康保険(N=49)	24.5	10.2	14.3	6.1	20.4	4.1	4.1	28.6
	共済組合(N=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	33.3	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	20.0	0.0	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0	20.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	50.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	63.6	81.8
	65歳以上がいる(N=49)	26.5	10.2	14.3	10.2	24.5	6.1	4.1	32.7
	その他の同居家族(N=52)	34.6	19.2	26.9	3.8	15.4	7.7	21.2	46.2
	一人暮らし(N=18)	33.3	16.7	22.2	16.7	27.8	11.1	16.7	33.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	20.0
	独居高齢者以外(N=108)	32.4	15.7	22.2	9.3	21.3	8.3	17.6	40.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-56 熊毛保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

熊毛 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
性別	全体(N=118)	33.9	7.6	39.8	15.3	10.2	9.3	6.8	4.2
	男性(N=51)	37.3	9.8	33.3	25.5	13.7	7.8	9.8	7.8
	女性(N=64)	29.7	6.3	43.8	7.8	7.8	9.4	4.7	1.6
	無回答(N=3)	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	30歳代(N=9)	22.2	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	50.0	7.1	57.1	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1
	50歳代(N=21)	42.9	4.8	52.4	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8
	60～64歳(N=8)	37.5	12.5	62.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
	65～69歳(N=14)	21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=19)	36.8	10.5	36.8	10.5	15.8	10.5	10.5	0.0
	75歳以上(N=25)	20.0	8.0	24.0	28.0	12.0	8.0	4.0	4.0
無回答(N=3)	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	39.5	10.5	55.3	18.4	10.5	10.5	10.5	10.5
	社会保険(家族)(N=11)	63.6	0.0	45.5	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0
	国民健康保険(N=49)	24.5	8.2	26.5	10.2	12.2	10.2	4.1	0.0
	共済組合(N=5)	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	22.2	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1
	その他(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	30.0	0.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	63.6	9.1	81.8	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1
	65歳以上がいる(N=49)	36.7	8.2	32.7	16.3	12.2	6.1	2.0	2.0
	その他の同居家族(N=52)	34.6	3.8	48.1	13.5	5.8	5.8	7.7	3.8
	一人暮らし(N=18)	22.2	11.1	27.8	5.6	11.1	22.2	11.1	5.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	0.0	10.0	30.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	独居高齢者以外(N=108)	37.0	7.4	40.7	16.7	10.2	8.3	6.5	4.6
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-57 熊毛保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

熊毛 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
全体(N=118)		21.2	5.9	5.9	6.8	2.5
性別	男性(N=51)	21.6	2.0	3.9	5.9	0.0
	女性(N=64)	21.9	7.8	7.8	7.8	4.7
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	42.9	7.1	0.0	7.1	0.0
	50歳代(N=21)	28.6	4.8	9.5	4.8	0.0
	60～64歳(N=8)	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	65～69歳(N=14)	21.4	0.0	0.0	21.4	0.0
	70～74歳(N=19)	15.8	5.3	10.5	0.0	0.0
	75歳以上(N=25)	8.0	8.0	4.0	8.0	12.0
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	23.7	2.6	2.6	5.3	0.0
	社会保険(家族)(N=11)	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0
	国民健康保険(N=49)	20.4	6.1	6.1	8.2	4.1
	共済組合(N=5)	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	50.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=49)	16.3	4.1	8.2	6.1	4.1
	その他の同居家族(N=52)	23.1	3.8	5.8	9.6	0.0
	一人暮らし(N=18)	27.8	16.7	5.6	11.1	5.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	独居高齢者以外(N=108)	22.2	5.6	5.6	6.5	1.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-58 奄美保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4

奄美 保健医療圏 1/4		内科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	神経 内科	小児科	精神科・ 心療内科	外科
性別	全体(N=305)	9.2	9.2	8.5	12.8	8.2	15.4	13.8	10.5
	男性(N=128)	11.7	10.2	7.8	12.5	9.4	17.2	15.6	9.4
	女性(N=171)	7.0	7.6	8.2	12.3	5.8	13.5	11.1	10.5
	無回答(N=6)	16.7	33.3	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0	33.3
年齢別	20歳代(N=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	30歳代(N=30)	6.7	3.3	0.0	3.3	6.7	40.0	10.0	3.3
	40歳代(N=41)	9.8	12.2	14.6	12.2	9.8	24.4	26.8	14.6
	50歳代(N=46)	17.4	4.3	6.5	8.7	8.7	17.4	10.9	10.9
	60～64歳(N=34)	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9	14.7	11.8	8.8
	65～69歳(N=41)	4.9	7.3	12.2	19.5	9.8	17.1	17.1	22.0
	70～74歳(N=45)	4.4	11.1	8.9	11.1	2.2	4.4	6.7	4.4
	75歳以上(N=56)	14.3	10.7	7.1	16.1	10.7	3.6	10.7	8.9
	無回答(N=5)	0.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	8.6	7.4	9.9	14.8	11.1	19.8	17.3	8.6
	社会保険(家族)(N=23)	8.7	8.7	4.3	8.7	13.0	26.1	21.7	17.4
	国民健康保険(N=130)	7.7	10.8	7.7	14.6	3.8	10.0	10.0	10.0
	共済組合(N=32)	9.4	3.1	9.4	3.1	3.1	28.1	9.4	9.4
	後期高齢者医療制度(N=29)	17.2	10.3	6.9	13.8	17.2	6.9	17.2	10.3
	その他(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	無回答(N=8)	0.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	3.7	3.7	3.7	7.4	14.8	51.9	14.8	3.7
	小学生・中学生がいる(N=47)	6.4	4.3	4.3	6.4	8.5	38.3	19.1	6.4
	65歳以上がいる(N=106)	9.4	10.4	6.6	14.2	8.5	7.5	13.2	12.3
	その他の同居家族(N=120)	5.8	8.3	5.8	10.8	7.5	15.8	18.3	10.8
	一人暮らし(N=66)	15.2	10.6	15.2	13.6	7.6	10.6	9.1	10.6
	無回答(N=3)	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=35)	14.3	8.6	14.3	14.3	2.9	2.9	2.9	11.4
	独居高齢者以外(N=269)	8.6	8.9	7.4	12.3	8.6	16.7	14.9	10.0
	無回答(N=1)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

図表 III-59 奄美保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】2/4

奄美 保健医療圏 2/4		整形外科	形成外科・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科
性別	全体(N=305)	19.3	7.9	14.1	6.9	12.8	10.8	27.5	43.9
	男性(N=128)	15.6	7.8	14.8	6.3	15.6	11.7	23.4	39.8
	女性(N=171)	21.6	7.0	12.3	5.8	9.9	9.9	31.0	47.4
	無回答(N=6)	33.3	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3
年齢別	20歳代(N=7)	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
	30歳代(N=30)	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	23.3	50.0	36.7
	40歳代(N=41)	26.8	17.1	14.6	9.8	14.6	19.5	46.3	51.2
	50歳代(N=46)	15.2	8.7	19.6	2.2	10.9	8.7	30.4	39.1
	60～64歳(N=34)	14.7	5.9	17.6	8.8	17.6	14.7	26.5	44.1
	65～69歳(N=41)	34.1	7.3	22.0	7.3	17.1	9.8	26.8	51.2
	70～74歳(N=45)	22.2	6.7	8.9	6.7	13.3	6.7	13.3	44.4
	75歳以上(N=56)	14.3	7.1	10.7	8.9	14.3	1.8	14.3	44.6
無回答(N=5)	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	13.6	8.6	14.8	6.2	12.3	16.0	34.6	44.4
	社会保険(家族)(N=23)	26.1	4.3	13.0	4.3	13.0	13.0	34.8	43.5
	国民健康保険(N=130)	25.4	6.9	13.8	5.4	14.6	7.7	23.8	45.4
	共済組合(N=32)	12.5	6.3	9.4	3.1	3.1	15.6	37.5	40.6
	後期高齢者医療制度(N=29)	13.8	10.3	17.2	17.2	17.2	3.4	13.8	48.3
	その他(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	無回答(N=8)	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	11.1	7.4	14.8	3.7	7.4	33.3	51.9	40.7
	小学生・中学生がいる(N=47)	14.9	10.6	10.6	0.0	8.5	19.1	40.4	53.2
	65歳以上がいる(N=106)	21.7	7.5	13.2	8.5	16.0	7.5	21.7	49.1
	その他の同居家族(N=120)	25.8	8.3	16.7	5.0	13.3	13.3	29.2	37.5
	一人暮らし(N=66)	16.7	9.1	13.6	10.6	12.1	9.1	24.2	45.5
	無回答(N=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=35)	22.9	5.7	8.6	5.7	11.4	0.0	8.6	48.6
	独居高齢者以外(N=269)	18.6	7.8	14.5	6.7	12.6	11.9	29.7	43.1
	無回答(N=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

図表 III-60 奄美保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4

奄美 保健医療圏 3/4		耳鼻いんとう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
性別	全体(N=305)	38.4	6.6	30.5	11.8	7.9	10.5	5.2	5.9
	男性(N=128)	35.9	6.3	28.1	15.6	10.9	10.9	7.0	7.0
	女性(N=171)	40.4	5.3	31.6	8.8	5.3	9.9	3.5	4.7
	無回答(N=6)	33.3	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
年齢別	20歳代(N=7)	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
	30歳代(N=30)	43.3	0.0	40.0	3.3	0.0	3.3	0.0	3.3
	40歳代(N=41)	51.2	12.2	41.5	22.0	17.1	12.2	12.2	17.1
	50歳代(N=46)	50.0	4.3	34.8	10.9	10.9	8.7	4.3	4.3
	60～64歳(N=34)	35.3	5.9	35.3	8.8	5.9	14.7	5.9	5.9
	65～69歳(N=41)	43.9	4.9	19.5	17.1	12.2	12.2	7.3	7.3
	70～74歳(N=45)	40.0	4.4	33.3	8.9	2.2	11.1	2.2	2.2
	75歳以上(N=56)	19.6	8.9	16.1	10.7	5.4	7.1	3.6	1.8
	無回答(N=5)	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	40.7	7.4	34.6	14.8	12.3	11.1	7.4	9.9
	社会保険(家族)(N=23)	52.2	4.3	43.5	8.7	8.7	13.0	4.3	4.3
	国民健康保険(N=130)	36.2	5.4	29.2	12.3	5.4	10.8	3.8	4.6
	共済組合(N=32)	50.0	0.0	28.1	9.4	6.3	9.4	3.1	3.1
	後期高齢者医療制度(N=29)	24.1	13.8	20.7	6.9	6.9	6.9	6.9	3.4
	その他(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	55.6	7.4	37.0	18.5	11.1	11.1	7.4	7.4
	小学生・中学生がいる(N=47)	61.7	6.4	36.2	14.9	8.5	6.4	4.3	8.5
	65歳以上がいる(N=106)	34.0	6.6	26.4	10.4	7.5	14.2	4.7	5.7
	その他の同居家族(N=120)	42.5	7.5	29.2	12.5	8.3	8.3	6.7	5.8
	一人暮らし(N=66)	33.3	9.1	30.3	15.2	9.1	12.1	6.1	7.6
	無回答(N=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=35)	22.9	5.7	22.9	14.3	2.9	5.7	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=269)	40.1	6.3	31.2	11.2	8.2	10.8	5.6	6.3
	無回答(N=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

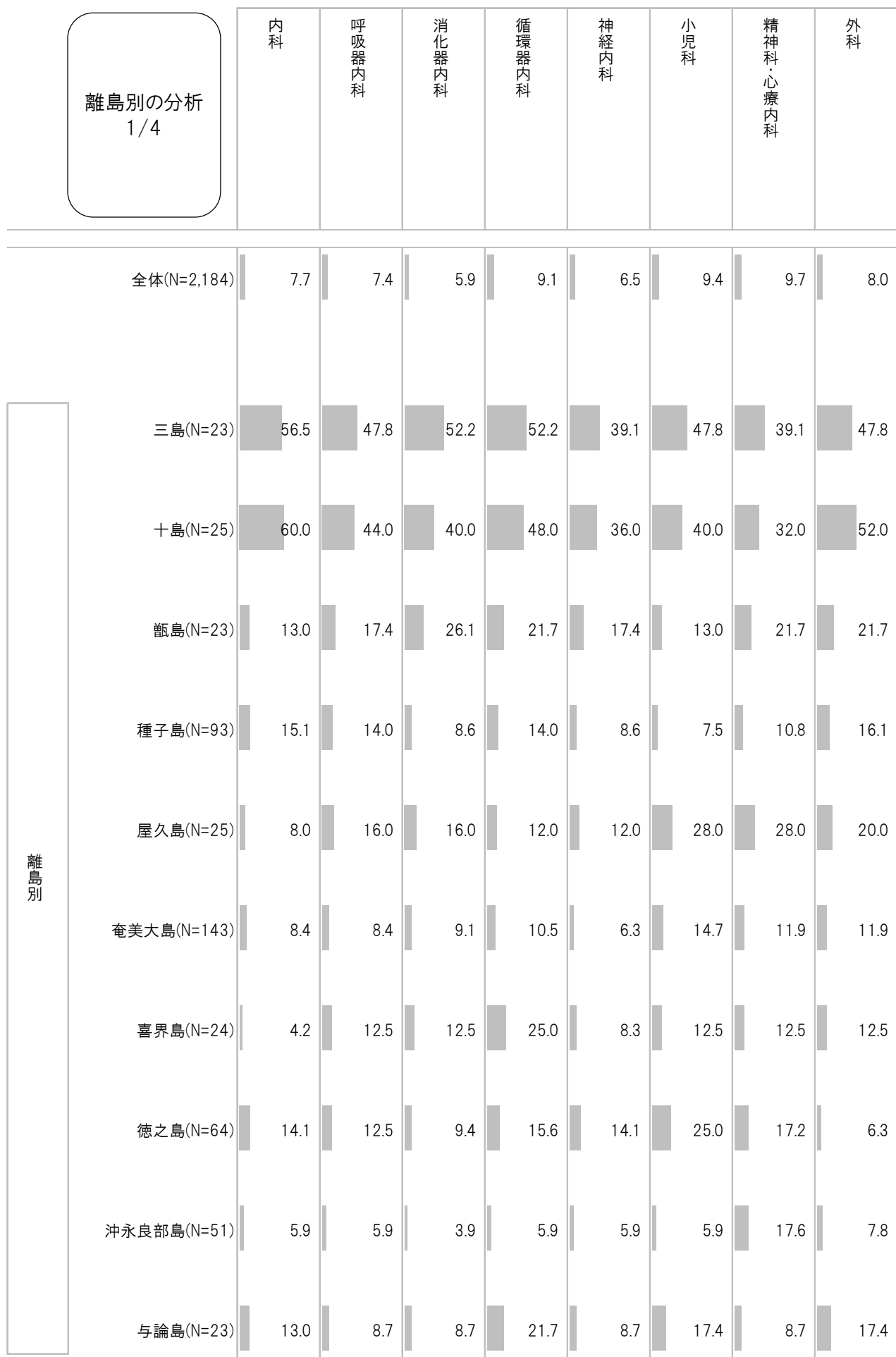
(単位：%)

図表 III-61 奄美保健医療圏 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4

奄美 保健医療圏 4/4		歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答
全体(N=305)		13.8	6.6	0.7	17.4	5.2
性別	男性(N=128)	12.5	9.4	0.8	14.1	7.8
	女性(N=171)	15.2	4.7	0.6	19.3	2.9
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
年齢別	20歳代(N=7)	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	30歳代(N=30)	23.3	3.3	0.0	23.3	0.0
	40歳代(N=41)	22.0	9.8	2.4	7.3	0.0
	50歳代(N=46)	10.9	4.3	2.2	15.2	4.3
	60～64歳(N=34)	14.7	8.8	0.0	23.5	8.8
	65～69歳(N=41)	9.8	7.3	0.0	14.6	2.4
	70～74歳(N=45)	8.9	4.4	0.0	20.0	6.7
	75歳以上(N=56)	10.7	8.9	0.0	19.6	10.7
	無回答(N=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	17.3	4.9	1.2	17.3	3.7
	社会保険(家族)(N=23)	13.0	8.7	0.0	13.0	4.3
	国民健康保険(N=130)	11.5	6.2	0.8	16.9	5.4
	共済組合(N=32)	18.8	3.1	0.0	12.5	3.1
	後期高齢者医療制度(N=29)	13.8	13.8	0.0	24.1	3.4
	その他(N=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	18.5	3.7	0.0	11.1	0.0
	小学生・中学生がいる(N=47)	19.1	4.3	0.0	6.4	2.1
	65歳以上がいる(N=106)	11.3	8.5	0.0	15.1	4.7
	その他の同居家族(N=120)	17.5	5.0	1.7	18.3	5.0
	一人暮らし(N=66)	10.6	7.6	0.0	22.7	4.5
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=35)	8.6	2.9	0.0	25.7	8.6
	独居高齢者以外(N=269)	14.5	7.1	0.7	16.4	4.8
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

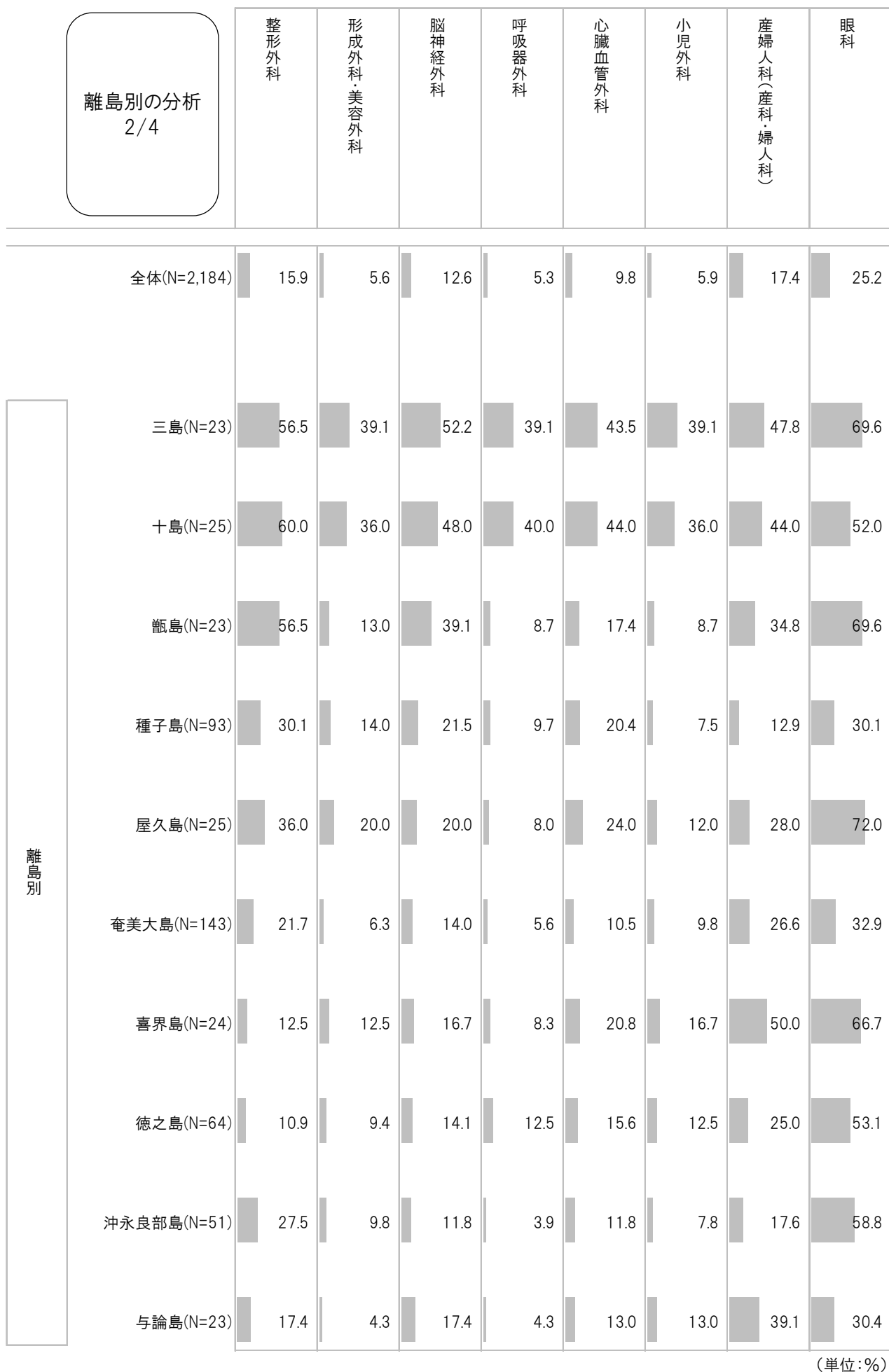
(単位:%)

図表 III-62 離島別の分析 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】1/4



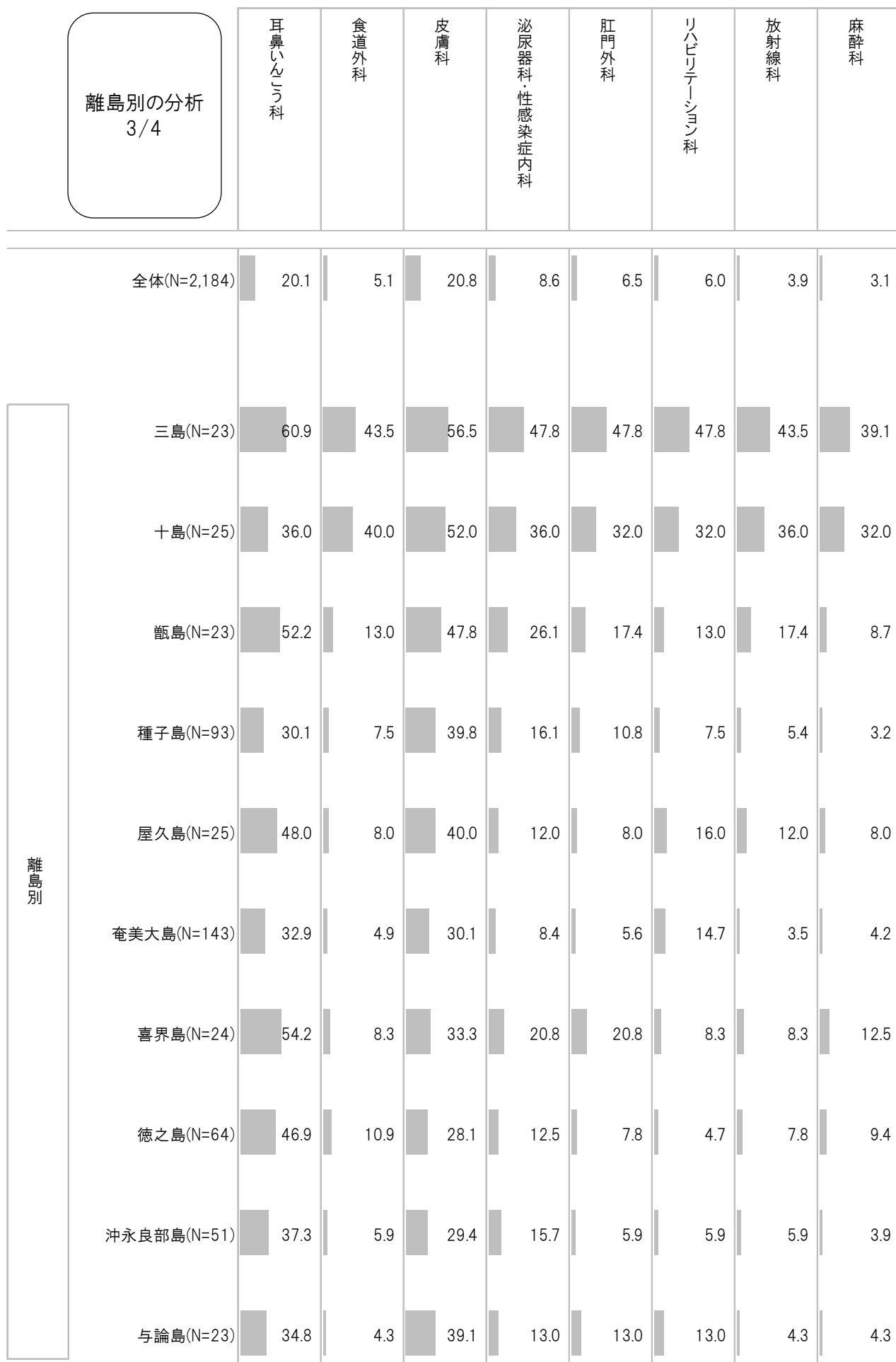
(単位:%)

図表 III-63 離島別の分析 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 2/4



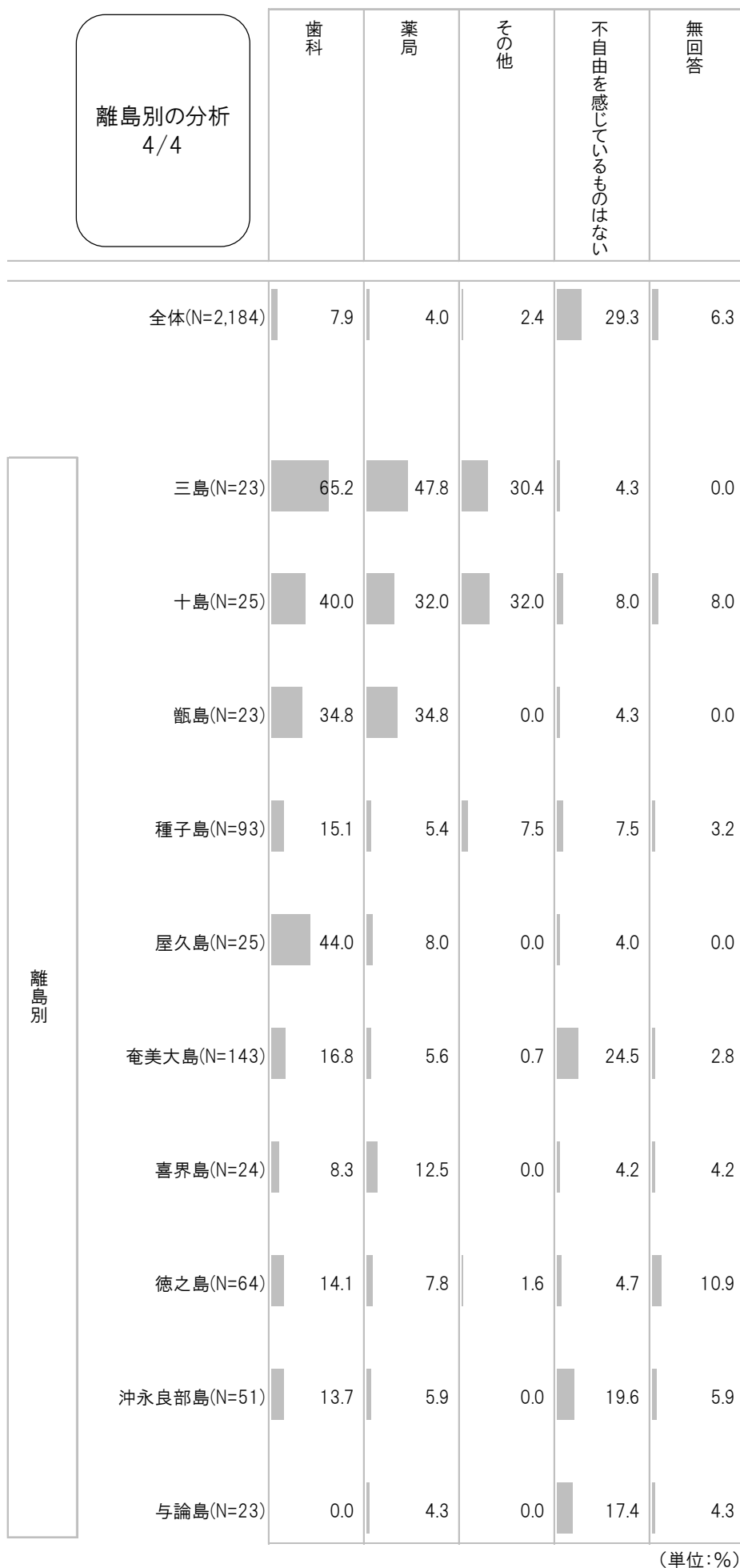
(単位:%)

図表 III-64 離島別の分析 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 3/4



(単位:%)

図表 III-65 離島別の分析 地域で不自由を感じている診療科目・複数回答【加重集計前・属性別】 4/4



(単位:%)

5. 歯科医療と歯科保健

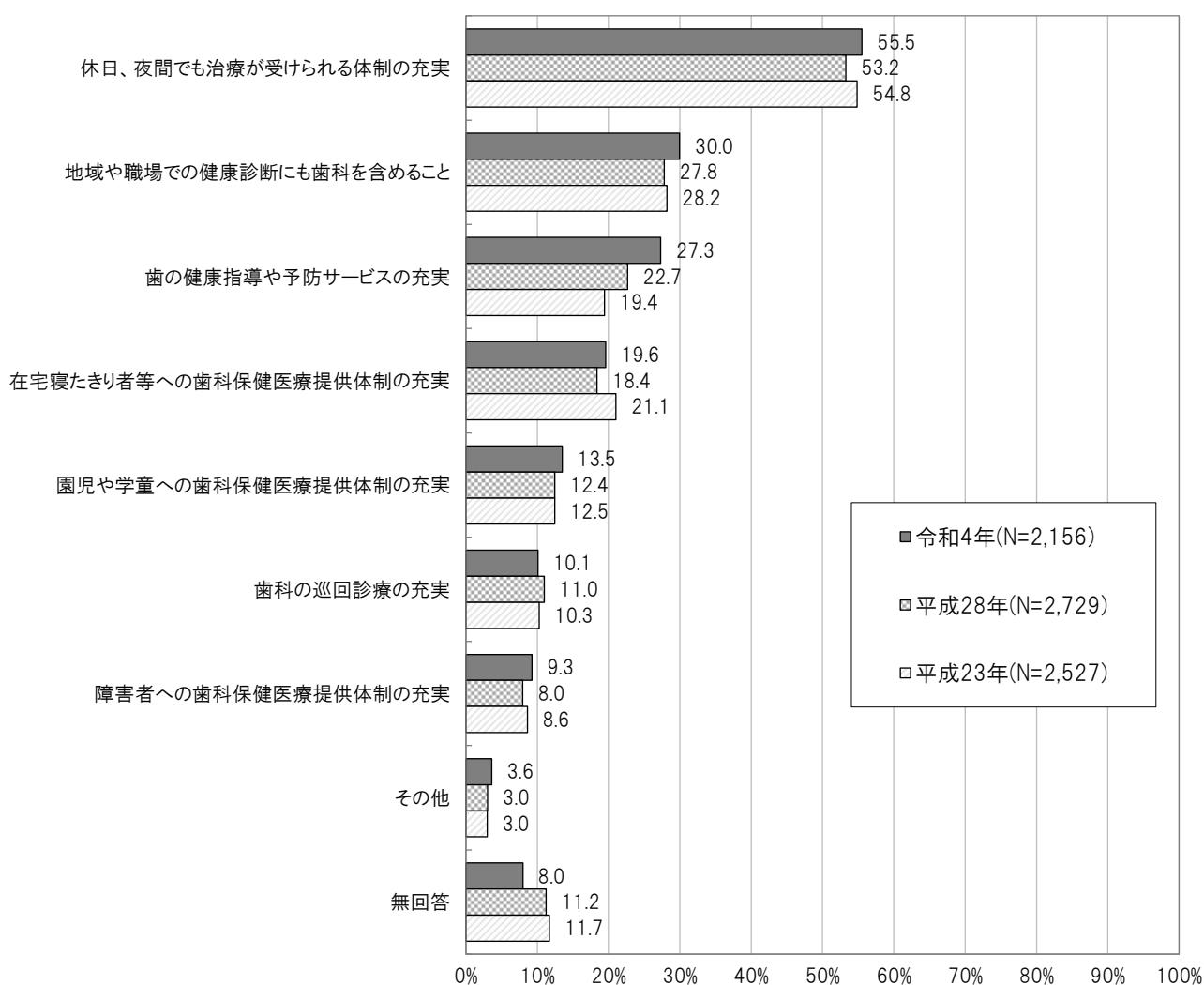
問7 歯科医療や歯科保健について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

ア. 全体の分析

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(55.5%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(30.0%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(27.3%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「歯の健康指導や予防サービスの充実」は増加傾向がみられ、平成28年調査と比較して7.9ポイント増加している。

図表 III-66 歯科医療と歯科保健・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が約6割となっている。また、「川薩保健医療圏」、「始良・伊佐保健医療圏」、「肝属保健医療圏」、「熊本保健医療圏」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」が3割を超えている。

性別にみると、女性は男性より「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が8.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」は低くなる傾向がみられた。また、30歳代は「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(31.7%)で他の年代より8ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」は「社会保険(本人)」では6割を超えているが、「後期高齢者医療制度」では約4割となっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」と「その他の同居家族」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が約6割となっている。また、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が3割を超えており、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(41.0%)が最も高いが、「独居高齢者以外」より14.0ポイント低くなっている。

図表 III-67 歯科医療と歯科保健・複数回答【属性別】

	地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービス の充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答	
全体(N=2,156)	30.0	27.3	55.5	9.3	19.6	13.5	10.1	3.6	8.0	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	29.6	29.5	57.2	9.4	21.1	13.3	10.4	3.0	6.9
	南薩保健医療圏(N=174)	26.7	25.9	52.6	7.8	20.1	12.0	9.5	4.7	12.7
	川薩保健医療圏(N=152)	31.1	20.6	60.3	7.8	19.8	9.8	9.8	4.5	10.2
	出水保健医療圏(N=111)	22.6	20.5	52.7	11.7	19.5	13.9	8.3	4.1	10.6
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	31.6	26.3	53.4	7.1	13.7	14.0	10.6	3.7	6.8
	曾於保健医療圏(N=104)	27.3	27.5	53.0	6.6	19.7	14.2	5.8	4.1	9.2
	肝属保健医療圏(N=202)	37.0	29.8	55.7	11.2	20.9	16.3	9.2	3.1	6.7
	熊本保健医療圏(N=55)	30.2	24.9	54.6	8.4	20.1	13.0	16.5	8.2	6.6
	奄美保健医療圏(N=142)	29.3	27.1	51.7	14.4	19.7	14.8	11.8	3.9	8.7
性別	男性(N=943)	30.4	27.9	56.0	9.0	14.5	12.4	12.0	4.5	7.5
	女性(N=1,190)	30.7	26.6	52.9	9.7	23.2	14.5	11.9	3.4	8.7
	無回答(N=51)	17.6	19.6	27.5	3.9	19.6	9.8	13.7	3.9	23.5
年齢別	20歳代(N=108)	52.8	21.3	56.5	7.4	8.3	20.4	12.0	2.8	1.9
	30歳代(N=186)	40.3	30.6	58.6	10.2	7.5	31.7	7.0	3.8	2.2
	40歳代(N=291)	35.1	25.8	59.5	12.0	14.8	23.0	11.0	2.7	3.1
	50歳代(N=328)	31.1	25.6	64.6	11.3	23.8	11.6	12.8	3.7	4.6
	60～64歳(N=223)	28.3	23.3	61.9	10.3	19.7	10.8	9.9	5.8	3.1
	65～69歳(N=247)	27.9	35.2	57.5	8.1	17.4	9.3	8.9	0.8	7.3
	70～74歳(N=288)	27.1	28.8	45.8	6.6	20.5	9.7	13.5	5.6	12.8
	75歳以上(N=473)	22.8	26.0	40.2	8.7	26.2	5.7	15.9	4.9	18.2
無回答(N=40)	17.5	15.0	35.0	2.5	22.5	15.0	10.0	2.5	22.5	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	36.2	25.1	63.9	9.3	16.5	16.8	9.7	2.1	3.7
	社会保険(家族)(N=223)	33.6	30.0	56.1	10.3	19.3	19.3	10.8	2.7	4.9
	国民健康保険(N=795)	25.8	28.9	50.1	9.3	20.1	10.1	11.2	5.0	10.8
	共済組合(N=161)	37.3	25.5	57.1	8.1	16.1	21.1	14.3	4.3	3.1
	後期高齢者医療制度(N=269)	23.4	26.4	40.5	8.9	26.0	6.7	19.3	5.6	15.2
	その他(N=9)	44.4	22.2	44.4	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	11.1
無回答(N=59)	20.3	18.6	27.1	6.8	18.6	10.2	11.9	5.1	30.5	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	41.9	30.8	50.6	7.6	6.4	39.0	8.1	2.3	3.5
	小学生・中学生がいる(N=264)	35.2	26.1	58.3	14.4	14.8	31.8	12.1	3.0	3.0
	65歳以上がいる(N=838)	28.9	30.0	49.8	10.4	22.8	9.9	13.0	4.1	10.0
	その他の同居家族(N=934)	32.1	27.4	59.1	9.5	17.8	14.9	11.0	3.0	6.3
	一人暮らし(N=381)	27.3	22.3	49.1	7.6	22.3	7.9	16.3	5.2	10.2
	無回答(N=39)	17.9	23.1	35.9	5.1	17.9	7.7	7.7	2.6	30.8
高齢者別	独居高齢者(N=210)	20.5	24.3	41.0	4.8	24.8	2.9	17.1	5.2	14.8
	独居高齢者以外(N=1,968)	31.4	27.3	55.0	9.8	18.8	14.6	11.5	3.8	7.9
	無回答(N=6)	16.7	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7

(単位:%)

イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P.108・図表 III-68)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(55.0%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(29.9%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(29.5%)の順となっている。

性別にみると、女性は男性より「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が12.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」と「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」は低くなる傾向がみられた。50歳代では「歯の健康指導や予防サービスの充実」が他の年代より低くなっている。また、75歳以上では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が3割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「歯の健康指導や予防サービスの充実」(21.9%)、「後期高齢者医療制度」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(21.4%)と「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(38.1%)が他の健康保険より低くなっている。

同居状況別にみると、「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」は、「就学前の子どもがいる」で33.3%、「小学生・中学生がいる」で31.8%となっており、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(46.3%)が最も高いが、「独居高齢者以外」より9.6ポイント低くなっている。

南薩保健医療圏 (P.109・図表 III-69)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(53.9%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(25.8%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(25.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「歯の健康指導や予防サービスの充実」(30.0%)が女性より8.9ポイント高く、女性は「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(24.4%)が男性より10.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30～69歳以下では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で6割を超えており、特に30歳代と60～64歳では7割を超えている。また、60～64歳では「障害者への歯科保健医療提供体制の充実」が他の年代より高くなっている一方で、「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」は他の年代より低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で9割弱となっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「その他の同居家族」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で6割を超えている。また、「小学生・中学生がいる」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(40.0%)は他の同居状況より23ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」、「独居高齢者以外」とも「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が最も高く約5割となっている。「独居高齢者」は「歯科の巡回診療の充実」(19.0%)が「独居高齢者以外」より10.7ポイント高くなっている。

川薩保健医療圏 (P.110・図表 III-70)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(58.6%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(31.6%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(20.4%)、「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(20.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が6割を超えている。女性は「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(27.2%)が男性より16.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が8割を超えている。また、20～30歳代では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が2割を超え、他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「障害者への歯科保健医療提供体制の充実」(33.3%)が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」は、「就学前の子どもがいる」で4割を超えており、他の同居状況より高くなっている。「小学生・中学生がいる」と「一人暮らし」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が7割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(5.6%)で「独居高齢者以外」より29.5ポイント低くなっている。

出水保健医療圏 (P.111・図表 III-71)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(52.5%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(23.8%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(20.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(58.0%)が女性より10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」は20～30歳代と50歳代では7割

を超えている。また、40歳代では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(11.8%)が他の年代より低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(78.0%)、「共済組合」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(44.4%)と「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(33.3%)が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で6割を超えており、また「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(54.5%)では他の同居状況より30ポイント以上高くなっている。「一人暮らし」では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(50.0%)が最も高く、「独居高齢者以外」より33ポイント高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 112・図表 III-72)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(52.8%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(31.7%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(26.1%)の順となっている。

性別にみると、女性は「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(17.8%)で男性より8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代、40～64歳では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が6割を超えている。また30歳代では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(53.8%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」と「共済組合」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が約7割となっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が他の同居状況より高くなっている。また、「就学前の子どもがいる」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」が5割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(24.0%)で「独居高齢者以外」より10ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 113・図表 III-73)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(53.1%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(28.3%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(28.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「歯の健康指導や予防サービスの充実」(33.3%)で女性より7.9ポイント、女性は「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(20.9%)で男性より12ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」(53.3%)、50歳代では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(35.3%)が他の年代より高くなっている。一方、40歳代では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(28.6%)が他の年代より低くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「共済組合」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で6割を超えている。また、「共済組合」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が6割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(27.3%)で「独居高齢者以外」より9.7ポイント高くなっている。

肝属保健医療圏 (P.114・図表 III-74)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(54.8%)が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(36.0%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(29.7%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が5割を超えている。また、女性は「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(27.3%)で男性より15.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」で6割以上、40歳代では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で約8割となっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で7割を超え、他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」は「就学前の子どもがいる」では40.0%、「小学生・中学生がいる」では25.0%で、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「歯の健康指導や予防サービスの充実」(36.0%)で「独居高齢者以外」より7ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P.115・図表 III-75)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」

(51.7%) が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(28.8%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(25.4%) の順となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、30 歳代では「歯の健康指導や予防サービスの充実」(55.6%) が最も高くなっている。20 歳代と 60 歳以上では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が 6 割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」、「社会保険（家族）」、「国民健康保険」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」、「共済組合」では「歯の健康指導や予防サービスの充実」、「後期高齢者医療制度」では「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」と「歯の健康指導や予防サービスの充実」で 6 割となっており、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「障害者への歯科保健医療提供体制の充実」(40.0%) と「在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実」(40.0%) が最も高くなっている。

奄美保健医療圏 (P.116・図表 III-76)

歯科医療や歯科保健に望むことについて、全体では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(51.1%) が最も高く、次いで「地域や職場での健康診断にも歯科を含めること」(31.8%)、「歯の健康指導や予防サービスの充実」(27.9%)、の順となっている。

性別にみると、男性は「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」(57.8%) で女性より 10.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20～40 歳代では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が約 3 割となっている。また、50 歳代では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が 7 割弱となっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」では「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」で 7 割を超えている。「後期高齢者医療制度」では「歯科の巡回診療の充実」(31.0%) が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実」が約 4 割で、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「歯科の巡回診療の充実」(25.7%) が「独居高齢者以外」より 12.7 ポイント高くなっている。

離島別の分析 (P.117・図表 III-77)

離島別にみると、「三島」と「十島」では「歯科の巡回診療の充実」が最も高く、6割を超えており、特に「十島」は7割を超えている。それ以外の離島は、「休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実」が最も高くなっている。

図表 III-68 鹿児島保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

鹿児島 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの 充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=645)	29.9	29.5	55.0	9.3	20.5	13.3	14.9	3.3	6.8
	男性(N=282)	29.1	30.5	56.7	8.2	13.5	12.1	14.2	5.0	5.3
	女性(N=351)	31.1	29.1	54.7	10.3	25.9	14.8	15.1	2.0	7.4
	無回答(N=12)	16.7	16.7	25.0	8.3	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
年齢別	20歳代(N=45)	48.9	26.7	53.3	8.9	8.9	15.6	17.8	4.4	0.0
	30歳代(N=63)	42.9	34.9	57.1	12.7	7.9	31.7	9.5	3.2	3.2
	40歳代(N=108)	38.0	27.8	60.2	10.2	13.9	21.3	10.2	4.6	3.7
	50歳代(N=103)	28.2	20.4	66.0	13.6	27.2	16.5	20.4	1.9	5.8
	60～64歳(N=62)	21.0	33.9	61.3	6.5	24.2	12.9	14.5	4.8	0.0
	65～69歳(N=68)	23.5	36.8	57.4	5.9	19.1	4.4	10.3	0.0	2.9
	70～74歳(N=60)	23.3	31.7	53.3	3.3	16.7	8.3	15.0	3.3	10.0
	75歳以上(N=127)	22.8	30.7	40.2	9.4	30.7	2.4	18.1	3.9	17.3
	無回答(N=9)	22.2	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	22.2	0.0	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	34.5	29.6	64.1	10.8	18.4	17.9	9.9	2.2	2.7
	社会保険(家族)(N=79)	32.9	38.0	53.2	8.9	22.8	19.0	15.2	2.5	3.8
	国民健康保険(N=180)	22.8	28.3	55.6	8.3	20.0	10.0	13.9	3.3	6.7
	共済組合(N=64)	40.6	21.9	51.6	6.3	15.6	18.8	23.4	6.3	4.7
	後期高齢者医療制度(N=84)	21.4	31.0	38.1	8.3	27.4	1.2	21.4	4.8	20.2
	その他(N=3)	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答(N=12)	33.3	16.7	25.0	8.3	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	41.3	33.3	52.4	7.9	4.8	33.3	7.9	4.8	1.6
	小学生・中学生がいる(N=85)	34.1	25.9	64.7	12.9	18.8	31.8	10.6	3.5	1.2
	65歳以上がいる(N=218)	27.1	33.5	51.8	8.7	25.2	6.4	14.2	1.8	8.3
	その他の同居家族(N=299)	30.8	29.1	57.5	9.4	20.4	15.7	12.4	2.7	6.0
	一人暮らし(N=120)	30.8	25.8	52.5	10.0	24.2	10.0	25.8	5.8	8.3
	無回答(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別 独居	独居高齢者(N=54)	18.5	24.1	46.3	5.6	24.1	0.0	22.2	7.4	14.8
	独居高齢者以外(N=590)	31.0	29.8	55.9	9.7	20.2	14.6	14.2	2.9	6.1
	無回答(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-69 南薩保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

南薩保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの 充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=178)	25.8	25.3	53.9	7.9	19.7	11.2	9.6	4.5	12.4
	男性(N=80)	22.5	30.0	51.3	6.3	13.8	10.0	6.3	6.3	11.3
	女性(N=90)	28.9	21.1	57.8	10.0	24.4	13.3	13.3	3.3	11.1
	無回答(N=8)	25.0	25.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5
年齢別	20歳代(N=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	22.2	22.2	77.8	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0
	40歳代(N=10)	40.0	30.0	60.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	50歳代(N=23)	26.1	21.7	69.6	8.7	21.7	13.0	4.3	0.0	4.3
	60～64歳(N=18)	11.1	16.7	72.2	22.2	16.7	16.7	0.0	5.6	5.6
	65～69歳(N=23)	26.1	39.1	60.9	4.3	13.0	4.3	4.3	0.0	8.7
	70～74歳(N=31)	29.0	22.6	32.3	12.9	32.3	16.1	9.7	6.5	19.4
	75歳以上(N=57)	24.6	24.6	47.4	3.5	15.8	7.0	15.8	7.0	19.3
	無回答(N=5)	20.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	30.2	24.5	58.5	7.5	18.9	9.4	7.5	0.0	9.4
	社会保険(家族)(N=9)	33.3	44.4	88.9	22.2	22.2	55.6	0.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=71)	19.7	22.5	53.5	7.0	16.9	8.5	8.5	7.0	11.3
	共済組合(N=4)	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	25.7	25.7	42.9	2.9	20.0	8.6	17.1	5.7	20.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	50.0	33.3	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	30.0	20.0	60.0	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	10.0
	65歳以上がいる(N=93)	25.8	32.3	48.4	10.8	21.5	14.0	12.9	7.5	10.8
	その他の同居家族(N=68)	29.4	20.6	66.2	7.4	20.6	10.3	5.9	2.9	5.9
	一人暮らし(N=28)	14.3	14.3	50.0	7.1	17.9	3.6	14.3	0.0	21.4
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	19.0	14.3	47.6	4.8	23.8	0.0	19.0	0.0	19.0
	独居高齢者以外(N=157)	26.8	26.8	54.8	8.3	19.1	12.7	8.3	5.1	11.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-70 川薩保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

川薩 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの 充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=152)	31.6	20.4	58.6	7.9	20.4	10.5	8.6	4.6	10.5
	男性(N=58)	32.8	13.8	65.5	5.2	10.3	8.6	10.3	1.7	6.9
	女性(N=92)	31.5	25.0	54.3	9.8	27.2	12.0	7.6	6.5	12.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	20歳代(N=4)	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	50.0	25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	39.1	13.0	56.5	21.7	21.7	17.4	13.0	4.3	4.3
	50歳代(N=21)	52.4	28.6	81.0	4.8	19.0	0.0	0.0	9.5	0.0
	60～64歳(N=14)	28.6	7.1	64.3	14.3	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0
	65～69歳(N=14)	35.7	35.7	64.3	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1
	70～74歳(N=18)	27.8	16.7	61.1	5.6	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1
	75歳以上(N=48)	14.6	20.8	43.8	2.1	20.8	8.3	8.3	6.3	25.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	50.0	13.0	67.4	4.3	21.7	15.2	2.2	2.2	2.2
	社会保険(家族)(N=19)	42.1	15.8	52.6	15.8	15.8	5.3	10.5	10.5	5.3
	国民健康保険(N=55)	21.8	27.3	58.2	7.3	21.8	10.9	10.9	5.5	14.5
	共済組合(N=6)	33.3	16.7	100.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=23)	13.0	26.1	39.1	4.3	21.7	8.7	13.0	4.3	17.4
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	50.0	25.0	41.7	0.0	8.3	41.7	25.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	29.4	11.8	76.5	11.8	11.8	17.6	5.9	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=61)	26.2	23.0	50.8	9.8	21.3	9.8	8.2	3.3	16.4
	その他の同居家族(N=59)	45.8	22.0	52.5	8.5	18.6	10.2	8.5	5.1	5.1
	一人暮らし(N=29)	13.8	20.7	72.4	3.4	27.6	3.4	10.3	6.9	10.3
	無回答(N=3)	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
高齢者別 独居	独居高齢者(N=18)	5.6	22.2	61.1	0.0	22.2	5.6	11.1	11.1	16.7
	独居高齢者以外(N=134)	35.1	20.1	58.2	9.0	20.1	11.2	8.2	3.7	9.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-71 出水保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

出水 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サードビス の充実	休日、夜間でも治療を受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=122)	23.8	20.5	52.5	11.5	19.7	11.5	9.0	4.1	10.7
	男性(N=50)	28.0	24.0	58.0	12.0	20.0	10.0	8.0	8.0	4.0
	女性(N=71)	21.1	18.3	47.9	11.3	19.7	12.7	9.9	1.4	15.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	100.0	0.0	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=10)	20.0	10.0	70.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	40歳代(N=17)	11.8	23.5	52.9	17.6	17.6	35.3	11.8	0.0	5.9
	50歳代(N=24)	33.3	20.8	70.8	12.5	29.2	8.3	8.3	4.2	4.2
	60～64歳(N=11)	36.4	18.2	63.6	9.1	18.2	0.0	18.2	9.1	0.0
	65～69歳(N=11)	9.1	9.1	45.5	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
	70～74歳(N=18)	22.2	50.0	33.3	0.0	22.2	5.6	5.6	5.6	16.7
	75歳以上(N=27)	18.5	11.1	33.3	7.4	25.9	3.7	11.1	7.4	25.9
無回答(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	26.8	14.6	78.0	4.9	22.0	14.6	12.2	2.4	0.0
	社会保険(家族)(N=11)	18.2	27.3	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	16.3	25.6	37.2	11.6	16.3	7.0	2.3	4.7	25.6
	共済組合(N=9)	44.4	33.3	44.4	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=15)	33.3	13.3	46.7	6.7	20.0	6.7	20.0	6.7	6.7
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	36.4	18.2	63.6	9.1	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	23.8	19.0	57.1	19.0	14.3	23.8	9.5	0.0	4.8
	65歳以上がいる(N=47)	25.5	19.1	42.6	10.6	17.0	8.5	6.4	6.4	14.9
	その他の同居家族(N=59)	33.9	16.9	57.6	15.3	20.3	5.1	11.9	1.7	6.8
	一人暮らし(N=15)	6.7	26.7	40.0	0.0	46.7	6.7	6.7	6.7	13.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高齢者 独居者別	独居高齢者(N=10)	10.0	30.0	30.0	0.0	50.0	0.0	10.0	0.0	20.0
	独居高齢者以外(N=112)	25.0	19.6	54.5	12.5	17.0	12.5	8.9	4.5	9.8
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-72 始良・伊佐保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

始良・伊佐 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの 充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=284)	31.7	26.1	52.8	7.4	15.1	14.1	10.9	3.5	6.7
	男性(N=132)	30.3	26.5	51.5	7.6	12.1	9.8	11.4	2.3	9.1
	女性(N=146)	34.2	25.3	54.1	7.5	17.8	17.8	10.3	4.8	4.1
	無回答(N=6)	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7
年齢別	20歳代(N=21)	38.1	14.3	66.7	4.8	4.8	14.3	9.5	4.8	0.0
	30歳代(N=26)	53.8	23.1	50.0	7.7	3.8	34.6	7.7	3.8	0.0
	40歳代(N=33)	27.3	24.2	69.7	9.1	12.1	27.3	6.1	0.0	0.0
	50歳代(N=37)	24.3	37.8	64.9	5.4	13.5	10.8	10.8	2.7	5.4
	60～64歳(N=27)	55.6	18.5	63.0	3.7	11.1	14.8	14.8	0.0	0.0
	65～69歳(N=33)	30.3	33.3	45.5	9.1	15.2	12.1	6.1	3.0	12.1
	70～74歳(N=35)	22.9	25.7	37.1	2.9	17.1	5.7	17.1	5.7	14.3
	75歳以上(N=68)	25.0	26.5	41.2	11.8	25.0	5.9	13.2	5.9	10.3
無回答(N=4)	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	35.7	21.4	59.5	7.1	8.3	17.9	10.7	2.4	3.6
	社会保険(家族)(N=28)	39.3	14.3	67.9	7.1	10.7	28.6	7.1	3.6	3.6
	国民健康保険(N=106)	29.2	33.0	46.2	7.5	19.8	10.4	10.4	1.9	8.5
	共済組合(N=17)	35.3	35.3	70.6	0.0	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	26.8	24.4	39.0	12.2	19.5	7.3	17.1	12.2	9.8
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	12.5	50.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	52.0	24.0	56.0	8.0	4.0	40.0	12.0	0.0	4.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	33.3	16.7	56.7	6.7	13.3	26.7	16.7	6.7	6.7
	65歳以上がいる(N=117)	33.3	27.4	45.3	11.1	17.1	8.5	14.5	4.3	7.7
	その他の同居家族(N=124)	29.0	25.8	64.5	7.3	13.7	17.7	11.3	2.4	5.6
	一人暮らし(N=42)	21.4	23.8	47.6	0.0	19.0	4.8	9.5	4.8	7.1
	無回答(N=4)	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	12.0	32.0	36.0	0.0	24.0	0.0	8.0	4.0	12.0
	独居高齢者以外(N=257)	33.9	25.7	54.1	8.2	14.0	15.2	11.3	3.5	6.2
	無回答(N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-73 曾於保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

曾於 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サードビス の充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=113)	28.3	28.3	53.1	6.2	18.6	15.9	5.3	4.4	8.0
	男性(N=45)	28.9	33.3	53.3	6.7	17.8	8.9	4.4	4.4	6.7
	女性(N=67)	26.9	25.4	53.7	6.0	19.4	20.9	6.0	4.5	9.0
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	46.7	33.3	60.0	6.7	0.0	53.3	0.0	0.0	6.7
	40歳代(N=14)	28.6	50.0	28.6	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=17)	29.4	35.3	52.9	11.8	35.3	17.6	5.9	5.9	0.0
	60～64歳(N=13)	15.4	23.1	61.5	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
	65～69歳(N=14)	28.6	35.7	64.3	0.0	21.4	14.3	7.1	0.0	14.3
	70～74歳(N=12)	8.3	8.3	50.0	0.0	16.7	0.0	8.3	16.7	16.7
	75歳以上(N=23)	34.8	17.4	47.8	13.0	34.8	4.3	8.7	0.0	17.4
無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	25.7	37.1	62.9	5.7	8.6	17.1	2.9	0.0	2.9
	社会保険(家族)(N=15)	40.0	40.0	46.7	0.0	20.0	26.7	13.3	0.0	6.7
	国民健康保険(N=43)	25.6	23.3	46.5	4.7	23.3	9.3	2.3	11.6	9.3
	共済組合(N=5)	40.0	0.0	80.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	30.8	15.4	53.8	15.4	38.5	7.7	15.4	0.0	15.4
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3
	小学生・中学生がいる(N=13)	53.8	30.8	30.8	15.4	7.7	69.2	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=54)	25.9	27.8	55.6	7.4	24.1	7.4	7.4	5.6	11.1
	その他の同居家族(N=50)	28.0	30.0	60.0	6.0	16.0	20.0	8.0	4.0	2.0
	一人暮らし(N=12)	16.7	25.0	33.3	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	25.0
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者 独居者別	独居高齢者(N=11)	18.2	27.3	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1	27.3
	独居高齢者以外(N=102)	29.4	28.4	55.9	5.9	17.6	17.6	5.9	3.9	5.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-74 肝属保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

肝属保健医療圏		地域や職場での健康診断にも歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの充実	休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=239)	36.0	29.7	54.8	10.5	20.5	13.4	10.5	2.1	8.4
	男性(N=109)	39.4	29.4	61.5	10.1	11.9	15.6	13.8	1.8	7.3
	女性(N=121)	33.9	31.4	52.1	10.7	27.3	10.7	7.4	2.5	8.3
	無回答(N=9)	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2
年齢別	20歳代(N=16)	68.8	25.0	43.8	6.3	18.8	31.3	0.0	0.0	6.3
	30歳代(N=16)	43.8	31.3	68.8	12.5	12.5	25.0	0.0	6.3	0.0
	40歳代(N=29)	37.9	24.1	79.3	13.8	20.7	17.2	10.3	0.0	3.4
	50歳代(N=33)	36.4	33.3	51.5	12.1	30.3	3.0	12.1	3.0	6.1
	60~64歳(N=33)	18.2	27.3	60.6	15.2	24.2	15.2	6.1	3.0	9.1
	65~69歳(N=28)	32.1	42.9	64.3	7.1	10.7	7.1	3.6	0.0	7.1
	70~74歳(N=42)	54.8	28.6	45.2	11.9	14.3	16.7	16.7	2.4	7.1
	75歳以上(N=33)	15.2	30.3	45.5	6.1	27.3	3.0	21.2	3.0	15.2
	無回答(N=9)	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	33.3
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	43.5	29.0	77.4	11.3	22.6	16.1	9.7	0.0	0.0
	社会保険(家族)(N=27)	29.6	25.9	44.4	11.1	22.2	14.8	11.1	0.0	18.5
	国民健康保険(N=104)	38.5	36.5	50.0	12.5	18.3	11.5	10.6	1.9	8.7
	共済組合(N=19)	26.3	10.5	52.6	0.0	15.8	15.8	5.3	15.8	5.3
	後期高齢者医療制度(N=17)	11.8	29.4	47.1	5.9	29.4	5.9	17.6	0.0	17.6
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0	22.2
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	40.0	30.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	46.4	32.1	60.7	17.9	10.7	25.0	10.7	3.6	0.0
	65歳以上がいる(N=89)	32.6	32.6	51.7	13.5	25.8	13.5	13.5	1.1	10.1
	その他の同居家族(N=98)	42.9	31.6	57.1	10.2	18.4	16.3	7.1	2.0	9.2
	一人暮らし(N=50)	30.0	28.0	48.0	6.0	18.0	8.0	10.0	4.0	6.0
	無回答(N=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=25)	28.0	36.0	48.0	0.0	16.0	8.0	16.0	0.0	4.0
	独居高齢者以外(N=214)	36.9	29.0	55.6	11.7	21.0	14.0	9.8	2.3	8.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-75 熊毛保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

熊毛 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サードビス の充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=118)	28.8	25.4	51.7	7.6	18.6	11.0	14.4	7.6	8.5
	男性(N=51)	31.4	27.5	51.0	5.9	17.6	9.8	15.7	11.8	9.8
	女性(N=64)	26.6	23.4	54.7	9.4	18.8	10.9	12.5	3.1	7.8
年齢別	無回答(N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	20歳代(N=5)	60.0	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	44.4	55.6	44.4	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	57.1	21.4	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0
	50歳代(N=21)	23.8	14.3	57.1	9.5	14.3	0.0	19.0	14.3	9.5
	60～64歳(N=8)	12.5	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	21.4	35.7	64.3	0.0	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1
	70～74歳(N=19)	10.5	26.3	68.4	10.5	26.3	10.5	15.8	10.5	5.3
健康保険の種類別	75歳以上(N=25)	28.0	24.0	24.0	16.0	32.0	8.0	16.0	4.0	24.0
	無回答(N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	社会保険(本人)(N=38)	42.1	15.8	55.3	5.3	10.5	15.8	18.4	5.3	7.9
	社会保険(家族)(N=11)	18.2	27.3	54.5	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	国民健康保険(N=49)	20.4	26.5	57.1	12.2	24.5	6.1	16.3	12.2	10.2
	共済組合(N=5)	40.0	80.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	22.2	22.2	22.2	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
同居状況別	その他(N=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	就学前の子どもがいる(N=10)	60.0	60.0	50.0	10.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	45.5	54.5	45.5	0.0	9.1	18.2	27.3	9.1	0.0
	65歳以上がいる(N=49)	24.5	30.6	57.1	4.1	24.5	6.1	14.3	12.2	4.1
	その他の同居家族(N=52)	28.8	28.8	57.7	3.8	7.7	9.6	15.4	3.8	5.8
高齢者別	一人暮らし(N=18)	44.4	5.6	44.4	22.2	22.2	16.7	11.1	0.0	22.2
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	独居高齢者(N=10)	30.0	10.0	30.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	30.0
独居高齢者以外(N=108)	28.7	26.9	53.7	4.6	16.7	10.2	13.9	8.3	6.5	
無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位：%)

図表 III-76 奄美保健医療圏 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

奄美 保健医療圏		地域や職場での健康診断にも 歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの 充実	休日、夜間でも治療が受けら れる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供 体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保 健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療 提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
性別	全体(N=305)	31.8	27.9	51.1	12.8	20.0	17.4	14.4	3.6	9.2
	男性(N=128)	30.5	26.6	57.8	15.6	18.8	20.3	12.5	3.1	9.4
	女性(N=171)	33.3	28.7	47.4	11.1	21.6	15.2	15.8	4.1	8.8
年齢別	無回答(N=6)	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
	20歳代(N=7)	57.1	14.3	57.1	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3
	30歳代(N=30)	26.7	30.0	56.7	6.7	3.3	30.0	3.3	6.7	3.3
	40歳代(N=41)	31.7	22.0	51.2	19.5	19.5	29.3	17.1	0.0	4.9
	50歳代(N=46)	34.8	23.9	67.4	13.0	19.6	17.4	8.7	2.2	2.2
	60～64歳(N=34)	44.1	17.6	52.9	17.6	14.7	8.8	8.8	8.8	8.8
	65～69歳(N=41)	36.6	31.7	56.1	14.6	29.3	19.5	22.0	0.0	7.3
	70～74歳(N=45)	24.4	37.8	44.4	6.7	22.2	6.7	15.6	6.7	13.3
健康保険の種類別	75歳以上(N=56)	25.0	30.4	37.5	12.5	26.8	12.5	23.2	3.6	17.9
	無回答(N=5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	社会保険(本人)(N=81)	38.3	24.7	58.0	14.8	13.6	21.0	11.1	3.7	6.2
	社会保険(家族)(N=23)	34.8	26.1	73.9	13.0	21.7	13.0	4.3	0.0	0.0
	国民健康保険(N=130)	28.5	29.2	45.4	11.5	21.5	12.3	15.4	5.4	13.1
	共済組合(N=32)	34.4	31.3	59.4	9.4	18.8	31.3	12.5	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=29)	27.6	27.6	44.8	17.2	34.5	17.2	31.0	3.4	6.9
同居状況別	その他(N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0
	就学前の子どもがいる(N=27)	22.2	29.6	40.7	14.8	11.1	44.4	7.4	0.0	11.1
	小学生・中学生がいる(N=47)	31.9	29.8	51.1	23.4	19.1	38.3	19.1	0.0	6.4
	65歳以上がいる(N=106)	33.0	31.1	46.2	14.2	23.6	15.1	17.0	2.8	12.3
	その他の同居家族(N=120)	28.3	31.7	60.0	15.0	17.5	19.2	14.2	3.3	7.5
高齢者別	一人暮らし(N=66)	36.4	18.2	40.9	9.1	18.2	9.1	18.2	6.1	7.6
	無回答(N=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	独居高齢者(N=35)	34.3	20.0	28.6	2.9	22.9	2.9	25.7	5.7	11.4
独居者別	独居高齢者以外(N=269)	31.2	28.6	54.3	14.1	19.7	19.3	13.0	3.3	8.9
	無回答(N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-77 離島別の分析 歯科医療と歯科保健・複数回答【加重集計前・属性別】

離島別の分析		歯科を含めた地域や職場での健康診断にも	歯の健康指導や予防サービスの充実	休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答
離島別	全体(N=2,184)	30.3	27.0	53.6	9.3	19.4	13.5	12.0	3.9	8.6
	三島(N=23)	43.5	30.4	30.4	8.7	13.0	17.4	65.2	0.0	13.0
	十島(N=25)	28.0	16.0	36.0	8.0	12.0	12.0	72.0	8.0	0.0
	甌島(N=23)	39.1	17.4	60.9	13.0	21.7	17.4	4.3	8.7	0.0
	種子島(N=93)	28.0	23.7	51.6	7.5	20.4	11.8	14.0	6.5	9.7
	屋久島(N=25)	32.0	32.0	52.0	8.0	12.0	8.0	16.0	12.0	4.0
	奄美大島(N=143)	32.2	25.9	49.7	11.2	16.8	16.1	15.4	2.8	8.4
	喜界島(N=24)	37.5	20.8	45.8	16.7	25.0	12.5	16.7	4.2	8.3
	徳之島(N=64)	29.7	28.1	67.2	15.6	20.3	23.4	10.9	3.1	7.8
	沖永良部島(N=51)	37.3	41.2	41.2	11.8	21.6	19.6	19.6	5.9	9.8
	与論島(N=23)	17.4	17.4	43.5	13.0	30.4	8.7	4.3	4.3	17.4

(単位:%)

6. 定期的（月1回以上）に通院している医療機関

(1) 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無

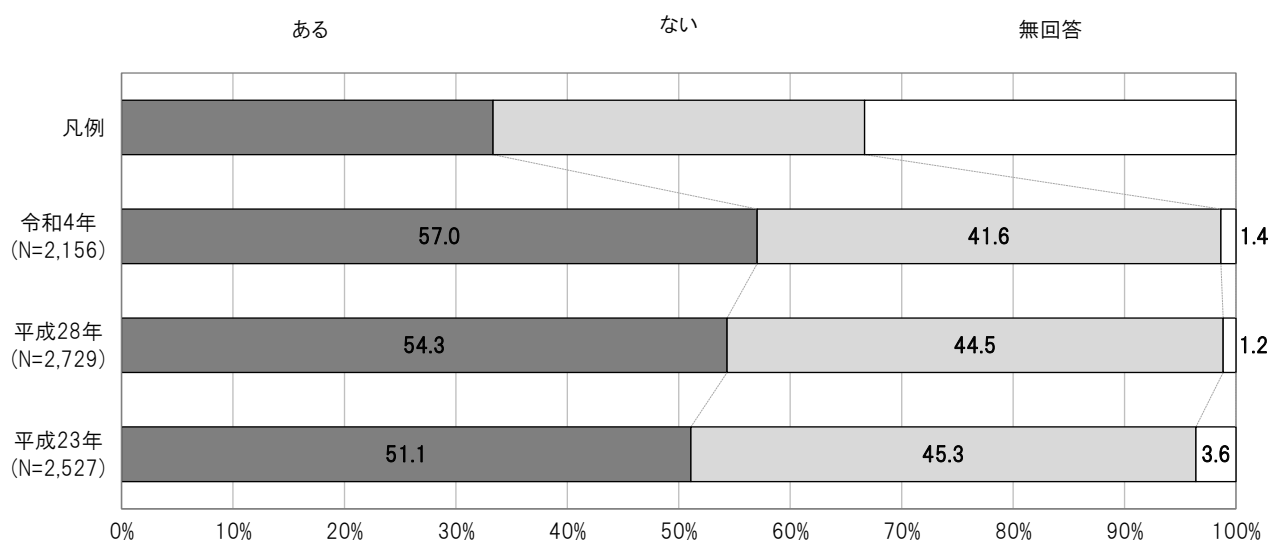
問8 現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関がありますか。
（子どもさんが定期的に通院されており、医療機関に連れて行っている場合も含まれます。）
（○は1つ）

ア. 全体の分析

定期的（月1回以上）に通院している医療機関について、全体では「ある」（57.0%）、「ない」（41.6%）となっている。

調査年別にみると、平成23年より継続して「ある」は増加傾向がみられた。

図表 III-78 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「ある」と回答した割合が最も高いのは川薩保健医療圏（65.0%）、次いで南薩保健医療圏（63.9%）、出水保健医療圏（62.8%）となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

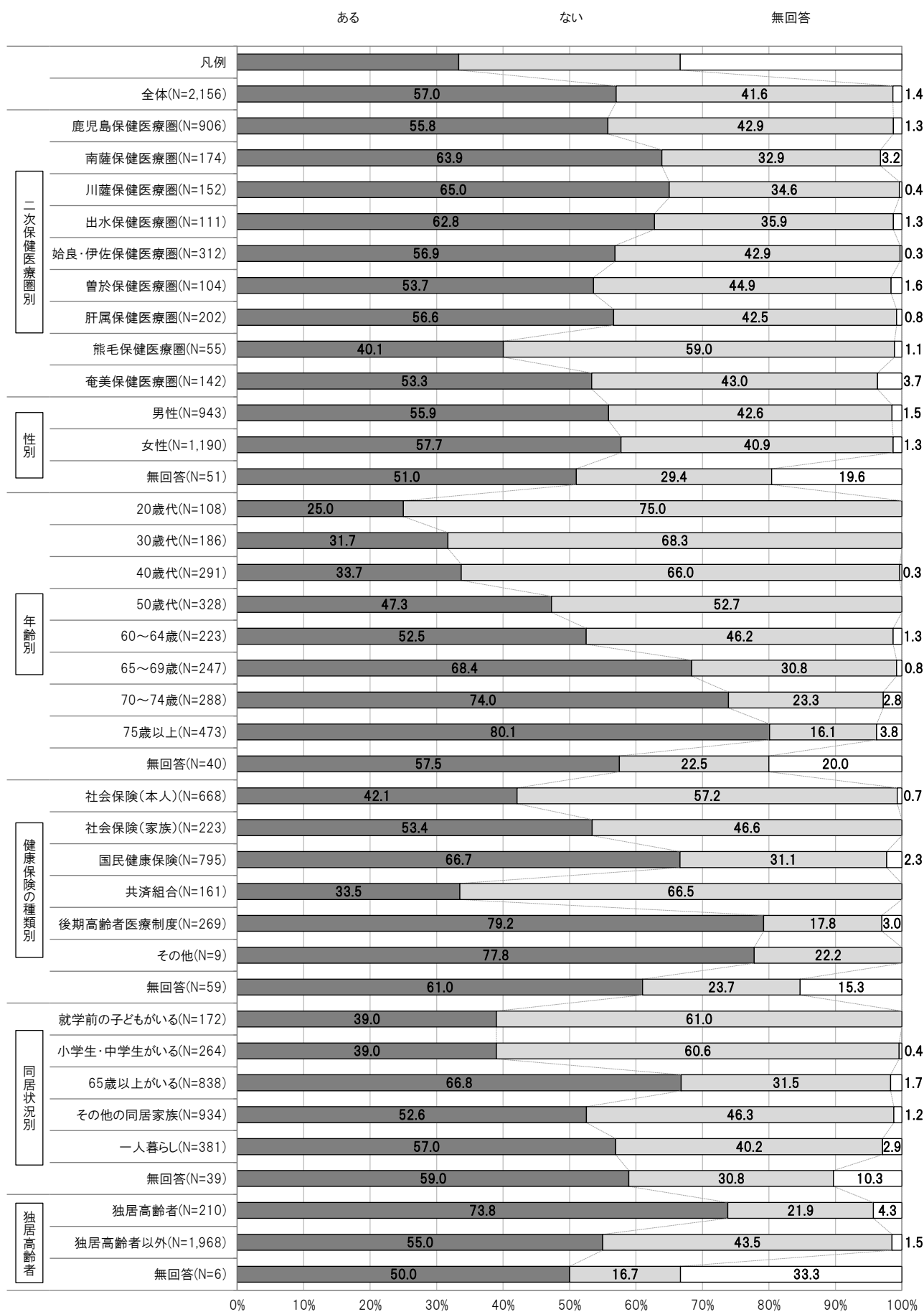
年齢別にみると、高齢になるほど「ある」が高くなる傾向がみられ、75歳以上では8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が約8割となっている。一方、「共済組合」は33.5%となっている。

同居状況別にみると、「ある」と回答した割合が最も高いのは「65歳以上がいる」（66.8%）、次いで「一人暮らし」（57.0%）、「その他の同居家族」（52.6%）となっている。

独居高齢者別にみると、「ある」と回答したのが73.8%で、「独居高齢者以外」より18.8ポイント高くなっている。

図表 III-79 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P.125・図表 III-80)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ある」(54.3%)、「ない」(44.0%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「ある」は高くなる傾向がみられ、75歳以上で8割弱となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が7割台半ばとなっている一方、「共済組合」では約3割となっている。

同居状況別にみると、「ある」は「65歳以上がいる」で6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「ある」(72.2%)が「独居高齢者以外」より19.7ポイント高くなっている。

南薩保健医療圏 (P.126・図表 III-81)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ある」(64.0%)、「ない」(32.6%)となっており、「ある」と回答した割合が県全体のそれと比較して7.2ポイント高くなっている。

性別にみると、男性は「ある」(67.5%)が女性より5.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「ある」は高くなる傾向がみられ、70歳以上では「ある」が7割を超えており、特に75歳以上では8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「ある」は「国民健康保険」では約7割、「後期高齢者医療制度」では約8割となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「ある」は7割を超えている。

独居高齢者別にみると、「ある」は「独居高齢者」と「独居高齢者以外」とともに6割を超えている。

川薩保健医療圏 (P.127・図表 III-82)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ある」(63.8%)、「ない」(35.5%)となっており、「ある」と回答した割合が県全体のそれと比較して7ポイント高くなっている。

性別にみると、女性は「ある」(66.3%)が男性より6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は70歳以上で8割を超え、60歳代で7割台となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「ある」は「65歳以上がいる」では77.0%となっており、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「ある」は「独居高齢者」と「独居高齢者以外」ともに6割を超えている。

出水保健医療圏 (P.128・図表 III-83)

現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関について、全体では「ある」（60.7%）、「ない」（37.7%）となっている。

性別にみると、男性は「ある」（66.0%）が女性より9.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65歳以上で「ある」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が9割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「ある」が8割を超えている。

始良・伊佐保健医療圏 (P.129・図表 III-84)

現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関について、全体では「ある」（60.2%）、「ない」（39.4%）となっている。

性別にみると、女性は「ある」（63.0%）が男性より6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上では「ある」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が約8割となっている。

同居状況別にみると、「ある」は「65歳以上がいる」では7割、「一人暮らし」では6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「ある」（88.0%）が「独居高齢者以外」より30.4ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P.130・図表 III-85)

現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関について、全体では「ある」（52.2%）、「ない」（46.0%）となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、75歳以上では「ある」が8割弱となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が7割台半ばとなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「ある」が7割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「ある」が81.8%となっており、「独居高齢者以外」より32.8ポイント高くなっている。

肝属保健医療圏 (P.131・図表 III-86)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ある」(59.0%)、「ない」(39.3%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「ある」は高齢になるほど高くなる傾向がみられ、70～74歳では7割台半ば、75歳以上では8割台半ばとなっている。一方、20～30歳代では3割を下回っている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が9割弱となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「ある」が7割弱となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「ある」(72.0%)が「独居高齢者以外」より14.5ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P.132・図表 III-87)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ない」(51.7%)は「ある」(46.6%)を上回っている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、70歳以上では「ある」が6割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が9割弱となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「ある」が5割弱となっている。

独居高齢者別にみると、「ある」は「独居高齢者」では50.0%)、「独居高齢者以外」では46.3%となっている。

奄美保健医療圏 (P.133・図表 III-88)

現在、定期的(月1回以上)に通院している医療機関について、全体では「ある」(53.1%)、「ない」

(43.6%) となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「ある」が高くなる傾向がみられ、70歳以上では7割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「ある」が7割を超えている。

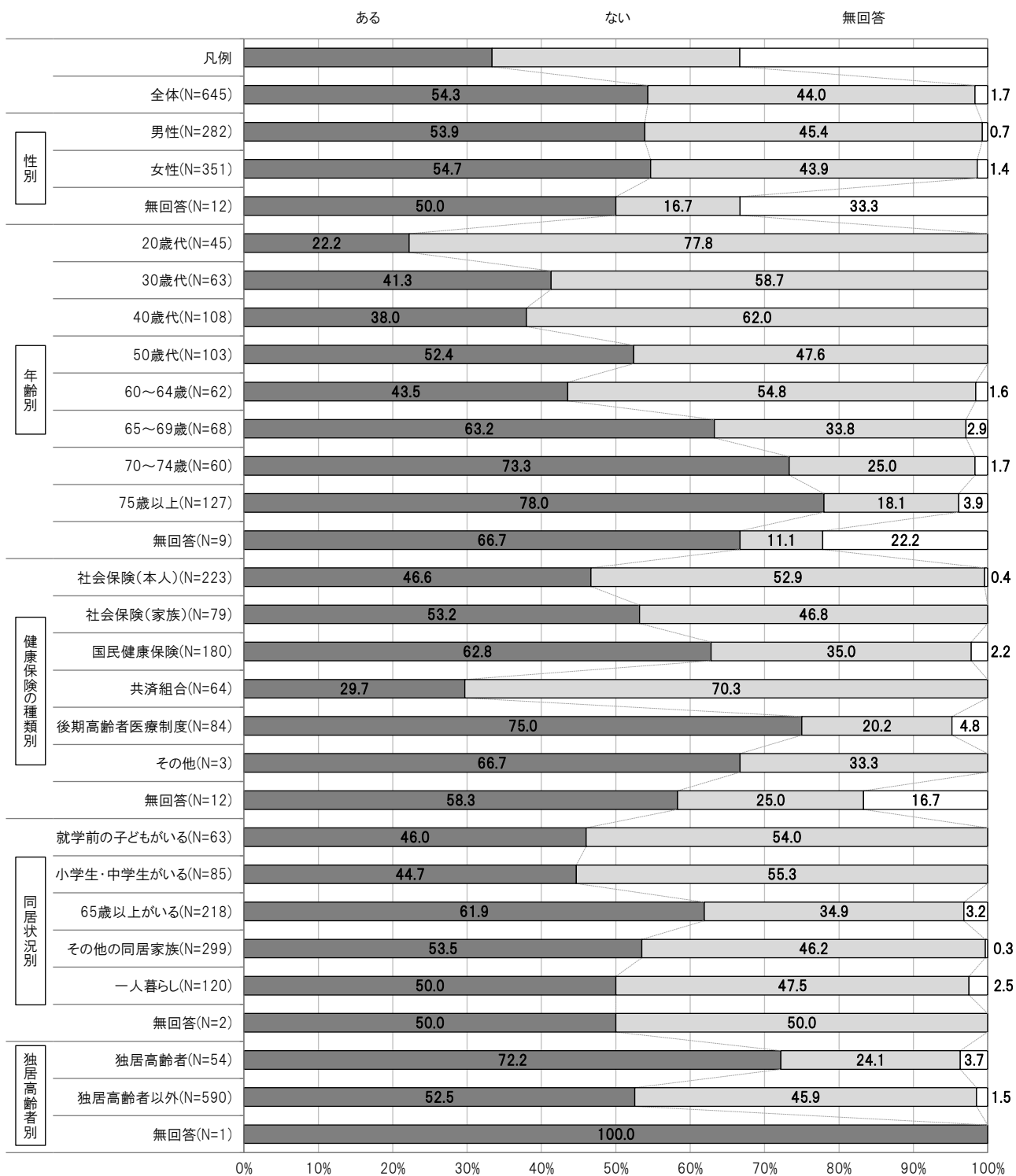
同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「ある」が6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「ある」(85.7%)が「独居高齢者以外」より37.0ポイント高くなっている。

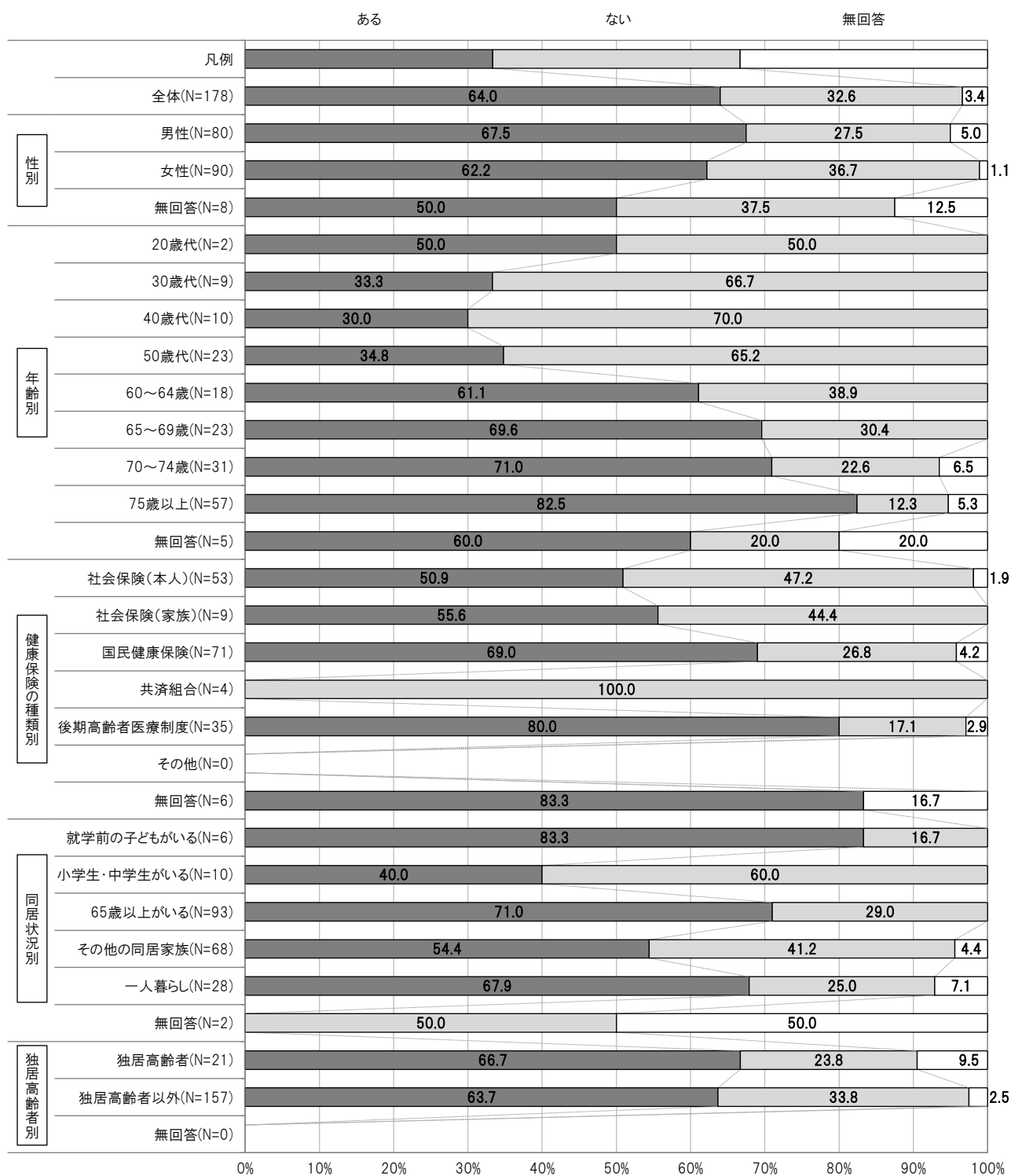
離島別の分析 (P. 134・図表 III-89)

離島別にみると、「ある」と回答した割合が最も高かったのは「喜界島」(70.8%)で、次いで「与論島」(60.9%)である。一方、「屋久島」(24.0%)では「ある」が他の離島より低くなっている。

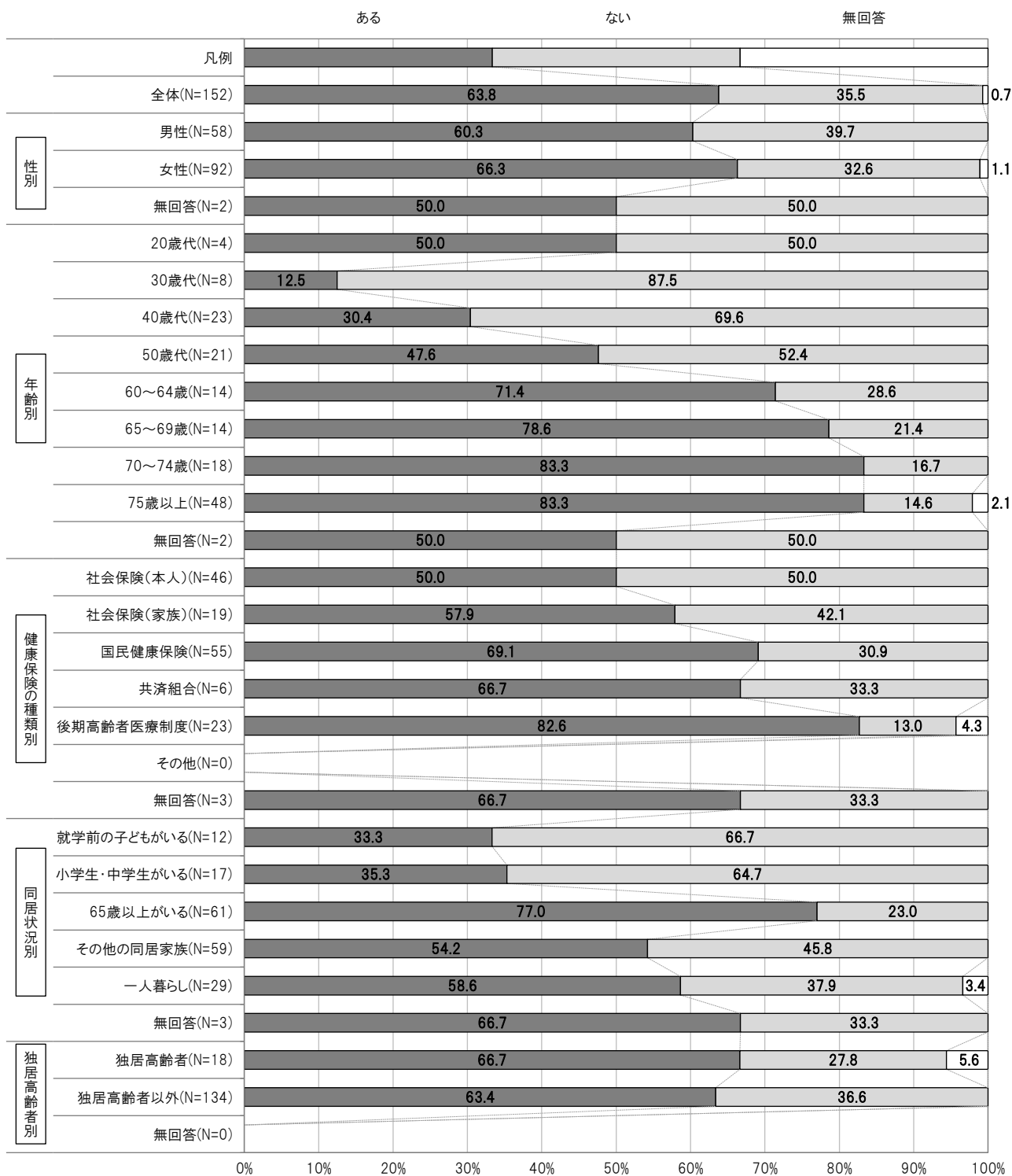
図表 III-80 鹿児島保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



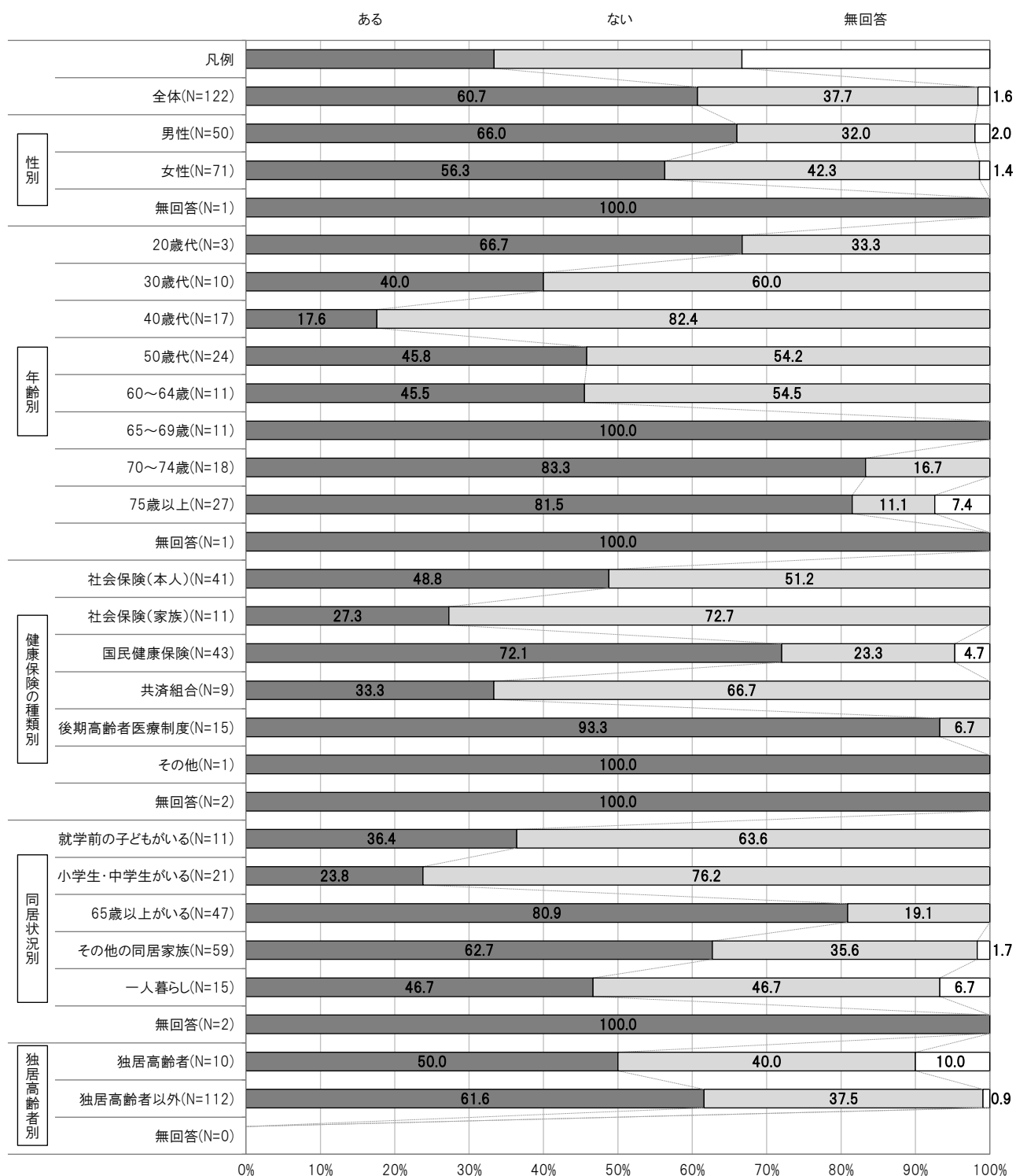
図表 III-81 南薩保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



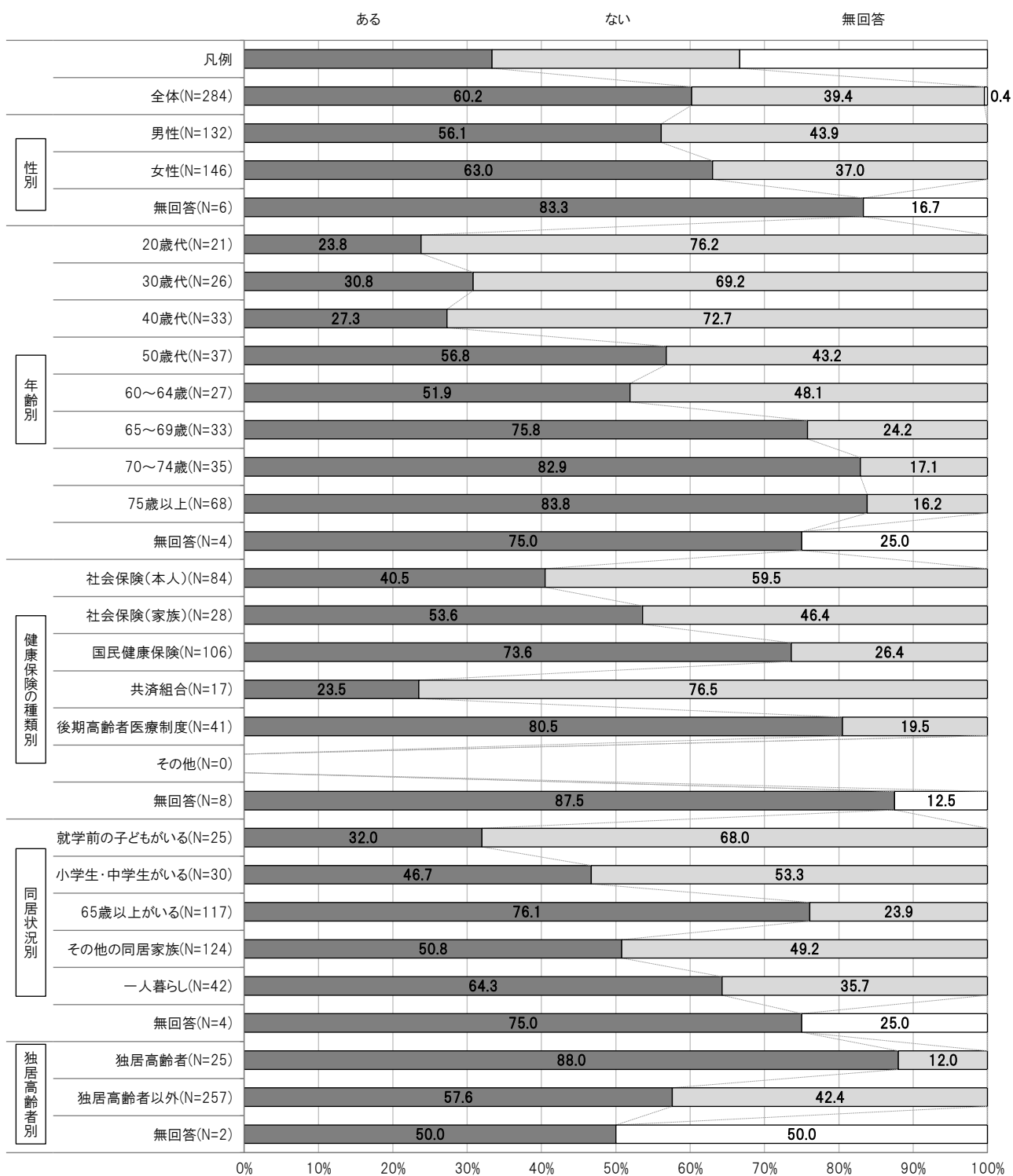
図表 III-82 川薩保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



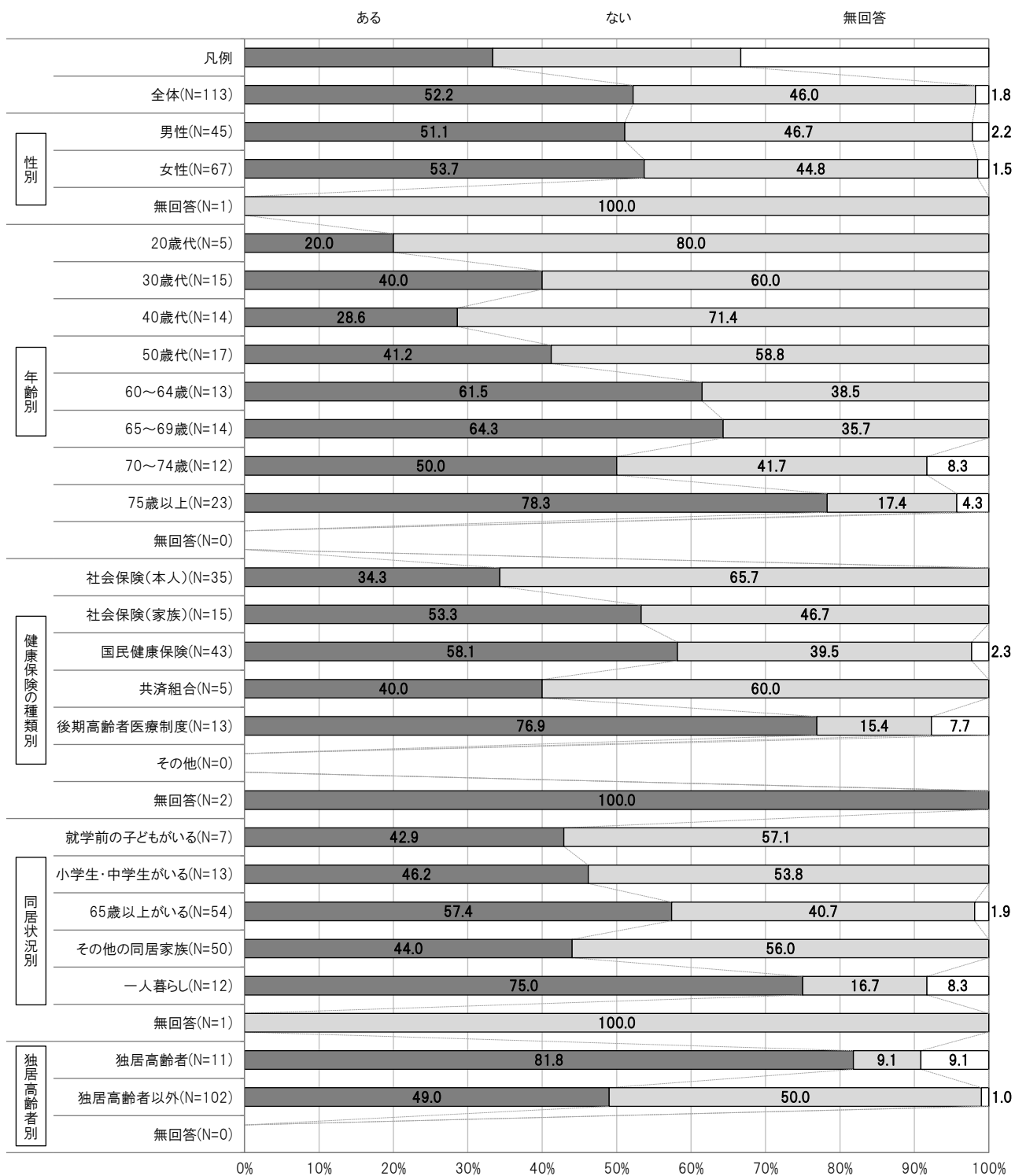
図表 III-83 出水保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



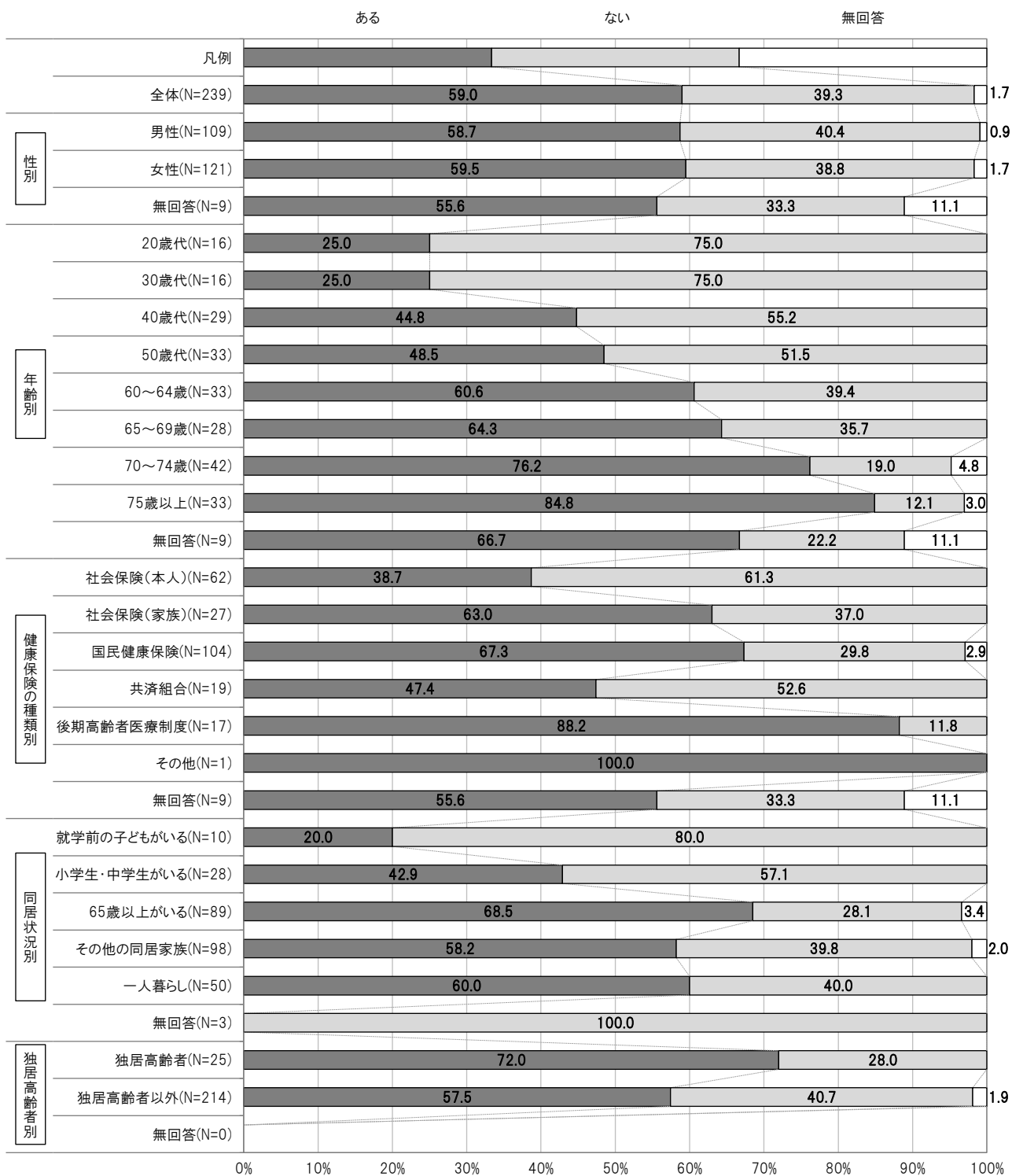
図表 III-84 始良・伊佐保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



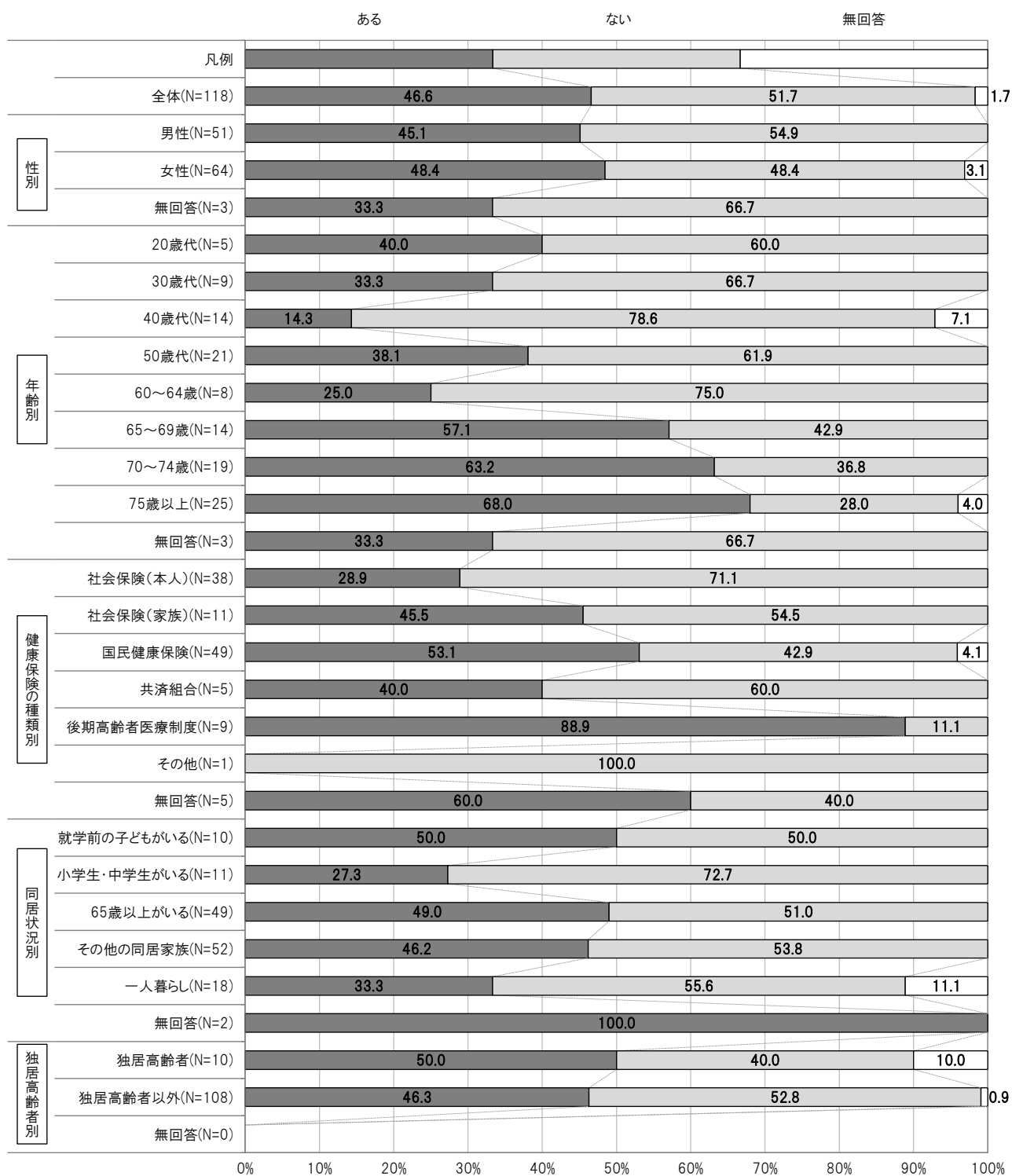
図表 III-85 曾於保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



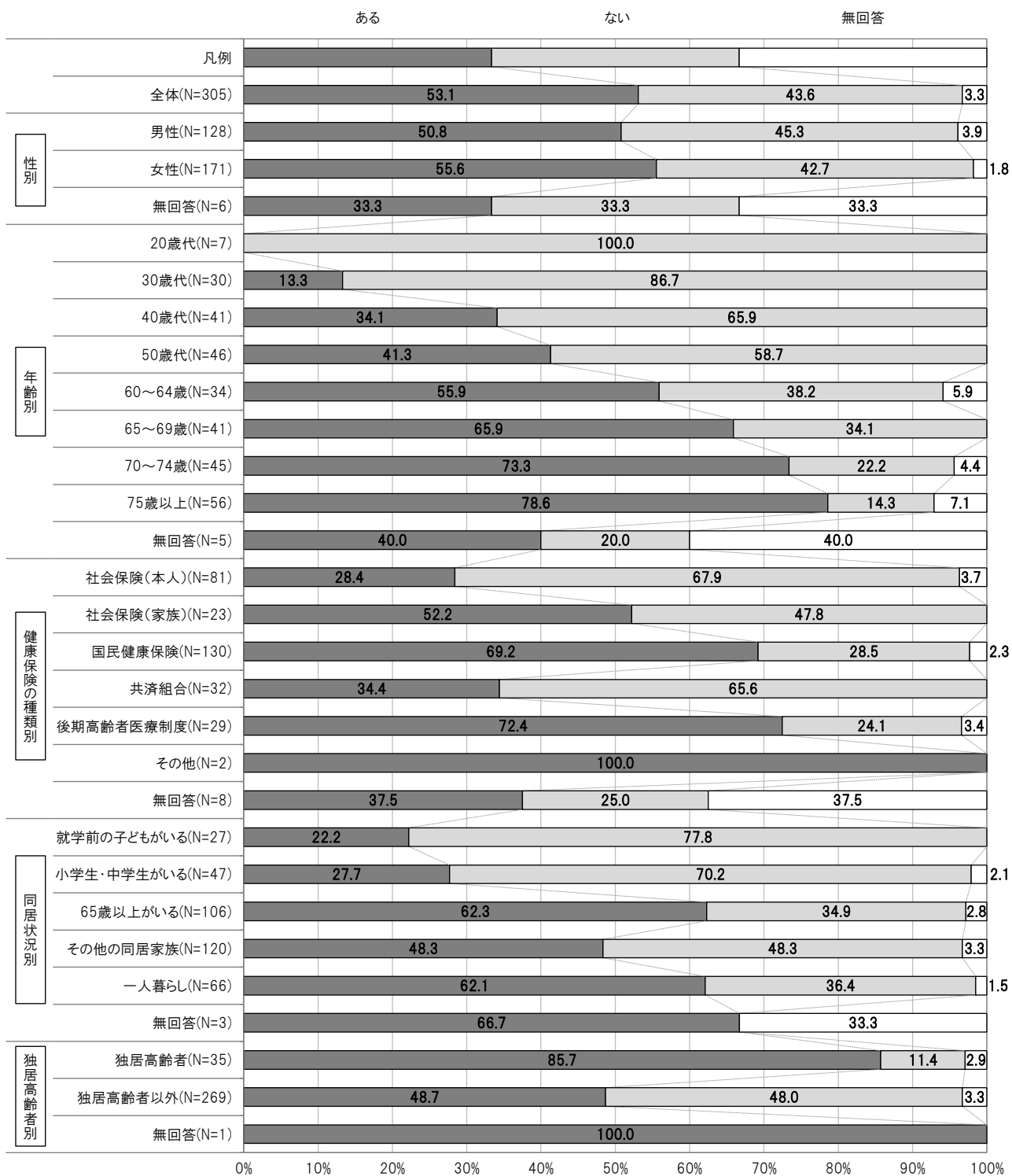
図表 III-86 肝属保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



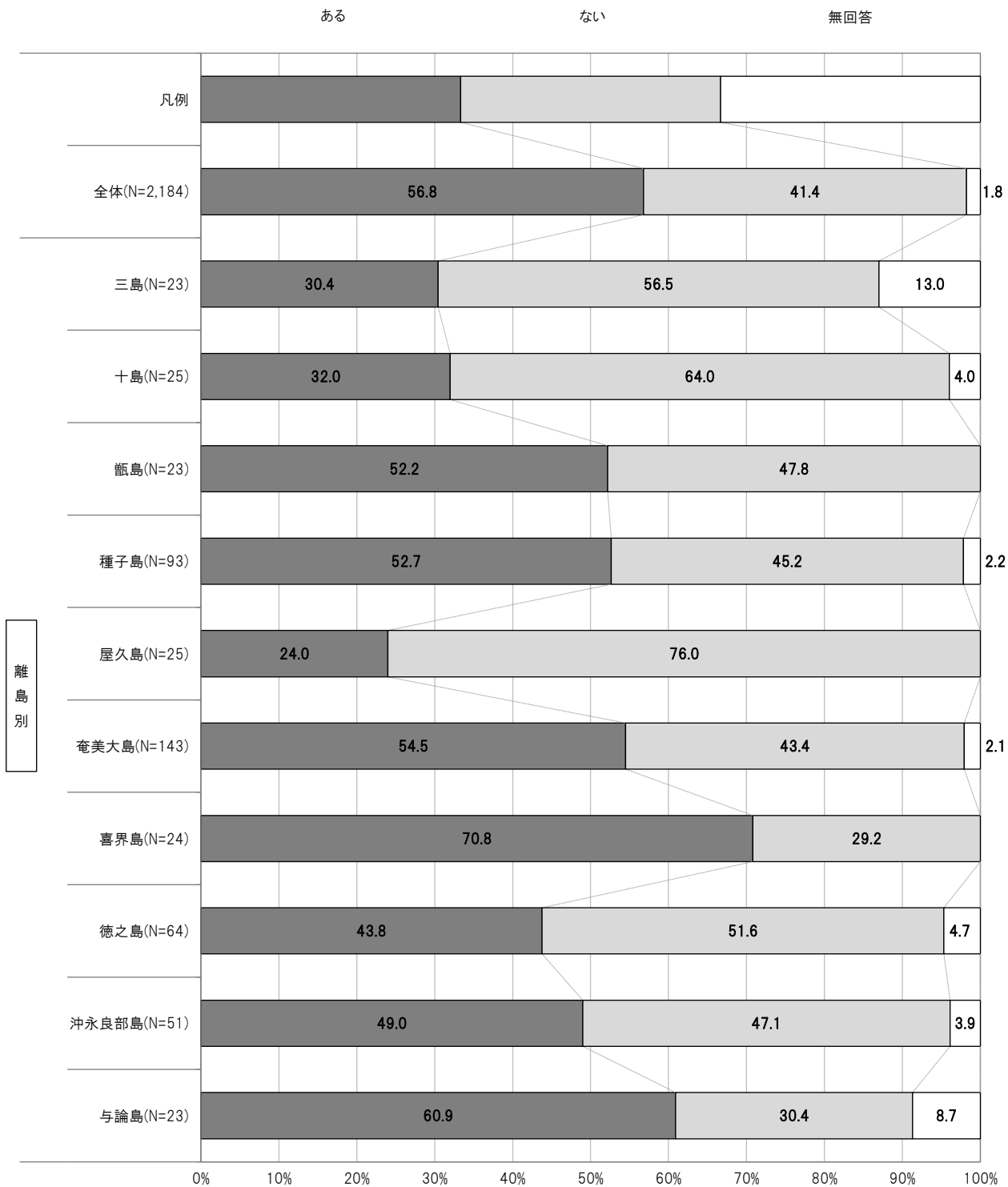
図表 III-87 熊毛保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-88 奄美保健医療圏 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-89 離島別の分析 定期的に（月1回以上）に通院している医療機関の有無【加重集計前・属性別】



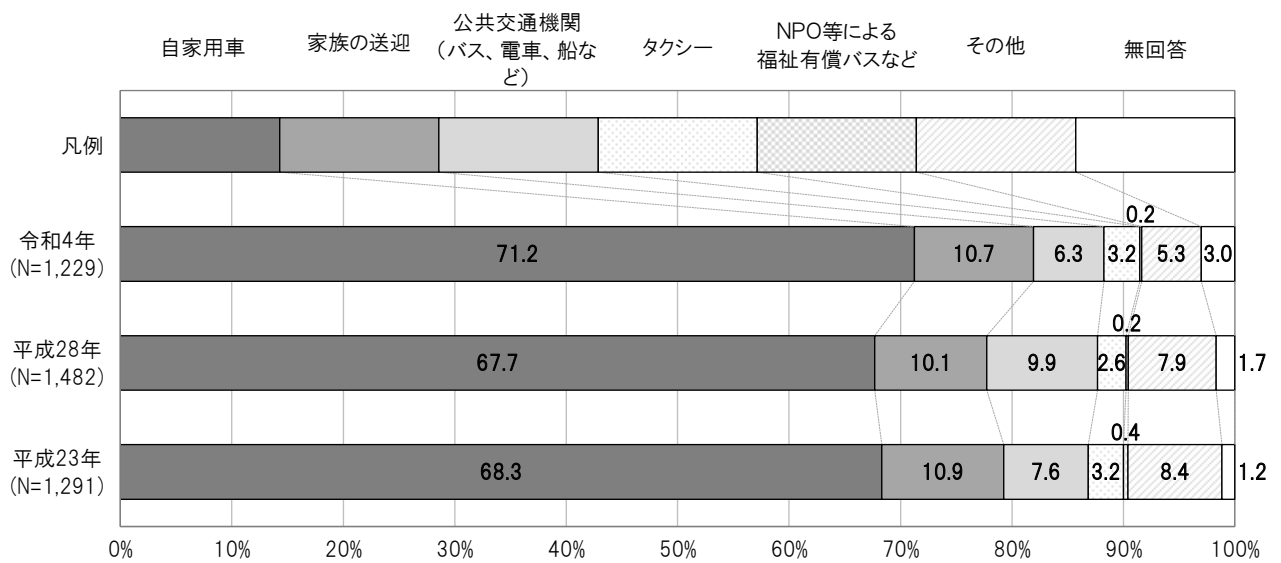
(2) 定期的に通院している医療機関までの交通手段

問9 問8で「1. ある」と回答された方にお尋ねします。
その医療機関へは、通常、どのような交通手段で行きますか。(〇は1つ)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(71.2%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(10.7%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(6.3%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「自家用車」は3.5ポイント増加している。一方、「公共交通機関(バス、電車、船など)」は3.6ポイント減少している。

図表 III-90 定期的に通院している医療機関までの交通手段【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「自家用車」は「鹿児島保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」を除くすべての保健医療圏で7割を超えている。「鹿児島保健医療圏」と「熊毛保健医療圏」では「公共交通機関（バス、電車、船など）」が1割を超えており、他の保健医療圏より高くなっている。

性別にみると、男性は「自家用車」（80.5%）が女性より12.7ポイント高くなっている。

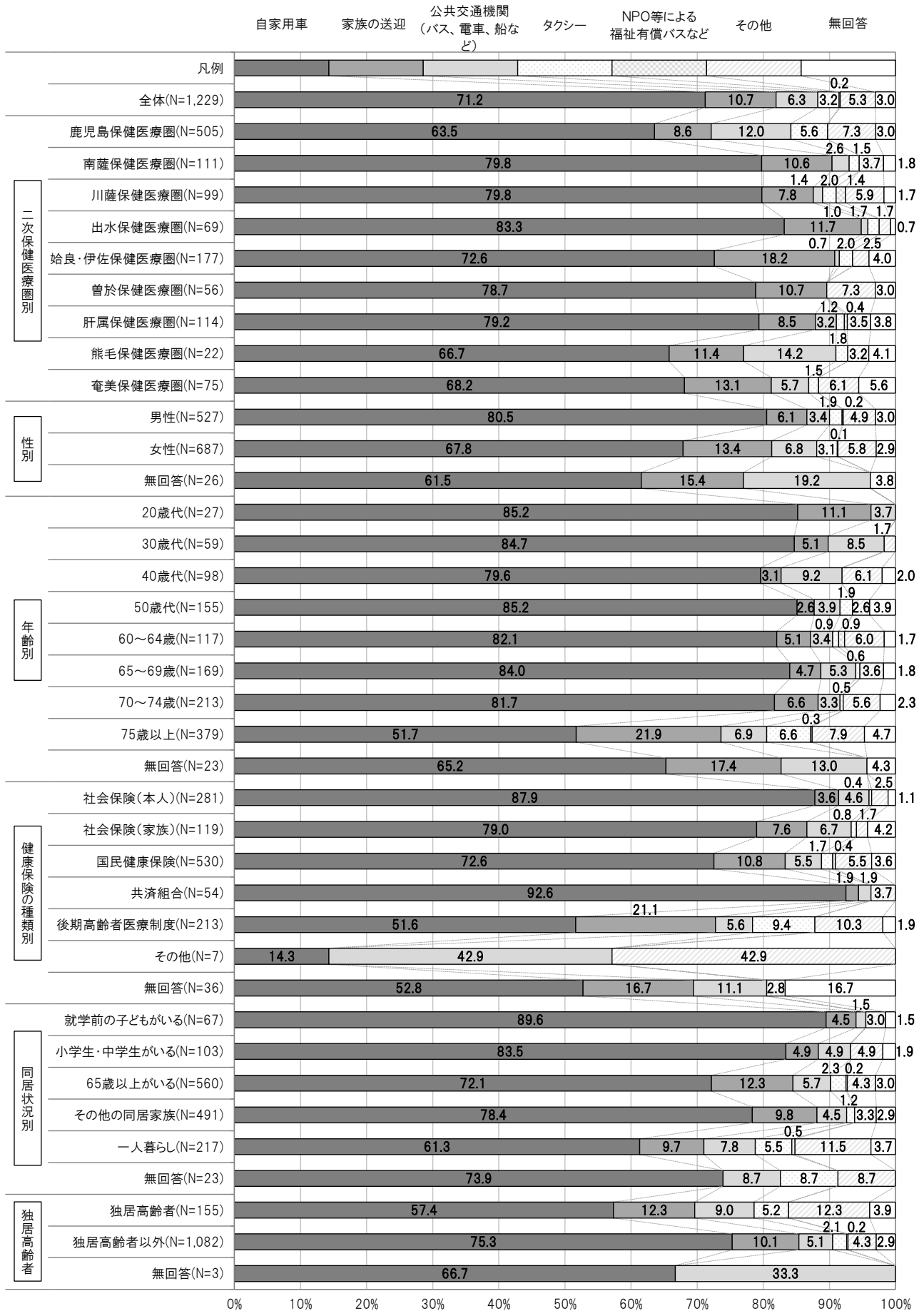
年齢別にみると、「自家用車」は75歳以上を除くすべての年代で概ね8割もしくは8割を超えている。また、75歳以上では「家族の送迎」（21.9%）で他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「共済組合」では「自家用車」が約9割となっている。一方、「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」（21.1%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「自家用車」は「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では8割を超えているが、「一人暮らし」では約6割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自家用車」が57.4%で「独居高齢者以外」より17.9ポイント低くなっている。

図表 III-91 定期的に通院している医療機関までの交通手段【属性別】



ア. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P.142・図表 III-92)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(62.9%)が最も高く、次いで「公共交通機関(バス、電車、船など)」(12.3%)、「家族の送迎」(8.6%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(71.1%)が女性より13.8ポイント、女性は「家族の送迎」(11.5%)が男性より6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高いが、20歳代と75歳以上では「家族の送迎」が約2割と他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「共済組合」では「自家用車」は8割を超えている。「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」が約2割と他の年代より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「自家用車」は8割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自家用車」(53.8%)が最も高く、次いで「公共交通機関(バス、電車、船など)」(12.8%)となっている。

南薩保健医療圏 (P.143・図表 III-93)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(79.8%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(10.5%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(2.6%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(92.6%)が女性より24.7ポイント、女性は「家族の送迎」(17.9%)が男性より14.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高いが、75歳以上では「家族の送迎」が約2割となっている。

健康保険の種類別にみると、すべての種類で「自家用車」が最も高いが、「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」が1割台半ばとなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自家用車」(57.1%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(14.3%)となっている。

川薩保健医療圏 (P.144・図表 III-94)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(75.3%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(9.3%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(4.1%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(80.0%)が女性より7.9ポイント、女性は「家族の送迎」(11.5%)が男性より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高いが、75歳以上では「家族の送迎」が約2割となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」(26.3%)が他の健康保険より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自家用車」(50.0%)が最も高い。

出水保健医療圏 (P. 145・図表 III-95)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(82.4%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(12.2%)となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(84.8%)が女性より4.8ポイント、女性は「家族の送迎」(15.0%)が男性より5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高いが、75歳以上では「家族の送迎」が3割を超えている。

健康保険の種類別にみると、すべての種類で「自家用車」が最も高いが、「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」が3割を超えている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 146・図表 III-96)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(75.4%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(17.0%)となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(81.1%)が女性より10.4ポイント、女性は「家族の送迎」(21.7%)が男性より10.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では「家族の送迎」が2割を超えている。

健康保険の種類別及び同居状況別でも、「自家用車」が最も高い。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自家用車」(63.6%)が「独居高齢者以外」より13.4ポイント低くなっている。一方、「家族の送迎」(22.7%)が「独居高齢者以外」より6.5ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 147・図表 III-97)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(79.7%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(10.2%)となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(87.0%)が女性より12ポイント、女性は「家族の送迎」(13.9%)が男性より9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では「家族の送迎」が27.8%となっている。

健康保険の種類別にみると、すべての種類で「自家用車」が最も高い。

肝属保健医療圏 (P.148・図表 III-98)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(80.9%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(7.8%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(2.1%)の順となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、40歳代と65~74歳では「自家用車」が9割を超えている。

健康保険の種類別及び同居状況別でも、「自家用車」が最も高い。

独居高齢者別にみると、「自家用車」は「独居高齢者」と「独居高齢者以外」とともに7割を超えている。「家族の送迎」は「独居高齢者」が「独居高齢者以外」より10.2ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P.149・図表 III-99)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(67.3%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(12.7%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(10.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(73.9%)が女性より12.6ポイント、女性は男性より「家族の送迎」(16.1%)が7.4ポイント、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(12.9%)が4.2ポイント高くなっている。

奄美保健医療圏 (P.150・図表 III-100)

定期的に通院している医療機関までの交通手段について、全体では「自家用車」(74.1%)が最も高く、次いで「家族の送迎」(9.3%)、「公共交通機関(バス、電車、船など)」(4.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自家用車」(86.2%)が女性より19.9ポイント、女性は「家族の送迎」(12.6%)が男性より8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30~60歳代では「自家用車」が8割を超えている。75歳以上では「家族の送迎」が約2割となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「家族の送迎」と「公共交通機関(バス、

電車、船など)」が約2割となっている。

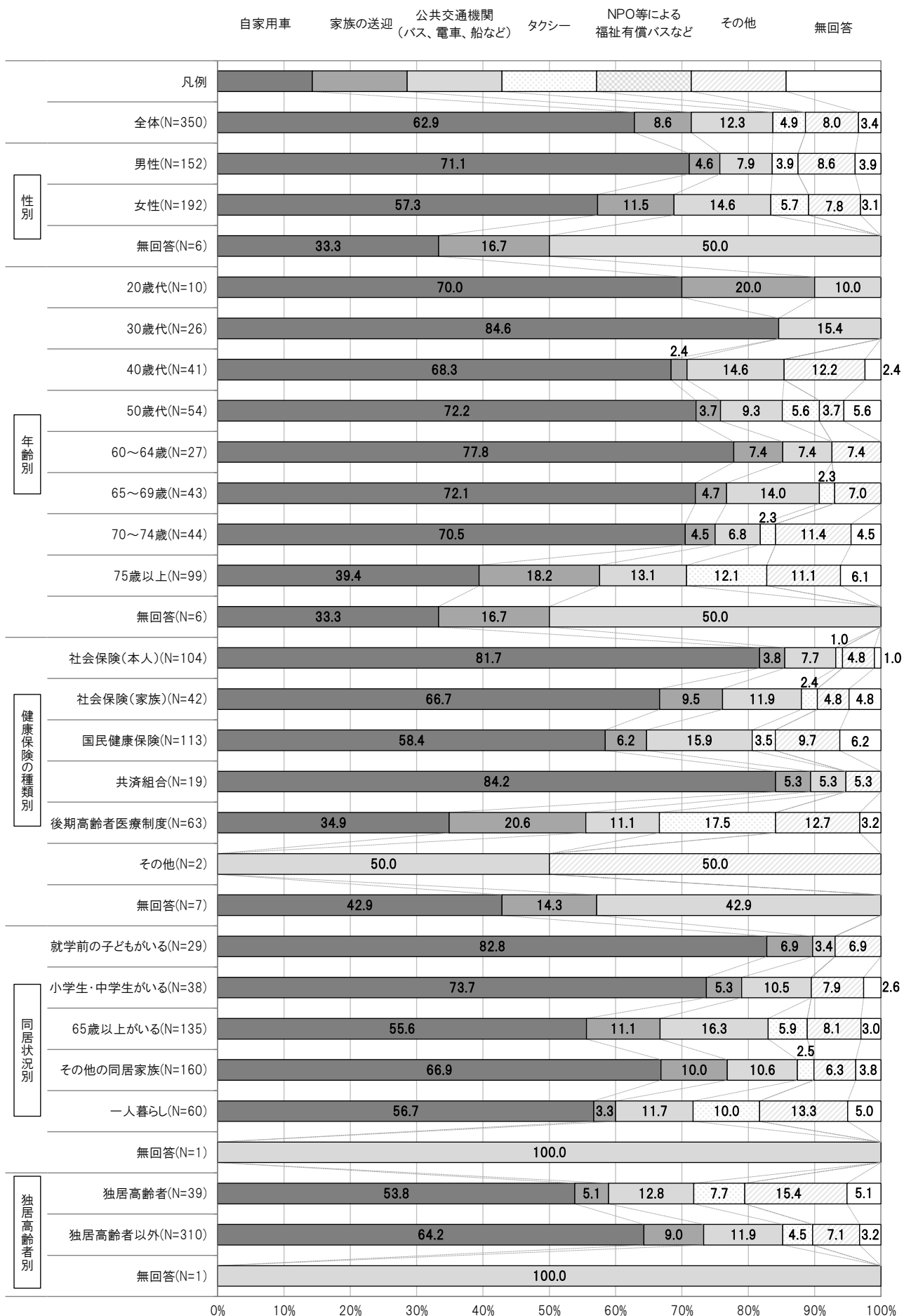
同居状況別にみると、すべての同居状況で「自家用車」が6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「自家用車」は「独居高齢者」で60.0%、「独居高齢者以外」で77.1%となっている。

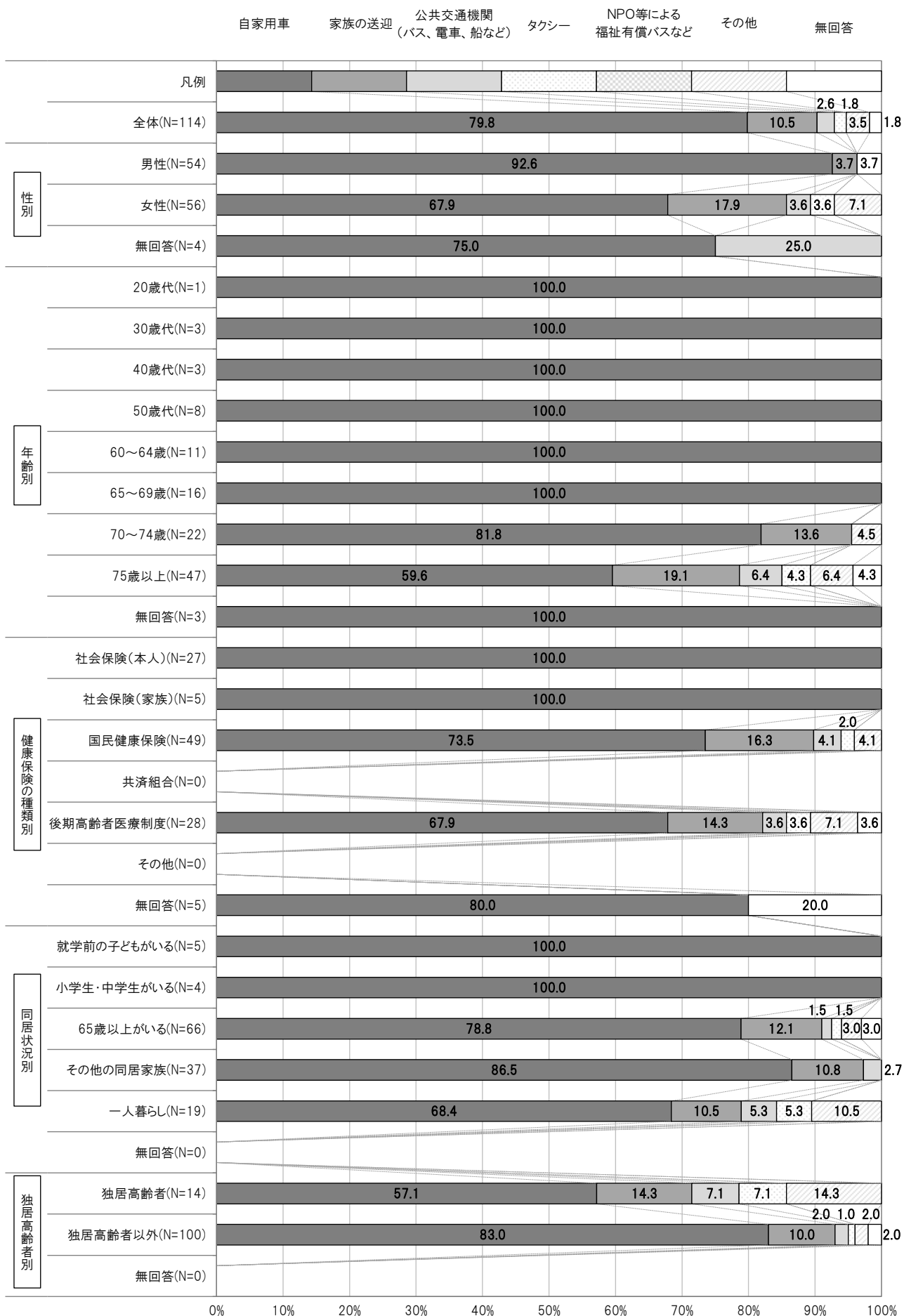
離島別の分析 (P. 151・図表 III-101)

離島別にみると、「自家用車」は「三島」では1割台半ば、「十島」では2割台半ばとなっている。一方、「公共交通機関（バス、電車、船など）」は「三島」、「十島」、「甌島」では2割台半ばを超えている。

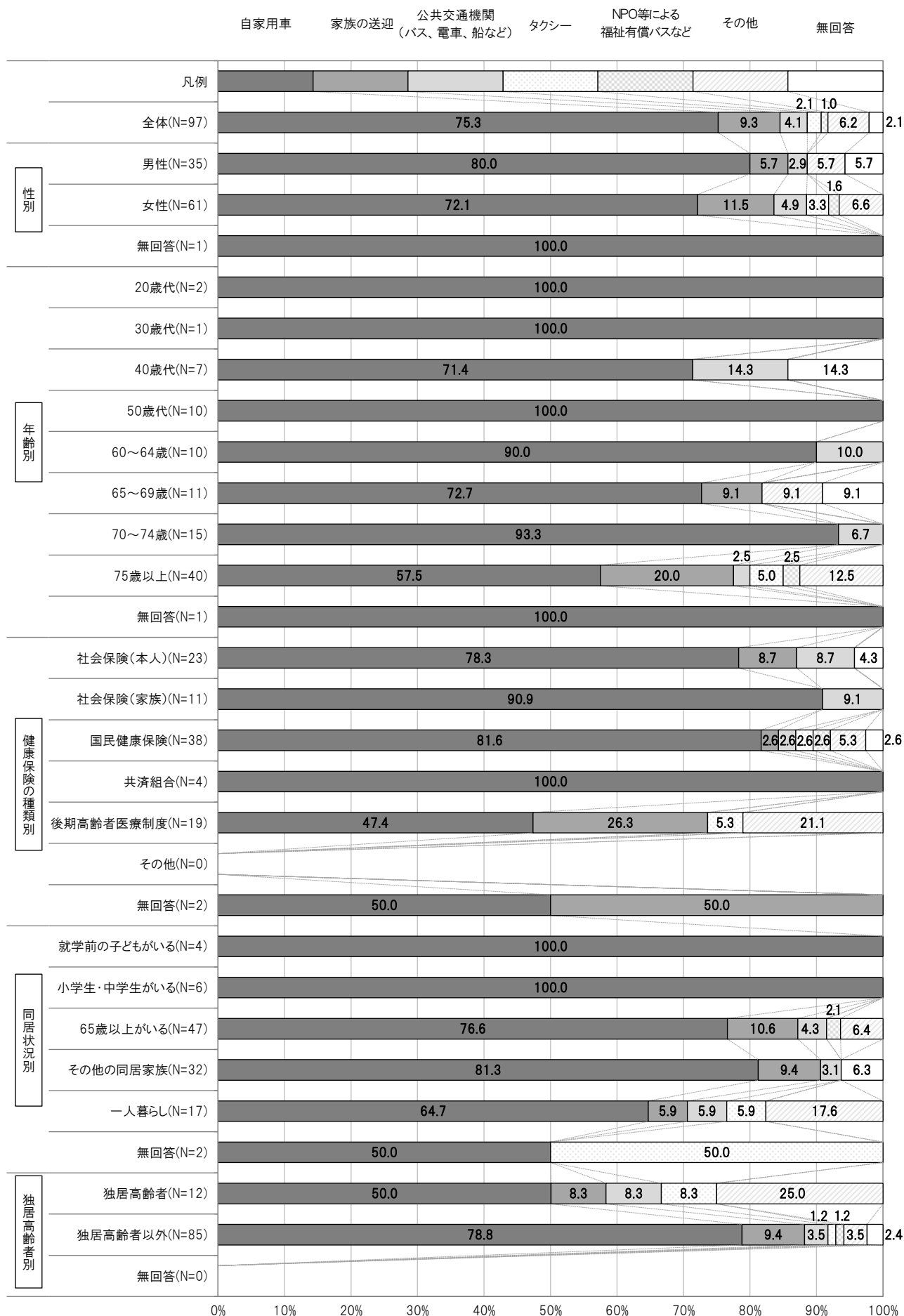
図表 III-92 鹿児島保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



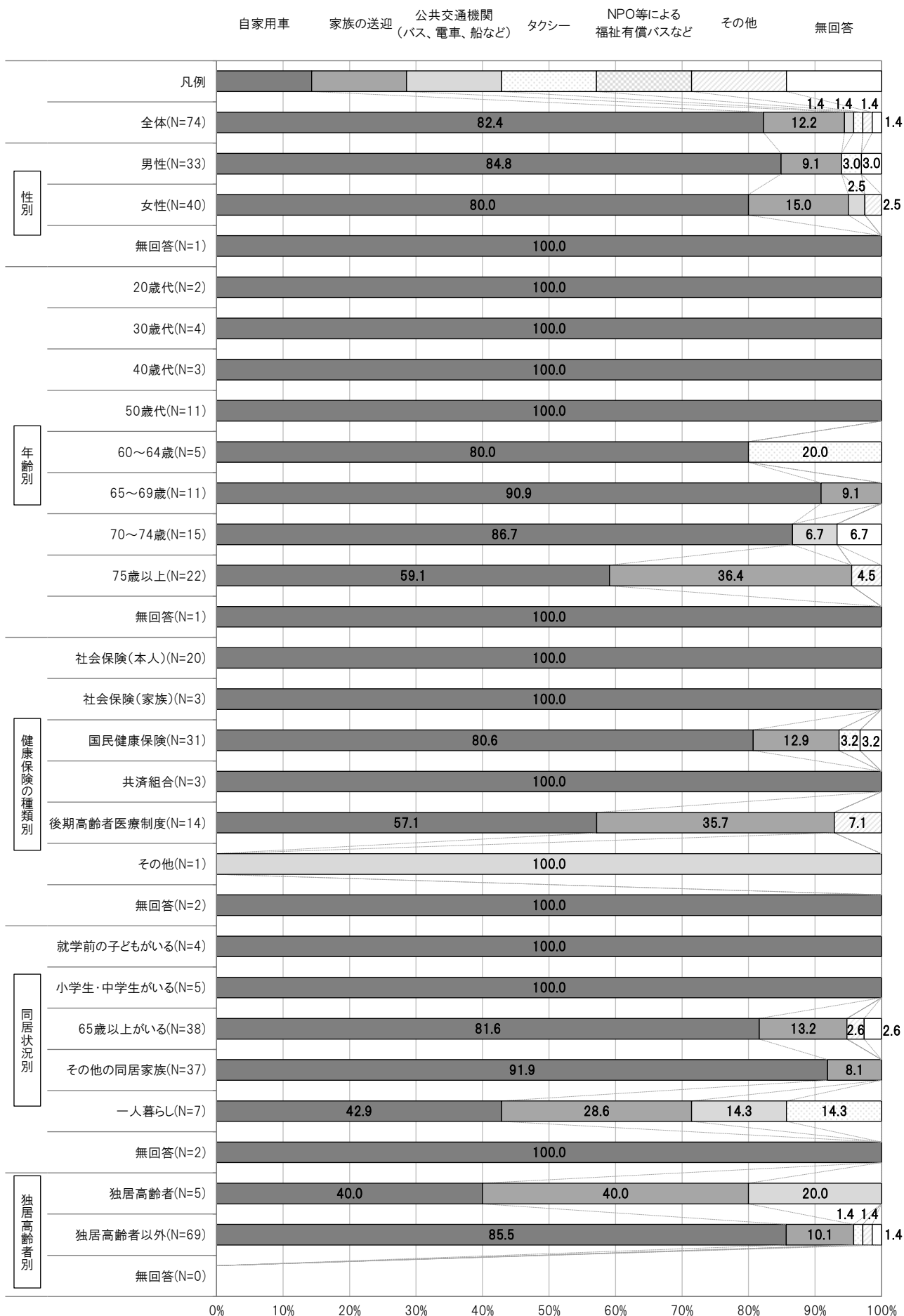
図表 III-93 南薩保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



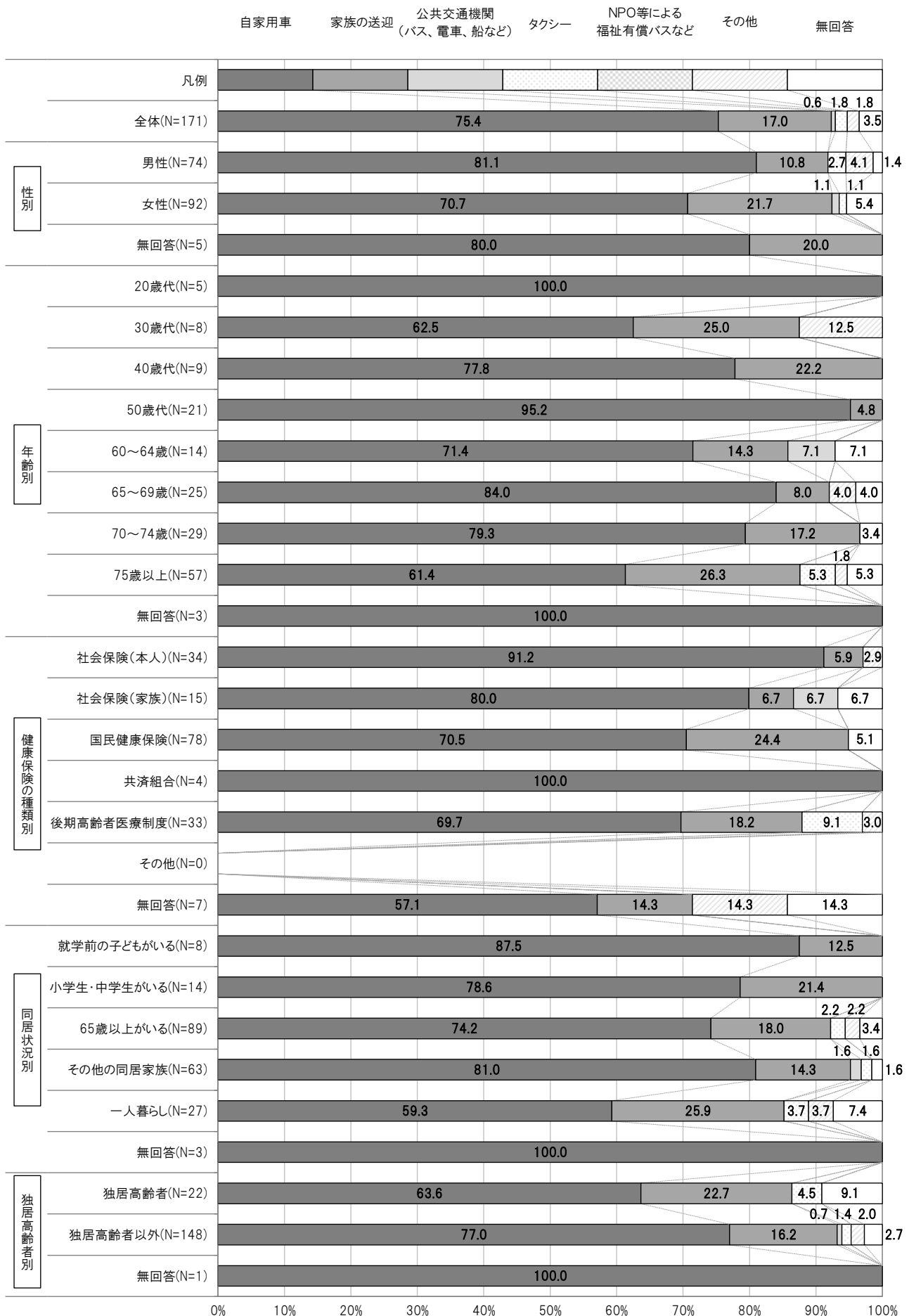
図表 III-94 川薩保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



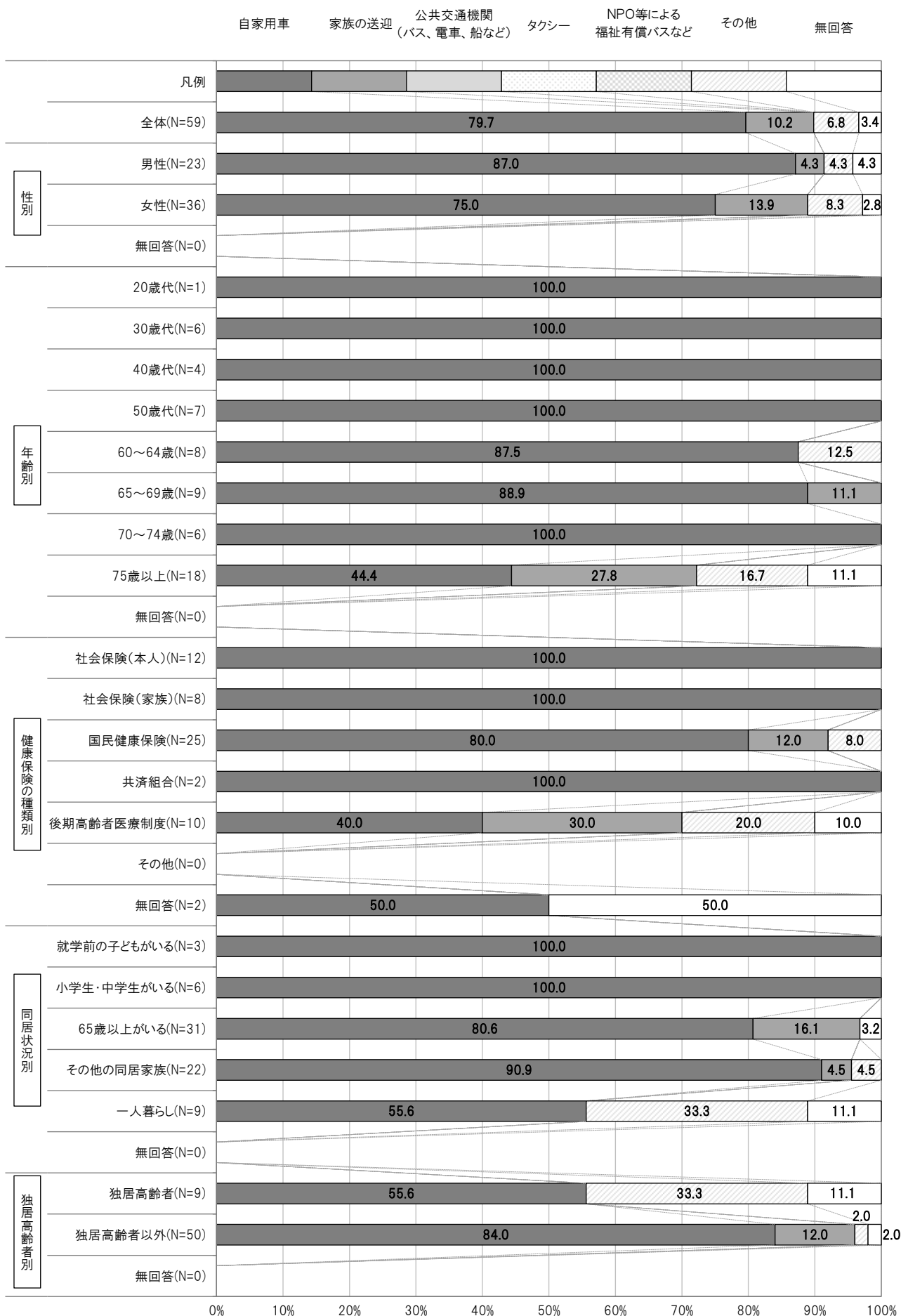
図表 III-95 出水保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



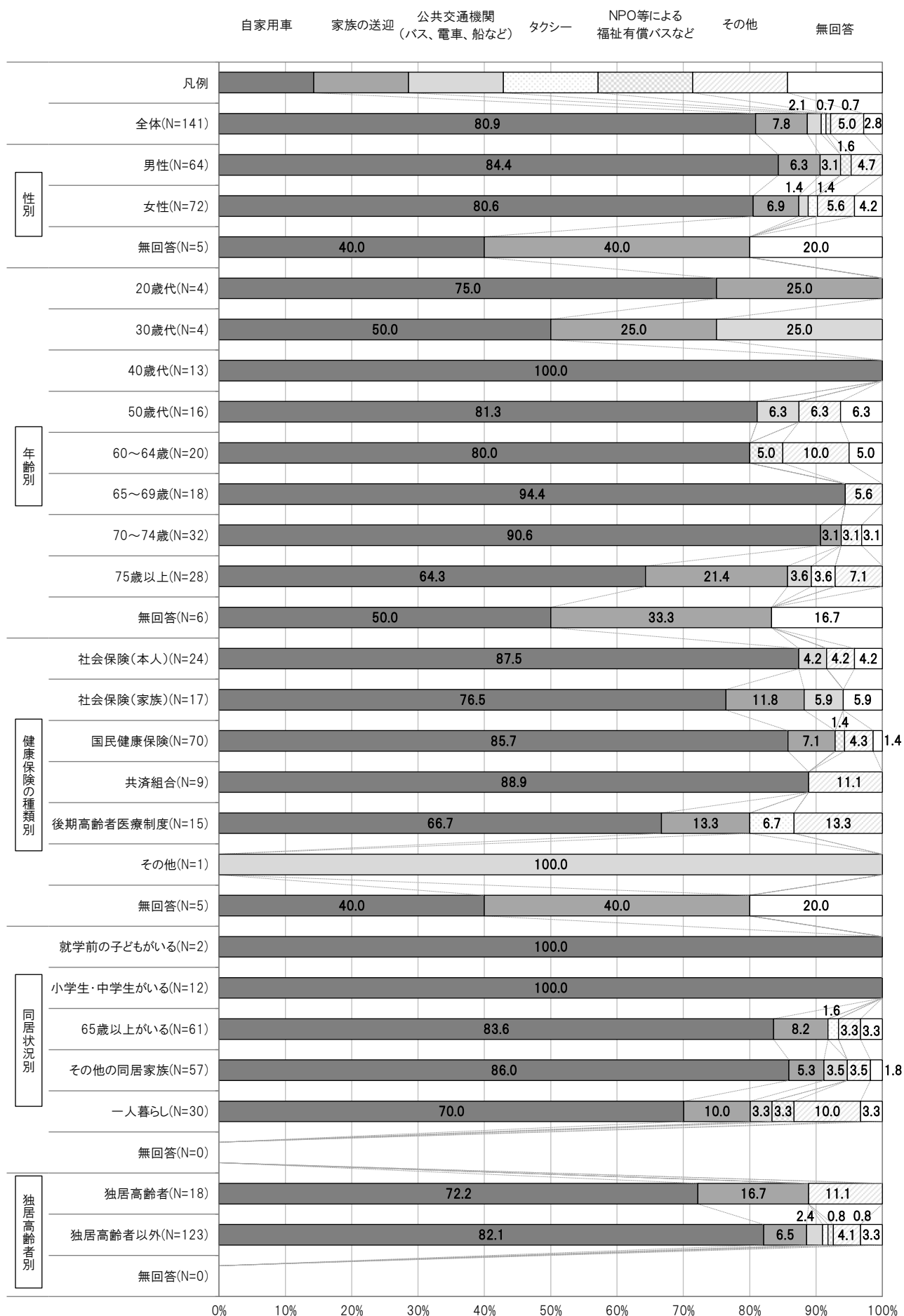
図表 III-96 始良・伊佐保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



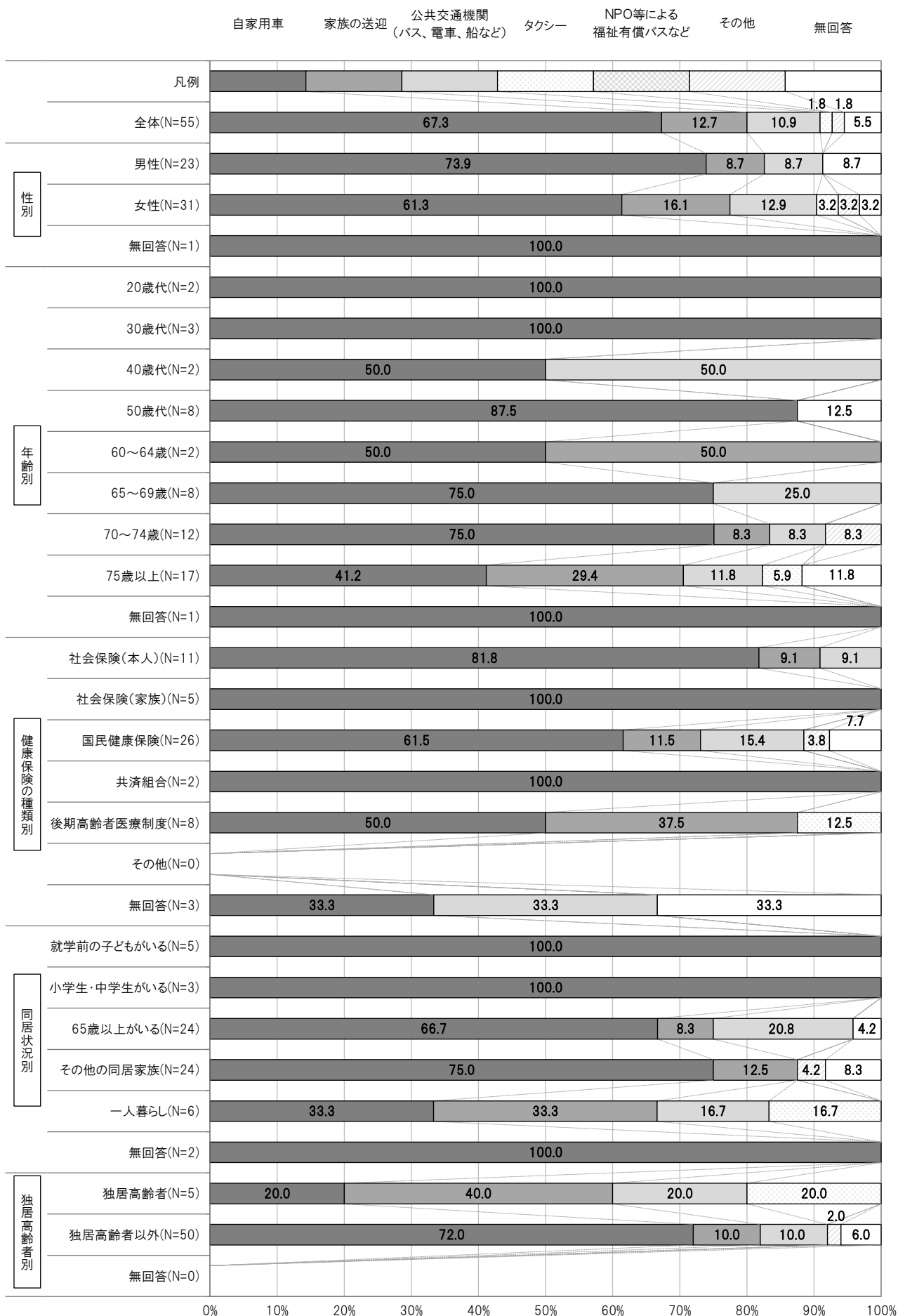
図表 III-97 曾於保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



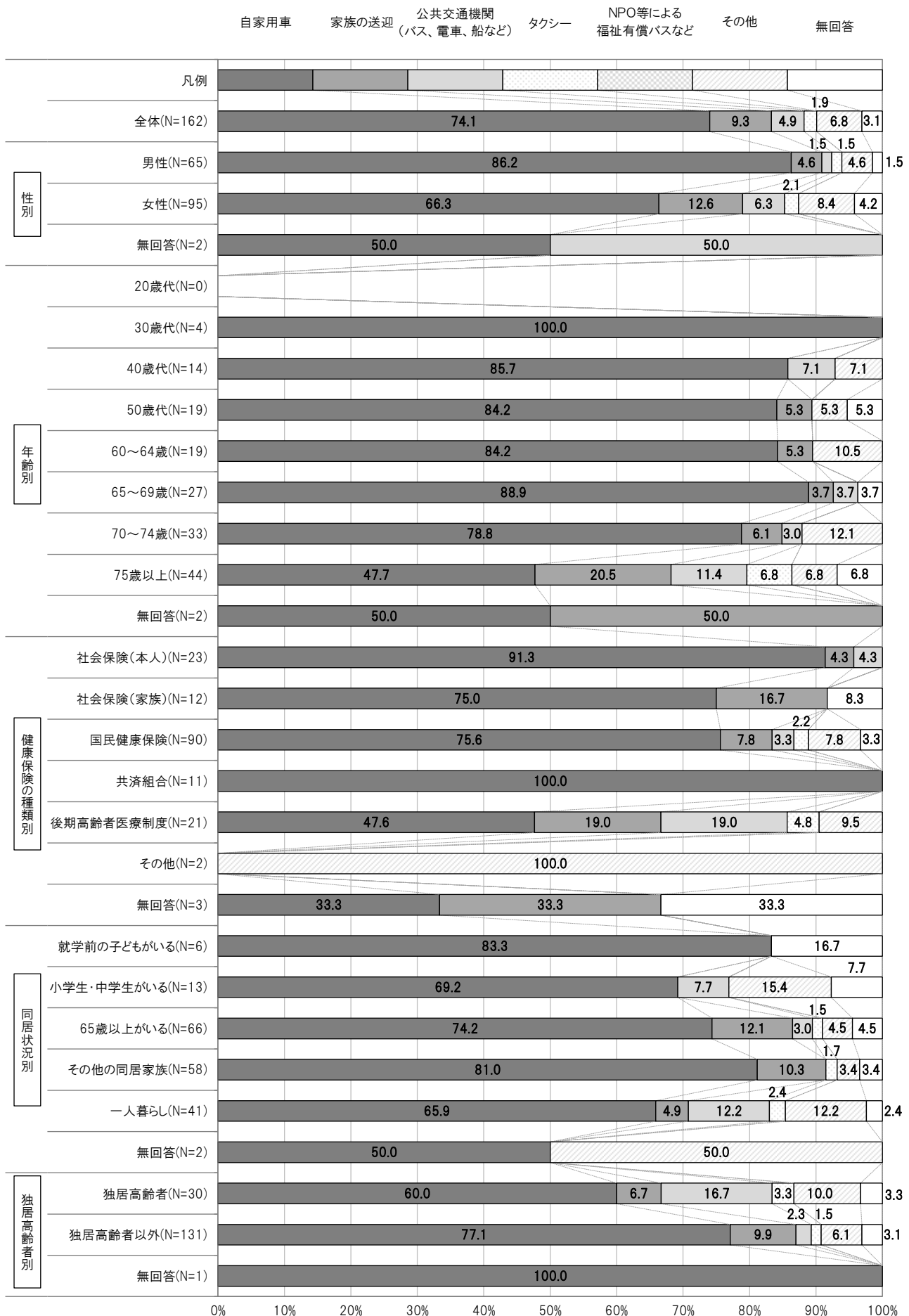
図表 III-98 肝属保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



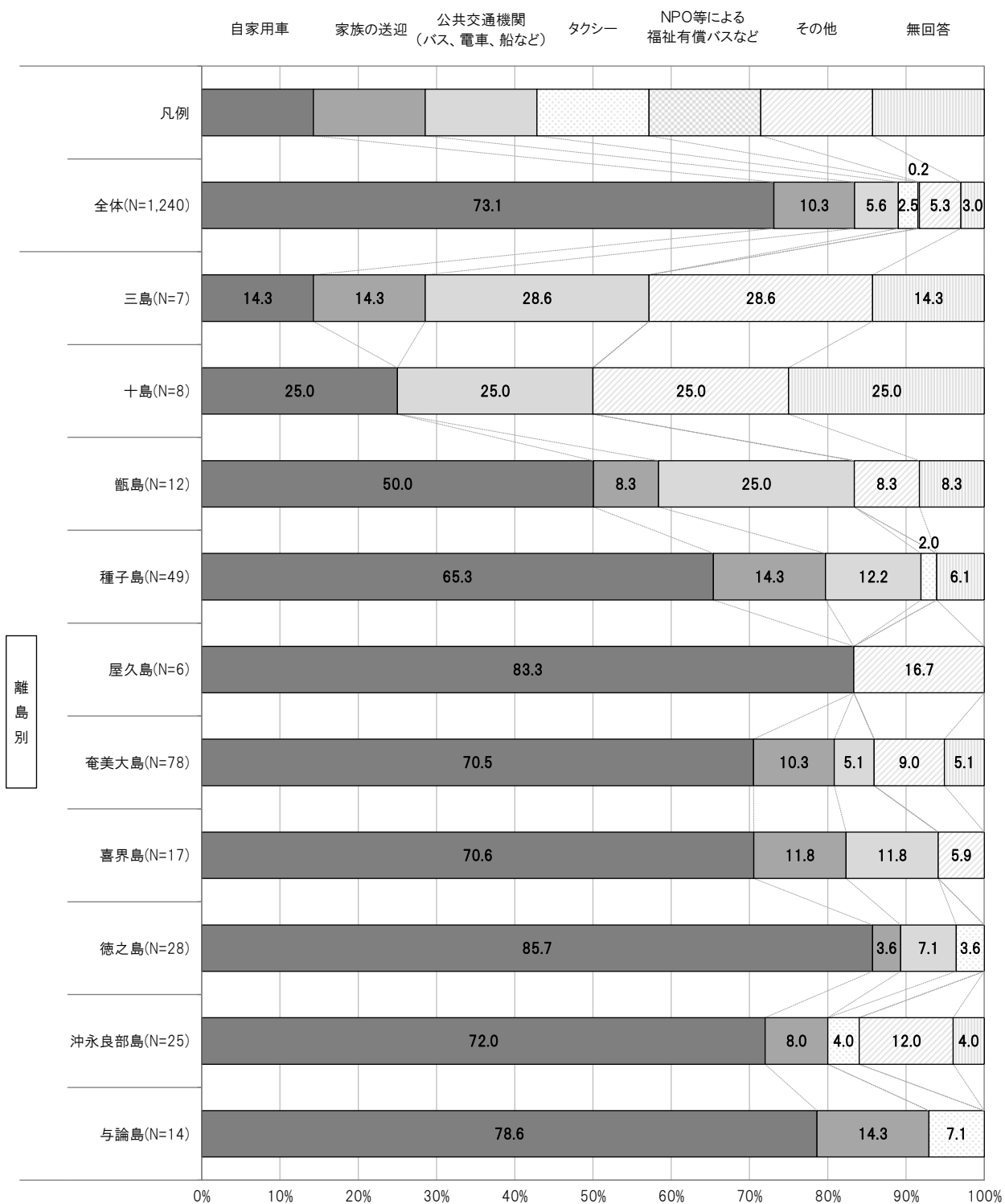
図表 III-99 熊毛保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



図表 III-100 奄美保健医療圏 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



図表 III-101 離島別の分析 定期的に通院している医療機関までの交通手段【加重集計前・属性別】



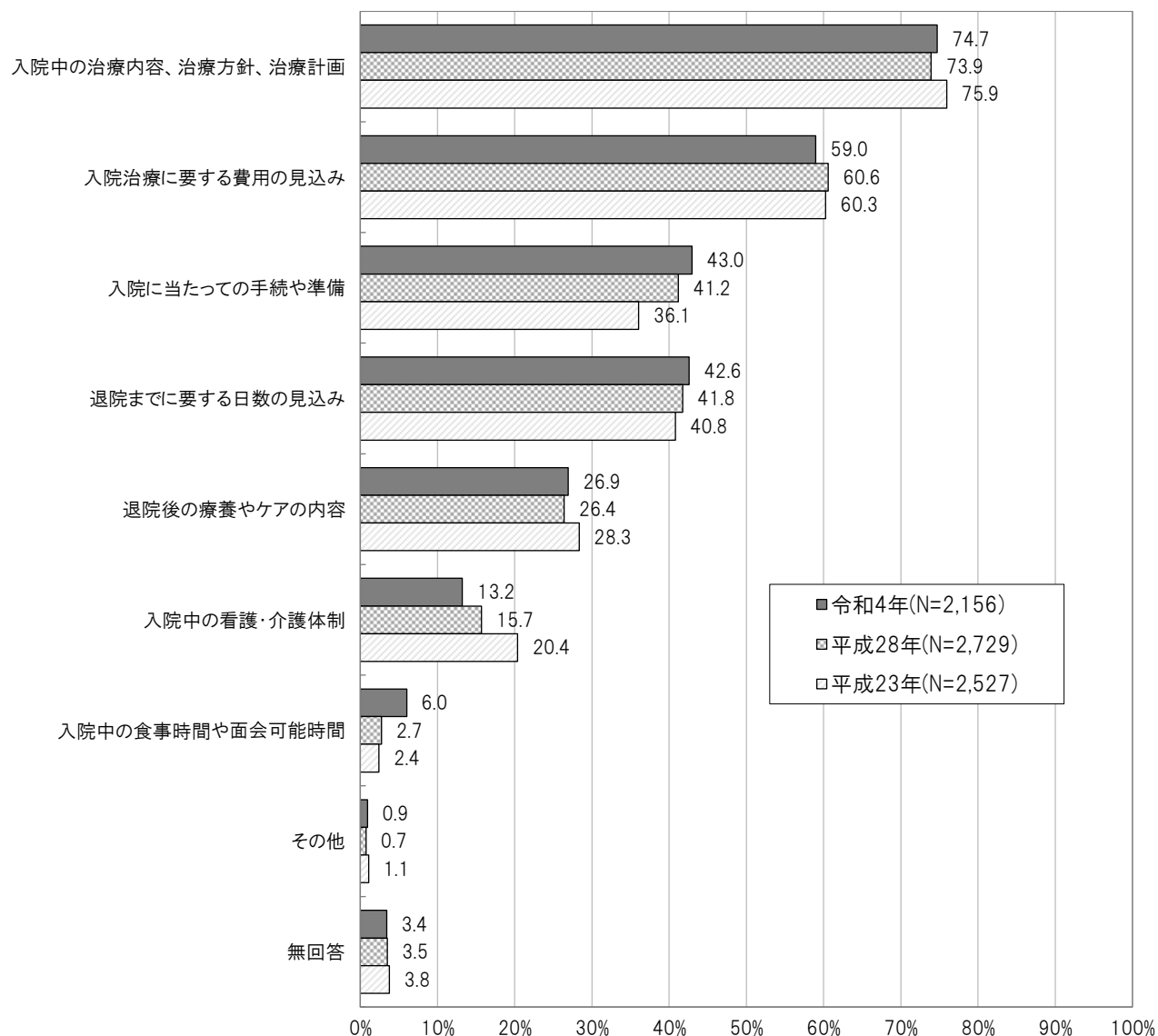
7. 入院する際に受けた説明

問 10 もしあなたが入院することになった場合、どのようなことについて説明を受けたいですか。
(○は3つまで)

入院する際に受けたい説明について、全体では「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」(74.7%)が最も高く、次いで「入院治療に要する費用の見込み」(59.0%)、「入院に当たっての手続や準備」(43.0%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「入院に当たっての手続や準備」及び「入院中の食事時間や面会可能時間」は増加傾向、「入院中の看護・介護体制」は減少傾向がみられた。

図表 III-102 入院する際に受けたい説明・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「熊毛保健医療圏」では「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」(81.5%)と「退院までに要する日数の見込み」(51.3%)が他の保健医療圏より高く、「出水保健医療圏」では「入院治療に要する費用の見込み」(46.9%)と「入院中の食事時間や面会可能時間」(2.5%)が他の保健医療圏より低くなっている。

性別にみると、女性は「退院後の療養やケアの内容」(31.2%)が男性より6.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」は50歳代をピークに高齢になるほど低くなっている。また、「入院治療に要する費用の見込み」も高齢になるほど低くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」は「共済組合」では9割弱となっている。また、「社会保険(本人)」では「退院までに要する日数の見込み」(48.2%)が他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「入院治療に要する費用の見込み」は「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では7割を超えており、他の同居状況より9ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「入院中の治療内容、治療方針、治療計画」(66.7%)、「入院治療に要する費用の見込み」(45.2%)が「独居高齢者以外」より9ポイント以上低くなっている。一方、「入院中の看護・介護体制」(22.4%)で「独居高齢者以外」より9ポイント以上高くなっている。

図表 III-103 入院する際に受けたい説明・複数回答【属性別】

	入院に当たつての 手続や準備	針、治療計画 入院中の治療内容、 治療方	み 入院治療に要する費用の見込	時間 入院中の食事時間や面会可能	入院中の看護・ 介護体制	み 退院までに要する日数の見込	退院後の療養やケアの内容	その他	無回答	
全体(N=2,156)	43.0	74.7	59.0	6.0	13.2	42.6	26.9	0.9	3.4	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	41.3	75.4	61.4	6.4	13.6	43.5	26.7	1.1	3.4
	南薩保健医療圏(N=174)	42.8	73.8	52.7	3.7	15.1	38.8	31.1	0.6	4.4
	川薩保健医療圏(N=152)	49.4	69.6	62.7	7.3	12.2	37.4	25.2	0.2	4.4
	出水保健医療圏(N=111)	44.6	79.6	46.9	2.5	14.7	40.9	28.0	0.0	6.5
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	44.3	76.4	61.9	5.6	9.0	42.1	27.0	1.8	1.7
	曾於保健医療圏(N=104)	47.7	69.5	62.4	8.6	14.8	42.2	24.0	1.2	3.4
	肝属保健医療圏(N=202)	40.7	73.8	57.4	4.3	12.9	43.4	30.2	0.0	3.6
	熊本保健医療圏(N=55)	39.4	81.5	54.6	3.8	14.1	51.3	22.7	0.0	1.6
	奄美保健医療圏(N=142)	43.5	71.7	51.7	9.9	16.7	45.4	23.2	1.1	3.0
性別	男性(N=943)	43.3	72.7	60.0	6.3	13.0	40.7	24.9	0.7	4.3
	女性(N=1,190)	42.7	77.3	55.6	5.9	14.0	41.9	31.2	0.9	2.9
	無回答(N=51)	45.1	51.0	31.4	11.8	15.7	39.2	17.6	0.0	17.6
年齢別	20歳代(N=108)	62.0	69.4	81.5	6.5	8.3	39.8	13.9	0.0	0.9
	30歳代(N=186)	50.5	73.7	72.0	7.0	6.5	47.8	17.7	0.5	2.7
	40歳代(N=291)	44.3	80.8	72.9	4.8	5.8	45.4	26.8	1.7	1.4
	50歳代(N=328)	40.5	81.4	57.6	4.9	11.3	43.6	28.4	0.9	3.0
	60～64歳(N=223)	29.1	80.3	58.3	5.4	16.1	46.6	27.4	0.9	4.0
	65～69歳(N=247)	36.0	78.9	53.0	5.3	19.4	45.7	31.6	0.4	1.6
	70～74歳(N=288)	42.7	75.7	51.4	5.9	13.5	34.0	34.0	0.3	4.5
	75歳以上(N=473)	47.1	64.1	42.9	8.7	20.1	34.5	32.1	1.1	6.3
無回答(N=40)	40.0	57.5	22.5	5.0	12.5	45.0	17.5	0.0	20.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	43.1	76.3	65.6	5.8	8.5	48.2	25.6	0.7	2.8
	社会保険(家族)(N=223)	42.6	79.8	60.1	4.9	13.9	42.6	26.9	1.3	2.7
	国民健康保険(N=795)	42.3	73.6	53.8	6.9	16.1	36.1	30.1	0.9	3.9
	共済組合(N=161)	47.8	88.8	65.8	3.7	9.3	41.6	25.5	0.0	1.9
	後期高齢者医療制度(N=269)	42.0	66.5	43.1	6.7	20.1	40.9	34.6	0.7	5.2
	その他(N=9)	55.6	55.6	22.2	0.0	55.6	11.1	44.4	0.0	0.0
無回答(N=59)	42.4	54.2	33.9	10.2	13.6	35.6	11.9	1.7	18.6	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	44.2	75.6	76.2	7.0	7.0	55.8	17.4	0.6	1.2
	小学生・中学生がいる(N=264)	40.2	75.8	70.1	5.7	6.8	51.5	20.5	1.5	3.4
	65歳以上がいる(N=838)	42.7	74.8	50.7	6.2	15.3	38.7	31.6	1.1	4.8
	その他の同居家族(N=934)	41.1	78.6	60.4	6.1	13.5	43.1	27.4	0.9	2.8
	一人暮らし(N=381)	47.8	70.1	53.0	5.0	17.8	41.2	27.3	0.3	2.9
無回答(N=39)	46.2	66.7	59.0	5.1	0.0	25.6	30.8	0.0	7.7	
高齢者 独居者別	独居高齢者(N=210)	48.1	66.7	45.2	5.2	22.4	43.8	29.5	0.5	3.3
	独居高齢者以外(N=1,968)	42.5	75.7	58.3	6.3	12.8	41.2	28.0	0.9	3.9
	無回答(N=6)	33.3	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7

(単位:%)

8. 退院する際に受けたい説明

問 11	在院日数の短縮化が一般的になり、病院から在宅への移行が推進されていますが、あなたが入院し退院することになった場合、どのようなことについて説明が必要だと思いますか。(〇は3つまで)
------	---

退院する際に受けたい説明について、全体では「退院後の治療内容、治療方針、治療計画」(65.7%)が最も高く、次いで「退院後の病気の再発や急病時の対応について」(39.6%)、「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」(34.0%)の順となっている。

二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」では「退院後の治療内容、治療方針、治療計画」(70.6%)が最も高く、他の保健医療圏より高くなっている。「川薩保健医療圏」では「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」(25.5%)が他の保健医療圏より低くなっている。

性別にみると、男性は「退院後に要する治療費等の見込み」(25.6%)が女性より6.1ポイント、女性は「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」(38.5%)が男性より10ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「退院後の治療内容、治療方針、治療計画」は65～69歳、「退院後に要する自己負担の軽減制度等について」は40歳代をピークに高齢になるほど低くなっている。また、65～69歳では「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」が4割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「退院後に要する治療費等の見込み」、「小学生・中学生がいる」では「退院後に要する自己負担の軽減制度等について」が3割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「独居高齢者以外」より「退院後に受けられる医療・介護サービス等について」(39.5%)が6.1ポイント高く、一方、「退院後の治療内容、治療方針、治療計画」(60.0%)と「退院後に要する治療費等の見込み」(16.7%)が5ポイント以上低くなっている。

図表 III-104 退院する際に受けた説明・複数回答【属性別】1/2

	退院に当たっての 手続や準備	退院後の治療内容、 治療方針、 治療計画	退院後に要する治療費等の 見込み	退院後に要する自己負担の 軽減等について	退院後の日常生活の過ごし方 や通院方法について	退院後の食生活について	退院後に受けられる医療・介 護サービス等について	退院後の相談窓口について	退院後の家族や支援者の役割 や支援方法について	
全体(N=2,156)	17.6	65.7	22.6	27.2	32.8	9.1	34.0	8.4	7.6	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	16.2	66.4	24.3	27.3	31.6	9.1	35.1	8.9	6.7
	南薩保健医療圏(N=174)	14.5	70.6	15.6	21.4	33.9	12.1	36.2	7.4	8.2
	川薩保健医療圏(N=152)	21.4	64.1	28.5	27.1	34.1	13.3	25.5	4.7	7.3
	出水保健医療圏(N=111)	17.1	60.4	14.6	26.2	33.0	10.8	36.6	5.2	6.2
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	20.9	67.4	24.4	24.3	32.2	7.4	32.6	9.7	9.6
	曾於保健医療圏(N=104)	18.5	62.6	20.1	33.7	30.0	10.4	29.8	5.9	9.1
	肝属保健医療圏(N=202)	17.4	64.8	21.6	30.0	35.5	5.6	37.6	10.9	8.5
	熊本保健医療圏(N=55)	15.4	64.8	16.7	35.2	36.8	11.2	31.9	11.4	6.6
	奄美保健医療圏(N=142)	20.1	61.9	21.4	28.6	36.5	7.1	33.4	7.5	7.0
性別	男性(N=943)	19.9	68.8	25.6	27.9	32.2	10.7	28.5	6.9	6.7
	女性(N=1,190)	15.6	64.7	19.5	24.5	35.4	8.4	38.5	10.3	8.2
	無回答(N=51)	23.5	41.2	11.8	19.6	15.7	15.7	27.5	2.0	9.8
年齢別	20歳代(N=108)	30.6	52.8	27.8	24.1	42.6	9.3	25.0	12.0	6.5
	30歳代(N=186)	23.1	56.5	28.0	31.7	39.2	5.4	29.0	13.4	7.5
	40歳代(N=291)	14.8	67.4	28.9	38.8	34.4	7.2	30.6	11.3	7.9
	50歳代(N=328)	17.7	70.7	21.3	30.5	32.9	10.4	29.9	8.2	8.8
	60～64歳(N=223)	13.5	71.7	26.5	23.3	29.1	11.2	36.3	9.9	5.4
	65～69歳(N=247)	10.5	75.7	17.0	23.1	33.6	10.1	41.7	9.7	4.5
	70～74歳(N=288)	15.3	68.8	21.2	22.2	28.8	9.7	35.4	5.9	7.6
	75歳以上(N=473)	21.4	60.7	16.3	17.8	35.3	10.4	37.6	5.5	8.9
無回答(N=40)	20.0	45.0	10.0	22.5	20.0	17.5	22.5	2.5	12.5	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	18.9	67.2	27.5	31.0	33.8	7.8	28.6	9.9	6.6
	社会保険(家族)(N=223)	17.5	69.1	22.0	28.7	35.0	8.5	35.9	9.4	8.1
	国民健康保険(N=795)	16.2	64.7	20.9	24.8	31.9	11.3	35.2	7.9	8.6
	共済組合(N=161)	16.1	74.5	19.9	21.1	46.6	8.1	36.6	13.0	4.3
	後期高齢者医療制度(N=269)	19.0	65.1	13.4	18.2	32.3	10.4	42.0	5.6	8.2
	その他(N=9)	22.2	44.4	22.2	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0	11.1
無回答(N=59)	22.0	40.7	16.9	18.6	18.6	11.9	25.4	3.4	8.5	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	15.1	62.2	32.6	28.5	37.2	9.9	30.8	10.5	9.9
	小学生・中学生がいる(N=264)	14.8	67.4	27.3	34.5	36.0	5.3	31.1	9.8	9.5
	65歳以上がいる(N=838)	14.8	68.4	19.6	22.1	33.7	11.1	36.0	8.2	7.6
	その他の同居家族(N=934)	16.5	69.4	22.1	28.2	32.4	9.6	33.6	8.8	7.9
	一人暮らし(N=381)	23.4	59.1	20.5	24.7	35.4	8.9	34.4	8.9	5.8
無回答(N=39)	23.1	61.5	33.3	30.8	17.9	5.1	28.2	2.6	7.7	
高齢者別	独居高齢者(N=210)	21.4	60.0	16.7	20.0	30.0	8.1	39.5	8.1	5.7
	独居高齢者以外(N=1,968)	17.3	66.6	22.5	26.4	34.0	9.7	33.4	8.6	7.8
	無回答(N=6)	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0

(単位:%)

図表 III-105 退院する際に受けた説明・複数回答【属性別】 2/2

	退院後の病気の再発や急病時の対応について	その他	無回答	
全体(N=2,156)	39.6	0.9	3.2	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	38.2	1.6	3.3
	南薩保健医療圏(N=174)	39.3	0.6	2.4
	川薩保健医療圏(N=152)	36.2	0.2	4.2
	出水保健医療圏(N=111)	47.7	0.0	7.7
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	40.7	0.0	2.5
	曾於保健医療圏(N=104)	42.9	2.1	3.5
	肝属保健医療圏(N=202)	40.3	0.0	1.4
	熊毛保健医療圏(N=55)	43.8	0.0	1.6
	奄美保健医療圏(N=142)	39.4	0.6	3.6
	性別	男性(N=943)	37.2	1.0
女性(N=1,190)		42.5	0.6	2.9
無回答(N=51)		23.5	0.0	27.5
年齢別	20歳代(N=108)	38.9	0.0	0.9
	30歳代(N=186)	37.1	1.1	2.2
	40歳代(N=291)	37.8	0.7	0.7
	50歳代(N=328)	39.9	0.9	1.8
	60～64歳(N=223)	41.3	0.4	2.7
	65～69歳(N=247)	44.1	0.8	1.6
	70～74歳(N=288)	45.5	0.7	4.9
	75歳以上(N=473)	37.2	0.8	5.9
無回答(N=40)	22.5	0.0	27.5	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	38.9	0.6	2.2
	社会保険(家族)(N=223)	37.2	0.9	1.8
	国民健康保険(N=795)	41.0	0.9	3.3
	共済組合(N=161)	44.1	0.0	0.6
	後期高齢者医療制度(N=269)	40.5	0.7	5.6
	その他(N=9)	44.4	11.1	11.1
	無回答(N=59)	27.1	0.0	23.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	40.7	0.6	1.7
	小学生・中学生がいる(N=264)	38.3	0.8	1.5
	65歳以上がいる(N=838)	40.1	1.0	3.6
	その他の同居家族(N=934)	40.7	1.0	2.6
	一人暮らし(N=381)	40.2	1.0	4.5
	無回答(N=39)	17.9	0.0	10.3
高齢者別	独居高齢者(N=210)	43.3	1.4	6.2
	独居高齢者以外(N=1,968)	39.5	0.7	3.2
	無回答(N=6)	16.7	0.0	16.7

(単位:%)

9. かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局

問 12 あなたはかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を決めていますか。
(○はそれぞれ1つ)

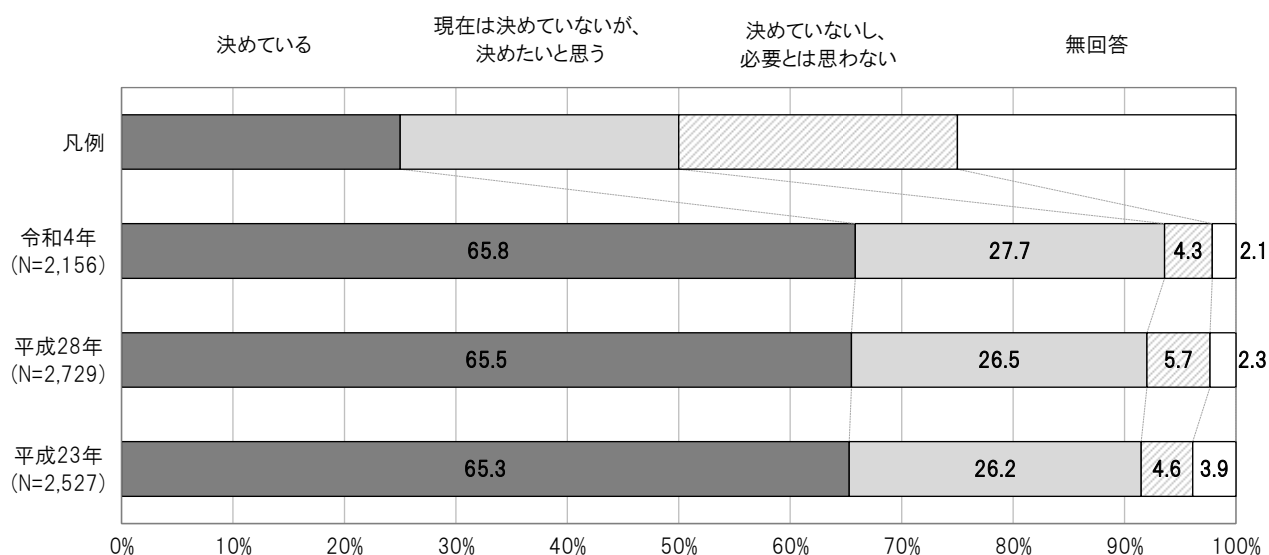
(1) かかりつけ医の有無

ア. 全体の分析

かかりつけ医について、全体では「決めている」(65.8%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(27.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(4.3%)となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「決めている」は増加傾向がみられた。また、平成28年調査より「決めていないし、必要とは思わない」は減少傾向がみられた。

図表 III-106 かかりつけ医の有無【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」では「決めている」が7割を超えている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

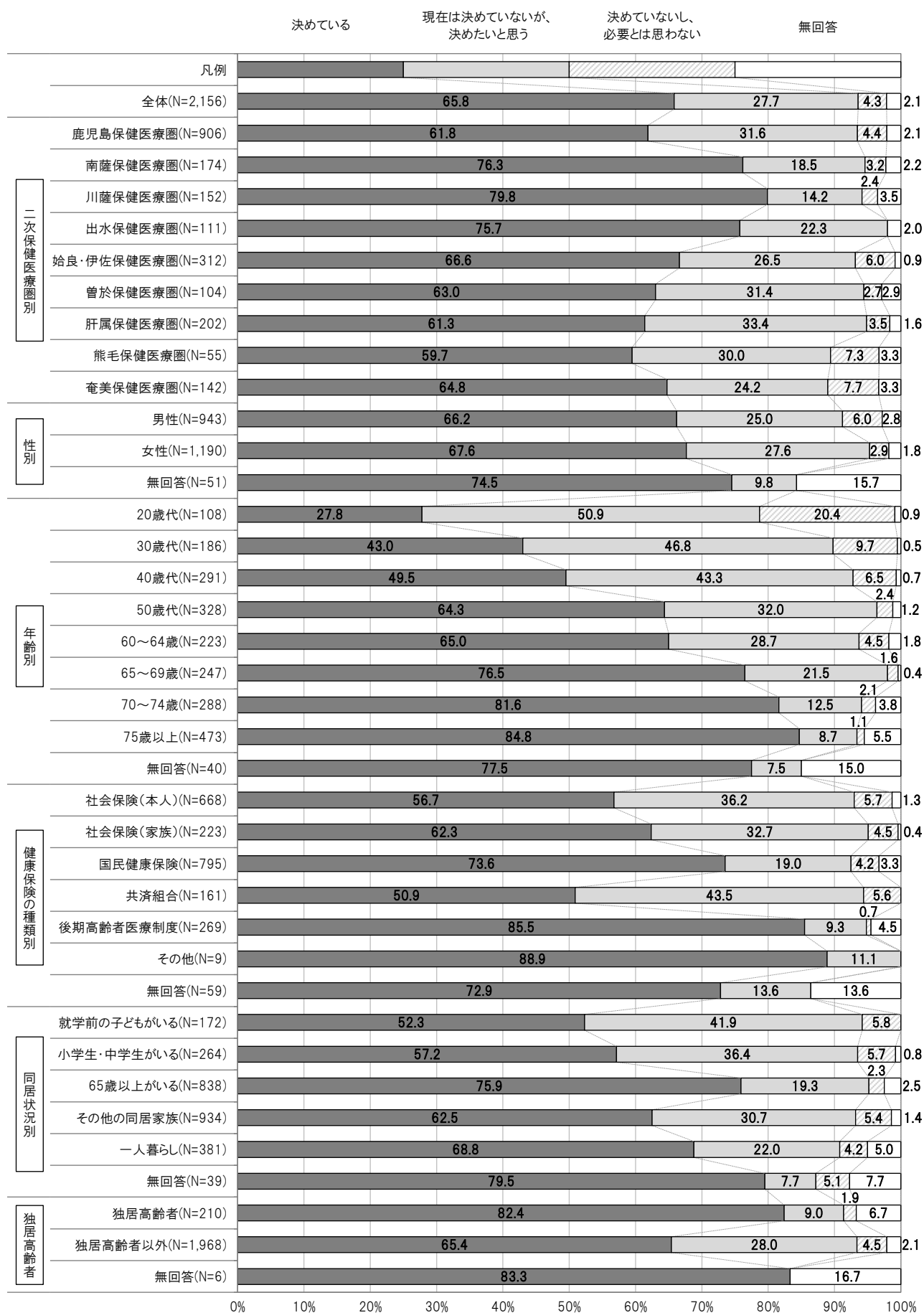
年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」が高くなっており、20歳代では27.8%、75歳以上では84.8%となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が85.5%となっている。

同居状況別にみると、「決めている」は「65歳以上がいる」では75.9%となっている。「就学前の子どもがいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が41.9%となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(82.4%)が「独居高齢者以外」より17.0ポイント高くなっている。

図表 III-107 かかりつけ医の有無【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 165・図表 III-108)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(62.2%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(30.9%)、「決めていないし、必要とは思わない」(4.5%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」は高くなる傾向がみられ、75歳以上は8割台半ばとなっている。

健康保険の種類別にみると、「決めている」は「国民健康保険」では6割台半ば、「後期高齢者医療制度」では8割台半ばであるが、「共済組合」では5割を下回っている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」(71.6%)が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」が9割を超え、「独居高齢者以外」より30ポイント以上高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 166・図表 III-109)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(75.8%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(18.5%)、「決めていないし、必要とは思わない」(3.4%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、65歳以上では「決めている」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」、「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「決めている」は「一人暮らし」では8割台半ば、「65歳以上がいる」では8割近くとなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(90.5%)が「独居高齢者以外」より16.6ポイント高くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 167・図表 III-110)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(76.3%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(16.4%)、「決めていないし、必要とは思わない」(3.3%)となっている。

性別にみると、男女とも「決めている」が7割を超えている。

年齢別にみると、70～74歳では「決めている」が9割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「決めている」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「決めている」は「65歳以上がいる」では8割を超えている。一方、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「一人暮らし」では7割を下回っている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(66.7%)が「独居高齢者以外」より10.9ポイント低くなっている。

出水保健医療圏 (P.168・図表 III-111)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(75.4%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(22.1%)で、「決めていないし、必要とは思わない」との回答はなかった。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、60歳以上では「決めている」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が9割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」は「現在は決めていないが、決めたいと思う」(63.6%)が最も高くなっている。また、「65歳以上がいる」では「決めている」が9割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」が8割となっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P.169・図表 III-112)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(68.3%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(25.4%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.3%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(74.0%)が男性より12.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「決めている」は65歳以上では8割を超えている。また、40歳代でも約7割と他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は「現在は決めていないが、決めたいと思う」(52.9%)が最も高くなっている。「後期高齢者医療制度」では、「決めている」が87.8%となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が8割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(88.0%)が「独居高齢者以外」より21.5ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 170・図表 III-113)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(61.9%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(32.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(2.7%)となっている。

性別にみると、「決めている」は男性が64.4%、女性が59.7%となっている。

年齢別にみると、「決めている」は75歳以上では9割台半ばとなっている。また、20～40歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が約6割となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が9割を超えている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(53.8%)が最も高くなっている。また、「一人暮らし」では「決めている」が7割台半ばとなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(81.8%)が「独居高齢者以外」より22ポイント高くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 171・図表 III-114)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(66.9%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(28.5%)、「決めていないし、必要とは思わない」(2.1%)となっている。

性別にみると、男女とも「決めている」が6割を超えている。「現在は決めていないが、決めたいと思う」は女性が男性より5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「決めている」は40歳代以下では5割を下回り、50歳以上では6割を上回り、特に75歳以上では9割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が9割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が7割を超えている。一方、「小学生・中学生がいる」では5割を下回っている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(84.0%)が「独居高齢者以外」より19ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 172・図表 III-115)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(60.2%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(29.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.9%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、65歳以上では「決めている」が7割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」、「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が6割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」で「決めている」が63.3%となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(50.0%)と「現在は決めていないが、決めたいと思う」(20.0%)のいずれも「独居高齢者以外」より10ポイント以上低くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 173・図表 III-116)

かかりつけ医について、全体では「決めている」(66.6%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(23.3%)、「決めていないし、必要とは思わない」(6.9%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」が高くなる傾向がみられ、75歳以上では8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「決めている」が7割を超えているが、「社会保険（本人）」は4割を下回っている。

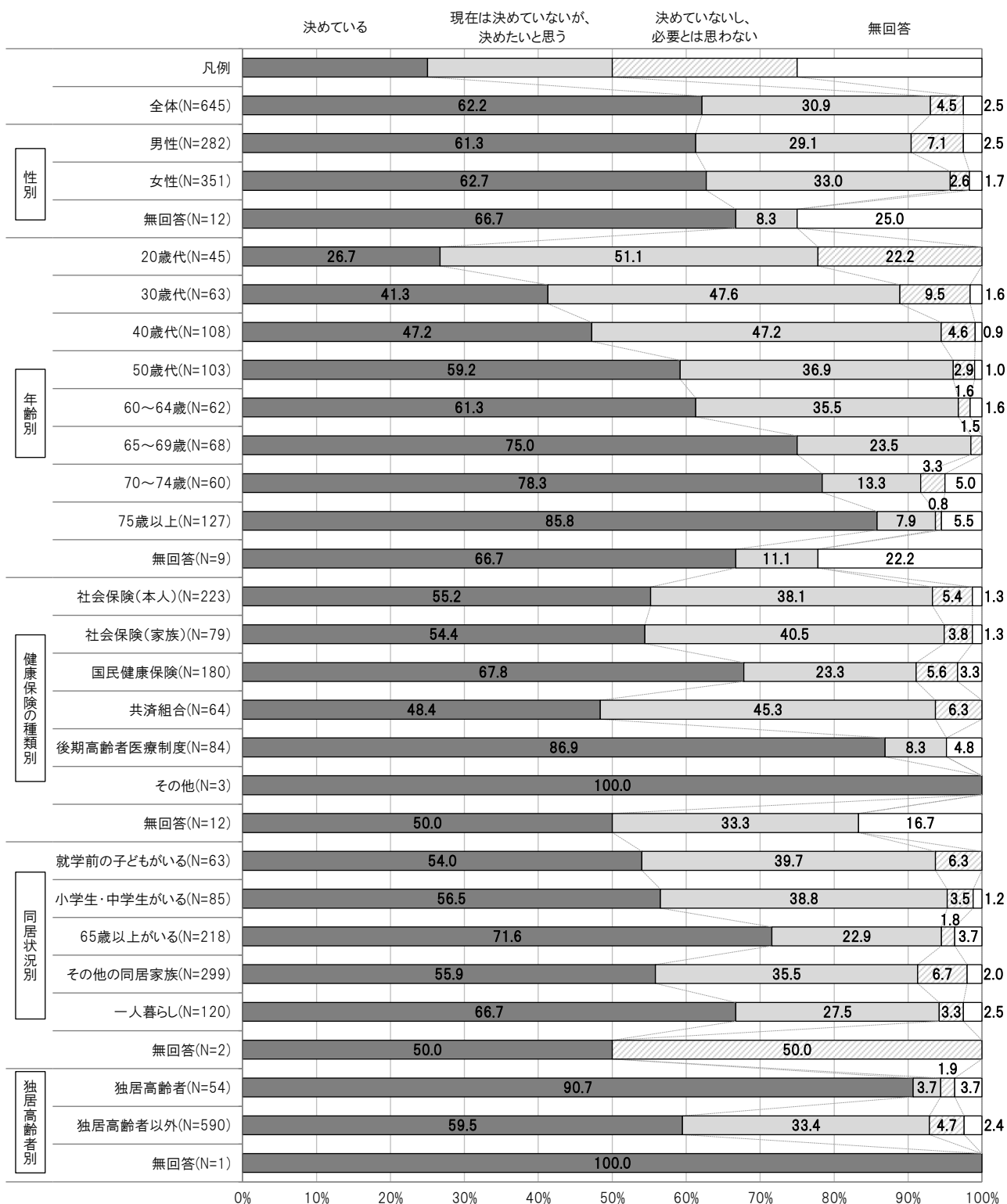
同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」(76.4%)で他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(77.1%)が「独居高齢者以外」より12ポイント高くなっている。

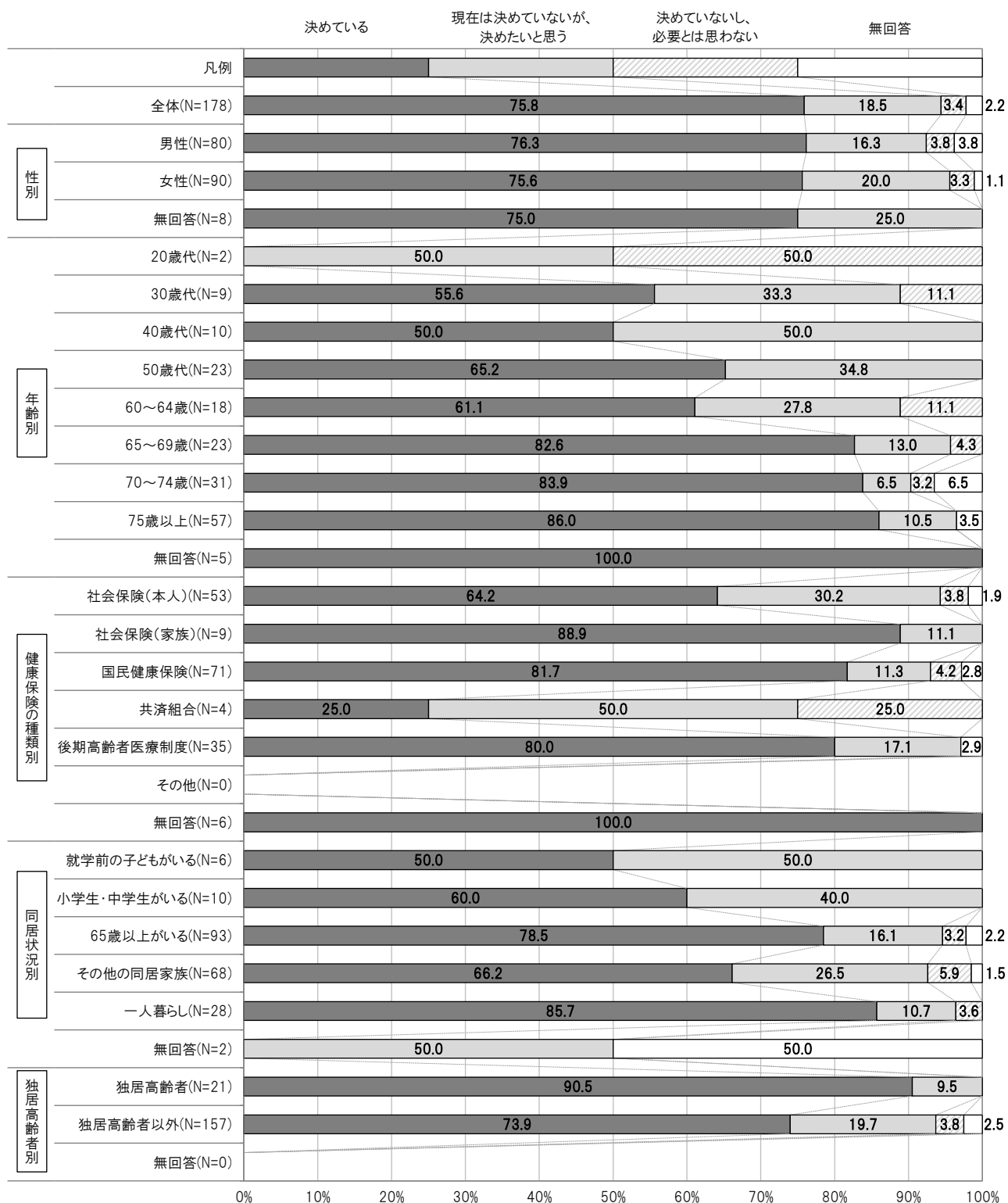
離島別の分析 (P. 174・図表 III-117)

どの島も「決めている」と回答した割合が5割から6割程度ある一方、「甬島」、「喜界島」、「沖永良部島」では「決めていないし、必要とは思わない」が1割を超えている。

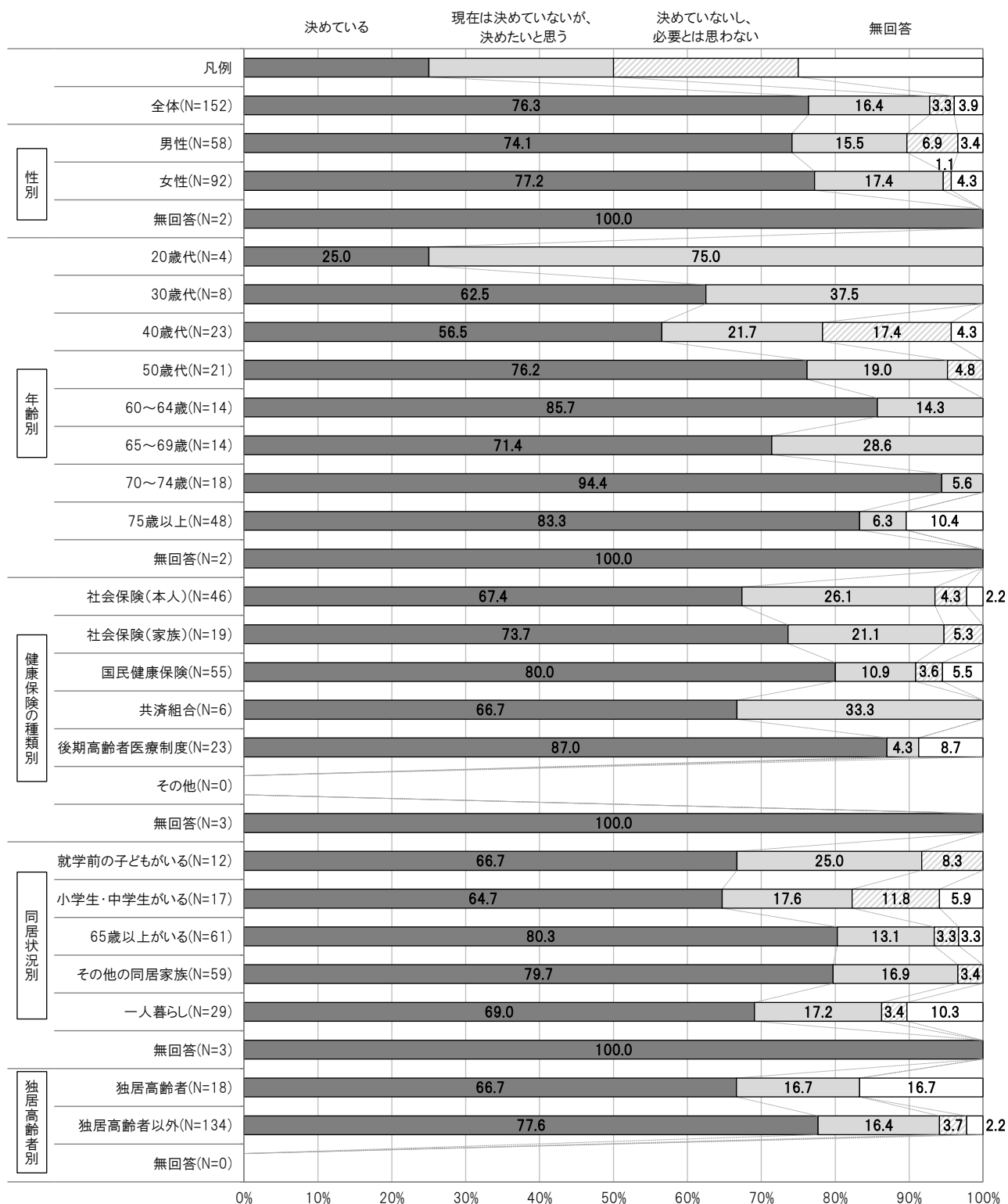
図表 III-108 鹿児島保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



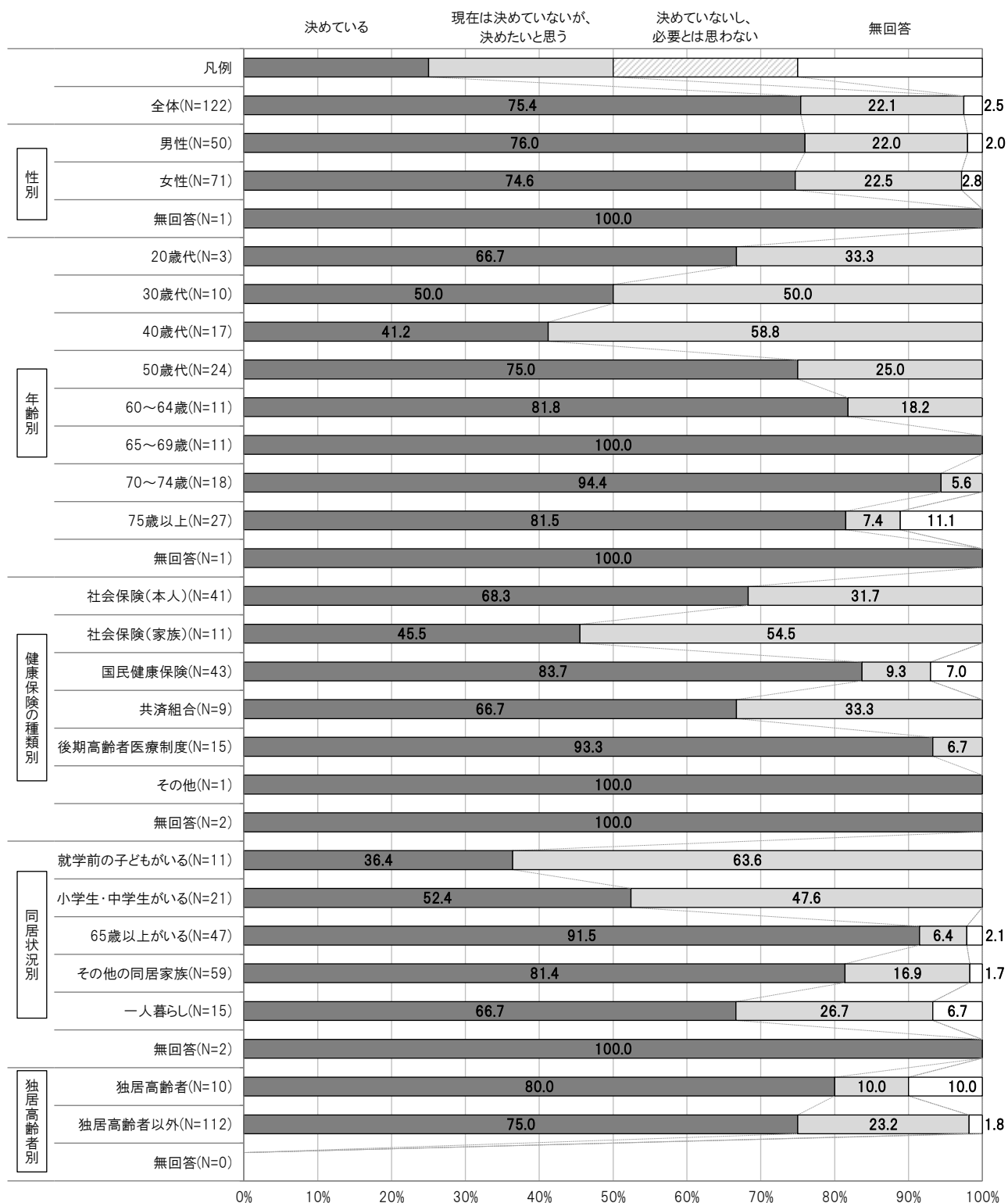
図表 III-109 南薩保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



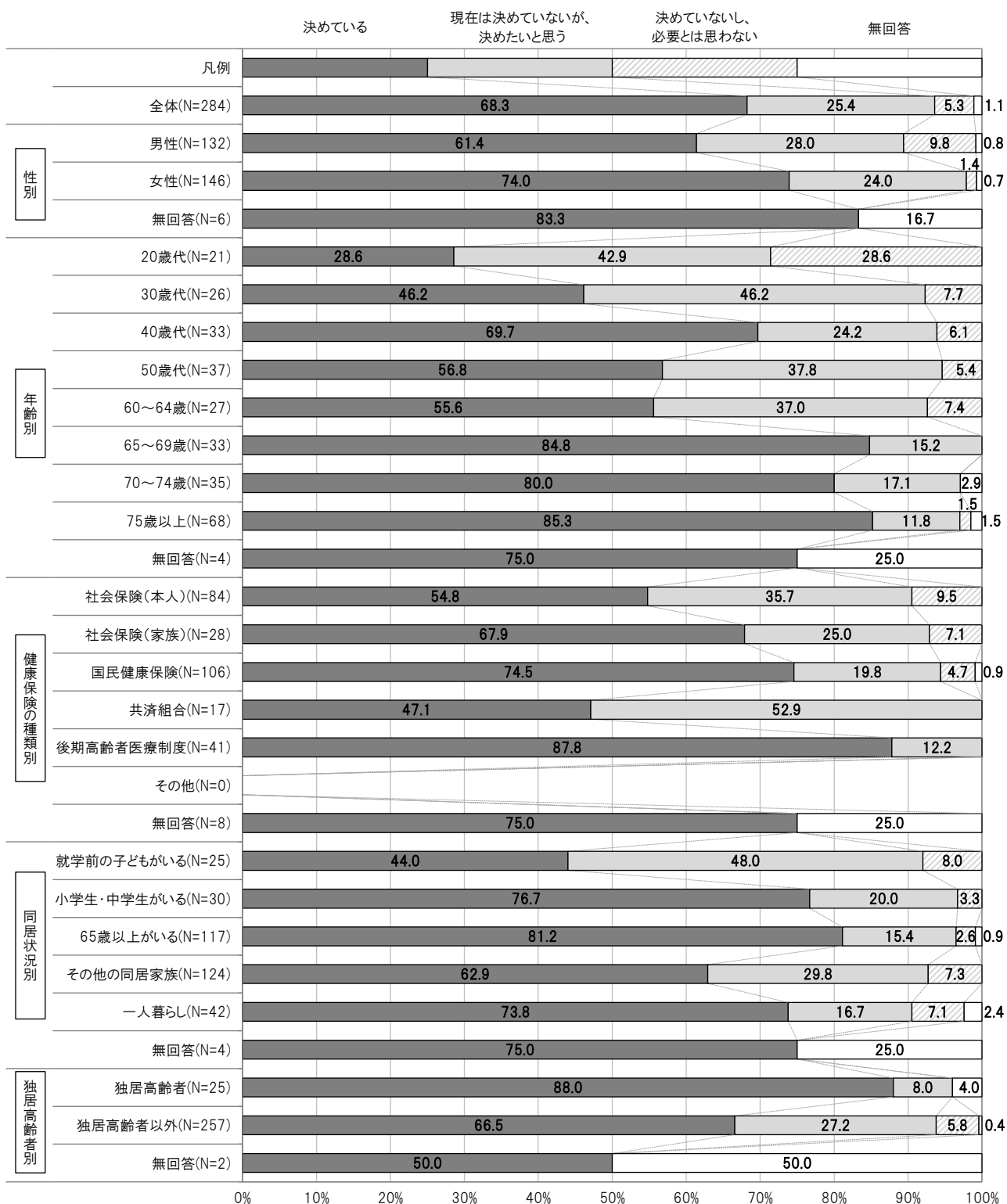
図表 III-110 川薩保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



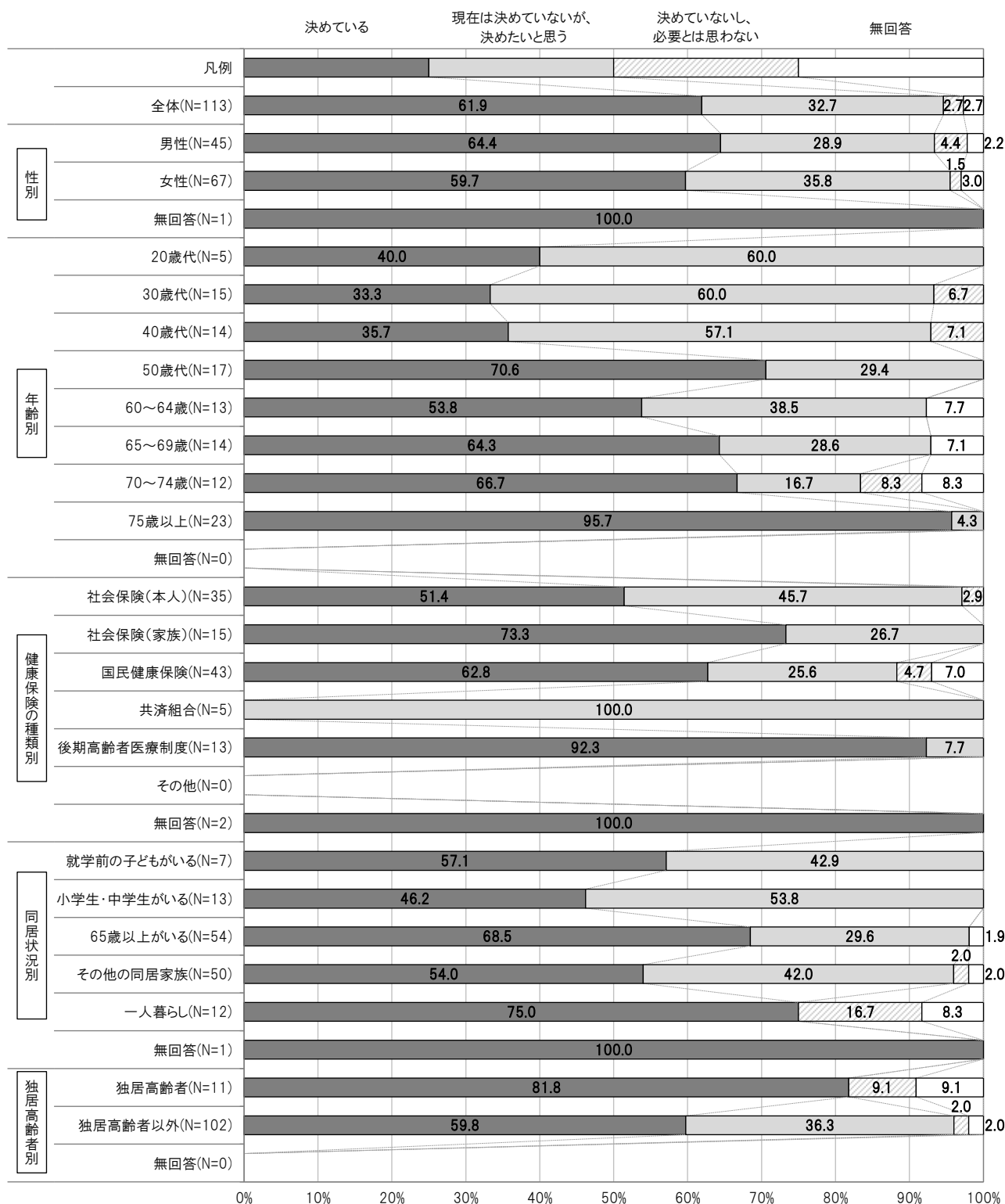
図表 III-111 出水保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



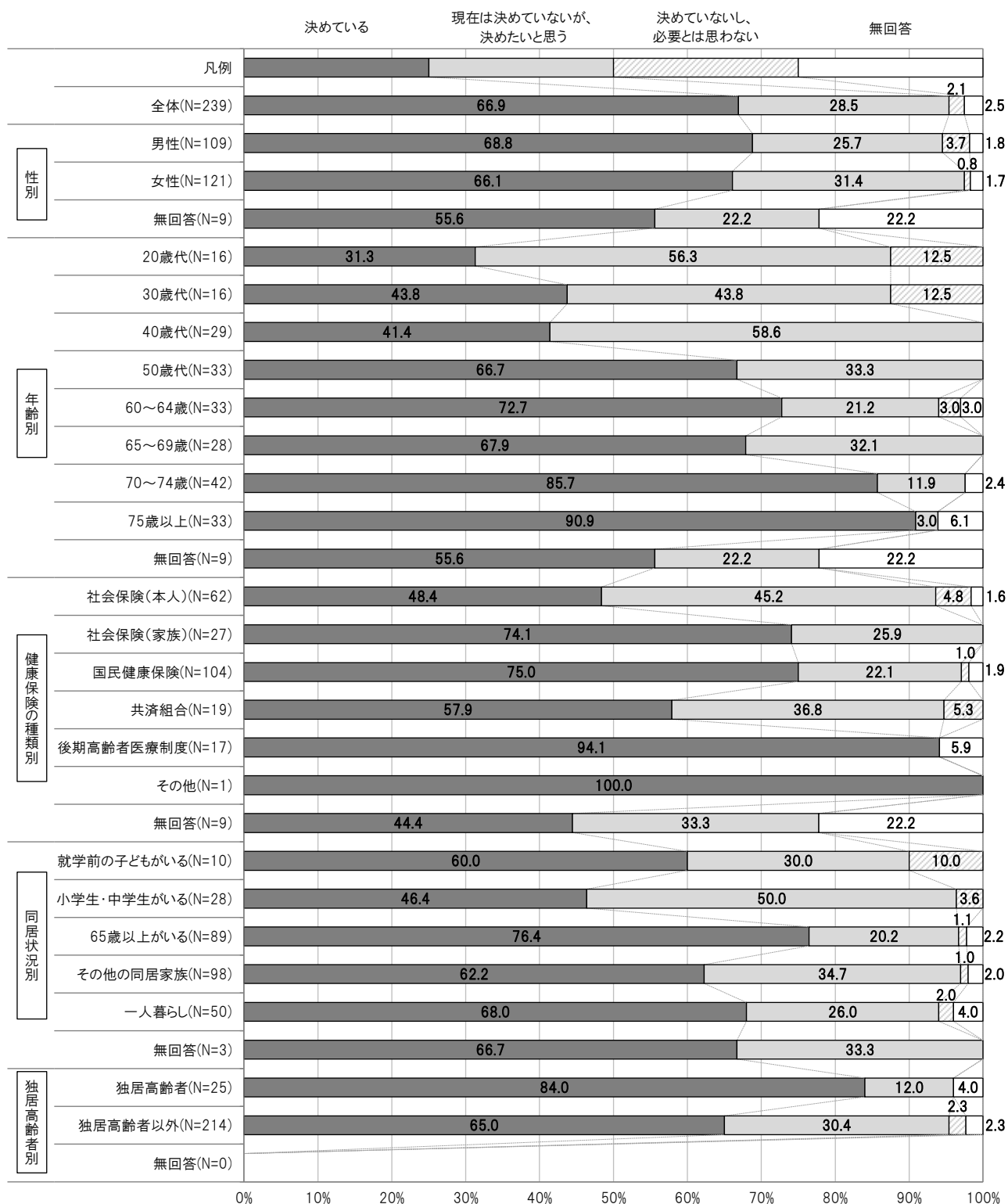
図表 III-112 始良・伊佐保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



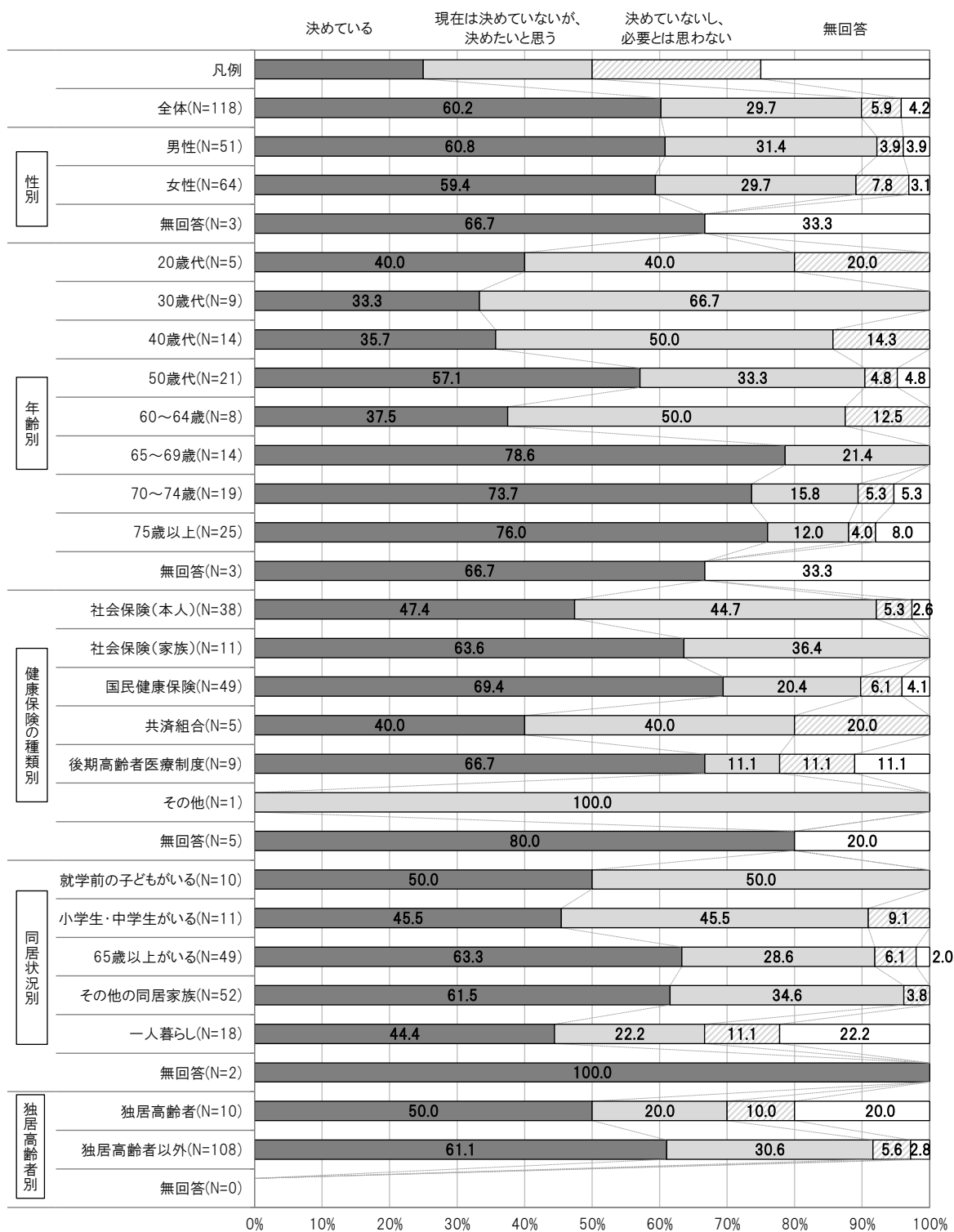
図表 III-113 曾於保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



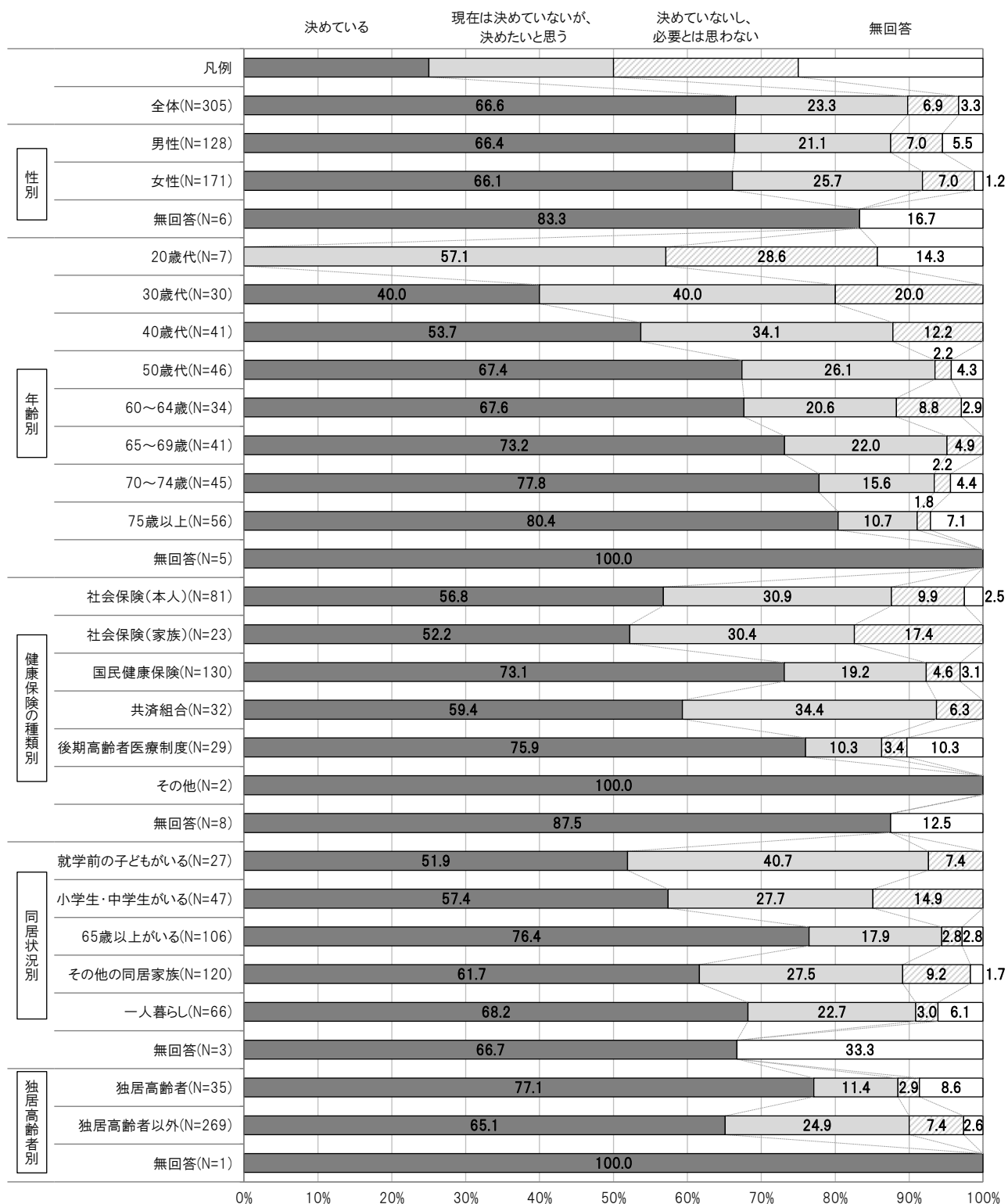
図表 III-114 肝属保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



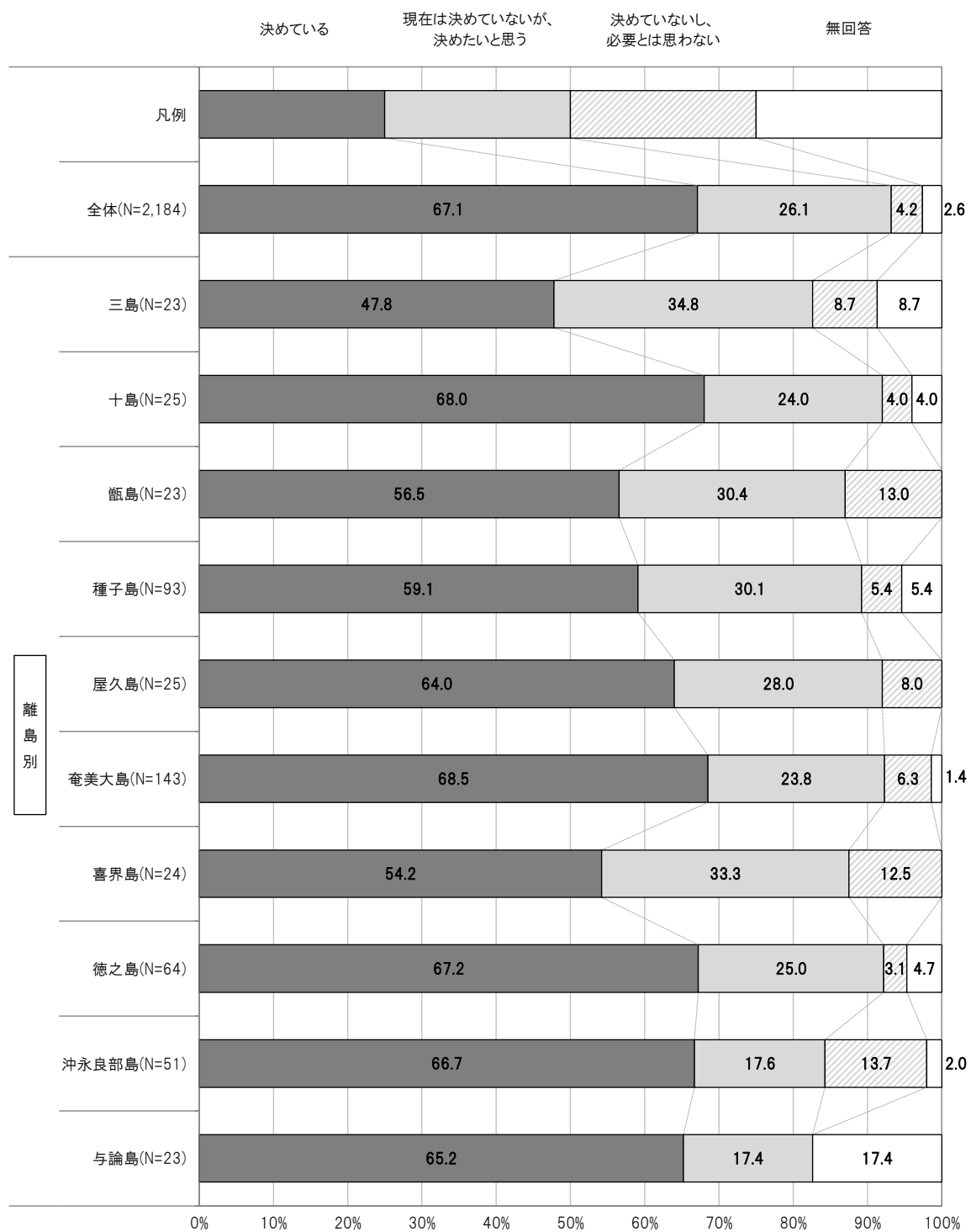
図表 III-115 熊毛保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-116 奄美保健医療圏 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-117 離島別の分析 かかりつけ医の有無【加重集計前・属性別】



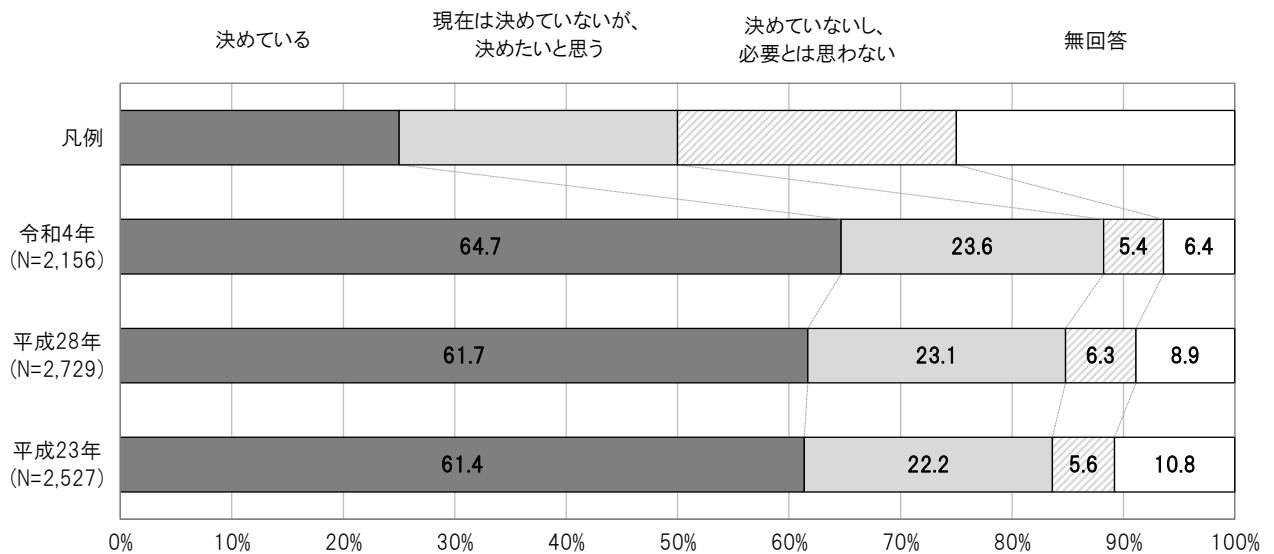
(2) かかりつけ歯科医の有無

ア. 全体の分析

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(64.7%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(23.6%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.4%)となっている。

調査年別にみると、平成23年調査から継続して「決めている」は増加傾向がみられた。

図表 III-118 かかりつけ歯科医の有無【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「奄美保健医療圏」を除くすべての保健医療圏で「決めている」が6割を超え、特に「出水保健医療圏」では7割を超えている。

性別にみると、女性は「決めている」（67.3%）が男性より6.7ポイント高くなっている。

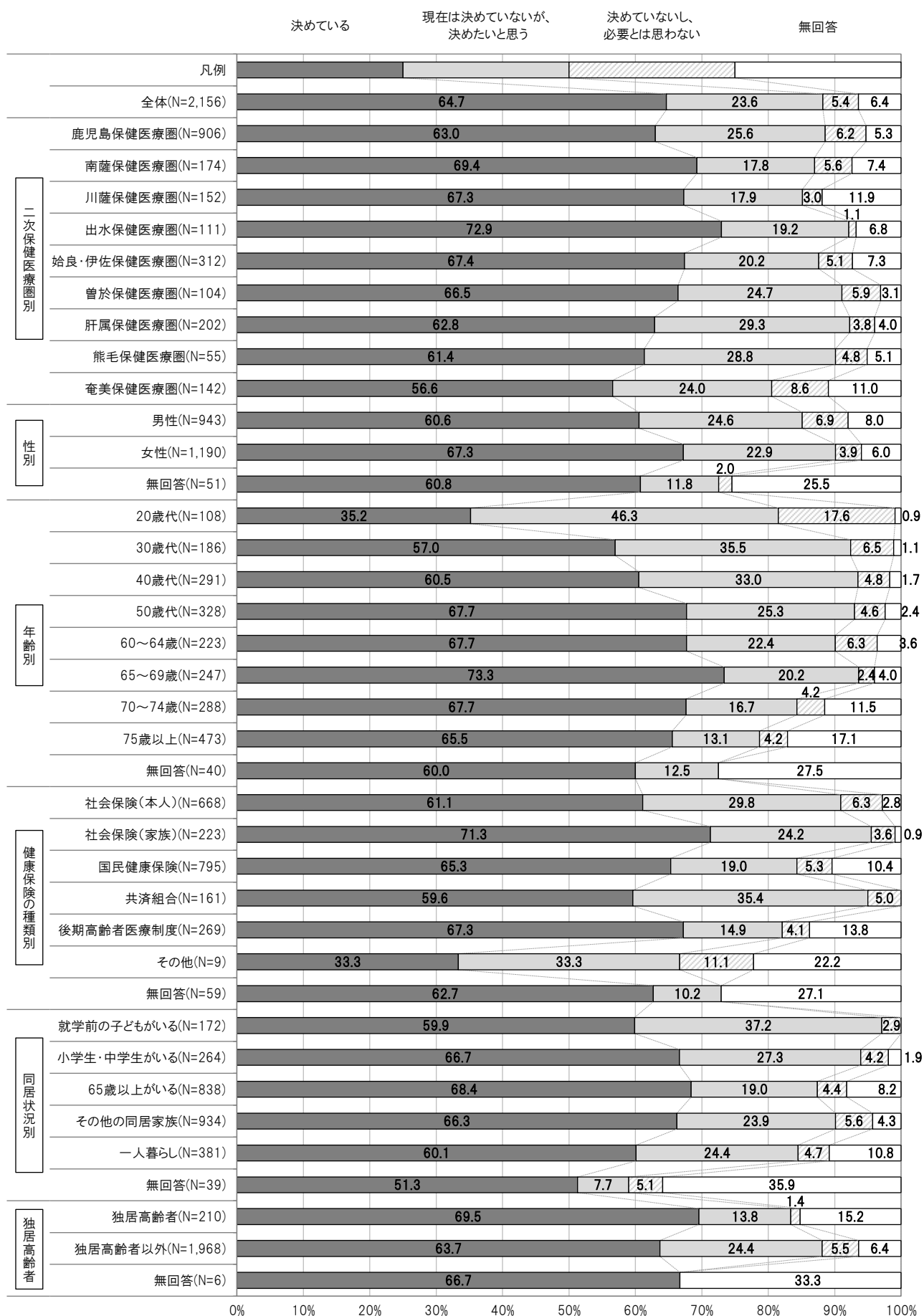
年齢別にみると、「決めている」は60歳代までは高齢になるほど高く、65～69歳では7割を超えているが、70歳以上は高齢になるほど低くなっている。また、20歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」（46.3%）が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「決めている」は「社会保険（家族）」では7割、「社会保険（本人）」、「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では6割を超えている。また、「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」（35.4%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「決めている」は「就学前の子どもがいる」以外のすべての同居状況別で6割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「決めている」（69.5%）では「独居高齢者以外」より5.8ポイント高くなっている。

図表 III-119 かかりつけ歯科医の有無【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 183・図表 III-120)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(62.5%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(25.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(6.0%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(70.7%)で男性より17.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～69歳では「決めている」が7割を超えている。一方、20歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(46.7%)が最も高く、「決めていないし、必要とは思わない」も2割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では7割、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では6割を超えている。

同居状況別にみると、「決めている」は「小学生・中学生がいる」では7割を超えている。一方、「就学前の子どもがいる」と「一人暮らし」では6割未満で、他の同居状況別より低い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」と「独居高齢者以外」とも「決めている」は6割を超えているが、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(16.7%)は「独居高齢者以外」より9.9ポイント低くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 184・図表 III-121)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(69.7%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(17.4%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.6%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(73.3%)が男性より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～69歳では「決めている」が8割を超えている。また、20歳代では「決めている」と「決めていないし、必要とは思わない」、40歳代では「決めている」と「現在は決めていないが、決めたいと思う」がそれぞれ半数ずつとなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「決めている」(25.0%)が他の健康保険より低くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「決めている」(83.3%)が他の同居状況別より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(9.5%)が「独居高齢者以外」より9ポイント低くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 185・図表 III-122)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(63.8%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(20.4%)、「決めていないし、必要とは思わない」(3.9%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、40歳では「決めている」(82.6%)が他の年代より高い傾向がみられた。20歳代と65～69歳では「決めている」と「現在は決めていないが、決めたいと思う」がそれぞれ半数ずつとなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「後期高齢者医療制度」では「決めている」が7割を超え、他の健康保険より高くなっている。また、「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(66.7%)が他の健康保険より35ポイント以上高くなっている。

同居状況別にみると、「その他の同居家族」は「決めている」(71.2%)が他の同居状況より高くなっている。「就学前の子どもがいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

出水保健医療圏 (P. 186・図表 III-123)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(70.5%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(20.5%)、「決めていないし、必要とは思わない」(0.8%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、60～64歳では「決めている」が9割を超えている。40歳代では「現在決めていないが、決めたいと思う」(58.8%)が他の年代より28ポイント以上高くなっている。また、20歳代ではすべての人が「現在決めていないが、決めたいと思う」と回答し、65～69歳ではすべての人が「決めている」と回答している。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」と「共済組合」では「現在決めていないが、決めたいと思う」が3割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が8割を超えている。また、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在決めていないが、決めたいと思う」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 187・図表 III-124)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(67.6%)、「現在は決めていないが、決めたい

と思う」(19.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.3%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、60～69歳代では「決めている」が8割を超えている。20歳代では「決めていないし、必要とは思わない」(19.0%)が他の年代より11ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「決めている」(76.5%)が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、すべての同居状況で「決めている」が6割を超えている。また、「就学前の子どもがいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(36.0%)が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「現在は決めていないが、決めたいと思う」(4.0%)が「独居高齢者以外」より17.4ポイント低くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 188・図表 III-125)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(67.3%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(23.9%)、「決めていないし、必要とは思わない」(5.3%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、75歳以上では「決めている」が9割を超えているが、20歳代では2割となっている。

健康保険の種類別にみると、「決めている」は「社会保険(家族)」では8割、「後期高齢者医療制度」では9割を超えているが、「共済組合」では2割となっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「一人暮らし」では「決めている」が8割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(90.9%)が「独居高齢者以外」より26.2ポイント高くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 189・図表 III-126)

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」(65.7%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(26.8%)、「決めていないし、必要とは思わない」(2.5%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(70.2%)が男性より9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代以下では「決めている」は6割を下回っており、「現在は決めていないが、

決めたいと思う」が3割を超え、他の年代より10ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」では「決めている」は8割を超えている。「社会保険（本人）」では「決めている」が約5割、「現在は決めていないが、決めたいと思う」が約4割となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が7割を超えている。「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「一人暮らし」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が3割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「独居高齢者以外」より「決めている」（72.0%）は7ポイント高く、「現在は決めていないが、決めたいと思う」（20.0%）は7.6ポイント低くなっている。

熊毛保健医療圏（P.190・図表 III-127）

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」（58.5%）、「現在は決めていないが、決めたいと思う」（29.7%）、「決めていないし、必要とは思わない」（5.1%）となっている。

性別にみると、女性は「決めている」（60.9%）が男性より6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～74歳では「決めている」が8割弱で他の年代より16ポイント高くなっている。30～40歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が5割を超え、最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、すべての健康保険で「決めている」が5～6割となっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では、「決めている」（38.9%）が最も低くなっている。「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「決めている」と「現在は決めていないが、決めたいと思う」が同数で最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」（50.0%）が「独居高齢者以外」より9.3ポイント低くなっている。

奄美保健医療圏（P.191・図表 III-128）

かかりつけ歯科医について、全体では「決めている」（59.3%）、「現在は決めていないが、決めたいと思う」（23.9%）、「決めていないし、必要とは思わない」（7.2%）となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、50歳以上では「決めている」が6割を超えている。20歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」（57.1%）が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「共済組合」では「決めている」が6割を超えている。

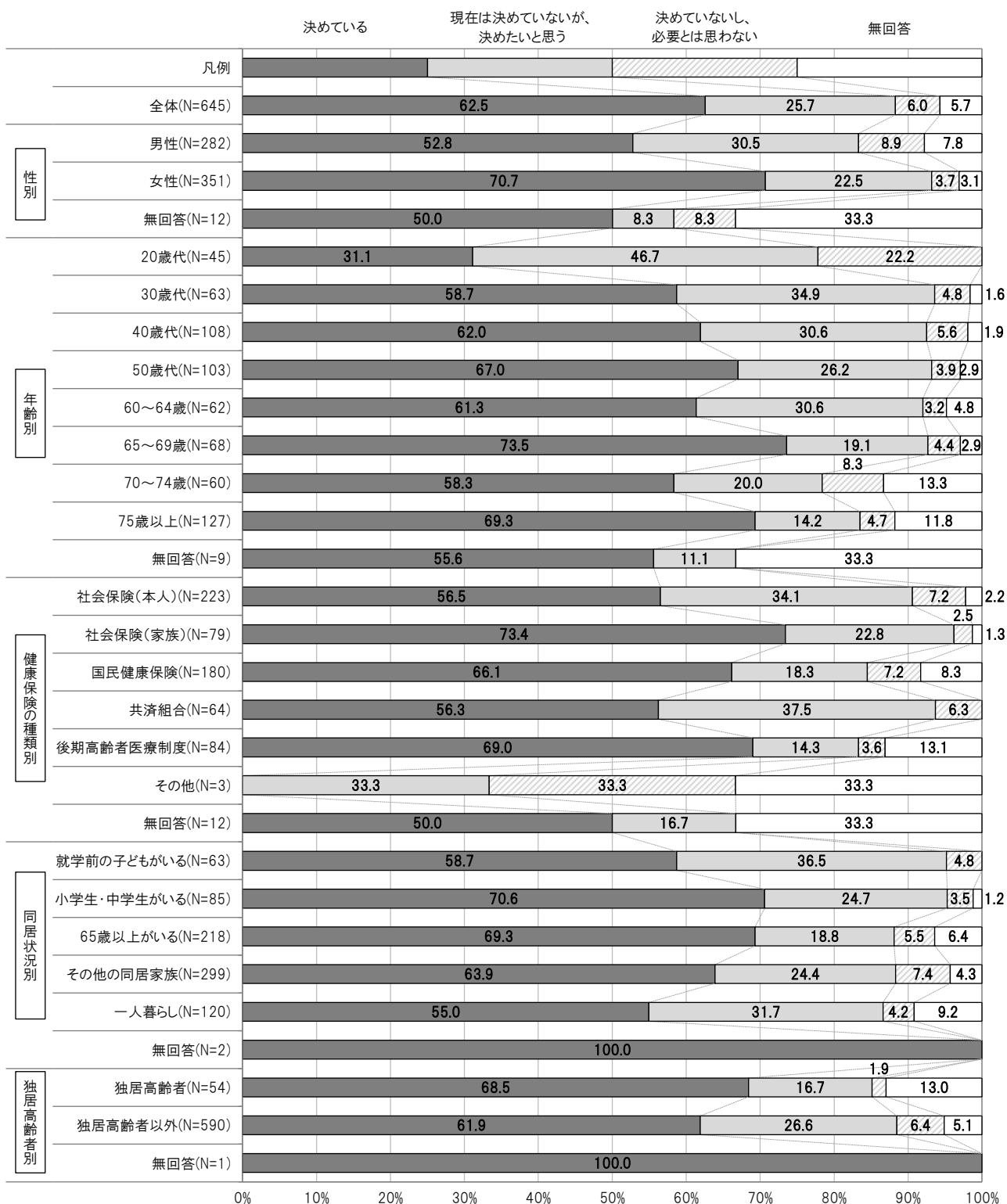
同居状況別にみると、「一人暮らし」では「決めている」が7割弱となっている。「就学前の子どもがいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が4割を超え、他の同居状況より13ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(8.6%)は「独居高齢者以外」より17.4ポイント低くなっている。また、「独居高齢者」では「決めていないし、必要とは思わない」との回答はなかった。

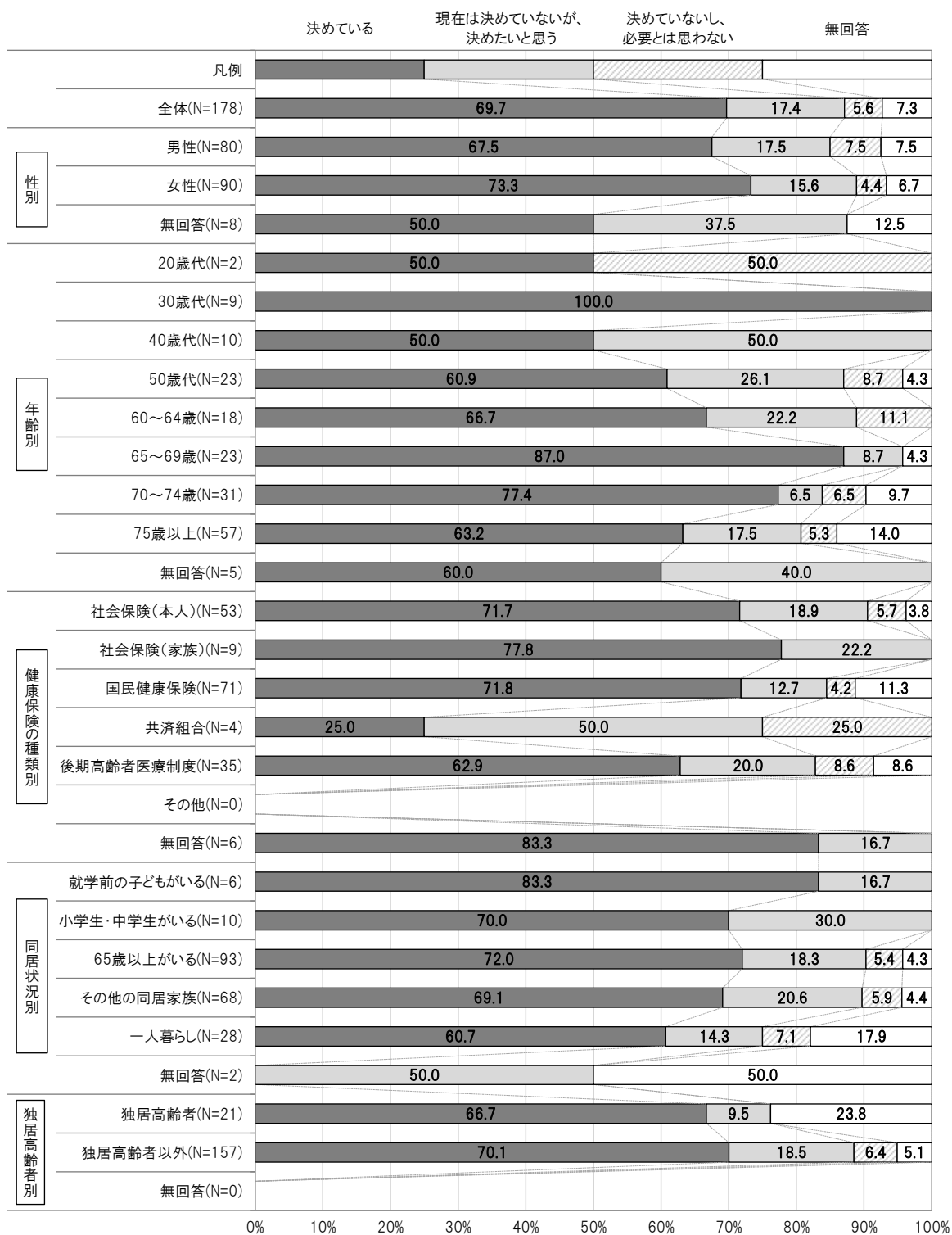
離島別の分析 (P. 192・図表 III-129)

離島別にみると、「決めている」は「屋久島」では7割を超えている。「甕島」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」(47.8%)が最も高くなっている。

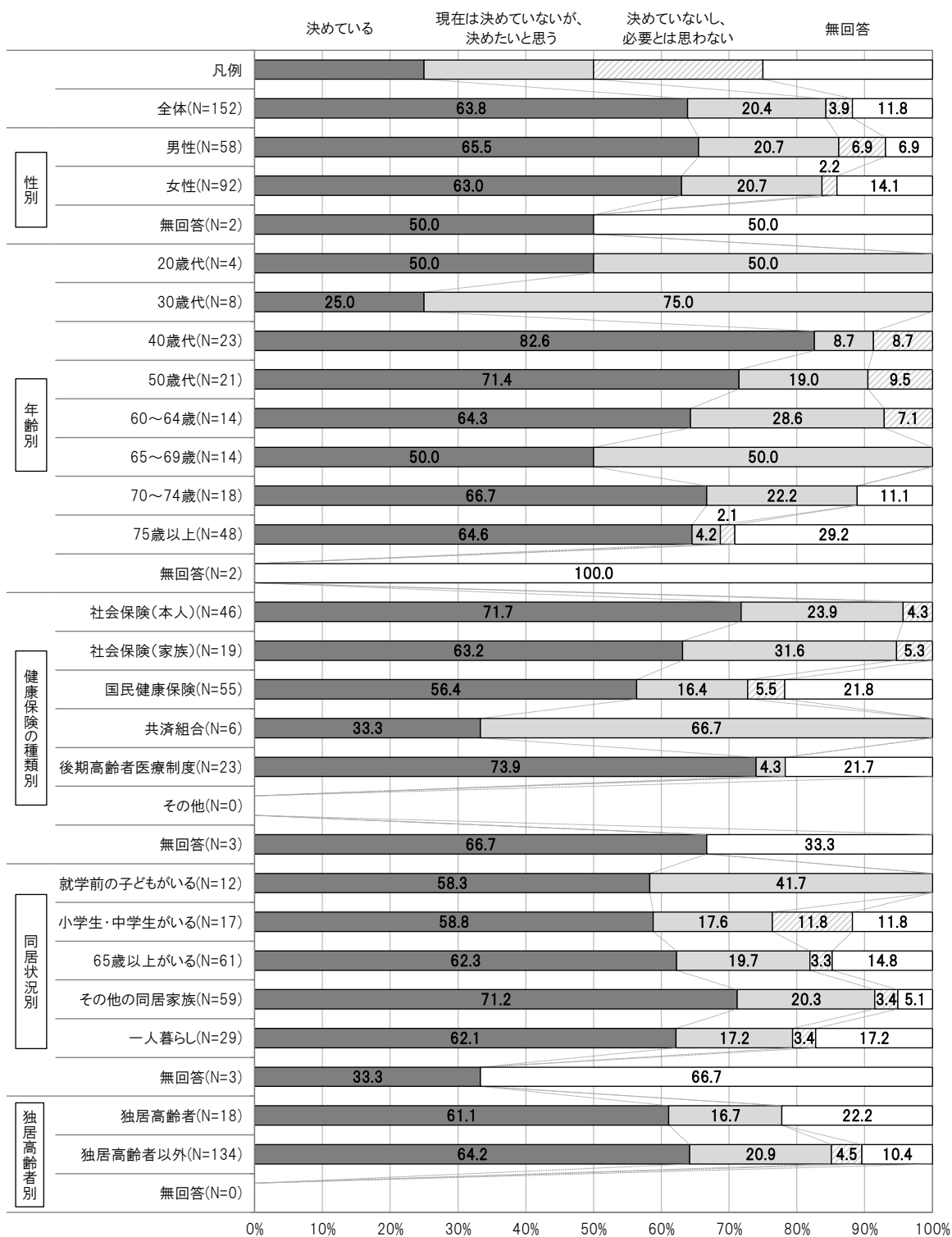
図表 III-120 鹿児島保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



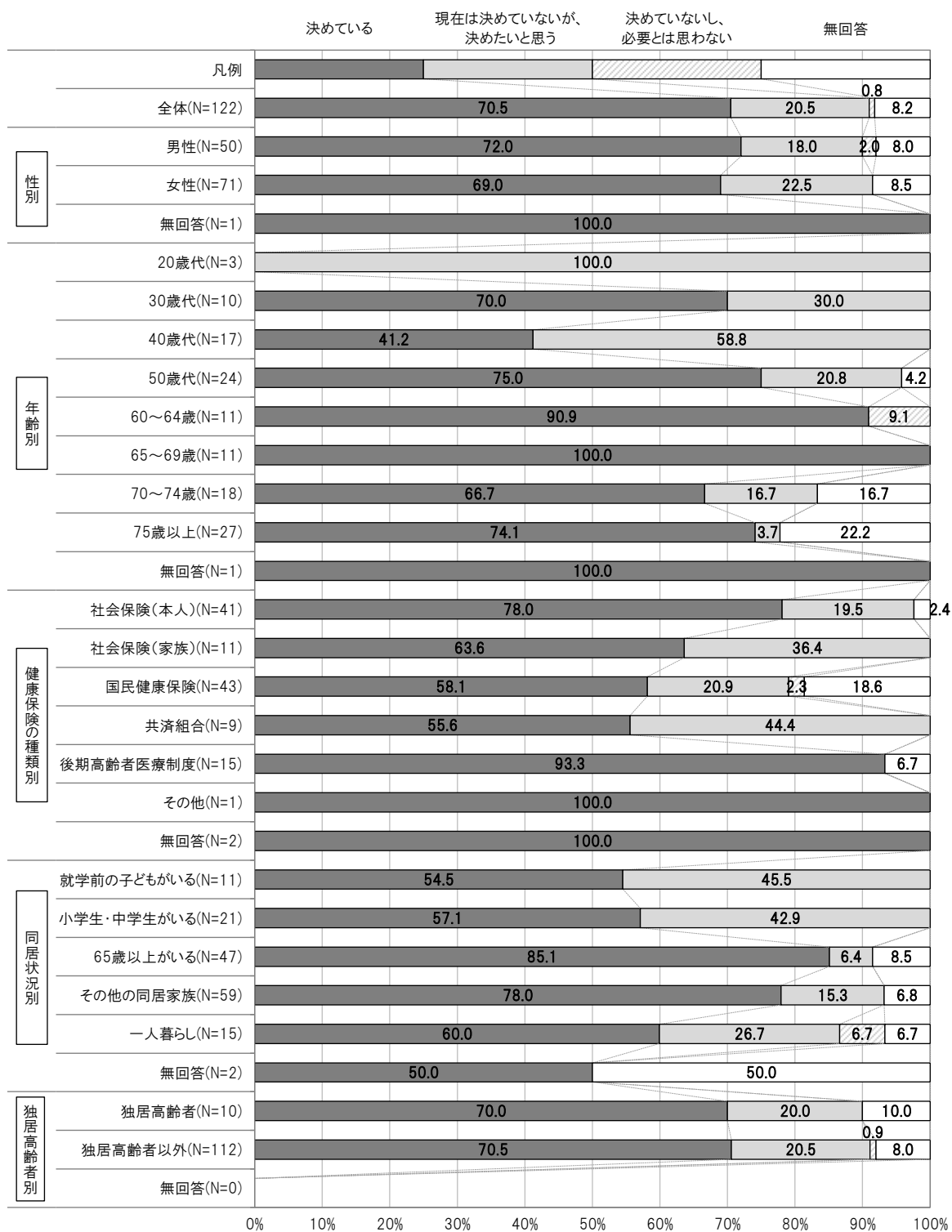
図表 III-121 南薩保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



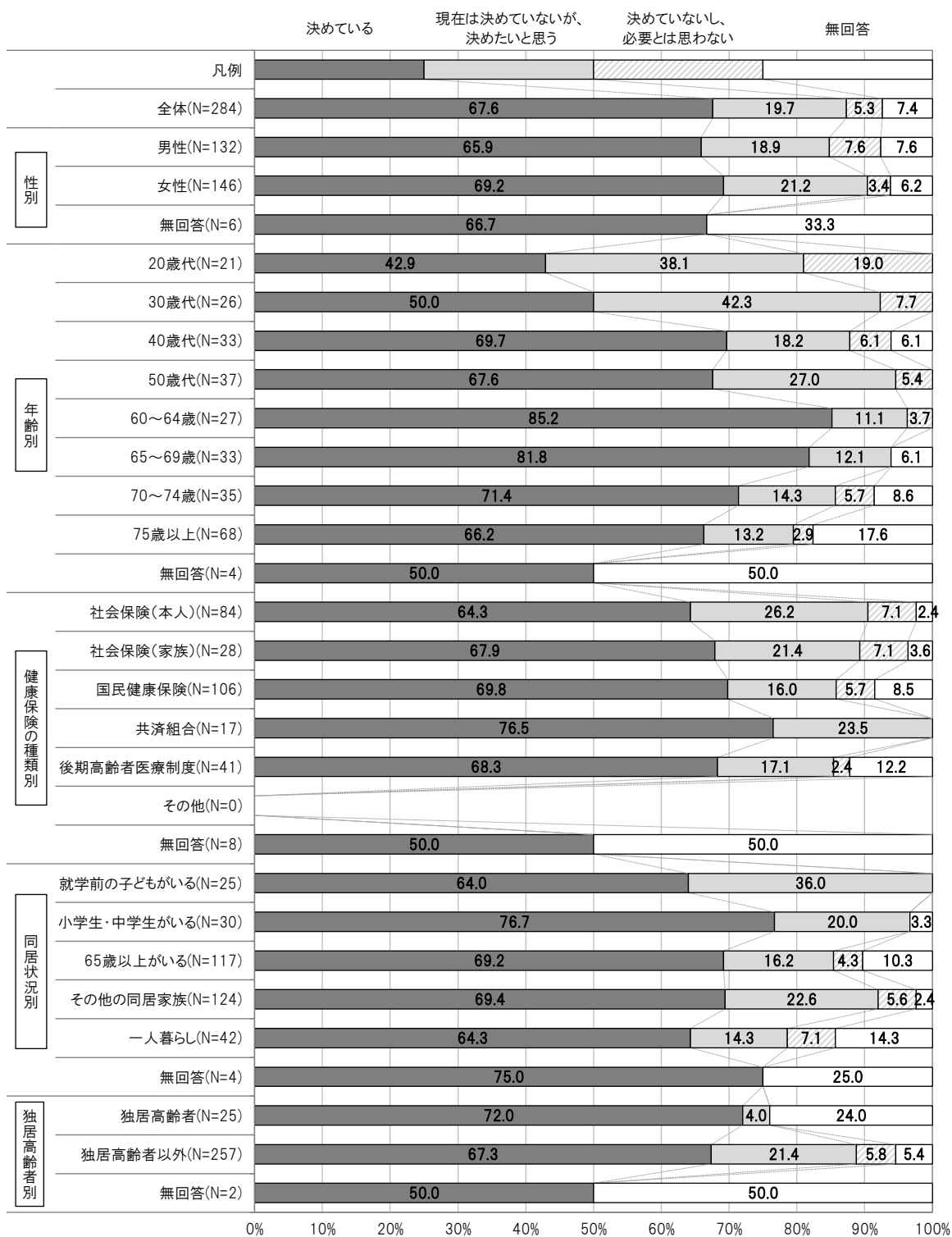
図表 III-122 川薩保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



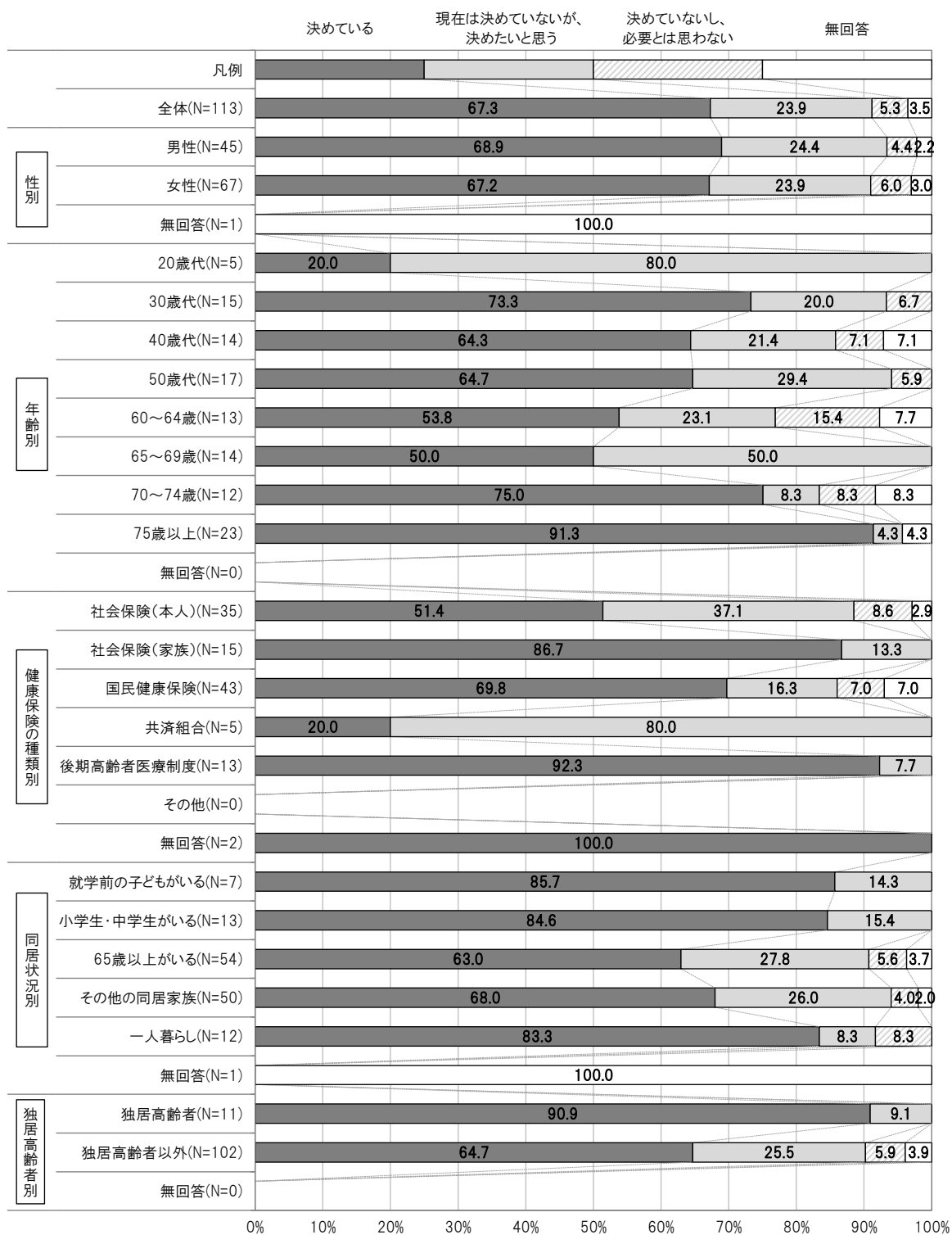
図表 III-123 出水保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



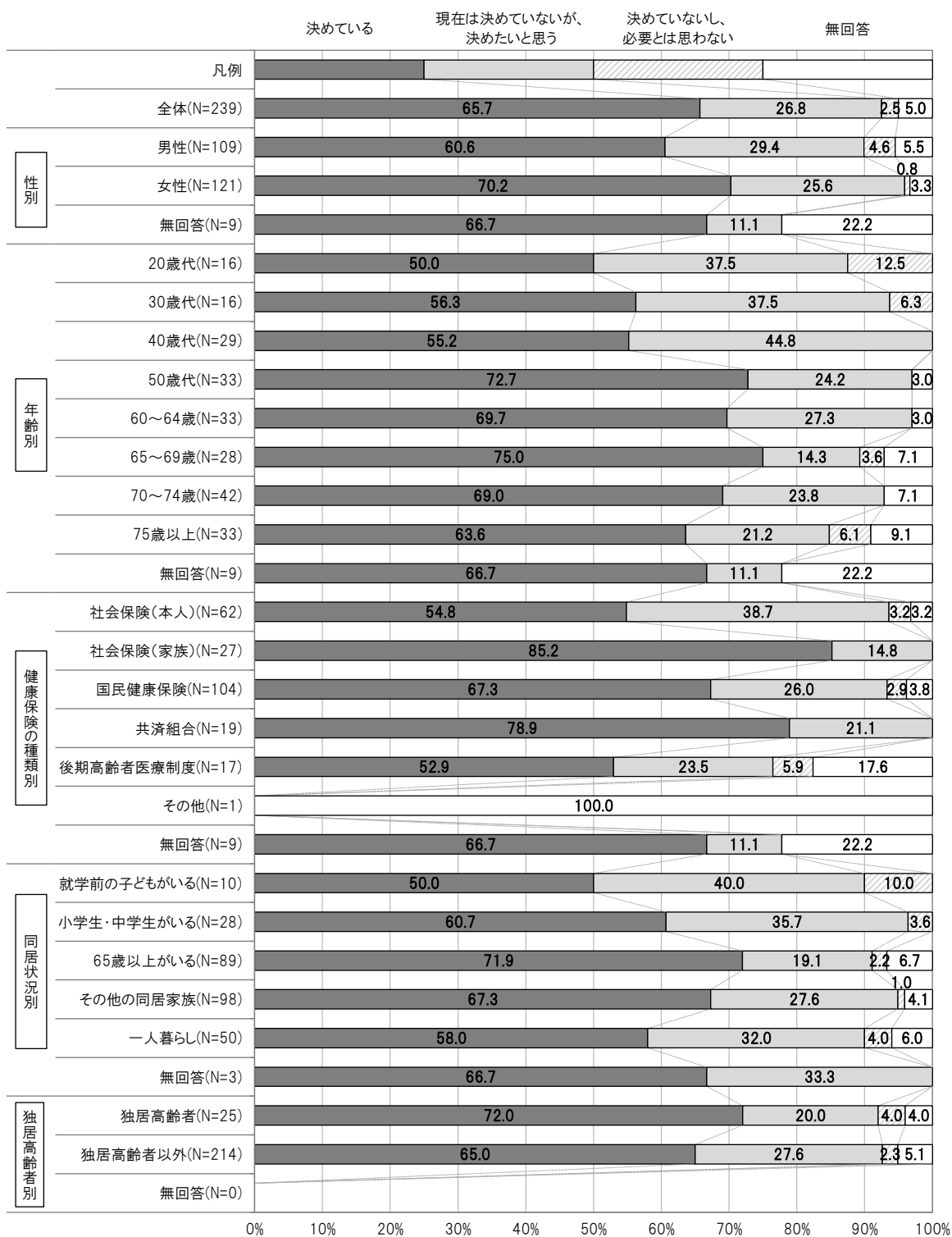
図表 III-124 始良・伊佐保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



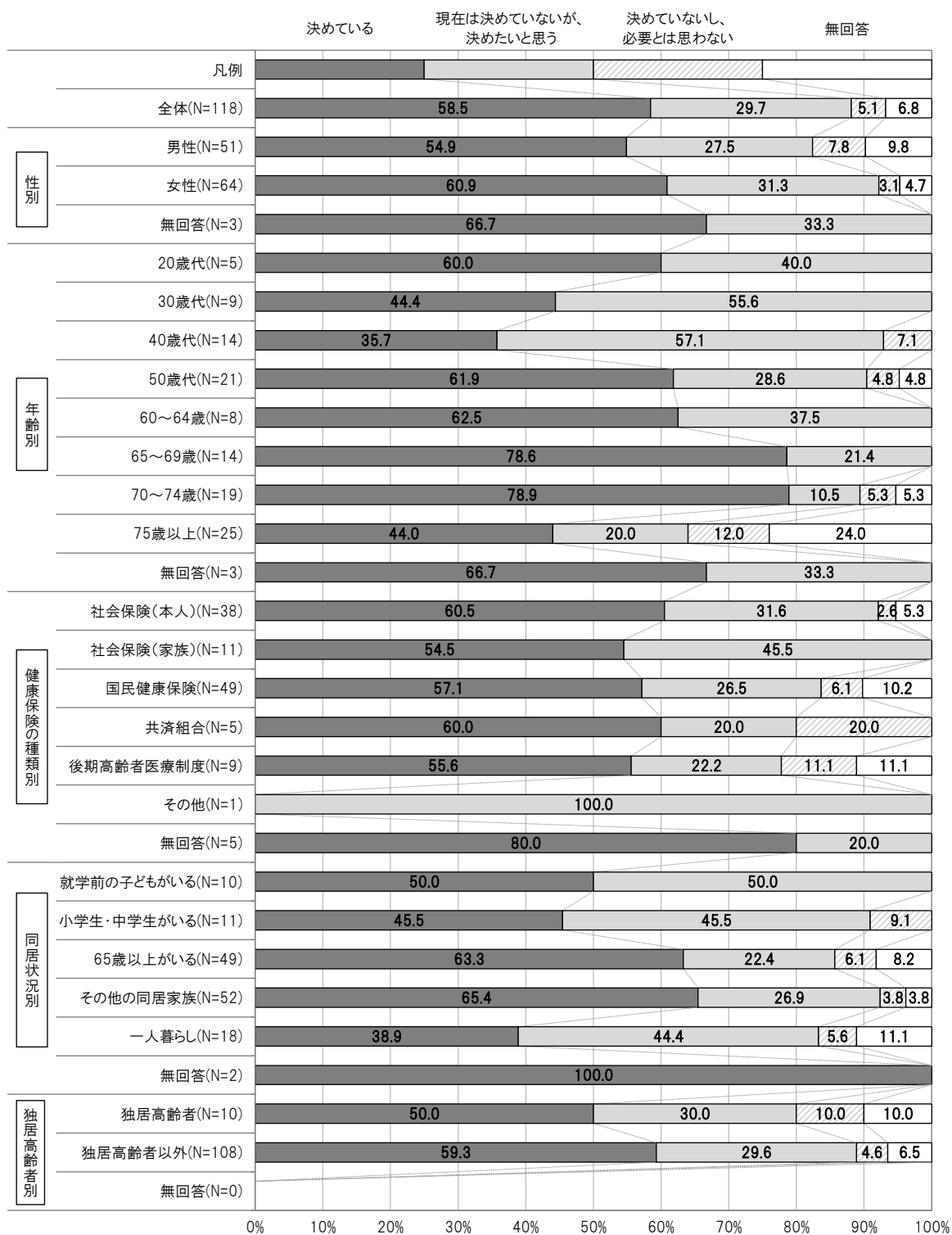
図表 III-125 曾於保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



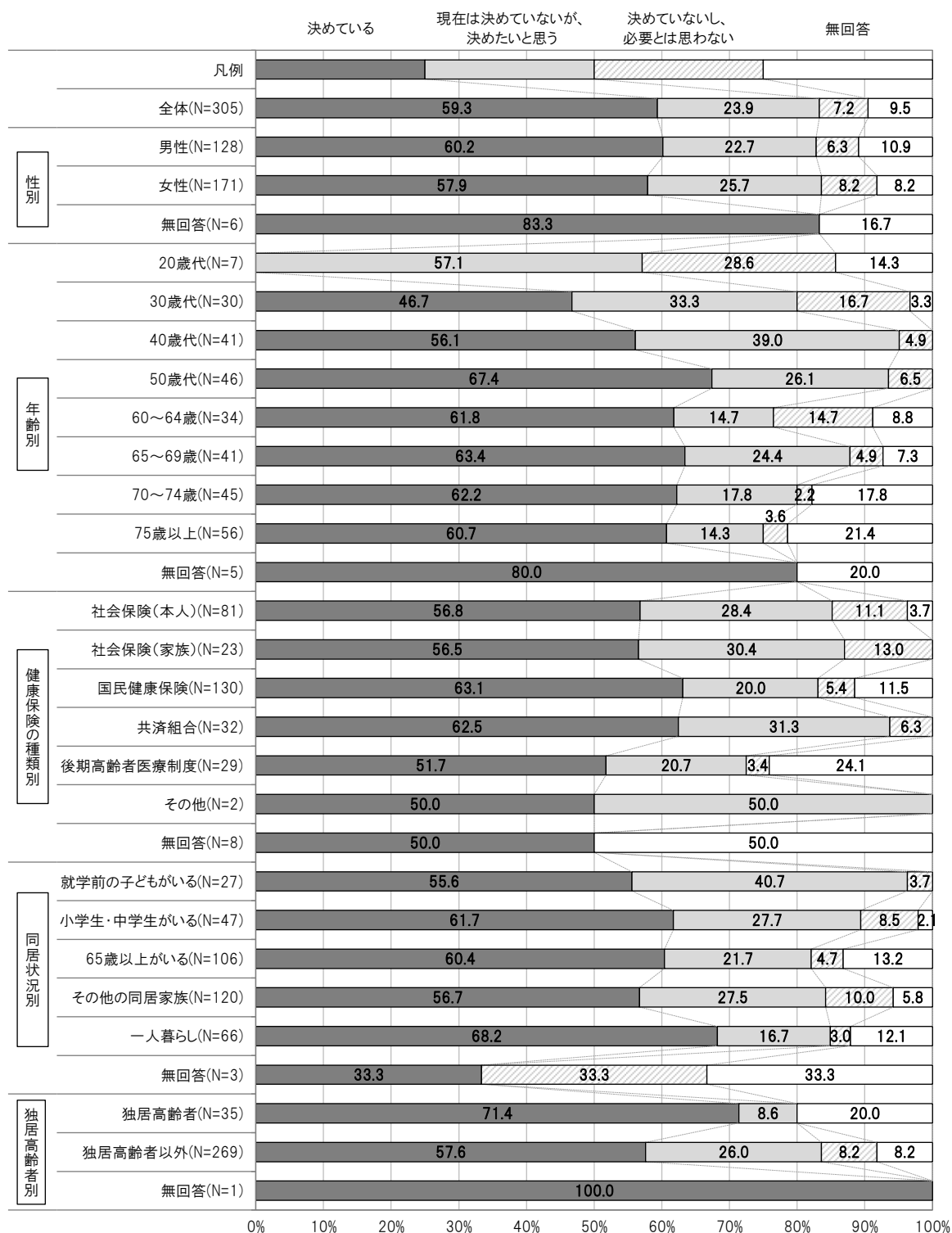
図表 III-126 肝属保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



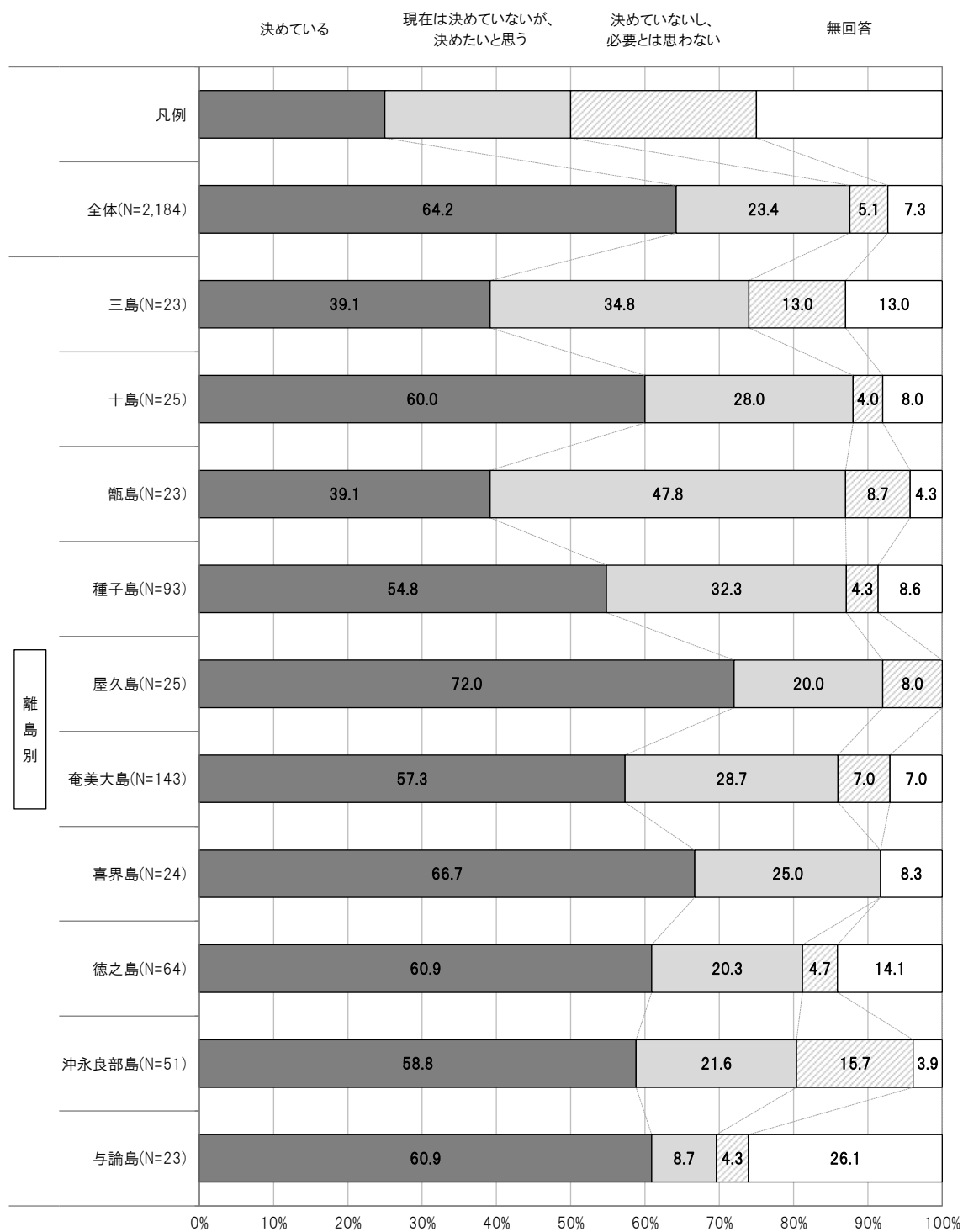
図表 III-127 熊毛保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-128 奄美保健医療圏 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-129 離島別の分析 かかりつけ歯科医の有無【加重集計前・属性別】



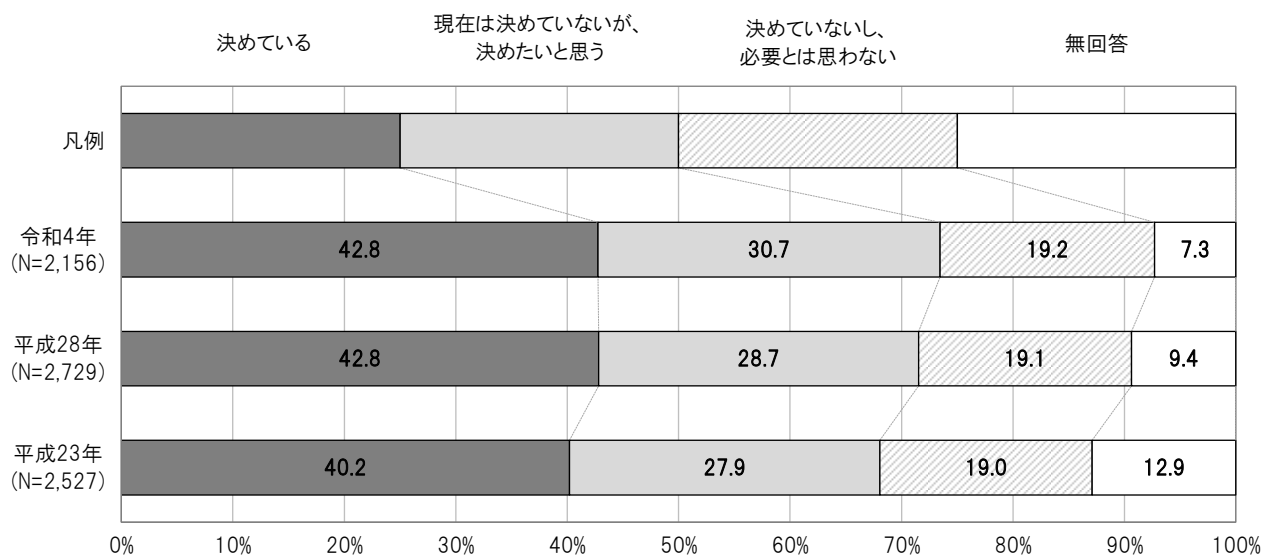
(3) かかりつけ薬局の有無

ア. 全体の分析

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(42.8%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(30.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(19.2%)となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「決めている」と「現在は決めていないが、決めたいと思う」は増加傾向がみられた。

図表 III-130 かかりつけ薬局の有無【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「決めている」は「南薩保健医療圏」では6割、「川薩保健医療圏」と「熊本保健医療圏」では5割を超えているが、「鹿児島保健医療圏」では4割を下回っており、他の保健医療圏より低くなっている。

性別にみると、女性は「決めている」（45.7%）が男性より3.2ポイント高くなっている。

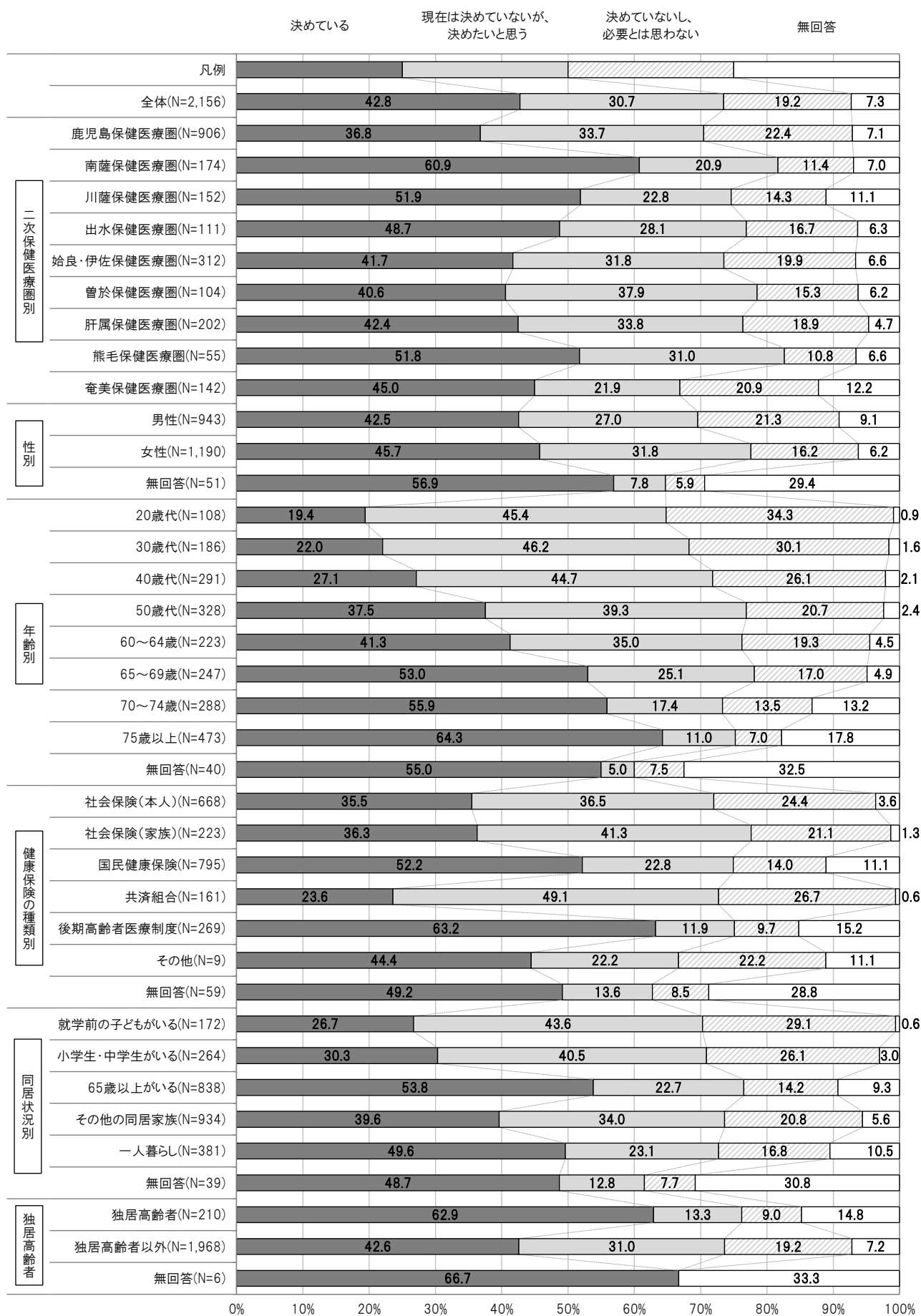
年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」が高くなっており、20～30歳代では約2割となっているが、65歳以上では5割を超えている。特に75歳以上では6割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「決めている」は「国民健康保険」では5割、「後期高齢者医療制度」では6割を超えているが、「共済組合」では3割未満となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が5割を超えている。一方、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が約4割で他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」（62.9%）が「独居高齢者以外」より20.3ポイント高くなっている。

図表 III-131 かかりつけ薬局の有無【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 201・図表 III-132)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(36.4%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(33.8%)、「決めていないし、必要とは思わない」(22.3%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」が高くなる傾向がみられ、75歳以上では6割を超えている。64歳以下では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高く、4割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「決めている」が最も高く、「社会保険(本人)」、「社会保険(家族)」、「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「決めている」が最も高く、それ以外の同居状況では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(64.8%)が「独居高齢者以外」より31.1ポイント高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 202・図表 III-133)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(61.2%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(20.2%)、「決めていないし、必要とは思わない」(11.8%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(64.4%)が男性より6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65歳以上では「決めている」が約7割となっている。20歳代と40歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高く、5割となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「決めていないし、必要とは思わない」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「決めている」(75.0%)が他の同居状況より10ポイント以上高くなっている。「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高く、5割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(71.4%)が「独居高齢者以外」より11.5ポイント高くなっている。また、「独居高齢者」では「決めていないし、必要とは思わない」との回答はなかった。

川薩保健医療圏 (P. 203・図表 III-134)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(47.4%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(23.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(17.1%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(53.3%)が男性より15.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」は高くなる傾向がみられ、50歳以上では「決めている」が最も高く、20～30歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」、40歳代では「決めていないし、必要とは思わない」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。それ以外の健康保険では「決めている」が最も高く、「後期高齢者医療制度」では6割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」は「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。それ以外の同居状況では「決めている」が最も高く、特に「65歳以上がいる」では他の同居状況より14ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」「独居高齢者以外」とともに「決めている」が最も高く、約5割となっている。

出水保健医療圏 (P. 204・図表 III-135)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(49.2%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(27.9%)、「決めていないし、必要とは思わない」(15.6%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(52.1%)が男性より8.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～69歳では「決めている」が7割を超えている。40歳代以下では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」と「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。「後期高齢者医療制度」では「決めている」が6割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高く、約5割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(70.0%)が「独居高齢者以外」より22.7ポイント高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 205・図表 III-136)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(45.1%)、「現在は決めていないが、決めたいと

思う」(30.3%)、「決めていないし、必要とは思わない」(18.0%)となっている。

性別にみると、女性は「決めている」(48.6%)が男性より8.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60歳以上では高齢になるほど「決めている」が高くなる傾向がみられ、70歳以上では6割を超えている。一方、20歳代と40歳代では2割を下回っている。

健康保険の種類別にみると、「決めている」は「後期高齢者医療制度」では6割を超えている。「社会保険(本人)」、「社会保険(家族)」、「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「決めている」が約6割となっている。「就学前の子どもがいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が5割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(76.0%)が「独居高齢者以外」より34ポイント高くなっている。

曾於保健医療圏 (P.206・図表 III-137)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(39.8%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(38.9%)、「決めていないし、必要とは思わない」(15.0%)となっている。

性別にみると、男性は「決めている」(55.6%)が女性より25.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では「決めている」が8割弱で、他の年代より32ポイント以上高くなっている。50歳代以下では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が7割を超えている。「共済組合」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が8割となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「決めている」、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「その他の同居家族」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(72.7%)が「独居高齢者以外」より36.4ポイント高くなっている。

肝属保健医療圏 (P.207・図表 III-138)

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」(46.4%)、「現在は決めていないが、決めたいと思う」(29.7%)、「決めていないし、必要とは思わない」(18.4%)となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「決めている」は高くなっており、75歳以上では8割弱となっている。50歳代以下では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高く、20歳代では「現在は決めていないが、決めたいと思う」と「決めていないし、必要とは思わない」が同数で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「決めている」が7割を超えているが、「社会保険（本人）」は「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」、その他の同居状況では「決めている」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」（60.0%）が「独居高齢者以外」より15.1ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏（P. 208・図表 III-139）

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」（55.9%）、「現在は決めていないが、決めたいと思う」（28.0%）、「決めていないし、必要とは思わない」（9.3%）となっている。

性別にみると、女性は「決めている」（59.4%）が男性より10.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～69歳では「決めている」が7割を超えており、60～64歳では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が6割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」と「後期高齢者医療制度」では「決めている」が約8割で、他の健康保険より23ポイント以上高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「決めている」が7割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では、「決めている」（50.0%）で「独居高齢者以外」より6.5ポイント低くなっている。

奄美保健医療圏（P. 209・図表 III-140）

かかりつけ薬局について、全体では「決めている」（44.3%）、「現在は決めていないが、決めたいと思う」（24.6%）、「決めていないし、必要とは思わない」（20.0%）となっている。

性別にみると、女性は「現在は決めていないが、決めたいと思う」（30.4%）で男性より12.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60歳代と75歳以上で「決めている」が5割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では「決めている」（54.6%）は他の健康保険より12ポイント以上高くなっている。

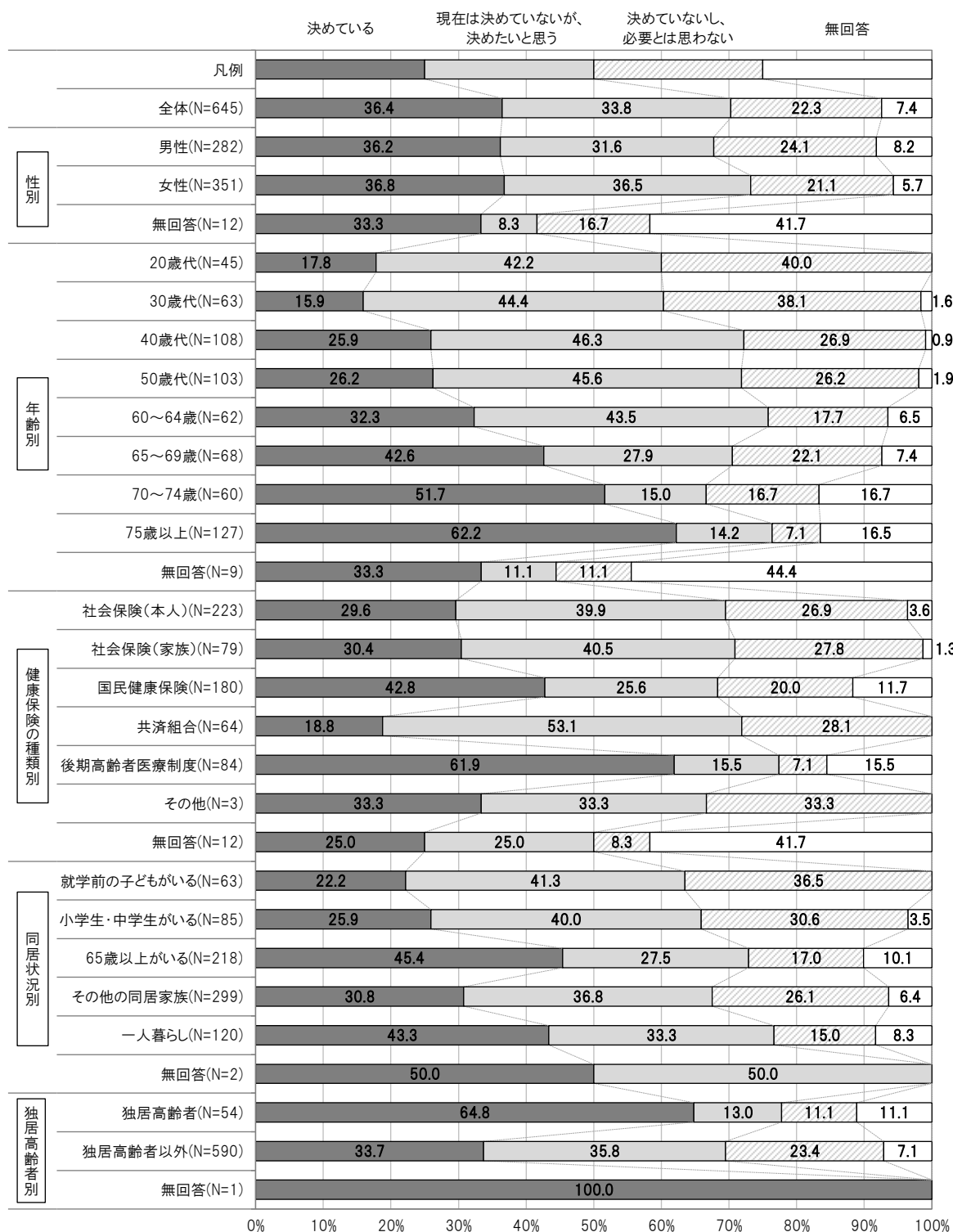
同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「決めている」が5割を超えている。「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「決めている」(51.4%)が「独居高齢者以外」より8.3ポイント高くなっている。

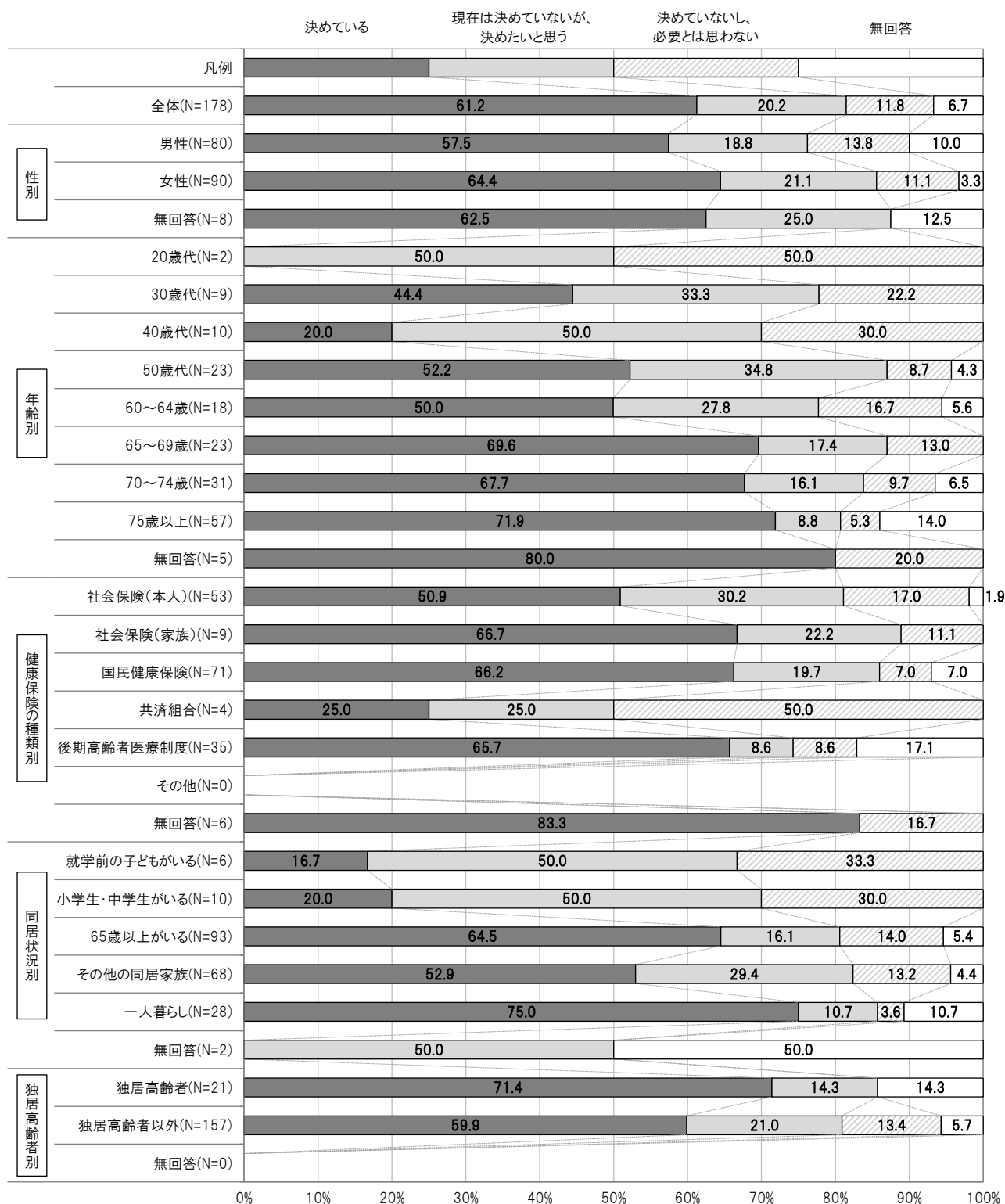
離島別の分析 (P.210・図表 III-141)

離島別にみると、「種子島」と「奄美大島」では「決めている」が5割を超えている。「三島」と「喜界島」では「現在は決めていないが、決めたいと思う」、「十島」と「甬島」では「決めていないし、必要とは思わない」が最も高くなっている。

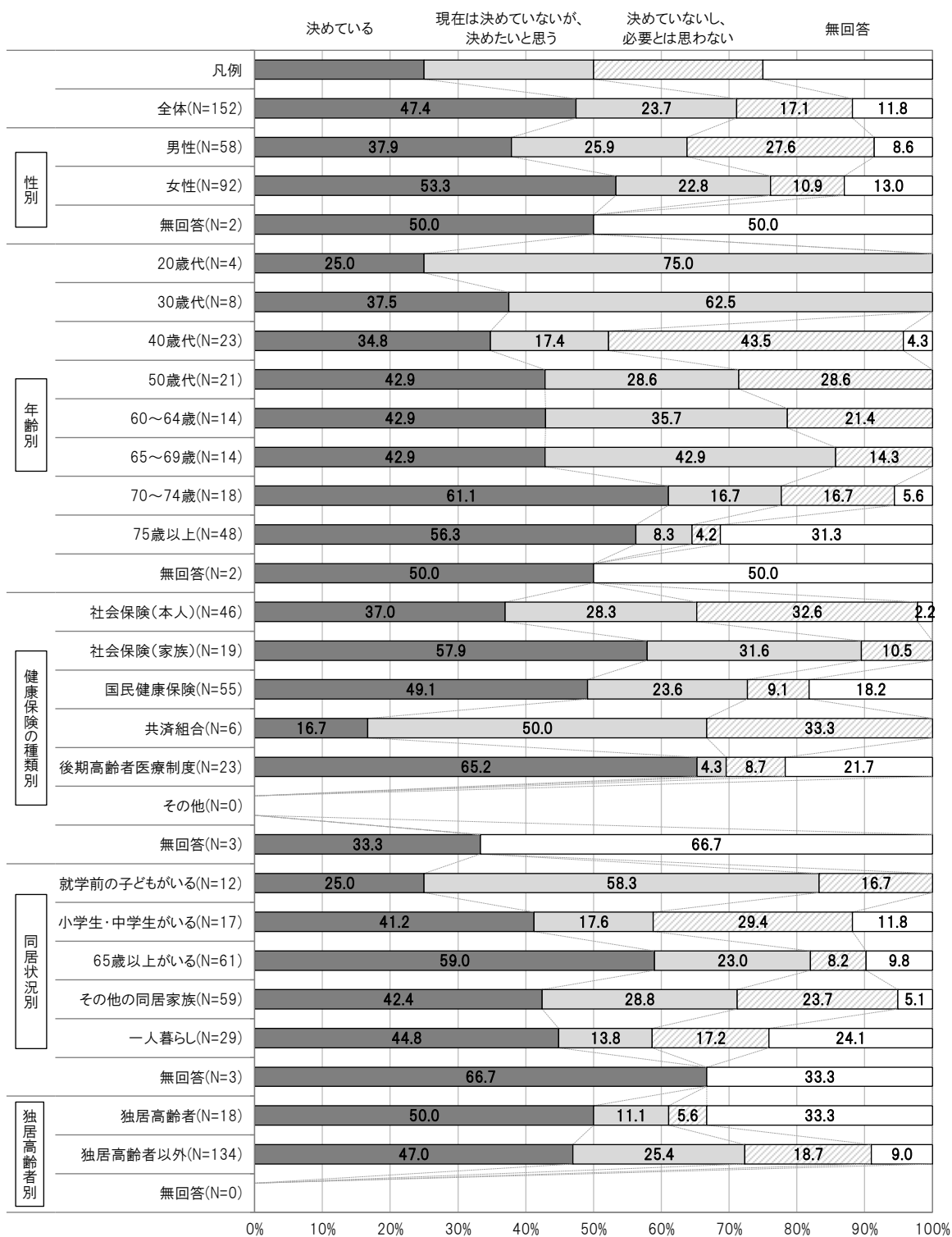
図表 III-132 鹿児島保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



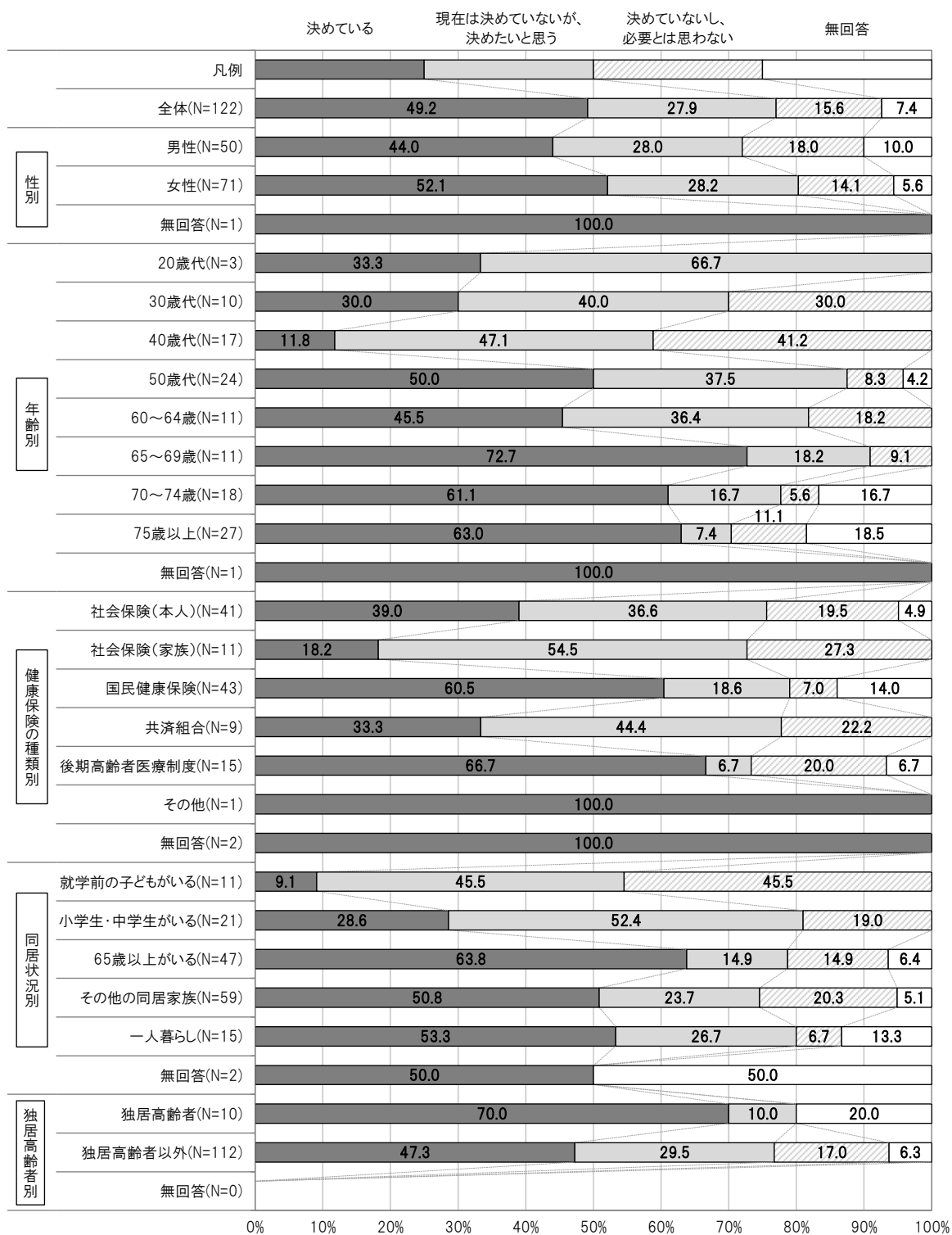
図表 III-133 南薩保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



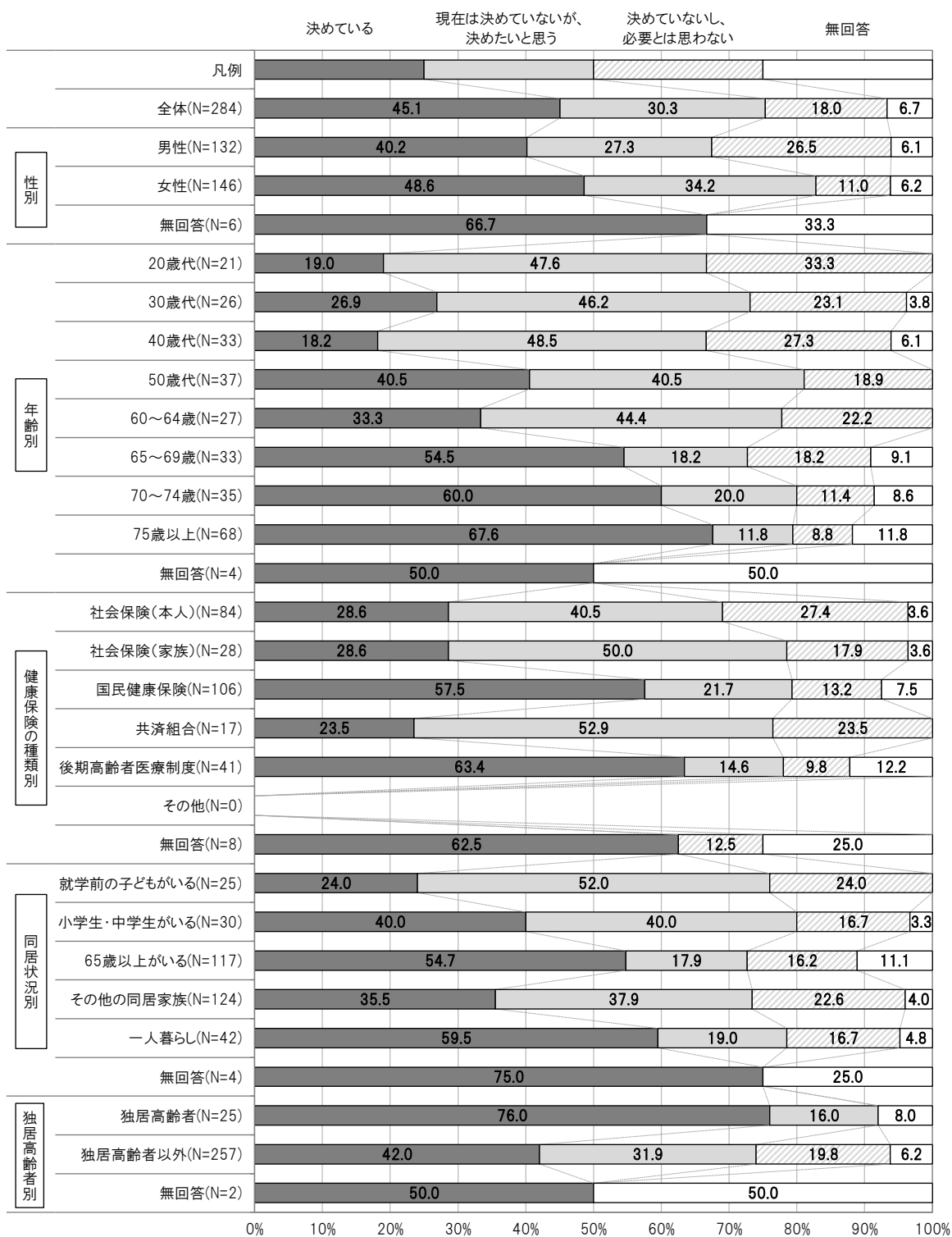
図表 III-134 川薩保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



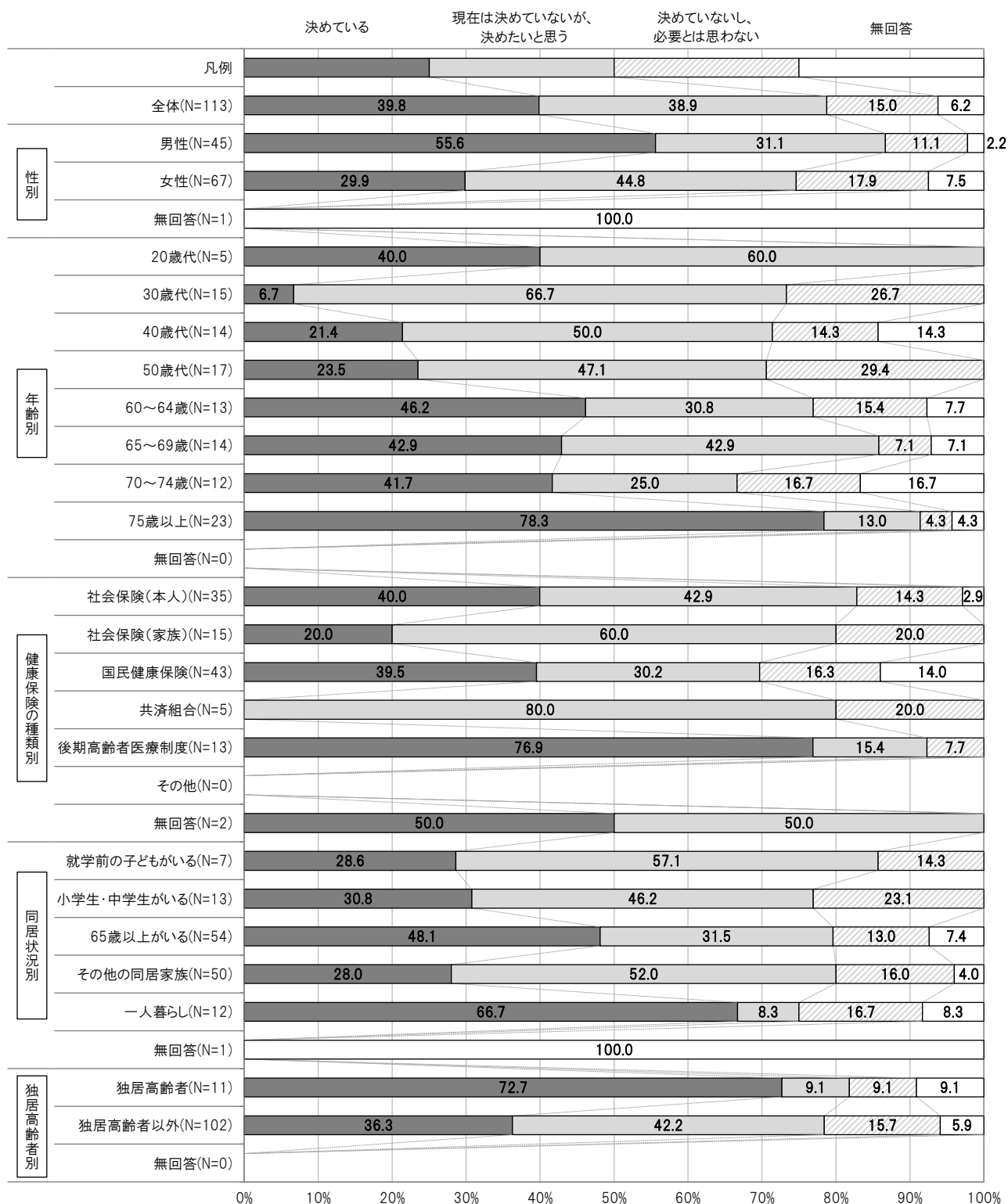
図表 III-135 出水保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



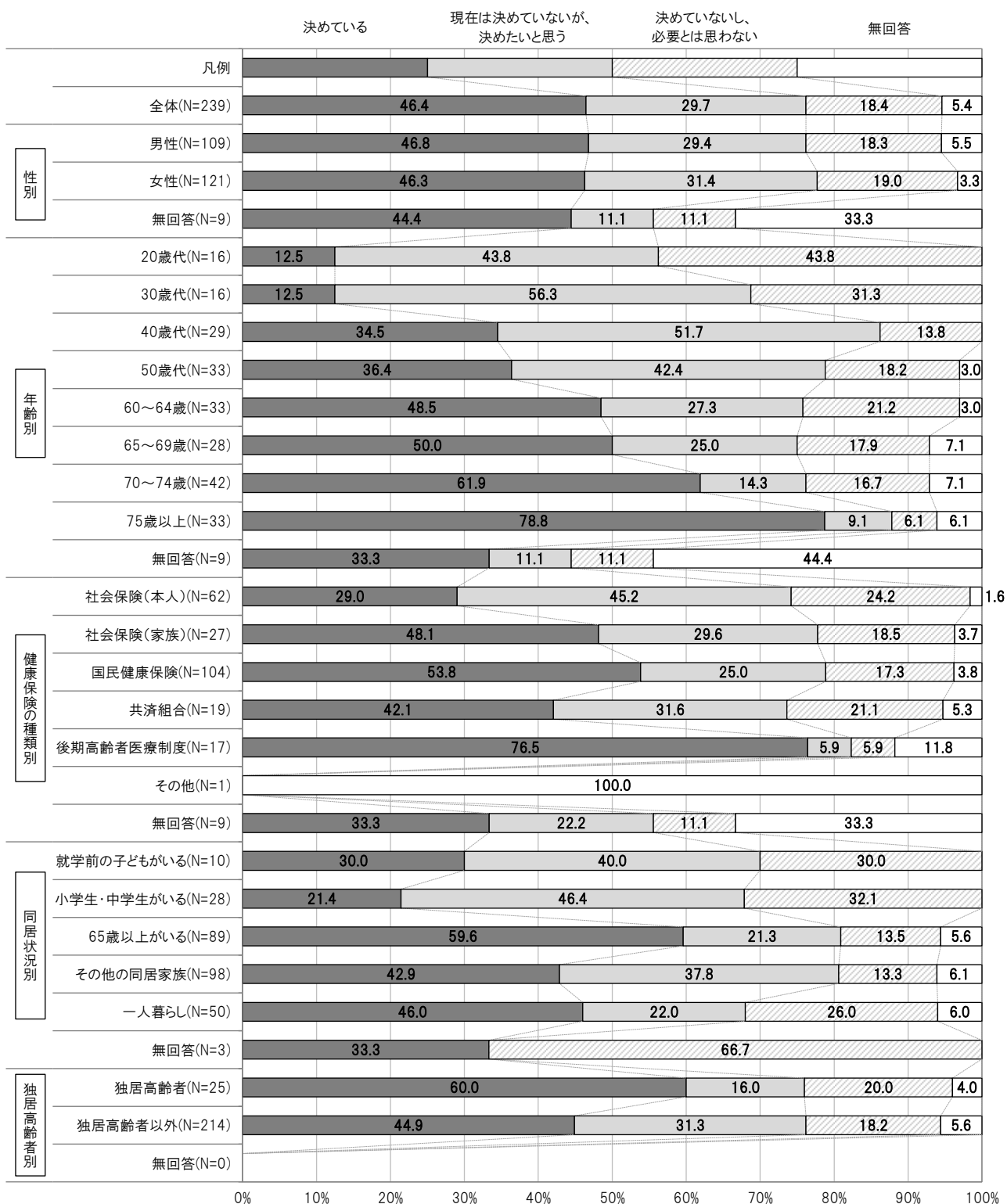
図表 III-136 始良・伊佐保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



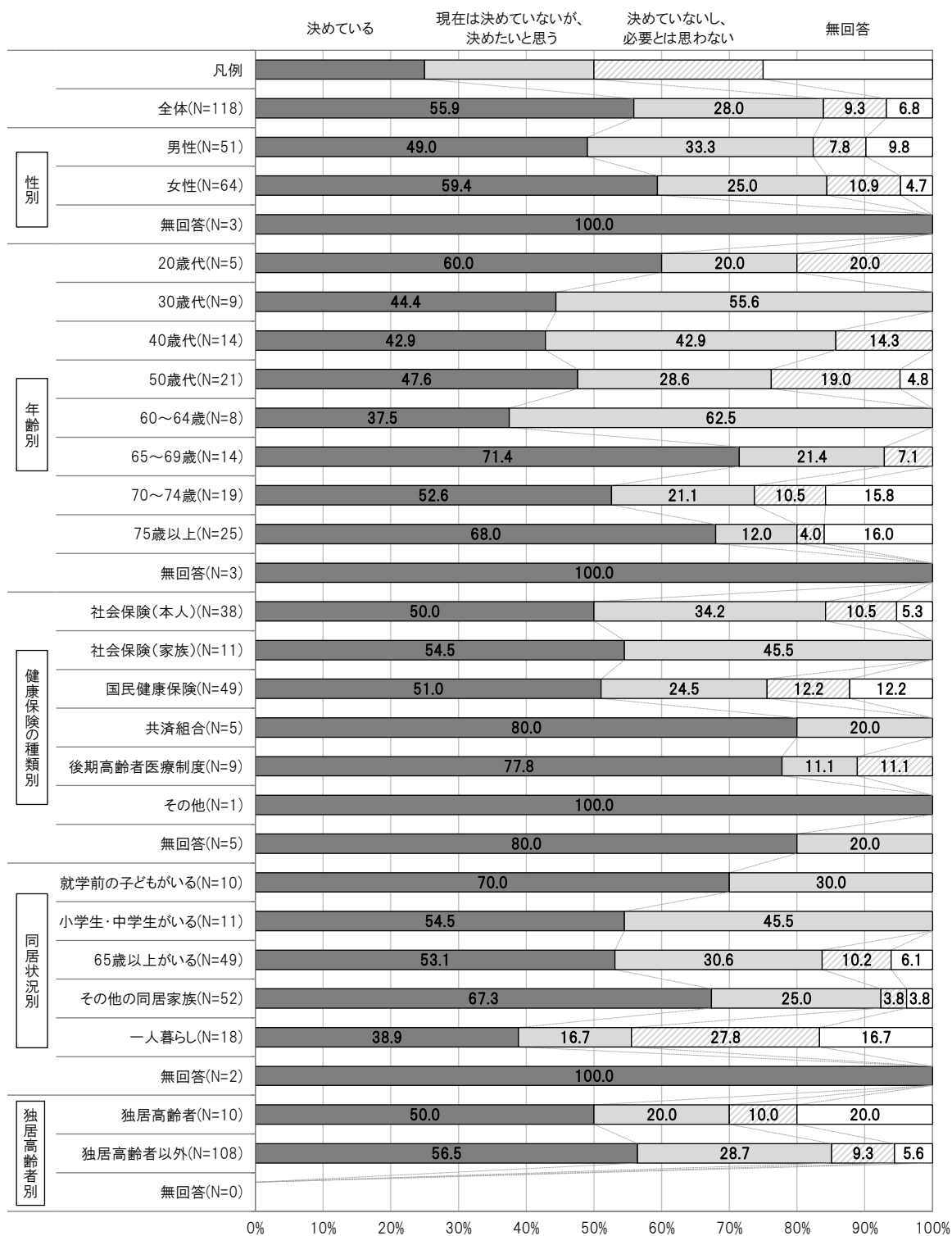
図表 III-137 曾於保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



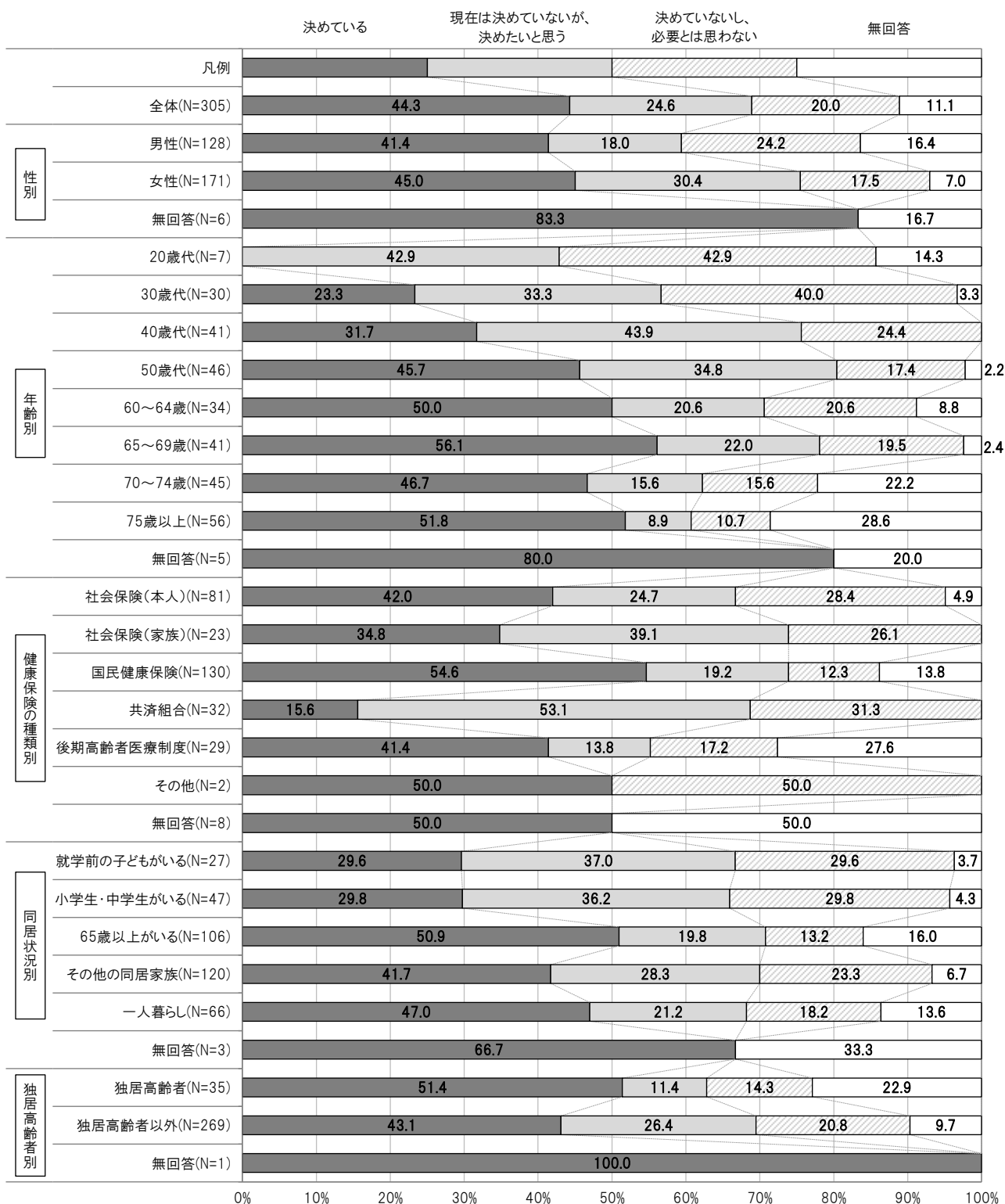
図表 III-138 肝属保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



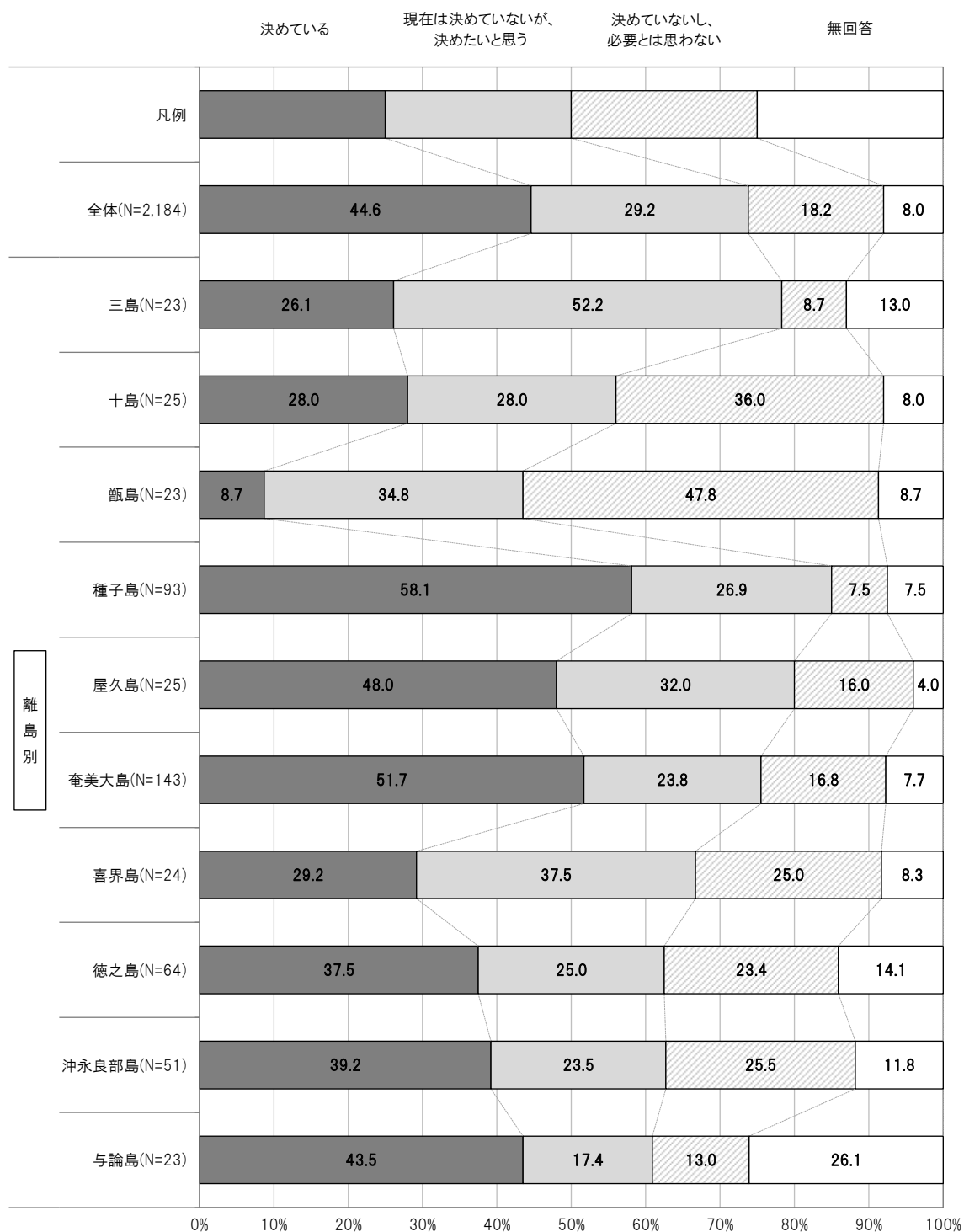
図表 III-139 熊毛保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-140 奄美保健医療圏 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



図表 III-141 離島別の分析 かかりつけ薬局の有無【加重集計前・属性別】



10. かかりつけ薬局の機能等

(1) かかりつけ薬局の機能（夜間・休日対応）に関する認知度

問 13-1	あなたは、かかりつけ薬局では必要に応じ夜間や休日にも対応することを知っていますか。 (○は1つ)
--------	---

かかりつけ薬局の夜間・休日対応を知っているかの問いについて、全体では、「はい」(16.9%)、「いいえ」(81.0%)となっている。

二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」と「出水保健医療圏」では2割を超えており、他の保健医療圏より高くなっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられず、男女とも「はい」が2割を下回っている。

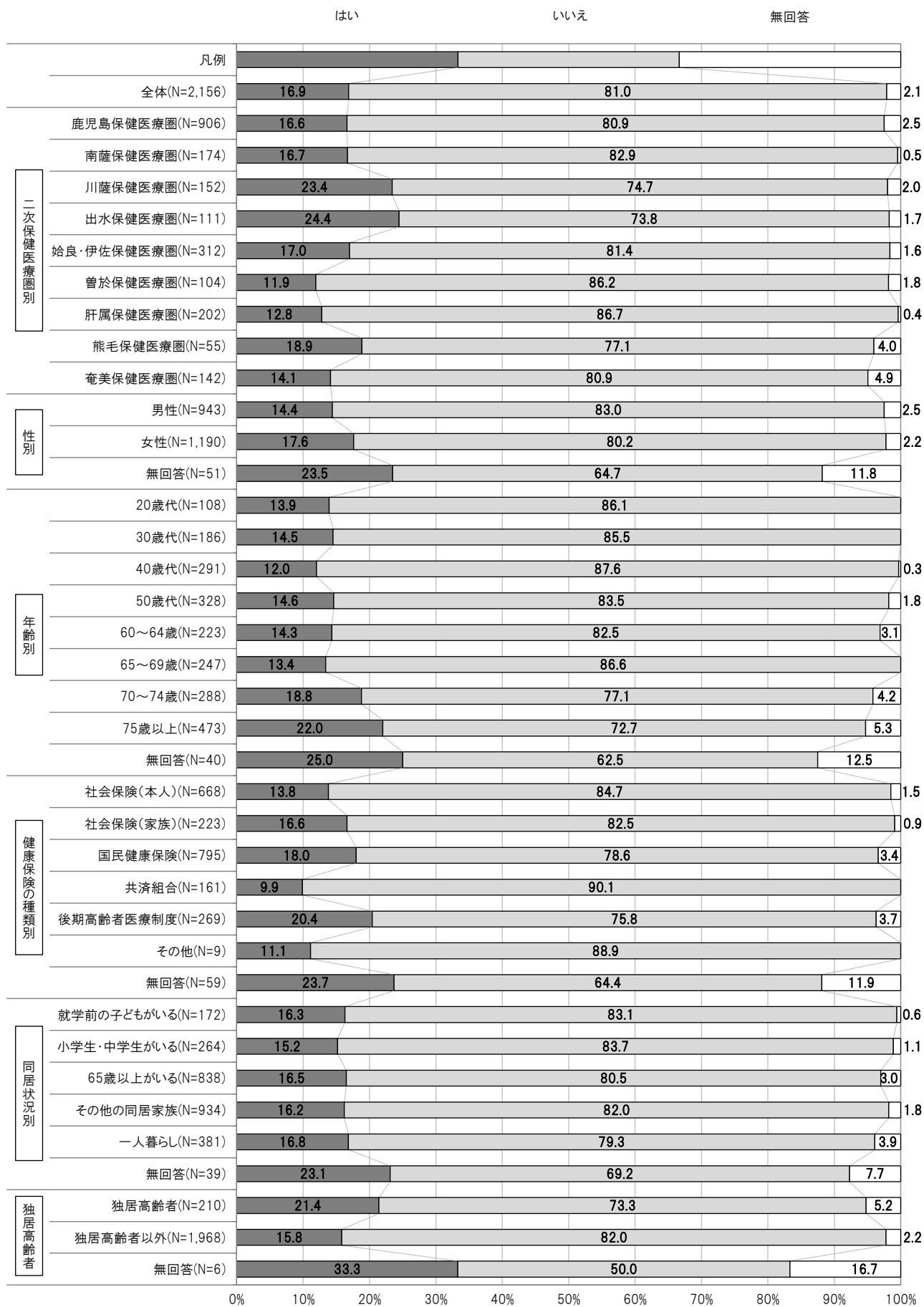
年齢別にみると、75歳以上では「はい」が2割を超えているが、他の年代では2割を下回っている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」が1割未満となっている。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(21.4%)が「独居高齢者以外」より5.6ポイント高くなっている。

図表 III-142 かかりつけ薬局の機能（夜間・休日対応）に関する認知度【属性別】



(2) かかりつけ薬局の機能（服薬情報の一元的・継続的把握）に関する認知度

問 13-2	あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が医療機関で処方された薬や市販薬など服用しているすべての薬の情報を一元的・継続的に把握し、薬の重複や飲み合わせ、副作用がないかなどを確認して服薬に関する説明をすることを知っていますか。（○は1つ）
--------	--

かかりつけ薬局の服薬情報の一元的・継続的把握を知っているかの問いについて、全体では、「はい」(68.8%)、「いいえ」(28.8%)となっている。

二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」では「はい」が8割を超えている。一方、「奄美保健医療圏」では6割未満となっており、他の保健医療圏より低くなっている。

性別にみると、女性は「はい」(71.2%)が男性より6.6ポイント高くなっている。

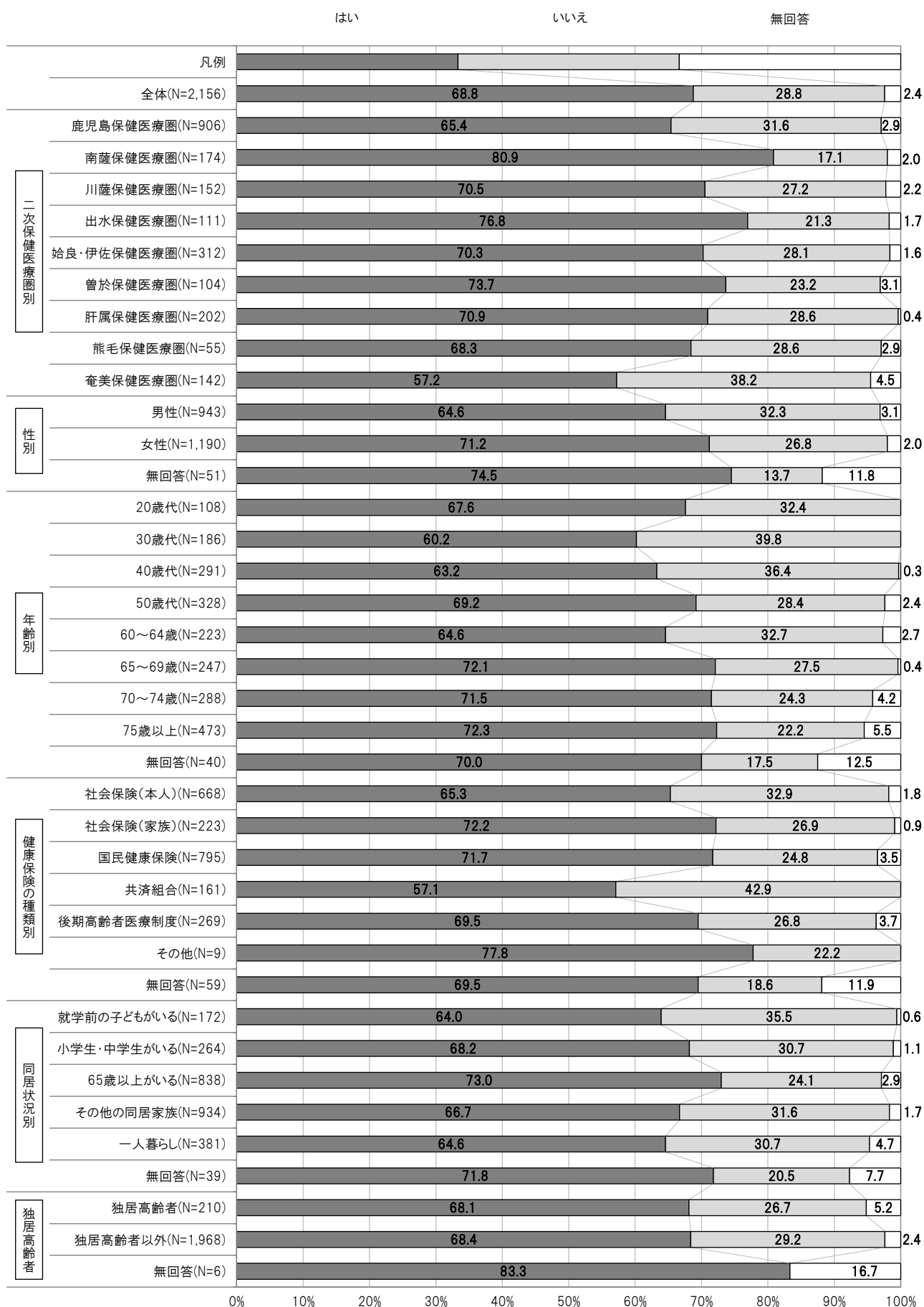
年齢別にみると、65歳以上では「はい」が7割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「国民健康保険」では「はい」が7割を超えている。一方、「共済組合」は6割弱で、他の健康保険より8ポイント以上低くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「はい」が7割を超えている。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-143 かかりつけ薬局の機能（服薬情報の一元的・継続的把握）に関する認知度【属性別】



(3) かかりつけ薬局の機能（医療機関との連携）に関する認知度

問 13-3	あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が処方内容を確認し必要に応じ、医師に問い合わせで処方内容の変更を提案したり、服用期間中の患者の体調変化（副作用）などについて医師へ情報提供するなど、地域の医療機関と連携して患者を支える体制を作っていることを知っていますか。 (○は1つ)
--------	---

かかりつけ薬局の医療機関との連携を知っているかの問いについて、全体では、「はい」(51.3%)、「いいえ」(45.6%)となっている。

二次保健医療圏別にみると、「奄美保健医療圏」では「いいえ」(53.1%)が「はい」(40.9%)を超えている。

性別にみると、女性は「はい」(55.5%)が高く、男性は「いいえ」(51.1%)が高くなっている。

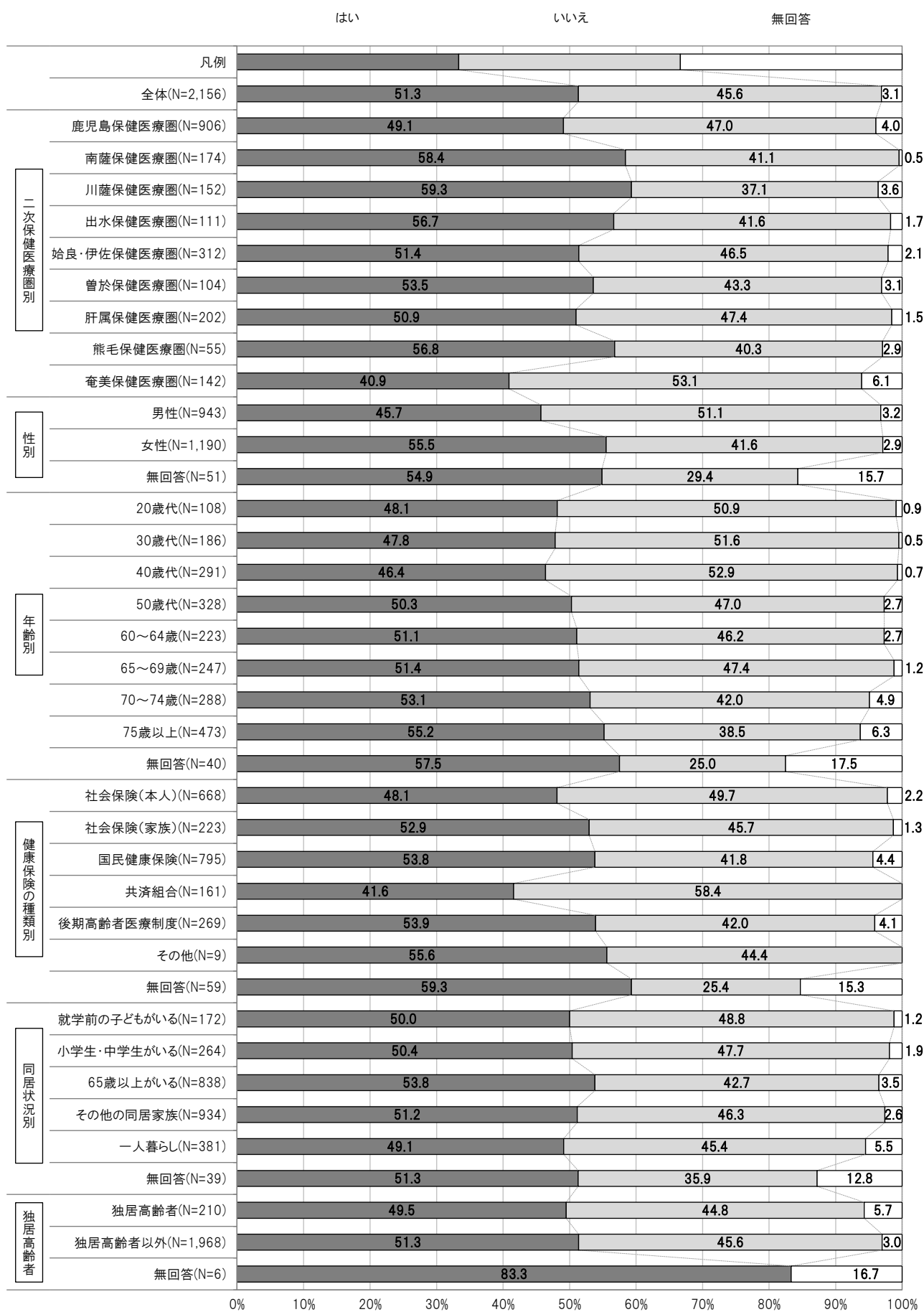
年齢別にみると、20～40歳代では「いいえ」が半数を超えている。50歳以上では「はい」が半数を超え、高齢になるほど高くなる傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「共済組合」では「いいえ」が「はい」を超えている。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-144 かかりつけ薬局の機能（医療機関との連携）に関する認知度【属性別】



(4) かかりつけ薬剤師制度の認知度

問 13-4	あなたは、かかりつけ薬剤師制度（※）のことを知っていますか。（○は1つ） ※ かかりつけ薬剤師制度とは、いつも利用する薬局の中で、服用している薬の管理や相談ができ、健康の相談にも応じる薬剤師で、あなた自身がその薬剤師を選択する制度のことです。
--------	--

かかりつけ薬剤師制度を知っているかの問いについて、全体では、「はい」(28.0%)、「いいえ」(69.3%)となっている。

二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「始良・伊佐保健医療圏」、「曾於保健医療圏」では「はい」が3割を超えている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

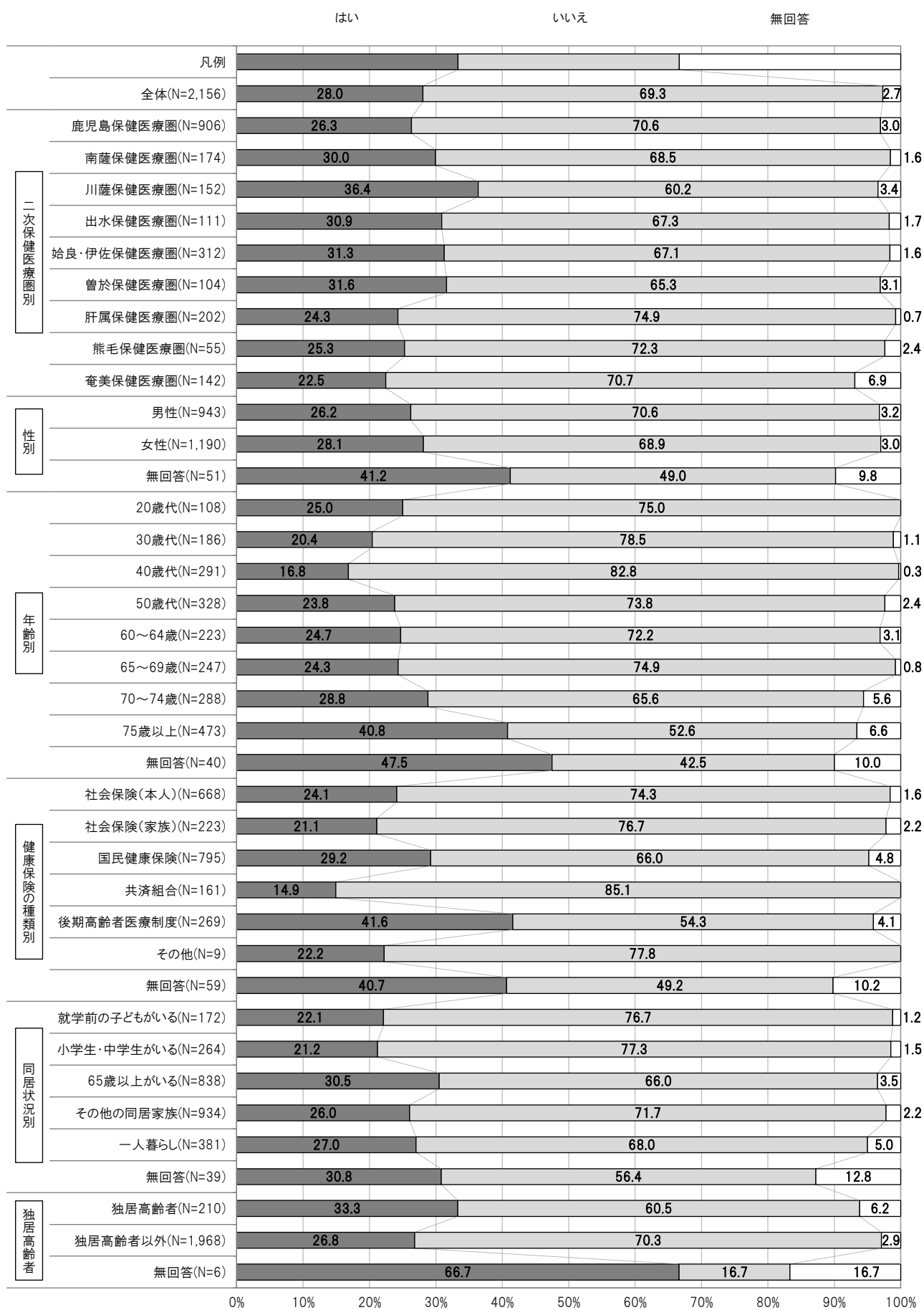
年齢別にみると、40歳以上では高齢になるほど「はい」が高くなる傾向がみられ、75歳以上では4割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「はい」が4割を超えているが、「共済組合」では「いいえ」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「はい」が3割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(33.3%)が「独居高齢者以外」より6.5ポイント高くなっている。

図表 III-145 かかりつけ薬剤師制度の認知度【属性別】



11. 在宅医療（入院以外の医療）や介護

(1) 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと

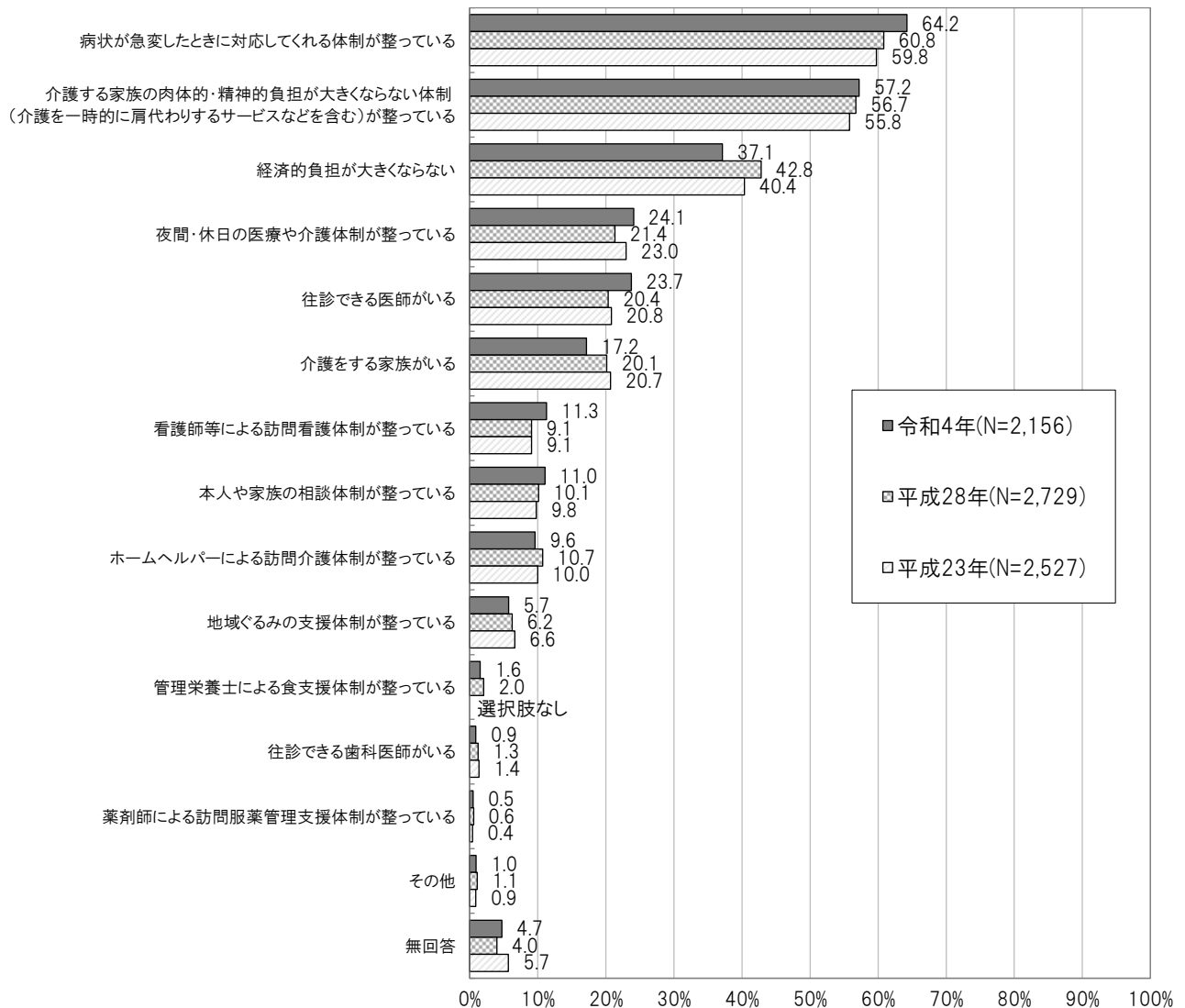
問 14-1 あなたは、自宅での医療や介護を受け入れるためには特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

ア. 全体の分析

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」(64.2%)が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」(57.2%)、「経済的負担が大きくなる体制」(37.1%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」と「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っている」は増加、「介護をする家族がいる」と「地域ぐるみの支援体制が整っている」は減少傾向がみられた。

図表 III-146 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」と「奄美保健医療圏」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が最も高く、その他の保健医療圏では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が最も高くなっている。「曾於保健医療圏」では、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（51.0%）、「往診できる医師がいる」（17.0%）、「往診できる歯科医師がいる」（0.0%）が他の保健医療圏より低くなっている。

性別にみると、男女とも「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が最も高く、6割を超えている。また、男性は「経済的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（59.0%）が男性より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」、「経済的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」は30歳以上では高齢になるほど低くなる傾向がみられた。一方、70歳以上では「往診できる医師がいる」が3割を超え、他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」は「共済組合」では7割を超えているが、「後期高齢者医療制度」では約4割となっている。

同居状況別にみると、「就業前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が約7割、「経済的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が5割弱で、他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」と「独居高齢者以外」とも「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が最も高く、6割を超えている。次いで、「独居高齢者」では「往診できる医師がいる」（37.1%）、「独居高齢者以外」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（58.8%）となっている。

図表 III-147 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【属性別】1/2

		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的 負担が大きくなならない体制（介護 を一時的に肩代わりするサービス などを含む）が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
	全体(N=2,156)	64.2	17.2	57.2	37.1	11.0	23.7	0.9	9.6
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	66.4	14.2	58.1	40.2	11.0	23.4	0.9	9.4
	南薩保健医療圏(N=174)	66.5	16.4	53.2	27.5	7.5	30.5	1.2	9.1
	川薩保健医療圏(N=152)	61.8	27.2	56.7	34.3	10.6	25.0	1.1	9.1
	出水保健医療圏(N=111)	54.8	15.0	62.4	36.3	13.3	20.2	1.1	8.1
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	64.9	18.6	58.0	38.0	12.4	23.1	0.9	7.0
	曾於保健医療圏(N=104)	64.3	17.9	51.0	40.1	8.3	17.0	0.0	14.4
	肝属保健医療圏(N=202)	65.6	20.5	55.3	37.0	11.7	24.7	0.7	11.7
	熊毛保健医療圏(N=55)	56.8	16.5	53.3	28.9	10.4	28.0	2.0	14.3
	奄美保健医療圏(N=142)	57.3	19.9	59.9	32.1	13.0	21.9	0.9	10.6
性別	男性(N=943)	65.0	19.5	53.2	39.3	8.3	22.8	0.4	12.5
	女性(N=1,190)	64.1	15.7	59.0	32.4	12.2	25.8	1.2	8.4
	無回答(N=51)	49.0	13.7	27.5	17.6	7.8	27.5	3.9	7.8
年齢別	20歳代(N=108)	67.6	23.1	63.9	39.8	13.9	17.6	0.0	9.3
	30歳代(N=186)	68.3	16.7	75.3	50.5	12.4	11.3	0.0	10.8
	40歳代(N=291)	67.0	20.3	66.7	49.8	10.0	16.8	1.0	8.6
	50歳代(N=328)	65.9	14.6	63.1	44.2	11.9	18.3	1.2	11.0
	60～64歳(N=223)	69.5	14.8	57.4	36.3	10.8	27.4	0.4	6.7
	65～69歳(N=247)	68.0	13.8	61.9	28.7	7.3	25.5	1.2	10.1
	70～74歳(N=288)	63.2	15.3	43.4	25.0	8.0	31.3	0.7	13.2
	75歳以上(N=473)	55.8	20.5	40.0	23.0	11.0	34.2	1.1	10.8
	無回答(N=40)	52.5	17.5	32.5	15.0	10.0	27.5	5.0	5.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	67.2	18.6	65.6	43.1	9.3	20.5	0.4	9.0
	社会保険(家族)(N=223)	68.6	14.8	61.4	39.5	13.9	19.3	1.3	8.5
	国民健康保険(N=795)	60.5	15.7	49.8	30.9	9.9	27.9	0.6	11.2
	共済組合(N=161)	71.4	16.8	74.5	40.4	14.9	15.5	1.2	12.4
	後期高齢者医療制度(N=269)	61.0	20.8	40.5	24.5	8.9	33.8	1.5	11.2
	その他(N=9)	77.8	33.3	33.3	22.2	0.0	44.4	0.0	11.1
	無回答(N=59)	54.2	16.9	25.4	18.6	11.9	23.7	5.1	5.1
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	71.5	21.5	72.1	48.8	11.0	18.0	0.0	6.4
	小学生・中学生がいる(N=264)	64.0	20.5	69.3	48.1	11.7	14.0	1.5	9.1
	65歳以上がいる(N=838)	61.1	18.4	54.1	28.8	10.5	28.9	0.8	10.6
	その他の同居家族(N=934)	66.4	17.7	63.6	38.8	11.2	20.3	0.6	9.6
	一人暮らし(N=381)	64.6	13.6	38.3	32.8	10.0	29.4	1.0	11.5
	無回答(N=39)	53.8	10.3	35.9	25.6	2.6	23.1	0.0	7.7
高齢者別	独居高齢者(N=210)	64.8	9.5	28.6	24.3	9.5	37.1	1.0	11.4
	独居高齢者以外(N=1,968)	64.1	18.2	58.8	36.3	10.5	23.2	0.9	10.1
	無回答(N=6)	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0

(単位：%)

図表 III-148 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【属性別】 2/2

		看護師等による訪問看護体制が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制が整っている	夜間・休日の医療や介護体制が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っている	その他	無回答
全体(N=2,156)		11.3	0.5	1.6	24.1	5.7	1.0	4.7
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	11.8	0.4	2.0	22.4	5.7	0.8	5.2
	南薩保健医療圏(N=174)	10.6	0.5	2.9	26.9	6.7	1.6	2.9
	川薩保健医療圏(N=152)	7.9	0.4	0.2	22.6	3.3	2.4	6.5
	出水保健医療圏(N=111)	18.1	0.0	2.1	16.8	8.0	1.7	4.8
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	10.4	0.5	0.8	26.4	7.8	0.5	2.9
	曾於保健医療圏(N=104)	11.9	0.0	0.0	24.2	3.9	1.2	6.8
	肝属保健医療圏(N=202)	8.7	0.7	0.8	29.4	5.6	0.0	2.0
	熊本保健医療圏(N=55)	15.6	0.4	1.6	29.3	6.4	1.3	5.9
	奄美保健医療圏(N=142)	10.3	2.1	1.6	24.0	1.8	0.8	7.8
性別	男性(N=943)	11.8	0.5	1.5	24.4	4.6	0.7	4.2
	女性(N=1,190)	11.9	0.5	1.3	25.8	6.2	1.1	4.8
	無回答(N=51)	11.8	5.9	2.0	11.8	3.9	3.9	21.6
年齢別	20歳代(N=108)	9.3	1.9	1.9	25.0	6.5	0.0	0.9
	30歳代(N=186)	9.7	0.0	0.5	17.7	5.4	1.1	1.1
	40歳代(N=291)	8.6	0.0	0.7	26.1	8.2	1.4	1.0
	50歳代(N=328)	9.8	0.0	1.5	26.5	5.5	1.5	4.3
	60～64歳(N=223)	8.5	0.9	2.7	31.8	3.6	0.0	3.6
	65～69歳(N=247)	16.2	0.4	1.2	33.2	6.1	0.4	1.2
	70～74歳(N=288)	16.0	0.3	1.0	21.5	6.6	0.7	9.0
	75歳以上(N=473)	14.0	1.1	1.7	21.4	3.6	1.3	9.1
	無回答(N=40)	7.5	7.5	2.5	10.0	2.5	5.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	9.6	0.4	1.2	26.2	4.5	0.6	3.4
	社会保険(家族)(N=223)	12.1	0.0	1.8	27.4	7.2	0.4	2.7
	国民健康保険(N=795)	13.2	0.4	1.5	24.8	5.9	1.3	6.2
	共済組合(N=161)	12.4	0.0	0.0	24.8	6.2	0.6	1.2
	後期高齢者医療制度(N=269)	14.5	1.9	2.2	23.4	4.1	1.1	6.7
	その他(N=9)	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0
	無回答(N=59)	5.1	5.1	1.7	11.9	3.4	3.4	16.9
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	9.3	0.0	0.0	18.0	6.4	1.7	0.6
	小学生・中学生がいる(N=264)	10.6	0.0	1.1	18.2	8.7	1.5	3.0
	65歳以上がいる(N=838)	13.8	0.2	1.2	25.9	3.8	0.7	5.6
	その他の同居家族(N=934)	12.0	0.5	1.6	25.4	5.7	1.2	2.6
	一人暮らし(N=381)	11.8	1.0	2.1	27.0	6.6	0.8	7.9
	無回答(N=39)	7.7	7.7	0.0	25.6	0.0	5.1	20.5
高齢者別	独居高齢者(N=210)	14.3	0.5	1.9	24.8	8.6	0.5	11.4
	独居高齢者以外(N=1,968)	11.6	0.6	1.4	24.9	5.1	1.1	4.2
	無回答(N=6)	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

(単位:%)

イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 229・図表 III-149～図表 III-150)

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」(67.0%)が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」(57.4%)、「経済的負担が大きくなる体制」(39.5%)の順となっている。

性別にみると、女性は「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」(61.3%)が男性より8.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」では30歳代の7割をピークに高齢になるほど低くなる傾向がみられ、75歳以上では約4割となっている。「経済的負担が大きくなる体制」は30～50歳代で約5割となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」が7割を超えている。また、「後期高齢者医療制度」では「看護師等による訪問看護体制が整っている」(19.0%)が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」が7割を超えているが、「一人暮らし」では4割を下回っている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「往診できる医師がいる」(37.0%)が「独居高齢者以外」より14.8ポイント高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 231・図表 III-151～図表 III-152)

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」(66.9%)が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」(53.4%)、「往診できる医師がいる」(30.3%)の順となっている。

性別にみると、女性は「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」(61.1%)が男性より14.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている」が20歳代と40歳代では9割を超えている。また、「経済的負担が大きくなる体制」は30歳代では6割を超え他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」は「共済組合」と「後期高齢者医療制度」で7割を超えている。また、「社会保険（家族）」と「共済組合」では「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」が4割を超え、他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「経済的負担が大きくなるならない」は「就学前の子どもがいる」では8割、「小学生・中学生がいる」では6割で他の同居状況より23ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（85.7%）が「独居高齢者以外」より21.4ポイント高くなっている。

川薩保健医療圏（P.233・図表 III-153～図表 III-154）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（61.8%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなるならない体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（53.3%）、「経済的負担が大きくなるならない」（32.2%）の順となっている。

性別にみると、男性は「経済的負担が大きくなるならない」（41.4%）が女性より14.2ポイント、女性は「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなるならない体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（56.5%）で男性より6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「経済的負担が大きくなるならない」（75.0%）が最も高くなっている。また、50歳代では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が8割を超えており、他の年代より14ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「国民健康保険」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が7割弱となっている。「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「往診できる医師がいる」が3割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」、「介護をする家族がいる」が4割を超えている。また、「一人暮らし」では「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」が5割弱で他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」（44.4%）が「独居高齢者以外」より21.3ポイント高くなっている。

出水保健医療圏（P.235・図表 III-155～図表 III-156）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなるならない体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（63.1%）が最も高く、次いで、「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（53.3%）、「経済的負担が大きくなるならない」（35.2%）の順となっている。

性別にみると、男女とも「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が最も高くなっているが、女性が67.6%で男性より9.6ポイント高くなっている。男性は「往診できる医師がいる」と「ホームヘルパーによる訪問介護体制が整っている」で女性より9ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（80.0%）で他の年代より高くなっている。また、65～69歳では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が9割、30歳代と50歳代では「経済的負担が大きくなる体制」が5割を超え他の年代より高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」と「共済組合」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が8割を超えている。また、「社会保険（家族）」では「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」が3割を超え、他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が9割を超えている。「就学前の子どもがいる」と「一人暮らし」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「往診できる医師がいる」（40.0%）が最も高く、「独居高齢者以外」より21.2ポイント高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏（P. 237・図表 III-157～図表 III-158）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（66.2%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（56.0%）、「経済的負担が大きくなる体制」（35.9%）の順となっている。

性別にみると、男性は「経済的負担が大きくなる体制」（41.7%）が女性より11.6ポイント高くなっている。女性は「往診できる医師がいる」（33.3%）が男性より7.6ポイント高くなっている。また、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」は男女とも56.8%となっている。

年齢別にみると、40～64歳では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が高く、それ以外では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が高くなっており、30歳代で8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「共済組合」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」で7割を超え、他の健康保険より17ポイント以上高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が8割となっている。「小学生・中学生がいる」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（73.3%）が最も高くなっている。「一人暮らし」では「往診できる医師がいる」（47.6%）が他の同居状況より16ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「往診できる医師がいる」（52.0%）が「独居高齢者以外」より30.2ポイント高くなっている。一方、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（24.0%）は35.1ポイント低くなっている。

曾於保健医療圏（P.239・図表 III-159～図表 III-160）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（65.5%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（53.1%）、「経済的負担が大きくなる体制」（39.8%）の順となっている。

性別にみると、女性は「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（70.1%）、「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」（29.9%）で男性より9ポイント以上高くなっている。一方、男性は「ホームヘルパーによる訪問介護体制が整っている」（22.2%）が女性より13.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（84.6%）、「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」（46.2%）が他の年代より高くなっている。また、高齢になるほど「経済的負担が大きくなる体制」は低くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（80.0%）と「経済的負担が大きくなる体制」（80.0%）が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「経済的負担が大きくなる体制」が約7割で他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（27.3%）が「独居高齢者以外」より28.6ポイント低くなっている。「独居高齢者以外」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が6割を超えている。

肝属保健医療圏（P.241・図表 III-161～図表 III-162）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（66.5%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担

が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（53.1%）、
「経済的負担が大きくなる」（35.1%）の順となっている。

性別にみると、男女とも「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が6割を超え、
「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービス
などを含む）が整っている」が5割を超えている。女性は「往診できる医師がいる」（28.9%）が男性
より 8.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20～30 歳代では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介
護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が最も高くなっている。また、40 歳
代では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大き
くなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（59.3%）が最も
高くなっている。また、「後期高齢者医療制度」では「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」が
4割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「病状が急変した
ときに対応してくれる体制が整っている」が8割を超えている。また、「就学前の子どもがいる」では
「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービス
などを含む）が整っている」（70.0%）、「介護をする家族がいる」（50.0%）、「経済的負担が大きくな
らない」（50.0%）も他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整ってい
る」（72.0%）が最も高くなっている。また、「往診できる医師がいる」（44.0%）と「夜間・休日の医
療や介護体制が整っている」（40.0%）は「独居高齢者以外」より 10 ポイント以上高くなっている。

熊毛保健医療圏（P. 243・図表 III-163～図表 III-164）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対
応してくれる体制が整っている」（58.5%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担
が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（53.4%）、
「往診できる医師がいる」（28.0%）の順となっている。

性別にみると、女性は「看護師等による訪問看護体制が整っている」（21.9%）が男性より 12.1 ポ
イント高くなっている。

年齢別にみると、40 歳代では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」、「介護す
る家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含
む）が整っている」が7割を超えている。また、「夜間・休日の医療や介護体制が整っている」は 20
歳代で6割、65～69 歳で5割となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整って

いる」は4割で他の健康保険より低くなっている。

同居状況別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」は「就学前の子どもがいる」では8割を超えている。「一人暮らし」では「経済的負担が大きくなる体制」が4割弱となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が独居高齢者以外と比較して47.4ポイント低くなっている。

奄美保健医療圏（P. 245・図表 III-165～図表 III-166）

自宅での医療や介護受入れのために特に必要なことについて、全体では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（60.0%）が最も高く、次いで「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（58.0%）、「経済的負担が大きくなる体制」（32.8%）の順となっている。

性別にみると、「ホームヘルパーによる訪問介護体制が整っている」（18.0%）が女性より9.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」は30歳代では9割、40歳代では約7割となっている。65～69歳では「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」（68.3%）と「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（68.3%）が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」（78.1%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「65歳以上がいる」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が最も高く、特に、「就学前の子どもがいる」では9割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が「独居高齢者以外」より21ポイント以上高くなっている。

離島別の分析（P. 247・図表 III-167～図表 III-168）

離島別にみると、「屋久島」では「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている」が最も高く、7割を超えている。「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている」は「三島」では7割を超えている。

図表 III-149 鹿児島保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

鹿児島保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくなならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
	全体(N=645)	67.0	14.4	57.4	39.5	9.8	23.4	1.1	8.7
性別	男性(N=282)	68.1	17.4	52.8	44.0	8.9	22.3	0.4	9.9
	女性(N=351)	66.4	12.3	61.3	36.8	10.5	24.2	1.7	7.7
	無回答(N=12)	58.3	8.3	50.0	16.7	8.3	25.0	0.0	8.3
年齢別	20歳代(N=45)	66.7	26.7	62.2	35.6	20.0	15.6	0.0	6.7
	30歳代(N=63)	68.3	12.7	77.8	49.2	14.3	11.1	0.0	7.9
	40歳代(N=108)	72.2	16.7	66.7	53.7	8.3	15.7	1.9	8.3
	50歳代(N=103)	68.0	10.7	63.1	50.5	12.6	19.4	1.9	8.7
	60~64歳(N=62)	72.6	12.9	53.2	38.7	11.3	27.4	0.0	9.7
	65~69歳(N=68)	76.5	13.2	57.4	30.9	4.4	26.5	0.0	10.3
	70~74歳(N=60)	63.3	6.7	48.3	26.7	6.7	21.7	1.7	6.7
	75歳以上(N=127)	55.9	17.3	40.2	28.3	6.3	39.4	1.6	9.4
	無回答(N=9)	55.6	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	70.0	14.3	63.7	45.3	7.6	21.5	0.4	10.3
	社会保険(家族)(N=79)	70.9	10.1	65.8	41.8	17.7	13.9	2.5	6.3
	国民健康保険(N=180)	60.0	13.3	52.2	35.0	8.3	27.2	0.6	7.8
	共済組合(N=64)	78.1	17.2	73.4	43.8	17.2	12.5	0.0	9.4
	後期高齢者医療制度(N=84)	61.9	17.9	35.7	32.1	6.0	35.7	2.4	8.3
	その他(N=3)	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	無回答(N=12)	66.7	8.3	41.7	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	69.8	15.9	74.6	52.4	12.7	22.2	0.0	6.3
	小学生・中学生がいる(N=85)	65.9	12.9	71.8	51.8	12.9	14.1	1.2	10.6
	65歳以上がいる(N=218)	67.0	14.2	56.4	31.2	8.3	30.7	1.4	8.3
	その他の同居家族(N=299)	69.6	14.7	62.2	43.8	11.4	19.4	0.7	8.0
	一人暮らし(N=120)	65.0	10.8	38.3	31.7	9.2	26.7	1.7	10.0
	無回答(N=2)	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	64.8	1.9	20.4	25.9	7.4	37.0	0.0	11.1
	独居高齢者以外(N=590)	67.1	15.6	60.8	40.8	10.0	22.2	1.2	8.5
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-150 鹿児島保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

鹿児島保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制が整っている	夜間・休日の医療や介護体制が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っている	その他	無回答
性別	全体(N=645)	12.2	0.3	2.0	22.6	5.9	1.1	5.3
	男性(N=282)	11.0	0.4	2.5	23.4	4.6	1.1	4.6
	女性(N=351)	13.1	0.0	1.7	22.8	7.1	1.1	5.1
	無回答(N=12)	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
年齢別	20歳代(N=45)	6.7	0.0	2.2	31.1	8.9	0.0	0.0
	30歳代(N=63)	12.7	0.0	0.0	14.3	3.2	3.2	3.2
	40歳代(N=108)	7.4	0.0	0.9	25.0	8.3	1.9	0.0
	50歳代(N=103)	7.8	0.0	3.9	17.5	6.8	2.9	5.8
	60～64歳(N=62)	9.7	1.6	3.2	25.8	3.2	0.0	4.8
	65～69歳(N=68)	14.7	0.0	1.5	32.4	11.8	0.0	0.0
	70～74歳(N=60)	20.0	0.0	1.7	15.0	5.0	0.0	13.3
	75歳以上(N=127)	17.3	0.0	2.4	24.4	2.4	0.0	10.2
	無回答(N=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	8.1	0.4	2.2	25.6	4.5	0.9	4.0
	社会保険(家族)(N=79)	13.9	0.0	2.5	19.0	10.1	1.3	2.5
	国民健康保険(N=180)	14.4	0.0	1.7	22.8	8.3	1.1	6.7
	共済組合(N=64)	9.4	0.0	0.0	18.8	4.7	1.6	3.1
	後期高齢者医療制度(N=84)	19.0	0.0	3.6	23.8	2.4	0.0	8.3
	その他(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	無回答(N=12)	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	7.9	0.0	0.0	17.5	1.6	3.2	0.0
	小学生・中学生がいる(N=85)	11.8	0	1.2	14.1	7.1	2.4	3.5
	65歳以上がいる(N=218)	16.1	0.0	1.8	25.7	3.7	0.0	5.0
	その他の同居家族(N=299)	10.4	0.3	3.0	22.1	7.0	1.3	3.7
	一人暮らし(N=120)	11.7	0.8	1.7	27.5	6.7	1.7	10.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	18.5	0.0	1.9	25.9	7.4	0.0	16.7
	独居高齢者以外(N=590)	11.7	0.3	2.0	22.4	5.8	1.2	4.2
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-151 南薩保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

南薩 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくなならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=178)	66.9	15.7	53.4	27.5	7.9	30.3	1.1	9.6
	男性(N=80)	67.5	16.3	46.3	36.3	2.5	26.3	0.0	11.3
	女性(N=90)	65.6	15.6	61.1	21.1	11.1	33.3	2.2	6.7
	無回答(N=8)	75.0	12.5	37.5	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0
年齢別	20歳代(N=2)	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	55.6	0.0	55.6	66.7	22.2	11.1	0.0	22.2
	40歳代(N=10)	80.0	0.0	90.0	50.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	50歳代(N=23)	69.6	8.7	60.9	34.8	13.0	21.7	0.0	4.3
	60~64歳(N=18)	72.2	11.1	61.1	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0
	65~69歳(N=23)	65.2	17.4	60.9	13.0	0.0	34.8	4.3	8.7
	70~74歳(N=31)	61.3	25.8	45.2	22.6	9.7	22.6	0.0	16.1
	75歳以上(N=57)	64.9	19.3	40.4	22.8	7.0	40.4	1.8	10.5
	無回答(N=5)	80.0	20.0	60.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	66.0	11.3	66.0	39.6	7.5	22.6	0.0	7.5
	社会保険(家族)(N=9)	55.6	22.2	66.7	22.2	0.0	33.3	0.0	0.0
	国民健康保険(N=71)	66.2	12.7	47.9	23.9	11.3	31.0	1.4	11.3
	共済組合(N=4)	75.0	0.0	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	71.4	22.9	40.0	20.0	0.0	37.1	2.9	8.6
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	66.7	50.0	50.0	0.0	33.3	50.0	0.0	33.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	83.3	0.0	50.0	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	80.0	0.0	80.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	60.2	22.6	54.8	18.3	5.4	35.5	0.0	9.7
	その他の同居家族(N=68)	69.1	13.2	64.7	36.8	4.4	22.1	1.5	5.9
	一人暮らし(N=28)	82.1	7.1	32.1	32.1	17.9	35.7	3.6	17.9
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	85.7	0.0	38.1	23.8	19.0	38.1	4.8	14.3
	独居高齢者以外(N=157)	64.3	17.8	55.4	28.0	6.4	29.3	0.6	8.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-152 南薩保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

南薩 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整って いる	その他	無回答
性別	全体(N=178)	10.7	0.6	2.8	26.4	6.7	1.7	2.8
	男性(N=80)	13.8	0.0	1.3	25.0	3.8	1.3	6.3
	女性(N=90)	7.8	1.1	4.4	27.8	8.9	2.2	0.0
	無回答(N=8)	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=10)	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=23)	13.0	0.0	4.3	26.1	8.7	4.3	0.0
	60～64歳(N=18)	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0
	65～69歳(N=23)	17.4	0.0	0.0	47.8	4.3	4.3	0.0
	70～74歳(N=31)	6.5	0.0	6.5	12.9	12.9	3.2	9.7
	75歳以上(N=57)	10.5	1.8	1.8	26.3	5.3	0.0	3.5
無回答(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	13.2	0.0	3.8	26.4	3.8	0.0	3.8
	社会保険(家族)(N=9)	0.0	0.0	0.0	44.4	22.2	0.0	0.0
	国民健康保険(N=71)	8.5	0.0	4.2	22.5	7.0	4.2	2.8
	共済組合(N=4)	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	14.3	2.9	0.0	31.4	8.6	0.0	2.9
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	15.1	1.1	2.2	31.2	5.4	0.0	3.2
	その他の同居家族(N=68)	11.8	0.0	2.9	26.5	5.9	4.4	0.0
	一人暮らし(N=28)	7.1	0.0	7.1	17.9	10.7	0.0	3.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	9.5	0.0	4.8	9.5	14.3	0.0	4.8
	独居高齢者以外(N=157)	10.8	0.6	2.5	28.7	5.7	1.9	2.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-153 川薩保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

川薩 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=152)	61.8	23.0	53.3	32.2	11.2	25.7	1.3	8.6
	男性(N=58)	60.3	29.3	50.0	41.4	6.9	25.9	3.4	10.3
	女性(N=92)	64.1	19.6	56.5	27.2	14.1	26.1	0.0	7.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=4)	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	62.5	62.5	62.5	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	40歳代(N=23)	52.2	30.4	56.5	52.2	8.7	26.1	4.3	8.7
	50歳代(N=21)	85.7	14.3	66.7	33.3	4.8	28.6	0.0	14.3
	60~64歳(N=14)	64.3	14.3	64.3	42.9	7.1	21.4	0.0	0.0
	65~69歳(N=14)	71.4	21.4	64.3	14.3	7.1	28.6	7.1	14.3
	70~74歳(N=18)	66.7	27.8	50.0	16.7	16.7	27.8	0.0	0.0
	75歳以上(N=48)	52.1	14.6	37.5	22.9	14.6	29.2	0.0	10.4
	無回答(N=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	63.0	28.3	65.2	52.2	8.7	17.4	4.3	8.7
	社会保険(家族)(N=19)	68.4	31.6	68.4	36.8	15.8	26.3	0.0	10.5
	国民健康保険(N=55)	69.1	21.8	43.6	23.6	10.9	30.9	0.0	3.6
	共済組合(N=6)	66.7	16.7	100.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
	後期高齢者医療制度(N=23)	43.5	13.0	30.4	17.4	13.0	34.8	0.0	17.4
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	41.7	41.7	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	8.3
	小学生・中学生がいる(N=17)	52.9	47.1	52.9	41.2	5.9	11.8	5.9	11.8
	65歳以上がいる(N=61)	62.3	21.3	49.2	23.0	13.1	27.9	0.0	9.8
	その他の同居家族(N=59)	67.8	27.1	62.7	33.9	16.9	23.7	1.7	10.2
	一人暮らし(N=29)	55.2	10.3	44.8	37.9	0.0	24.1	0.0	10.3
	無回答(N=3)	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=18)	50.0	11.1	38.9	33.3	0.0	22.2	0.0	11.1
	独居高齢者以外(N=134)	63.4	24.6	55.2	32.1	12.7	26.1	1.5	8.2
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-154 川薩保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

川薩 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整って いる	その他	無回答
性別	全体(N=152)	8.6	0.7	0.7	25.7	3.9	2.6	7.9
	男性(N=58)	12.1	1.7	1.7	24.1	1.7	1.7	1.7
	女性(N=92)	6.5	0.0	0.0	27.2	5.4	3.3	9.8
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	13.0	0.0	0.0	26.1	0.0	4.3	0.0
	50歳代(N=21)	9.5	0.0	0.0	38.1	0.0	0.0	0.0
	60～64歳(N=14)	7.1	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0	7.1
	65～69歳(N=14)	14.3	0.0	7.1	28.6	0.0	0.0	7.1
	70～74歳(N=18)	16.7	0.0	0.0	22.2	5.6	0.0	11.1
	75歳以上(N=48)	4.2	2.1	0.0	22.9	8.3	6.3	14.6
無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	8.7	0.0	0.0	28.3	0.0	0.0	2.2
	社会保険(家族)(N=19)	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3
	国民健康保険(N=55)	10.9	0.0	1.8	29.1	1.8	5.5	7.3
	共済組合(N=6)	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=23)	0.0	4.3	0.0	21.7	13.0	4.3	17.4
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	16.7	0.0	0.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	11.8	0.0	0.0	29.4	0.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=61)	9.8	0.0	0.0	19.7	0.0	1.6	13.1
	その他の同居家族(N=59)	13.6	1.7	1.7	18.6	5.1	1.7	0.0
	一人暮らし(N=29)	3.4	0.0	0.0	48.3	10.3	3.4	13.8
無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	
高齢者別	独居高齢者(N=18)	0.0	0.0	0.0	44.4	16.7	5.6	16.7
	独居高齢者以外(N=134)	9.7	0.7	0.7	23.1	2.2	2.2	6.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-155 出水保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

出水 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくならない体制（介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む）が整っている	経済的負担が大きくならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=122)	53.3	14.8	63.1	35.2	13.9	20.5	1.6	7.4
	男性(N=50)	56.0	16.0	58.0	36.0	10.0	26.0	0.0	14.0
	女性(N=71)	52.1	14.1	67.6	35.2	16.9	16.9	2.8	2.8
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	30歳代(N=10)	80.0	10.0	80.0	50.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	40歳代(N=17)	52.9	17.6	70.6	35.3	23.5	17.6	0.0	11.8
	50歳代(N=24)	62.5	8.3	75.0	58.3	20.8	12.5	4.2	12.5
	60～64歳(N=11)	72.7	9.1	63.6	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0
	65～69歳(N=11)	45.5	18.2	90.9	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=18)	44.4	0.0	38.9	22.2	5.6	33.3	0.0	5.6
	75歳以上(N=27)	40.7	33.3	48.1	29.6	14.8	29.6	3.7	3.7
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	63.4	14.6	65.9	46.3	9.8	24.4	0.0	7.3
	社会保険(家族)(N=11)	81.8	9.1	81.8	36.4	0.0	18.2	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	39.5	14.0	51.2	27.9	11.6	20.9	2.3	9.3
	共済組合(N=9)	44.4	0.0	88.9	22.2	66.7	0.0	11.1	22.2
	後期高齢者医療制度(N=15)	53.3	33.3	66.7	40.0	13.3	20.0	0.0	0.0
	その他(N=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	72.7	18.2	72.7	36.4	9.1	27.3	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	52.4	9.5	90.5	42.9	19.0	14.3	4.8	14.3
	65歳以上がいる(N=47)	48.9	14.9	57.4	29.8	10.6	21.3	0.0	4.3
	その他の同居家族(N=59)	50.8	15.3	76.3	40.7	20.3	18.6	0.0	10.2
	一人暮らし(N=15)	46.7	13.3	26.7	33.3	13.3	26.7	6.7	13.3
	無回答(N=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	30.0	20.0	30.0	30.0	20.0	40.0	10.0	10.0
	独居高齢者以外(N=112)	55.4	14.3	66.1	35.7	13.4	18.8	0.9	7.1
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-156 出水保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

出水保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制が整っている	夜間・休日の医療や介護体制が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っている	その他	無回答
性別	全体(N=122)	18.0	0.0	1.6	16.4	8.2	1.6	5.7
	男性(N=50)	16.0	0.0	4.0	12.0	8.0	2.0	4.0
	女性(N=71)	19.7	0.0	0.0	19.7	8.5	0.0	7.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	30歳代(N=10)	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=17)	23.5	0.0	0.0	23.5	17.6	0.0	0.0
	50歳代(N=24)	4.2	0.0	0.0	20.8	8.3	0.0	0.0
	60～64歳(N=11)	18.2	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1
	65～69歳(N=11)	27.3	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=18)	44.4	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	16.7
	75歳以上(N=27)	14.8	0.0	3.7	0.0	7.4	3.7	7.4
無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	17.1	0.0	0.0	22.0	9.8	0.0	2.4
	社会保険(家族)(N=11)	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	20.9	0.0	2.3	14.0	7.0	0.0	14.0
	共済組合(N=9)	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=15)	13.3	0.0	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	9.5	0.0	0.0	9.5	19.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=47)	27.7	0.0	2.1	14.9	6.4	4.3	8.5
	その他の同居家族(N=59)	15.3	0.0	0.0	16.9	3.4	0.0	3.4
	一人暮らし(N=15)	26.7	0.0	6.7	20.0	13.3	0.0	6.7
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0
	独居高齢者以外(N=112)	17.0	0.0	1.8	17.9	7.1	1.8	5.4
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-157 始良・伊佐保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

始良・伊佐 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくなならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=284)	66.2	18.3	56.0	35.9	12.3	24.6	1.1	8.5
	男性(N=132)	66.7	18.2	56.8	41.7	12.9	20.5	0.8	8.3
	女性(N=146)	66.4	18.5	56.8	30.1	12.3	28.1	1.4	8.2
	無回答(N=6)	50.0	16.7	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7
年齢別	20歳代(N=21)	76.2	9.5	66.7	38.1	4.8	14.3	0.0	14.3
	30歳代(N=26)	80.8	11.5	69.2	50.0	7.7	15.4	0.0	19.2
	40歳代(N=33)	60.6	24.2	63.6	57.6	15.2	9.1	0.0	3.0
	50歳代(N=37)	75.7	16.2	78.4	45.9	16.2	5.4	0.0	2.7
	60~64歳(N=27)	59.3	18.5	59.3	22.2	11.1	37.0	3.7	3.7
	65~69歳(N=33)	63.6	15.2	57.6	36.4	12.1	21.2	3.0	6.1
	70~74歳(N=35)	68.6	20.0	34.3	28.6	11.4	37.1	0.0	11.4
	75歳以上(N=68)	58.8	23.5	42.6	20.6	14.7	38.2	1.5	10.3
	無回答(N=4)	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	72.6	13.1	71.4	46.4	11.9	13.1	0.0	6.0
	社会保険(家族)(N=28)	85.7	17.9	53.6	32.1	14.3	14.3	3.6	0.0
	国民健康保険(N=106)	56.6	18.9	50.0	34.9	11.3	30.2	0.9	11.3
	共済組合(N=17)	76.5	35.3	76.5	23.5	0.0	23.5	0.0	17.6
	後期高齢者医療制度(N=41)	58.5	24.4	41.5	22.0	19.5	39.0	2.4	9.8
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	75.0	0.0	12.5	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	80.0	16.0	68.0	60.0	8.0	4.0	0.0	4.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	50.0	23.3	73.3	56.7	13.3	10.0	0.0	6.7
	65歳以上がいる(N=117)	57.3	19.7	50.4	32.5	16.2	30.8	1.7	7.7
	その他の同居家族(N=124)	69.4	21.0	64.5	38.7	9.7	14.5	0.8	9.7
	一人暮らし(N=42)	71.4	14.3	33.3	19.0	14.3	47.6	0.0	7.1
	無回答(N=4)	50.0	0.0	75.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	76.0	16.0	24.0	12.0	20.0	52.0	0.0	8.0
	独居高齢者以外(N=257)	65.4	18.7	59.1	38.1	11.7	21.8	1.2	8.6
	無回答(N=2)	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-158 始良・伊佐保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】 2/2

始良・伊佐 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整って いる	その他	無回答
	全体(N=284)	11.3	0.4	0.7	25.4	7.4	0.4	2.8
性別	男性(N=132)	10.6	0.8	0.0	26.5	6.8	0.8	1.5
	女性(N=146)	11.6	0.0	1.4	24.7	8.2	0.0	4.1
	無回答(N=6)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=21)	19.0	4.8	0.0	23.8	9.5	0.0	0.0
	30歳代(N=26)	3.8	0.0	0.0	19.2	11.5	0.0	0.0
	40歳代(N=33)	9.1	0.0	0.0	30.3	9.1	3.0	3.0
	50歳代(N=37)	10.8	0.0	0.0	37.8	8.1	0.0	0.0
	60～64歳(N=27)	11.1	0.0	3.7	37.0	11.1	0.0	3.7
	65～69歳(N=33)	21.2	0.0	3.0	21.2	6.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=35)	2.9	0.0	0.0	28.6	11.4	0.0	5.7
	75歳以上(N=68)	11.8	0.0	0.0	14.7	1.5	0.0	5.9
	無回答(N=4)	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	13.1	1.2	0.0	27.4	8.3	1.2	1.2
	社会保険(家族)(N=28)	7.1	0.0	0.0	50.0	10.7	0.0	0.0
	国民健康保険(N=106)	12.3	0.0	1.9	22.6	8.5	0.0	4.7
	共済組合(N=17)	17.6	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	4.9	0.0	0.0	14.6	2.4	0.0	4.9
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	4.0	0.0	0.0	24.0	8.0	4.0	4.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	10.0	0.0	0.0	20.0	6.7	3.3	6.7
	65歳以上がいる(N=117)	11.1	0.0	0.9	26.5	8.5	0.0	3.4
	その他の同居家族(N=124)	8.9	0.0	0.8	29.0	8.9	0.8	1.6
	一人暮らし(N=42)	16.7	2.4	0.0	19.0	4.8	0.0	2.4
	無回答(N=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	12.0	0.0	0.0	8.0	4.0	0.0	4.0
	独居高齢者以外(N=257)	10.9	0.4	0.8	27.2	7.8	0.4	2.7
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-159 曾於保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

曾於 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくなならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=113)	65.5	16.8	53.1	39.8	8.0	16.8	0.0	14.2
	男性(N=45)	60.0	17.8	48.9	42.2	4.4	20.0	0.0	22.2
	女性(N=67)	70.1	16.4	56.7	38.8	10.4	14.9	0.0	9.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	80.0	0.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	73.3	6.7	60.0	66.7	6.7	13.3	0.0	13.3
	40歳代(N=14)	50.0	14.3	50.0	50.0	7.1	14.3	0.0	21.4
	50歳代(N=17)	58.8	17.6	70.6	52.9	11.8	5.9	0.0	11.8
	60~64歳(N=13)	84.6	15.4	46.2	46.2	7.7	15.4	0.0	0.0
	65~69歳(N=14)	64.3	14.3	78.6	14.3	7.1	14.3	0.0	14.3
	70~74歳(N=12)	58.3	8.3	33.3	25.0	8.3	25.0	0.0	33.3
	75歳以上(N=23)	65.2	34.8	34.8	21.7	8.7	26.1	0.0	13.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	65.7	14.3	62.9	42.9	14.3	14.3	0.0	5.7
	社会保険(家族)(N=15)	66.7	13.3	46.7	46.7	6.7	13.3	0.0	20.0
	国民健康保険(N=43)	65.1	18.6	51.2	34.9	4.7	23.3	0.0	18.6
	共済組合(N=5)	60.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	76.9	23.1	38.5	30.8	7.7	15.4	0.0	23.1
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	85.7	28.6	42.9	42.9	0.0	14.3	0.0	28.6
	小学生・中学生がいる(N=13)	69.2	0.0	53.8	69.2	7.7	15.4	0.0	23.1
	65歳以上がいる(N=54)	63.0	25.9	50.0	31.5	11.1	18.5	0.0	14.8
	その他の同居家族(N=50)	72.0	12.0	70.0	44.0	8.0	14.0	0.0	12.0
	一人暮らし(N=12)	50.0	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	8.3
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	54.5	18.2	27.3	27.3	0.0	18.2	0.0	9.1
	独居高齢者以外(N=102)	66.7	16.7	55.9	41.2	8.8	16.7	0.0	14.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-160 曾於保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

曾於 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っ ている	その他	無回答
性別	全体(N=113)	11.5	0.0	0.0	25.7	4.4	0.9	6.2
	男性(N=45)	8.9	0.0	0.0	20.0	4.4	0.0	6.7
	女性(N=67)	13.4	0.0	0.0	29.9	4.5	1.5	4.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	0.0	0.0	0.0	33.3	20.0	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3	0.0	14.3
	50歳代(N=17)	23.5	0.0	0.0	35.3	0.0	0.0	0.0
	60～64歳(N=13)	7.7	0.0	0.0	46.2	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3
	70～74歳(N=12)	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
	75歳以上(N=23)	13.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7
無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	8.6	0.0	0.0	34.3	2.9	0.0	5.7
	社会保険(家族)(N=15)	13.3	0.0	0.0	33.3	13.3	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	9.3	0.0	0.0	18.6	2.3	2.3	7.0
	共済組合(N=5)	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	23.1	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	0.0	7.7
	65歳以上がいる(N=54)	11.1	0.0	0.0	27.8	1.9	1.9	1.9
	その他の同居家族(N=50)	16.0	0.0	0.0	24.0	4.0	2.0	2.0
	一人暮らし(N=12)	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高齢者別 独居	独居高齢者(N=11)	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	27.3
	独居高齢者以外(N=102)	11.8	0.0	0.0	26.5	4.9	1.0	3.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-161 肝属保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

肝属 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=239)	66.5	21.3	53.1	35.1	10.0	24.7	0.4	13.0
	男性(N=109)	69.7	23.9	52.3	33.9	6.4	20.2	0.0	17.4
	女性(N=121)	63.6	18.2	55.4	38.0	13.2	28.9	0.8	9.9
	無回答(N=9)	66.7	33.3	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=16)	56.3	43.8	68.8	56.3	12.5	18.8	0.0	6.3
	30歳代(N=16)	75.0	25.0	81.3	43.8	12.5	18.8	0.0	6.3
	40歳代(N=29)	86.2	17.2	65.5	41.4	10.3	10.3	0.0	6.9
	50歳代(N=33)	54.5	21.2	51.5	36.4	9.1	24.2	3.0	24.2
	60~64歳(N=33)	72.7	15.2	63.6	42.4	9.1	30.3	0.0	9.1
	65~69歳(N=28)	64.3	7.1	60.7	21.4	10.7	25.0	0.0	21.4
	70~74歳(N=42)	73.8	23.8	35.7	35.7	2.4	35.7	0.0	11.9
	75歳以上(N=33)	51.5	24.2	33.3	24.2	18.2	27.3	0.0	15.2
	無回答(N=9)	55.6	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	75.8	33.9	67.7	43.5	8.1	16.1	0.0	6.5
	社会保険(家族)(N=27)	51.9	11.1	59.3	29.6	14.8	33.3	0.0	22.2
	国民健康保険(N=104)	65.4	16.3	47.1	35.6	8.7	26.0	0.0	15.4
	共済組合(N=19)	78.9	5.3	57.9	31.6	15.8	31.6	5.3	15.8
	後期高齢者医療制度(N=17)	52.9	35.3	35.3	23.5	11.8	35.3	0.0	5.9
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答(N=9)	66.7	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	80.0	50.0	70.0	50.0	10.0	30.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	85.7	35.7	53.6	35.7	14.3	10.7	0.0	3.6
	65歳以上がいる(N=89)	62.9	20.2	50.6	32.6	10.1	23.6	0.0	19.1
	その他の同居家族(N=98)	68.4	22.4	60.2	34.7	9.2	26.5	1.0	10.2
	一人暮らし(N=50)	66.0	16.0	40.0	44.0	8.0	26.0	0.0	14.0
	無回答(N=3)	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	72.0	12.0	32.0	28.0	4.0	44.0	0.0	12.0
	独居高齢者以外(N=214)	65.9	22.4	55.6	36.0	10.7	22.4	0.5	13.1
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-162 肝属保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

肝属 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整って いる	その他	無回答
	全体(N=239)	10.5	0.4	0.8	30.5	5.0	0.0	2.1
性別	男性(N=109)	9.2	0.9	0.9	27.5	4.6	0.0	2.8
	女性(N=121)	11.6	0.0	0.8	33.1	5.0	0.0	0.8
	無回答(N=9)	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1
年齢別	20歳代(N=16)	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=16)	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=29)	3.4	0.0	0.0	34.5	10.3	0.0	0.0
	50歳代(N=33)	9.1	0.0	0.0	33.3	6.1	0.0	3.0
	60～64歳(N=33)	9.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=28)	17.9	0.0	0.0	32.1	7.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=42)	16.7	0.0	0.0	26.2	4.8	0.0	4.8
	75歳以上(N=33)	15.2	0.0	6.1	36.4	6.1	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	3.2	0.0	0.0	24.2	1.6	0.0	1.6
	社会保険(家族)(N=27)	14.8	0.0	0.0	37.0	0.0	0.0	3.7
	国民健康保険(N=104)	14.4	1.0	1.0	30.8	5.8	0.0	1.9
	共済組合(N=19)	10.5	0.0	0.0	31.6	15.8	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=17)	11.8	0.0	5.9	41.2	0.0	0.0	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	7.1	0.0	0.0	21.4	10.7	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=89)	12.4	0.0	1.1	31.5	1.1	0.0	3.4
	その他の同居家族(N=98)	12.2	1.0	0.0	31.6	4.1	0.0	1.0
	一人暮らし(N=50)	10.0	0.0	2.0	32.0	10.0	0.0	2.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	16.0	0.0	4.0	40.0	12.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=214)	9.8	0.5	0.5	29.4	4.2	0.0	2.3
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-163 熊毛保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

熊毛 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくなならない体制(介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
	全体(N=118)	58.5	17.8	53.4	27.1	10.2	28.0	1.7	12.7
性別	男性(N=51)	58.8	17.6	52.9	31.4	5.9	29.4	0.0	7.8
	女性(N=64)	59.4	18.8	56.3	23.4	14.1	26.6	1.6	17.2
	無回答(N=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	80.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	30歳代(N=9)	55.6	11.1	66.7	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	71.4	28.6	71.4	14.3	14.3	14.3	0.0	7.1
	50歳代(N=21)	38.1	19.0	42.9	33.3	9.5	33.3	0.0	14.3
	60~64歳(N=8)	87.5	12.5	75.0	12.5	0.0	50.0	0.0	25.0
	65~69歳(N=14)	64.3	21.4	42.9	42.9	7.1	21.4	0.0	7.1
	70~74歳(N=19)	57.9	5.3	57.9	36.8	15.8	36.8	5.3	21.1
	75歳以上(N=25)	56.0	28.0	48.0	12.0	8.0	28.0	0.0	12.0
	無回答(N=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	55.3	18.4	65.8	23.7	10.5	31.6	0.0	13.2
	社会保険(家族)(N=11)	63.6	27.3	45.5	45.5	18.2	18.2	0.0	0.0
	国民健康保険(N=49)	57.1	16.3	49.0	26.5	10.2	30.6	2.0	16.3
	共済組合(N=5)	40.0	20.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	77.8	22.2	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	22.2
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	60.0	30.0	80.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	63.6	36.4	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1
	65歳以上がいる(N=49)	61.2	10.2	57.1	24.5	12.2	32.7	2.0	12.2
	その他の同居家族(N=52)	55.8	15.4	63.5	26.9	7.7	34.6	0.0	13.5
	一人暮らし(N=18)	44.4	33.3	27.8	38.9	11.1	11.1	0.0	16.7
	無回答(N=2)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	50.0	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0	0.0	30.0
	独居高齢者以外(N=108)	59.3	16.7	57.4	25.9	10.2	29.6	1.9	11.1
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-164 熊毛保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

熊毛保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制が整っている	夜間・休日の医療や介護体制が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っている	その他	無回答
性別	全体(N=118)	16.1	0.8	1.7	27.1	5.9	0.8	5.9
	男性(N=51)	9.8	0.0	0.0	29.4	3.9	0.0	9.8
	女性(N=64)	21.9	0.0	1.6	26.6	7.8	0.0	3.1
	無回答(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	7.1	0.0	0.0	35.7	14.3	0.0	0.0
	50歳代(N=21)	9.5	0.0	0.0	38.1	0.0	0.0	14.3
	60～64歳(N=8)	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	14.3	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=19)	10.5	0.0	0.0	15.8	5.3	0.0	5.3
	75歳以上(N=25)	28.0	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0	12.0
	無回答(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	13.2	0.0	0.0	36.8	5.3	0.0	2.6
	社会保険(家族)(N=11)	27.3	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1
	国民健康保険(N=49)	12.2	0.0	2.0	22.4	6.1	0.0	10.2
	共済組合(N=5)	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	30.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	18.2	0.0	0.0	36.4	9.1	0.0	9.1
	65歳以上がいる(N=49)	14.3	0.0	2.0	22.4	4.1	2.0	8.2
	その他の同居家族(N=52)	21.2	0.0	0.0	32.7	3.8	0.0	3.8
	一人暮らし(N=18)	16.7	5.6	5.6	22.2	11.1	0.0	5.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=108)	14.8	0.9	1.9	26.9	4.6	0.9	6.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-165 奄美保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

奄美 保健医療圏 1/2		病状が急変したときに対応し てくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負 担が大きくならない体制（介護を一 時的に肩代わりするサービスなどを 含む）が整っている	経済的負担が大きくならない	本人や家族の相談体制が整っ ている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護 体制が整っている
性別	全体(N=305)	60.0	19.3	58.0	32.8	11.8	25.2	0.3	12.5
	男性(N=128)	60.9	23.4	59.4	36.7	10.2	22.7	0.0	18.0
	女性(N=171)	60.2	16.4	58.5	31.0	13.5	26.9	0.0	8.8
	無回答(N=6)	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
年齢別	20歳代(N=7)	71.4	28.6	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3
	30歳代(N=30)	56.7	26.7	90.0	40.0	13.3	6.7	0.0	10.0
	40歳代(N=41)	58.5	29.3	73.2	58.5	4.9	22.0	0.0	12.2
	50歳代(N=46)	67.4	21.7	58.7	39.1	8.7	17.4	0.0	13.0
	60～64歳(N=34)	61.8	17.6	55.9	41.2	23.5	26.5	0.0	8.8
	65～69歳(N=41)	68.3	9.8	68.3	36.6	7.3	29.3	0.0	7.3
	70～74歳(N=45)	60.0	17.8	44.4	11.1	6.7	40.0	0.0	20.0
	75歳以上(N=56)	48.2	14.3	39.3	16.1	16.1	28.6	0.0	14.3
	無回答(N=5)	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	59.3	27.2	65.4	38.3	11.1	25.9	0.0	12.3
	社会保険(家族)(N=23)	60.9	13.0	56.5	56.5	13.0	17.4	0.0	13.0
	国民健康保険(N=130)	59.2	15.4	53.8	27.7	13.1	26.9	0.0	10.8
	共済組合(N=32)	65.6	21.9	78.1	46.9	9.4	15.6	0.0	15.6
	後期高齢者医療制度(N=29)	58.6	13.8	44.8	13.8	10.3	31.0	0.0	20.7
	その他(N=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	74.1	22.2	92.6	40.7	7.4	14.8	0.0	11.1
	小学生・中学生がいる(N=47)	59.6	25.5	76.6	48.9	8.5	17.0	0.0	6.4
	65歳以上がいる(N=106)	54.7	19.8	57.5	28.3	11.3	29.2	0.9	13.2
	その他の同居家族(N=120)	61.7	20.8	60.8	35.8	14.2	18.3	0.0	12.5
	一人暮らし(N=66)	68.2	15.2	47.0	30.3	12.1	31.8	0.0	12.1
	無回答(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=35)	65.7	8.6	37.1	14.3	8.6	40.0	0.0	8.6
	独居高齢者以外(N=269)	59.1	20.8	61.0	35.3	12.3	23.0	0.4	13.0
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

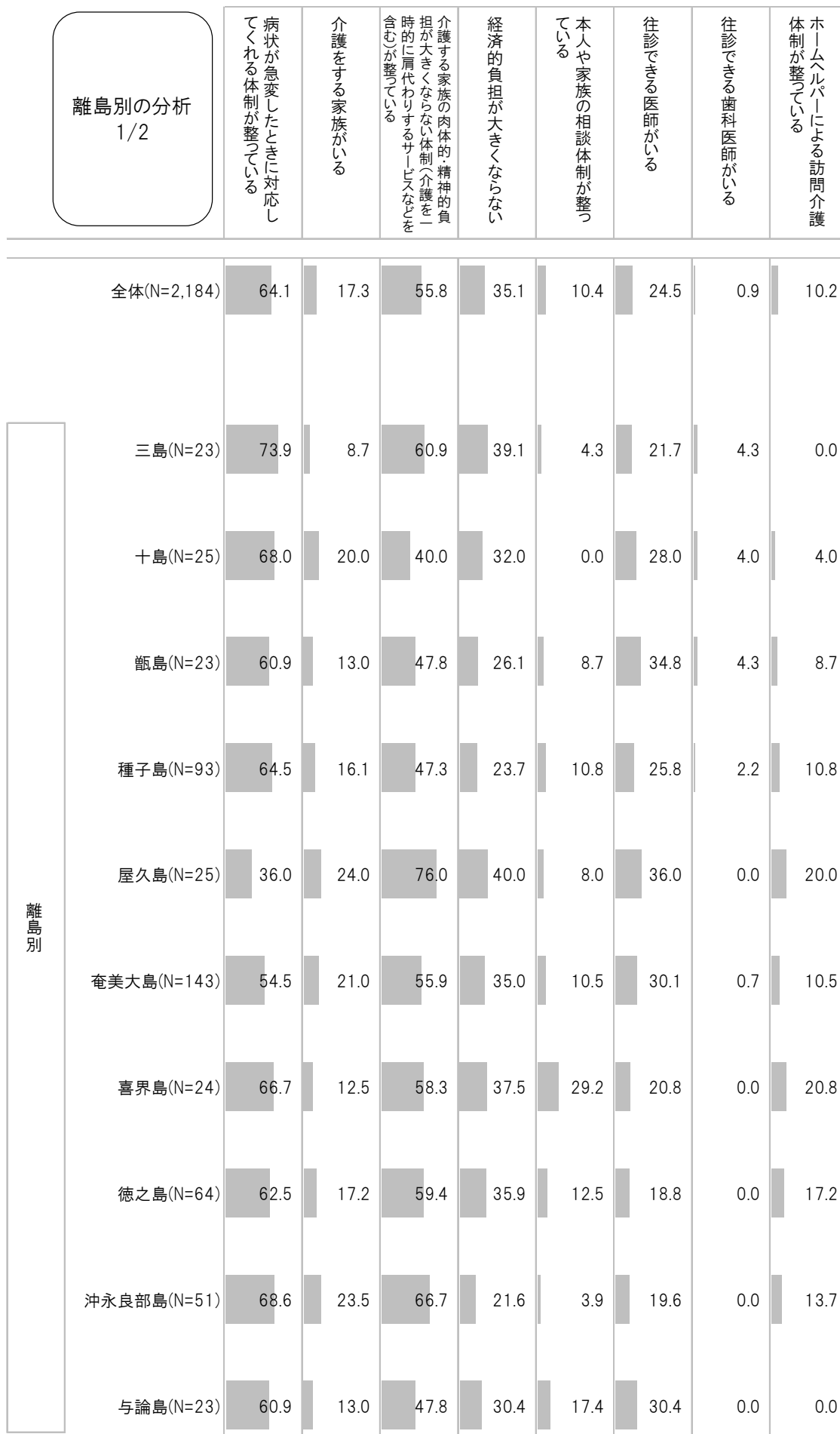
(単位:%)

図表 III-166 奄美保健医療圏 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

奄美 保健医療圏 2/2		看護師等による訪問看護体制 が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支 援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制 が整っている	夜間・休日の医療や介護体制 が整っている	地域ぐるみの支援体制が整って いる	その他	無回答
性別	全体(N=305)	11.1	1.6	1.3	25.2	2.0	1.0	5.9
	男性(N=128)	15.6	0.0	1.6	24.2	3.1	0.0	3.1
	女性(N=171)	8.2	2.3	1.2	26.9	1.2	1.8	7.0
	無回答(N=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢別	20歳代(N=7)	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=30)	10.0	0.0	3.3	10.0	3.3	0.0	0.0
	40歳代(N=41)	9.8	0.0	0.0	22.0	4.9	0.0	0.0
	50歳代(N=46)	10.9	0.0	0.0	23.9	2.2	2.2	6.5
	60～64歳(N=34)	2.9	2.9	2.9	29.4	2.9	0.0	2.9
	65～69歳(N=41)	17.1	2.4	0.0	36.6	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(N=45)	15.6	2.2	0.0	33.3	2.2	0.0	6.7
	75歳以上(N=56)	12.5	1.8	1.8	23.2	0.0	3.6	17.9
無回答(N=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	8.6	1.2	1.2	22.2	2.5	1.2	3.7
	社会保険(家族)(N=23)	8.7	0.0	8.7	17.4	0.0	0.0	4.3
	国民健康保険(N=130)	13.8	0.8	0.0	28.5	2.3	0.8	6.9
	共済組合(N=32)	6.3	0.0	0.0	28.1	0.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=29)	17.2	6.9	3.4	31.0	0.0	3.4	10.3
	その他(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	7.4	0.0	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=47)	10.6	0.0	2.1	21.3	8.5	2.1	2.1
	65歳以上がいる(N=106)	10.4	0.9	0.0	25.5	0.9	0.9	8.5
	その他の同居家族(N=120)	11.7	1.7	1.7	29.2	2.5	0.8	3.3
	一人暮らし(N=66)	10.6	1.5	1.5	25.8	0.0	0.0	9.1
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
高齢者別	独居高齢者(N=35)	8.6	2.9	2.9	31.4	0.0	0.0	17.1
	独居高齢者以外(N=269)	11.5	1.1	1.1	24.5	2.2	1.1	4.5
	無回答(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-167 離島別の分析 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】 1/2



(単位:%)

図表 III-168 離島別の分析 自宅での医療や介護受入れのために特に必要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

離島別	全体(N=2,184)	11.9	0.6	1.4	24.9	5.4	1.0	4.9
	三島(N=23)	21.7	0.0	0.0	21.7	4.3	4.3	8.7
	十島(N=25)	16.0	0.0	0.0	20.0	12.0	4.0	4.0
	甌島(N=23)	8.7	0.0	4.3	30.4	4.3	4.3	8.7
	種子島(N=93)	17.2	1.1	2.2	29.0	5.4	1.1	6.5
	屋久島(N=25)	12.0	0.0	0.0	20.0	8.0	0.0	4.0
	奄美大島(N=143)	8.4	2.8	1.4	25.9	1.4	0.0	7.7
	喜界島(N=24)	16.7	0.0	0.0	29.2	0.0	0.0	0.0
	徳之島(N=64)	14.1	0.0	1.6	25.0	3.1	3.1	1.6
	沖永良部島(N=51)	13.7	2.0	0.0	15.7	3.9	2.0	7.8
	与論島(N=23)	8.7	0.0	4.3	39.1	0.0	0.0	8.7

(単位:%)

(2) 入院以外の医療や介護を受けたい場所

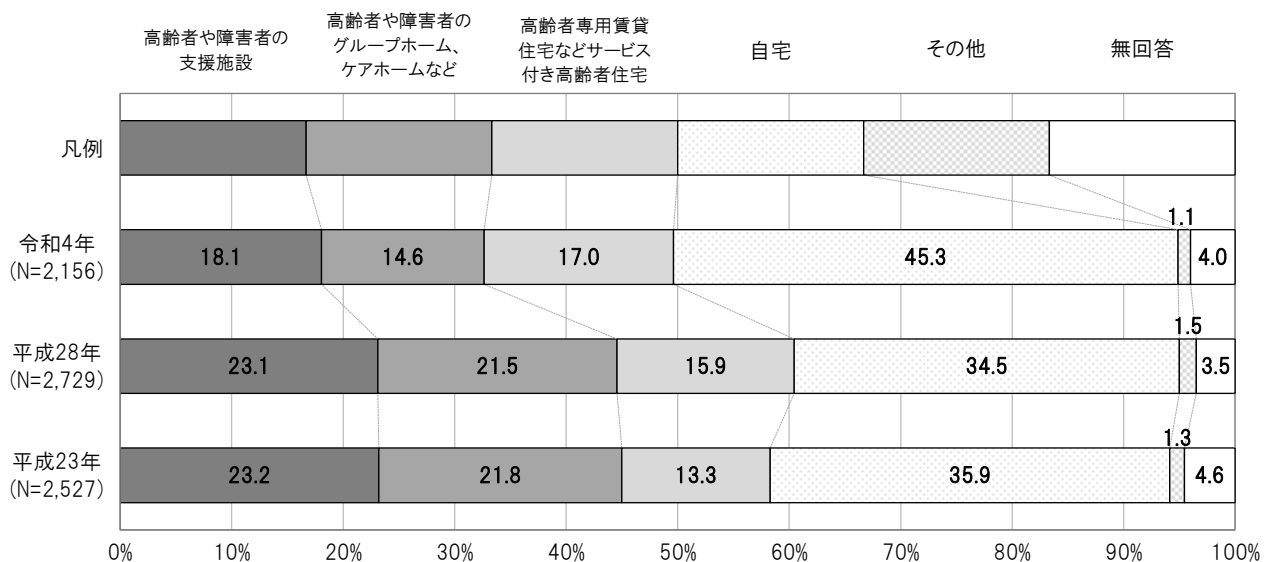
問 14-2 あなたが、入院以外の医療や介護を受けたい場所はどこですか。(〇は1つ)

ア. 全体の分析

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(45.3%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設」(18.1%)、「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(17.0%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「高齢者や障害者の支援施設」と「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」は5ポイント以上減少しているが、「自宅」は10.8ポイント増加している。

図表 III-169 入院以外の医療や介護を受けたい場所【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、すべての保健医療圏で「自宅」が最も高く、「始良・伊佐保健医療圏」と「奄美保健医療圏」で約5割となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(48.4%)が女性より5.4ポイント高くなっている。

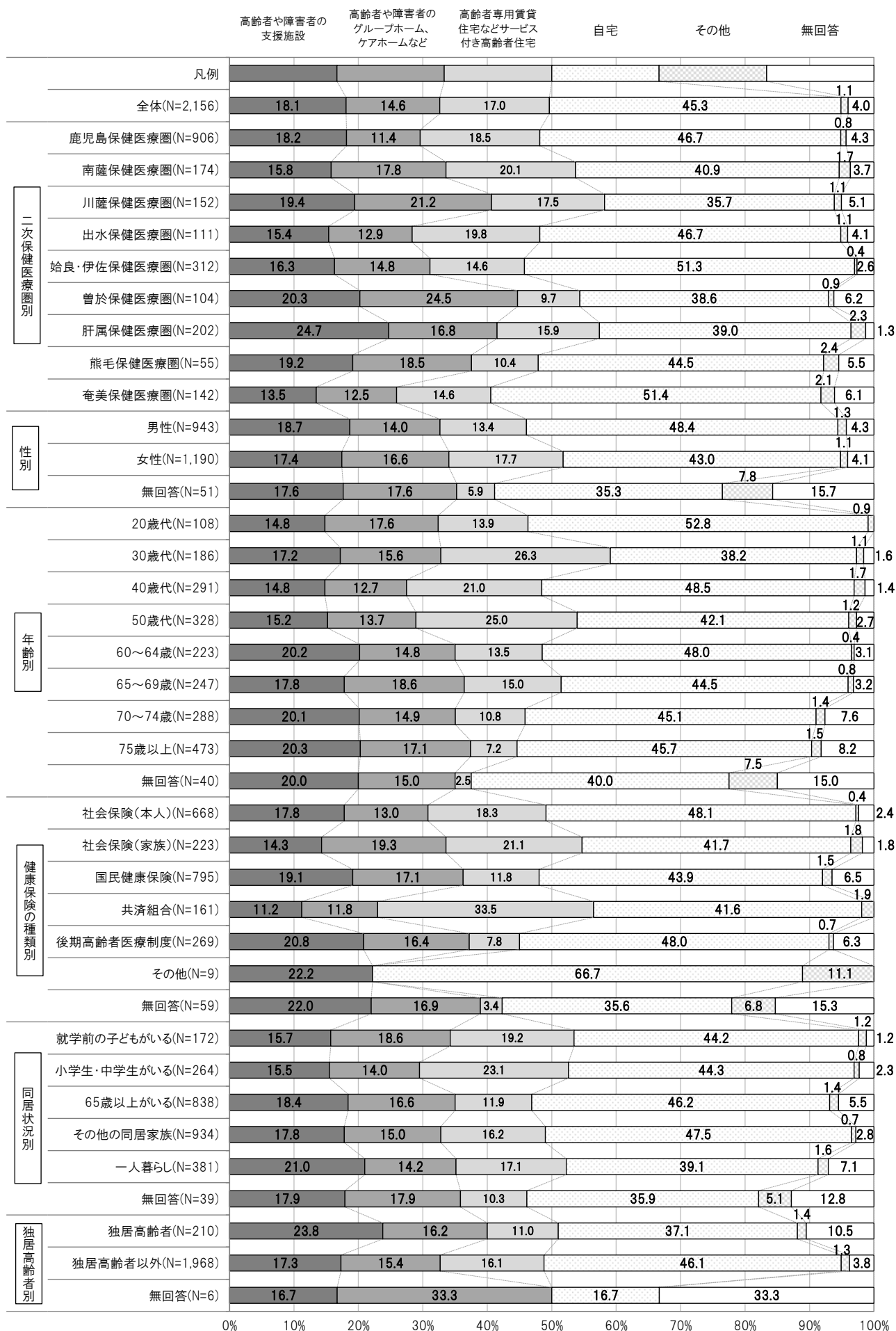
年齢別にみると、「自宅」は20歳代では5割を超えている。30歳代では、「自宅」は4割を下回っており、「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(26.3%)が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「後期高齢者医療制度」では「自宅」が5割弱となっている。また、「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」が3割を超えている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「自宅」(39.1%)が他の同居状況より低くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(37.1%)が最も高く、一方、「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」は約1割となっている。

図表 III-170 入院以外の医療や介護を受けたい場所【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 257・図表 III-171)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(47.4%)が最も高く、次いで「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(18.0%)「高齢者や障害者の支援施設」(17.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(50.0%)が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「自宅」は40歳代では5割を超えており、30歳代では4割を下回っている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(31.3%)、「後期高齢者医療制度」では「高齢者や障害者の支援施設」(26.2%)が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「自宅」(39.7%)は他の同居状況より低く、「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(23.8%)は他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(37.0%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設」(22.2%)となっている。

南薩保健医療圏 (P. 258・図表 III-172)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(41.0%)が最も高く、次いで「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(19.7%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(17.4%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「自宅」が4割を超えており、女性は「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(22.2%)が男性より高くなっている。

年齢別にみると、50歳代では「自宅」が5割を超えている。一方、40歳代では2割となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「自宅」が7割を超え、他の健康保険より26ポイント以上高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(33.3%)と「自宅」(33.3%)が同数で最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(28.6%)が最も高くなっているが、「独居高齢者以外」より14.1ポイント低くなっている。「高齢者や障害者の支援施設」は「独居高齢者」が2割を超え、「独居高齢者以外」より8.5ポイント高くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 259・図表 III-173)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(34.9%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設」(21.1%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(19.7%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設」(31.0%)が女性より15.8ポイント高くなっている。

「自宅」(36.2%)が女性より12.8ポイント高く、女性は「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(20.7%)が男性より8.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70～74歳では「自宅」(61.1%)が最も高くなっている。一方、75歳以上では「高齢者や障害者の支援施設」(33.3%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(66.7%)、「後期高齢者医療制度」では「高齢者や障害者の支援施設」(30.4%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(27.6%)が最も高くなっている。それ以外の同居状況では「自宅」が最も高くなっており「就学前の子どもがいる」では7割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設」(27.8%)と「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(27.8%)が同数で最も高くなっている。

出水保健医療圏 (P. 260・図表 III-174)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(46.7%)が最も高く、次いで「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(19.7%)、「高齢者や障害者の支援施設」(15.6%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(50.0%)が女性より6.3ポイント高く、女性は「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(22.5%)が男性より6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自宅」は40～50歳代と75歳以上では5割を超え、特に75歳以上では約6割となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(66.7%)が最も高くなっている。「後期高齢者医療制度」では「自宅」(66.7%)が最も高くなっている。

居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」が最も高く、5割を超えている。「一人暮らし」では「自宅」が6割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」と「独居高齢者以外」とともに「自宅」が最も高く、約5割となっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P.261・図表 III-175)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(50.7%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設」(16.9%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(15.5%)の順となっている。

年齢別にみると、「自宅」は75歳以上で6割を超えている。30歳代では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(34.6%)と「自宅」(34.6%)が同数で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「自宅」(65.9%)が他の健康保険より7ポイント以上高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(24.0%)が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(52.0%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設」(20.0%)となっている。また、「独居高齢者」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」は0%となっている。

曾於保健医療圏 (P.262・図表 III-176)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(39.8%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(23.9%)、「高齢者や障害者の支援施設」(19.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(46.7%)が女性より12.4ポイント高くなっている。女性は「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(28.4%)が男性より10.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代では「高齢者や障害者の支援施設」(41.2%)、70～74歳では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(33.3%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「自宅」が5割を超えている。「後期高齢者医療制度」では「高齢者や障害者の支援施設」(30.8%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「自宅」が3割を下回っている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(27.3%)が最も高くなっているが、「独居高齢者以外」より13.9ポイント低くなっている。

肝属保健医療圏 (P.263・図表 III-177)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(42.3%)が最も高く、次いで「高

「高齢者や障害者の支援施設」(23.4%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(17.6%)の順となっている。

性別にみると、女性は「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(17.4%)が男性より8.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「高齢者や障害者の支援施設」(37.5%)、50歳代では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(30.3%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「自宅」が5割を超えている。また、「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(36.8%)、「後期高齢者医療制度」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(41.2%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「自宅」が約3割となっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(36.0%)、「独居高齢者以外」では「自宅」(43.9%)が最も高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 264・図表 III-178)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(44.1%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(20.3%)、「高齢者や障害者の支援施設」(16.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(51.0%)が女性より13.5ポイント高く、女性は「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(25.0%)が男性より9.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代と70~74歳では「自宅」が5割を超えている。また、20歳代と60~64歳では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」と「自宅」が同数で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では「自宅」が約5割となっている。「社会保険(家族)」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(36.4%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(30.0%)と「自宅」(30.0%)が同数で最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設」(40.0%)と「自宅」(40.0%)が同数で最も高くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 265・図表 III-179)

入院以外の医療や介護を受けたい場所について、全体では「自宅」(46.9%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど」(15.4%)、「高齢者や障害者の支援施設」(15.1%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(51.6%)が女性より7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「自宅」が6割を超えている。20歳代では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅」(42.9%)と「自宅」(42.9%)が同数で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「自宅」が6割を超えている。

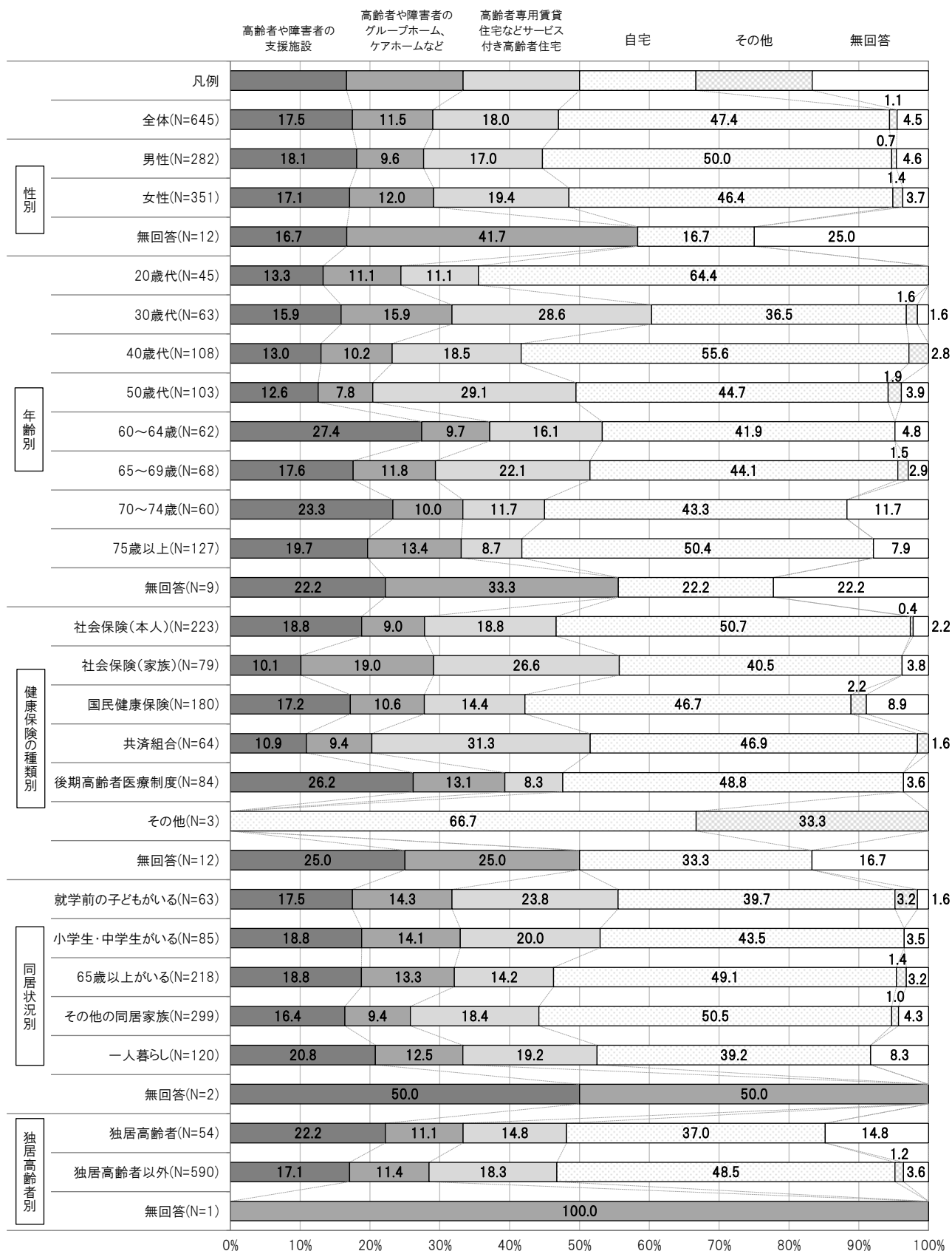
同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホーム」(29.6%)と「自宅」(29.6%)が同数で最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設」(20.0%)が「独居高齢者以外」より5.5ポイント高くなっている。

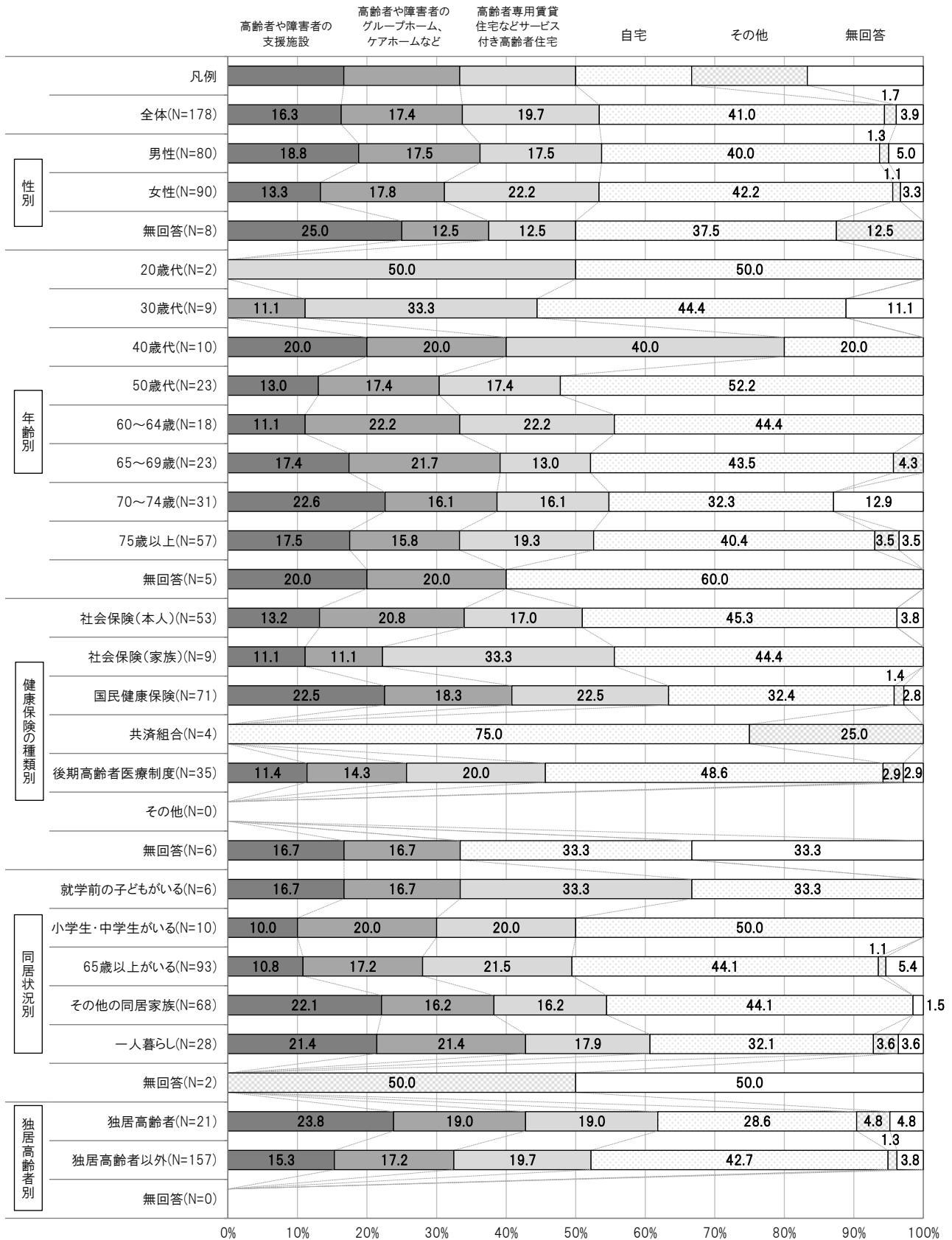
離島別の分析 (P.266・図表 III-180)

離島別にみると、「与論島」では「高齢者や障害者の支援施設」(30.4%)が最も高く、その他の離島では「自宅」が最も高くなっている。特に「十島」と「徳之島」では5割を超えている。

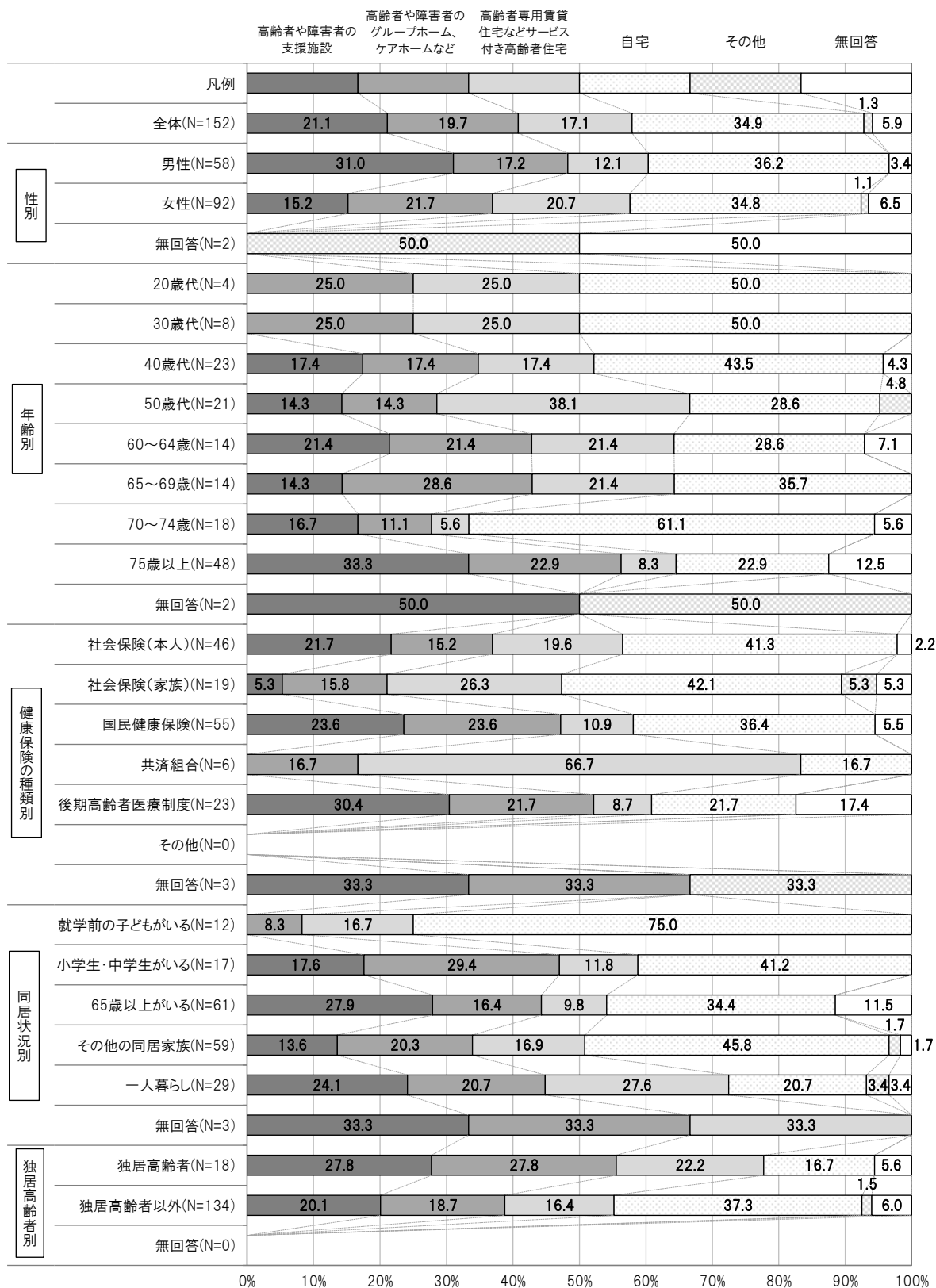
図表 III-171 鹿児島保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



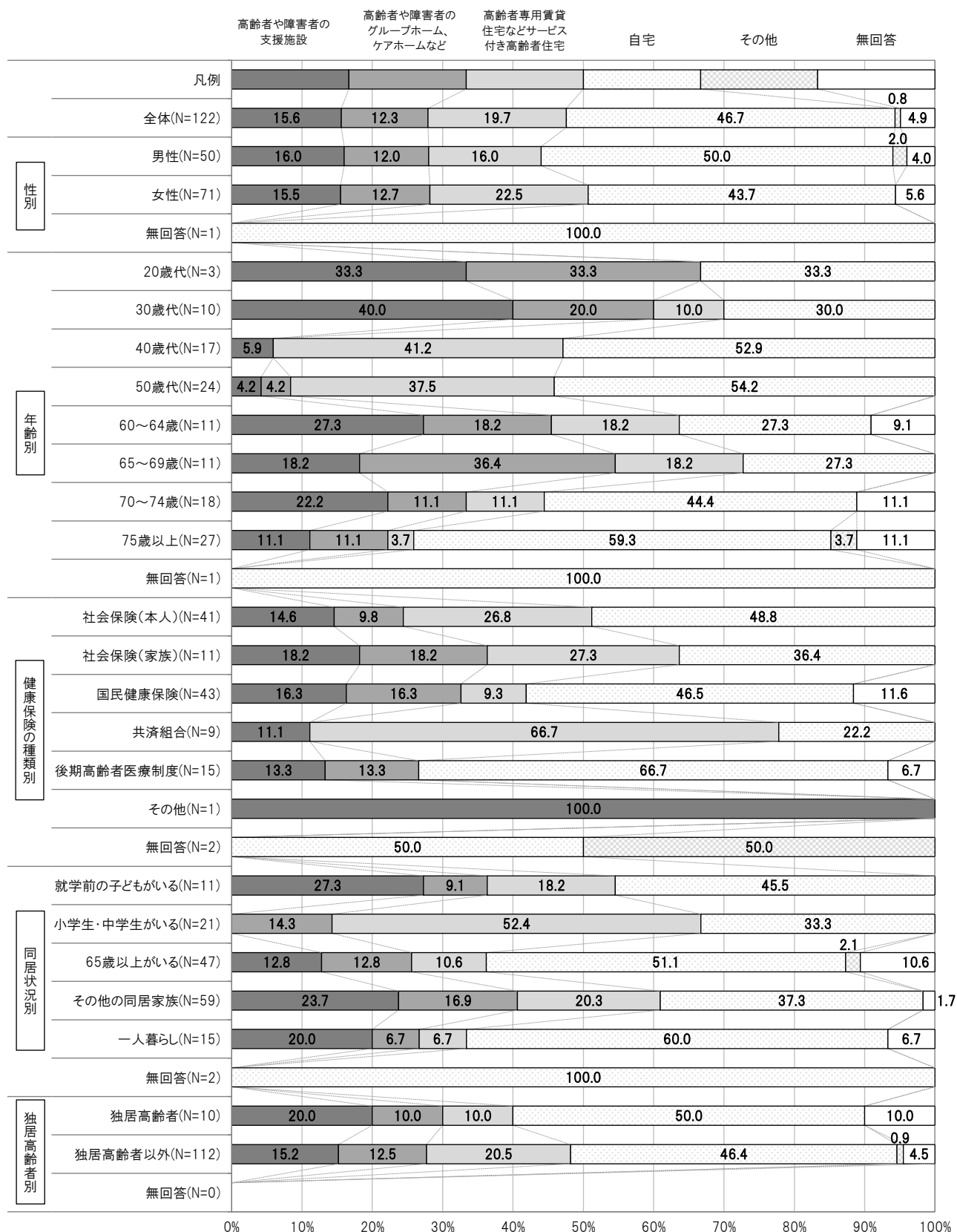
図表 III-172 南薩保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



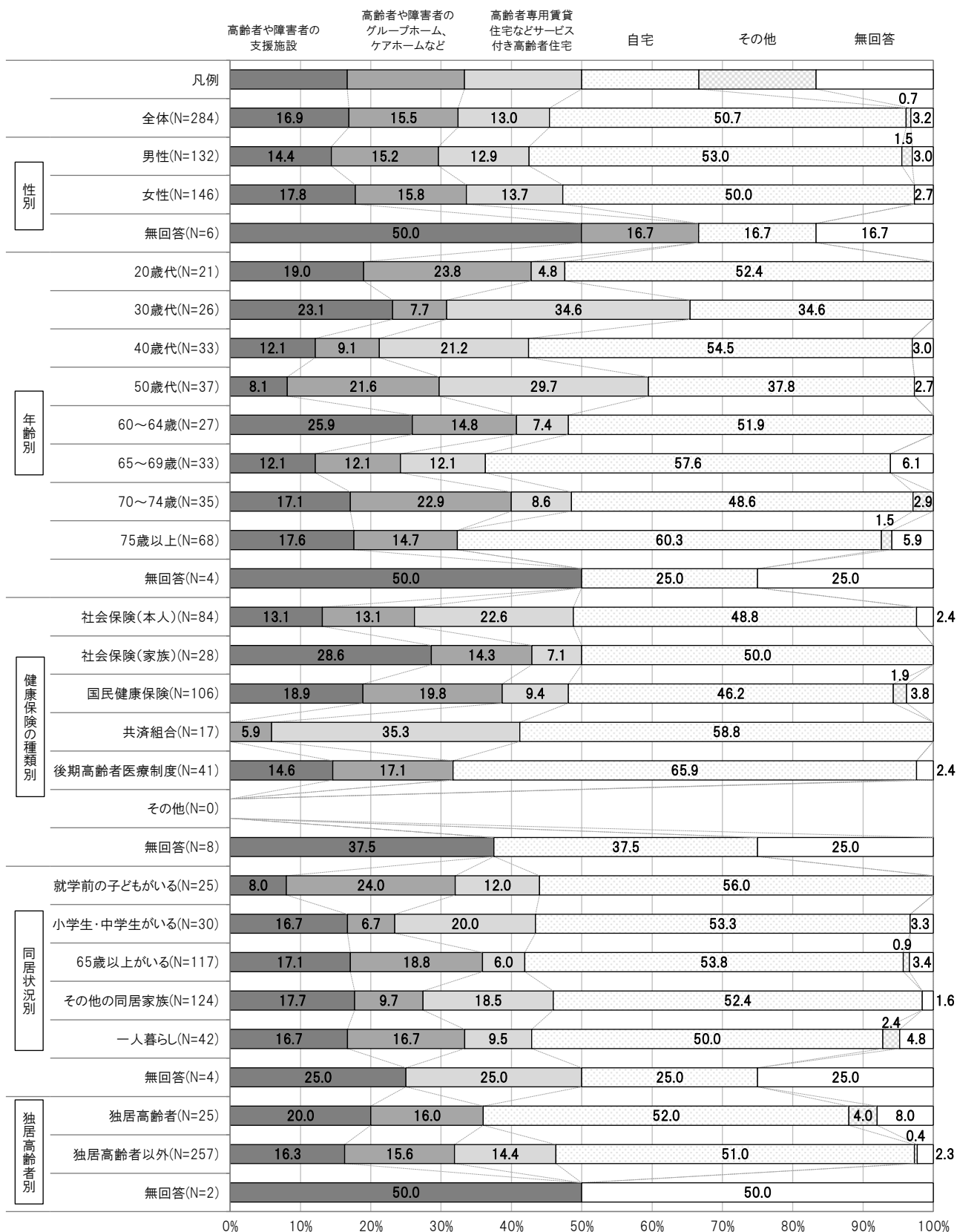
図表 III-173 川薩保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



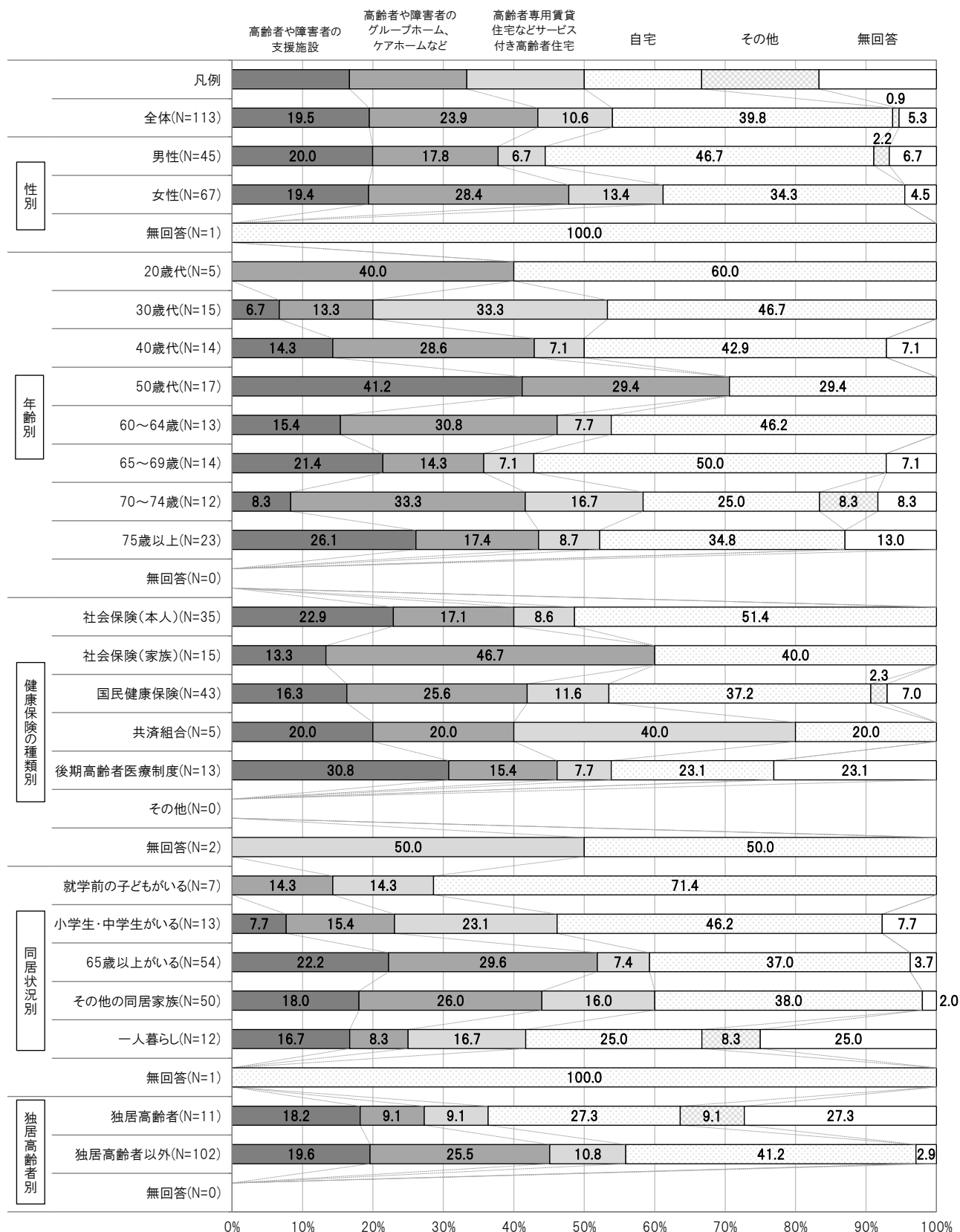
図表 III-174 出水保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



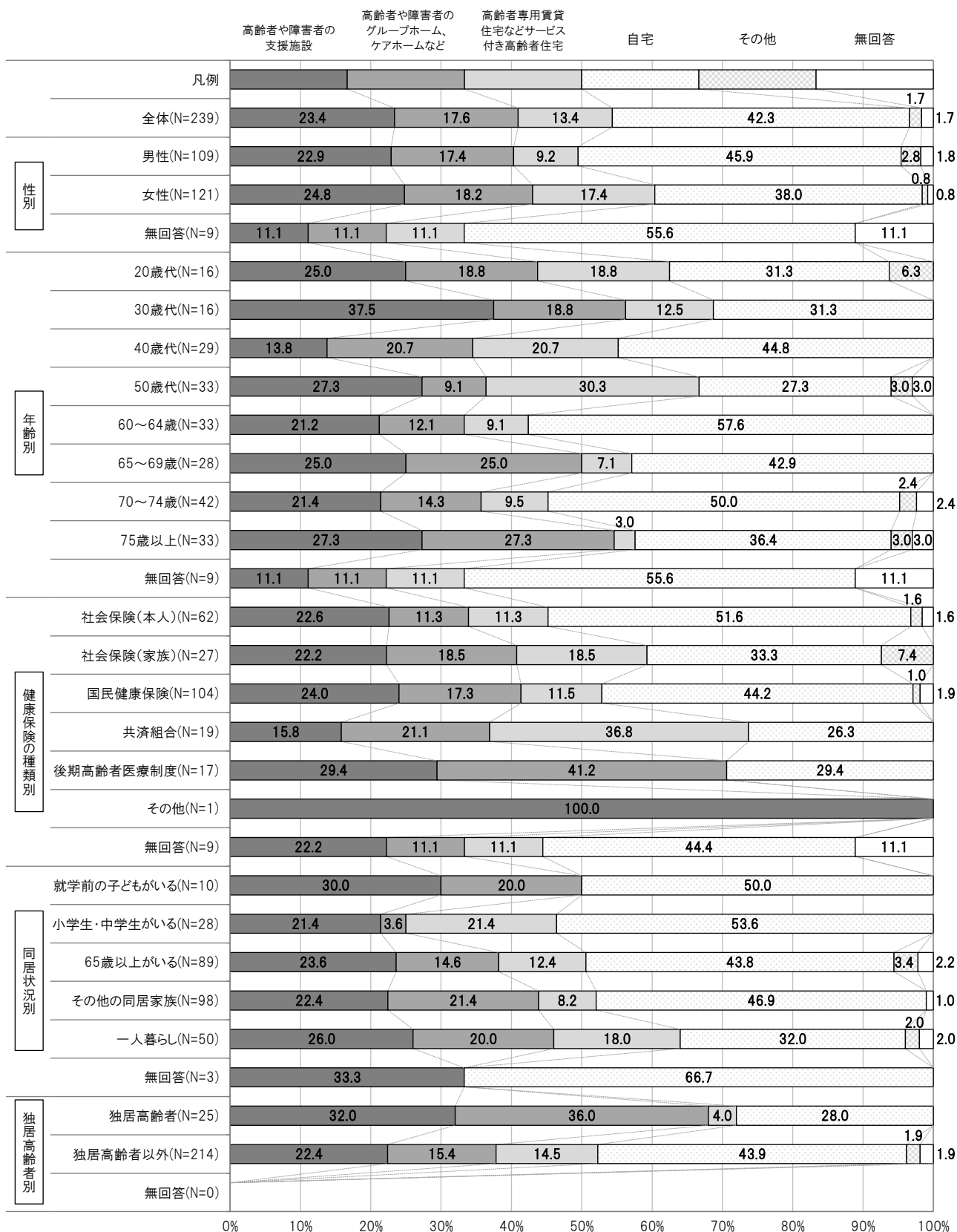
図表 III-175 始良・伊佐保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



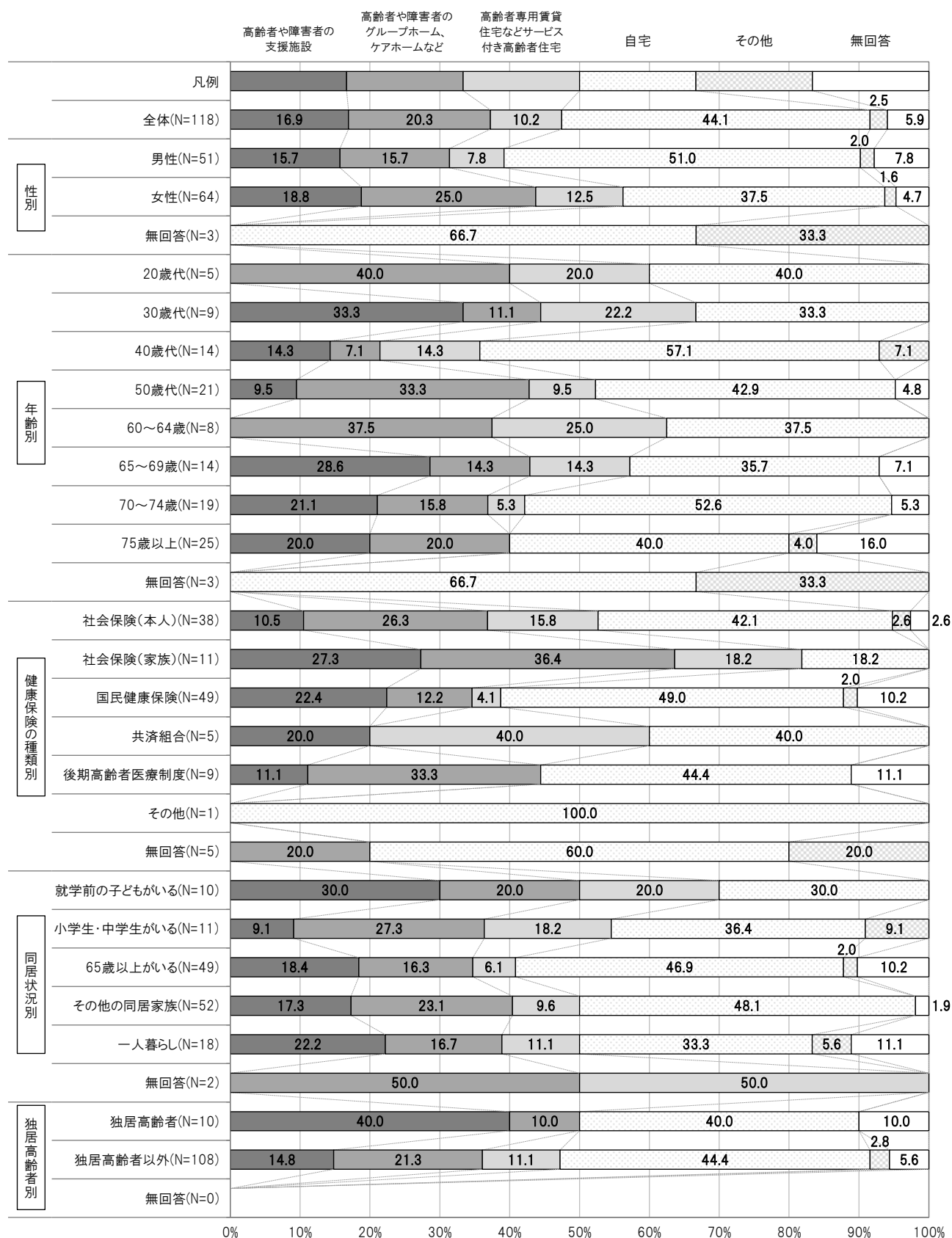
図表 III-176 曾於保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



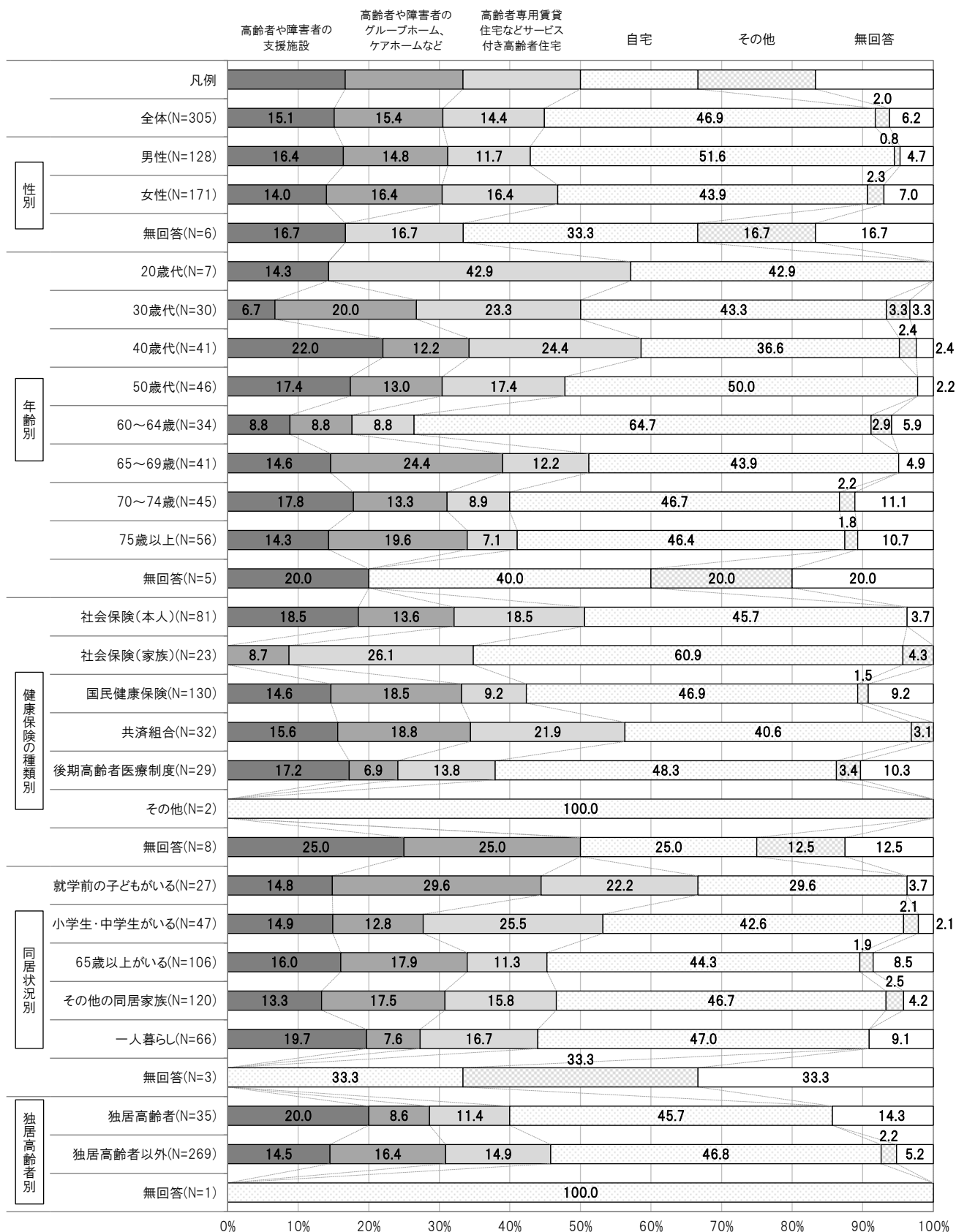
図表 III-177 肝属保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



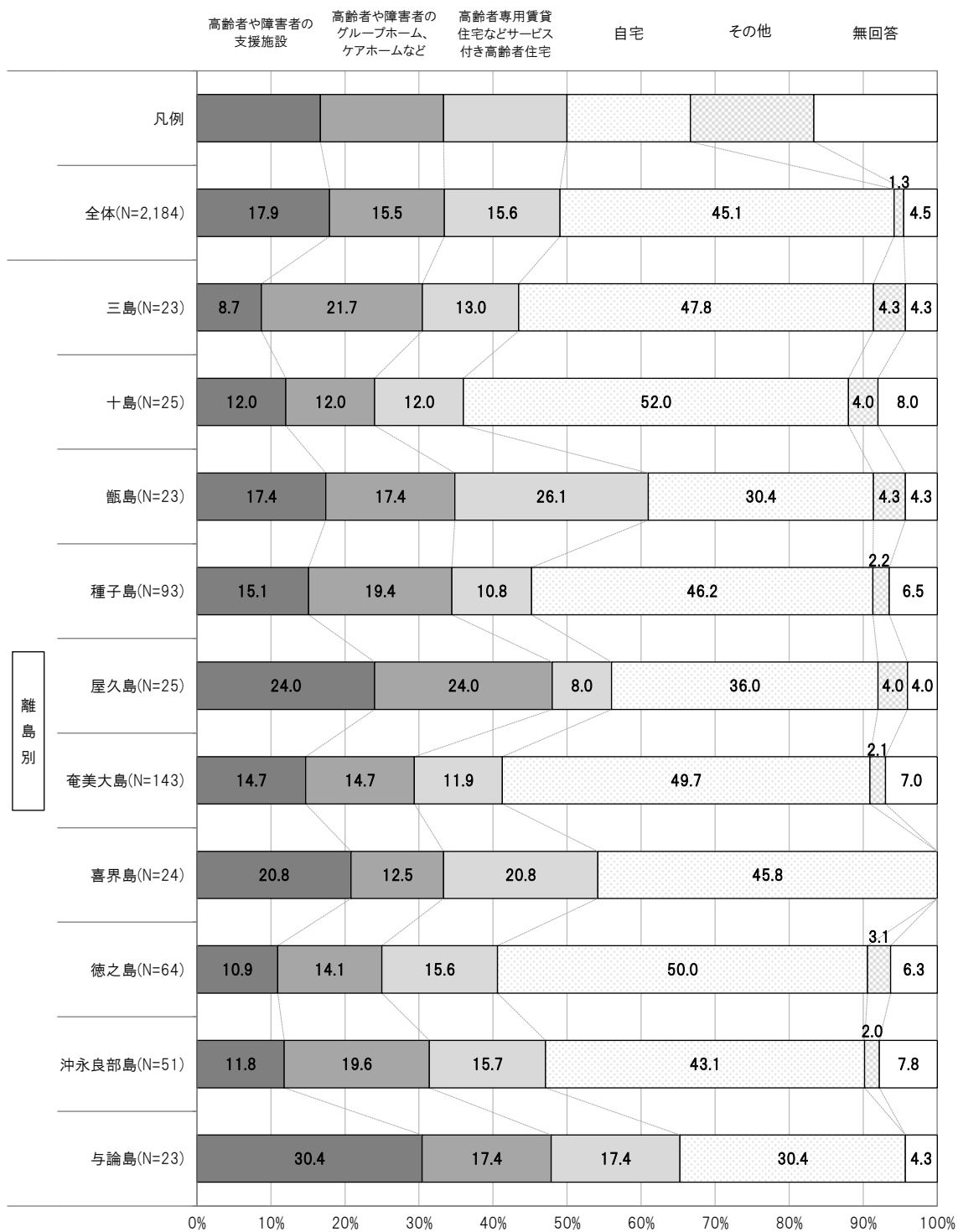
図表 III-178 熊毛保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



図表 III-179 奄美保健医療圏 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



図表 III-180 離島別の分析 入院以外の医療や介護を受けたい場所【加重集計前・属性別】



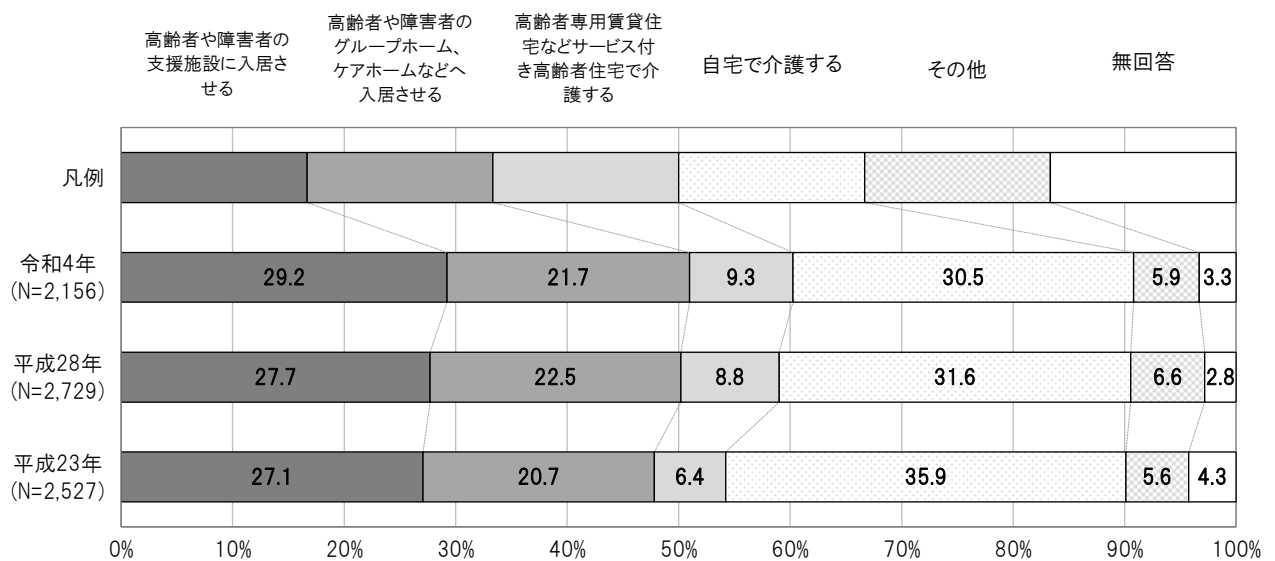
(3) 家族の介護が必要となったときの対応

問 14-3 あなたは、ご家族の介護が必要となったとき、実際にはどうされると思いますか。(〇は1つ)

ア. 全体の分析

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(30.5%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(29.2%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(21.7%)の順となっている。

図表 III-181 家族の介護が必要となったときの対応【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「鹿児島保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「始良・伊佐保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「自宅で介護する」が最も高く、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「曾於保健医療圏」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(33.8%)が女性より7.8ポイント高くなっている。

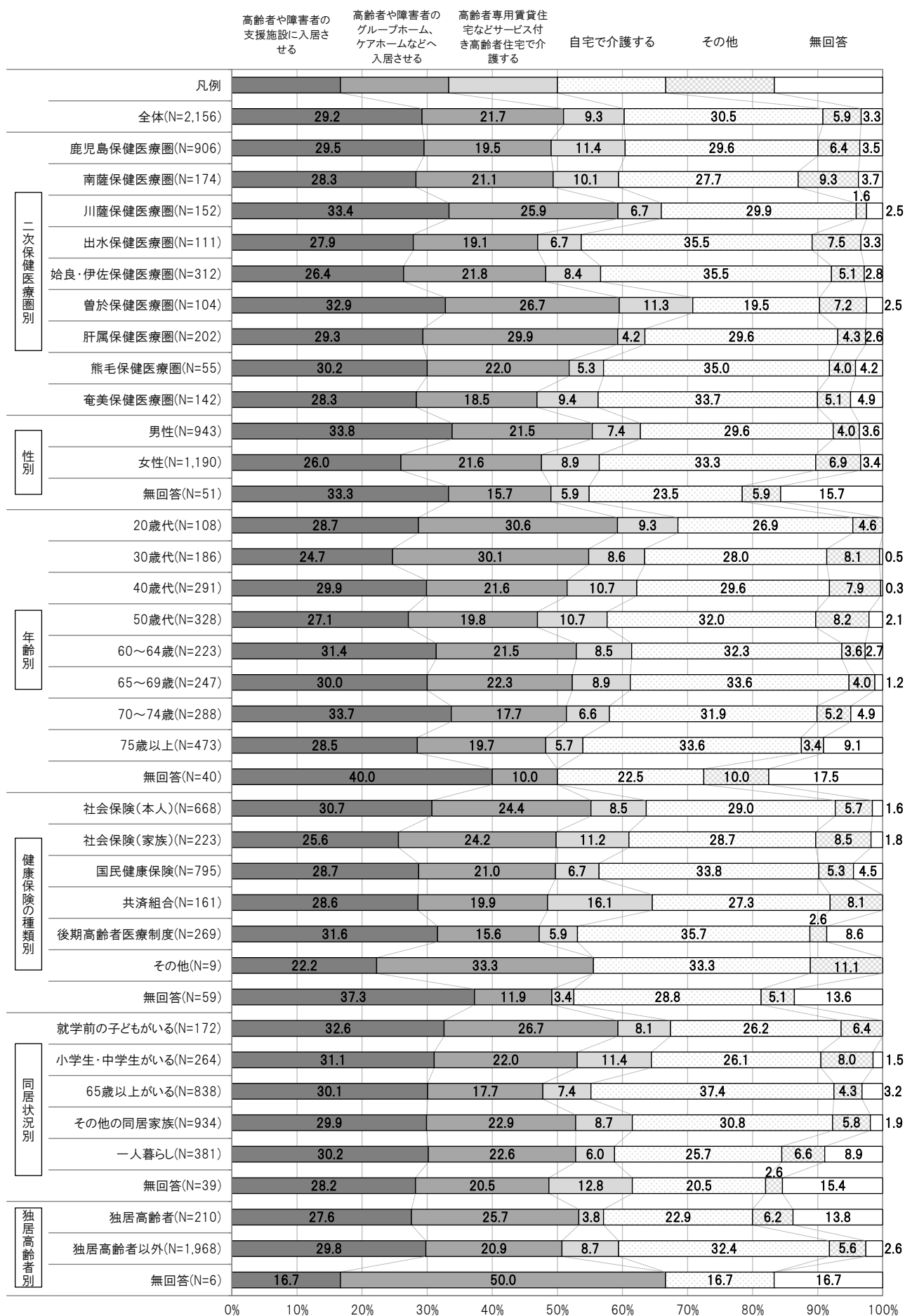
年齢別にみると、20～30歳代では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」、40歳代と70～74歳では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」、それ以外の年代では「自宅で介護する」が最も高く、いずれも約3割となっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「自宅で介護する」が35.7%となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では「自宅で介護する」が最も高くなっている。「小学生・中学生がいる」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅で介護する」が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(25.7%)が「独居高齢者以外」と比較して4.8ポイント高くなっている。

図表 III-182 家族の介護が必要となったときの対応【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 275・図表 III-183)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(30.7%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(29.9%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(19.2%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(36.5%)が女性より12.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65～69歳では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高く、4割弱となっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では「自宅で介護する」が最も高く、4割弱となっている。それ以外の健康保険では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「一人暮らし」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(31.5%)が最も高くなっている。また「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどに入居させる」(31.5%)が「独居高齢者以外」より13.5ポイント高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 276・図表 III-184)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(28.7%)が最も高く、次いで「自宅で介護する」(27.5%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(20.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(31.3%)、女性は「自宅で介護する」(30.0%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、20歳代と40歳代では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が5割を超え最も高く、他の年代より21ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「自宅で介護する」が5割となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「自宅で介護する」、「一人暮らし」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」、それ以外の同居状況では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(33.3%)が最も高く、「独居高齢者以外」より14.2ポイント高くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 277・図表 III-185)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(33.6%)が最も高く、次いで「自宅で介護する」(28.3%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(24.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(50.0%)が女性より26.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自宅で介護する」は20歳代と65～69歳で4割を超えて、最も高くなっている。70～74歳では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(77.8%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」と「後期高齢者医療制度」では「自宅で介護する」が最も高く、「社会保険(家族)」は5割を超えている。「共済組合」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅で介護する」が5割となっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が4割を超え、「小学生・中学生がいる」では「自宅で介護する」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(38.9%)が最も高く、「独居高齢者以外」より16.5ポイント高くなっている。

出水保健医療圏 (P. 278・図表 III-186)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(36.9%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(27.0%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(18.0%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「自宅で介護する」が最も高く、女性が男性より4.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」、50歳代では「自宅で介護する」が最も高く、5割となっている。また、高齢になるほど「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」は高くなる傾向がみられ、70～74歳では4割を超えている。

健康保険の種類別にみると、すべての健康保険で「自宅で介護する」が最も高く、「後期高齢者医療制度」では4割となっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では「自宅で介護する」(48.9%)が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(30.0%)と「自宅で介護する」(30.0%)が同数で最も高くなっている。また、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が「独居高齢者以外」より3.2ポイント高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 279・図表 III-187)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(34.9%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(27.5%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(21.5%)の順となっている。

年齢別にみると、65～69歳では「自宅で介護する」(54.5%)が最も高く、他の年代より16ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(29.4%)が最も高くなっている。「後期高齢者医療制度」では「自宅で介護する」が最も高く4割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「一人暮らし」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」、「65歳以上がいる」、「その他の同居状況」では「自宅で介護する」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(32.0%)、「独居高齢者以外」では「自宅で介護する」(37.0%)が最も高くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 280・図表 III-188)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(31.0%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(26.5%)「自宅で介護する」(21.2%)、の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(37.8%)が女性より10.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」、50歳代では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が5割を超え、他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」、「共済組合」、「後期高齢者医療制度」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が4割を超えており、特に「後期高齢者医療制度」では5割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅で介護する」(28.6%)は他の同居状況より13ポイント以上高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(9.1%)は「独居高齢者以外」より19.3ポイント低くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 281・図表 III-189)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(31.4%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(30.1%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケ

アホームなどへ入居させる」(26.4%)、の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(30.3%)、女性は「自宅で介護する」(34.7%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、20～30歳代では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」が5割を超えており、他の年代より19ポイント以上高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(42.1%)、「後期高齢者医療制度」では「自宅で介護する」(41.2%)が最も高く、他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「自宅で介護する」、「小学生・中学生がいる」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(36.0%)が最も高く、「独居高齢者以外」より10.8ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 282・図表 III-190)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(35.6%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(28.8%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(22.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(29.4%)が女性より10.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代と65～69歳では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が最も高くなっている。また、20歳代と60～64歳では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」が最も高く、6割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」と「後期高齢者医療制度」は「自宅で介護する」が最も高く、4割を超えている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(44.4%)が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(70.0%)、「独居高齢者以外」と比較して45ポイント高くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 283・図表 III-191)

家族の介護が必要となったときの対応について、全体では「自宅で介護する」(34.8%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(29.5%)、「高齢者や障害者のグループホーム、ケ

ケアホームなどへ入居させる」(20.0%)の順となっている。

性別にみると、男性は「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(35.2%)が女性より9.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40～74歳では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が3割を超えている。50歳代では「自宅で介護する」が4割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」が3割、「社会保険(家族)」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」が3割、「後期高齢者医療制度」では「自宅で介護する」が4割を超えている。

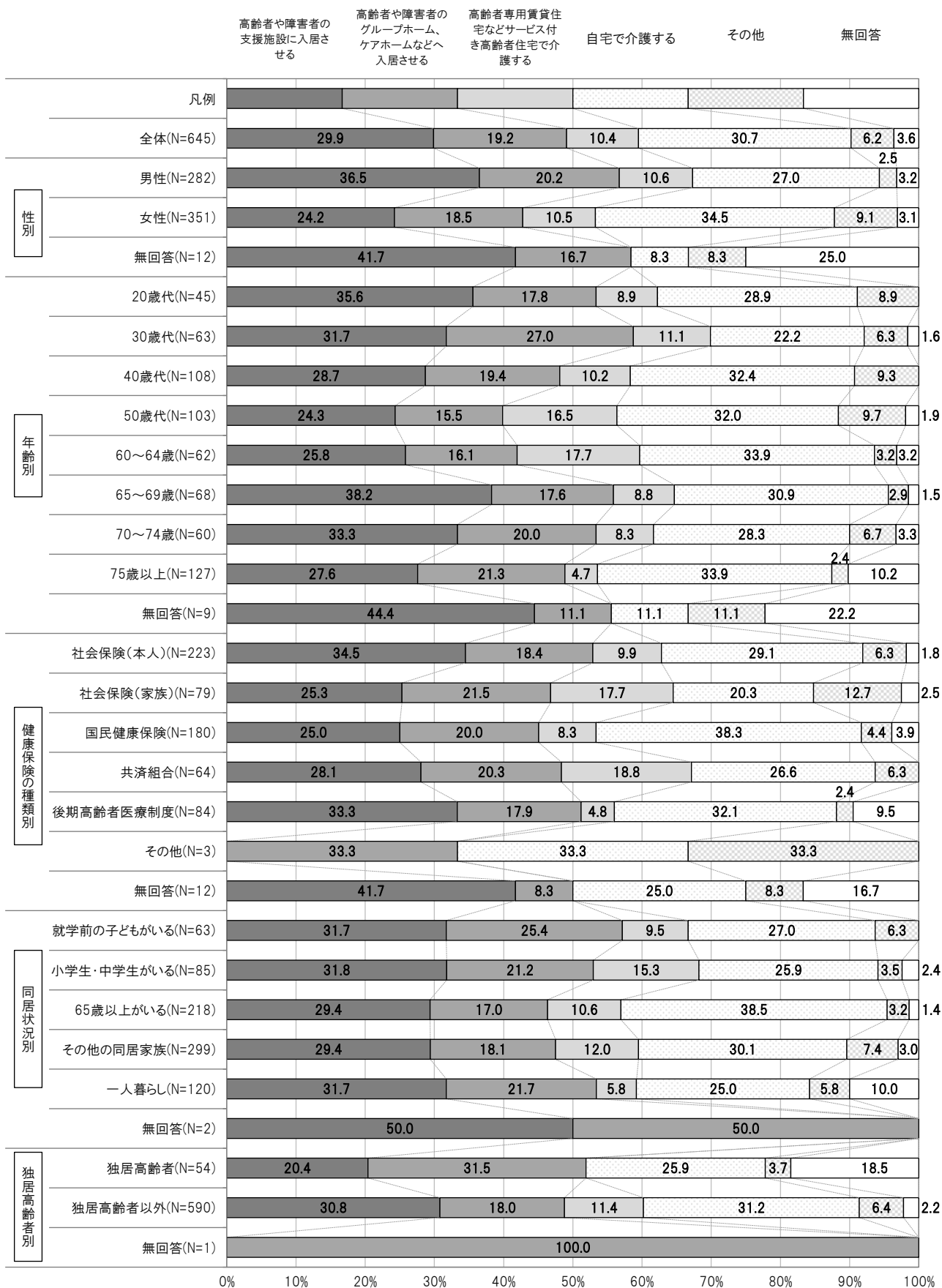
同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる」(37.0%)が最も高くなっている。「一人暮らし」では「高齢者や障害者の支援施設に入居させる」(33.3%)、「自宅で介護する」(33.3%)が同数で最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は「自宅で介護する」(25.7%)が「独居高齢者以外」と比較して10ポイント低くなっている。

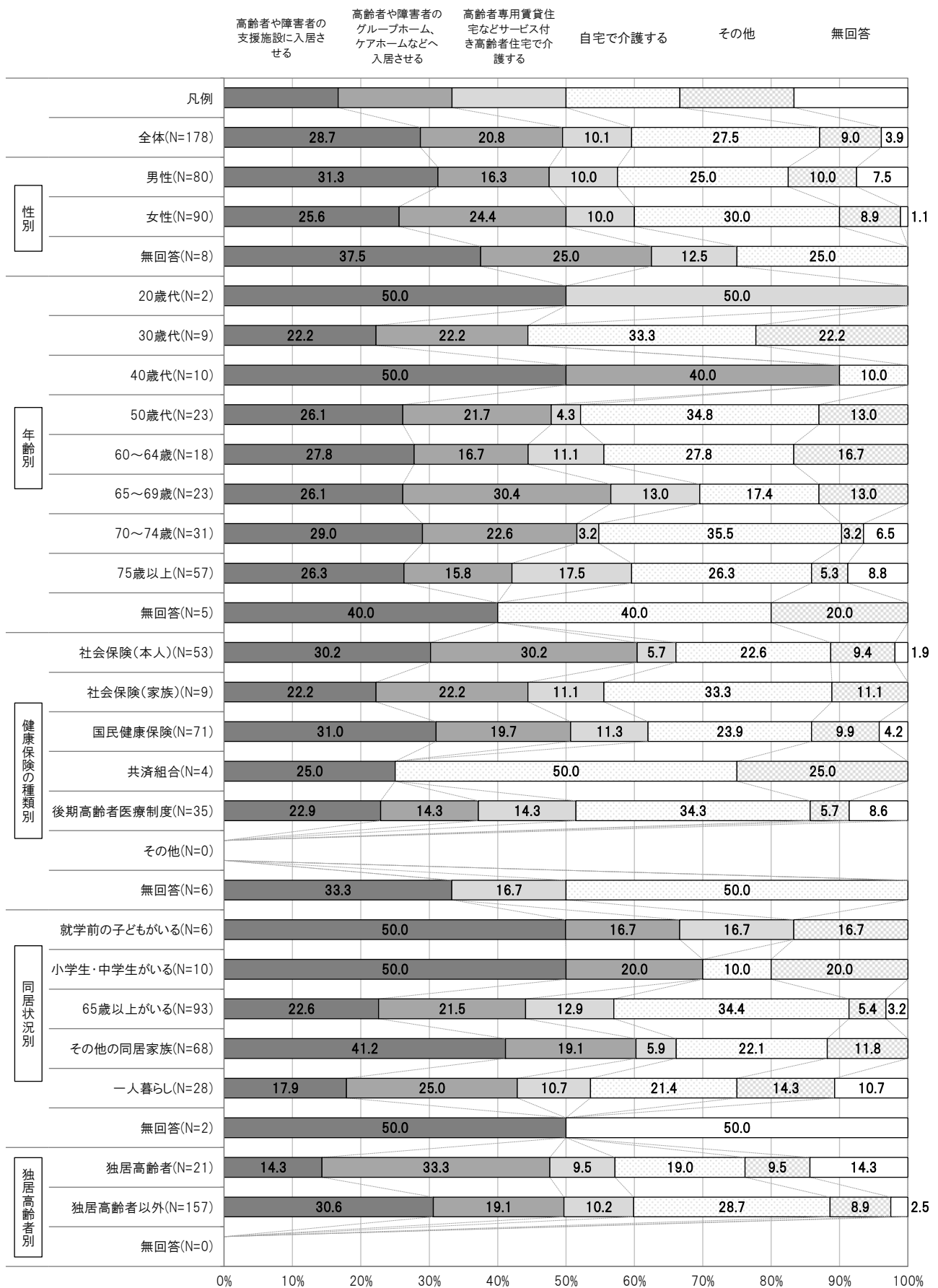
離島別の分析 (P. 284 図表 III-192)

離島別にみると、「十島」と「徳之島」では「自宅で介護する」が4割を超えている。

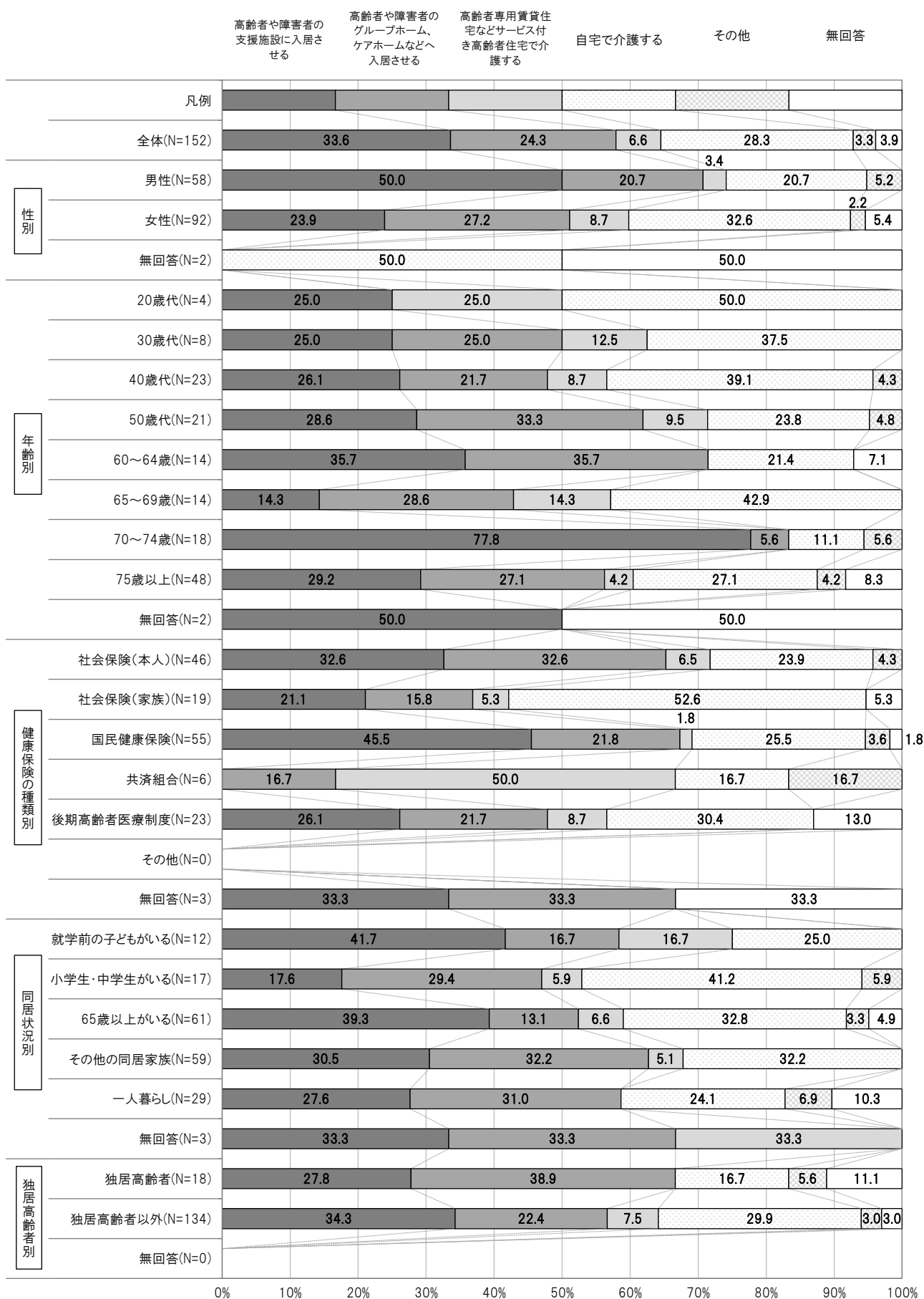
図表 III-183 鹿児島保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



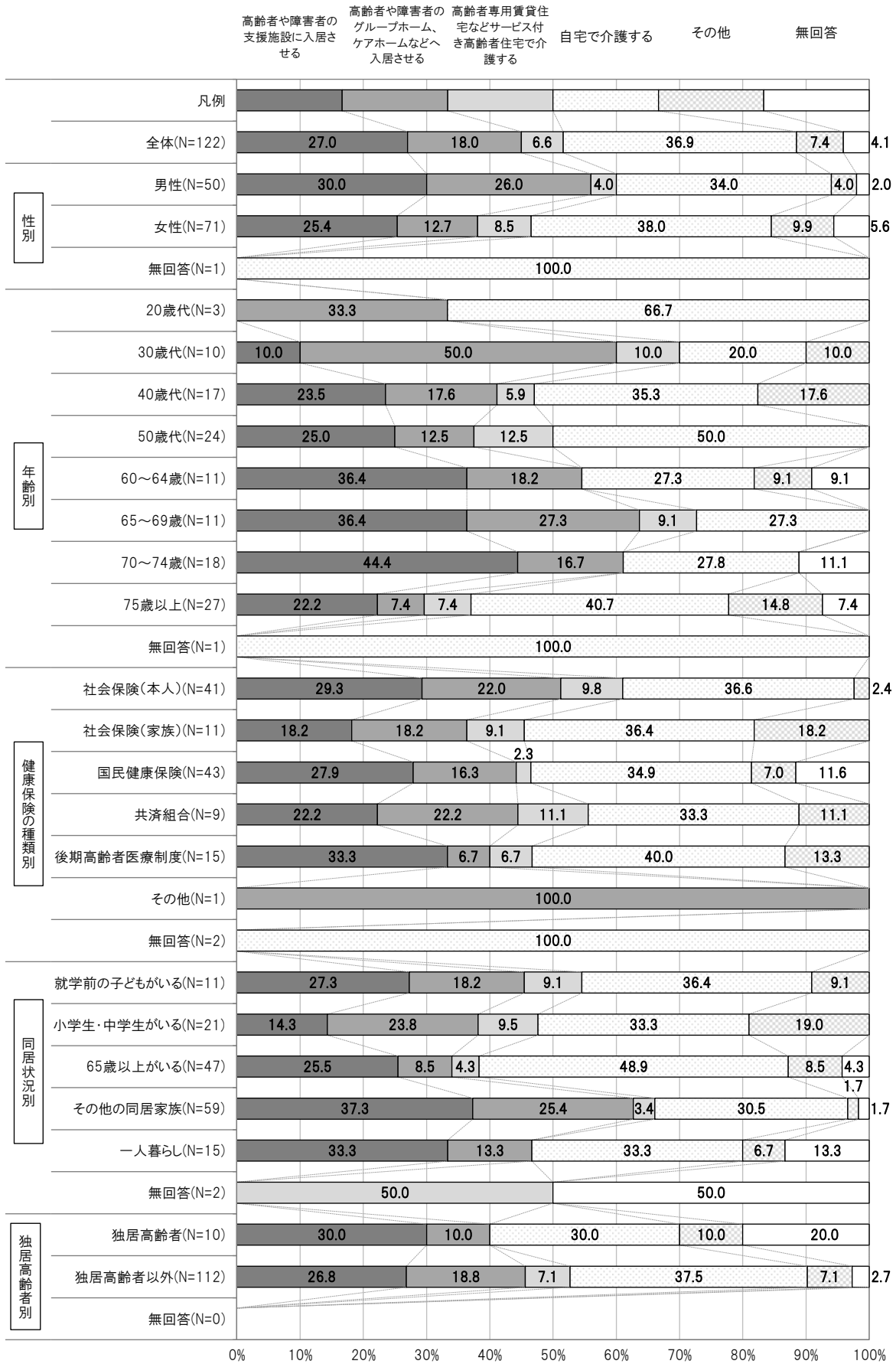
図表 III-184 南薩保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【【加重集計前・属性別】】



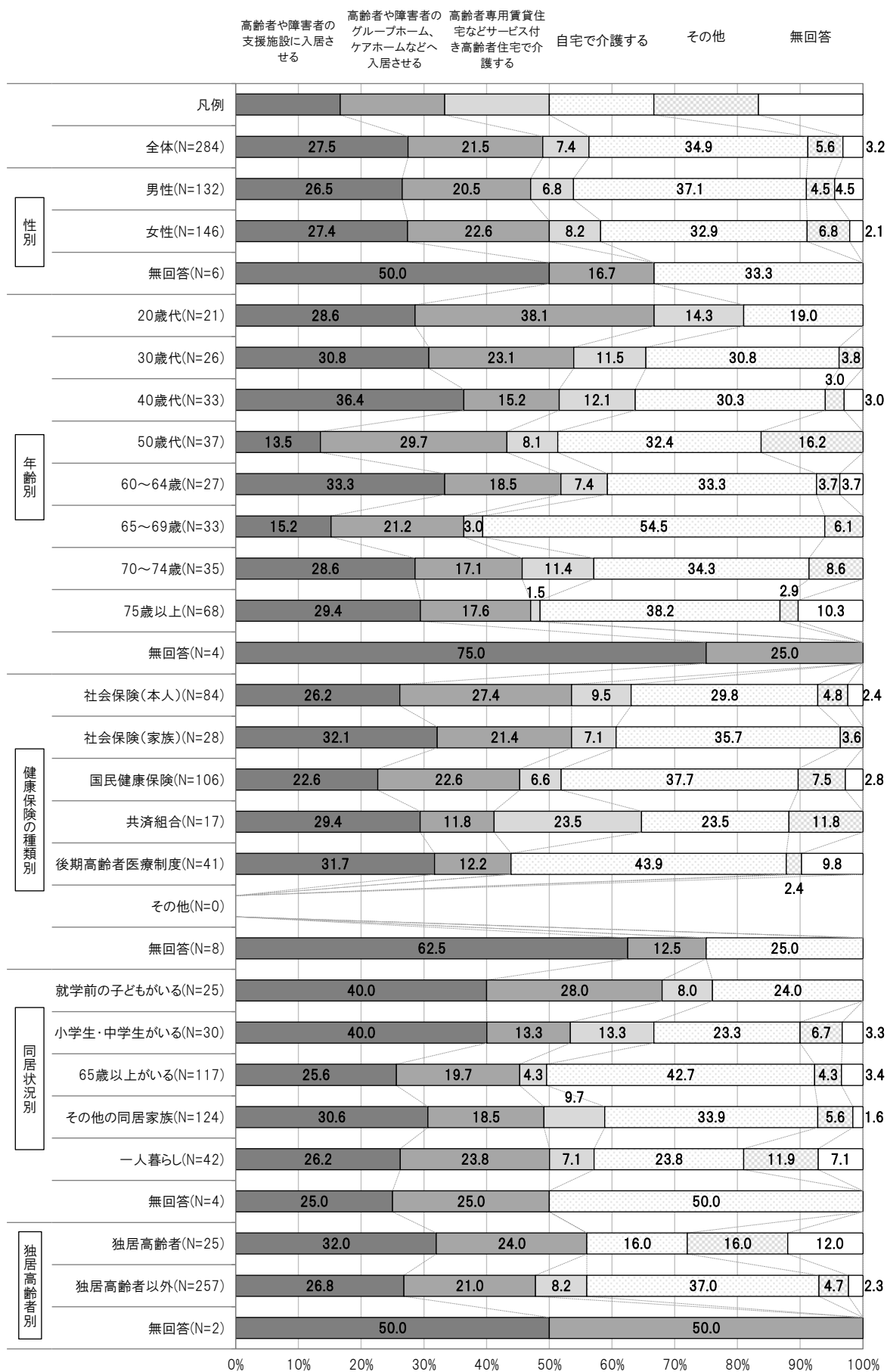
図表 III-185 川薩保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



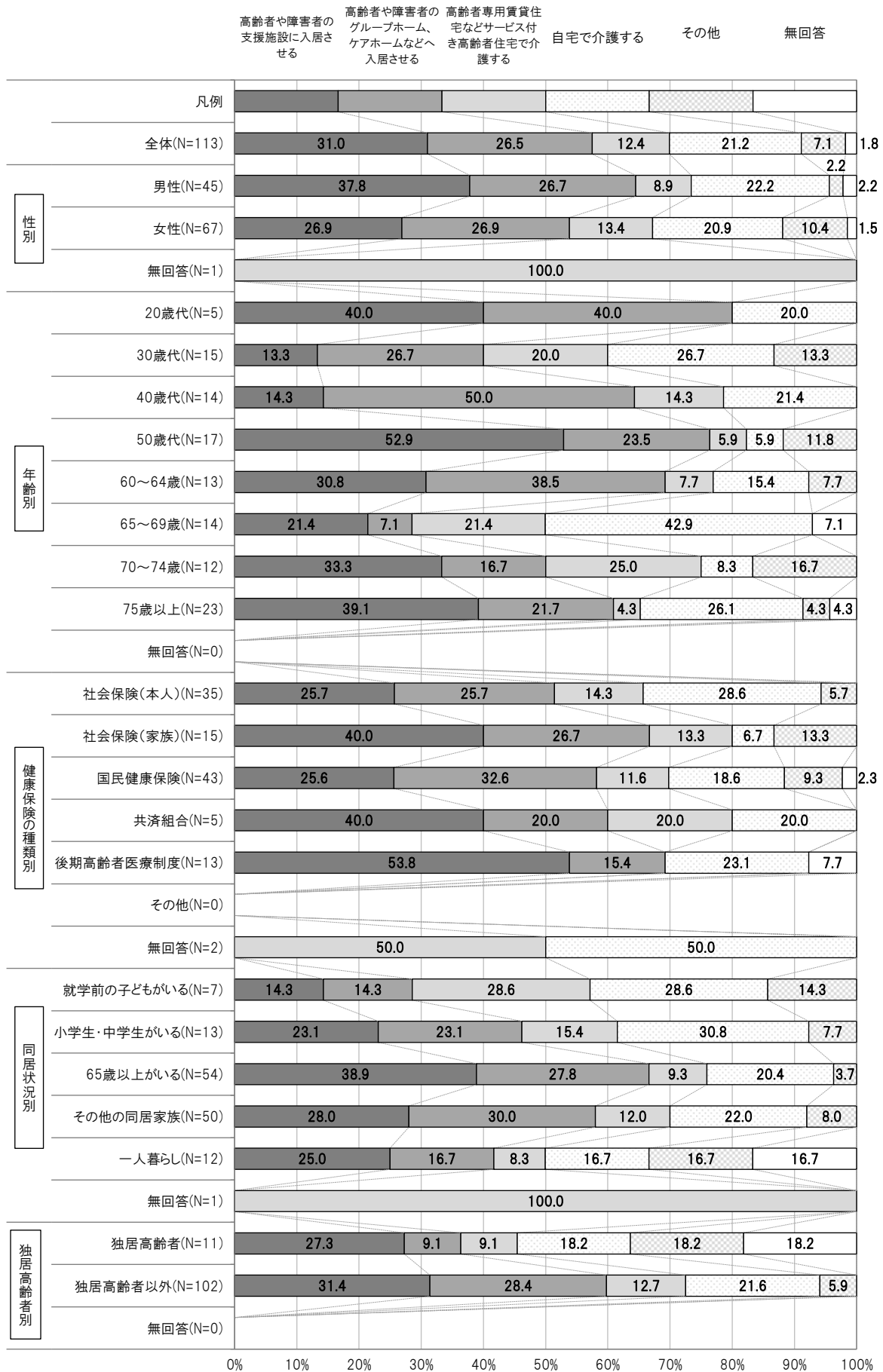
図表 III-186 出水保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



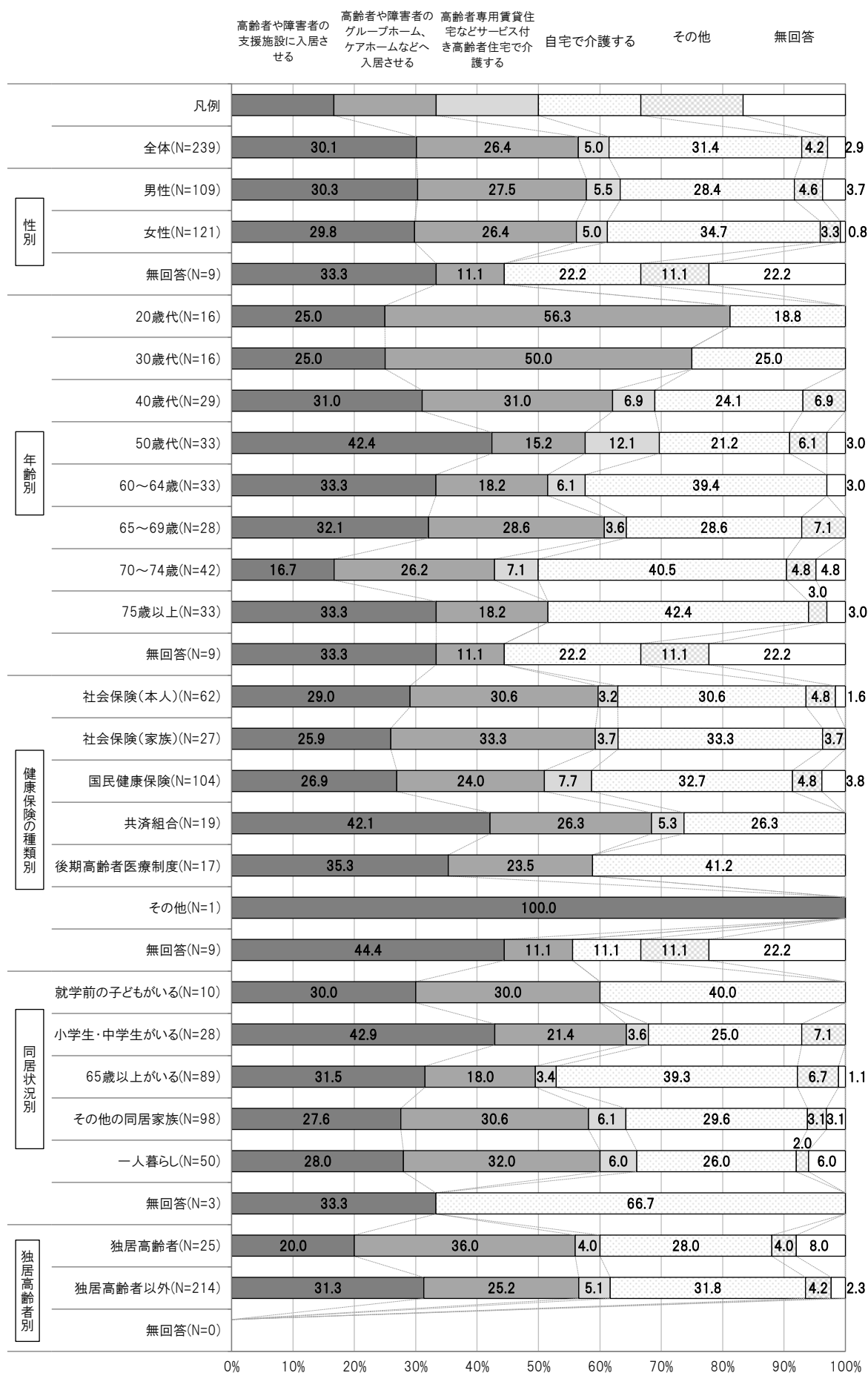
図表 III-187 始良・伊佐保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



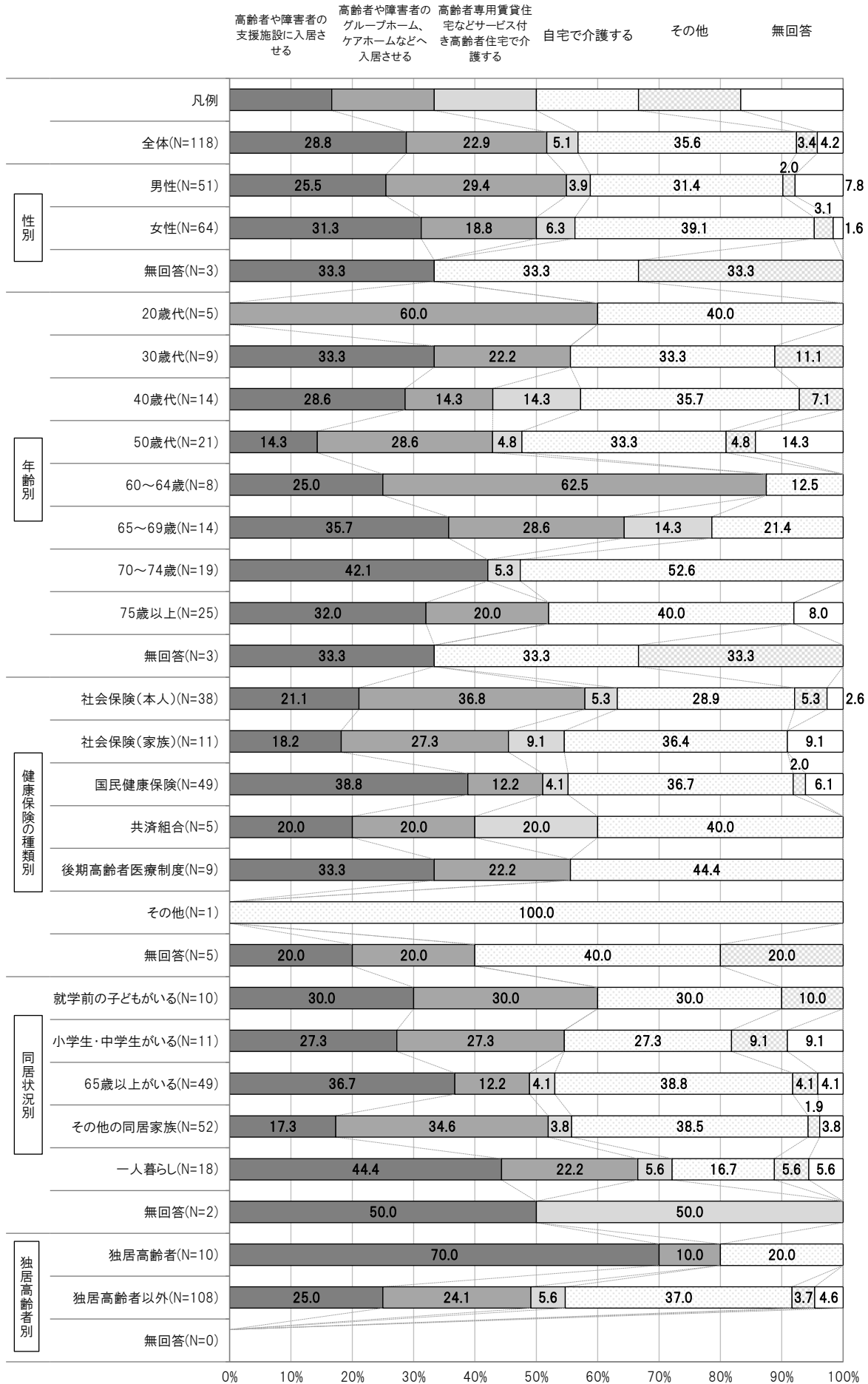
図表 III-188 曾於保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



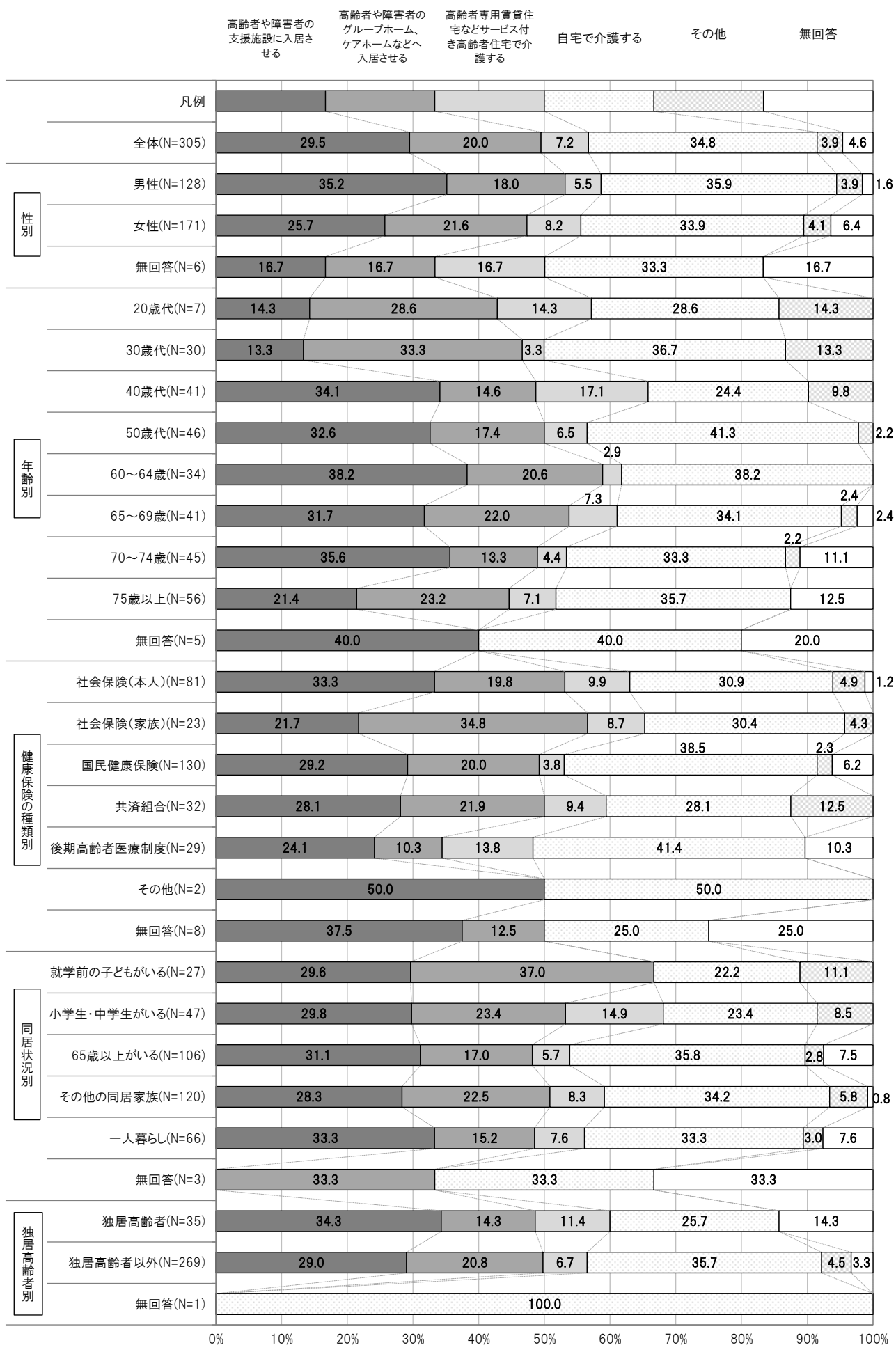
図表 III-189 肝属保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



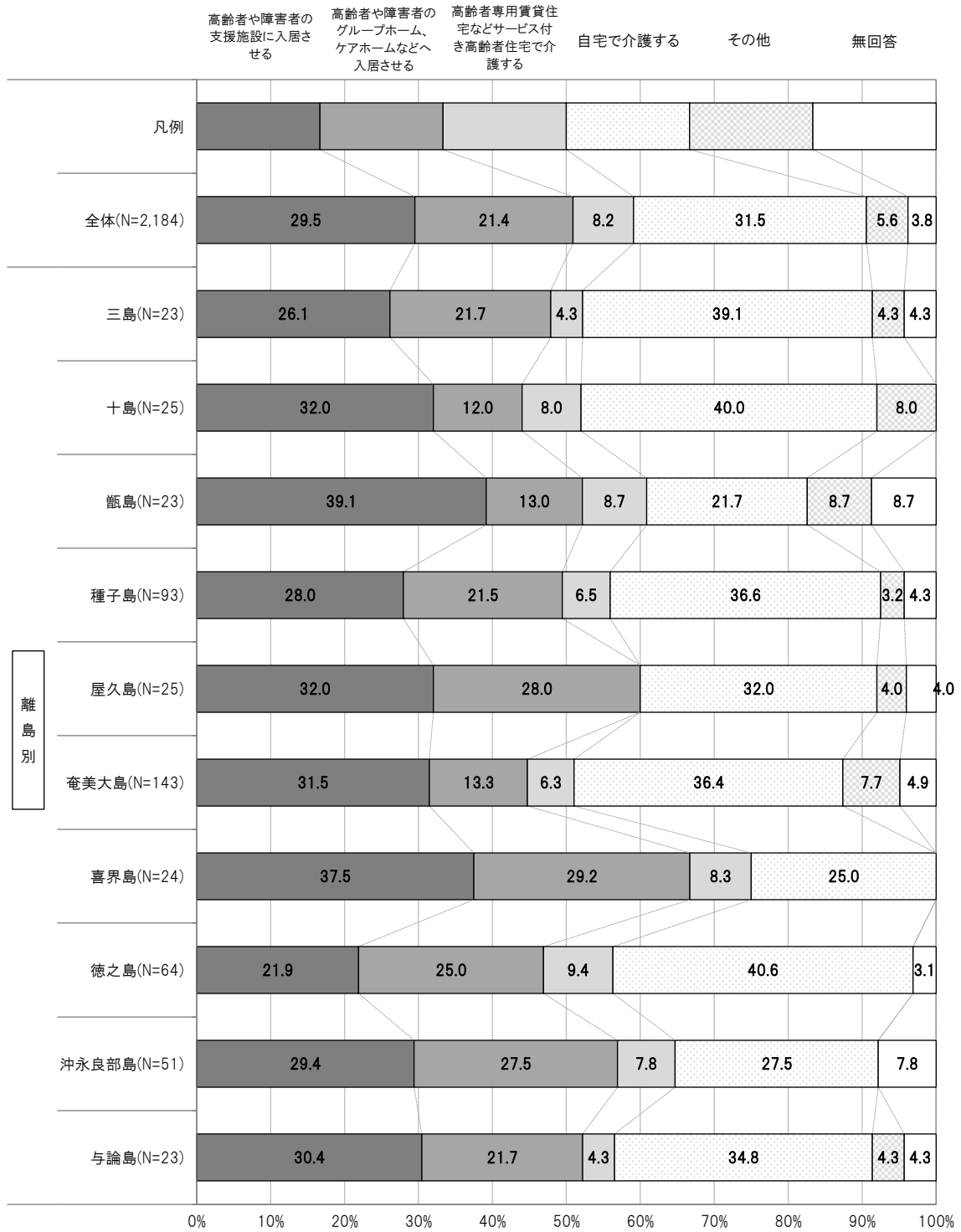
図表 III-190 熊毛保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



図表 III-191 奄美保健医療圏 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



図表 III-192 離島別の分析 家族の介護が必要となったときの対応【加重集計前・属性別】



12. 人生の最終段階における医療

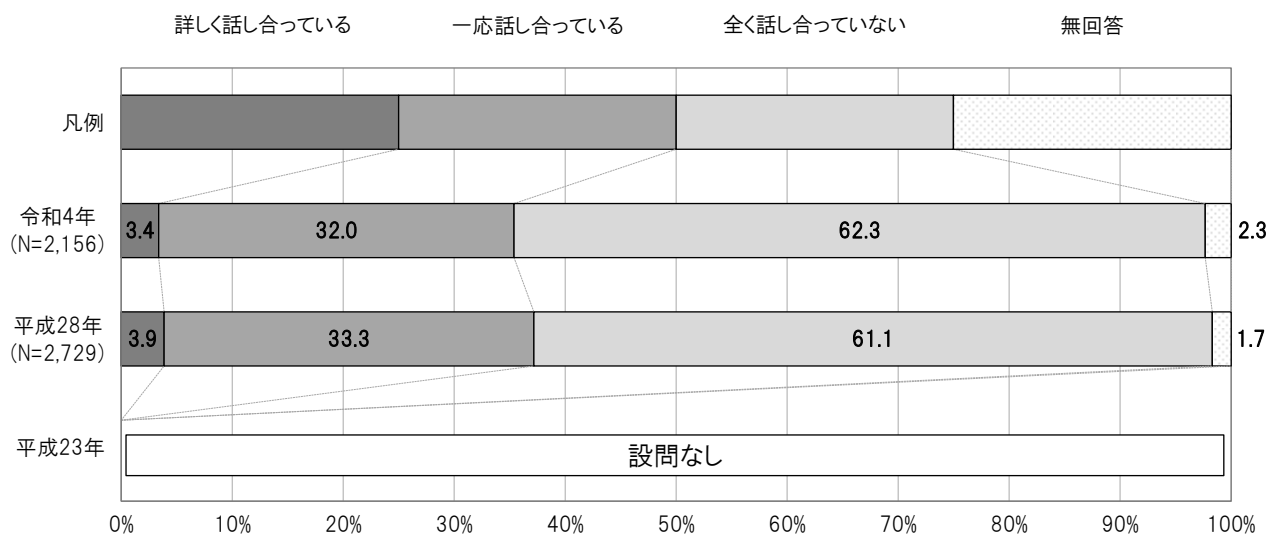
(1) 自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療

問 15-1 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等（※）や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。（○は1つ）
 ※ 「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます。

自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、全体では「詳しく話し合っている」（3.4%）、「一応話し合っている」（32.0%）、「全く話し合っていない」（62.3%）となっている。

調査年別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-193 自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

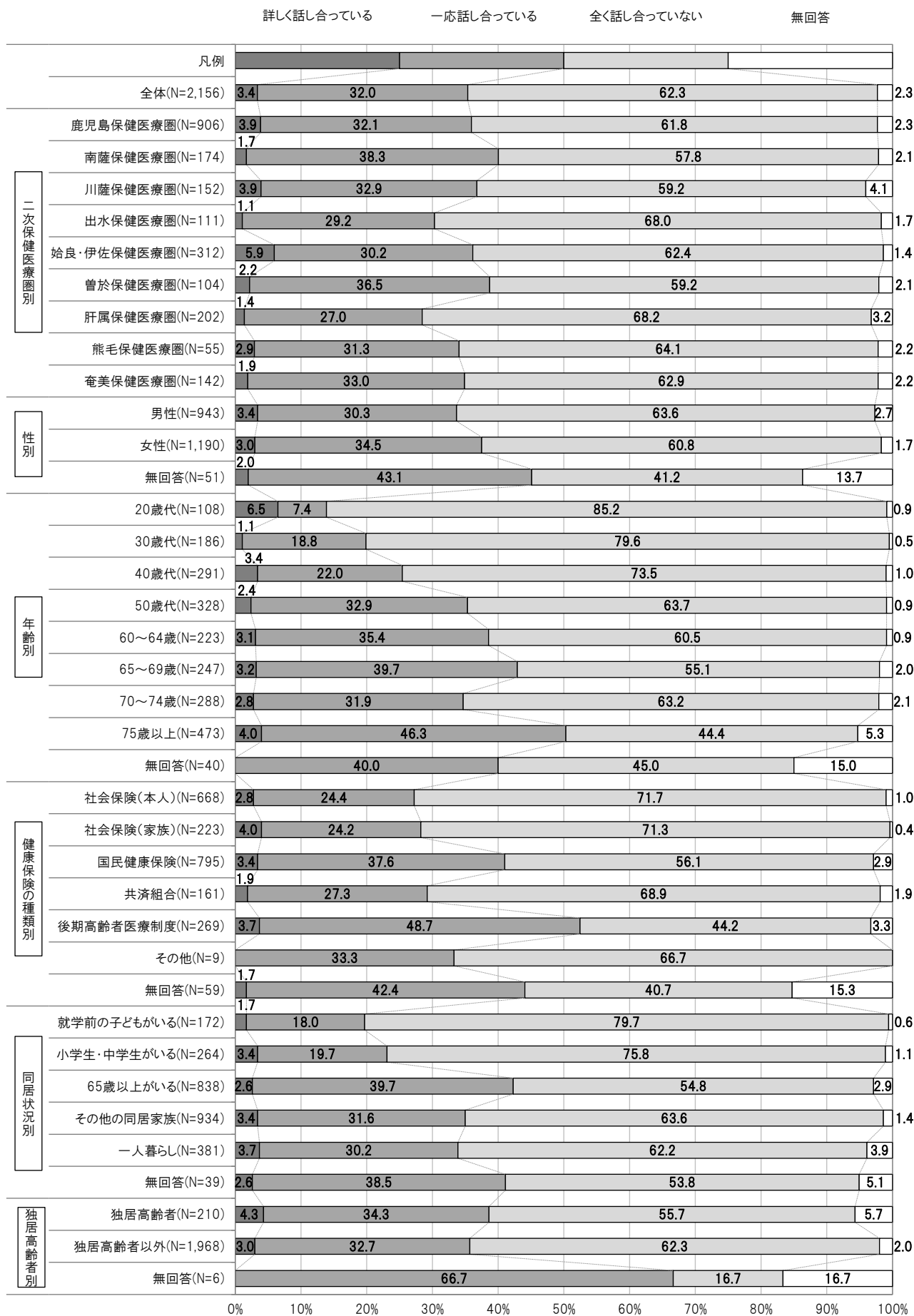
年齢別にみると、高齢になるほど「一応話し合っている」は増加しており、75歳以上では4割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「話し合っている（詳しく話し合っている＋一応話し合っている）」が4割を超え、他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「全く話し合っていない」が7割を超え、「65歳以上がいる」では「話し合っている（詳しく話し合っている＋一応話し合っている）」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者以外」は「全く話し合っていない」（62.3%）が「独居高齢者」と比較して高くなっている。

図表 III-194 自身の死が近い場合に受けた医療や受けたくない医療【属性別】



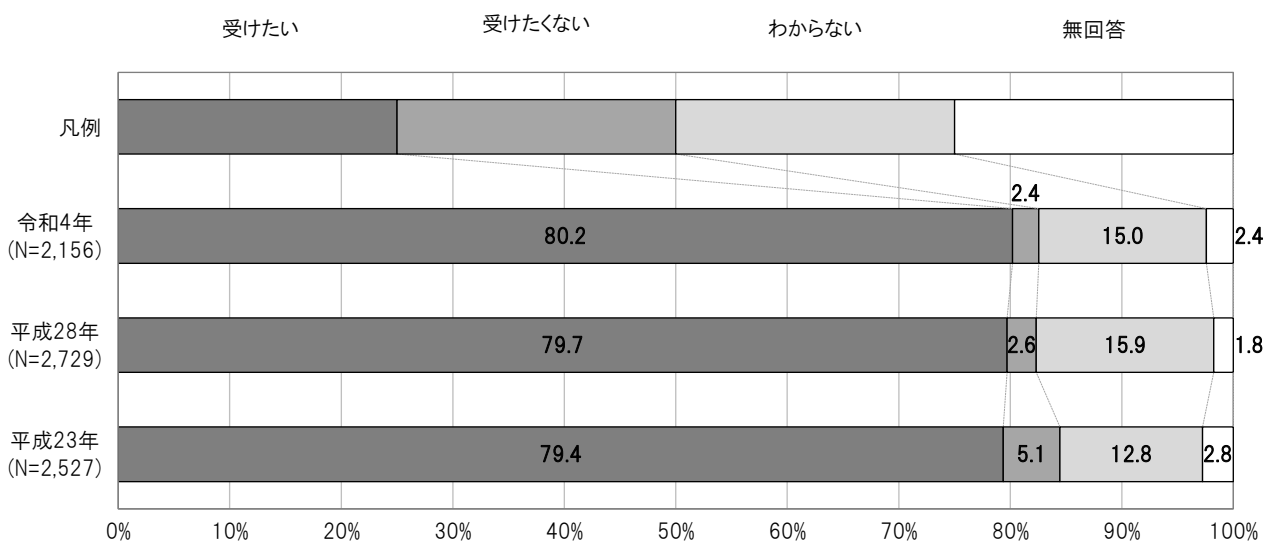
(2) 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいかどうか

問 15-2 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいと思いますか。(○は1つ)

真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいかどうかについて、全体では「受けたい」(80.2%)、「受けたくない」(2.4%)、「わからない」(15.0%)となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。その中で平成23年調査から継続して「受けたくない」は減少傾向がみられた。

図表 III-195 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいかどうか【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「鹿児島保健医療圏」、「始良・伊佐保健医療圏」、「熊本保健医療圏」では「受けたい」が8割を超えている。

性別にみると、男女ともに「受けたい」が約8割となっている。

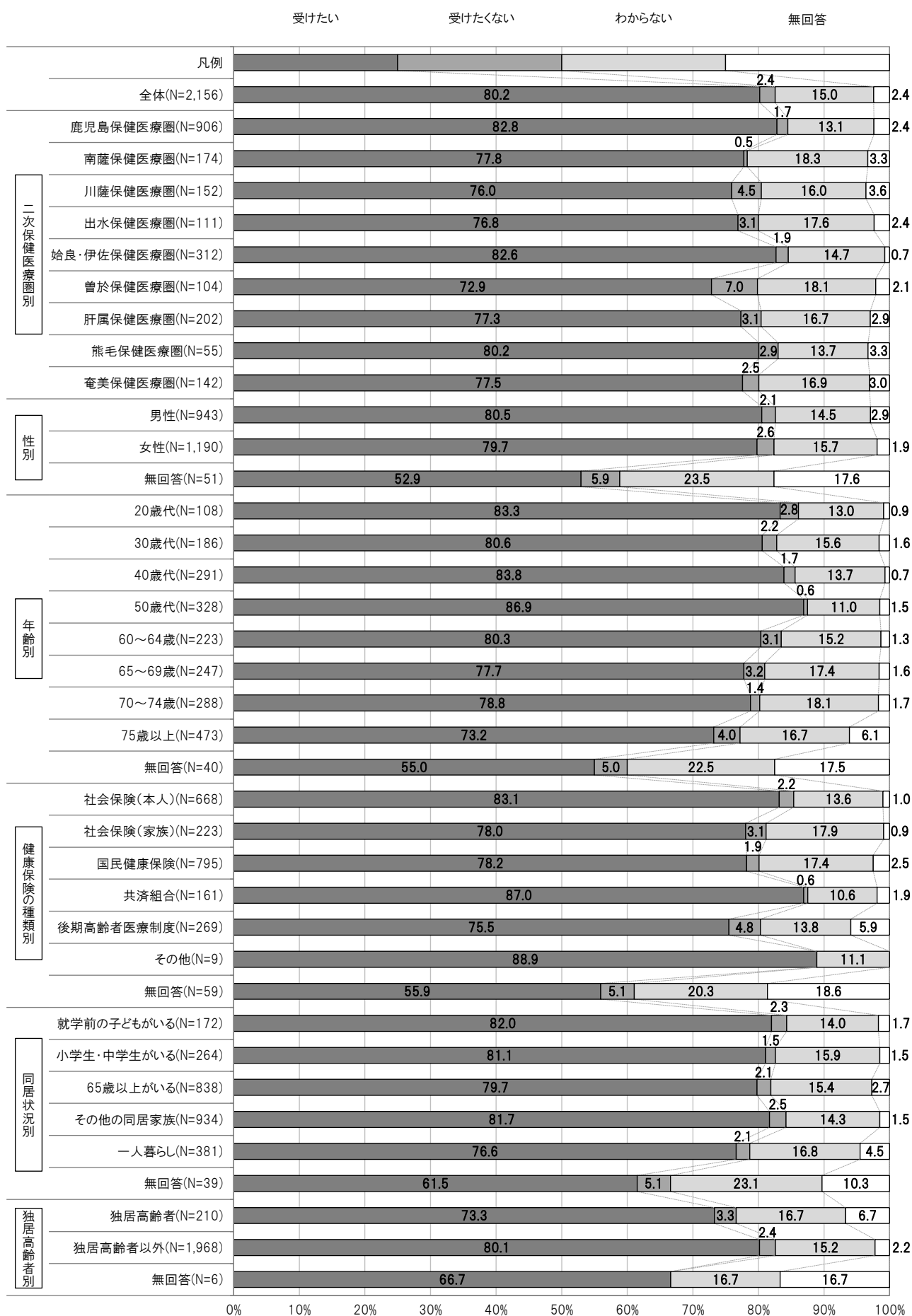
年齢別にみると、20～64歳では「受けたい」が8割を超えている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」、「共済組合」では「受けたい」が8割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」、「その他の同居家族」で「受けたい」が8割を超えている。

独居高齢者別にみると、「受けたい」は「独居高齢者」では73.3%で、「独居高齢者以外」(80.1%)より低い傾向がみられた。

図表 III-196 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいかどうか【属性別】



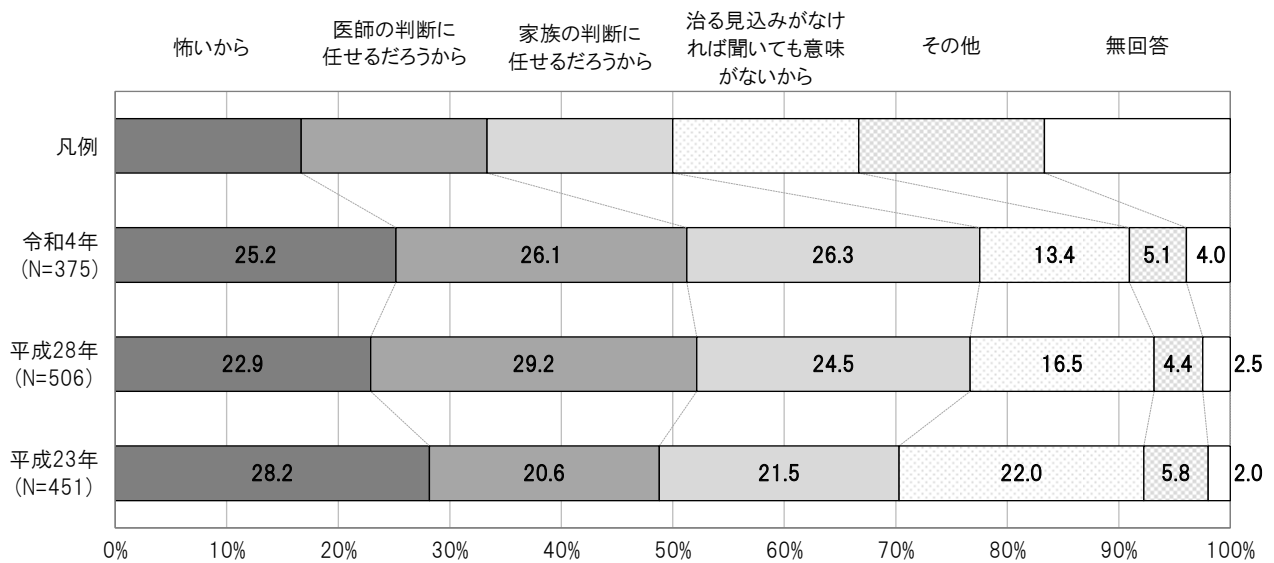
(3) 医師の説明を受けたくない、あるいはわからない理由

問 15-3 説明を受けたくない、あるいはわからない理由は何ですか。(○は1つ)

医師の説明を受けたくない、あるいはわからない理由について、全体では「家族の判断に任せるだろうから」(26.3%)が最も高く、次いで「医師の判断に任せるだろうから」(26.1%)、「怖いから」(25.2%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年度から継続して「家族の判断に任せるだろうから」は増加傾向、「治る見込みがなければ聞いても意味がないから」は減少傾向となっている。

図表 III-197 医師の説明を受けたくない、あるいはわからない理由【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」と「熊毛保健医療圏」では、「家族の判断に任せるだろうから」、「出水保健医療圏」では「怖いから」(38.0%)、「曾於保健医療圏」と「肝属保健医療圏」では「医師の判断に任せるだろうから」が他の二次保健医療圏と比較して高くなっている。

性別にみると、男性は「医師の判断に任せるだろうから」(33.1%)、女性は「怖いから」(29.8%)が最も高くなっている。

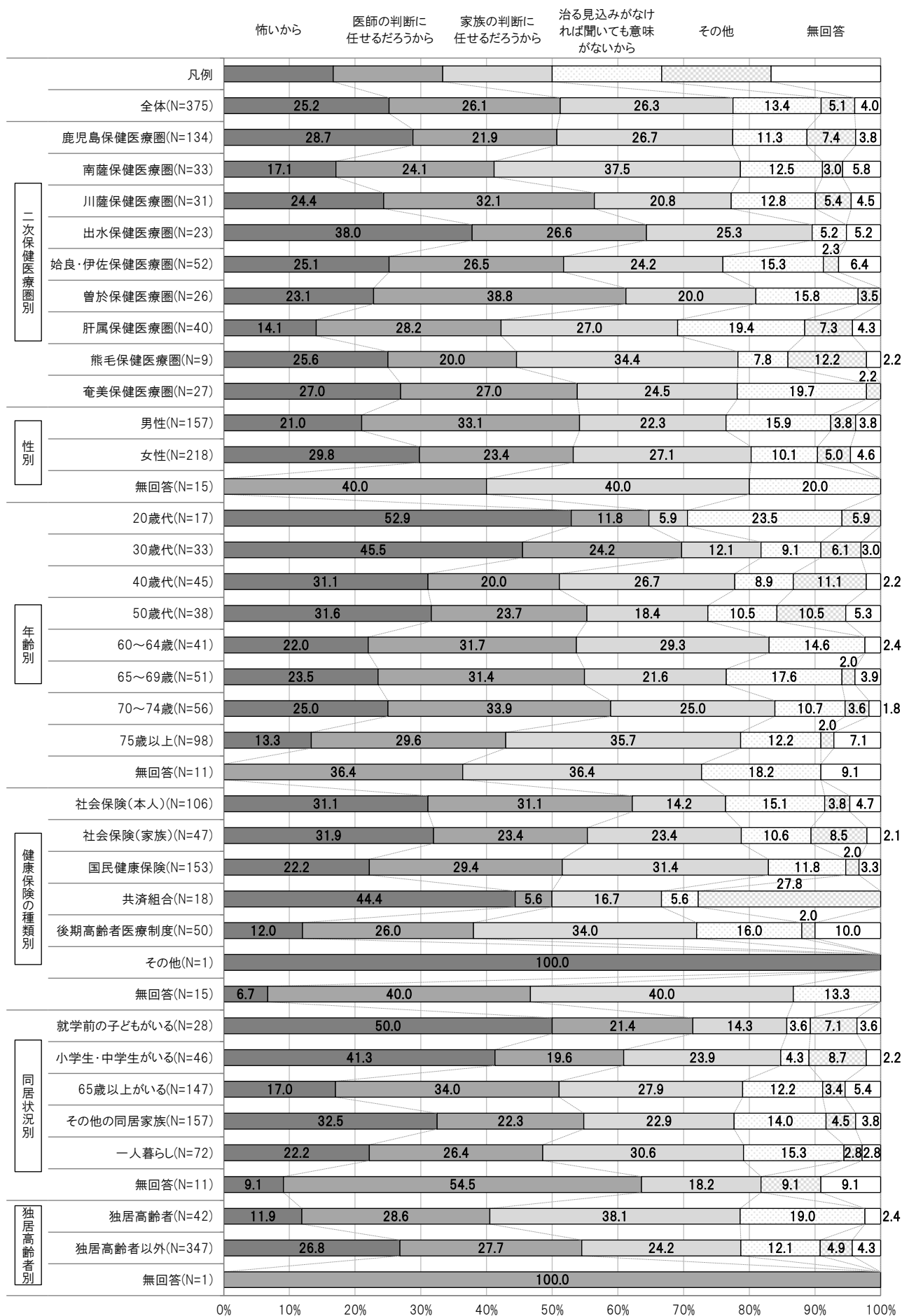
年齢別にみると、20～50歳代では「怖いから」、60～74歳では「医師の判断に任せるだろうから」、75歳以上では「家族の判断に任せるだろうから」(35.7%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では、「医師の判断に任せるだろうから」(31.1%)、「共済組合」では「怖いから」(44.4%)、「後期高齢者医療制度」では「家族の判断に任せるだろうから」(34.0%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」、「その他の同居家族」では「怖いから」が最も高く、「65歳以上がいる」では「医師の判断に任せるだろうから」(34.0%)、「一人暮らし」では「家族の判断に任せるだろうから」(30.6%)が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「家族の判断に任せるだろうから」(38.1%)が最も高く、次いで「医師の判断に任せるだろうから」(28.6%)の順となっている。

図表 III-198 医師の説明を受けたくない、あるいはわからない理由【属性別】



(4) 医療・療養を受けたい場所

問 15-4 あなたは、どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいかについて、全体では「自宅」(48.8%)が最も高く、次いで「医療機関」(36.3%)、「特養・老健等の介護保険施設」(7.6%)の順となっている。

二次保健医療圏別にみると、「奄美保健医療圏」は「自宅」(57.7%)、「曾於保健医療圏」は「医療機関」(42.9%)が他の二次保健医療圏と比較して高くなっている。

性別にみると、男性は「自宅」(50.9%)が女性と比較して高くなっている。

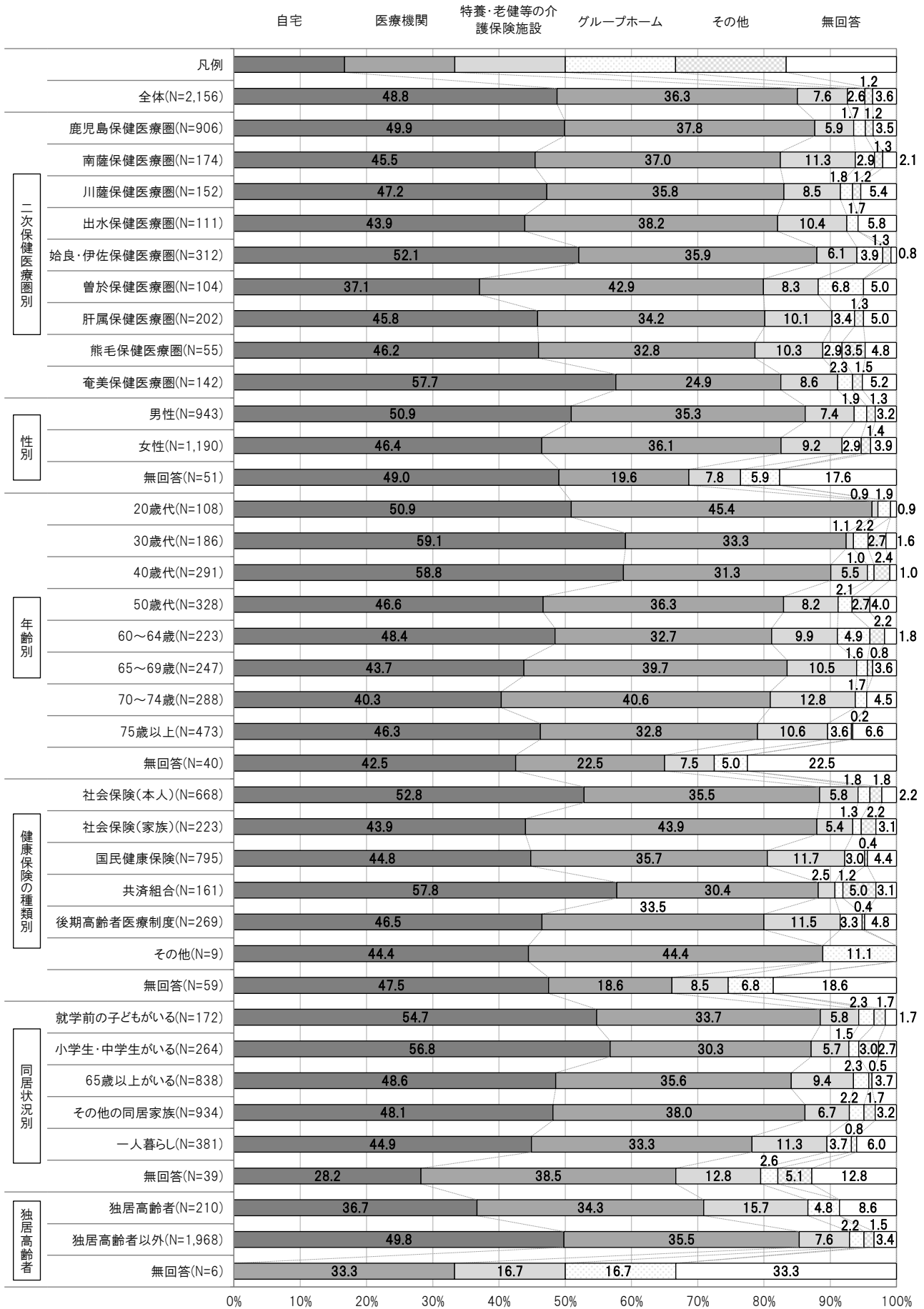
年齢別にみると、20歳代では「医療機関」(45.4%)、30歳代では「自宅」(59.1%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「共済組合」では「自宅」、「社会保険(家族)」では「医療機関」(43.9%)、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「特養・老健等の介護保険施設」が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「自宅」、「一人暮らし」では「特養・老健等の介護保険施設」(11.3%)が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(36.7%)が最も高く、次いで「医療機関」(34.3%)の順となっている。

図表 III-199 医療・療養を受けたい場所【属性別】



(5) 自分の最期を迎えたい場所

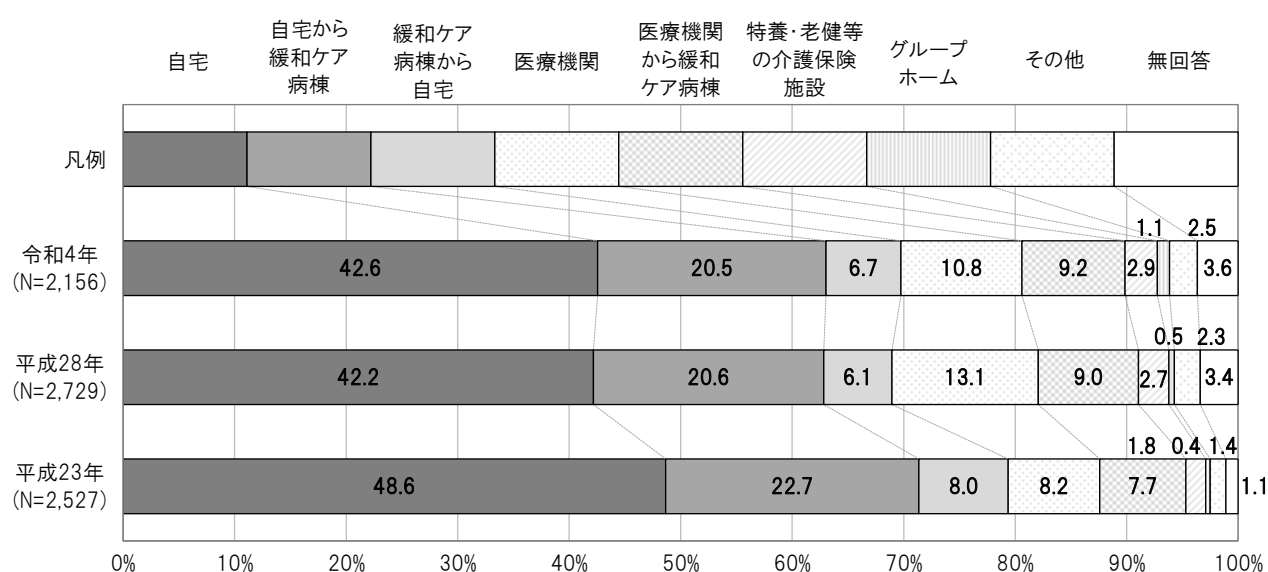
問 15-5 あなたは、ご自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

ア. 全体の分析

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(42.6%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟(終末期等における症状を和らげることを目的とした病棟)」(20.5%)、「医療機関」(10.8%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年調査と比較して、回答傾向に大きな差はみられなかった。また、平成23年調査より継続して「自宅から緩和ケア病棟」は減少傾向がみられた。

図表 III-200 自分の最期を迎えたい場所【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」と「曾於保健医療圏」以外の保健医療圏では「自宅」が4割を超えている。

性別にみると、男性は「自宅」(52.4%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(23.1%)が男性と比較して高くなっている。

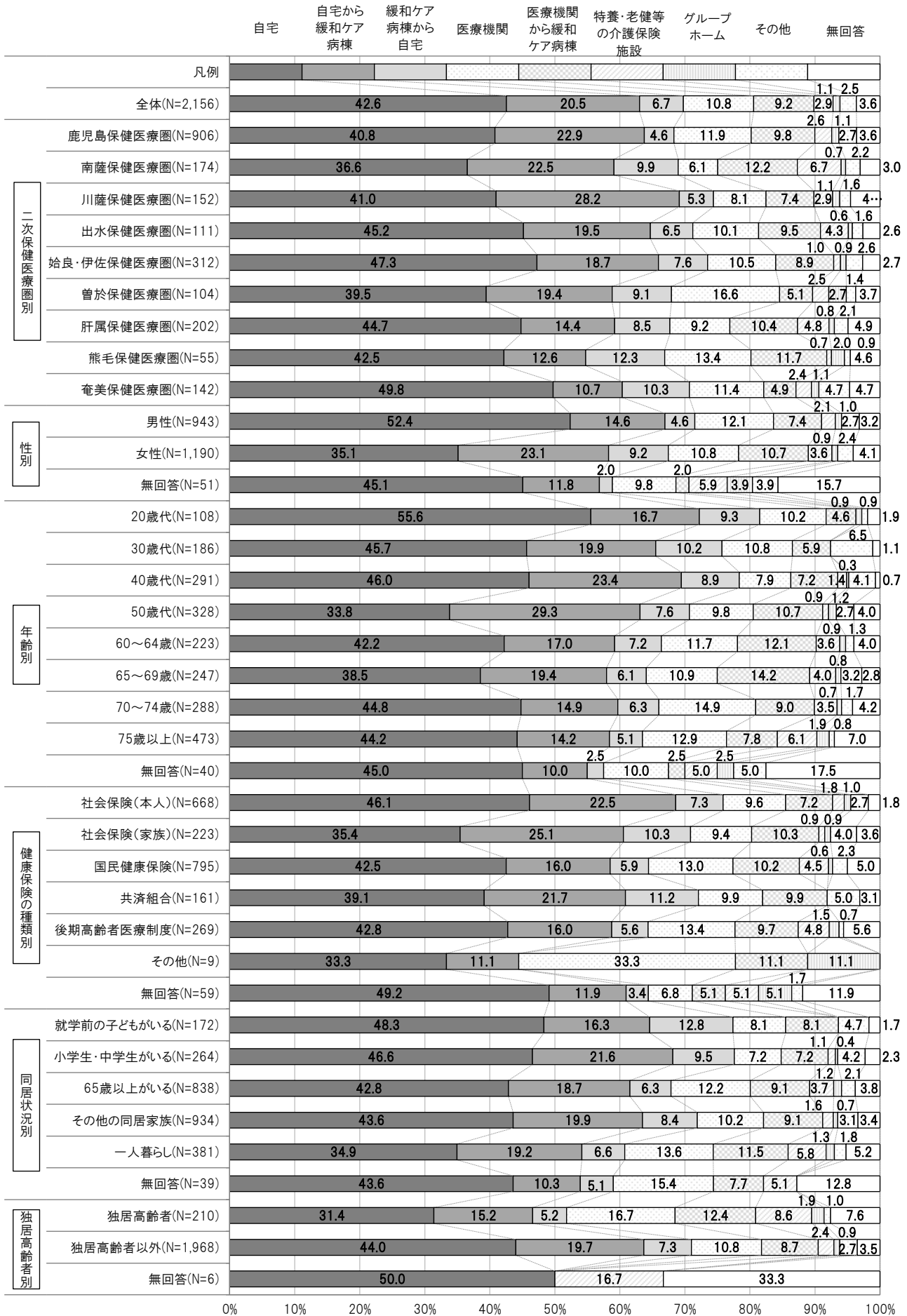
年齢別にみると、20歳代では「自宅」(55.6%)、50歳代では「自宅から緩和ケア病棟」(29.3%)が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「自宅」が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」を除く他のすべての同居状況で「自宅」が4割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(31.4%)が最も高く、次いで「医療機関」(16.7%)の順となっている。

図表 III-201 自分の最期を迎えたい場所【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 302・図表 III-202)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(40.5%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(22.9%)、「医療機関」(11.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(48.2%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(27.6%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「自宅」(53.3%)、50歳代では「自宅から緩和ケア病棟」(34.0%)、70歳以上では「医療機関」が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「自宅」(45.7%)、「社会保険(家族)」では「自宅から緩和ケア病棟」(36.7%)、「後期高齢者医療制度」では「医療機関」(17.9%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では、「自宅」(44.4%)が高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医療機関」(29.6%)が最も高く、次いで「自宅」(20.4%)の順となっている。

南薩保健医療圏 (P. 303・図表 III-203)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(36.5%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(23.0%)、「医療機関から緩和ケア病棟」(12.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(53.8%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(28.9%)と「医療機関から緩和ケア病棟」(20.0%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、50歳代では「自宅から緩和ケア病棟」(43.5%)が高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「緩和ケア病棟から自宅」(33.3%)、「医療機関から緩和ケア病棟」(22.2%)、「共済組合」では「医療機関から緩和ケア病棟」(25.0%)、「後期高齢者医療制度」では「自宅」(54.3%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「緩和ケア病棟から自宅」(33.3%)、「小学生・中学生がいる」では「自宅から緩和ケア病棟」(40.0%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(38.1%)が最も高く、次いで「特養・老健等の介護保険施設」(23.8%)となっている。

川薩保健医療圏 (P. 304・図表 III-204)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(42.8%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(24.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(53.4%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(28.3%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「自宅」(56.5%)、50歳代では「自宅から緩和ケア病棟」(38.1%)、65～69歳では「医療機関から緩和ケア病棟」(14.3%)が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「社会保険(家族)」では「自宅」、共済組合では「自宅から緩和ケア病棟」(50.0%)、「後期高齢者医療制度」では「医療機関から緩和ケア病棟」(21.7%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「自宅」(75.0%)、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」では「自宅から緩和ケア病棟」が他の同居状況別と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(33.3%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(22.2%)の順となっている。

出水保健医療圏 (P. 305・図表 III-205)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(45.1%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(18.9%)、「医療機関」(11.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(50.0%)が女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「自宅」(58.8%)、50歳代と75歳以上では「自宅から緩和ケア病棟」が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「後期高齢者医療制度」は「自宅から緩和ケア病棟」、「社会保険(家族)」は「自宅」(72.7%)、「共済組合」は「医療機関」(22.2%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では、「自宅」が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(30.0%)と「自宅から緩和ケア病棟」(30.0%)が同数で最も高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 306・図表 III-206)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(45.4%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(18.0%)、「医療機関」(11.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(56.8%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(23.3%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「医療機関」(23.8%)、30歳代では「自宅から緩和ケア病棟」(30.8%)、70～74歳では「自宅」(60.0%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「緩和ケア病棟から自宅」(21.4%)、「共済組合」では「自宅」(64.7%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「自宅から緩和ケア病棟」(36.7%)、「65歳以上がいる」では「自宅」(49.6%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(36.0%)が最も高く、次いで「医療機関」(16.0%)となっている。

曾於保健医療圏 (P. 307・図表 III-207)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(38.9%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(19.5%)、「医療機関」(16.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(53.3%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(26.9%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20～40歳では「自宅」、50～64歳、75歳以上では「医療機関」が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「社会保険(家族)」では、「自宅」、「共済組合」では「自宅から緩和ケア病棟」(40.0%)、「後期高齢者医療制度」では「特養・老健等の介護保険施設」(23.1%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「自宅」、「65歳以上がいる」では「医療機関」が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」(27.3%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(18.2%)と「特養・老健等の介護保険施設」(18.2%)が同数となっている。

肝属保健医療圏 (P. 308・図表 III-208)

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」(45.6%)が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」(15.1%)、「医療機関」(10.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」(53.2%)が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」(18.2%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20～30歳、70～74歳は「自宅」、40～50歳代は「自宅から緩和ケア病棟」、65～69歳は「医療機関」（21.4%）が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「国民健康保険」では「自宅」、「社会保険（家族）」では「医療機関」（14.8%）、「共済組合」では「自宅から緩和ケア病棟」（21.1%）が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「自宅」、「一人暮らし」では「自宅から緩和ケア病棟」（20.0%）が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」（44.0%）が最も高く、次いで「医療機関から緩和ケア病棟」（16.0%）となっている。

熊毛保健医療圏（P. 309・図表 III-209）

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」（43.2%）が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」（13.6%）と「医療機関」（13.6%）が同数となっている。

性別にみると、男性は「自宅」（47.1%）と「医療機関」（19.6%）が女性と比較して高く、女性は「緩和ケア病棟から自宅」（18.8%）が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、70～74歳では「自宅」（57.9%）、40歳代では「緩和ケア病棟から自宅」（28.6%）が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「自宅」が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「緩和ケア病棟から自宅」（36.4%）、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では「自宅」が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」（30.0%）が最も高く、次いで「医療機関」（20.0%）と「医療機関から緩和ケア病棟」（20.0%）の同数となっている。

奄美保健医療圏（P. 310・図表 III-210）

自分の最期を迎えたい場所について、全体では「自宅」（47.5%）が最も高く、次いで「自宅から緩和ケア病棟」（13.1%）、「医療機関」（12.8%）の順となっている。

性別にみると、男性は「自宅」（57.8%）が女性と比較して高く、女性は「自宅から緩和ケア病棟」（15.2%）、「医療機関」（15.2%）が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20歳代と50歳代は「自宅から緩和ケア病棟」、30歳代は「緩和ケア病棟から自宅」（23.3%）、60～64歳は「自宅」（61.8%）が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「共済組合」では「自宅」、「社会保険（家族）」では「自宅から緩和ケア病棟」（21.7%）と「医療機関」（26.1%）が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「緩和ケア病棟から自宅」（29.6%）、「小学生・中学生がいる」では「自宅」（59.6%）、「一人暮らし」では「自宅から緩和ケア病棟」（19.7%）が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

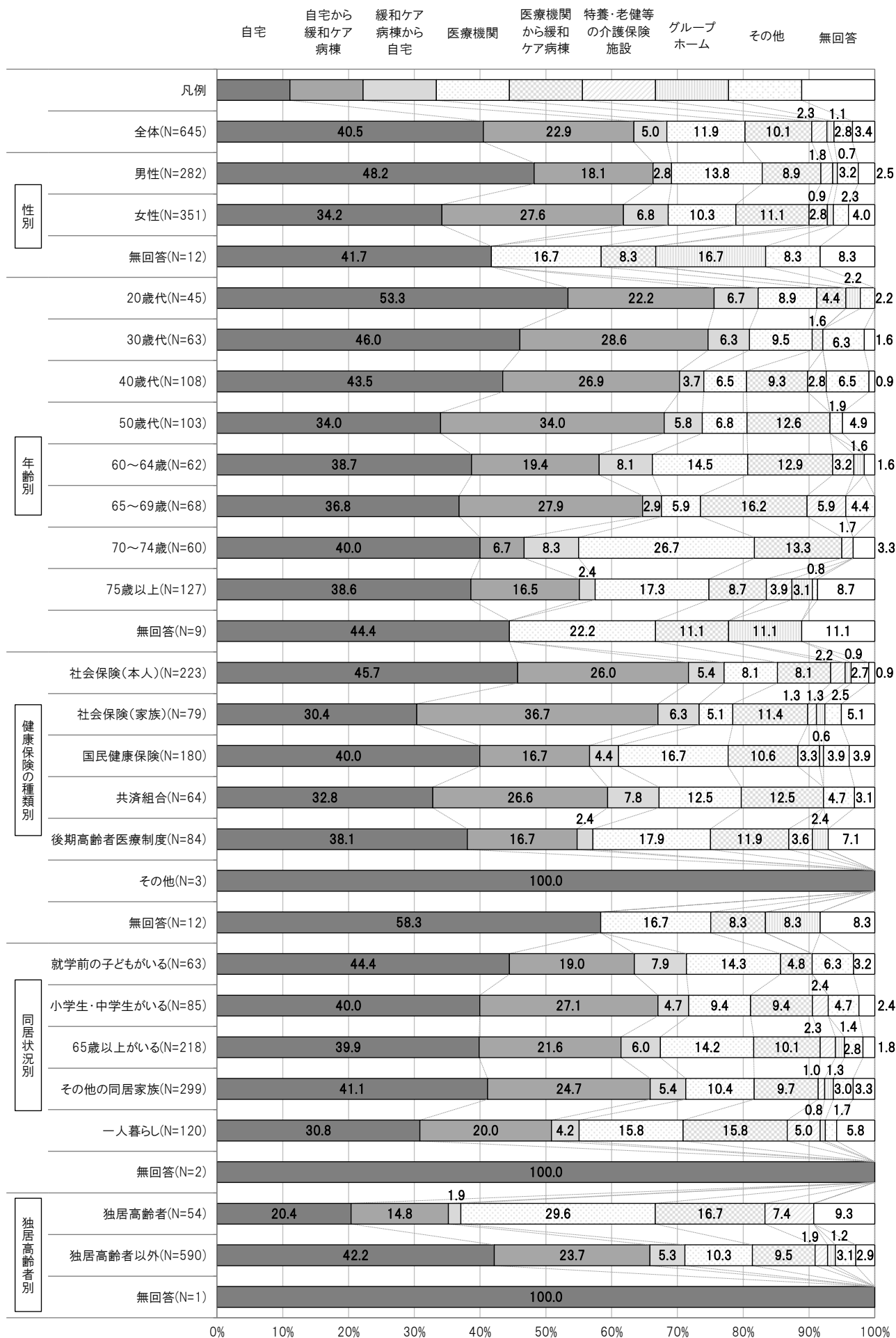
独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「自宅」（31.4%）が最も高く、次いで「医療機関」（22.9%）の順となっている。

離島別の分析（P. 311・図表 III-211）

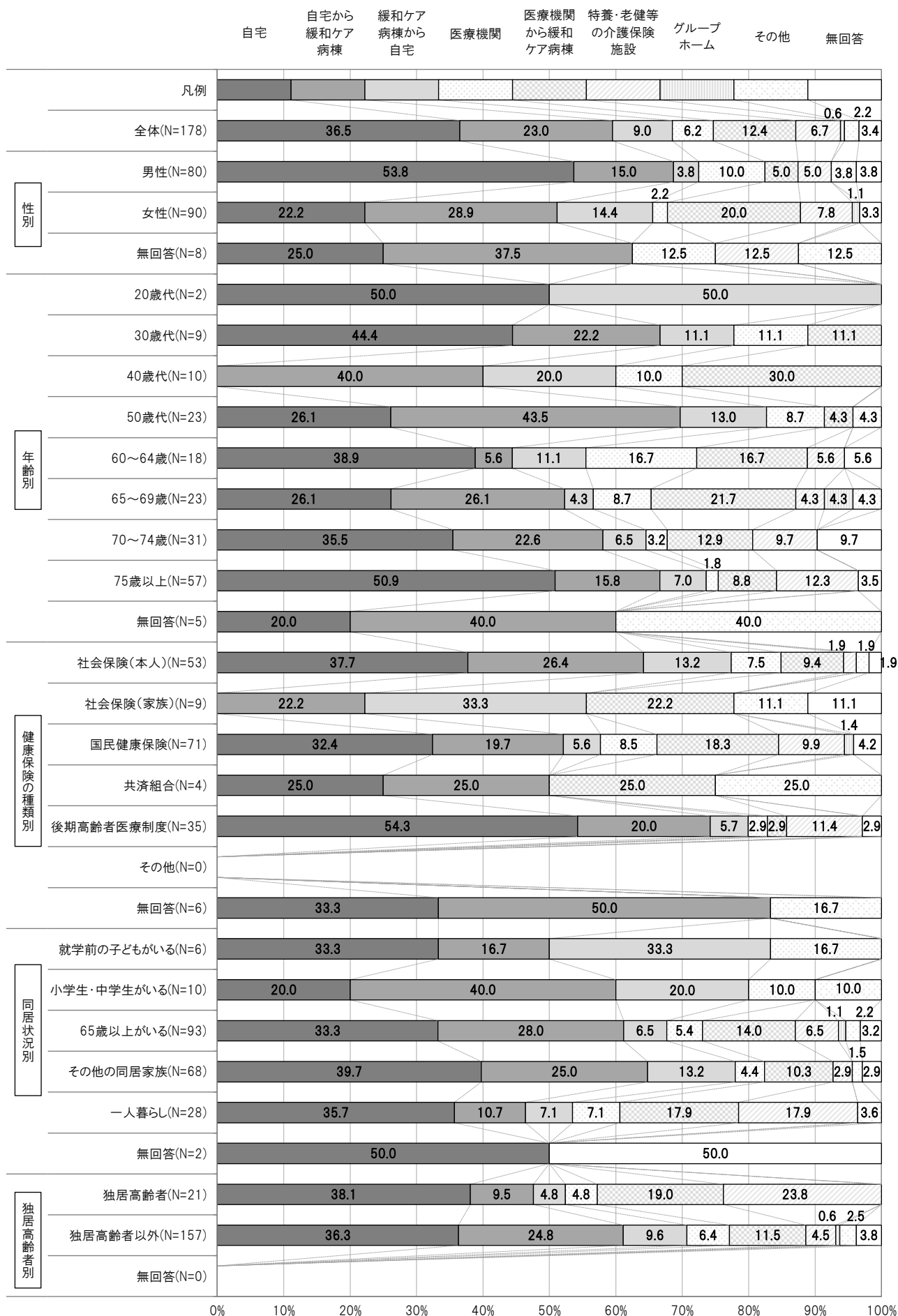
離島別にみると、全ての離島で「自宅」が最も高く、「徳之島」と「与論島」は5割を超えている。

また、「三島」は「自宅から緩和ケア病棟」（21.7%）と「医療機関から緩和ケア病棟」（21.7%）、「十島」は「医療機関」（28.0%）、「屋久島」は「医療機関」（28.0%）と「緩和ケア病棟から自宅」（20.0%）、「喜界島」は「自宅から緩和ケア病棟」（29.2%）も高くなっている。

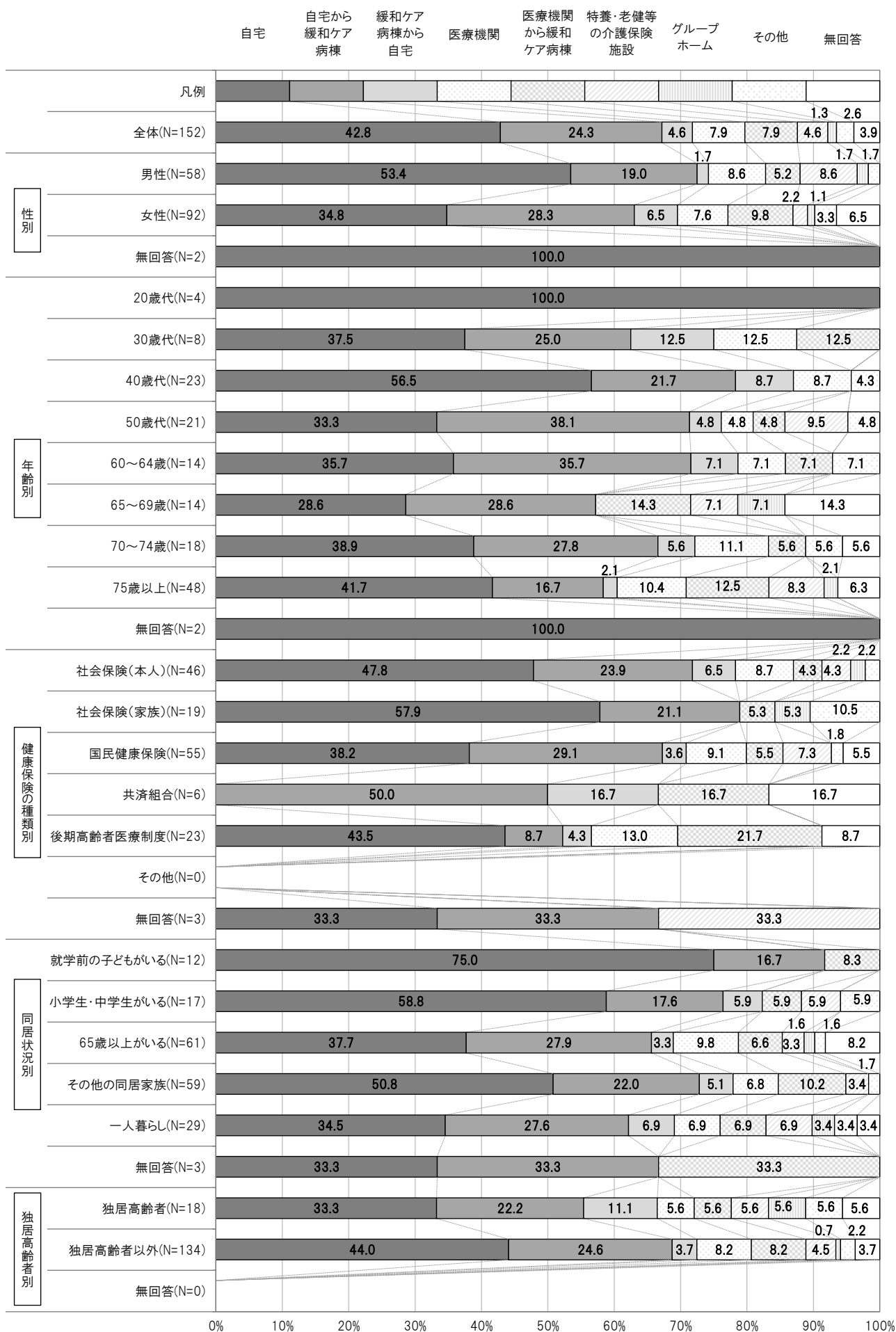
図表 III-202 鹿児島保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



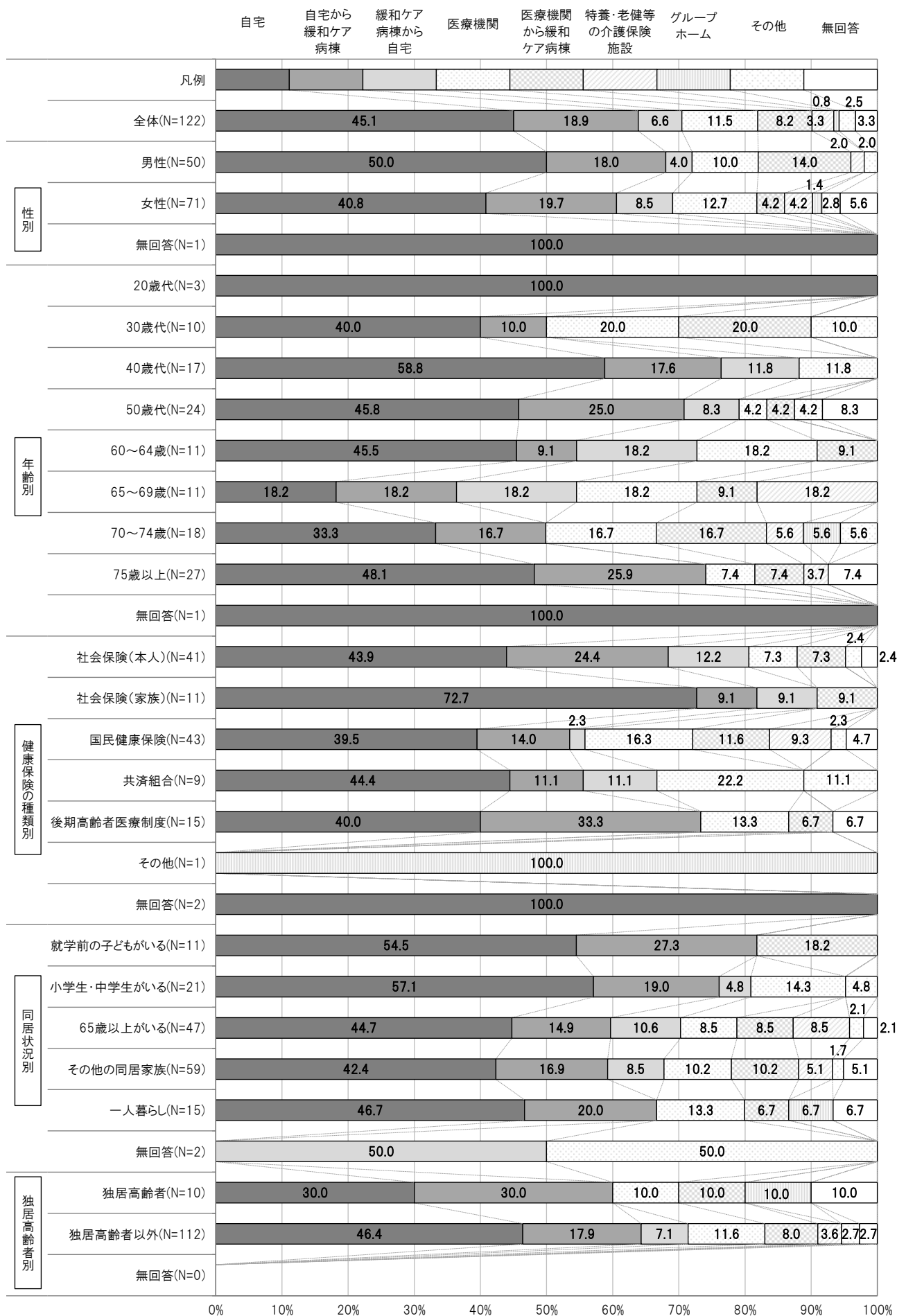
図表 III-203 南薩保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



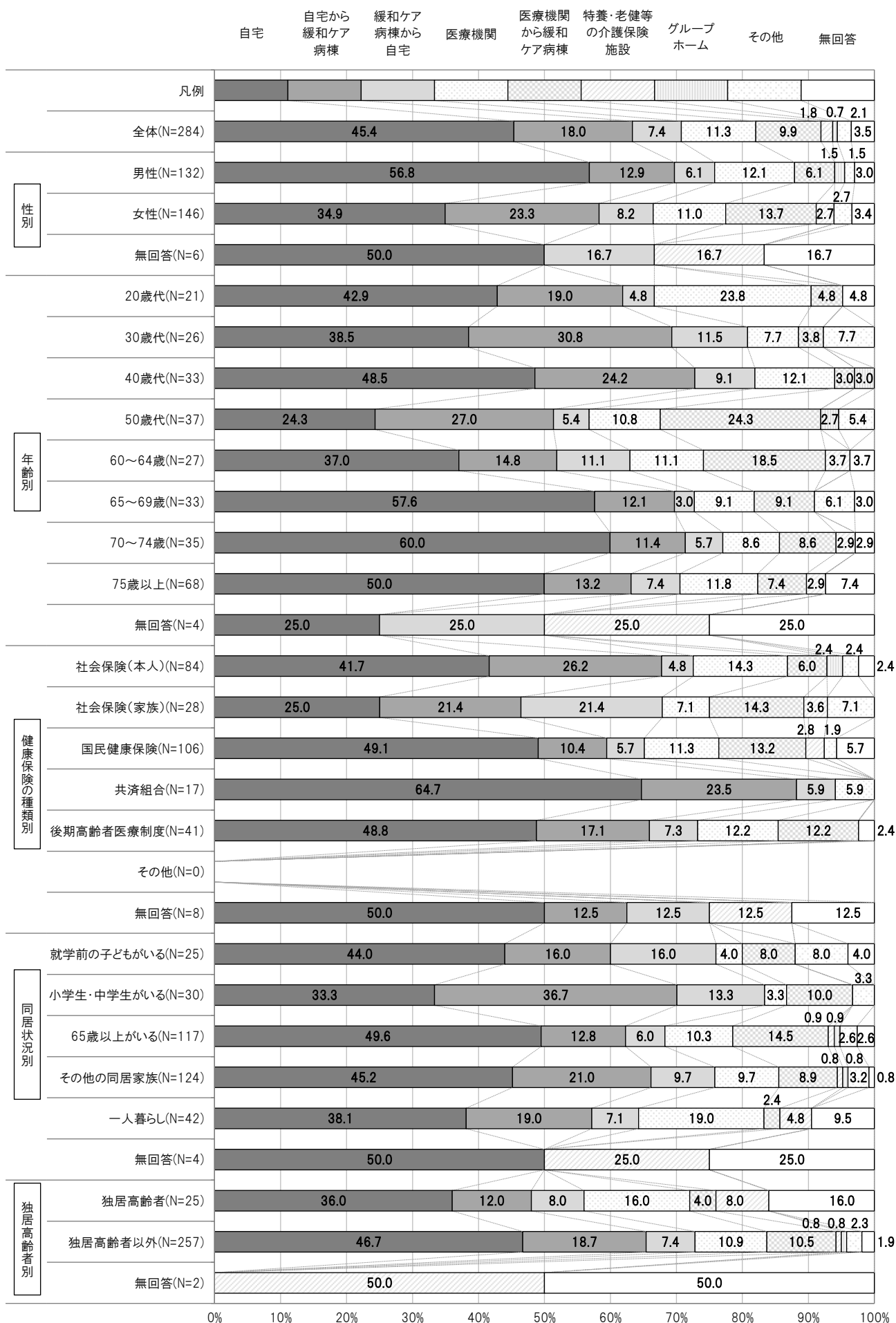
図表 III-204 川薩保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



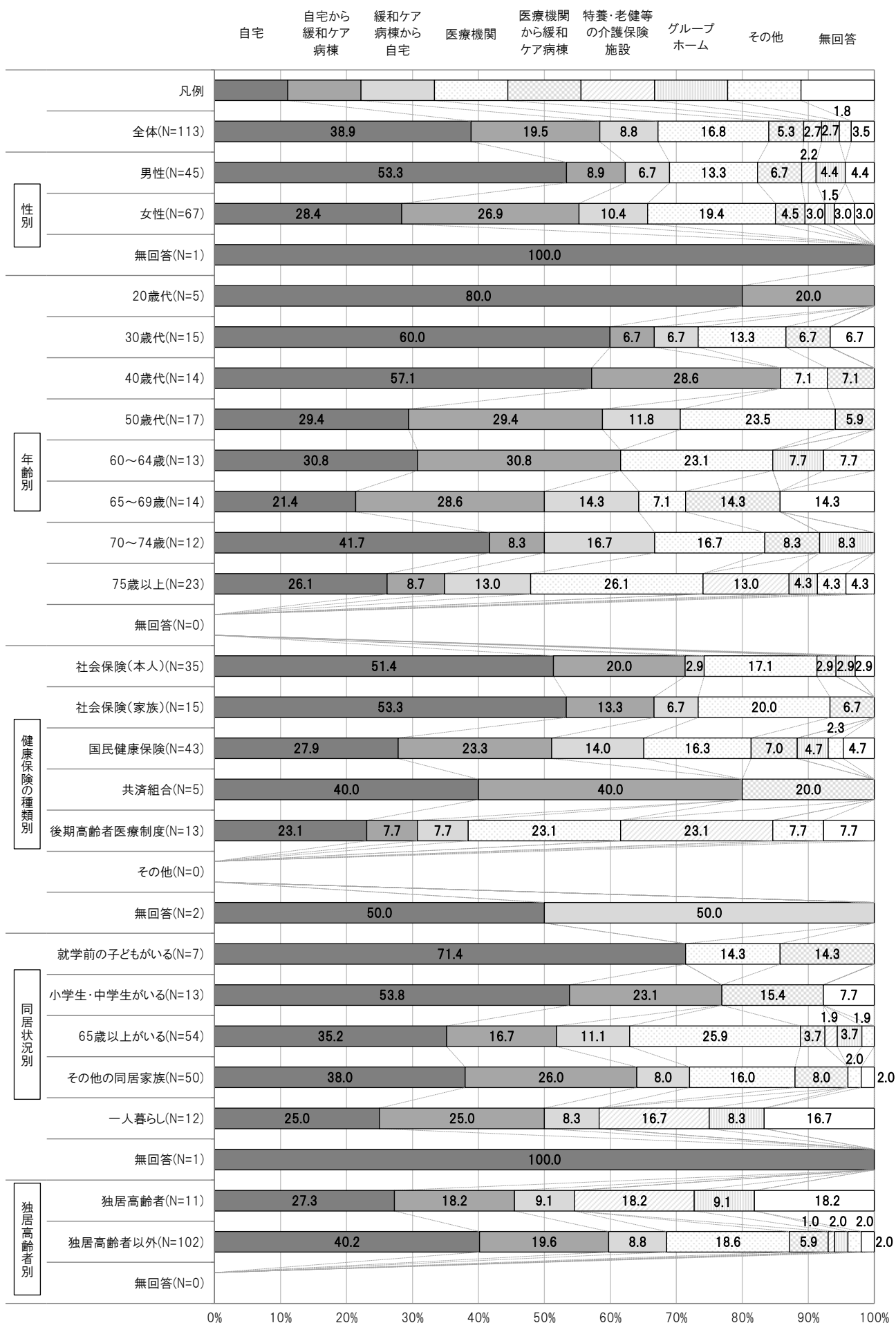
図表 III-205 出水保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



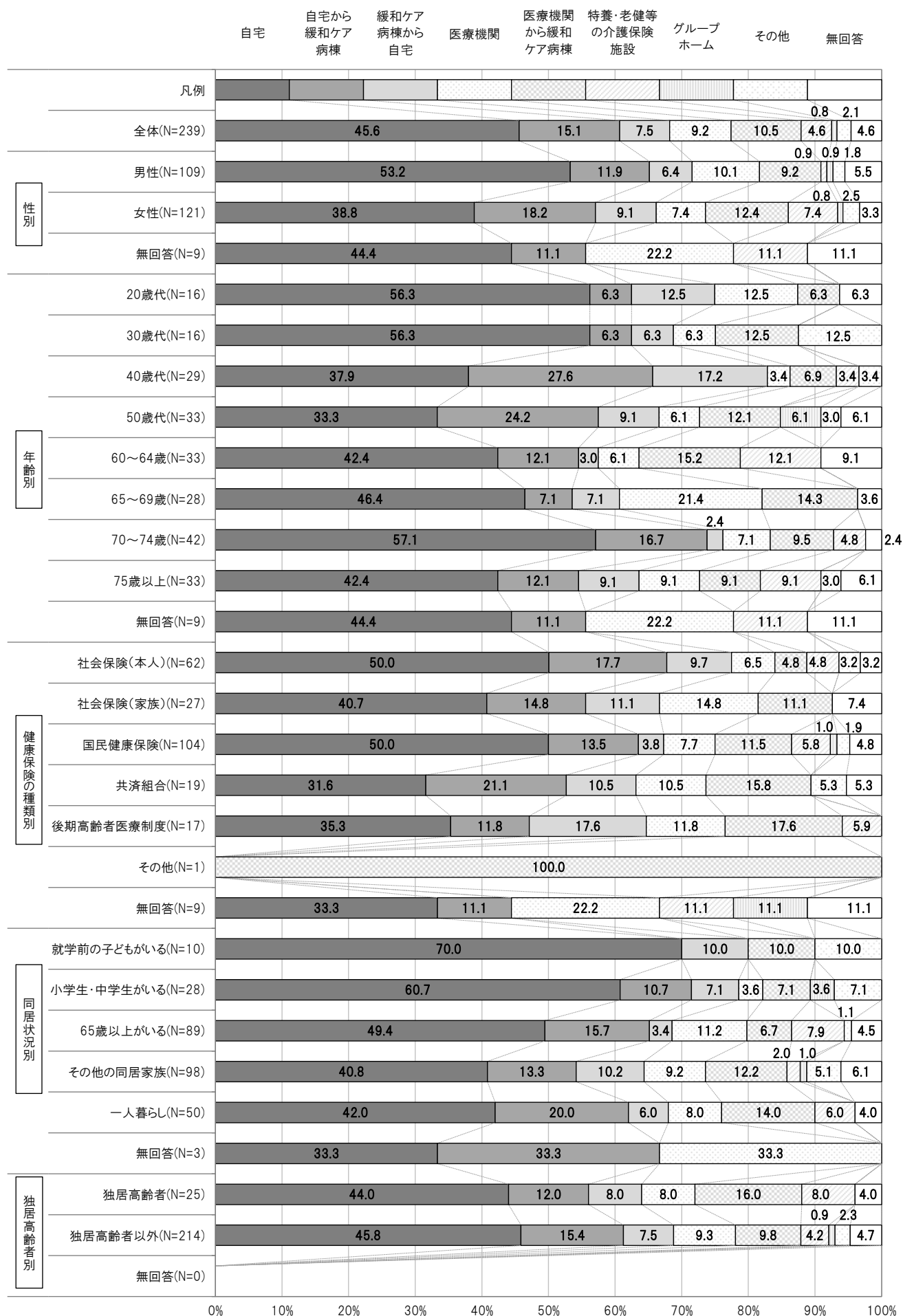
図表 I11-206 始良・伊佐保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



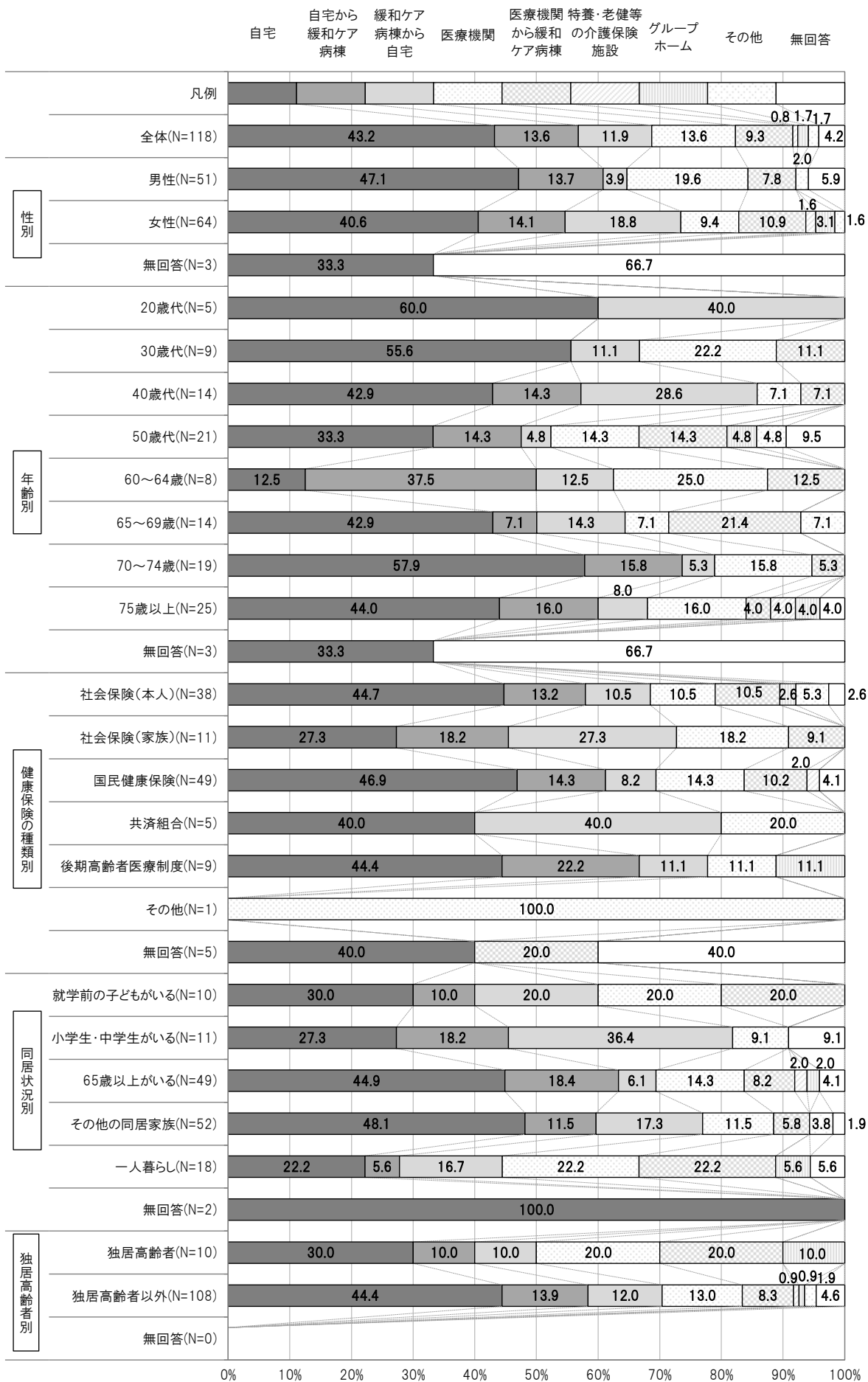
図表 III-207 曾於保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



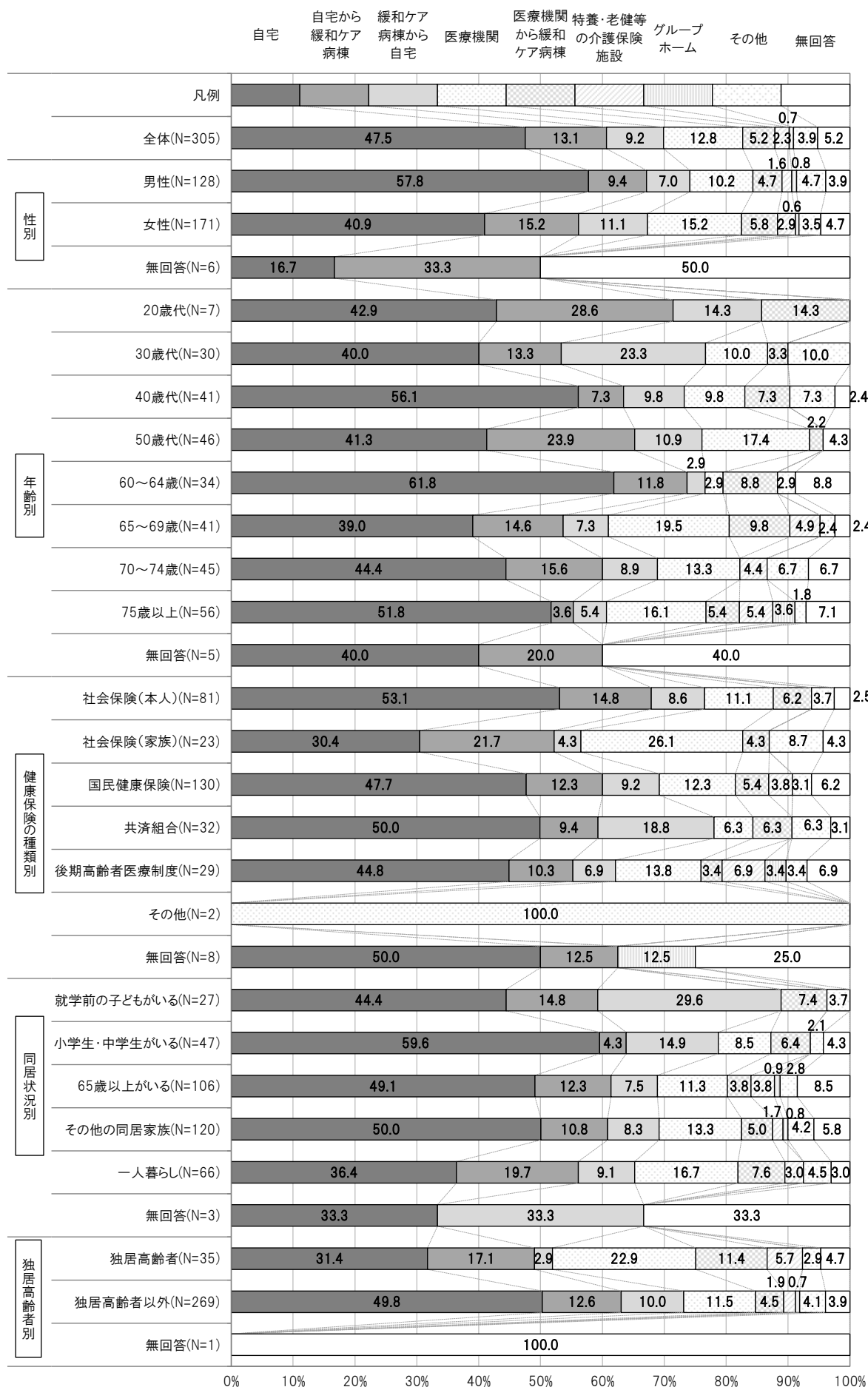
図表 III-208 肝属保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



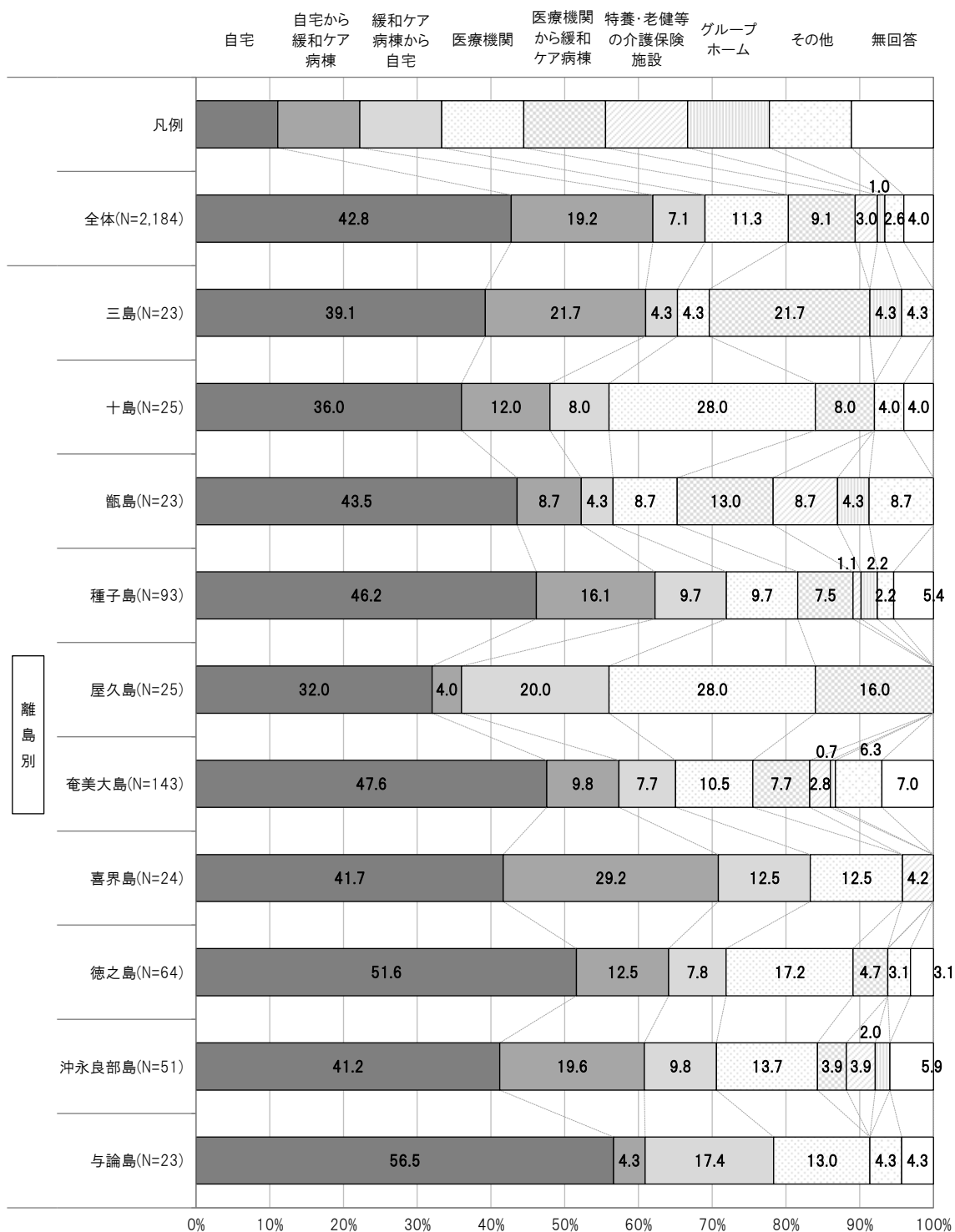
図表 III-209 熊毛保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



図表 III-210 奄美保健医療圏 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



図表 III-211 離島別の分析 自分の最期を迎えたい場所【加重集計前・属性別】



(6) 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの

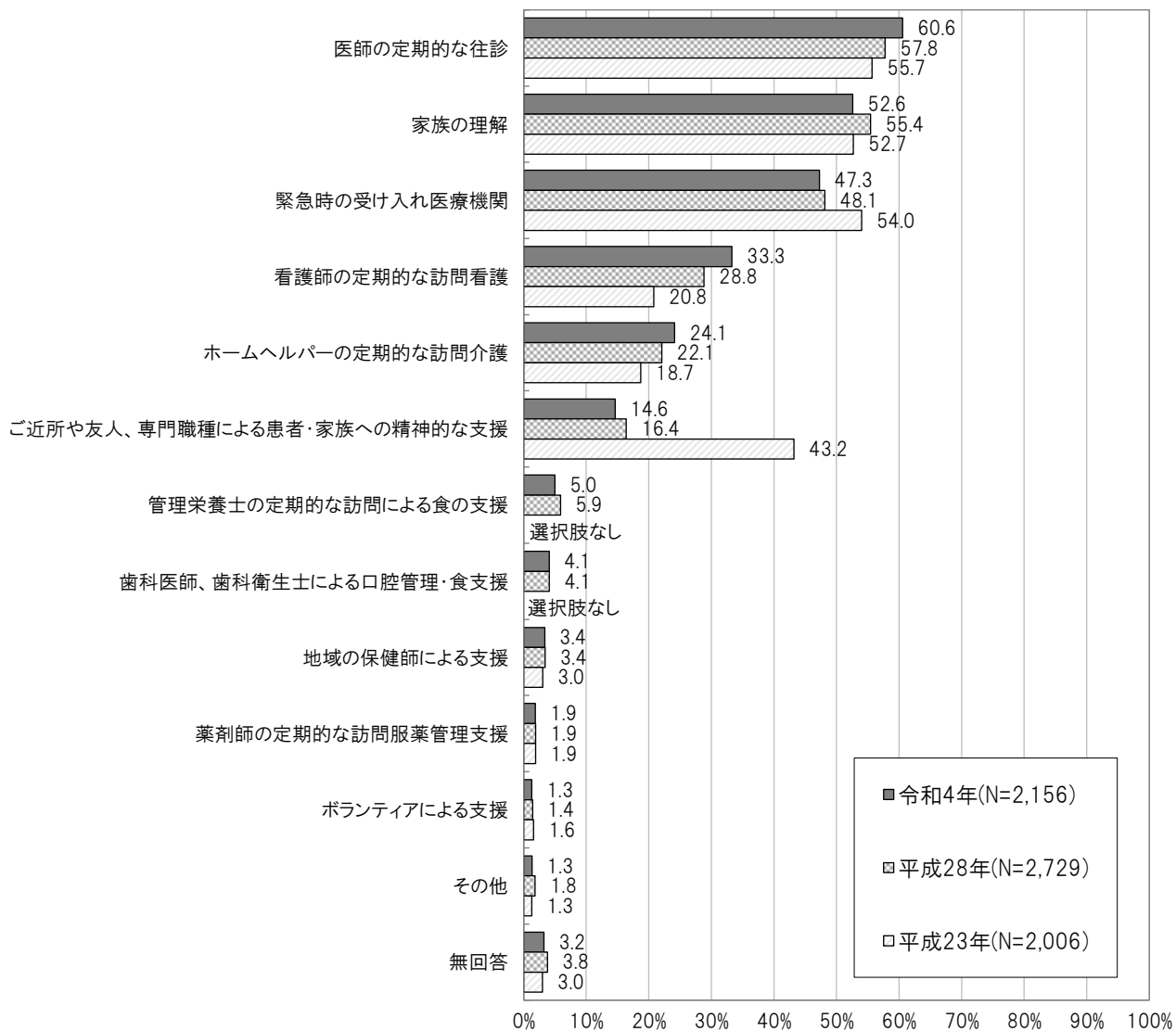
問 15-6 残された日々を自宅で過ごす場合、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

ア. 全体の分析

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(60.6%)が最も高く、次いで「家族の理解」(52.6%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(47.3%)の順となっている。

調査年別にみると、平成23年調査より継続して「医師の定期的な往診」「看護師の定期的な訪問看護」「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」などで増加傾向がみられ、「緊急時の受け入れ医療機関」「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」「ボランティアによる支援」などで減少傾向がみられた。

図表 III-212 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【全体、調査年別】



※ 「緊急時の受け入れ医療機関」は平成23年調査の「緊急時に対応してくれる医療機関」と比較
 ※ 「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」は平成23年調査の「患者・家族への精神的な支援」と比較

二次保健医療圏別にみると、「始良・伊佐保健医療圏」では「医師の定期的な往診」(67.8%)、「看護師の定期的な訪問看護」(37.0%)、「薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援」(3.8%)、「出水保健医療圏」では、「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(23.5%)が他の二次保健医療圏と比較して高い傾向がみられる。

性別にみると、回答傾向に大きな差は見られなかった。

年齢別にみると、高齢になるほど「家族の理解」が低くなる傾向がみられ、20～40歳代では6割を超えているが、70歳以上では5割を下回っている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「看護師の定期的な訪問看護」(34.9%)が他の健康保険と比較して高く、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」では「家族の理解」が他の健康保険と比較して低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「看護師の定期的な訪問看護」が他の同居状況と比較して高く、「65歳以上がいる」と「一人暮らし」は「家族の理解」が他の同居状況と比較して低くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医師の定期的な往診」(58.6%)が最も高く、次いで「緊急時の受け入れ医療機関」(49.0%)となっている。

図表 III-213 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【属性別】 1/2

	医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援	管理栄養士の定期的な訪問による食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援	
全体(N=2,156)	60.6	33.3	4.1	1.9	5.0	47.3	24.1	1.3	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	58.6	33.6	5.1	1.6	5.7	48.8	25.2	1.7
	南薩保健医療圏(N=174)	61.2	34.7	4.7	1.8	4.1	47.4	22.4	0.0
	川薩保健医療圏(N=152)	60.7	33.9	3.0	0.4	4.1	47.5	25.8	0.9
	出水保健医療圏(N=111)	62.1	28.3	4.3	0.0	6.9	42.5	24.9	0.0
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	67.8	37.0	2.8	3.8	3.6	47.1	23.2	0.0
	曾於保健医療圏(N=104)	58.5	30.4	1.6	2.5	3.9	49.5	26.7	0.9
	肝属保健医療圏(N=202)	59.5	30.9	3.0	1.4	5.3	46.1	20.1	2.5
	熊本保健医療圏(N=55)	53.3	30.8	4.0	2.0	4.8	42.9	23.3	2.6
	奄美保健医療圏(N=142)	60.8	31.4	4.5	2.5	5.2	42.5	22.7	2.5
性別	男性(N=943)	62.0	31.2	3.1	1.9	5.4	46.4	21.3	1.0
	女性(N=1,190)	60.0	33.9	4.5	1.8	4.4	49.1	26.1	1.2
	無回答(N=51)	54.9	35.3	2.0	0.0	2.0	23.5	25.5	5.9
年齢別	20歳代(N=108)	57.4	25.0	3.7	7.4	5.6	47.2	21.3	0.9
	30歳代(N=186)	54.8	29.0	3.2	2.7	4.3	46.2	20.4	2.2
	40歳代(N=291)	53.3	32.3	4.5	2.1	2.4	40.9	22.0	1.4
	50歳代(N=328)	62.2	31.4	3.7	0.9	5.2	45.7	27.1	1.8
	60～64歳(N=223)	65.5	35.4	3.1	2.2	4.5	48.9	23.8	0.4
	65～69歳(N=247)	64.4	34.8	3.6	0.8	3.2	57.1	24.3	0.8
	70～74歳(N=288)	64.9	33.7	4.5	0.7	5.9	49.7	24.7	1.0
	75歳以上(N=473)	61.7	34.5	4.0	1.9	6.6	47.6	24.9	0.4
	無回答(N=40)	50.0	30.0	2.5	0.0	0.0	25.0	20.0	7.5
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	59.7	32.6	3.1	2.2	4.2	46.0	24.4	1.3
	社会保険(家族)(N=223)	61.9	33.2	5.4	2.7	3.6	50.7	24.7	0.9
	国民健康保険(N=795)	62.0	33.5	4.0	1.8	5.8	48.4	23.1	1.1
	共済組合(N=161)	58.4	28.0	3.7	0.6	2.5	46.6	22.4	0.6
	後期高齢者医療制度(N=269)	61.0	34.9	4.5	1.5	5.9	50.2	26.4	0.4
	その他(N=9)	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	66.7	22.2	11.1
	無回答(N=59)	55.9	27.1	1.7	0.0	3.4	22.0	22.0	5.1
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	55.8	35.5	2.3	2.9	4.7	42.4	19.2	1.2
	小学生・中学生がいる(N=264)	57.6	35.2	3.4	1.1	2.7	40.5	18.9	1.5
	65歳以上がいる(N=838)	63.5	33.7	3.6	1.9	5.3	50.0	24.6	1.2
	その他の同居家族(N=934)	61.3	34.0	3.6	1.9	4.1	47.9	24.7	1.2
	一人暮らし(N=381)	56.7	30.7	4.2	1.6	5.8	47.8	23.9	1.3
	無回答(N=39)	56.4	25.6	5.1	2.6	5.1	41.0	10.3	0.0
高齢者別 独居	独居高齢者(N=210)	58.6	33.3	4.3	1.4	6.2	49.0	25.7	1.0
	独居高齢者以外(N=1,968)	61.0	32.7	3.8	1.9	4.6	47.3	23.8	1.2
	無回答(N=6)	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

(単位:%)

図表 III-214 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【属性別】 2/2

		地域の保健師による支援	家族の理解	「近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」	その他	無回答
	全体(N=2,156)	3.4	52.6	14.6	1.3	3.2
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	3.6	52.0	13.1	1.5	3.1
	南薩保健医療圏(N=174)	3.0	43.1	14.4	1.1	4.6
	川薩保健医療圏(N=152)	1.7	49.3	16.0	0.9	4.9
	出水保健医療圏(N=111)	1.7	50.4	23.5	0.5	3.3
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	4.1	54.8	12.9	0.9	2.1
	曾於保健医療圏(N=104)	2.9	54.3	13.6	0.9	4.1
	肝属保健医療圏(N=202)	4.1	60.0	14.6	2.1	2.7
	熊毛保健医療圏(N=55)	2.4	54.4	20.5	2.9	3.5
	奄美保健医療圏(N=142)	3.5	55.8	18.2	1.5	2.8
性別	男性(N=943)	4.5	53.3	10.4	1.8	3.5
	女性(N=1,190)	2.9	54.1	18.1	0.6	2.9
	無回答(N=51)	2.0	25.5	13.7	3.9	17.6
年齢別	20歳代(N=108)	2.8	63.9	20.4	0.0	0.9
	30歳代(N=186)	2.2	65.1	24.2	2.7	0.5
	40歳代(N=291)	3.4	64.9	27.8	2.1	1.4
	50歳代(N=328)	3.4	57.9	16.5	0.6	3.0
	60～64歳(N=223)	3.6	54.3	10.3	0.4	3.1
	65～69歳(N=247)	2.4	56.3	9.7	0.8	1.6
	70～74歳(N=288)	2.8	44.4	8.7	1.7	3.8
	75歳以上(N=473)	5.5	40.6	8.5	0.8	6.6
	無回答(N=40)	2.5	27.5	15.0	2.5	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	3.0	60.0	18.0	1.5	1.5
	社会保険(家族)(N=223)	2.2	57.0	21.5	0.4	1.3
	国民健康保険(N=795)	3.3	49.3	9.6	1.0	4.2
	共済組合(N=161)	3.7	64.6	26.7	2.5	3.1
	後期高齢者医療制度(N=269)	6.3	42.0	8.9	0.7	5.2
	その他(N=9)	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1
	無回答(N=59)	1.7	33.9	11.9	1.7	18.6
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	2.9	69.2	20.9	1.2	1.2
	小学生・中学生がいる(N=264)	3.4	65.9	25.0	1.9	1.5
	65歳以上がいる(N=838)	3.6	49.2	9.1	1.6	3.7
	その他の同居家族(N=934)	2.8	61.5	15.4	0.6	2.1
	一人暮らし(N=381)	5.0	40.2	17.6	1.6	6.0
	無回答(N=39)	2.6	48.7	12.8	0.0	10.3
高齢者別	独居高齢者(N=210)	6.2	29.0	14.8	1.0	8.1
	独居高齢者以外(N=1,968)	3.3	55.8	14.7	1.2	2.9
	無回答(N=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3

(単位:%)

イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 321・図表 III-215～図表 III-216)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(57.5%)が最も高く、次いで「家族の理解」(53.0%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(49.0%)の順となっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、20歳代では「家族の理解」(68.9%)、65～69歳では「緊急時の受け入れ医療機関」(63.2%)、70～74歳では「看護師の定期的な訪問看護」(43.3%)、「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(31.7%)、75歳以上では「医師の定期的な往診」(63.0%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「緊急時の受け入れ医療機関」(57.0%)、「共済組合」では「家族の理解」(60.9%)、「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(29.7%)、「後期高齢者医療制度」では「医師の定期的な往診」(59.5%)、「看護師の定期的な訪問看護」(39.3%)、「地域の保健師による支援」(6.0%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、と「小学生・中学生がいる」(42.4%)では「看護師の定期的な訪問看護」、「65歳以上がいる」では「医師の定期的な往診」(61.9%)、「就学前の子どもがいる」では「家族の理解」(65.1%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「家族の理解」(22.2%)が「独居高齢者以外」より33.7ポイント低くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 323・図表 III-217～図表 III-218)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(60.7%)が最も高く、次いで「緊急時の受け入れ医療機関」(48.9%)、「家族の理解」(42.7%)の順となっている。

性別にみると、女性は「家族の理解」(51.1%)が男性と比較して14.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(40.0%)と「家族の理解」(80.0%)、50歳代では「看護師の定期的な訪問看護」(52.2%)、60～64歳では「緊急時の受け入れ医療機関」(66.7%)、「薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援」(11.1%)、65～69歳では「家族の理解」(65.2%)、「歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援」(8.7%)、70～74歳では「医師の定期的な往診」(80.6%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「国民健康保険」、「後期高齢者医療制度」では「医師の定期的な往診」が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「ご近所や友人、専門職種による患者家族への精神的な支援」(30.0%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「家族の理解」が「独居高齢者以外」より26.9ポイント低くなっている。

川薩保健医療圏 (P.325・図表 III-219～図表 III-220)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(63.2%)が最も高く、次いで「家族の理解」(52.0%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(50.0%)の順となっている。

性別にみると、男性は「家族の理解」(60.3%)が女性と比較して12.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「看護師の定期的な訪問看護」(50.0%)、70～74歳では「緊急時の受け入れ医療機関」(66.7%)、75歳以上では「医師の定期的な往診」(72.9%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「緊急時の受け入れ医療機関」(60.9%)、「後期高齢者医療制度」では「医師の定期的な往診」(73.9%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「緊急時の受け入れ医療機関」(66.7%)と「家族の理解」(83.3%)、「小学生・中学生がいる」では「看護師の定期的な訪問看護」(41.2%)と「家族の理解」(70.6%)、「一人暮らし」では「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(34.5%)が他の同居状況と比較して、高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「家族の理解」(35.9%)が「独居高齢者以外」と比較して14.8%低くなっている。

出水保健医療圏 (P.327・図表 III-221～図表 III-222)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(62.3%)が最も高く、次いで「家族の理解」(52.5%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(41.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「医師の定期的な往診」(72.0%)が女性と比較して高く、女性は「家族の理解」(60.6%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(58.8%)、50歳代では「家族の理解」(70.8%)、60～64歳では「看護師の定期的な訪問看護」(63.6%)、65～69歳では「医師の定期的な往診」(72.7%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「家族の理解」(72.7%)と「ご近所や友人、

専門職種による患者・家族への精神的な支援」(45.5%)、「共済組合」では「緊急時の受け入れ医療体制」(66.7%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では、「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(47.6%)、「65歳以上がいる」では「看護師の定期的な訪問看護」(38.3%)、「地域の保健師による支援」(4.3%)、「その他の同居家族」では「家族の理解」(62.7%)、「一人暮らし」では「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(40.0%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医師の定期的な往診」(40.0%)と「家族の理解」(40.0%)が独居高齢者以外と比較して高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P.329・図表 III-223～図表 III-224)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(66.5%)が最も高く、次いで「家族の理解」(52.8%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(47.9%)の順となっている。

性別にみると、女性は「緊急時の受け入れ医療機関」(54.8%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援」(14.3%)、40歳代では「家族の理解」(63.6%)、70～74歳では「医師の定期的な往診」(74.3%)、「看護師の定期的な訪問看護」(42.9%)と「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(27.3%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(60.0%)が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「緊急時の受け入れ医療機関」(57.1%)、「共済組合」では「医師の定期的な往診」(76.5%)、「看護師の定期的な訪問看護」(52.9%)、「家族の理解」(76.5%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「家族の理解」(24.0%)が「独居高齢者以外」より32ポイント低くなっている。

曾於保健医療圏 (P.331・図表 III-225～図表 III-226)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(59.3%)が最も高く、次いで「家族の理解」(54.0%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(52.2%)の順となっている。

性別にみると、男性は「緊急時の受け入れ医療機関」(57.8%)が女性と比較して高く、女性は「医師の定期的な往診」(65.7%)、「家族の理解」(59.7%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「家族の理解」(73.3%)と「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(33.3%)、40歳代では「医師の定期的な往診」(78.6%)、60～64歳では「緊急時の受け入れ医療機関」(61.5%)、70～74歳では「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(41.7%)、75歳以上では「看護師の定期的な訪問看護」(52.2%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」では「緊急時の受け入れ医療機関」（57.1%）、「社会保険（家族）」では「家族の理解」（66.7%）、「後期高齢者医療制度」では「看護師の定期的な訪問看護」（53.8%）、「緊急時の受け入れ医療機関」（76.9%）、「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」（30.8%）が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「家族の理解」（76.9%）、「65歳以上がいる」では「緊急時の受け入れ医療機関」（61.1%）が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「緊急時の受け入れ医療機関」（45.5%）が最も高く、次いで「医師の定期的な往診」（36.4%）の順となっている。

肝属保健医療圏（P. 333・図表 III-227～図表 III-228）

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」（61.1%）が最も高く、次いで「家族の理解」（57.7%）、「緊急時の受け入れ医療機関」（49.0%）の順となっている。

性別にみると、男性は「医師の定期的な往診」（67.9%）が女性と比較して高く、女性は「緊急時の受け入れ医療機関」（52.1%）と「家族の理解」（61.2%）が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」（37.5%）、40歳代では「家族の理解」（86.2%）、「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」（31.0%）、65～69歳では「緊急時の受け入れ医療機関」（67.9%）、75歳以上では「看護師の定期的な訪問看護」（45.5%）が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「家族の理解」（78.9%）、「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」（31.6%）、「後期高齢者医療制度」では「看護師の定期的な訪問看護」（41.2%）が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「家族の理解」（90.0%）が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医師の定期的な往診」（80.0%）が「独居高齢者以外」と比較して21.1ポイント高くなっている。

熊毛保健医療圏（P. 335・図表 III-229～図表 III-230）

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」（54.2%）が最も高く、次いで「家族の理解」（53.4%）、「緊急時の受け入れ医療機関」（42.4%）の順となっている。

性別にみると、男性は「医師の定期的な往診」（64.7%）、「緊急時の受け入れ医療機関」（51.0%）が女性と比較して高く、女性は「看護師の定期的な訪問看護」（40.6%）が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「看護師の定期的な訪問看護」(50.0%)と「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(42.9%)、75歳以上では「医師の定期的な往診」(72.0%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「家族の理解」(73.7%)、「社会保険(家族)」では「緊急時の受け入れ医療機関」(63.6%)、「国民健康保険」では「管理栄養士の定期的な訪問による食の支援」(34.7%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「家族の理解」(80.0%)と「ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援」(40.0%)、「65歳以上がいる」では「医師の定期的な往診」(63.3%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「看護師の定期的な訪問看護」(50.0%)が「独居高齢者以外」と比較して、21.3ポイント高くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 337・図表 III-231～図表 III-232)

残された日々を自宅で過ごす場合に必要なものについて、全体では「医師の定期的な往診」(62.6%)が最も高く、次いで「家族の理解」(56.4%)、「緊急時の受け入れ医療機関」(42.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「家族の理解」(60.9%)が女性と比較して高く、女性は「緊急時の受け入れ医療機関」(46.8%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「家族の理解」(73.3%)、65～69歳では「緊急時の受け入れ医療機関」(63.4%)が他の年代と比較して高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「緊急時の受け入れ医療機関」(55.2%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「家族の理解」(74.5%)、「65歳以上がいる」では「医師の定期的な往診」(67.9%)、「看護師の定期的な訪問看護」(32.1%)、「ホームヘルパーの定期的な訪問介護」(28.3%)が他の同居状況と比較して、高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「緊急時の受け入れ医療機関」(60.0%)と「独居高齢者以外」より19.9ポイント高くなっている。

離島別の分析 (P. 339・図表 III-233～図表 III-234)

離島別にみると、「三島」、「甑島」、「種子島」、「奄美大島」、「徳之島」、「沖永良部島」は「医師の定期的な往診」が、「十島」、「屋久島」、「喜界島」は「家族の理解」が最も高くなっている。「与論島」は「医師の定期的な往診」と「家族の理解」が最も高くなっている。

図表 III-215 鹿児島保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】 1/2

鹿児島 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
	全体(N=645)	57.5	33.6	4.8	1.9	5.4	49.0	25.3	1.6
性別	男性(N=282)	57.1	31.6	3.2	2.8	6.4	49.3	21.6	1.4
	女性(N=351)	57.8	35.0	6.0	1.1	4.8	49.6	28.5	1.7
	無回答(N=12)	58.3	41.7	8.3	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0
年齢別	20歳代(N=45)	51.1	20.0	6.7	4.4	6.7	48.9	22.2	0.0
	30歳代(N=63)	52.4	36.5	3.2	1.6	6.3	47.6	19.0	3.2
	40歳代(N=108)	54.6	30.6	3.7	2.8	3.7	41.7	25.0	2.8
	50歳代(N=103)	60.2	29.1	3.9	0.0	6.8	51.5	29.1	2.9
	60～64歳(N=62)	61.3	30.6	4.8	3.2	8.1	54.8	24.2	0.0
	65～69歳(N=68)	57.4	36.8	5.9	1.5	2.9	63.2	25.0	1.5
	70～74歳(N=60)	53.3	43.3	3.3	1.7	5.0	43.3	31.7	1.7
	75歳以上(N=127)	63.0	38.6	6.3	1.6	5.5	47.2	25.2	0.0
	無回答(N=9)	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	58.7	32.3	3.1	1.3	6.7	48.4	26.9	2.2
	社会保険(家族)(N=79)	58.2	34.2	6.3	1.3	3.8	57.0	20.3	1.3
	国民健康保険(N=180)	56.7	32.8	6.7	3.3	6.1	47.2	25.0	1.7
	共済組合(N=64)	50.0	32.8	1.6	1.6	4.7	48.4	29.7	0.0
	後期高齢者医療制度(N=84)	59.5	39.3	6.0	1.2	3.6	48.8	23.8	0.0
	その他(N=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3
	無回答(N=12)	66.7	33.3	8.3	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	50.8	41.3	3.2	1.6	11.1	42.9	27.0	1.6
	小学生・中学生がいる(N=85)	58.8	42.4	2.4	1.2	3.5	40.0	21.2	2.4
	65歳以上がいる(N=218)	61.9	33.5	4.6	1.8	4.6	53.2	22.9	1.4
	その他の同居家族(N=299)	55.5	34.1	4.0	1.3	5.0	49.5	26.1	1.3
	一人暮らし(N=120)	53.3	30.8	5.8	2.5	7.5	50.8	25.8	1.7
	無回答(N=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	53.7	38.9	9.3	1.9	3.7	53.7	27.8	0.0
	独居高齢者以外(N=590)	57.8	33.1	4.2	1.9	5.6	48.6	25.1	1.7
	無回答(N=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-216 鹿児島保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

鹿児島保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=645)	3.7	53.0	14.4	1.2	2.9
性別	男性(N=282)	4.6	56.4	8.2	1.4	2.8
	女性(N=351)	2.8	51.3	19.7	0.9	2.6
	無回答(N=12)	8.3	25.0	8.3	8.3	16.7
年齢別	20歳代(N=45)	4.4	68.9	28.9	0.0	0.0
	30歳代(N=63)	3.2	63.5	15.9	1.6	0.0
	40歳代(N=108)	4.6	57.4	25.0	2.8	1.9
	50歳代(N=103)	1.9	59.2	17.5	1.0	2.9
	60～64歳(N=62)	6.5	56.5	9.7	0.0	1.6
	65～69歳(N=68)	2.9	57.4	5.9	1.5	0.0
	70～74歳(N=60)	0.0	35.0	5.0	3.3	6.7
	75歳以上(N=127)	4.7	40.2	8.7	0.0	5.5
	無回答(N=9)	11.1	22.2	11.1	0.0	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	2.7	57.4	15.7	1.3	0.9
	社会保険(家族)(N=79)	3.8	58.2	24.1	0.0	1.3
	国民健康保険(N=180)	3.9	50.6	6.7	1.1	3.3
	共済組合(N=64)	3.1	60.9	23.4	4.7	3.1
	後期高齢者医療制度(N=84)	6.0	39.3	10.7	0.0	7.1
	その他(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	無回答(N=12)	8.3	33.3	16.7	0.0	16.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	4.8	65.1	9.5	0.0	1.6
	小学生・中学生がいる(N=85)	3.5	57.6	17.6	1.2	3.5
	65歳以上がいる(N=218)	3.7	50.0	8.7	1.4	3.2
	その他の同居家族(N=299)	2.7	60.2	17.1	0.7	2.3
	一人暮らし(N=120)	5.0	40.0	17.5	2.5	3.3
	無回答(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	5.6	22.2	14.8	1.9	3.7
	独居高齢者以外(N=590)	3.6	55.9	14.4	1.2	2.9
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-217 南薩保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

南薩 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
	全体(N=178)	60.7	34.8	4.5	1.7	3.9	48.9	22.5	0.0
性別	男性(N=80)	62.5	36.3	3.8	1.3	3.8	47.5	16.3	0.0
	女性(N=90)	55.6	32.2	5.6	2.2	4.4	53.3	25.6	0.0
	無回答(N=8)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	66.7	44.4	0.0	0.0	11.1	44.4	22.2	0.0
	40歳代(N=10)	40.0	30.0	0.0	0.0	10.0	50.0	40.0	0.0
	50歳代(N=23)	60.9	52.2	4.3	0.0	0.0	47.8	21.7	0.0
	60～64歳(N=18)	55.6	16.7	5.6	11.1	0.0	66.7	11.1	0.0
	65～69歳(N=23)	60.9	34.8	8.7	4.3	0.0	34.8	26.1	0.0
	70～74歳(N=31)	80.6	25.8	6.5	0.0	3.2	45.2	25.8	0.0
	75歳以上(N=57)	50.9	36.8	3.5	0.0	7.0	52.6	19.3	0.0
	無回答(N=5)	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	58.5	39.6	7.5	0.0	3.8	45.3	20.8	0.0
	社会保険(家族)(N=9)	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	55.6	33.3	0.0
	国民健康保険(N=71)	62.0	32.4	2.8	1.4	2.8	54.9	23.9	0.0
	共済組合(N=4)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	57.1	31.4	5.7	0.0	8.6	48.6	17.1	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	83.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	40.0	40.0	0.0	0.0	10.0	50.0	30.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	65.6	33.3	5.4	2.2	5.4	45.2	20.4	0.0
	その他の同居家族(N=68)	58.8	45.6	4.4	2.9	2.9	55.9	25.0	0.0
	一人暮らし(N=28)	50.0	28.6	3.6	0.0	3.6	57.1	25.0	0.0
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	47.6	28.6	4.8	0.0	4.8	52.4	28.6	0.0
	独居高齢者以外(N=157)	62.4	35.7	4.5	1.9	3.8	48.4	21.7	0.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-218 南薩保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】 2/2

南薩 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=178)	2.8	42.7	14.0	1.1	4.5
性別	男性(N=80)	3.8	36.3	8.8	2.5	6.3
	女性(N=90)	2.2	51.1	17.8	0.0	3.3
	無回答(N=8)	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	0.0	55.6	11.1	0.0	0.0
	40歳代(N=10)	0.0	80.0	30.0	0.0	0.0
	50歳代(N=23)	0.0	52.2	13.0	0.0	4.3
	60～64歳(N=18)	0.0	27.8	22.2	0.0	0.0
	65～69歳(N=23)	0.0	65.2	17.4	4.3	0.0
	70～74歳(N=31)	0.0	35.5	12.9	0.0	9.7
	75歳以上(N=57)	8.8	29.8	7.0	1.8	7.0
	無回答(N=5)	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=53)	0.0	54.7	11.3	0.0	5.7
	社会保険(家族)(N=9)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	国民健康保険(N=71)	1.4	38.0	15.5	1.4	2.8
	共済組合(N=4)	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=35)	11.4	31.4	5.7	2.9	8.6
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=6)	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=6)	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=10)	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=93)	4.3	45.2	12.9	1.1	4.3
	その他の同居家族(N=68)	0.0	60.3	10.3	1.5	1.5
	一人暮らし(N=28)	3.6	14.3	14.3	0.0	7.1
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
高齢者別	独居高齢者(N=21)	4.8	19.0	9.5	0.0	4.8
	独居高齢者以外(N=157)	2.5	45.9	14.6	1.3	4.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-219 川薩保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

川薩 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
性別	全体(N=152)	63.2	29.6	3.9	0.7	3.9	50.0	25.7	0.7
	男性(N=58)	58.6	32.8	0.0	1.7	5.2	58.6	24.1	0.0
	女性(N=92)	66.3	28.3	6.5	0.0	3.3	45.7	27.2	1.1
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=4)	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	30歳代(N=8)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	62.5	25.0	0.0
	40歳代(N=23)	52.2	30.4	4.3	0.0	0.0	52.2	17.4	0.0
	50歳代(N=21)	57.1	33.3	9.5	0.0	0.0	57.1	33.3	0.0
	60~64歳(N=14)	64.3	50.0	0.0	0.0	0.0	57.1	21.4	0.0
	65~69歳(N=14)	71.4	35.7	0.0	0.0	7.1	50.0	35.7	0.0
	70~74歳(N=18)	55.6	38.9	0.0	0.0	5.6	66.7	11.1	0.0
	75歳以上(N=48)	72.9	16.7	4.2	2.1	8.3	39.6	31.3	2.1
無回答(N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	54.3	34.8	2.2	0.0	0.0	60.9	19.6	0.0
	社会保険(家族)(N=19)	73.7	36.8	5.3	0.0	0.0	52.6	31.6	0.0
	国民健康保険(N=55)	65.5	32.7	5.5	1.8	7.3	50.9	23.6	1.8
	共済組合(N=6)	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	後期高齢者医療制度(N=23)	73.9	8.7	0.0	0.0	8.7	34.8	34.8	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	41.7	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	58.8	41.2	0.0	0.0	0.0	41.2	11.8	0.0
	65歳以上がいる(N=61)	63.9	27.9	4.9	0.0	3.3	49.2	23.0	1.6
	その他の同居家族(N=59)	64.4	37.3	5.1	0.0	1.7	54.2	25.4	0.0
	一人暮らし(N=29)	62.1	20.7	3.4	0.0	10.3	44.8	34.5	0.0
	無回答(N=3)	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=18)	61.1	27.8	0.0	0.0	16.7	44.4	33.3	0.0
	独居高齢者以外(N=134)	63.4	29.9	4.5	0.7	2.2	50.7	24.6	0.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-220 川薩保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】 2/2

川薩 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=152)	2.0	52.0	13.2	0.7	5.3
性別	男性(N=58)	3.4	60.3	13.8	0.0	0.0
	女性(N=92)	1.1	47.8	13.0	1.1	7.6
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	20歳代(N=4)	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	0.0	87.5	25.0	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	0.0	65.2	26.1	4.3	0.0
	50歳代(N=21)	4.8	42.9	19.0	0.0	0.0
	60～64歳(N=14)	0.0	57.1	14.3	0.0	7.1
	65～69歳(N=14)	0.0	42.9	0.0	0.0	7.1
	70～74歳(N=18)	5.6	44.4	11.1	0.0	5.6
	75歳以上(N=48)	2.1	47.9	8.3	0.0	10.4
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=46)	4.3	69.6	19.6	0.0	0.0
	社会保険(家族)(N=19)	0.0	52.6	15.8	5.3	0.0
	国民健康保険(N=55)	1.8	36.4	7.3	0.0	7.3
	共済組合(N=6)	0.0	66.7	33.3	0.0	16.7
	後期高齢者医療制度(N=23)	0.0	56.5	8.7	0.0	8.7
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=12)	0.0	83.3	25.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=17)	5.9	70.6	17.6	5.9	0.0
	65歳以上がいる(N=61)	3.3	42.6	4.9	1.6	9.8
	その他の同居家族(N=59)	0.0	66.1	11.9	0.0	0.0
	一人暮らし(N=29)	0.0	37.9	24.1	0.0	6.9
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=18)	0.0	38.9	16.7	0.0	11.1
	独居高齢者以外(N=134)	2.2	53.7	12.7	0.7	4.5
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-221 出水保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

出水保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援	管理栄養士の定期的な訪問による食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
	全体(N=122)	62.3	27.9	4.1	0.0	6.6	41.8	24.6	0.0
性別	男性(N=50)	72.0	22.0	8.0	0.0	12.0	40.0	30.0	0.0
	女性(N=71)	56.3	32.4	1.4	0.0	2.8	43.7	21.1	0.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=3)	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	30歳代(N=10)	70.0	0.0	10.0	0.0	10.0	50.0	30.0	0.0
	40歳代(N=17)	52.9	29.4	5.9	0.0	0.0	29.4	11.8	0.0
	50歳代(N=24)	62.5	25.0	8.3	0.0	0.0	41.7	29.2	0.0
	60~64歳(N=11)	63.6	63.6	0.0	0.0	0.0	36.4	54.5	0.0
	65~69歳(N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	18.2	45.5	36.4	0.0
	70~74歳(N=18)	44.4	27.8	0.0	0.0	22.2	44.4	11.1	0.0
	75歳以上(N=27)	70.4	25.9	3.7	0.0	3.7	48.1	18.5	0.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	63.4	31.7	9.8	0.0	2.4	46.3	31.7	0.0
	社会保険(家族)(N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
	国民健康保険(N=43)	53.5	30.2	0.0	0.0	11.6	37.2	18.6	0.0
	共済組合(N=9)	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	後期高齢者医療制度(N=15)	73.3	26.7	6.7	0.0	13.3	53.3	26.7	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	27.3	27.3	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	71.4	23.8	4.8	0.0	0.0	28.6	23.8	0.0
	65歳以上がいる(N=47)	57.4	38.3	0.0	0.0	10.6	46.8	19.1	0.0
	その他の同居家族(N=59)	71.2	28.8	5.1	0.0	5.1	47.5	25.4	0.0
	一人暮らし(N=15)	33.3	26.7	6.7	0.0	6.7	20.0	40.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0
	独居高齢者以外(N=112)	64.3	28.6	4.5	0.0	6.3	43.8	24.1	0.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-222 出水保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

出水 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
全体(N=122)		1.6	52.5	22.1	0.8	3.3
性別	男性(N=50)	4.0	42.0	16.0	2.0	0.0
	女性(N=71)	0.0	60.6	26.8	0.0	4.2
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	20歳代(N=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=10)	0.0	40.0	30.0	0.0	0.0
	40歳代(N=17)	0.0	58.8	58.8	0.0	0.0
	50歳代(N=24)	0.0	70.8	29.2	0.0	0.0
	60～64歳(N=11)	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=11)	0.0	54.5	18.2	0.0	0.0
	70～74歳(N=18)	0.0	55.6	11.1	5.6	5.6
	75歳以上(N=27)	7.4	37.0	11.1	0.0	7.4
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	0.0	51.2	29.3	0.0	0.0
	社会保険(家族)(N=11)	0.0	72.7	45.5	0.0	0.0
	国民健康保険(N=43)	0.0	53.5	14.0	2.3	4.7
	共済組合(N=9)	0.0	55.6	22.2	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=15)	13.3	46.7	13.3	0.0	0.0
	その他(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	0.0	45.5	45.5	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=21)	0.0	57.1	47.6	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=47)	4.3	51.1	17.0	2.1	2.1
	その他の同居家族(N=59)	0.0	62.7	18.6	0.0	0.0
	一人暮らし(N=15)	0.0	33.3	13.3	0.0	20.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	0.0	40.0	10.0	0.0	30.0
	独居高齢者以外(N=112)	1.8	53.6	23.2	0.9	0.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-223 始良・伊佐保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

始良・伊佐 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
性別	全体(N=284)	66.5	37.3	2.8	3.2	3.5	47.9	23.9	0.0
	男性(N=132)	68.9	40.2	1.5	3.8	3.0	40.9	22.7	0.0
	女性(N=146)	64.4	34.2	4.1	2.7	3.4	54.8	24.0	0.0
	無回答(N=6)	66.7	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
年齢別	20歳代(N=21)	66.7	38.1	0.0	14.3	0.0	47.6	19.0	0.0
	30歳代(N=26)	61.5	38.5	0.0	3.8	3.8	46.2	23.1	0.0
	40歳代(N=33)	51.5	39.4	9.1	6.1	0.0	42.4	18.2	0.0
	50歳代(N=37)	73.0	29.7	2.7	2.7	8.1	43.2	27.0	0.0
	60~64歳(N=27)	74.1	37.0	7.4	0.0	3.7	40.7	25.9	0.0
	65~69歳(N=33)	72.7	33.3	0.0	0.0	6.1	51.5	21.2	0.0
	70~74歳(N=35)	74.3	42.9	2.9	2.9	0.0	60.0	17.1	0.0
	75歳以上(N=68)	63.2	38.2	1.5	1.5	4.4	48.5	29.4	0.0
	無回答(N=4)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	64.3	39.3	2.4	7.1	1.2	42.9	22.6	0.0
	社会保険(家族)(N=28)	67.9	32.1	3.6	3.6	7.1	57.1	25.0	0.0
	国民健康保険(N=106)	66.0	34.9	2.8	1.9	3.8	50.9	26.4	0.0
	共済組合(N=17)	76.5	52.9	5.9	0.0	5.9	35.3	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	68.3	39.0	2.4	0.0	4.9	51.2	26.8	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	56.0	44.0	0.0	12.0	0.0	40.0	12.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	43.3	43.3	6.7	3.3	0.0	33.3	20.0	0.0
	65歳以上がいる(N=117)	69.2	35.0	2.6	3.4	4.3	51.3	29.9	0.0
	その他の同居家族(N=124)	70.2	34.7	3.2	3.2	2.4	49.2	24.2	0.0
	一人暮らし(N=42)	64.3	42.9	0.0	2.4	2.4	47.6	11.9	0.0
	無回答(N=4)	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	68.0	44.0	0.0	0.0	0.0	48.0	12.0	0.0
	独居高齢者以外(N=257)	66.9	36.6	3.1	3.5	3.9	47.9	24.9	0.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

(単位:%)

図表 111-224 始良・伊佐保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

始良・伊佐 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
全体(N=284)		4.2	52.8	11.6	0.7	2.8
性別	男性(N=132)	6.1	52.3	8.3	1.5	1.5
	女性(N=146)	2.7	55.5	15.1	0.0	3.4
	無回答(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
年齢別	20歳代(N=21)	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0
	30歳代(N=26)	0.0	57.7	26.9	0.0	0.0
	40歳代(N=33)	6.1	63.6	27.3	3.0	0.0
	50歳代(N=37)	8.1	62.2	8.1	2.7	0.0
	60～64歳(N=27)	3.7	59.3	7.4	0.0	0.0
	65～69歳(N=33)	0.0	57.6	6.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=35)	5.7	42.9	8.6	0.0	0.0
	75歳以上(N=68)	5.9	42.6	5.9	0.0	10.3
無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	6.0	58.3	11.9	2.4	0.0
	社会保険(家族)(N=28)	0.0	60.7	25.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=106)	2.8	47.2	8.5	0.0	3.8
	共済組合(N=17)	5.9	76.5	23.5	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=41)	7.3	46.3	7.3	0.0	4.9
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	4.0	56.0	24.0	4.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=30)	3.3	66.7	33.3	3.3	0.0
	65歳以上がいる(N=117)	4.3	47.9	6.8	0.9	1.7
	その他の同居家族(N=124)	4.0	63.7	13.7	0.8	0.0
	一人暮らし(N=42)	7.1	38.1	9.5	0.0	11.9
	無回答(N=4)	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	8.0	24.0	12.0	0.0	20.0
	独居高齢者以外(N=257)	3.9	56.0	11.7	0.8	0.8
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

(単位: %)

図表 III-225 曾於保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

曾於 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
性別	全体(N=113)	59.3	31.0	1.8	2.7	3.5	52.2	24.8	0.9
	男性(N=45)	48.9	24.4	2.2	2.2	2.2	57.8	24.4	2.2
	女性(N=67)	65.7	34.3	1.5	3.0	4.5	49.3	23.9	0.0
	無回答(N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0	20.0	0.0
	30歳代(N=15)	60.0	20.0	0.0	6.7	0.0	53.3	13.3	0.0
	40歳代(N=14)	78.6	35.7	0.0	7.1	0.0	35.7	21.4	0.0
	50歳代(N=17)	76.5	41.2	0.0	0.0	5.9	35.3	35.3	0.0
	60～64歳(N=13)	61.5	30.8	0.0	0.0	7.7	61.5	23.1	0.0
	65～69歳(N=14)	35.7	21.4	7.1	0.0	0.0	50.0	21.4	0.0
	70～74歳(N=12)	66.7	8.3	8.3	0.0	16.7	50.0	41.7	8.3
	75歳以上(N=23)	39.1	52.2	0.0	0.0	0.0	60.9	21.7	0.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	65.7	25.7	0.0	5.7	2.9	57.1	22.9	0.0
	社会保険(家族)(N=15)	66.7	40.0	0.0	6.7	6.7	33.3	13.3	0.0
	国民健康保険(N=43)	60.5	30.2	4.7	0.0	4.7	44.2	30.2	2.3
	共済組合(N=5)	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	20.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	30.8	53.8	0.0	0.0	0.0	76.9	30.8	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	57.1	57.1	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=13)	76.9	30.8	0.0	0.0	0.0	53.8	7.7	0.0
	65歳以上がいる(N=54)	57.4	31.5	1.9	1.9	3.7	61.1	29.6	1.9
	その他の同居家族(N=50)	66.0	30.0	0.0	4.0	4.0	52.0	22.0	0.0
	一人暮らし(N=12)	41.7	8.3	8.3	0.0	8.3	41.7	25.0	0.0
	無回答(N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	45.5	27.3	0.0
	独居高齢者以外(N=102)	61.8	33.3	1.0	2.9	2.9	52.9	24.5	1.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-226 曾於保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

曾於 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=113)	2.7	54.0	14.2	0.9	3.5
性別	男性(N=45)	0.0	46.7	11.1	0.0	6.7
	女性(N=67)	4.5	59.7	16.4	1.5	1.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	30歳代(N=15)	0.0	73.3	33.3	6.7	0.0
	40歳代(N=14)	0.0	57.1	7.1	0.0	0.0
	50歳代(N=17)	5.9	52.9	5.9	0.0	0.0
	60～64歳(N=13)	0.0	46.2	15.4	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	0.0	42.9	21.4	0.0	21.4
	70～74歳(N=12)	0.0	66.7	8.3	0.0	0.0
	75歳以上(N=23)	8.7	43.5	8.7	0.0	4.3
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	2.9	57.1	14.3	0.0	0.0
	社会保険(家族)(N=15)	0.0	66.7	20.0	0.0	6.7
	国民健康保険(N=43)	4.7	48.8	14.0	0.0	4.7
	共済組合(N=5)	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=13)	0.0	38.5	15.4	0.0	0.0
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	0.0	85.7	42.9	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=13)	0.0	76.9	15.4	7.7	0.0
	65歳以上がいる(N=54)	1.9	55.6	5.6	1.9	1.9
	その他の同居家族(N=50)	2.0	58.0	18.0	2.0	2.0
	一人暮らし(N=12)	8.3	33.3	16.7	0.0	25.0
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=11)	9.1	27.3	9.1	0.0	27.3
	独居高齢者以外(N=102)	2.0	56.9	14.7	1.0	1.0
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位: %)

図表 III-227 肝属保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

肝属保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援	管理栄養士の定期的な訪問による食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
性別	全体(N=239)	61.1	32.6	2.9	1.7	5.9	49.0	20.9	2.1
	男性(N=109)	67.9	29.4	3.7	0.9	8.3	46.8	18.3	0.9
	女性(N=121)	57.0	36.4	2.5	2.5	4.1	52.1	22.3	1.7
	無回答(N=9)	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	22.2
年齢別	20歳代(N=16)	37.5	25.0	0.0	6.3	12.5	43.8	18.8	0.0
	30歳代(N=16)	68.8	25.0	0.0	6.3	0.0	43.8	37.5	0.0
	40歳代(N=29)	44.8	31.0	6.9	0.0	6.9	55.2	6.9	0.0
	50歳代(N=33)	57.6	33.3	3.0	0.0	12.1	51.5	18.2	6.1
	60~64歳(N=33)	66.7	36.4	0.0	0.0	3.0	45.5	24.2	3.0
	65~69歳(N=28)	75.0	32.1	3.6	0.0	0.0	67.9	21.4	0.0
	70~74歳(N=42)	76.2	28.6	4.8	0.0	7.1	42.9	26.2	0.0
	75歳以上(N=33)	57.6	45.5	3.0	6.1	6.1	48.5	15.2	0.0
無回答(N=9)	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3	22.2	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	56.5	27.4	3.2	1.6	8.1	51.6	21.0	1.6
	社会保険(家族)(N=27)	63.0	33.3	7.4	0.0	7.4	48.1	29.6	0.0
	国民健康保険(N=104)	68.3	39.4	1.9	1.9	3.8	50.0	18.3	1.9
	共済組合(N=19)	57.9	10.5	0.0	0.0	0.0	47.4	21.1	0.0
	後期高齢者医療制度(N=17)	47.1	41.2	5.9	5.9	11.8	41.2	17.6	0.0
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	22.2
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	60.0	20.0	0.0	10.0	0.0	50.0	10.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	50.0	21.4	3.6	0.0	10.7	50.0	14.3	3.6
	65歳以上がいる(N=89)	58.4	36.0	3.4	3.4	4.5	49.4	21.3	2.2
	その他の同居家族(N=98)	62.2	35.7	3.1	1.0	8.2	42.9	21.4	3.1
	一人暮らし(N=50)	70.0	34.0	0.0	0.0	4.0	54.0	20.0	2.0
	無回答(N=3)	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	80.0	32.0	0.0	0.0	4.0	44.0	24.0	0.0
	独居高齢者以外(N=214)	58.9	32.7	3.3	1.9	6.1	49.5	20.6	2.3
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-228 肝属保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

肝属 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=239)	3.8	57.7	11.3	1.3	2.5
性別	男性(N=109)	2.8	54.1	5.5	2.8	3.7
	女性(N=121)	5.0	61.2	15.7	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	55.6	22.2	0.0	22.2
年齢別	20歳代(N=16)	6.3	56.3	18.8	0.0	6.3
	30歳代(N=16)	12.5	68.8	12.5	6.3	0.0
	40歳代(N=29)	0.0	86.2	31.0	0.0	0.0
	50歳代(N=33)	3.0	51.5	9.1	0.0	6.1
	60～64歳(N=33)	6.1	66.7	9.1	3.0	0.0
	65～69歳(N=28)	0.0	46.4	7.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=42)	4.8	54.8	4.8	2.4	0.0
	75歳以上(N=33)	3.0	42.4	3.0	0.0	3.0
	無回答(N=9)	0.0	44.4	22.2	0.0	22.2
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=62)	3.2	69.4	17.7	3.2	0.0
	社会保険(家族)(N=27)	7.4	44.4	14.8	0.0	3.7
	国民健康保険(N=104)	2.9	52.9	3.8	1.0	1.9
	共済組合(N=19)	5.3	78.9	31.6	0.0	5.3
	後期高齢者医療制度(N=17)	0.0	52.9	0.0	0.0	0.0
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=9)	0.0	44.4	22.2	0.0	22.2
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	10.0	90.0	0.0	10.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=28)	3.6	78.6	32.1	0.0	0.0
	65歳以上がいる(N=89)	1.1	52.8	4.5	2.2	3.4
	その他の同居家族(N=98)	5.1	64.3	10.2	0.0	2.0
	一人暮らし(N=50)	6.0	46.0	16.0	0.0	2.0
	無回答(N=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=25)	8.0	40.0	12.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=214)	3.3	59.8	11.2	1.4	2.8
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-229 熊毛保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

熊毛 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
	全体(N=118)	54.2	30.5	4.2	1.7	5.1	42.4	23.7	1.7
性別	男性(N=51)	64.7	19.6	3.9	0.0	5.9	51.0	11.8	0.0
	女性(N=64)	48.4	40.6	4.7	3.1	4.7	35.9	34.4	3.1
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	30歳代(N=9)	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	35.7	50.0	7.1	0.0	0.0	21.4	42.9	0.0
	50歳代(N=21)	52.4	19.0	0.0	0.0	0.0	33.3	28.6	0.0
	60～64歳(N=8)	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5	25.0	0.0
	65～69歳(N=14)	57.1	42.9	0.0	0.0	7.1	57.1	14.3	7.1
	70～74歳(N=19)	63.2	31.6	10.5	0.0	0.0	47.4	31.6	5.3
	75歳以上(N=25)	72.0	32.0	4.0	4.0	20.0	32.0	20.0	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	52.6	23.7	0.0	2.6	0.0	36.8	23.7	0.0
	社会保険(家族)(N=11)	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0	63.6	45.5	0.0
	国民健康保険(N=49)	57.1	34.7	8.2	2.0	12.2	38.8	18.4	4.1
	共済組合(N=5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	77.8	55.6	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6	0.0
	その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	30.0	40.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	27.3	36.4	9.1	0.0	0.0	45.5	27.3	0.0
	65歳以上がいる(N=49)	63.3	34.7	6.1	4.1	10.2	40.8	24.5	2.0
	その他の同居家族(N=52)	57.7	30.8	1.9	1.9	1.9	46.2	25.0	1.9
	一人暮らし(N=18)	33.3	27.8	5.6	0.0	5.6	22.2	22.2	5.6
	無回答(N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	50.0	50.0	0.0	0.0	10.0	30.0	30.0	10.0
	独居高齢者以外(N=108)	54.6	28.7	4.6	1.9	4.6	43.5	23.1	0.9
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-230 熊毛保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】 2/2

熊毛 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=118)	3.4	53.4	17.8	3.4	3.4
性別	男性(N=51)	2.0	56.9	13.7	3.9	7.8
	女性(N=64)	4.7	50.0	21.9	1.6	0.0
	無回答(N=3)	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
年齢別	20歳代(N=5)	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	0.0	66.7	44.4	0.0	0.0
	40歳代(N=14)	0.0	57.1	42.9	7.1	0.0
	50歳代(N=21)	0.0	57.1	19.0	0.0	14.3
	60～64歳(N=8)	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	65～69歳(N=14)	0.0	64.3	7.1	0.0	0.0
	70～74歳(N=19)	10.5	36.8	10.5	0.0	0.0
	75歳以上(N=25)	8.0	40.0	8.0	8.0	4.0
	無回答(N=3)	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	0.0	73.7	28.9	2.6	5.3
	社会保険(家族)(N=11)	0.0	45.5	9.1	0.0	0.0
	国民健康保険(N=49)	8.2	40.8	12.2	4.1	4.1
	共済組合(N=5)	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=9)	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0
	その他(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=5)	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0
	小学生・中学生がいる(N=11)	0.0	45.5	18.2	9.1	0.0
	65歳以上がいる(N=49)	6.1	38.8	10.2	4.1	2.0
	その他の同居家族(N=52)	0.0	67.3	17.3	0.0	1.9
	一人暮らし(N=18)	5.6	55.6	27.8	5.6	11.1
	無回答(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=10)	10.0	50.0	30.0	0.0	0.0
	独居高齢者以外(N=108)	2.8	53.7	16.7	3.7	3.7
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-231 奄美保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2

奄美 保健医療圏 1/2		医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔 管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管 理支援	管理栄養士の定期的な訪問に よる食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護 ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援
性別	全体(N=305)	62.6	30.5	3.9	2.0	4.3	42.3	24.3	2.3
	男性(N=128)	63.3	30.5	3.1	0.8	2.3	37.5	22.7	2.3
	女性(N=171)	63.7	30.4	4.7	2.9	5.8	46.8	26.3	1.8
	無回答(N=6)	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
年齢別	20歳代(N=7)	71.4	42.9	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3
	30歳代(N=30)	46.7	13.3	6.7	0.0	3.3	33.3	16.7	6.7
	40歳代(N=41)	56.1	29.3	2.4	0.0	0.0	29.3	24.4	2.4
	50歳代(N=46)	65.2	30.4	2.2	4.3	4.3	34.8	26.1	2.2
	60～64歳(N=34)	73.5	41.2	2.9	2.9	5.9	29.4	20.6	0.0
	65～69歳(N=41)	73.2	36.6	2.4	0.0	0.0	63.4	24.4	0.0
	70～74歳(N=45)	62.2	31.1	6.7	0.0	6.7	55.6	24.4	0.0
	75歳以上(N=56)	60.7	26.8	5.4	3.6	7.1	50.0	30.4	1.8
	無回答(N=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	63.0	30.9	1.2	2.5	3.7	29.6	25.9	3.7
	社会保険(家族)(N=23)	65.2	39.1	13.0	4.3	0.0	39.1	26.1	4.3
	国民健康保険(N=130)	65.4	31.5	3.1	0.8	5.4	51.5	22.3	0.0
	共済組合(N=32)	62.5	18.8	6.3	0.0	0.0	37.5	21.9	3.1
	後期高齢者医療制度(N=29)	58.6	27.6	6.9	6.9	6.9	55.2	31.0	3.4
	その他(N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	無回答(N=8)	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	66.7	22.2	3.7	0.0	3.7	33.3	22.2	3.7
	小学生・中学生がいる(N=47)	66.0	29.8	4.3	2.1	0.0	36.2	17.0	2.1
	65歳以上がいる(N=106)	67.9	32.1	1.9	0.0	5.7	48.1	28.3	1.9
	その他の同居家族(N=120)	61.7	29.2	4.2	3.3	2.5	38.3	25.8	2.5
	一人暮らし(N=66)	62.1	30.3	6.1	3.0	4.5	48.5	22.7	1.5
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=35)	62.9	28.6	5.7	5.7	8.6	60.0	25.7	2.9
	独居高齢者以外(N=269)	62.8	30.9	3.7	1.5	3.7	40.1	24.2	2.2
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

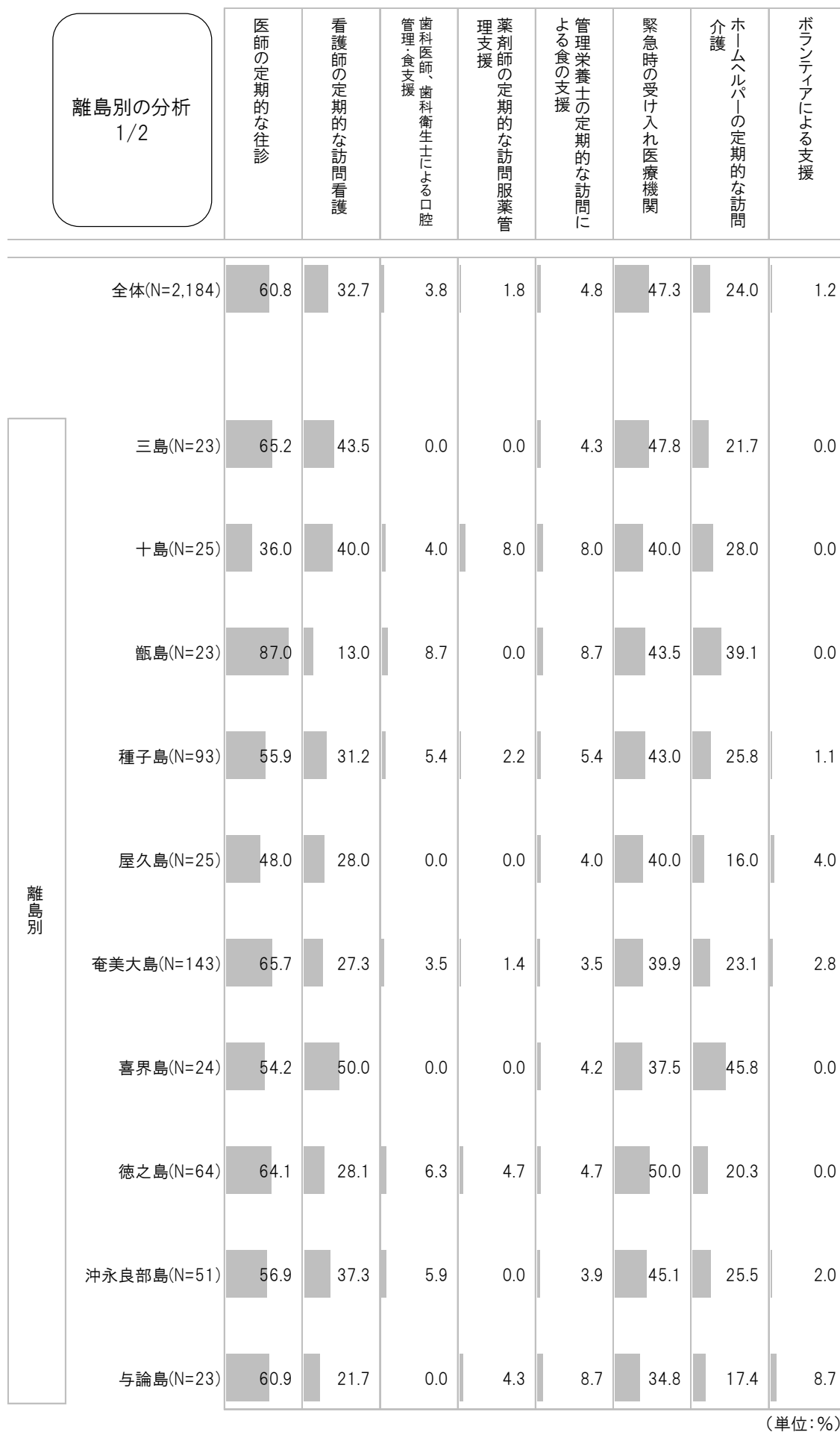
(単位:%)

図表 III-232 奄美保健医療圏 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】2/2

奄美 保健医療圏 2/2		地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
	全体(N=305)	4.6	56.4	17.4	1.3	4.6
性別	男性(N=128)	7.0	60.9	16.4	2.3	3.9
	女性(N=171)	2.9	54.4	17.5	0.6	4.1
	無回答(N=6)	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3
年齢別	20歳代(N=7)	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=30)	0.0	73.3	36.7	6.7	3.3
	40歳代(N=41)	7.3	73.2	24.4	0.0	4.9
	50歳代(N=46)	6.5	63.0	19.6	0.0	2.2
	60～64歳(N=34)	2.9	52.9	11.8	0.0	11.8
	65～69歳(N=41)	9.8	61.0	14.6	0.0	0.0
	70～74歳(N=45)	2.2	46.7	8.9	2.2	2.2
	75歳以上(N=56)	3.6	41.1	14.3	1.8	5.4
	無回答(N=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	4.9	59.3	23.5	2.5	3.7
	社会保険(家族)(N=23)	0.0	52.2	13.0	0.0	0.0
	国民健康保険(N=130)	3.8	59.2	12.3	0.8	5.4
	共済組合(N=32)	6.3	62.5	31.3	0.0	3.1
	後期高齢者医療制度(N=29)	6.9	37.9	10.3	3.4	3.4
	その他(N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	0.0	37.5	25.0	0.0	25.0
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	0.0	74.1	29.6	0.0	3.7
	小学生・中学生がいる(N=47)	6.4	74.5	25.5	0.0	2.1
	65歳以上がいる(N=106)	3.8	53.8	11.3	0.9	5.7
	その他の同居家族(N=120)	5.8	59.2	17.5	0.8	5.0
	一人暮らし(N=66)	6.1	48.5	21.2	3.0	1.5
	無回答(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
高齢者別	独居高齢者(N=35)	8.6	28.6	20.0	2.9	2.9
	独居高齢者以外(N=269)	4.1	60.2	17.1	1.1	4.5
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

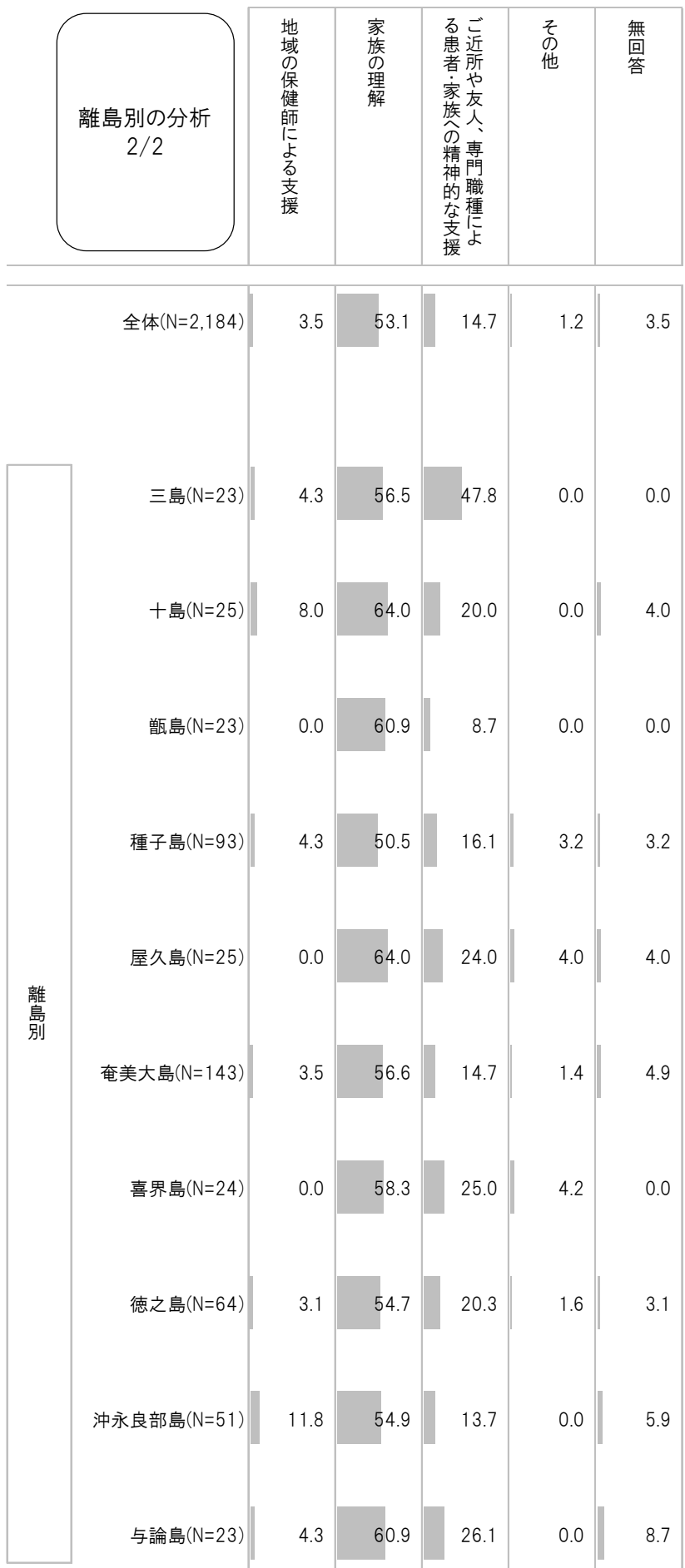
(単位:%)

図表 III-233 離島別の分析 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】1/2



(単位:%)

図表 III-234 離島別の分析 残された日々を自宅で過ごす場合に必要なもの・複数回答【加重集計前・属性別】 2/2



(単位:%)

13. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度

問 16	あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）についてどのくらい知っていますか。（〇は1つ）
------	---

アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞の認知度について、全体では「知らない」（58.7%）が最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」（32.9%）、「よく知っている」（6.5%）の順となっている。

二次保健医療圏別にみると、すべての二次保健医療圏で「知らない」が5割を超え、「聞いたことはあるがよく知らない」は、「奄美保健医療圏」を除いて3割を超えている。

性別にみると、男性の「知らない」（61.5%）は、女性と比較して高くなっている。「よく知っている」「聞いたことはあるがよく知らない」を合わせると、女性は42.7%、男性は36.7%となっている。

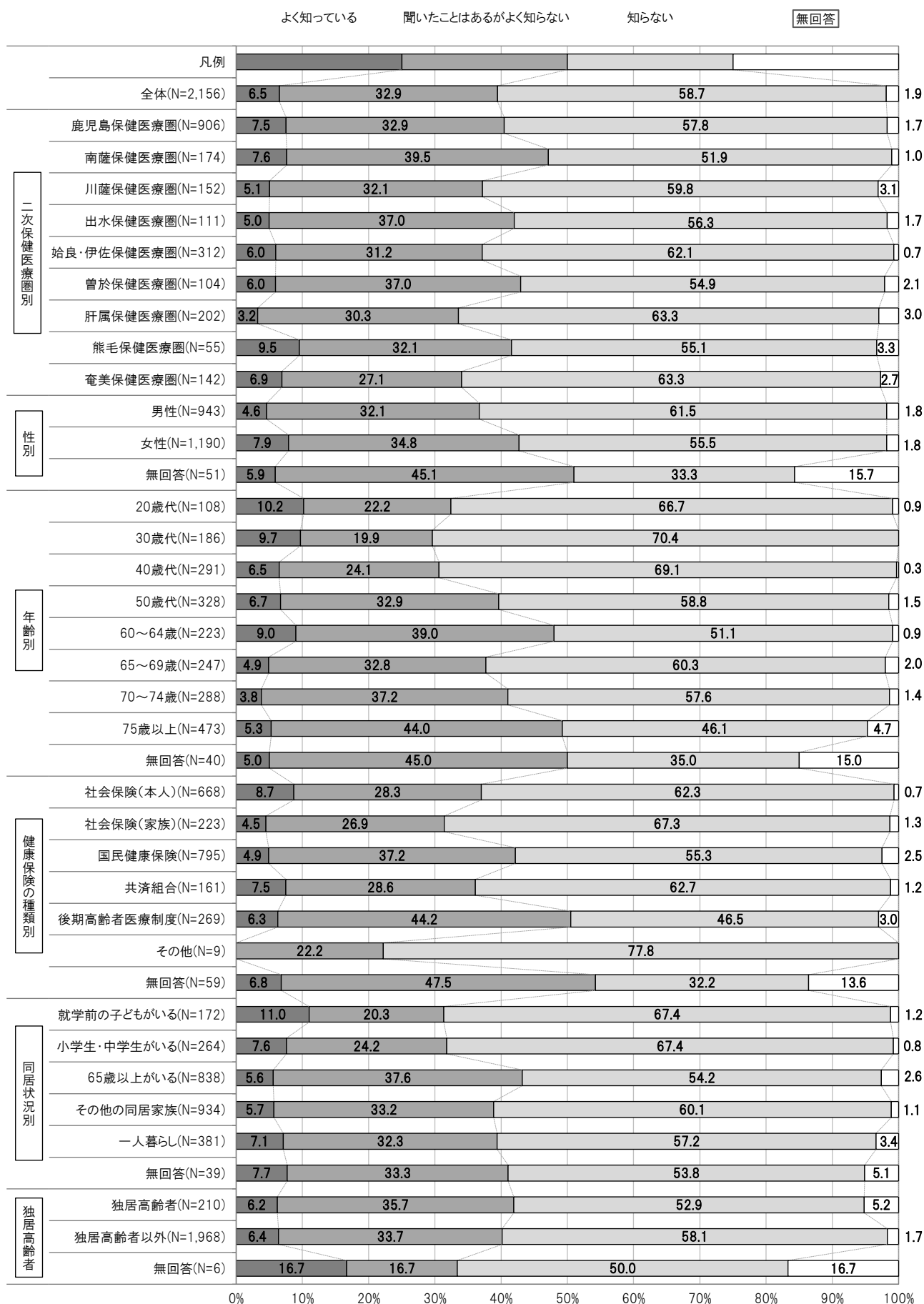
年齢別にみると、75歳以上を除く他の年代で「知らない」が5割を超えており、特に30歳代では7割を超えている。20歳代では「よく知っている」（10.2%）と他の年齢と比べ高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「聞いたことはあるがよく知らない」が4割、「社会保険（本人）」「社会保健（家族）」「共済組合」では「知らない」が6割を超えている。

同居状況別にみると、すべての同居状況で「知らない」が5割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「知らない」（52.9%）が「独居高齢者以外」と比較して5.2ポイント低くなっている。

図表 III-235 ACP の認知度【属性別】



14. 救急医療

(1) 小児救急電話相談窓口（#8000）の認知度及び満足度

問 17

「小児救急電話相談窓口（#8000）」を知っていましたか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）

「小児救急電話相談窓口」の認知・利用について、全体では「知らなかった」（69.4%）が最も高く、次いで「知っているが、まだ利用したことがない」（20.5%）などの順となっている。

二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「肝属保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「知らなかった」が7割を超えている。

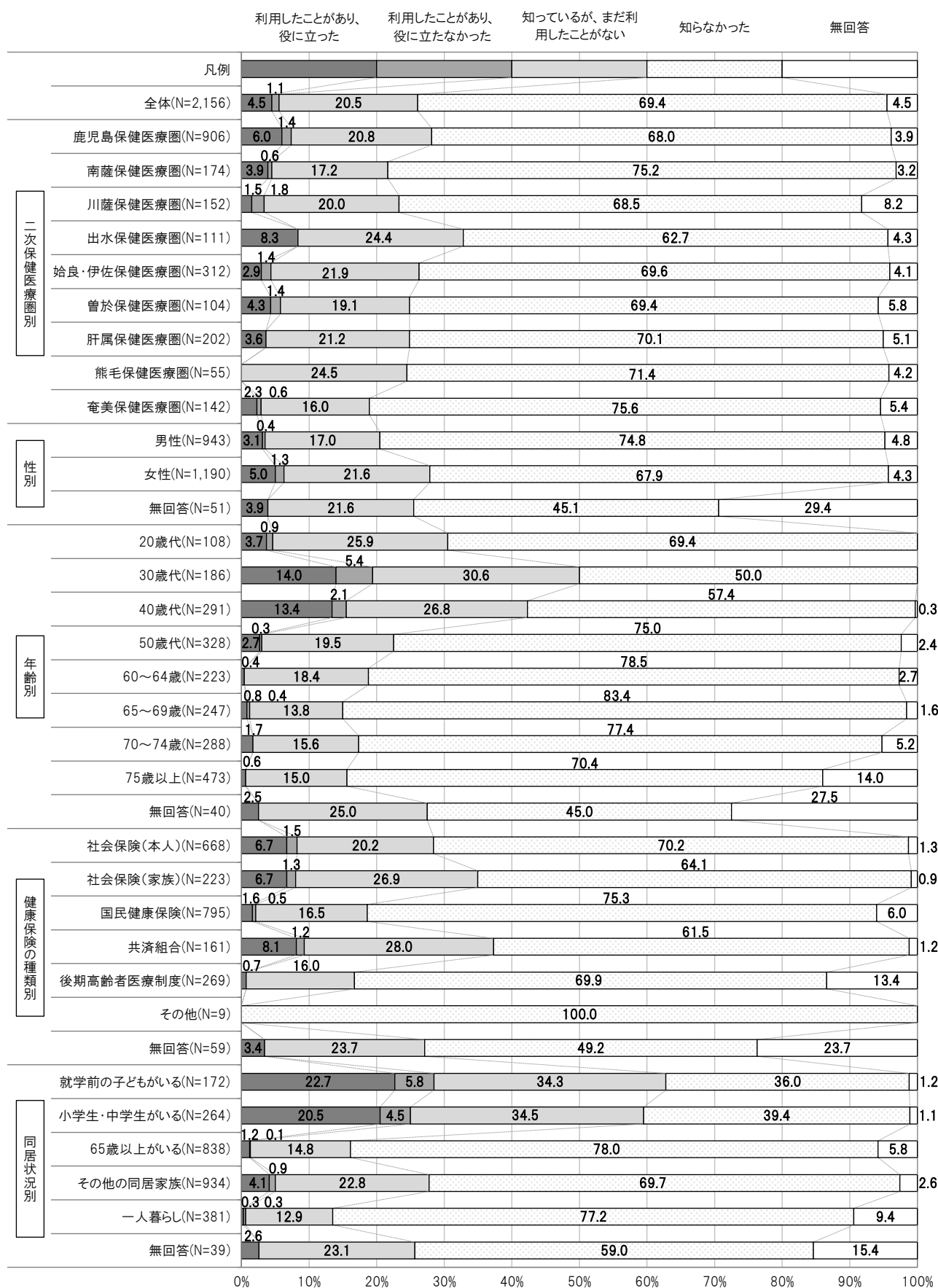
性別にみると、男性の「知らなかった」（74.8%）は女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「知っているが、まだ利用したことがない」が3割、30～40歳代では「利用したことがあり、役に立った」が1割、50歳以上は「知らなかった」が7割と他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」、「国民健康保険」では「知らなかった」が7割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」では「利用したことがあり、役に立った」が2割、「65歳以上がいる」、「一人暮らし」では「知らなかった」が7割と他の同居状況と比較して高くなっている。

図表 III-236 小児救急電話相談窓口（#8000）の認知度及び満足度【属性別】



(2) 地域救急医療に重要なこと

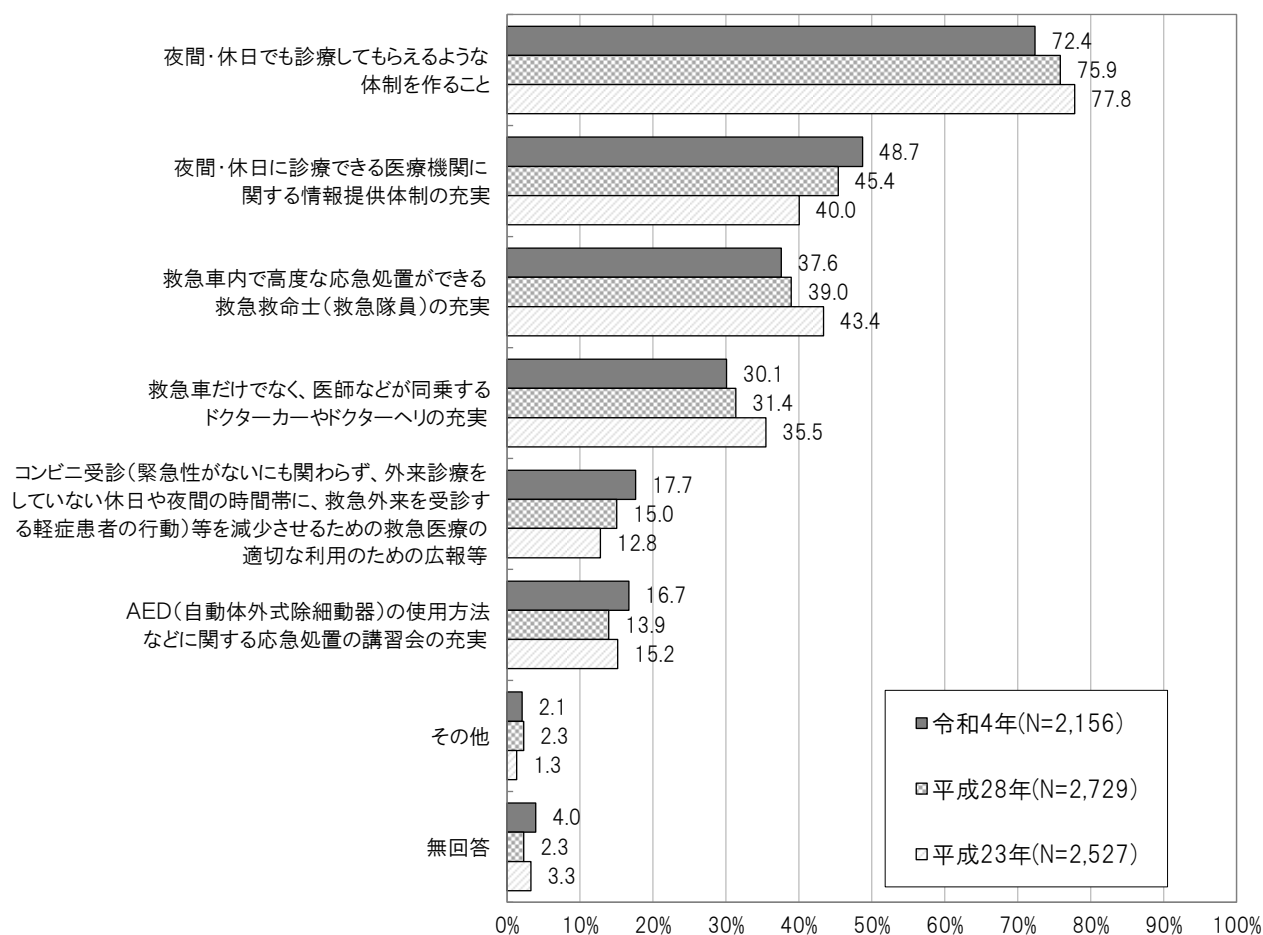
問 18 あなたの地域の救急医療を充実させるためには、どのようなことが重要になると考えますか。(〇は3つまで)

ア. 全体の分析

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(72.4%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(48.7%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(37.6%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」、「コンビニ受診等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等」、「AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実」は増加しているが、「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」、「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」など、平成23年調査から継続して減少している。

図表 III-237 地域救急医療に重要なこと・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、すべての保健医療圏で「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が最も高いが、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」も他の二次保健医療圏と比較して高くなっている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、30～50歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」が約5割と他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保健（本人）」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」が5割と他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」（70.0%）が最も高く、次いで「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」（43.3%）となっている。

図表 III-238 地域救急医療に重要なこと・複数回答【属性別】

	夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	夜間・休日に診療できる医療 機関に関する情報提供体制の 充実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師など が同乗するドクターカーやド クターヘリの充実	救急車だけでなく、緊急性がないにも関わらず、外 来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、 救急外来を受診する軽症患者の行動)等を減 少させるための救急医療の適切な利用のため の広報等	AED(自動体外式除細動器) の使用方法などに関する応急 処置の講習会の充実	その他	無回答	
全体(N=2,156)	72.4	48.7	37.6	30.1	17.7	16.7	2.1	4.0	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	70.5	51.5	36.3	28.3	19.5	17.7	2.6	3.6
	南薩保健医療圏(N=174)	73.3	48.6	39.8	29.9	15.8	14.5	0.5	5.9
	川薩保健医療圏(N=152)	76.5	42.8	39.6	31.3	13.1	13.2	1.6	4.7
	出水保健医療圏(N=111)	78.2	45.6	33.1	29.2	20.5	14.1	3.2	2.8
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	79.0	51.1	42.4	28.0	17.2	13.9	0.9	2.8
	曾於保健医療圏(N=104)	78.9	42.3	42.6	30.2	15.8	17.9	1.6	3.4
	肝属保健医療圏(N=202)	65.1	53.0	32.9	28.1	16.9	20.0	2.3	5.5
	熊毛保健医療圏(N=55)	60.3	33.3	40.1	49.5	17.8	14.8	3.5	3.8
	奄美保健医療圏(N=142)	70.2	39.6	36.3	41.1	14.6	20.0	2.2	5.2
性別	男性(N=943)	74.7	46.1	36.8	32.6	15.2	15.0	2.8	3.9
	女性(N=1,190)	70.1	45.9	38.8	33.4	17.0	18.8	1.8	3.6
	無回答(N=51)	56.9	31.4	25.5	17.6	7.8	19.6	2.0	25.5
年齢別	20歳代(N=108)	70.4	43.5	32.4	32.4	24.1	21.3	2.8	1.9
	30歳代(N=186)	71.0	50.5	30.6	31.2	28.5	22.6	4.3	2.2
	40歳代(N=291)	69.4	48.1	34.4	38.1	23.7	14.8	6.9	0.7
	50歳代(N=328)	72.3	51.5	42.4	35.7	18.9	15.2	2.1	2.1
	60~64歳(N=223)	77.1	43.5	36.8	37.7	16.6	20.2	0.9	1.3
	65~69歳(N=247)	70.9	40.9	44.5	34.8	10.5	25.9	0.0	3.2
	70~74歳(N=288)	71.2	44.8	40.6	30.6	10.1	14.6	1.0	5.9
	75歳以上(N=473)	73.8	43.3	36.4	27.1	9.3	12.1	1.1	8.2
無回答(N=40)	47.5	37.5	25.0	15.0	7.5	22.5	2.5	27.5	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	76.6	50.7	37.9	32.6	20.8	16.3	3.0	1.5
	社会保険(家族)(N=223)	71.3	44.8	39.0	31.4	16.6	24.2	1.8	2.2
	国民健康保険(N=795)	70.1	42.9	38.7	33.3	11.4	16.4	1.3	5.4
	共済組合(N=161)	67.7	42.9	34.2	41.0	26.1	17.4	6.8	0.0
	後期高齢者医療制度(N=269)	72.1	45.0	36.8	29.0	13.4	14.5	0.7	7.4
	その他(N=9)	44.4	55.6	44.4	66.7	11.1	33.3	11.1	0.0
	無回答(N=59)	54.2	37.3	27.1	16.9	5.1	20.3	1.7	25.4
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	71.5	47.7	29.7	34.3	25.6	17.4	5.8	1.7
	小学生・中学生がいる(N=264)	75.0	45.8	35.2	35.6	23.9	16.3	4.5	0.8
	65歳以上がいる(N=838)	72.6	46.2	40.1	33.1	13.2	16.3	0.8	4.7
	その他の同居家族(N=934)	72.7	46.7	39.0	33.9	18.2	17.7	2.5	2.7
	一人暮らし(N=381)	69.8	41.7	37.0	30.7	15.2	15.7	2.9	6.3
	無回答(N=39)	64.1	33.3	30.8	15.4	5.1	20.5	2.6	15.4
高齢者別	独居高齢者(N=210)	70.0	41.9	43.3	27.6	6.7	13.3	1.4	8.1
	独居高齢者以外(N=1,968)	72.0	46.1	37.1	33.2	17.0	17.6	2.3	3.8
	無回答(N=6)	66.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3

(単位:%)

イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 354・図表 III-239)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(69.3%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(49.0%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(36.1%)の順となっている。

性別にみると、男性の「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(75.5%)は女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が他の年代より高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」、「後期高齢者医療制度」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が他の同居状況より高い傾向がみられた。とくに、「小学生・中学生がいる」は8割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(70.4%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(38.9%)となっている。

南薩保健医療圏 (P. 355・図表 III-240)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(73.6%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(48.3%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(39.9%)の順となっている。

性別にみると、女性では「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(44.4%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(55.6%)と「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(55.6%)、50歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(73.9%)、70～74歳では「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(51.6%)が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」と「国民健康保険」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」、「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」

が他の健康保険と比較して高い傾向がみられる。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が、他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(71.4%)が最も高く、次いで「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(42.9%)となっている。

川薩保健医療圏 (P. 356・図表 III-241)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(76.3%)が最も高く、次いで「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(41.4%)、「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(40.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(48.3%)が女性と比較して高く、女性は「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(79.3%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(62.5%)、50歳代と65~69歳では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」、「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」が他の年代と比較して高い傾向がみられている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(66.7%)、「国民健康保険」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(85.5%)、「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(50.9%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(58.8%)と「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(58.8%)、「65歳以上がいる」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(90.2%)が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(77.8%)が最も高く、次いで「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(55.6%)となっている。

出水保健医療圏 (P. 357・図表 III-242)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(76.2%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(47.5%)、「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」

(32.0%) の順となっている。

性別にみると、女性は「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(71.8%)、「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(52.1%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代と75歳以上では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」、50歳代と65～69歳、70～74歳では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「後期高齢者医療制度」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」、「国民健康保険」と「共済組合」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」が他の年代と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(90.9%)と「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(54.5%)、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」、「一人暮らし」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(86.7%)が他の同居状況と比較して高い傾向がみられる。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(80.0%)が最も高く、次いで「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(50.0%)となっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 358・図表 III-243)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(78.2%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(48.9%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(41.2%)の順となっている。

性別にみると、男性は「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(83.3%)が女性より高く、女性は「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(44.5%)が男性より高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(100.0%)、30歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(61.5%)、70～74歳では「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(51.4%)が他の年代より高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」と「後期高齢者医療制度」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」、「共済組合」では「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士（救急隊員）の充実」(52.9%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(76.0%)が最も高く、次いで「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(48.0%)となっている。

曾於保健医療圏 (P. 359・図表 III-244)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(77.9%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(44.2%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(41.6%)の順となっている。

性別にみると、女性の「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(52.2%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(71.4%)、50歳代では「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(64.7%)、60～64歳では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(92.3%)、65～69歳では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(57.1%)が他の年代と比較して高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(88.6%)と「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(57.1%)、「社会保険(家族)」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(53.3%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(60.0%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(42.9%)と「コンビニ受診(緊急性がないにも関わらず、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等」(42.9%)が、他の同居状況と比較して高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(54.5%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(36.4%)と「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(36.4%)が同数で最も高くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 360・図表 III-245)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(69.0%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(51.0%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」

(32.2%)の順となっている。

性別にみると、男性は「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(55.0%)が女性と比較して高く、女性は「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(74.4%)が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代と60～64歳では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が他の年代と比較して高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(85.2%)が他の年代と比較して高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「一人暮らし」では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では、「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(68.0%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(56.0%)となっている。

熊毛保健医療圏 (P.361・図表 III-246)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(61.9%)が最も高く、次いで「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(47.5%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(39.8%)の順となっている。

性別にみると、男性の「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(66.7%)と「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(52.9%)は女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、30歳代と65～69歳では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」、70～74歳では「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(52.6%)、75歳以上では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(84.0%)、「救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(52.0%)、「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(60.0%)が他の年代と比較して高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(55.1%)、「後期高齢者医療制度」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(88.9%)が他の健康保険と比較して高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること

と」(60.0%)が最も高く、次いで「夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実」(50.0%)と「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(50.0%)が同数で最も高くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 362・図表 III-247)

地域救急医療の充実のために重要なことについて、全体では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(69.2%)が最も高く、次いで「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(43.6%)、「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(38.4%)の順となっている。

性別にみると、男性では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(72.7%)と「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(42.2%)が女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、40歳代では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(58.5%)、65～69歳では「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(51.2%)と「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(56.1%)が他の年代と比較して高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(家族)」では、「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(56.5%)が他の健康保険と比較して高くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」(51.1%)が他の同居状況と比較して高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」(65.7%)が最も高く、次いで「救急車で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実」(51.4%)となっている。

離島別の分析 (P. 363・図表 III-248)

離島別にみると、「三島」と「喜界島」、「与論島」では「救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実」が5割を超え、その他の離島では「夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること」が最も高くなっている。

図表 111-239 鹿児島保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

鹿児島保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること	夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実	救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実	救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実	救急車を呼ぶ(緊急性がないにも関わらず、外来診療をしない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等	AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実	その他	無回答
性別	全体(N=645)	69.3	49.0	36.1	30.1	18.0	17.4	3.6	3.9
	男性(N=282)	75.5	50.4	35.5	25.9	17.0	13.8	4.3	4.6
	女性(N=351)	64.4	49.0	37.0	33.6	19.4	19.7	3.1	2.6
	無回答(N=12)	66.7	16.7	25.0	25.0	0.0	33.3	0.0	25.0
年齢別	20歳代(N=45)	64.4	44.4	28.9	31.1	22.2	26.7	6.7	2.2
	30歳代(N=63)	65.1	54.0	27.0	34.9	27.0	22.2	3.2	1.6
	40歳代(N=108)	68.5	50.0	25.9	33.3	24.1	15.7	11.1	0.9
	50歳代(N=103)	64.1	59.2	45.6	24.3	21.4	14.6	2.9	2.9
	60~64歳(N=62)	77.4	43.5	37.1	37.1	24.2	19.4	1.6	1.6
	65~69歳(N=68)	76.5	38.2	48.5	29.4	10.3	26.5	0.0	2.9
	70~74歳(N=60)	70.0	50.0	40.0	28.3	10.0	10.0	1.7	5.0
	75歳以上(N=127)	70.1	48.8	36.2	27.6	10.2	11.0	0.8	8.7
無回答(N=9)	66.7	22.2	22.2	22.2	0.0	44.4	0.0	22.2	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=223)	76.7	57.0	34.5	28.7	24.2	17.5	2.2	0.9
	社会保険(家族)(N=79)	62.0	51.9	32.9	21.5	19.0	27.8	3.8	3.8
	国民健康保険(N=180)	63.3	40.0	40.0	32.2	15.6	15.0	2.8	6.1
	共済組合(N=64)	64.1	48.4	34.4	39.1	17.2	12.5	14.1	0.0
	後期高齢者医療制度(N=84)	73.8	47.6	39.3	28.6	9.5	11.9	0.0	8.3
	その他(N=3)	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	無回答(N=12)	66.7	25.0	25.0	33.3	0.0	50.0	0.0	16.7
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=63)	73.0	54.0	27.0	23.8	23.8	17.5	4.8	1.6
	小学生・中学生がいる(N=85)	82.4	49.4	32.9	25.9	23.5	12.9	4.7	1.2
	65歳以上がいる(N=218)	70.2	50.0	42.7	32.6	13.8	16.1	0.9	4.1
	その他の同居家族(N=299)	69.2	52.2	35.5	28.1	21.7	17.4	4.0	2.7
	一人暮らし(N=120)	67.5	37.5	33.3	32.5	16.7	17.5	5.8	6.7
	無回答(N=2)	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高齢者別	独居高齢者(N=54)	70.4	38.9	37.0	31.5	5.6	13.0	1.9	9.3
	独居高齢者以外(N=590)	69.2	50.0	36.1	30.0	19.2	17.6	3.7	3.4
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(単位:%)

図表 III-241 川薩保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

川薩 保健医療圏		地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】								
		夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	夜間・休日に診療できる医療機 関に関する情報提供体制の充 実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車を呼ぶ際、救急隊員が 来るまで待たずに応急処置を するなどの対応	救急車を呼ぶ際、救急隊員が 来るまで待たずに応急処置を するなどの対応	救急車を呼ぶ際、救急隊員が 来るまで待たずに応急処置を するなどの対応	救急車を呼ぶ際、救急隊員が 来るまで待たずに応急処置を するなどの対応	救急車を呼ぶ際、救急隊員が 来るまで待たずに応急処置を するなどの対応
性別	全体(N=152)	76.3	40.8	41.4	32.9	12.5	11.8	2.6	5.3	
	男性(N=58)	70.7	48.3	41.4	34.5	15.5	8.6	3.4	3.4	
	女性(N=92)	79.3	37.0	42.4	32.6	10.9	14.1	2.2	6.5	
	無回答(N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	20歳代(N=4)	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代(N=8)	62.5	62.5	25.0	12.5	37.5	50.0	0.0	12.5	
	40歳代(N=23)	65.2	43.5	47.8	47.8	17.4	8.7	4.3	4.3	
	50歳代(N=21)	81.0	42.9	57.1	66.7	9.5	9.5	0.0	0.0	
	60～64歳(N=14)	78.6	42.9	35.7	42.9	21.4	14.3	7.1	0.0	
	65～69歳(N=14)	92.9	50.0	71.4	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0	
	70～74歳(N=18)	77.8	44.4	38.9	27.8	11.1	11.1	5.6	5.6	
	75歳以上(N=48)	75.0	33.3	31.3	14.6	6.3	8.3	2.1	10.4	
健康保険の種類別	無回答(N=2)	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	社会保険(本人)(N=46)	69.6	39.1	45.7	45.7	15.2	15.2	4.3	4.3	
	社会保険(家族)(N=19)	78.9	36.8	52.6	42.1	15.8	21.1	0.0	0.0	
	国民健康保険(N=55)	85.5	50.9	34.5	25.5	10.9	9.1	1.8	3.6	
	共済組合(N=6)	83.3	50.0	66.7	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	
	後期高齢者医療制度(N=23)	65.2	26.1	39.1	13.0	13.0	4.3	4.3	13.0	
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居状況別	無回答(N=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
	就学前の子どもがいる(N=12)	66.7	33.3	50.0	41.7	16.7	16.7	0.0	8.3	
	小学生・中学生がいる(N=17)	64.7	35.3	58.8	58.8	11.8	17.6	0.0	0.0	
	65歳以上がいる(N=61)	90.2	42.6	34.4	27.9	8.2	14.8	0.0	1.6	
	その他の同居家族(N=59)	67.8	42.4	45.8	45.8	11.9	13.6	5.1	5.1	
	一人暮らし(N=29)	72.4	37.9	37.9	20.7	20.7	6.9	0.0	10.3	
高齢者別	無回答(N=3)	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	独居高齢者(N=18)	77.8	27.8	55.6	16.7	5.6	0.0	0.0	16.7	
	独居高齢者以外(N=134)	76.1	42.5	39.6	35.1	13.4	13.4	3.0	3.7	
無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(単位:%)

図表 III-242 出水保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

出水 保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	夜間・休日診療できる医療機 関に関する情報提供体制の充 実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	コンニ受診(緊急性がないにも関わらず、外 来診療をしない休日や夜間の時間帯に、救 急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少 させるための救急医療の適切な利用のための広 報等	AED(自動体外式除細動器) の使用方法などに関する応急 処置の講習会の充実	その他	無回答
		全体(N=122)	76.2	47.5	32.0	28.7	20.5	13.9	3.3	3.3
性別	男性(N=50)	84.0	40.0	38.0	36.0	12.0	10.0	4.0	2.0	
	女性(N=71)	71.8	52.1	28.2	23.9	26.8	16.9	2.8	4.2	
	無回答(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	20歳代(N=3)	100.0	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代(N=10)	100.0	50.0	30.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0	
	40歳代(N=17)	70.6	35.3	11.8	29.4	35.3	35.3	5.9	0.0	
	50歳代(N=24)	75.0	58.3	41.7	20.8	25.0	12.5	0.0	4.2	
	60~64歳(N=11)	72.7	45.5	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	
	65~69歳(N=11)	54.5	54.5	18.2	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0	
	70~74歳(N=18)	72.2	66.7	44.4	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6	
	75歳以上(N=27)	85.2	33.3	29.6	29.6	18.5	11.1	3.7	3.7	
	無回答(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=41)	82.9	46.3	36.6	34.1	24.4	17.1	2.4	0.0	
	社会保険(家族)(N=11)	72.7	45.5	45.5	27.3	27.3	18.2	0.0	0.0	
	国民健康保険(N=43)	67.4	51.2	27.9	18.6	14.0	9.3	2.3	9.3	
	共済組合(N=9)	66.7	55.6	11.1	44.4	33.3	22.2	11.1	0.0	
	後期高齢者医療制度(N=15)	93.3	33.3	33.3	40.0	20.0	13.3	6.7	0.0	
	その他(N=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答(N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=11)	90.9	27.3	27.3	54.5	27.3	18.2	9.1	0.0	
	小学生・中学生がいる(N=21)	81.0	33.3	23.8	33.3	33.3	19.0	9.5	0.0	
	65歳以上がいる(N=47)	70.2	57.4	25.5	23.4	19.1	12.8	4.3	4.3	
	その他の同居家族(N=59)	71.2	50.8	40.7	27.1	22.0	11.9	1.7	1.7	
	一人暮らし(N=15)	86.7	33.3	33.3	33.3	13.3	20.0	0.0	6.7	
	無回答(N=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
高齢者別	独居高齢者(N=10)	80.0	40.0	50.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0	
	独居高齢者以外(N=112)	75.9	48.2	30.4	28.6	21.4	13.4	3.6	2.7	
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:%)

図表 III-243 始良・伊佐保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

始良・伊佐 保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	夜間・休日に診療できる医療機 関に関する情報提供体制の充 実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	AED(自動体外式除細動器) の使用方法などに関する応急 処置の講習会の充実	その他	無回 答
	全体(N=284)	78.2	48.9	41.2	28.9	17.3	14.8	0.7	2.8	
性別	男性(N=132)	83.3	48.5	38.6	30.3	16.7	10.6	0.8	2.3	
	女性(N=146)	73.3	48.6	44.5	26.7	18.5	19.2	0.7	2.7	
	無回答(N=6)	83.3	66.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
年齢別	20歳代(N=21)	100.0	47.6	28.6	33.3	28.6	9.5	0.0	0.0	
	30歳代(N=26)	73.1	61.5	38.5	19.2	26.9	23.1	0.0	0.0	
	40歳代(N=33)	69.7	54.5	45.5	27.3	30.3	6.1	6.1	0.0	
	50歳代(N=37)	81.1	48.6	37.8	35.1	24.3	21.6	0.0	0.0	
	60～64歳(N=27)	81.5	51.9	44.4	40.7	11.1	11.1	0.0	0.0	
	65～69歳(N=33)	72.7	51.5	39.4	33.3	9.1	27.3	0.0	6.1	
	70～74歳(N=35)	71.4	40.0	51.4	20.0	11.4	14.3	0.0	2.9	
	75歳以上(N=68)	80.9	42.6	41.2	26.5	10.3	10.3	0.0	5.9	
	無回答(N=4)	75.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=84)	82.1	60.7	38.1	28.6	22.6	13.1	1.2	0.0	
	社会保険(家族)(N=28)	82.1	39.3	35.7	28.6	10.7	42.9	0.0	0.0	
	国民健康保険(N=106)	71.7	40.6	47.2	27.4	14.2	11.3	0.0	5.7	
	共済組合(N=17)	88.2	41.2	52.9	35.3	35.3	5.9	5.9	0.0	
	後期高齢者医療制度(N=41)	78.0	53.7	29.3	34.1	14.6	14.6	0.0	2.4	
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答(N=8)	87.5	62.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=25)	80.0	72.0	24.0	32.0	24.0	8.0	4.0	0.0	
	小学生・中学生がいる(N=30)	73.3	73.3	30.0	23.3	26.7	6.7	6.7	0.0	
	65歳以上がいる(N=117)	74.4	47.9	47.0	29.9	12.0	12.8	0.0	3.4	
	その他の同居家族(N=124)	81.5	44.4	41.9	29.0	21.0	16.9	1.6	1.6	
	一人暮らし(N=42)	81.0	52.4	42.9	23.8	16.7	14.3	0.0	4.8	
	無回答(N=4)	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	
高齢者別 独居	独居高齢者(N=25)	76.0	44.0	48.0	24.0	8.0	8.0	0.0	8.0	
	独居高齢者以外(N=257)	78.2	49.0	40.9	29.2	18.3	15.6	0.8	2.3	
	無回答(N=2)	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:%)

図表 III-244 曾於保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

曾於 保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	夜間・休日診療できる医療機 関に関する情報提供体制の充 実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	コンニ受診(緊急性がないにも関わらず、外 来診療をしない休日や夜間の時間帯に、救 急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少 させるための救急医療の適切な利用のための広 報等	AED(自動体外式除細動器) の使用方法などに関する応急 処置の講習会の充実	その他	無回答
	全体(N=113)	77.9	44.2	41.6	29.2	15.0	19.5	1.8	2.7	
性別	男性(N=45)	75.6	33.3	42.2	24.4	20.0	15.6	2.2	4.4	
	女性(N=67)	79.1	52.2	41.8	32.8	11.9	20.9	1.5	1.5	
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
年齢別	20歳代(N=5)	80.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
	30歳代(N=15)	80.0	40.0	40.0	33.3	40.0	26.7	6.7	0.0	
	40歳代(N=14)	71.4	71.4	35.7	28.6	7.1	21.4	0.0	0.0	
	50歳代(N=17)	88.2	41.2	64.7	29.4	5.9	17.6	0.0	0.0	
	60~64歳(N=13)	92.3	38.5	38.5	30.8	7.7	7.7	0.0	0.0	
	65~69歳(N=14)	64.3	57.1	28.6	14.3	14.3	21.4	0.0	14.3	
	70~74歳(N=12)	83.3	33.3	41.7	41.7	25.0	16.7	0.0	0.0	
	75歳以上(N=23)	69.6	34.8	34.8	26.1	4.3	21.7	4.3	4.3	
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=35)	88.6	57.1	42.9	28.6	14.3	17.1	0.0	0.0	
	社会保険(家族)(N=15)	73.3	53.3	60.0	33.3	13.3	13.3	6.7	0.0	
	国民健康保険(N=43)	72.1	37.2	32.6	30.2	14.0	18.6	2.3	7.0	
	共済組合(N=5)	80.0	0.0	60.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	
	後期高齢者医療制度(N=13)	76.9	46.2	38.5	23.1	7.7	38.5	0.0	0.0	
	その他(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答(N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=7)	57.1	14.3	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	
	小学生・中学生がいる(N=13)	84.6	46.2	38.5	30.8	30.8	23.1	7.7	0.0	
	65歳以上がいる(N=54)	85.2	38.9	46.3	29.6	11.1	11.1	0.0	1.9	
	その他の同居家族(N=50)	82.0	48.0	40.0	34.0	22.0	22.0	0.0	0.0	
	一人暮らし(N=12)	50.0	33.3	41.7	33.3	0.0	25.0	8.3	16.7	
	無回答(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
高齢者別	独居高齢者(N=11)	54.5	36.4	36.4	27.3	0.0	18.2	9.1	18.2	
	独居高齢者以外(N=102)	80.4	45.1	42.2	29.4	16.7	19.6	1.0	1.0	
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:%)

図表 III-246 熊毛保健医療圏 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

熊毛 保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること	夜間・休日診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実	救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実	救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実	救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実	コンビ受診(緊急性がないにも関わらず、外来診療をしない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する軽症患者の行動等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等)	AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実	その他	無回答
		61.9	34.7	39.8	47.5	15.3	15.3	3.4	5.1	
性別	全体(N=118)	61.9	34.7	39.8	47.5	15.3	15.3	3.4	5.1	
	男性(N=51)	66.7	33.3	37.3	52.9	17.6	11.8	2.0	7.8	
	女性(N=64)	59.4	34.4	42.2	45.3	14.1	17.2	3.1	1.6	
	無回答(N=3)	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	
年齢別	20歳代(N=5)	60.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代(N=9)	44.4	11.1	33.3	55.6	44.4	22.2	11.1	0.0	
	40歳代(N=14)	57.1	50.0	42.9	50.0	21.4	7.1	0.0	0.0	
	50歳代(N=21)	52.4	28.6	19.0	38.1	19.0	9.5	9.5	9.5	
	60~64歳(N=8)	62.5	37.5	37.5	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0	
	65~69歳(N=14)	64.3	7.1	42.9	64.3	7.1	14.3	0.0	0.0	
	70~74歳(N=19)	57.9	52.6	42.1	42.1	10.5	31.6	0.0	5.3	
	75歳以上(N=25)	84.0	32.0	52.0	60.0	0.0	8.0	0.0	8.0	
無回答(N=3)	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3		
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=38)	55.3	31.6	42.1	44.7	21.1	13.2	5.3	2.6	
	社会保険(家族)(N=11)	54.5	45.5	36.4	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	
	国民健康保険(N=49)	65.3	32.7	40.8	55.1	10.2	16.3	2.0	8.2	
	共済組合(N=5)	60.0	0.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
	後期高齢者医療制度(N=9)	88.9	44.4	44.4	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	
	その他(N=1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	無回答(N=5)	60.0	80.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=10)	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	10.0	0.0	
	小学生・中学生がいる(N=11)	63.6	27.3	18.2	36.4	18.2	9.1	0.0	9.1	
	65歳以上がいる(N=49)	61.2	32.7	40.8	59.2	12.2	16.3	4.1	6.1	
	その他の同居家族(N=52)	61.5	32.7	44.2	44.2	17.3	15.4	3.8	1.9	
	一人暮らし(N=18)	66.7	44.4	33.3	33.3	11.1	16.7	5.6	5.6	
	無回答(N=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
高齢者別	独居高齢者(N=10)	60.0	50.0	50.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
	独居高齢者以外(N=108)	62.0	33.3	38.9	49.1	16.7	14.8	3.7	5.6	
	無回答(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位: %)

図表 III-247 **奄美保健医療圏** 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

奄美 保健医療圏		夜間・休日でも診療してもらえ るような体制を作ること	実 夜間・休日に診療できる医療機 関に関する情報提供体制の充 実	救急車内で高度な応急処置が できる救急救命士(救急隊員) の充実	救急車だけでなく、医師などが 同乗するドクターカーやドク ターヘリの充実	救急車を呼ぶ際の必要性がないにも関わらず、外 来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救 急外来を受診する軽症患者の行動等減少 させるための救急医療の適切な利用のための広 報等	AED(自動体外式除細動器) の使用方法などに関する応急 処置の講習会の充実	その他	無回答
		69.2	37.0	38.4	43.6	13.1	23.6	1.6	4.9
性別	全体(N=305)	69.2	37.0	38.4	43.6	13.1	23.6	1.6	4.9
	男性(N=128)	72.7	37.5	42.2	43.0	9.4	28.1	3.1	0.0
	女性(N=171)	67.3	38.0	36.8	45.6	16.4	21.1	0.6	7.0
	無回答(N=6)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	20歳代(N=7)	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
	30歳代(N=30)	63.3	43.3	26.7	43.3	33.3	26.7	10.0	3.3
	40歳代(N=41)	75.6	34.1	41.5	58.5	14.6	14.6	4.9	0.0
	50歳代(N=46)	76.1	39.1	34.8	47.8	17.4	15.2	0.0	2.2
	60～64歳(N=34)	67.6	29.4	35.3	41.2	8.8	41.2	0.0	2.9
	65～69歳(N=41)	61.0	41.5	51.2	56.1	7.3	36.6	0.0	2.4
	70～74歳(N=45)	66.7	31.1	40.0	48.9	8.9	22.2	0.0	2.2
	75歳以上(N=56)	76.8	42.9	39.3	23.2	5.4	17.9	0.0	12.5
	無回答(N=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=81)	74.1	35.8	45.7	44.4	16.0	18.5	6.2	3.7
	社会保険(家族)(N=23)	78.3	39.1	30.4	56.5	17.4	26.1	0.0	0.0
	国民健康保険(N=130)	68.5	36.9	39.2	49.2	6.9	27.7	0.0	3.1
	共済組合(N=32)	59.4	37.5	25.0	34.4	31.3	28.1	0.0	0.0
	後期高齢者医療制度(N=29)	72.4	48.3	41.4	24.1	10.3	20.7	0.0	10.3
	その他(N=2)	50.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答(N=8)	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=27)	66.7	37.0	25.9	48.1	33.3	25.9	11.1	0.0
	小学生・中学生がいる(N=47)	70.2	38.3	34.0	51.1	23.4	23.4	2.1	0.0
	65歳以上がいる(N=106)	68.9	39.6	35.8	41.5	11.3	28.3	0.0	5.7
	その他の同居家族(N=120)	68.3	34.2	41.7	49.2	12.5	22.5	0.8	5.0
	一人暮らし(N=66)	72.7	37.9	45.5	39.4	13.6	18.2	1.5	4.5
	無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
高齢者別	独居高齢者(N=35)	65.7	45.7	51.4	34.3	5.7	20.0	0.0	8.6
	独居高齢者以外(N=269)	69.9	36.1	36.8	45.0	14.1	24.2	1.9	4.1
	無回答(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(単位:%)

図表 III-248 離島別の分析 地域救急医療に重要なこと・複数回答【加重集計前・属性別】

離島別の分析		夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること	夜間・休日に関する情報提供体制の充実	救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実	救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実	救急隊員が不在にも関わらず、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に救急外来を受診する軽症患者の行動等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等	AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
離島別	全体(N=2,184)	71.7	45.7	37.6	32.6	16.0	17.2	2.2	4.3
	三島(N=23)	47.8	13.0	34.8	52.2	8.7	26.1	21.7	4.3
	十島(N=25)	52.0	36.0	24.0	48.0	0.0	16.0	12.0	12.0
	甌島(N=23)	69.6	34.8	43.5	39.1	17.4	8.7	8.7	4.3
	種子島(N=93)	60.2	41.9	40.9	47.3	14.0	14.0	4.3	6.5
	屋久島(N=25)	68.0	8.0	36.0	48.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	奄美大島(N=143)	72.0	40.6	32.2	37.8	11.9	25.9	1.4	5.6
	喜界島(N=24)	75.0	25.0	50.0	50.0	8.3	16.7	4.2	0.0
	徳之島(N=64)	73.4	37.5	43.8	45.3	15.6	21.9	1.6	4.7
	沖永良部島(N=51)	60.8	41.2	45.1	45.1	15.7	19.6	2.0	5.9
与論島(N=23)	52.2	17.4	34.8	65.2	13.0	30.4	0.0	4.3	

(単位:%)

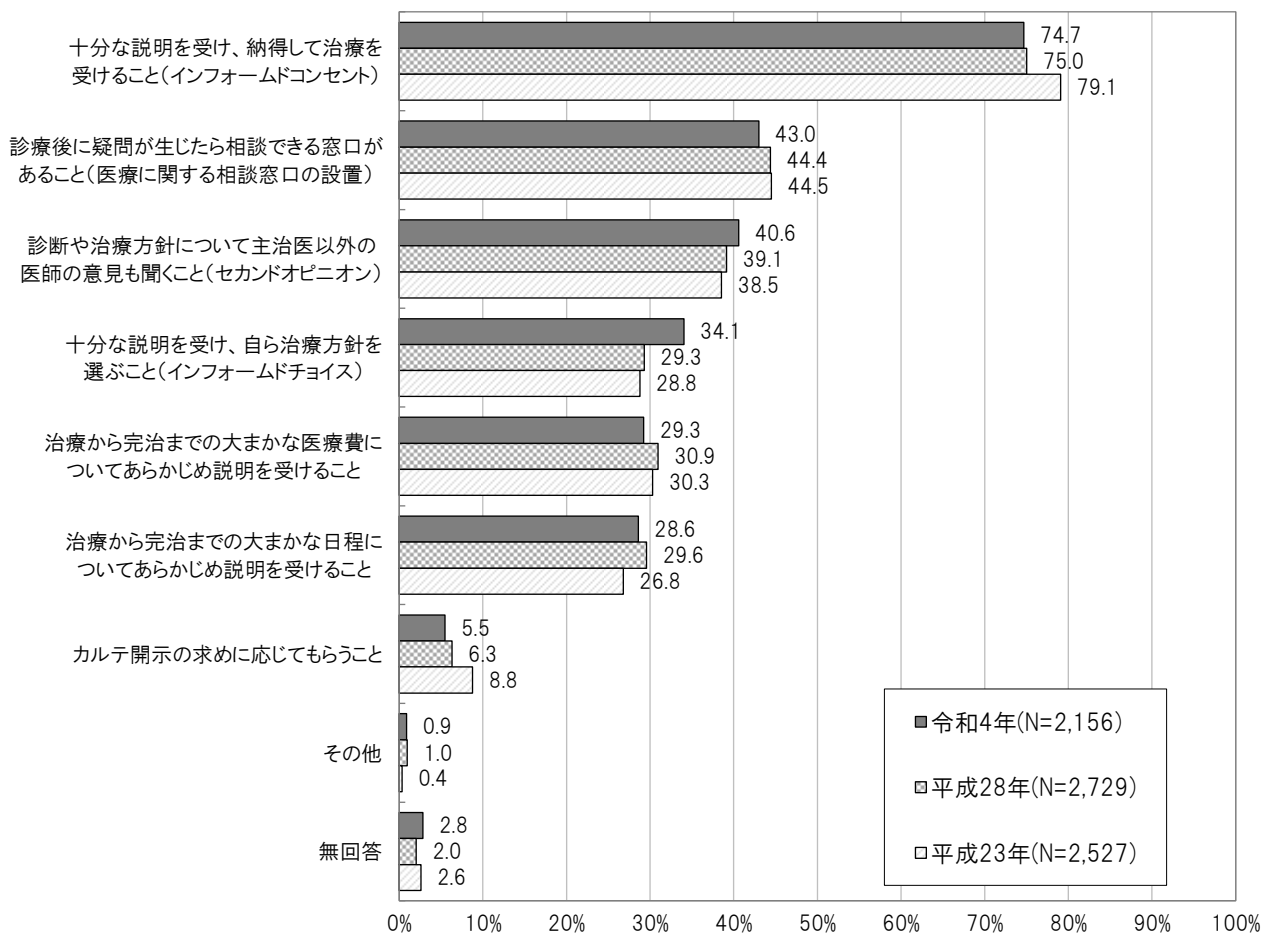
15. 安心して医療を受けるために重要なこと

問 19 安心して医療を受けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

安心して医療を受けるために重要なことについて、全体では「十分な説明を受け、納得して治療を受けること（インフォームドコンセント）」(74.7%)が最も高く、次いで「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」(43.0%)、「診断や治療方針について主治医以外の医師の意見も聞くこと（セカンドオピニオン）」(40.6%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと（インフォームドチョイス）」は増加、「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること」は減少している。

図表 III-249 安心して医療を受けるために重要なこと・複数回答【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」では「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」（51.1%）が他の二次保健医療圏と比較して高い傾向がみられた。

性別にみると、女性の「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」（49.6%）が男性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「治療から完治までの大まかな医療費についてあらかじめ説明を受けること」が高く、年代が高くなるにつれて「十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと（インフォームドチョイス）」が低くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと（インフォームドチョイス）」（40.1%）、「その他の同居家族」では「診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」（44.1%）が他の同居状況と比較して高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「十分な説明を受け、納得して治療を受けること（インフォームドコンセント）」（72.4%）が最も高く、次いで「診療後に疑問を生じたら相談できる窓口があること（医療に関する相談窓口の設置）」（40.5%）となっている。

図表 III-250 安心して医療を受けるために重要なこと・複数回答【属性別】

	十分な説明を受け、納得して治療を受けること(インフォームドコンセント)	十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと(インフォームドチョイス)	診断や治療方針について主治医以外の医師の意見も聞くこと(セカンドオピニオン)	診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること(医療に関する相談窓口の設置)	治療から完治までの大まかな日程についてあらかじめ説明を受けること	治療から完治までの大まかな医療費についてあらかじめ説明を受けること	カルテ開示の求めに応じてもらうこと	その他	無回答	
全体(N=2,156)	74.7	34.1	40.6	43.0	28.6	29.3	5.5	0.9	2.8	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	75.9	33.5	41.9	43.0	27.9	30.0	5.8	1.1	2.5
	南薩保健医療圏(N=174)	75.8	30.5	37.5	43.8	27.8	22.5	4.4	1.4	4.4
	川薩保健医療圏(N=152)	65.5	44.4	34.1	38.6	26.7	33.2	4.9	1.1	2.8
	出水保健医療圏(N=111)	74.1	33.4	38.1	51.1	28.5	18.2	6.5	0.6	1.7
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	76.7	32.5	40.1	40.8	32.2	31.2	5.6	0.5	2.6
	曾於保健医療圏(N=104)	71.7	32.7	38.8	42.7	33.5	38.9	4.1	0.0	2.9
	肝属保健医療圏(N=202)	73.7	36.4	43.7	44.9	23.2	28.7	6.3	0.7	3.0
	熊毛保健医療圏(N=55)	77.1	38.3	46.5	38.5	31.1	24.4	4.0	1.1	3.7
	奄美保健医療圏(N=142)	74.5	30.9	40.6	44.6	30.7	28.1	4.3	0.4	4.0
性別	男性(N=943)	76.7	34.4	41.8	33.6	31.5	29.3	5.5	1.2	2.8
	女性(N=1,190)	73.2	34.7	41.3	49.6	26.6	28.5	5.0	0.5	2.6
	無回答(N=51)	54.9	19.6	19.6	39.2	19.6	11.8	3.9	2.0	27.5
年齢別	20歳代(N=108)	76.9	36.1	32.4	38.0	31.5	38.9	4.6	0.0	0.0
	30歳代(N=186)	77.4	40.9	41.9	41.9	26.9	36.0	5.9	1.1	0.0
	40歳代(N=291)	78.7	38.8	44.7	41.2	27.5	36.1	5.2	1.7	0.0
	50歳代(N=328)	72.6	40.9	48.8	45.7	26.2	27.4	6.7	0.3	2.1
	60～64歳(N=223)	75.8	38.1	39.0	48.0	31.4	26.9	4.9	0.4	1.3
	65～69歳(N=247)	73.7	32.4	47.4	44.1	30.0	23.5	6.5	0.0	2.8
	70～74歳(N=288)	75.7	30.9	45.5	39.9	27.8	24.3	5.2	1.4	2.4
	75歳以上(N=473)	71.7	25.6	31.3	40.4	30.2	26.4	3.8	0.8	7.2
	無回答(N=40)	50.0	25.0	22.5	40.0	15.0	10.0	2.5	2.5	32.5
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	77.5	38.9	42.8	41.6	28.0	31.7	6.3	1.0	1.0
	社会保険(家族)(N=223)	77.1	30.5	46.6	48.4	24.2	31.4	6.3	0.4	0.4
	国民健康保険(N=795)	72.2	35.1	40.3	42.3	28.2	27.7	4.4	0.6	3.4
	共済組合(N=161)	80.7	36.6	45.3	47.2	34.8	26.7	4.3	0.6	0.0
	後期高齢者医療制度(N=269)	71.4	24.9	33.8	40.5	33.8	24.2	4.5	0.7	5.9
	その他(N=9)	77.8	11.1	66.7	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0
	無回答(N=59)	49.2	22.0	25.4	32.2	15.3	13.6	3.4	1.7	33.9
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	76.2	40.1	41.9	39.5	29.1	33.7	6.4	1.2	0.6
	小学生・中学生がいる(N=264)	79.2	39.0	43.2	40.2	27.3	35.6	7.2	0.8	0.8
	65歳以上がいる(N=838)	74.9	31.9	41.2	43.7	30.8	26.4	4.7	0.5	3.2
	その他の同居家族(N=934)	75.9	35.3	42.4	44.1	29.8	30.3	4.9	0.6	2.0
	一人暮らし(N=381)	72.2	33.9	38.6	42.0	26.5	25.2	5.8	1.3	4.7
	無回答(N=39)	51.3	33.3	28.2	28.2	15.4	28.2	5.1	5.1	17.9
高齢者独居別	独居高齢者(N=210)	72.4	27.1	35.7	40.5	27.6	24.8	5.7	1.0	6.2
	独居高齢者以外(N=1,968)	74.6	35.1	41.7	42.8	28.7	28.9	5.1	0.8	2.7
	無回答(N=6)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7

(単位:%)

16. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）

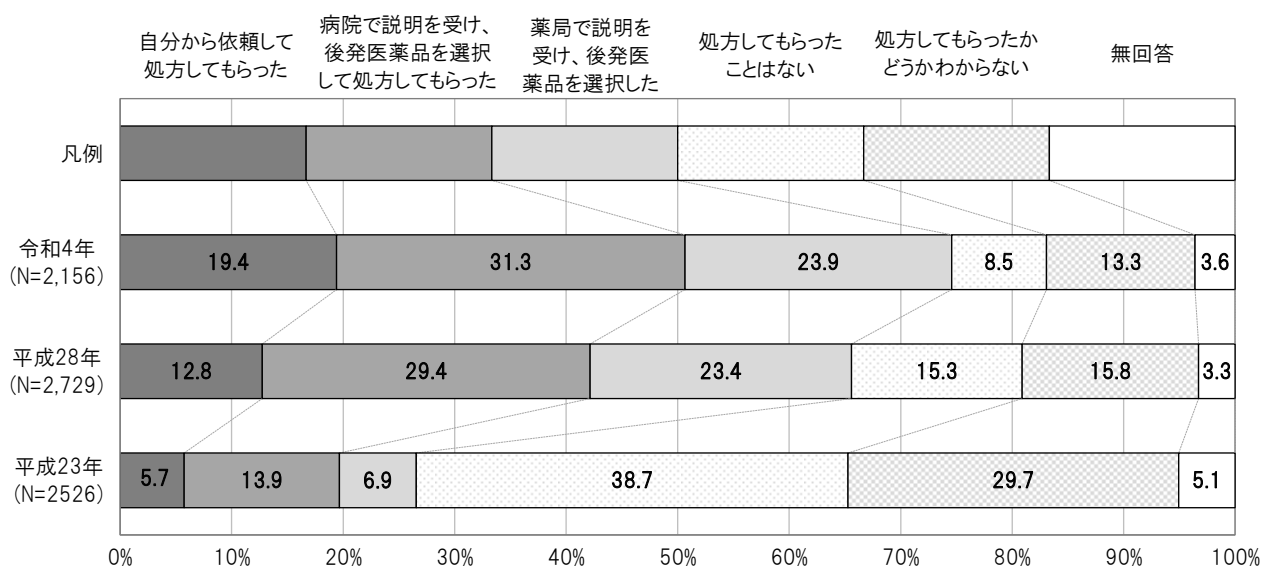
(1) これまでの後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方

問 20-1 これまでに、後発医薬品（ジェネリック）を処方してもらったことがありますか。（○は1つ）

これまでの後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方について、全体では「病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」（31.3%）が最も高く、次いで「薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した」（23.9%）、「自分から依頼して処方してもらった」（19.4%）の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査より比較して『処方してもらった』（74.6%）（「自分から依頼して処方してもらった」（19.4%）と「病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」（31.3%）と「薬局で説明を受け後発医薬品を選択した」（23.9%）を合算）は増加しており、平成23年調査からは48.1ポイント増加している。

図表 III-251 これまでの後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」と「肝属保健医療圏」では「薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した」、その他の二次保健医療圏では「病院で説明を受け、後発医薬品を選択してもらった」が最も高くなっている。

性別にみると、男女ともに「病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」が最も高くなっている。

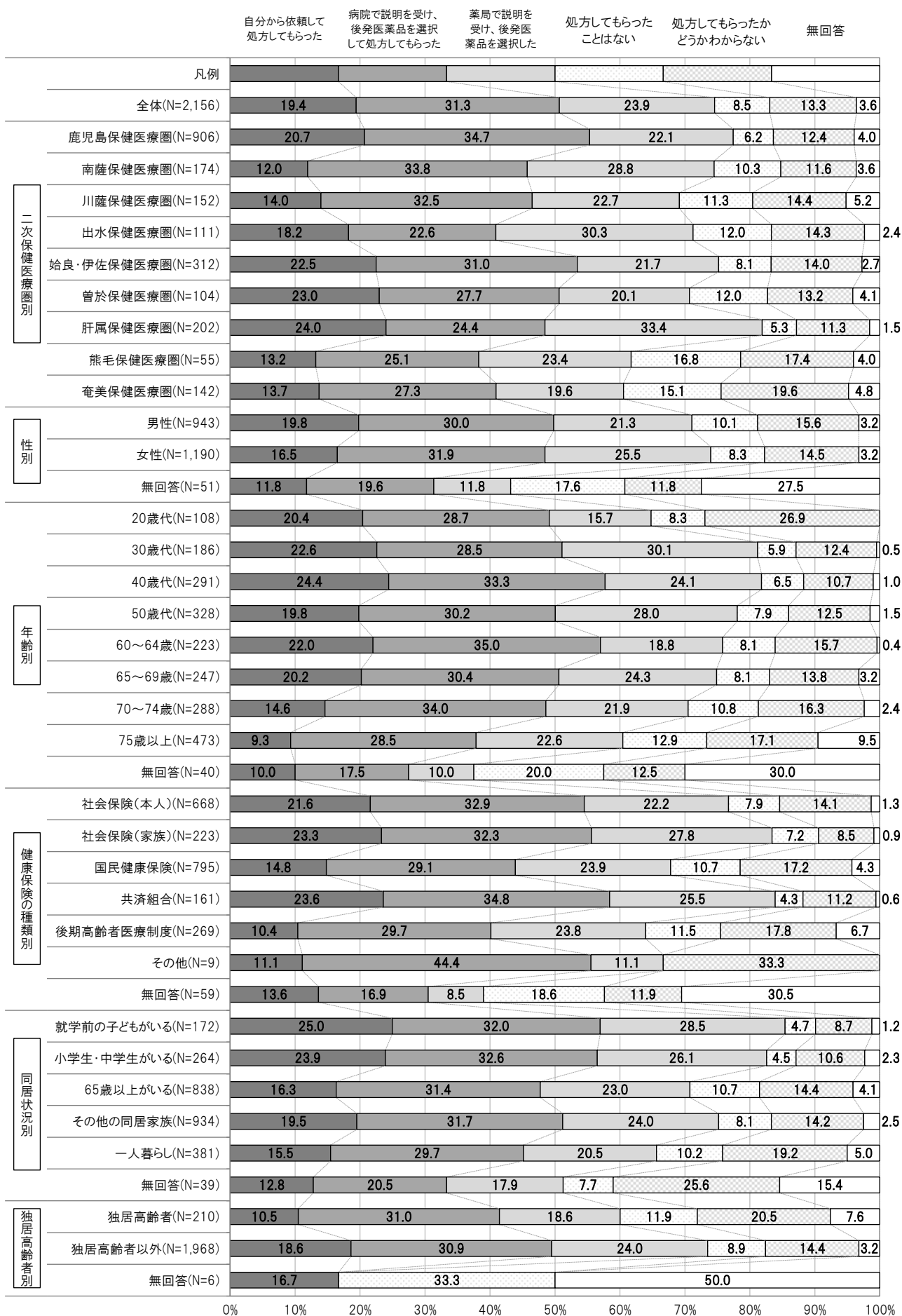
年齢別にみると、30歳代では「薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した」が最も高く、その他の年代では「病院で説明を受け、後発医薬品を選択してもらった」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、すべての健康保険で「病院で説明を受け、後発医薬品を選択してもらった」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、すべての同居状況で「病院で説明を受け、後発医薬品を選択してもらった」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「病院で説明を受け、後発医薬品を選択してもらった」(31.0%)が最も高く、次いで「処方してもらったかどうかわからない」(20.5%)となっている。

図表 III-252 これまでの後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方【属性別】



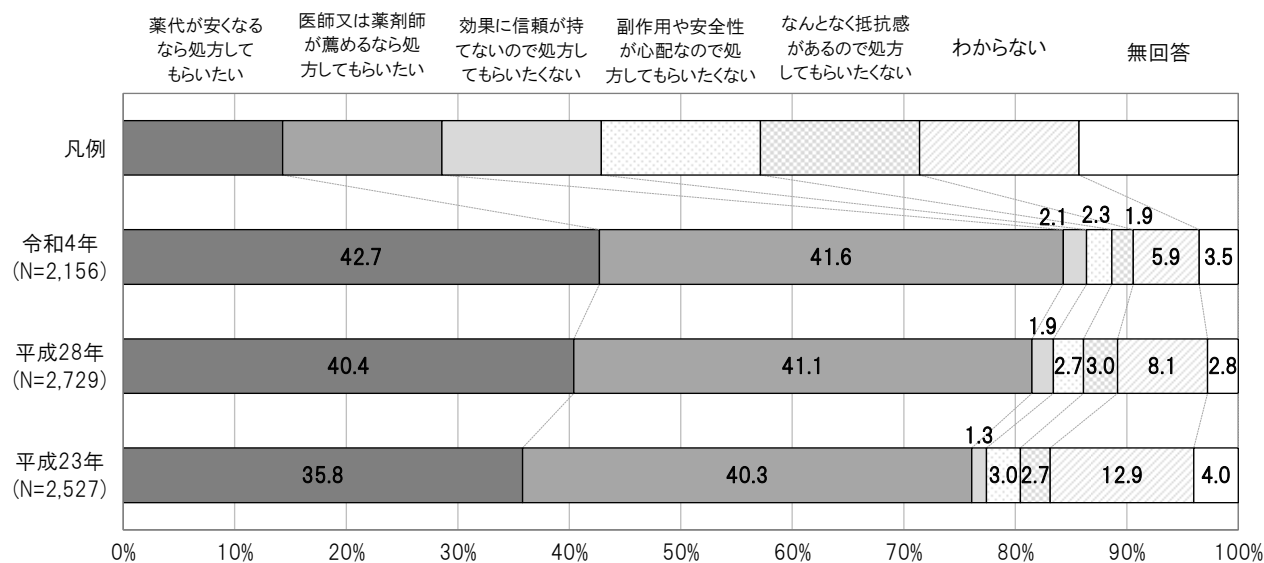
(2) 今後の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方の希望

問 20-2 今後、後発医薬品（ジェネリック）を処方してもらいたいと思いますか。（○は1つ）

今後の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方の希望について、全体では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」（42.7%）が最も高く、次いで「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」（41.6%）、「わからない」（5.9%）の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査より比較して「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」、「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」が増加、「わからない」が減少している。

図表 III-253 今後の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方の希望【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「肝属保健医療圏」では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」(48.5%)、「出水保健医療圏」と「始良・伊佐保健医療圏」では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」が他の二次保健医療圏と比較して高くなっている。

性別にみると、男性は「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」(47.5%)が女性よりも高く、女性は「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」(43.9%)が男性よりも高くなっている。

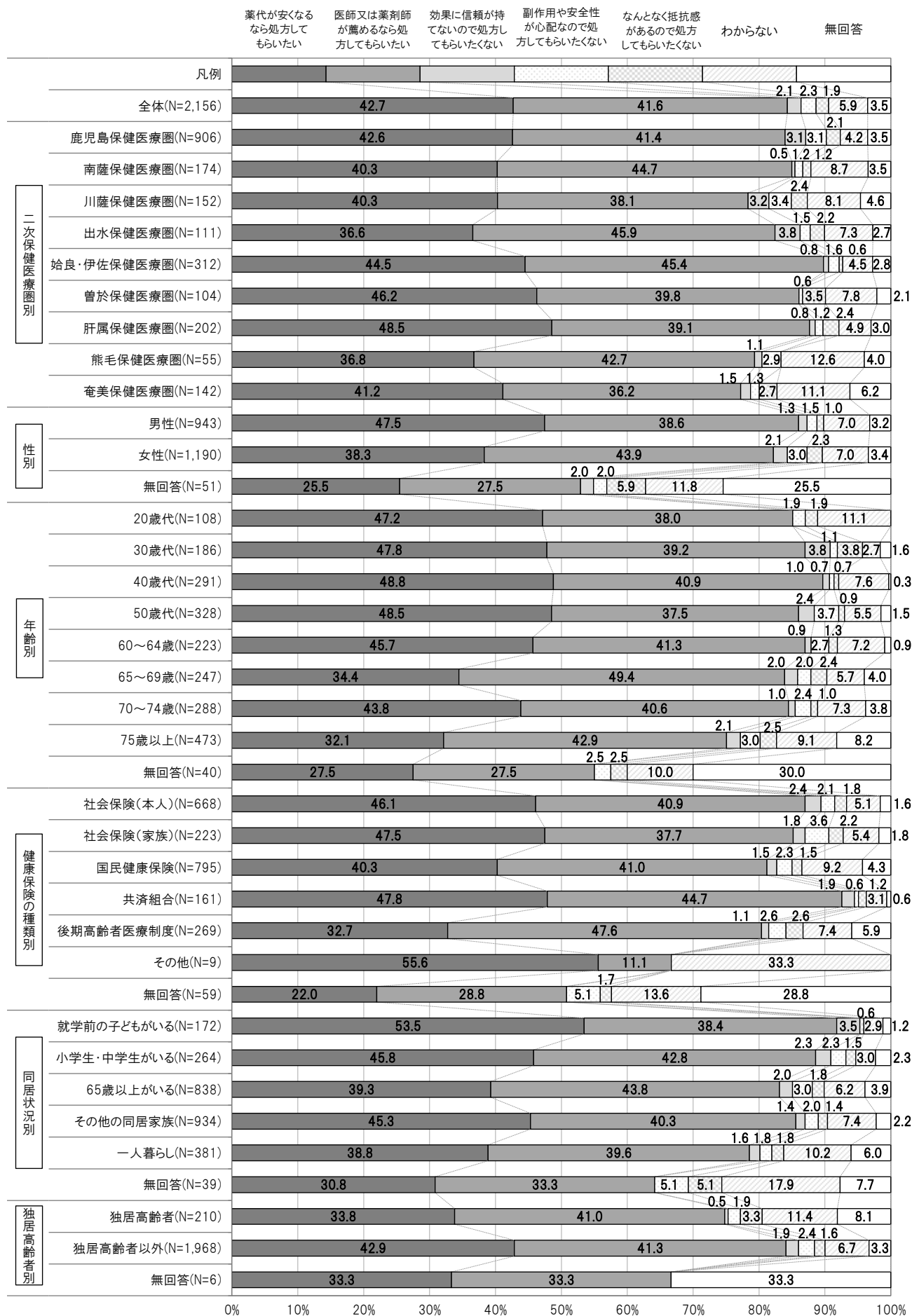
年齢別にみると、20～64歳では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」、65～69歳、75歳以上では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」「社会保険(家族)」「共済組合」では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」が4割を超え、「後期高齢者医療制度」では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」(47.6%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」(53.5%)、「65歳以上がいる」では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」(43.8%)が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい」(41.0%)が最も高く、次いで「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」(33.8%)の順となっている。

図表 III-254 今後の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の処方の希望【属性別】



17. 感染症対策に重要なこと

問 21	新興感染症（新型コロナウイルス感染症等）など、大規模な感染症の発生に備えるため、どのようなことが重要だと思いますか。（〇はいくつでも）
------	---

感染症対策に重要なことについて、全体では「感染症防止に対する正しい知識の普及啓発」（68.5%）が最も高く、次いで「医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備」（47.0%）、「万一の際の相談窓口の設置」（45.7%）の順となっている。

二次保健医療圏別にみると、「熊毛保健医療圏」と「奄美保健医療圏」では「万一の際の相談窓口の設置」が他の保健医療圏より低い傾向がみられた。

性別にみると、男性は「万一に備えた医療提供体制の整備（ワクチン等の備蓄を含む）」（46.7%）が女性よりも高く、女性は「万一の際の相談窓口の設置」（48.1%）、「医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備」（49.4%）が男性より高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「万一の際の相談窓口の設置」が高くなる傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「社会保健（家族）」では「医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備」（52.0%）、「後期高齢者医療制度」では「万一の際の相談窓口の設置」（50.6%）が他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備」（55.3%）、「65歳以上がいる」では「万一の際の相談窓口の設置」（51.6%）が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「感染症防止に対する正しい知識の普及啓発」（67.6%）が最も高く、次いで「万一の際の相談窓口の設置」（47.6%）の順となっている。

図表 III-255 感染症対策に重要なこと・複数回答【属性別】

	識の普及啓発	感染症防止に対する正しい知識	万一の際の相談窓口の設置	迅速な情報提供体制の整備	制	感染症の発生などに備えた医療機関からの定期的な報告体制	作成	感染拡大防止に関するマニュアル	感染者に対する健康管理や感	備	R検査等病原体検査の体制整備	医療機関・薬局等におけるPCR検査等	整備(ワクチン等の備蓄を含む)	万一に備えた医療提供体制の整備	保健所体制の整備	その他	無回答	
全体(N=2,156)	68.5	45.7	40.7	19.1	29.3	47.0	42.9	26.1	3.2	3.1								
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏(N=906)	69.2	47.1	39.3	18.2	29.0	45.5	45.1	26.8	3.8	3.4							
	南薩保健医療圏(N=174)	64.1	43.0	42.3	18.2	30.8	50.1	40.1	21.9	2.2	2.9							
	川薩保健医療圏(N=152)	61.5	50.0	37.0	14.5	25.9	49.8	40.1	27.7	0.9	2.4							
	出水保健医療圏(N=111)	71.0	44.9	38.3	18.5	29.2	52.3	49.0	22.3	1.3	1.1							
	始良・伊佐保健医療圏(N=312)	71.9	48.5	40.1	21.0	30.0	48.6	35.2	27.3	3.4	3.0							
	曾於保健医療圏(N=104)	67.5	47.6	40.9	18.6	30.1	48.7	47.9	22.0	1.6	2.7							
	肝属保健医療圏(N=202)	69.1	43.8	46.7	20.0	29.1	45.0	43.0	28.6	3.9	2.4							
	熊本保健医療圏(N=55)	71.8	35.5	38.6	24.4	32.4	45.2	38.6	31.0	3.5	4.0							
	奄美保健医療圏(N=142)	66.0	35.5	46.2	23.6	30.6	44.6	45.7	22.3	4.2	4.8							
性別	男性(N=943)	70.4	40.8	43.7	21.3	28.2	45.0	46.7	26.1	3.3	2.3							
	女性(N=1,190)	68.4	48.1	40.8	19.8	31.8	49.4	40.8	25.6	2.3	2.7							
	無回答(N=51)	41.2	27.5	25.5	9.8	27.5	33.3	29.4	11.8	3.9	31.4							
年齢別	20歳代(N=108)	63.0	24.1	36.1	14.8	30.6	41.7	32.4	34.3	2.8	0.0							
	30歳代(N=186)	76.9	30.6	41.4	16.7	31.7	41.9	38.7	33.9	3.2	1.1							
	40歳代(N=291)	72.5	39.9	40.9	20.3	28.2	48.8	42.3	28.5	4.8	0.7							
	50歳代(N=328)	70.1	45.7	44.2	19.5	28.4	51.2	44.8	29.9	4.3	0.9							
	60～64歳(N=223)	71.3	44.8	51.6	22.4	33.2	53.8	49.3	21.1	3.6	0.4							
	65～69歳(N=247)	64.0	49.4	42.1	20.6	28.3	51.8	46.2	26.7	0.0	2.8							
	70～74歳(N=288)	71.5	51.0	44.4	22.9	33.0	48.6	45.8	24.0	1.7	1.7							
	75歳以上(N=473)	64.9	51.0	36.2	21.4	29.8	41.2	41.6	18.8	1.7	7.6							
無回答(N=40)	42.5	30.0	30.0	10.0	27.5	32.5	27.5	12.5	5.0	35.0								
健康保険の種類別	社会保険(本人)(N=668)	72.0	39.5	41.5	18.3	27.7	48.5	44.6	28.4	3.1	1.2							
	社会保険(家族)(N=223)	68.2	48.9	39.5	22.9	26.9	52.0	39.0	28.3	2.7	1.3							
	国民健康保険(N=795)	67.4	48.7	43.6	21.9	32.6	46.0	41.4	23.3	2.6	3.3							
	共済組合(N=161)	74.5	34.2	47.8	14.9	33.5	49.7	48.4	32.9	3.1	0.0							
	後期高齢者医療制度(N=269)	68.4	50.6	38.3	22.3	32.3	44.2	48.0	21.6	1.5	5.2							
	その他(N=9)	66.7	22.2	44.4	11.1	22.2	55.6	66.7	33.3	11.1	0.0							
	無回答(N=59)	33.9	30.5	23.7	16.9	18.6	32.2	23.7	8.5	3.4	32.2							
同居状況別	就学前の子どもがいる(N=172)	70.3	34.9	42.4	23.3	29.7	43.0	31.4	34.3	3.5	0.6							
	小学生・中学生がいる(N=264)	72.7	41.3	40.9	19.7	29.9	55.3	38.6	29.9	4.2	0.4							
	65歳以上がいる(N=838)	68.4	51.6	44.2	22.0	33.2	49.9	45.8	24.5	2.5	2.6							
	その他の同居家族(N=934)	69.6	44.6	42.1	19.6	28.4	48.6	43.7	28.3	3.3	2.1							
	一人暮らし(N=381)	70.1	39.6	38.1	20.7	29.9	41.5	42.5	22.3	1.8	5.8							
無回答(N=39)	51.3	33.3	23.1	12.8	28.2	30.8	51.3	23.1	0.0	15.4								
高齢者独居別	独居高齢者(N=210)	67.6	47.6	36.2	24.8	28.1	41.4	44.8	21.0	1.0	8.1							
	独居高齢者以外(N=1,968)	68.9	44.3	42.3	19.8	30.4	47.8	43.0	26.1	2.9	2.5							
	無回答(N=6)	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	66.7							

(単位:%)

18. 優先して充実すべき本県の医療体制

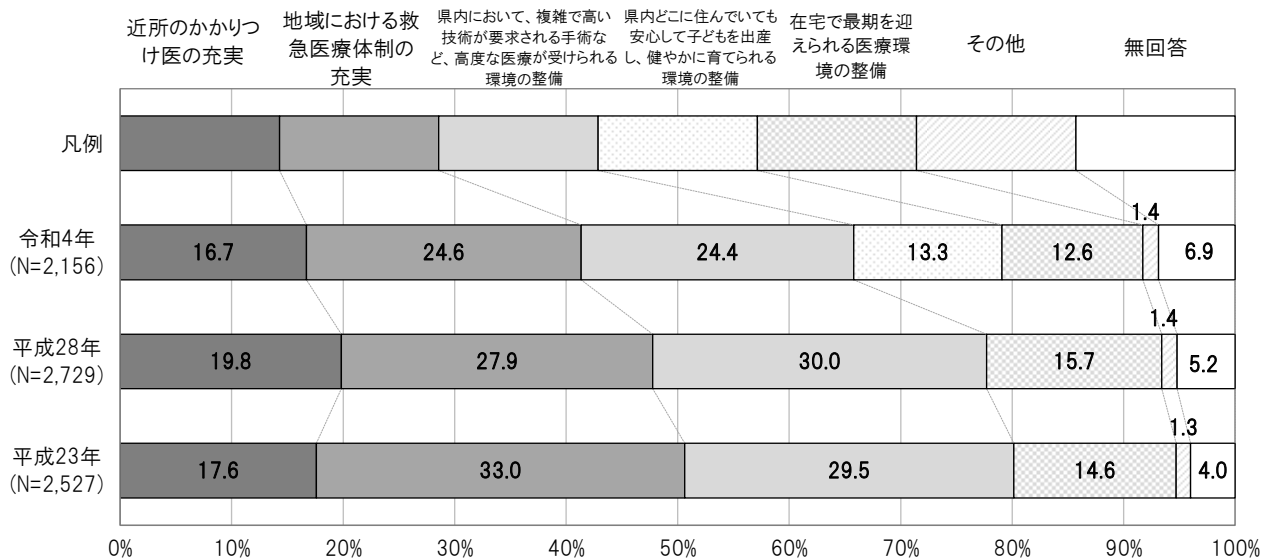
問 22	今後、あなたは、本県の医療体制について何を優先して充実させるべきだと思いますか。 (○は1つ)
------	--

ア. 全体の分析

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」(24.6%)が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(24.4%)、「近所のかかりつけ医の充実」(16.7%)の順となっている。

調査年別にみると、平成28年調査と比較して「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が5.6ポイント低くなっている。

図表 III-256 優先して充実すべき本県の医療体制【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「始良・伊佐保健医療圏」、「曾於保健医療圏」、「肝属保健医療圏」では「地域における救急医療体制の充実」、「熊毛保健医療圏」では「近所のかかりつけ医の充実」、「鹿児島保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

性別にみると、男性は「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(26.8%)、女性は「地域における救急医療体制の充実」(24.4%)が最も高くなっている。

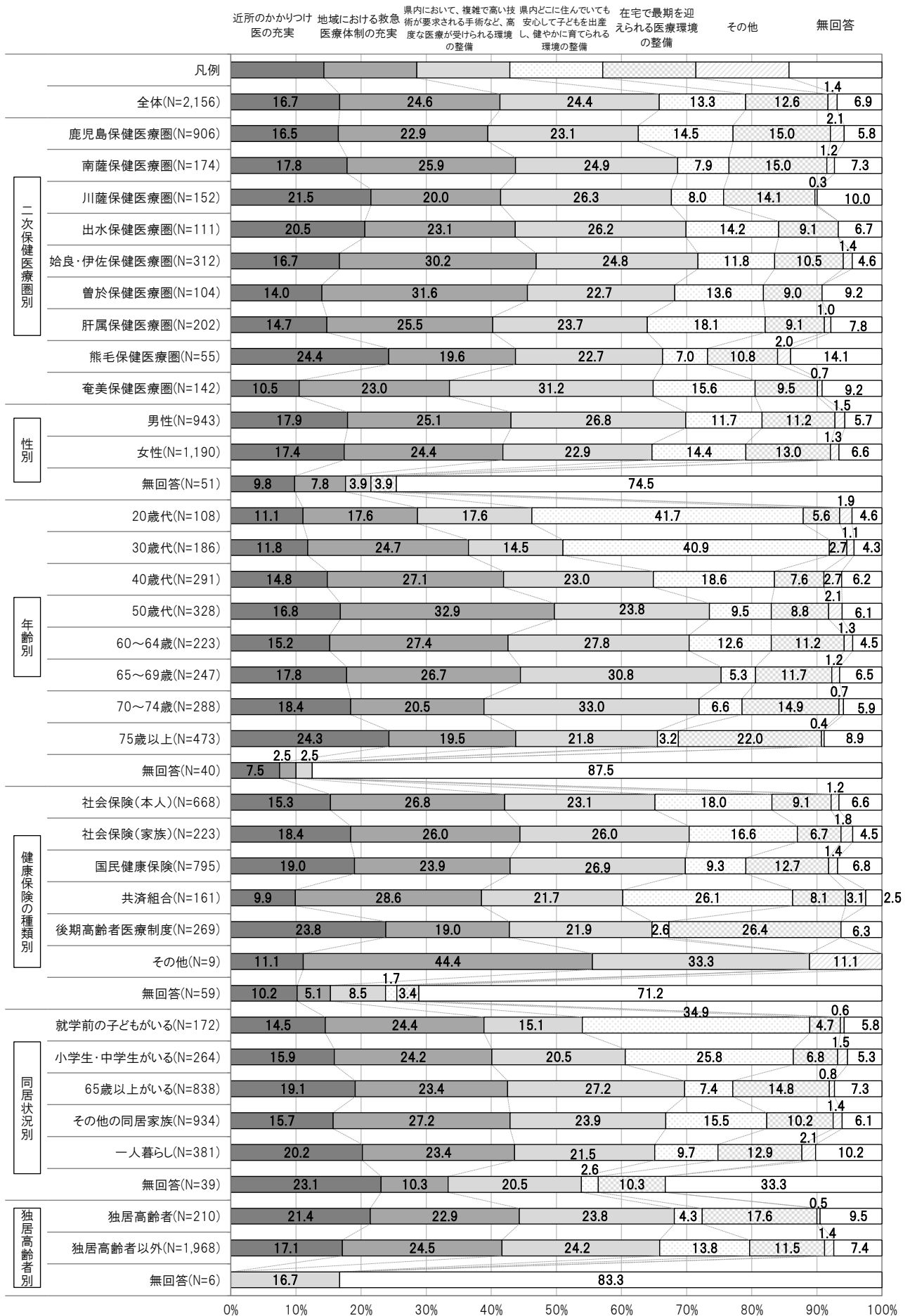
年齢別にみると、20歳代、30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、40歳代、50歳代では「地域における救急医療体制の充実」、60歳代、70～74歳では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」、75歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」(24.3%)が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保健(本人)」、「共済組合」では「地域における救急医療体制の充実」、「国民健康保険」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(26.9%)、「後期高齢者医療制度」では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(26.4%)が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」、「小学生・中学生がいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」が他の年代より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(23.8%)が最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」(22.9%)の順となっている。

図表 III-257 優先して充実すべき本県の医療体制【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 385・図表 III-258)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」(24.2%)が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(22.6%)、「近所のかかりつけ医の充実」(16.1%)の順となっている。

性別にみると、男性は「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(26.2%)が女性より高い傾向がみられた。

年齢別にみると、20歳代と30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、70～74歳では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(35.0%)、75歳以上では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(28.3%)、その他の年代では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「国民健康保険」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(26.7%)、「後期高齢者医療制度」では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(32.1%)、その他の健康保険では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」「小学生・中学生がいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、「一人暮らし」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(22.5%)、その他の同居状況では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(29.6%)が最も高く、次いで「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(22.2%)の順となっている。

南薩保健医療圏 (P. 386・図表 III-259)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」(25.3%)と「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(25.3%)が同数で最も高く、次いで「近所のかかりつけ医の充実」(18.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(30.0%)が女性より高い傾向がみられた。

年齢別にみると、30歳代では「近所のかかりつけ医の充実」(33.3%)、40歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、70～74歳以上では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(35.5%)、75歳以上では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(28.1%)、その他の年代では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」では「地域における救急医療体制の充実」（35.8%）、「共済組合」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（50.0%）、「後期高齢者医療制度」では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「地域における救急医療体制の充実」（33.3%）と「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（33.3%）が同数で最も高く、「65歳以上がいる」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（33.3%）が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「近所のかかりつけ医の充実」（33.3%）が最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」（28.6%）の順となっている。

川薩保健医療圏（P. 387・図表 III-260）

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（25.7%）が最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」（21.1%）、「近所のかかりつけ医の充実」（19.7%）の順となっている。

性別にみると、男性は「県内において複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高く、女性は「近所のかかりつけ医の充実」、「地域における救急医療体制の充実」、「県内において複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が同率で高い。

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、60～64歳では「地域における救急医療体制の充実」（28.6%）、75歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」（31.3%）、その他の年代では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」では「地域における救急医療体制の充実」（30.4%）、「社会保険（家族）」では「近所のかかりつけ医の充実」（26.3%）、「国民健康保険」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（29.1%）、その他の健康保険では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（41.7%）、「小学生・中学生がいる」、「その他の同居家族」では「地域における救急医療体制の充実」、「65歳以上がいる」、「一人暮らし」では、「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（27.8%）が最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」（22.2%）の順となっている。

出水保健医療圏 (P. 388・図表 III-261)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(24.6%)と最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」(23.8%)、「近所のかかりつけ医の充実」(21.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「県内において複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高く、女性は「地域における救急医療体制の充実」が最も高い。

年齢別にみると、30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」(50.0%)、60～64歳、70～74歳では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」、65～69歳では「地域における救急医療体制の充実」(45.5%)、75歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」(25.9%)と「地域における救急医療体制の充実」(25.9%)が同数で最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険(本人)」、「共済組合」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、「国民健康保険」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(30.2%)、「後期高齢者医療制度」では「地域における救急医療体制の充実」(33.3%)、「社会保険(家族)」では「地域における救急医療体制の充実」(27.3%)と「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(27.3%)が同数で最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」(27.3%)、「小学生・中学生がいる」では「地域における救急医療体制の充実」(33.3%)、「一人暮らし」では「近所のかかりつけ医の充実」(26.7%)が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「近所のかかりつけ医の充実」(30.0%)が最も高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 389・図表 III-262)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」(29.9%)が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(23.9%)、「近所のかかりつけ医の充実」(17.3%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「地域における救急医療体制の充実」、「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、70～74歳では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(34.3%)、75歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」(30.9%)、その他の年代では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（本人）」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（29.8%）、「後期高齢者医療制度」では「近所のかかりつけ医の充実」（31.7%）、その他の健康保険では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（32.0%）、「一人暮らし」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（26.2%）、その他の同居状況では「地域における救急医療体制の充実」が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「近所のかかりつけ医の充実」（24.0%）が最も高くなっている。

曾於保健医療圏（P. 390・図表 III-263）

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」（33.6%）が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（22.1%）、「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（15.0%）の順となっている。

性別にみると、男女ともに「地域における救急医療体制の充実」、「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

年齢別にみると、20歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（60.0%）、65～69歳では「地域における救急医療体制の充実」（35.7%）と「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（35.7%）、70歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」と「地域における救急医療体制の充実」、その他の年代では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（80.0%）、「後期高齢者医療制度」では「近所のかかりつけ医の充実」（30.8%）、その他の健康保険では「地域における救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では「近所のかかりつけ医の充実」（28.6%）と「地域における救急医療体制の充実」（28.6%）、「小学生・中学生がいる」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（30.8%）、「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（30.8%）が同数で最も高く、その他の同居状況では「地域における救急医療体制の充実」が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「地域における救急医療体制の充実」（27.3%）が最も高くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 391・図表 III-264)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「地域における救急医療体制の充実」(23.4%)と「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(23.4%)が同数で最も高く、次いで「近所のかかりつけ医の充実」(18.4%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「地域における救急医療体制の充実」、「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、60～64歳では「近所のかかりつけ医の充実」(27.3%)、65～69歳では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(42.9%)、70～74歳では「地域における救急医療体制の充実」(26.2%)と「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(26.2%)、75歳以上では「地域における救急医療体制の充実」(27.3%)と「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(27.3%)が同数で最も高く、その他の年代は「地域における救急医療体制の充実」が高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「健康保険(本人)」と「共済組合」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、「社会保険(家族)」と「国民健康保険」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」、「後期高齢者医療制度」では「近所のかかりつけ医の充実」(29.4%)と「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」(29.4%)が同数で最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」、「一人暮らし」では「地域における救急医療体制の充実」(28.0%)が他の同居状況より高い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「近所のかかりつけ医の充実」(28.0%)と「地域における救急医療体制の充実」(28.0%)が同数で最も高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 392・図表 III-265)

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「近所のかかりつけ医の充実」(26.3%)が最も高く、次いで「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(22.9%)、「地域における救急医療体制の充実」(18.6%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「近所のかかりつけ医の充実」、「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

年齢別にみると、20歳代と50歳代では「近所のかかりつけ医の充実」、40歳代では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(35.7%)、70歳以上では「近所のかかりつけ医の充実」が高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「健康保険（本人）」と「共済組合」では「近所のかかりつけ医の充実」、
「社会保険（家族）」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受け
られる環境の整備」（45.5%）、「後期高齢者医療制度」では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」
（44.4%）、「国民健康保険」では「近所のかかりつけ医の充実」（28.6%）と「県内において、複雑で
高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（28.6%）が同数で最も高くなっ
ている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出
産し、健やかに育てられる環境の整備」（36.4%）、「65歳以上がいる」と「その他の同居家族」では
「近所のかかりつけ医の充実」、「一人暮らし」では「地域における救急医療体制の充実」（22.2%）、
「就学前の子供がいる」では「近所のかかりつけ医の充実」（30.0%）と「県内において、複雑で高い
技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（30.0%）が同数で最も高くなっ
ている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「在宅で最期を迎えられる医療環境の整備」（30.0%）
が最も高くなっている。

奄美保健医療圏（P. 393・図表 III-266）

優先して充実すべき本県の医療体制について、全体では「県内において、複雑で高い技術が要求さ
れる手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（28.5%）が最も高く、次いで「地域における救
急医療体制の充実」（21.0%）、「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられ
る環境の整備」（17.7%）の順となっている。

性別にみると、男女ともに「地域における救急医療体制の充実」、「県内において、複雑で高い技術
が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

年齢別にみると、30歳代と40歳代では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健や
かに育てられる環境の整備」、20歳代では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、
高度な医療が受けられる環境の整備」（28.6%）と「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、
健やかに育てられる環境の整備」（28.6%）が同数で最も高く、その他の年代では「県内において、複
雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が高い傾向がみられる。

健康保険の種類別にみると、「健康保険（本人）」では「地域における救急医療体制の充実」（25.9%）
と「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備」（25.9%）が
同数で最も高く、その他の健康保険では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高
度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子供がいる」では「地域における救急医療体制の充実」（33.3%）、
「小学生・中学生がいる」では「県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てら
れる環境の整備」（31.9%）、「一人暮らし」では「地域における救急医療体制の充実」（27.3%）と「県
内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」（27.3%）
が同数で最も高く、その他の同居状況は「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高

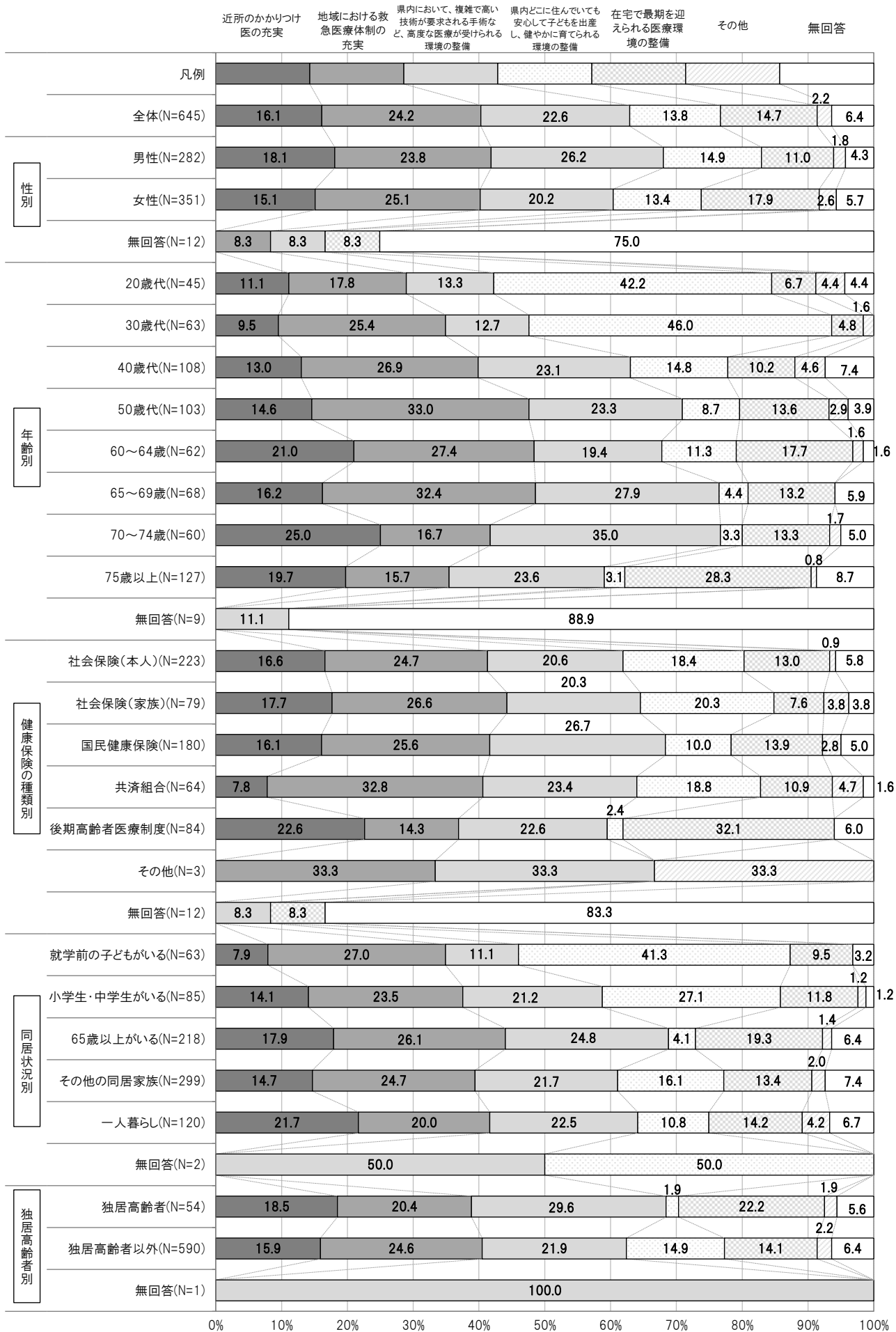
度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」(37.1%)が最も高く、次いで「地域における救急医療体制の充実」(22.9%)の順となっている。

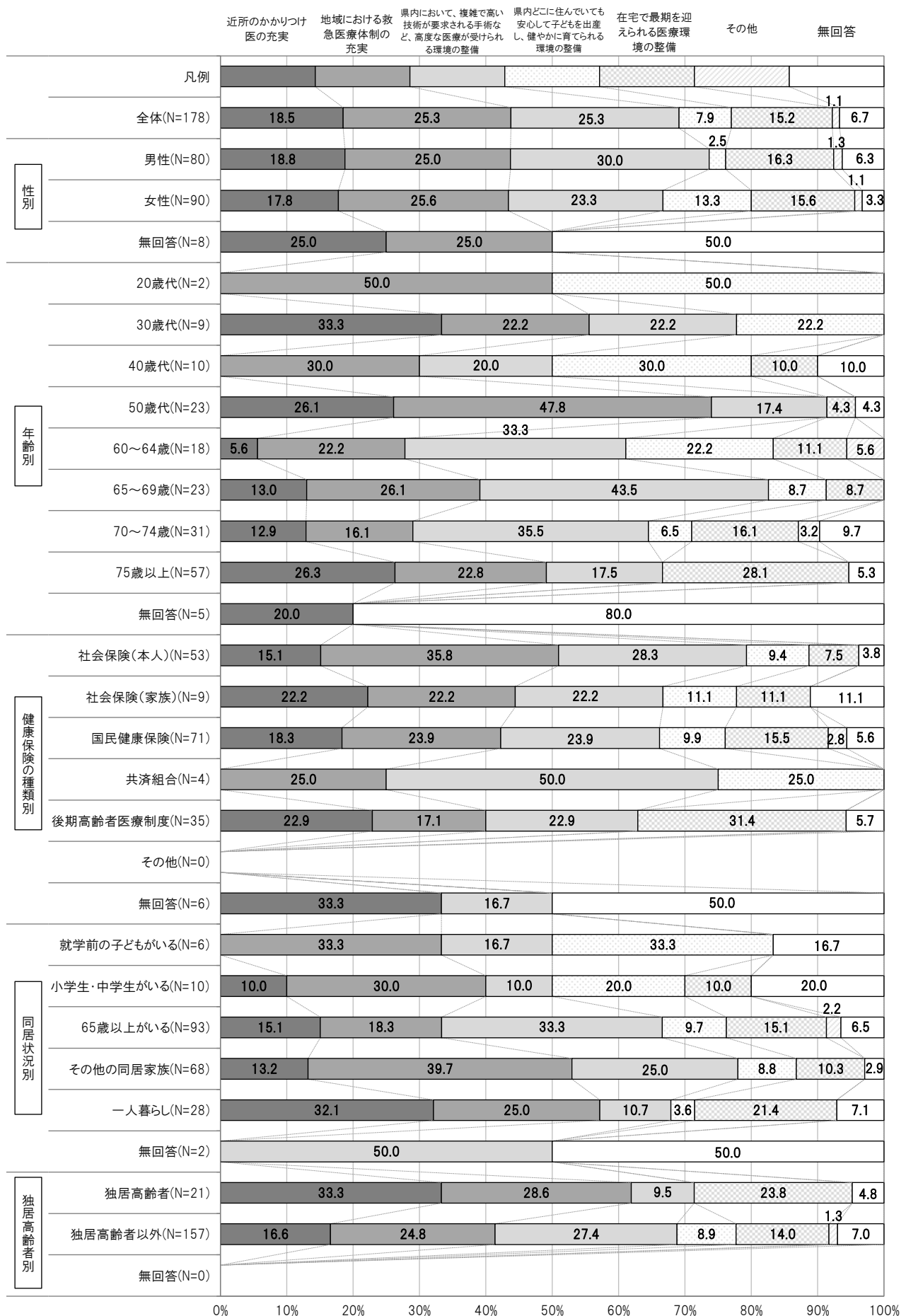
離島別の分析 (P. 394・図表 III-267)

離島別にみると、「種子島」は「近所のかかりつけ医の充実」(28.0%)、「三島」、「十島」、「甌島」、「屋久島」は「地域における救急医療体制の充実」、その他の離島は「県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備」が最も高くなっている。

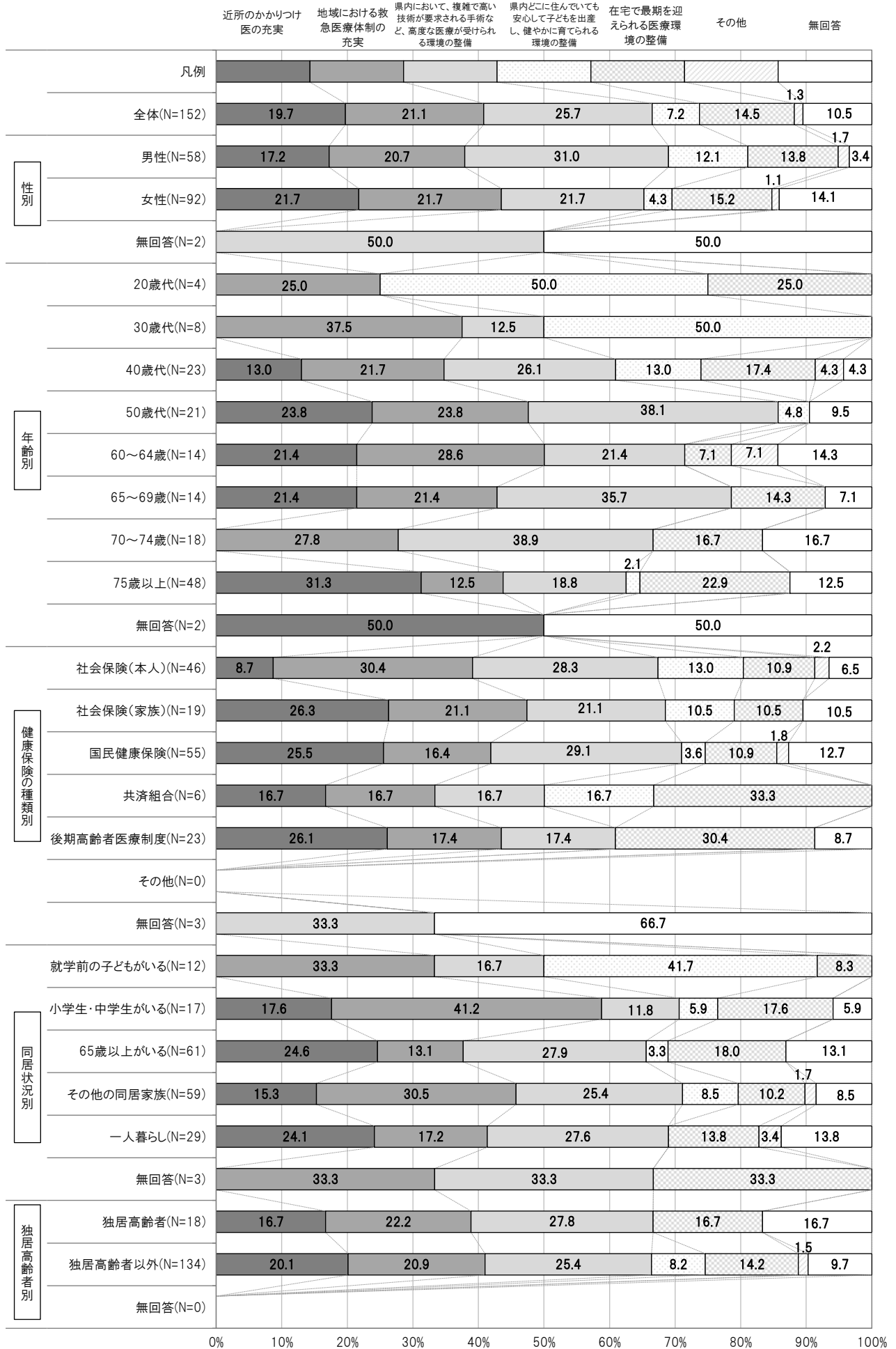
図表 III-258 鹿児島保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



図表 III-259 南薩保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】

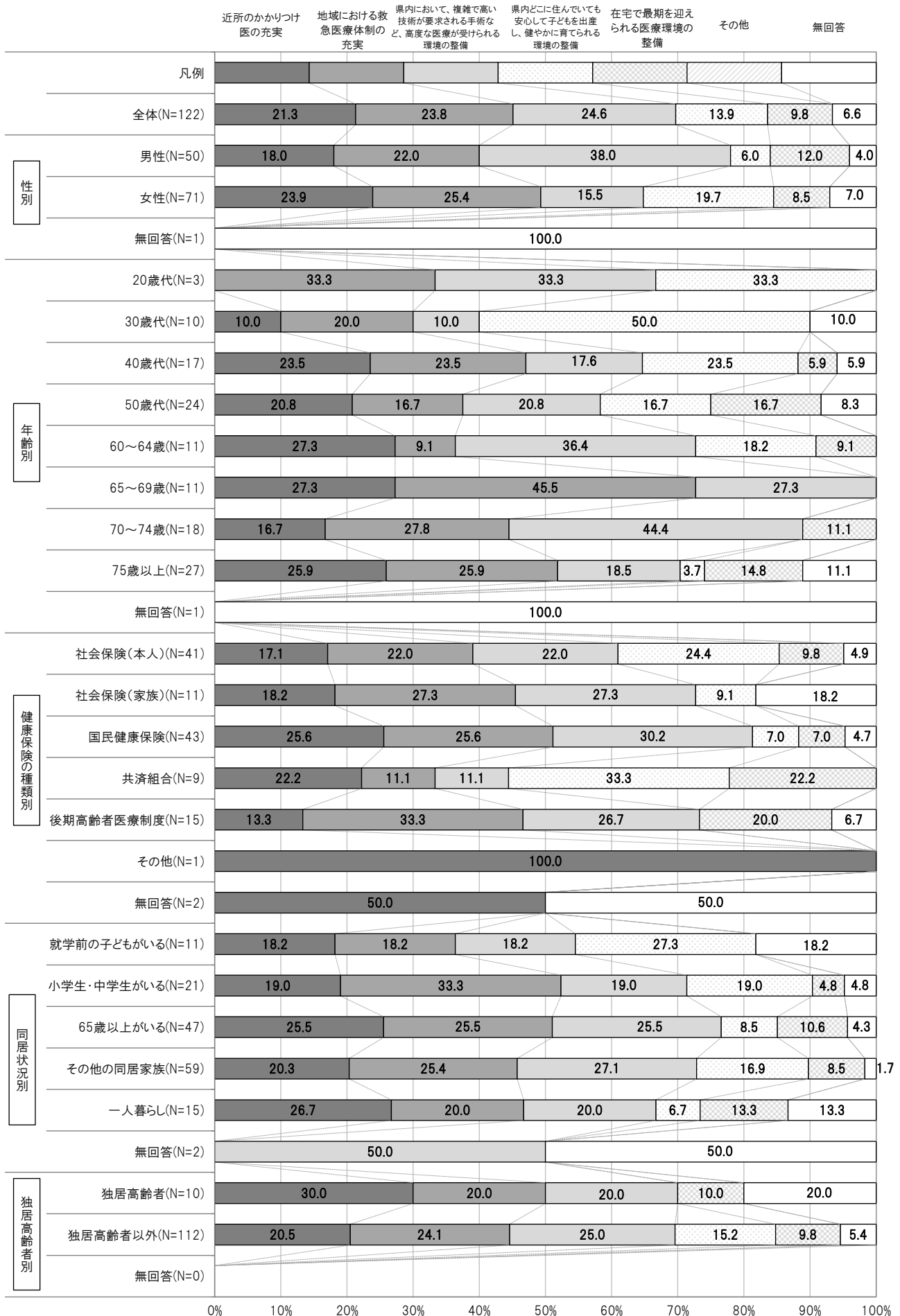


図表 III-260 川薩保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】

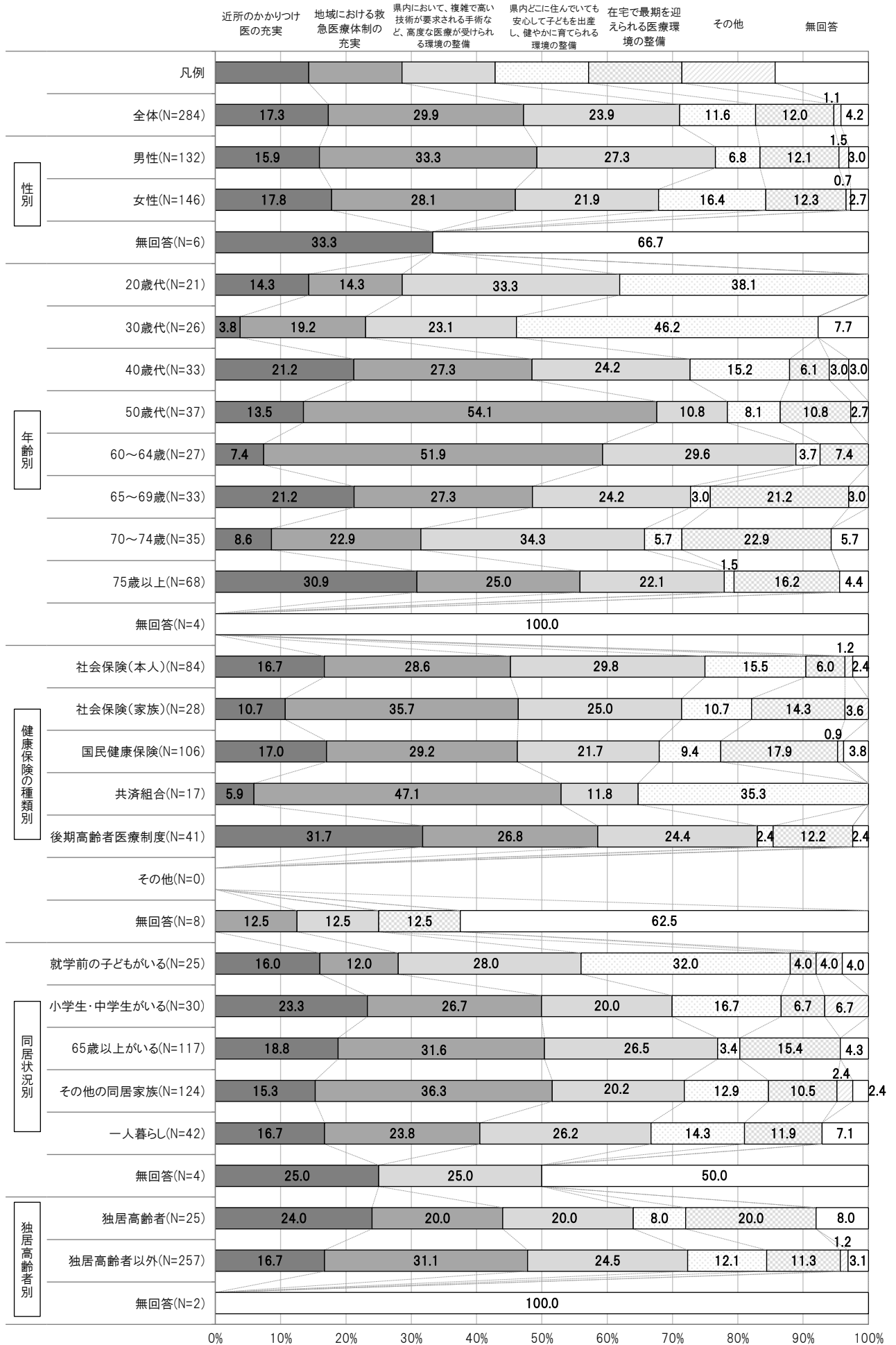


図表 III-261

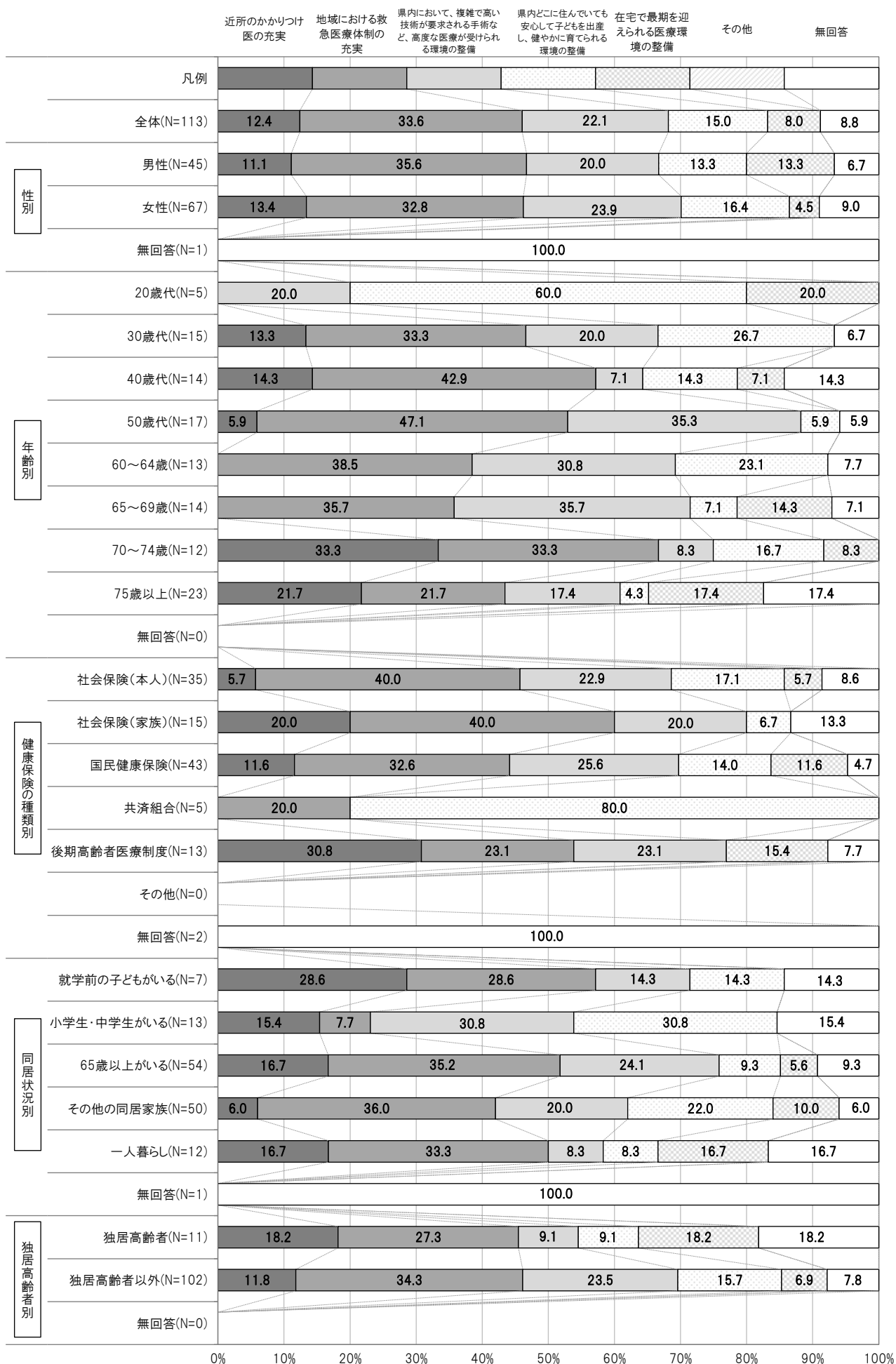
出水保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



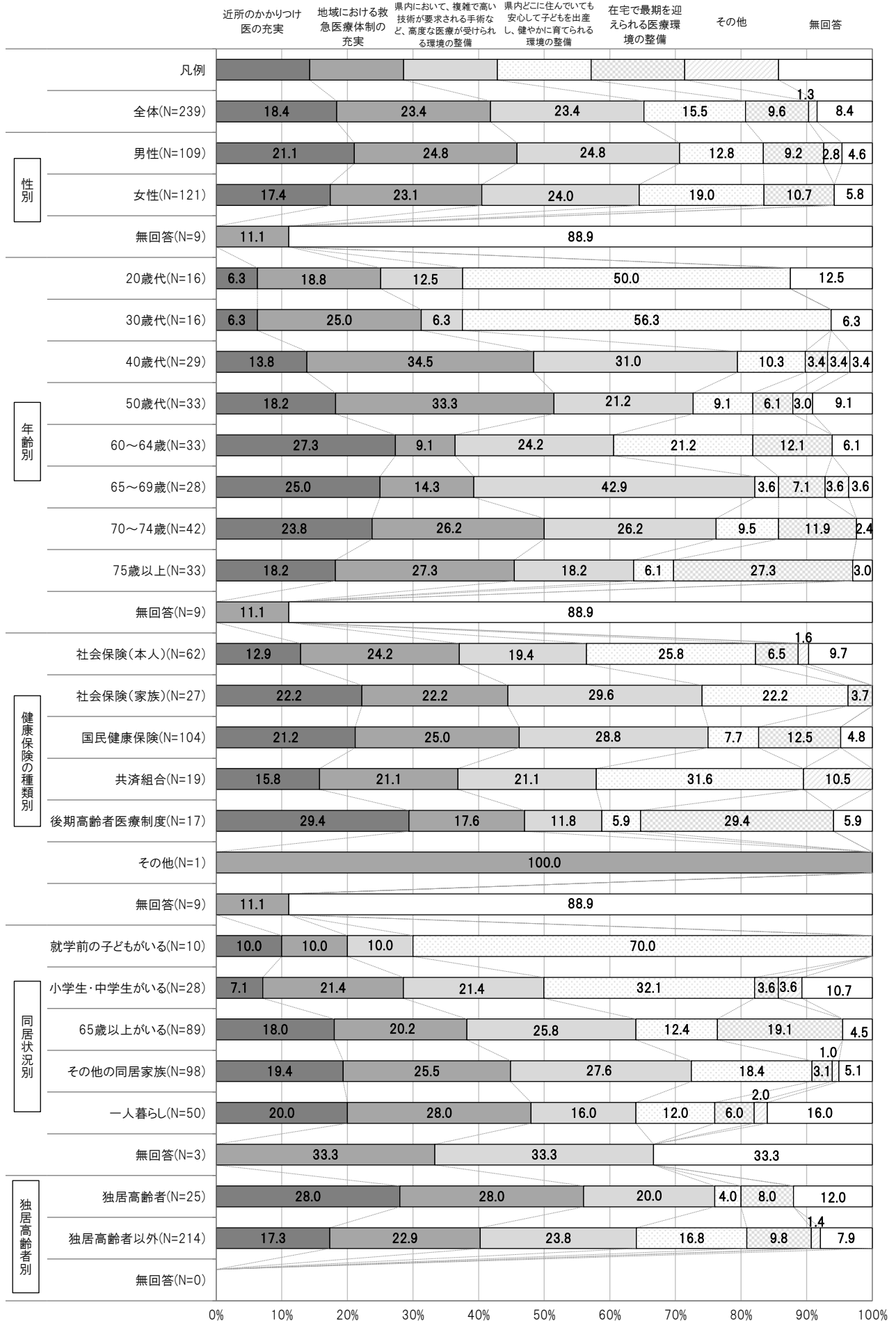
図表 III-262 始良・伊佐保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



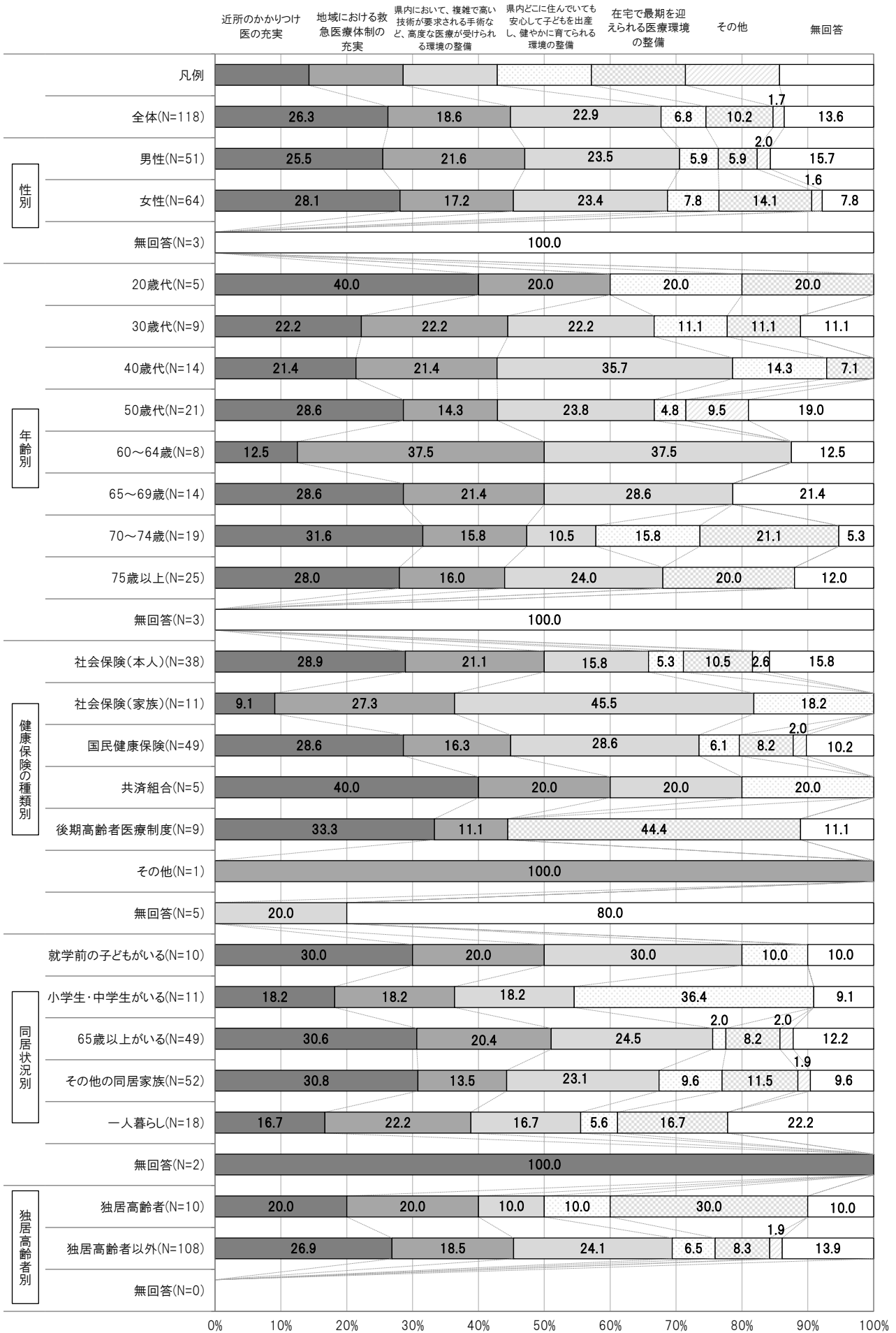
図表 III-263 曾於保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



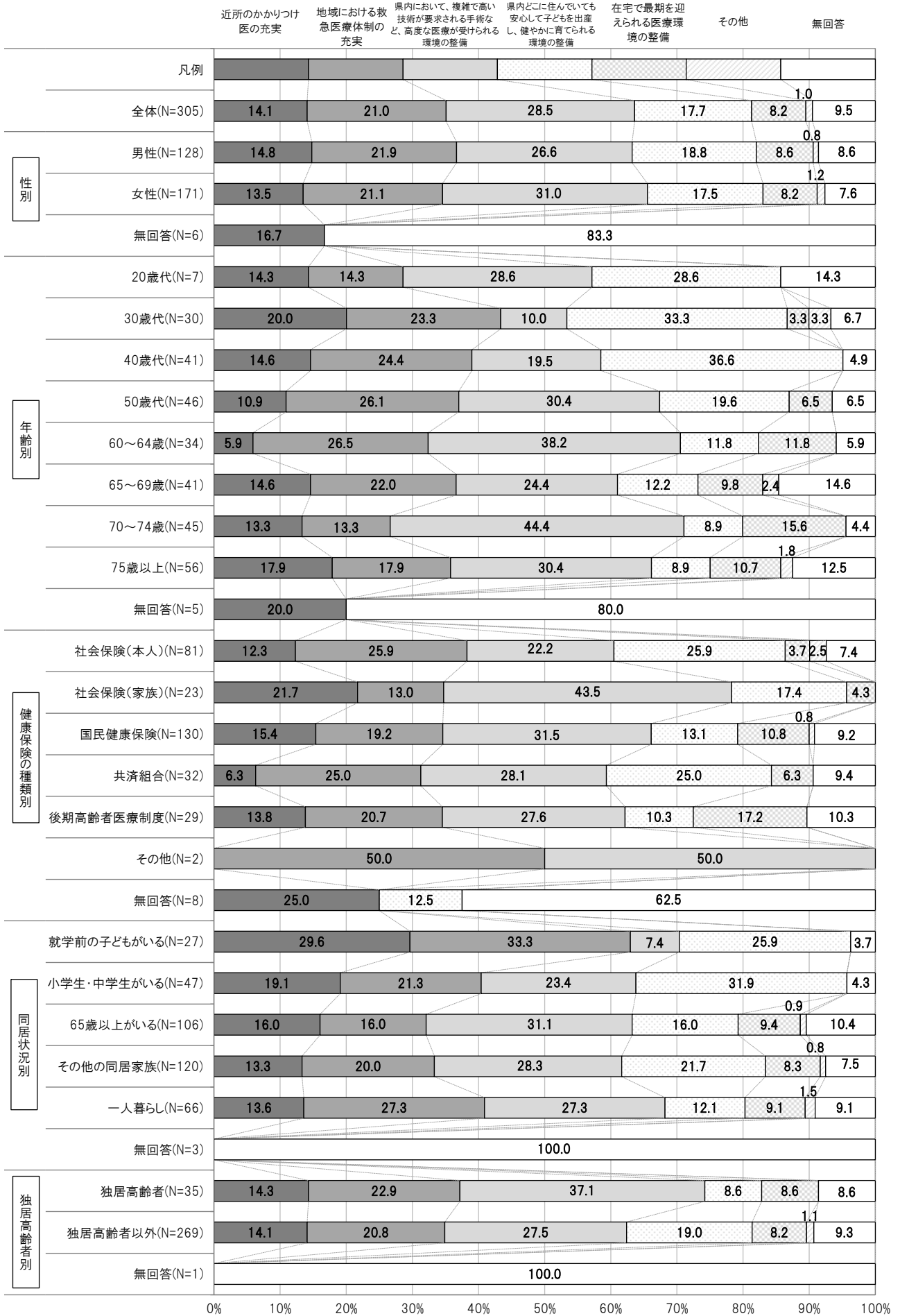
図表 III-264 肝属保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



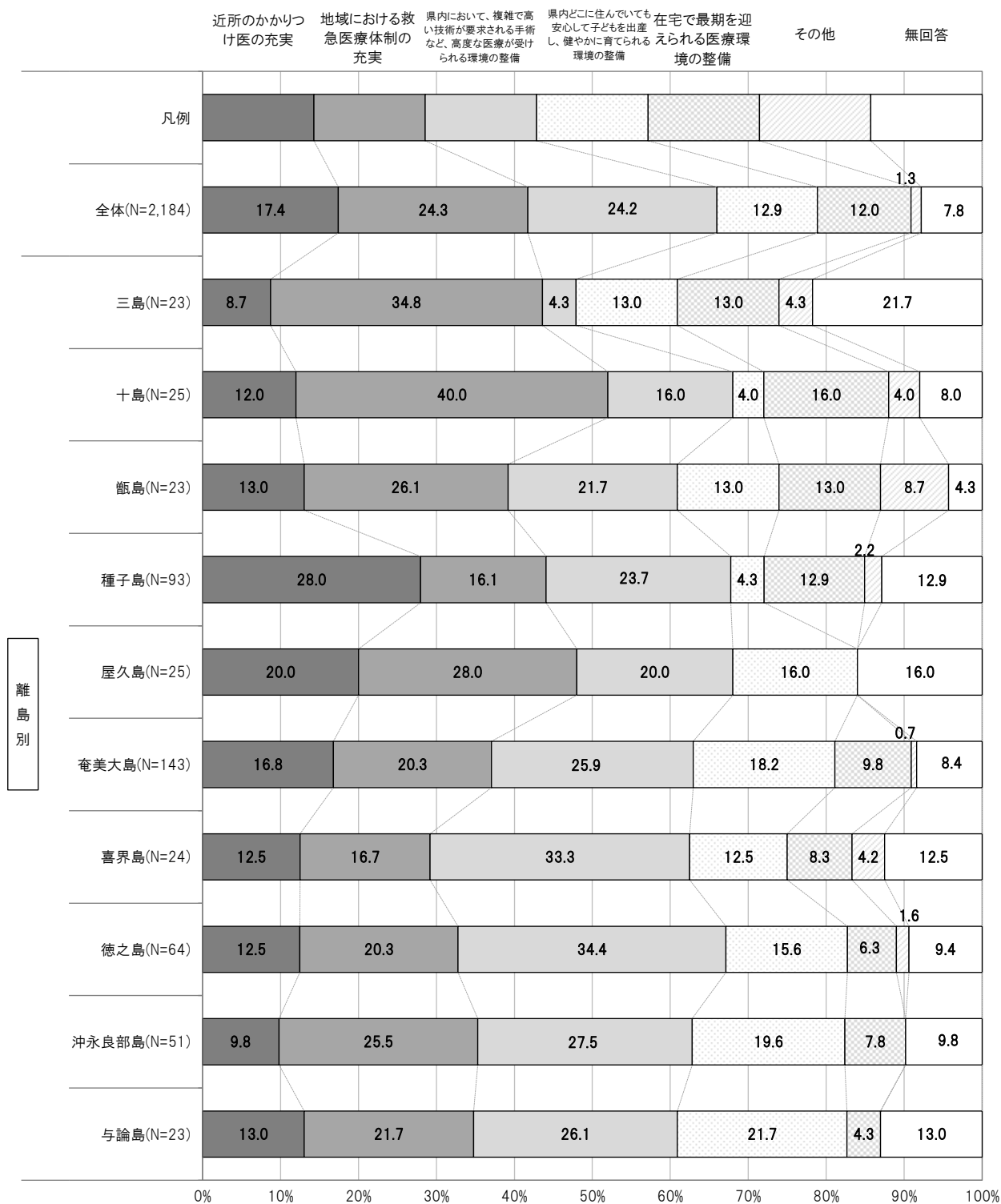
図表 III-265 熊毛保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



図表 III-266 奄美保健医療圏 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



図表 I11-267 離島別の分析 優先して充実すべき本県の医療体制【加重集計前・属性別】



19. QOL（生活の質）

問 23

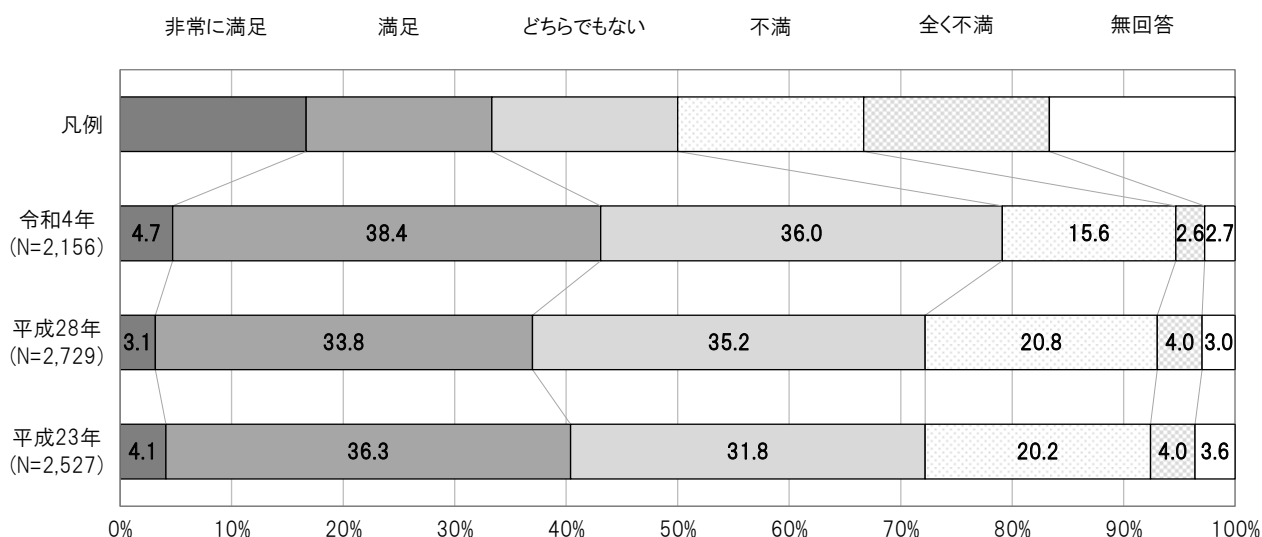
あなたご自身のことについて、最もあてはまると思われるものに、それぞれ○を1つだけ付けてください。（○はそれぞれ1つ）

ア. 全体の分析

① 健康状態の満足度

自分の健康状態について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は43.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は18.2%となっており、平成28年調査と比較して『満足している』は増加傾向、『不満である』は減少傾向がみられた。

図表 III-268 QOL（生活の質）（健康状態の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」では『満足している』（47.5%）が他の保健医療圏より高い傾向がみられた。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

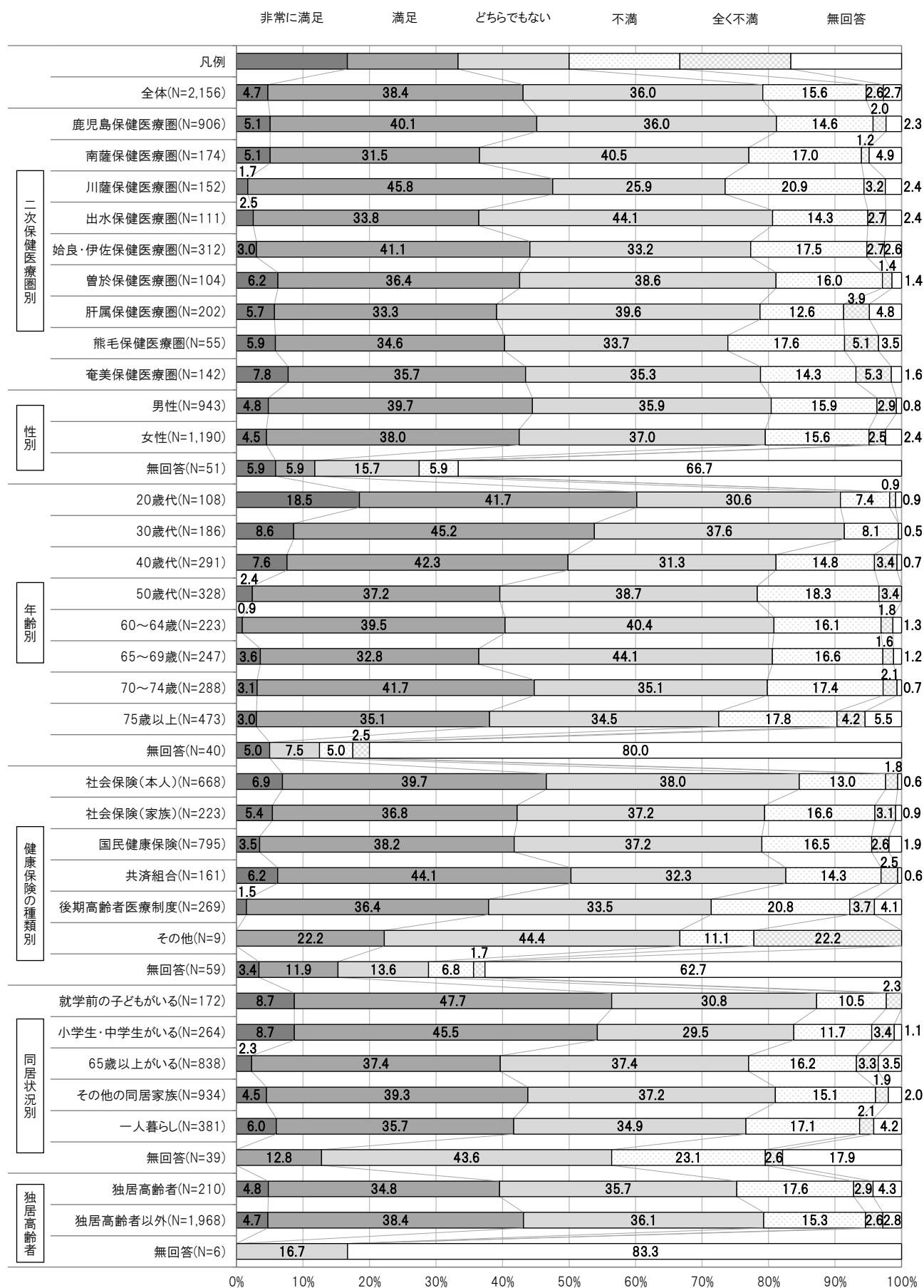
年齢別にみると、20歳代、30歳代は『満足している』が、50歳代、75歳以上は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（50.3%）が、「後期高齢者医療制度」は『不満である』（24.5%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では『満足している』（56.4%）が、「65歳以上がいる」「一人暮らし」では『不満である』が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

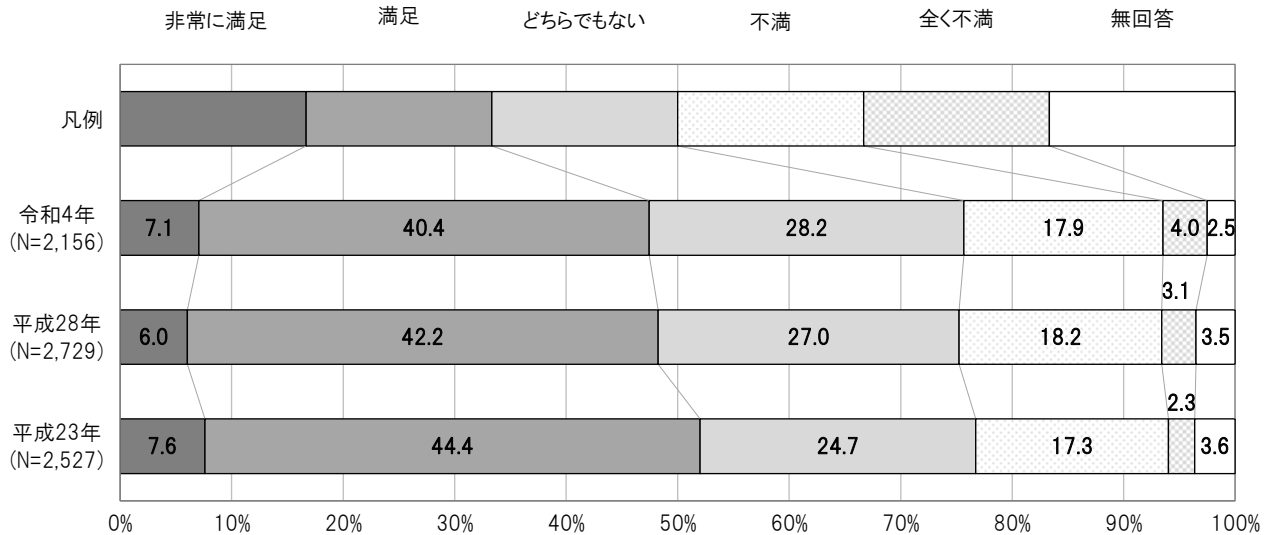
図表 III-269 QOL（生活の質）（健康状態の満足度）【属性別】



② 睡眠の満足度

睡眠について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は47.5%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は21.9%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-270 QOL（生活の質）（睡眠の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「川薩保健医療圏」「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

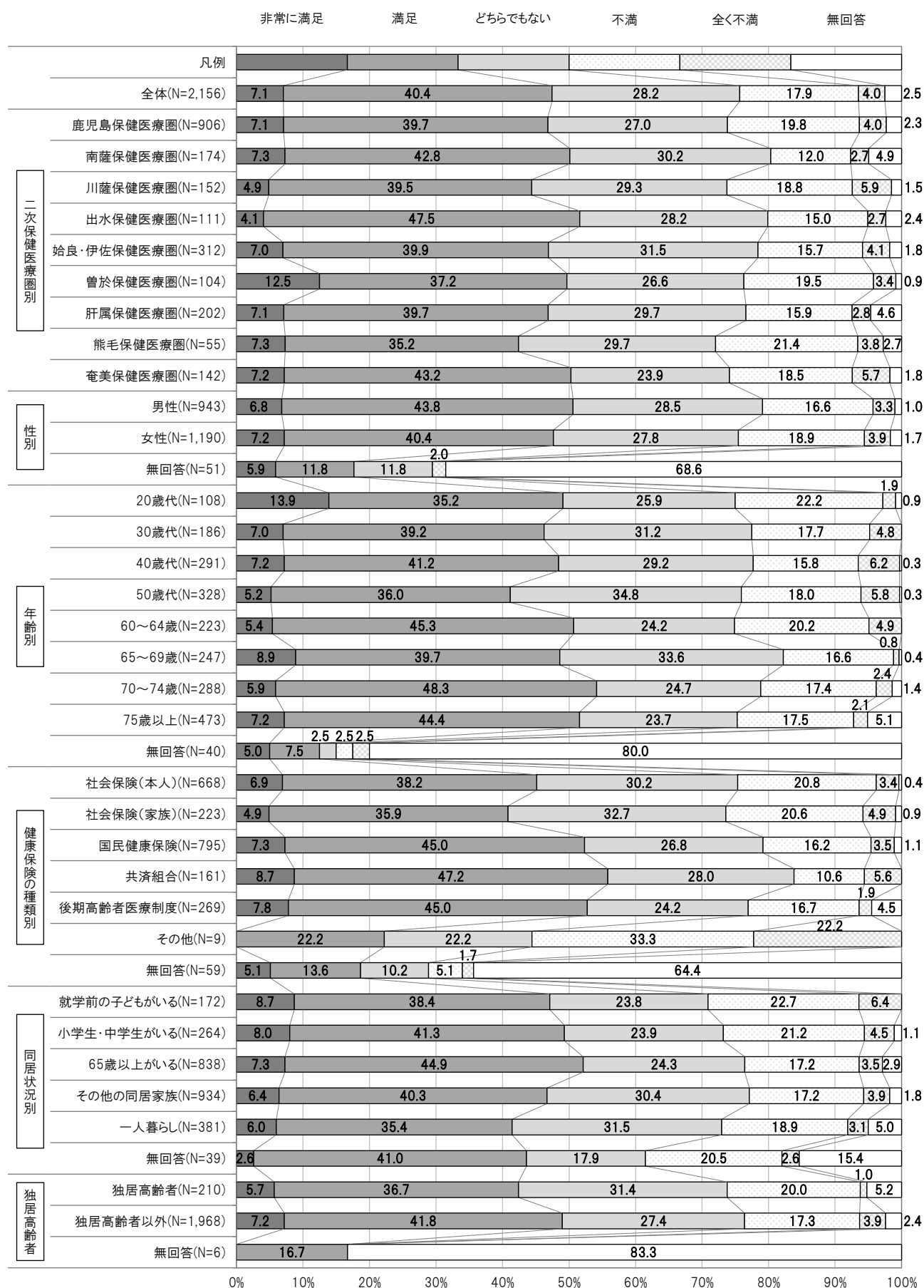
年齢別にみると、70～74歳は『満足している』（54.2%）が、20歳代、60～64歳は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（55.9%）が、「社会保険（家族）」は『不満である』（25.5%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「65歳以上がいる」では『満足している』（52.2%）が、「就学前の子どもがいる」では『不満である』（29.1%）が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者以外」は『満足している』（49.0%）が「独居高齢者」より高くなっている。

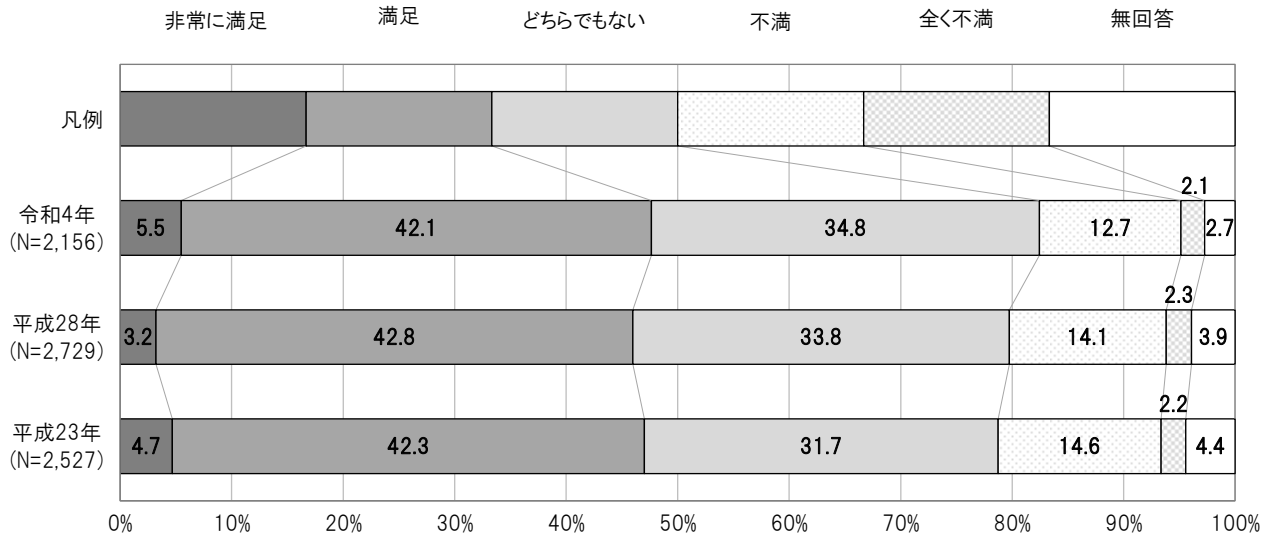
図表 III-271 QOL（生活の質）（睡眠の満足度）【属性別】



③ 活動能力の満足度

毎日の生活をやり遂げる能力について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は47.6%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は14.8%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-272 QOL（生活の質）（活動能力の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「始良・伊佐保健医療圏」、「肝属保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「鹿児島保健医療圏」、「南薩保健医療圏」、「熊本保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、男性では『満足している』（53.3%）が女性より高くなっている。

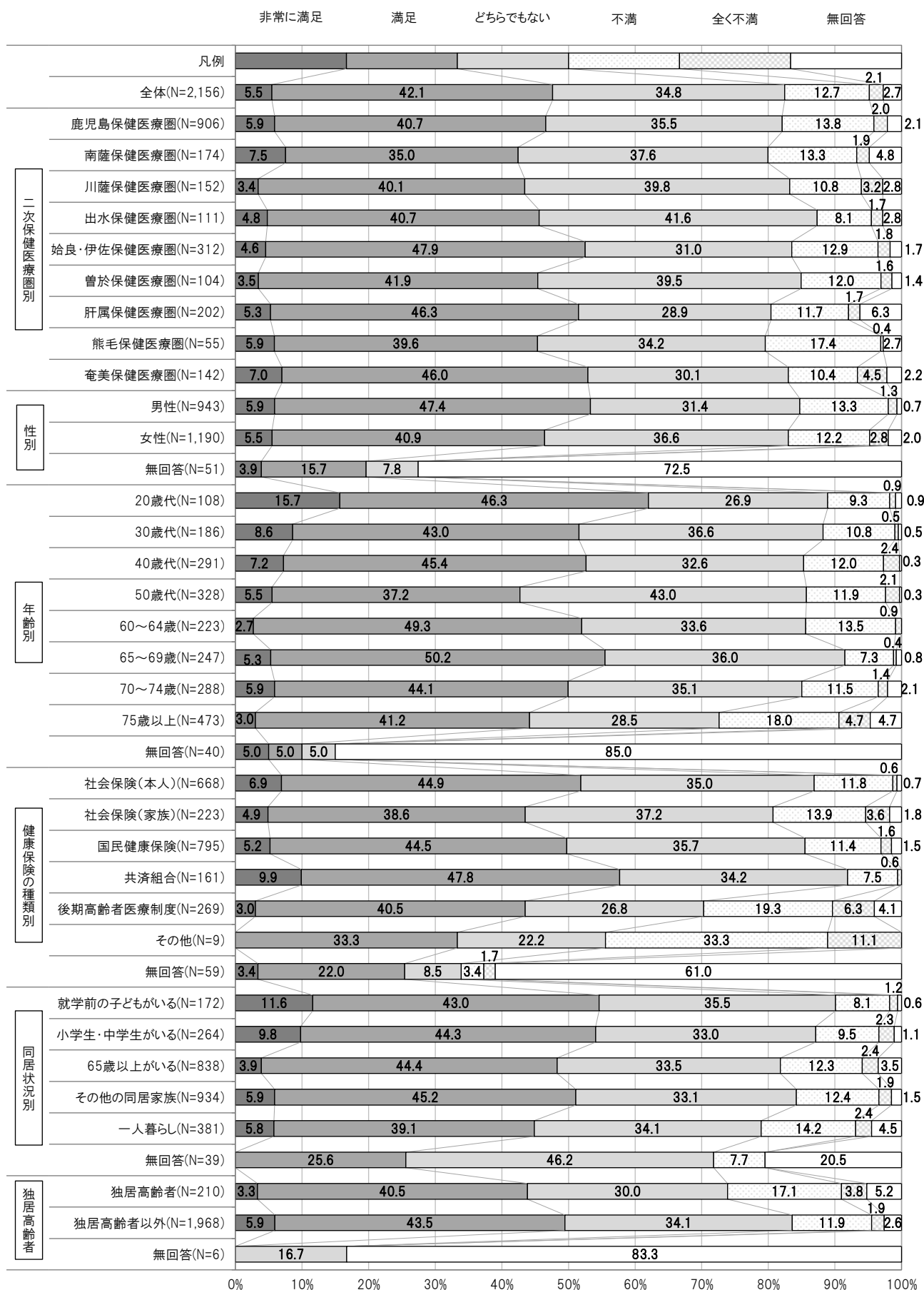
年齢別にみると、20歳代は『満足している』（62.0%）が、40歳代、60～64歳、75歳以上は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（57.7%）が、「後期高齢者医療制度」は『不満である』（25.6%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」「小学生・中学生がいる」では『満足している』が、「一人暮らし」では『不満である』が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は『不満である』（20.9%）が「独居高齢者以外」より高い傾向がみられた。

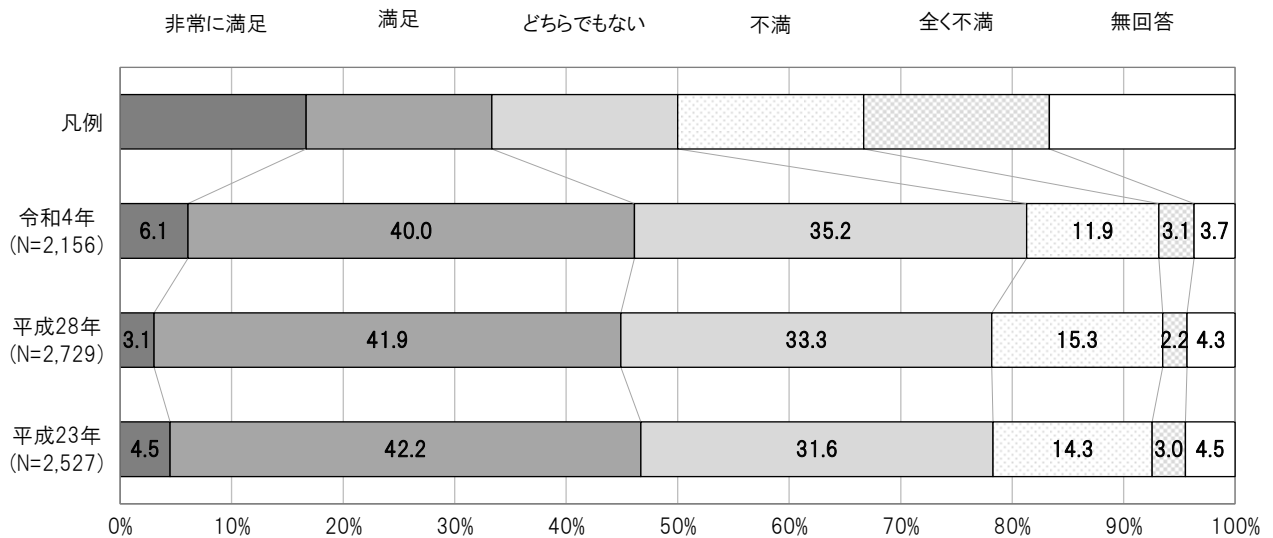
図表 III-273 QOL（生活の質）（活動能力の満足度）【属性別】



④ 仕事能力の満足度

自分の仕事をする能力について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は46.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は15.0%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-274 QOL（生活の質）（仕事能力の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「肝属保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「南薩保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、男性では『満足している』（50.3%）が女性より高くなっている。

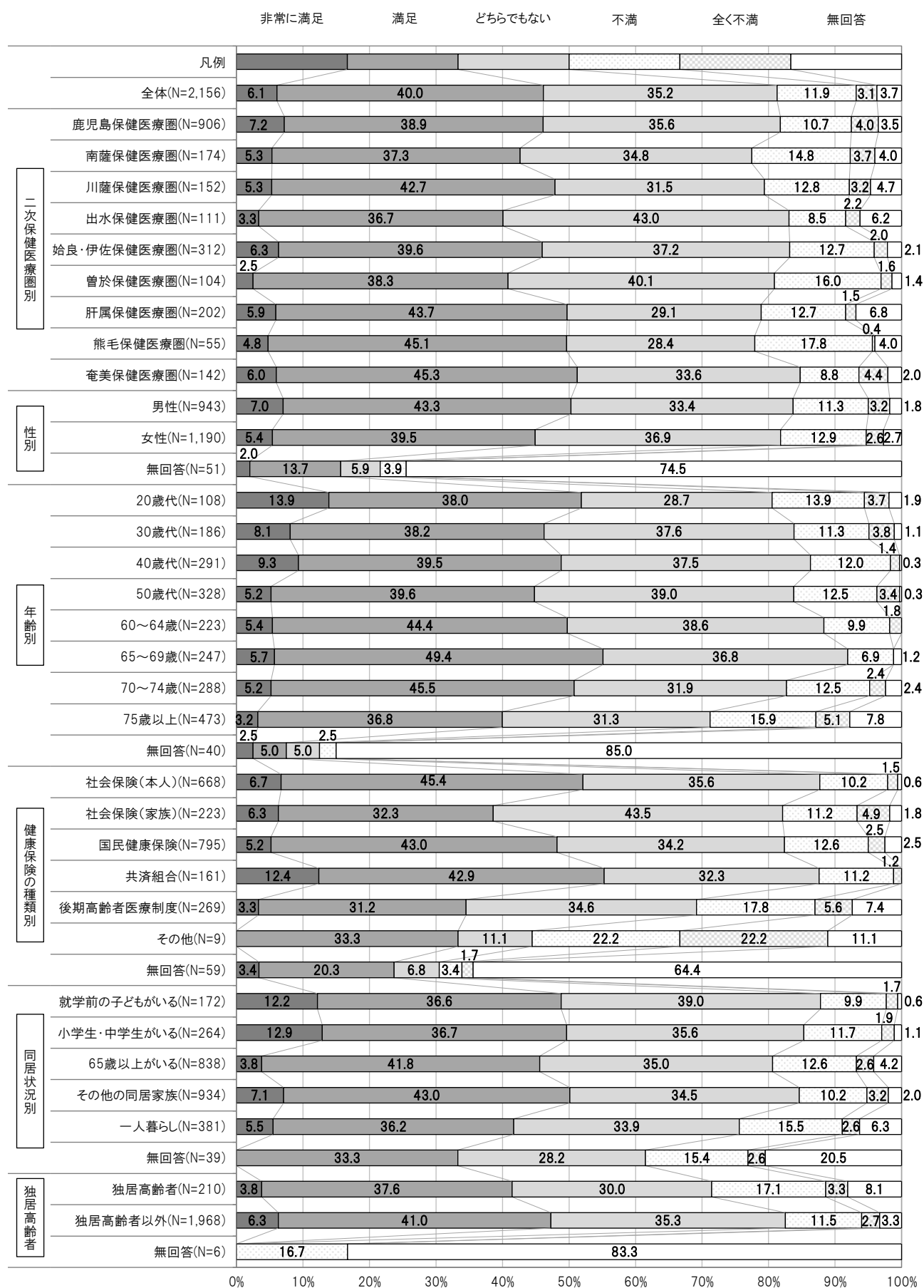
年齢別にみると、20歳代、65～69歳は『満足している』が、75歳以上は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（55.3%）が、「後期高齢者医療制度」は『不満である』（23.4%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「その他の同居家族」では『満足している』（50.1%）が、「一人暮らし」では『不満である』（18.1%）が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は『不満である』（20.4%）が「独居高齢者以外」より高い傾向がみられた。

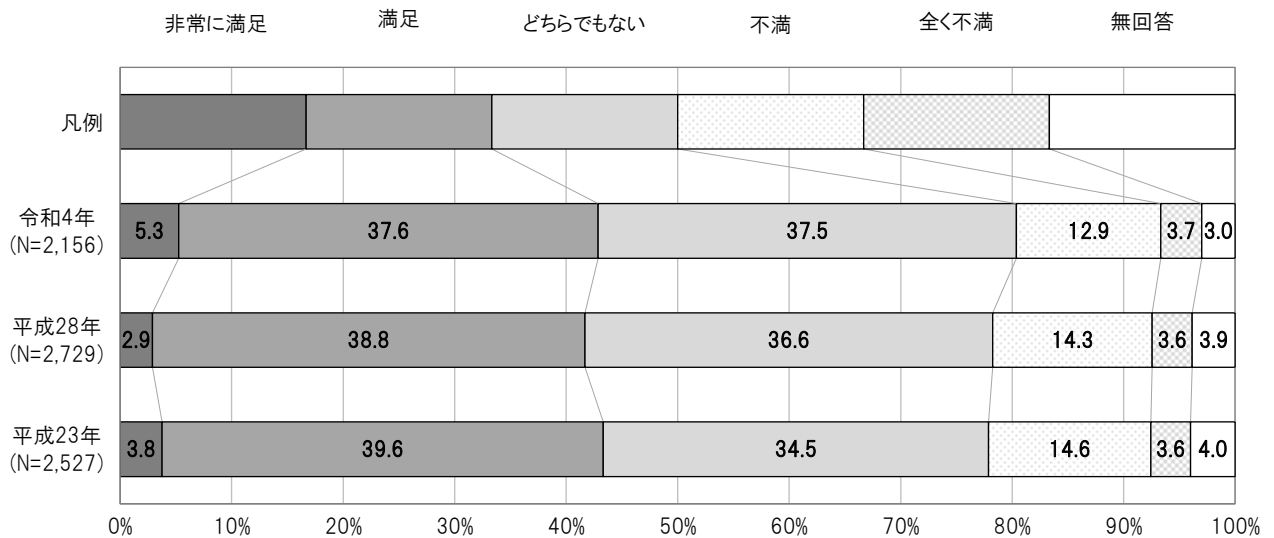
図表 III-275 QOL（生活の質）（仕事能力の満足度）【属性別】



⑤ 自分自身の満足度

自分自身について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は42.9%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は16.6%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-276 QOL（生活の質）（自分自身の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

性別にみると、男性では『満足している』（47.0%）が女性より高くなっている。

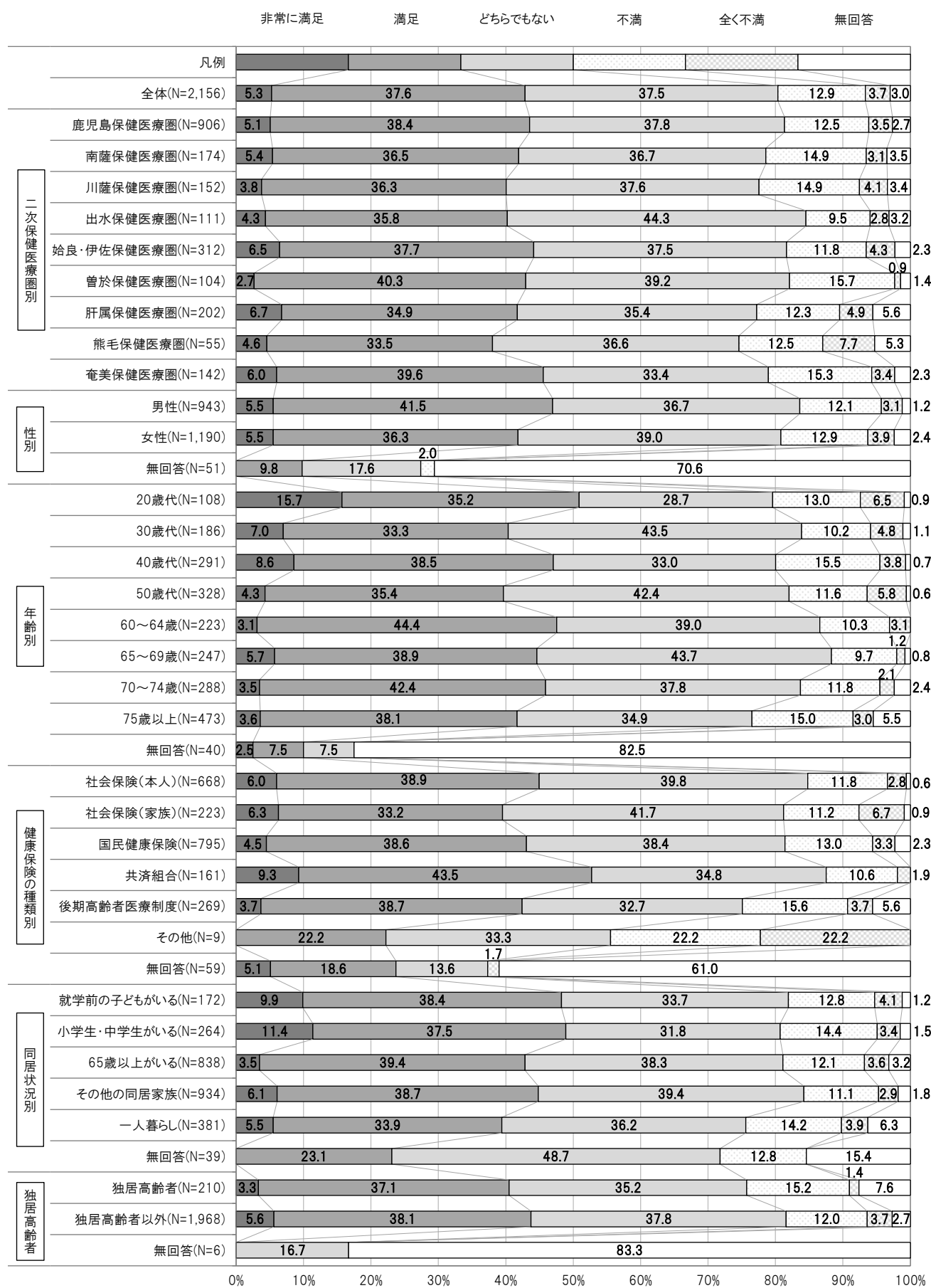
年齢別にみると、60～64歳は『満足している』（47.5%）が、40歳代は『不満である』（19.3%）が他の年代より高くなっている。また、20歳代は『満足している』（50.9%）、『不満である』（19.5%）がともに、他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（52.8%）が、「後期高齢者医療制度」は『不満である』（19.3%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「小学生・中学生がいる」では『満足している』（48.9%）が、「一人暮らし」では『不満である』（18.1%）が他の同居状況より高くなっている。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

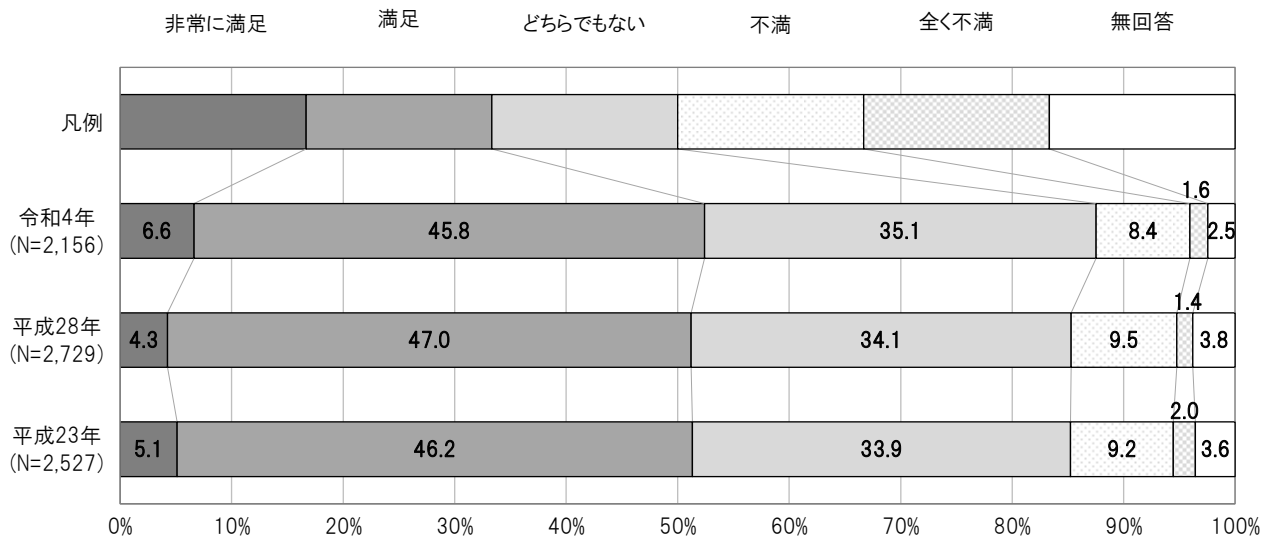
図表 III-277 QOL（生活の質）（自分自身の満足度）【属性別】



⑥ 人間関係の満足度

人間関係について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は52.4%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は10.0%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-278 QOL（生活の質）（人間関係の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」、「曾於保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「川薩保健医療圏」「曾於保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

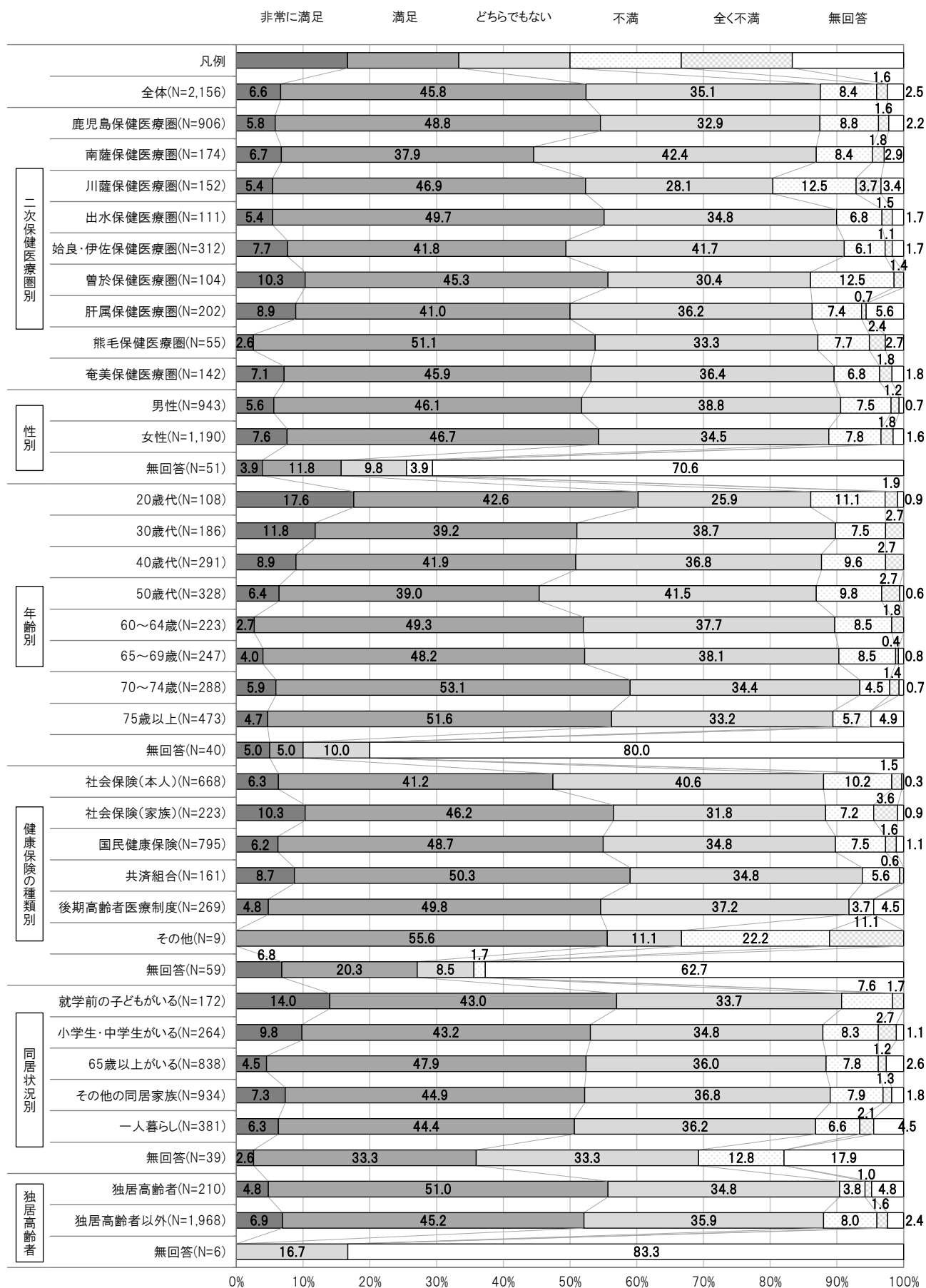
性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、70～74歳は『満足している』（59.0%）が、50歳代は『不満である』（12.5%）が他の年代より高くなっている。また、20歳代は『満足している』（60.2%）、『不満である』（13.0%）がともに、他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（59.0%）が、「社会保険（本人）」は『不満である』（11.7%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別および独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

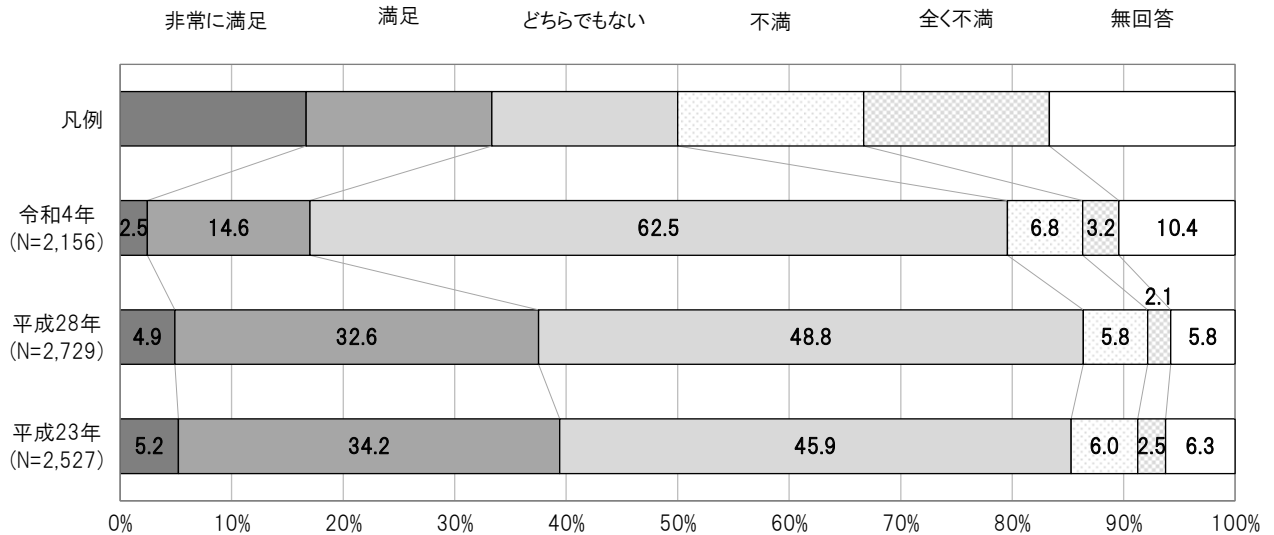
図表 III-279 QOL（生活の質）（人間関係の満足度）【属性別】



⑦ 性生活の満足度

性生活について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は17.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は10.0%となっており、平成28年調査と比較して『満足している』が低くなっている。

図表 III-280 QOL（生活の質）（性生活の満足度）【全体、調査年別】



※ 「性生活の満足度」は平成28年調査の「異性愛の満足度」と比較

二次保健医療圏別にみると、「曾於保健医療圏」、「肝属保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「曾於保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、男性では『不満である』（17.4%）が女性より高くなっている。

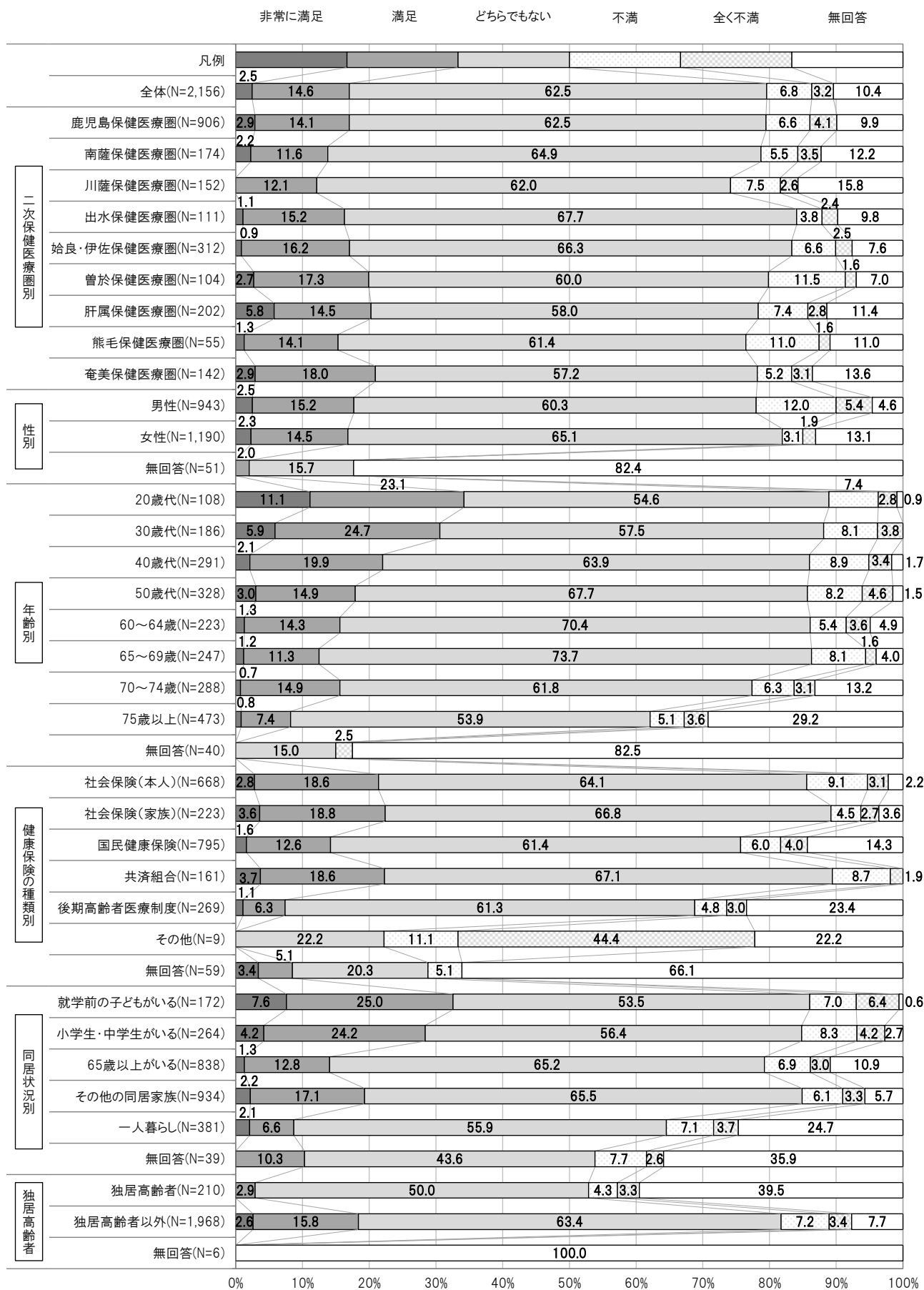
年齢別にみると、20歳代、30歳代は『満足している』が、40歳代、50歳代は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「社会保険（家族）」は『満足している』（22.4%）が、「社会保険（本人）」は『不満である』（12.2%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」では『満足している』（32.6%）、『不満である』（13.4%）がともに、他の同居状況より高い傾向がみられている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者以外」は『満足している』（18.4%）が「独居高齢者」より高くなっている。

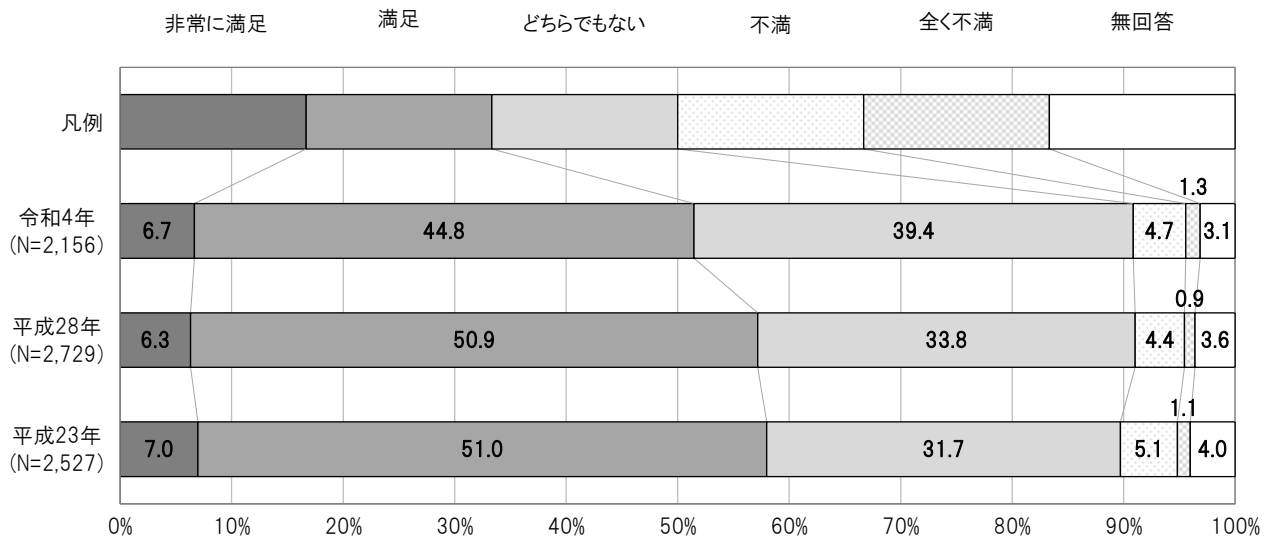
図表 III-281 QOL（生活の質）（性生活の満足度）【属性別】



⑧ 友人との交流の満足度

友人との交わりについて、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は51.5%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は6.0%となっており、平成28年調査と比較して『満足している』が低くなっている。

図表 III-282 QOL（生活の質）（友人との交流の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が高い傾向がみられた。

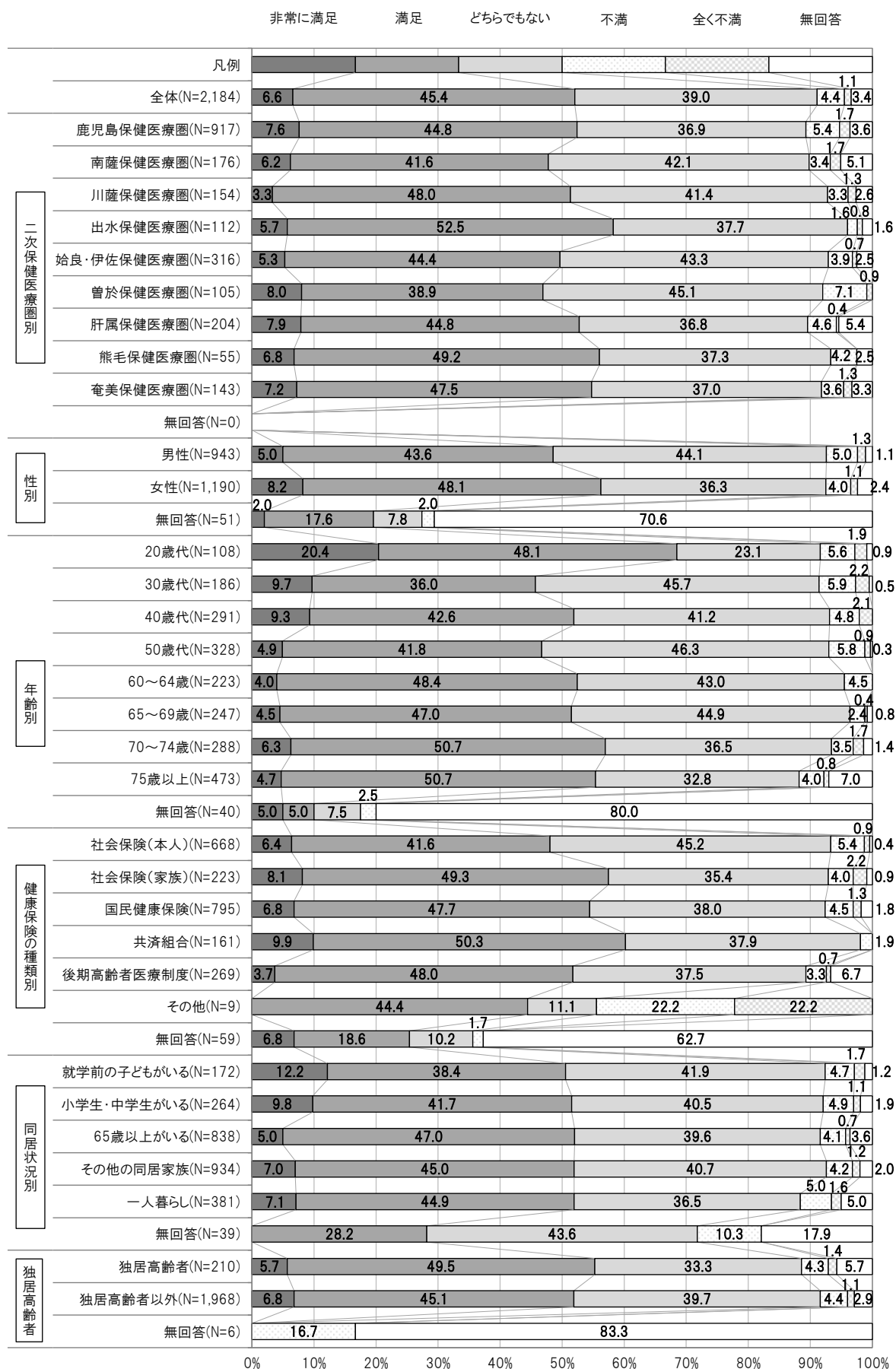
性別にみると、女性では『満足している』（56.3%）が男性より高くなっている。

年齢別にみると、20歳代、70～74歳は『満足している』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（60.2%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別および独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

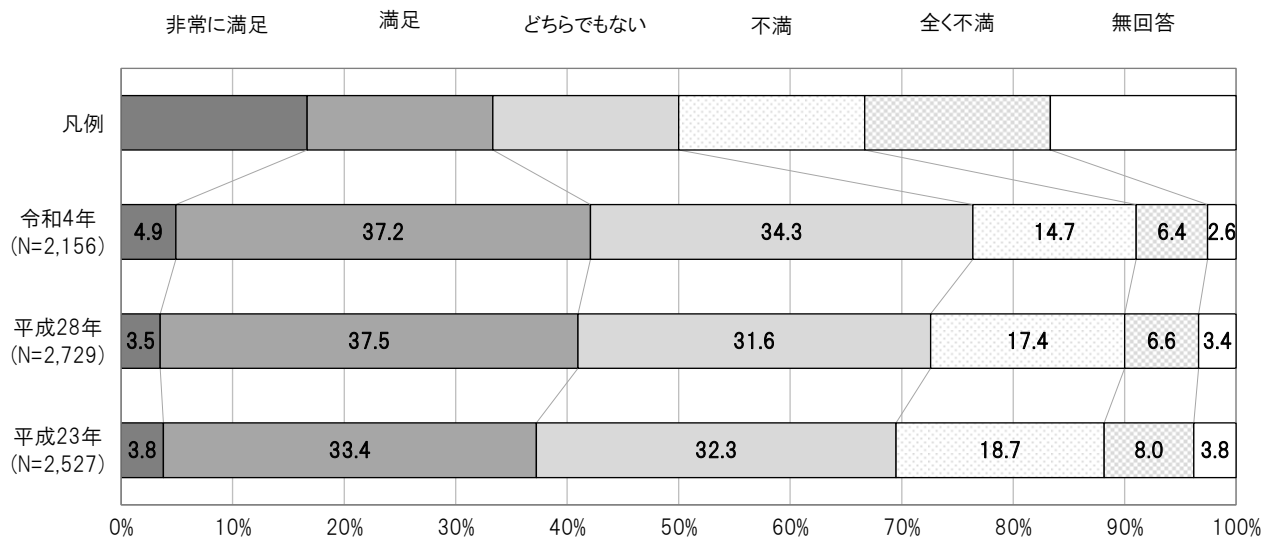
図表 III-283 QOL（生活の質）（友人との交流の満足度）【属性別】



⑨ お金の満足度

必要なものが買えるだけのお金を持っているかについて、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は42.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は21.1%となっており、平成28年調査より継続して『満足している』は増加、『不満である』は減少傾向がみられた。

図表 III-284 QOL（生活の質）（お金の満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「出水保健医療圏」「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「肝属保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

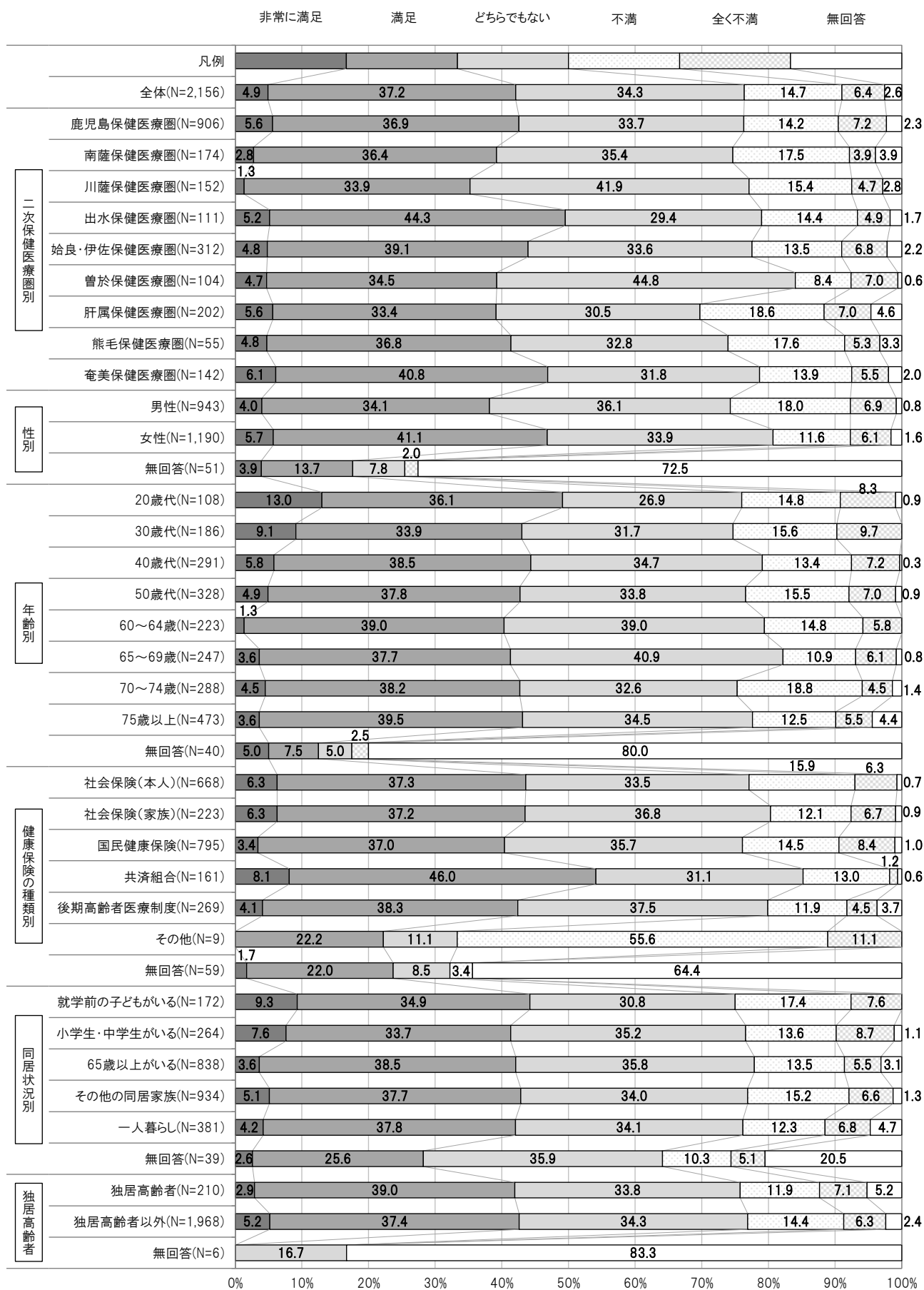
性別にみると、女性では『満足している』（46.8%）が男性より高く、男性では『不満である』（24.9%）が女性より高くなっている。

年齢別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」は『満足している』（54.1%）が、「国民健康保険」は『不満である』（22.9%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別および独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

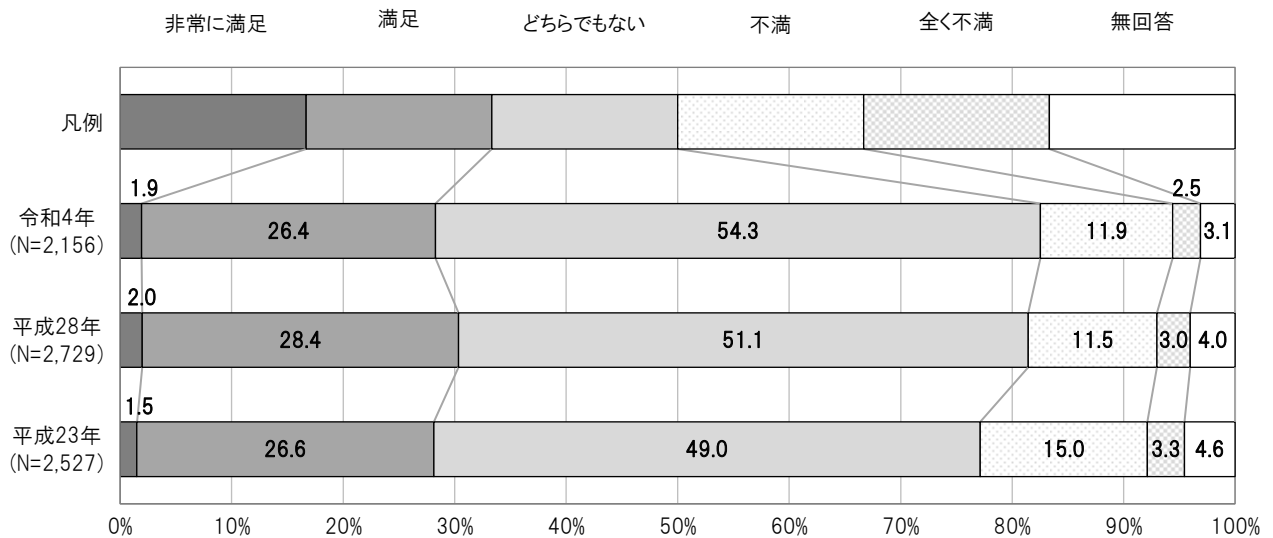
図表 III-285 QOL（生活の質）（お金の満足度）【属性別】



⑩ 医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさの満足度

医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさについて、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は28.3%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は14.4%となっており、平成28年調査と比較して回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-286 QOL（生活の質）（医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさの満足度）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「始良・伊佐保健医療圏」「奄美保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が高い傾向がある一方、「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

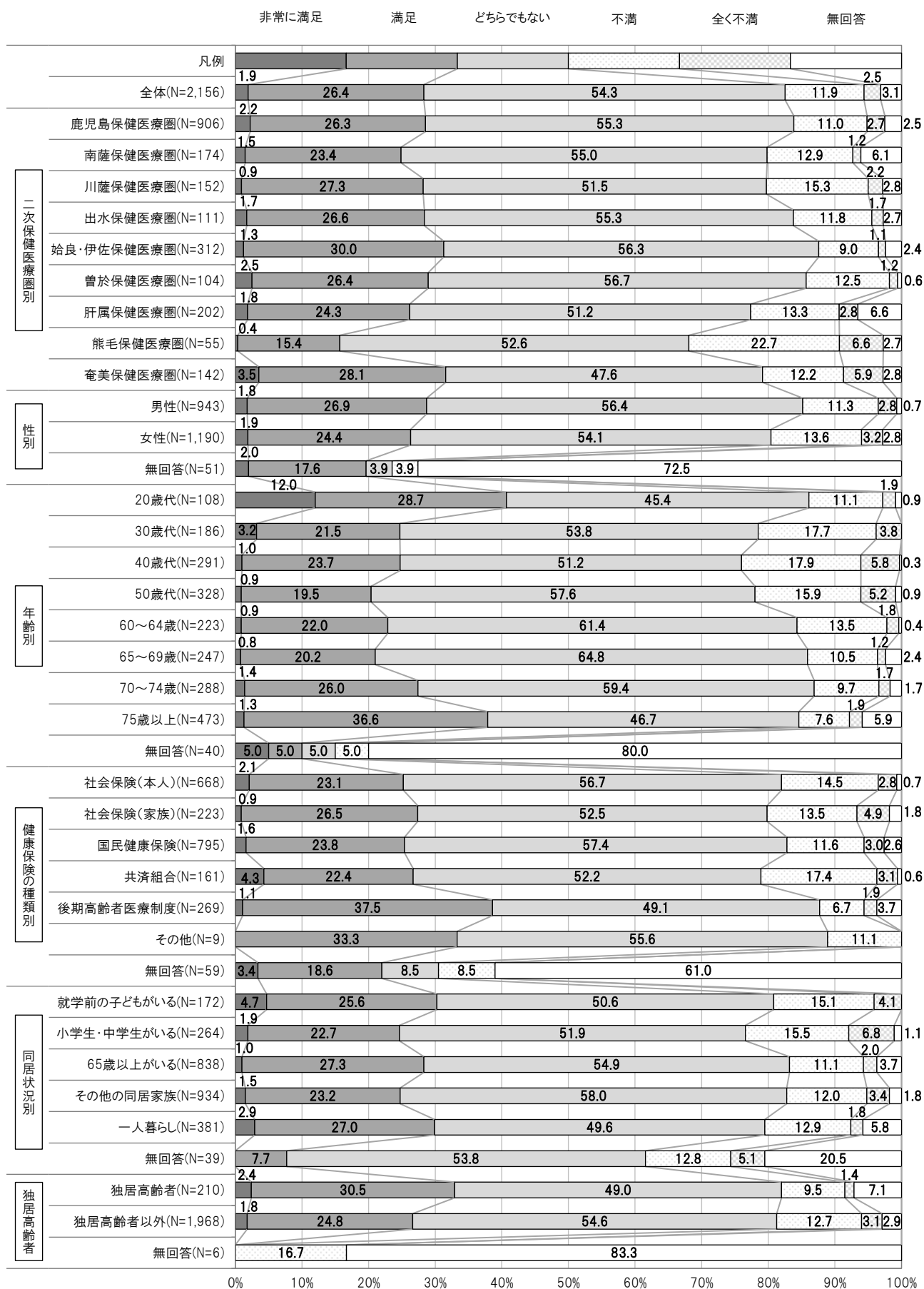
年齢別にみると、20歳代、75歳以上は『満足している』が、30歳代、40歳代、50歳代は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」は『満足している』（38.6%）が、「共済組合」は『不満である』（20.5%）が他の健康保険より高くなっている。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」は『満足している』（32.9%）が「独居高齢者以外」より高くなっている。

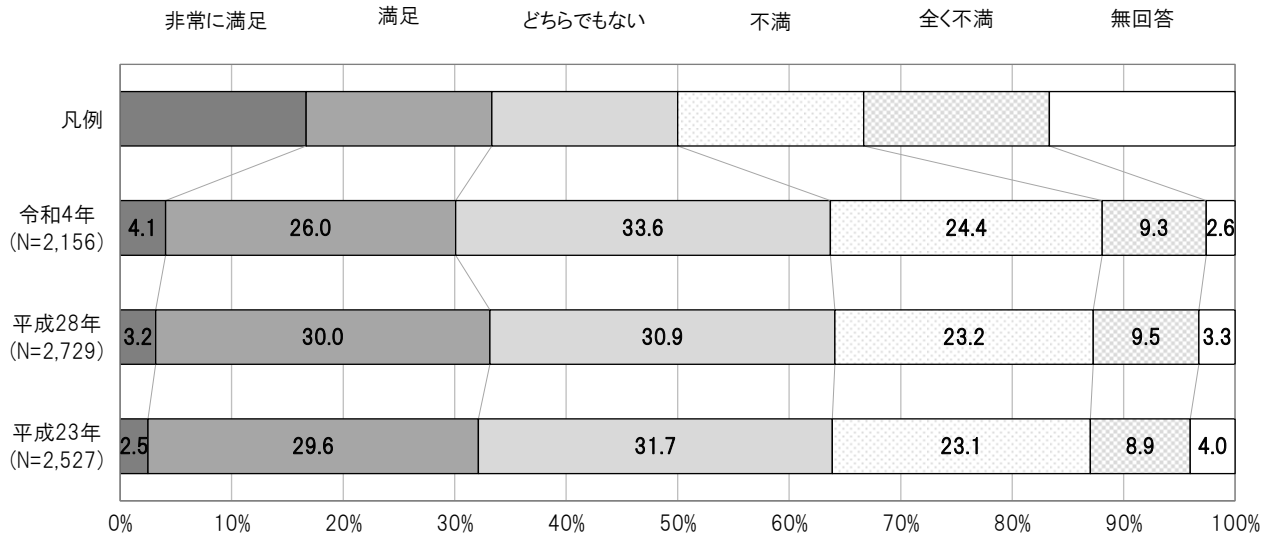
図表 III-287 QOL（生活の質）（医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさの満足度）【属性別】



⑪ 周辺の交通の便の満足度

周辺の交通の便について、『満足している』（「非常に満足」＋「満足」の合計、以下同様）は30.1%、『不満である』（「不満」＋「全く不満」の合計、以下同様）は33.7%となっており、平成28年調査と比較して『満足している』が低くなっている。

図表 III-288 QOL（生活の質）（周辺の交通の便の満足度）【全体、調査年別】



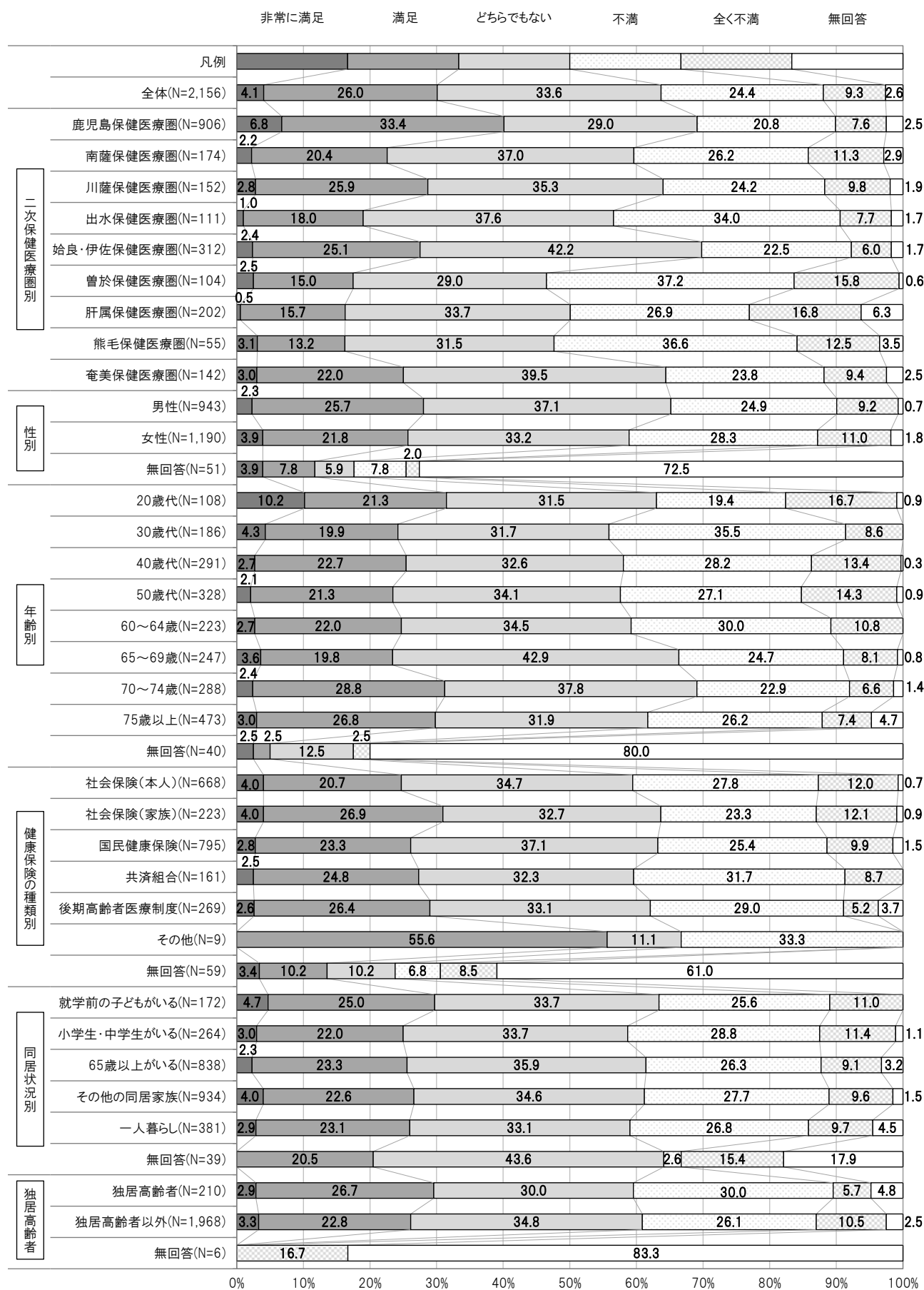
二次保健医療圏別にみると、「鹿児島保健医療圏」では他の保健医療圏より『満足している』が、「出水保健医療圏」、「曾於保健医療圏」、「肝属保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」では他の保健医療圏より『不満である』が高い傾向がみられた。

性別にみると、女性では『不満である』（39.3%）が男性より高くなっている。

年齢別にみると、20歳代、70～74歳は『満足している』が、30歳代、40歳代は『不満である』が他の年代より高くなっている。

健康保険の種類別および同居状況別、独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-289 QOL（生活の質）（周辺の交通の便の満足度）【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 462・図表 III-331)

全体のQOLは、合計平均点 36.1 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「人間関係」(53.8%) が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(17.0%) の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「毎日の活動をやり遂げる力」「仕事をする能力」は女性より高く、女性の「友人たちとの交わり」は男性より高い満足度となっている。また、「人間関係」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、50歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「健康状態」「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」「友人たちとの交わり」、65～69歳は「仕事をする能力」、70～74歳は「人間関係」が満足している割合が高くなっている。一方、ほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」の満足している割合が低くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 462・図表 III-331)

全体のQOLは、合計平均点 35.5 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「睡眠」(50.0%) が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(13.4%) の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「睡眠」は女性より高く、女性の「友人たちとの交わり」は男性より高い満足度となっている。

年齢別にみると、50歳代の合計平均点が最も高く、20歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、60～64歳は「人間関係」、70～74歳は「友人たちとの交わり」の満足している割合が高くなっている。一方、ほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 462・図表 III-331)

全体のQOLは、合計平均点 35.4 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「人間関係」(53.9%) が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(10.5%) の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「睡眠」は女性より高く、女性の「友人たちとの交わり」は男性より高い満足度となっている。また、「人間関係」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、50歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、40歳代は「人間関係」、60～64歳は「仕事をする能力」、70～74歳は「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「仕事をする能力」、75歳以上は「友人たちとの交わり」の満足している割合が高く

なっている。一方、50歳代は「健康状態」「毎日の活動をやり遂げる力」、65～69歳は「健康状態」「睡眠」、およびほとんどの年代において、「性生活」「必要なものが買えるだけのお金」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

出水保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 462・図表 III-331)

全体のQOLは、合計平均点 35.9 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「友人たちとの交わり」(58.2%)が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(16.4%)の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「毎日の活動をやり遂げる力」は女性より高く、女性の「睡眠」「必要なものが買えるだけのお金」は男性より高い満足度となっている。また、「人間関係」「友人たちとの交わり」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、30歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、40歳代は「睡眠」「友人たちとの交わり」「必要なものが買えるだけのお金」、60歳代は「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」「友人たちとの交わり」、75歳以上は「人間関係」の満足している割合が高くなっている。一方、50歳代は「自分自身」、65～69歳は「健康状態」、70～74歳は「健康状態」「必要なものが買えるだけのお金」、75歳以上は「仕事をする能力」、およびほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 462・図表 III-331)

全体のQOLは、合計平均点 36.0 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「毎日の活動をやり遂げる力」(52.8%)が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(14.8%)の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「人間関係」は女性より高く、女性の「友人たちとの交わり」は男性より高い満足度となっている。また、「毎日の活動をやり遂げる力」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、40歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「友人たちとの交わり」「必要なものが買えるだけのお金」、60～64歳は「毎日の活動をやり遂げる力」、70～74歳は「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」、75歳以上は「人間関係」「友人たちとの交わり」の満足している割合が高くなっている。一方、ほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 463・図表 III-332)

全体のQOLは、合計平均点 35.3 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「人間関係」(53.9%)が最も満足している割合が高くなっており、「周辺の交通の便」(16.0%)の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では女性の「睡眠」「人間関係」「友人たちとの交わり」は男性より高い満足度となっている。

年齢別にみると、70～74歳の合計平均点が最も高く、50歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「自分自身」「人間関係」「友人たちとの交わり」、60～64歳は「毎日の活動をやり遂げる力」「仕事をする能力」、65～69歳は「毎日の活動をやり遂げる力」、70～74歳は「睡眠」「人間関係」「友人たちとの交わり」、75歳以上は「人間関係」の満足している割合が高くなっている。一方、20歳代は「健康状態」、40歳代は「友人たちとの交わり」、50歳代は「健康状態」「睡眠」「自分自身」「必要なものが買えるだけのお金」、75歳以上は「仕事をする能力」、およびほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 463・図表 III-332)

全体のQOLは、合計平均点 36.1 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「友人たちとの交わり」(52.7%) が最も満足している割合が高くなっており、「周辺の交通の便」(17.6%) の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「仕事をする能力」は女性より高く、女性の「睡眠」は男性より高い満足度となっている。また、「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」「友人たちとの交わり」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、30歳代の合計平均点が最も高く、50歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「毎日の活動をやり遂げる力」「友人たちとの交わり」、30歳代は「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「仕事をする能力」「必要なものが買えるだけのお金」、60～64歳は「友人たちとの交わり」、70～74歳は「人間関係」「友人たちとの交わり」、75歳以上は「人間関係」「友人たちとの交わり」の満足している割合が高くなっている。一方、60～64歳は「必要なものが買えるだけのお金」、およびほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 463・図表 III-332)

全体のQOLは、合計平均点 35.3 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「友人たちとの交わり」(56.0%) が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(16.1%) の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」は女性より高い満足度となっている。また、「仕事をする能力」「人間関係」「友人たちとの交わり」は男女ともに高い満足度となっている。

年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、30歳代の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「健康状態」「仕事をする能力」、40歳代は「必要なものが買えるだけのお金」、50歳代は「友人たちとの交わり」、60歳代は「仕事をする能力」「人間関係」「友人たちとの交わり」、75歳以上は「睡眠」「人間関係」の満足している割合が高くなっている。一方、20歳代は「必要なも

のが買えるだけのお金」、30歳代は「友人たちとの交わり」「必要なものが買えるだけのお金」、40歳代は「睡眠」、60～64歳は「必要なものが買えるだけのお金」、およびほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 461・図表 III-330、P. 463・図表 III-332)

全体のQOLは、合計平均点 36.3 (加重集計前) となっており、『満足している』割合を項目別にみると、「友人たちとの交わり」(54.7%)が最も満足している割合が高くなっており、「性生活」(20.4%)の満足している割合が最も低くなっている。

性別にみると、合計平均点に大きな差はみられなかった。項目別では男性の「仕事をする能力」は女性より高く、女性の「必要なものが買えるだけのお金」は男性より高い満足度となっている。また、「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」「友人たちとの交わり」は男女ともに高い満足度となっている。

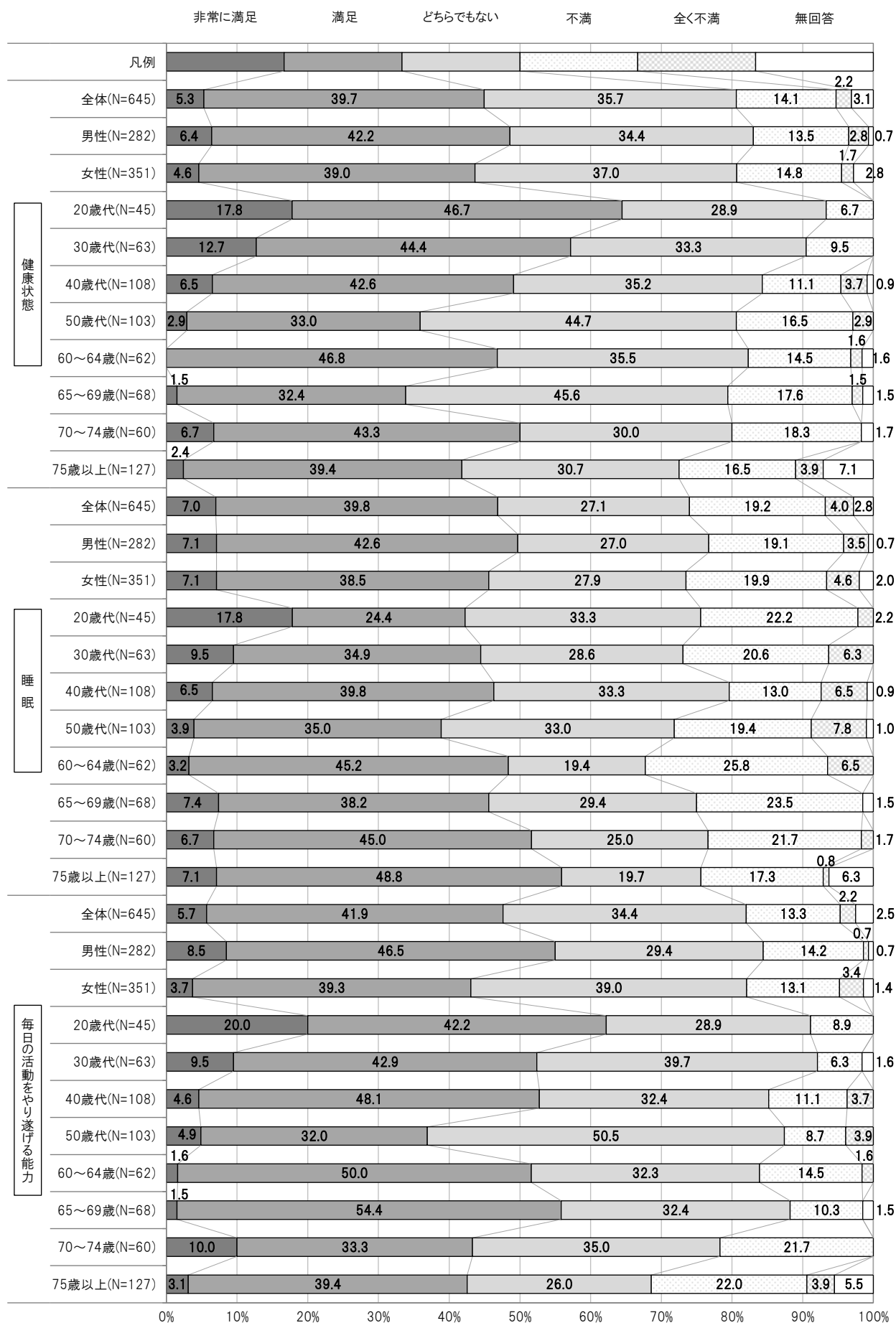
年齢別にみると、20歳代の合計平均点が最も高く、75歳以上の合計平均点が最も低くなっている。項目別では、20歳代は「健康状態」「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「人間関係」「友人たちとの交わり」、40歳代は「睡眠」「毎日の活動をやり遂げる力」「仕事をする能力」「人間関係」「友人たちとの交わり」、65～69歳は「友人たちとの交わり」、70～74歳は「睡眠」「人間関係」「友人たちとの交わり」の満足している割合が高くなっている。一方、75歳以上は「健康状態」、およびほとんどの年代において、「性生活」「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」「周辺の交通の便」の満足している割合が低くなっている。

離島別の分析 (P. 461・図表 III-330、P. 463・図表 III-332)

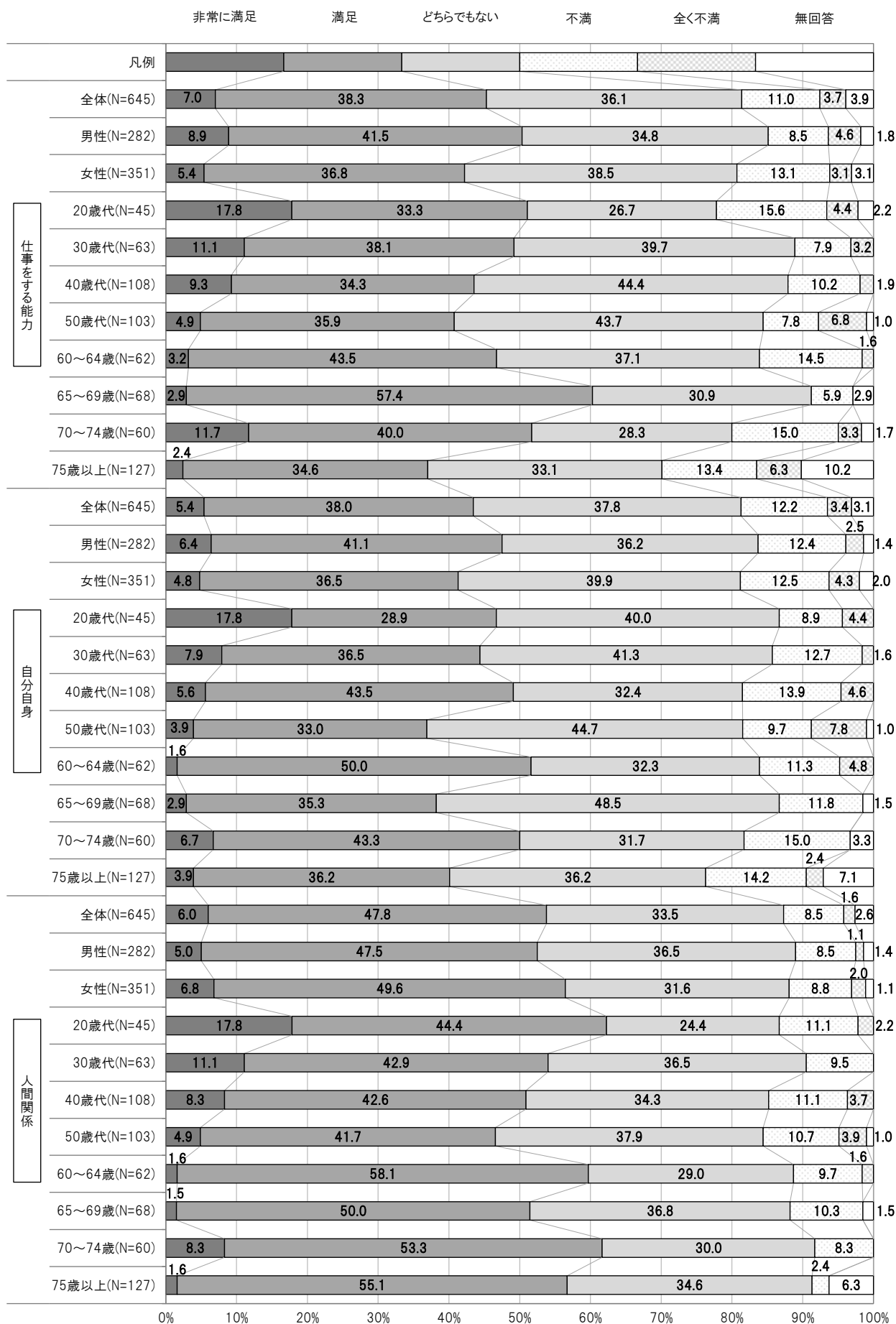
離島別にみると、「喜界島」は合計平均点が 38.1 点となっており、「満足している」割合を項目別にみると、「人間関係」(79.2%)が最も高くなっている。

一方で、「不満である」割合について項目別にみると、「周辺の交通の便」や「医療サービスや福祉サービスの利用のしやすさ」については、一部の離島を除きほとんどの離島で高くなっており、特に「周辺の交通の便」では、「十島」と「甑島」は約7割となっている。また、「健康状態」では「与論島」(34.8%)、「沖永良部島」(31.4%)、「甑島」(26.1%)、「睡眠」では「屋久島」(32.0%)、「甑島」(26.1%)、「沖永良部島」(25.5%)、「必要なものが買えるだけのお金」では「十島」(28.0%)、「種子島」(27.9%)がそれぞれ高くなっている。

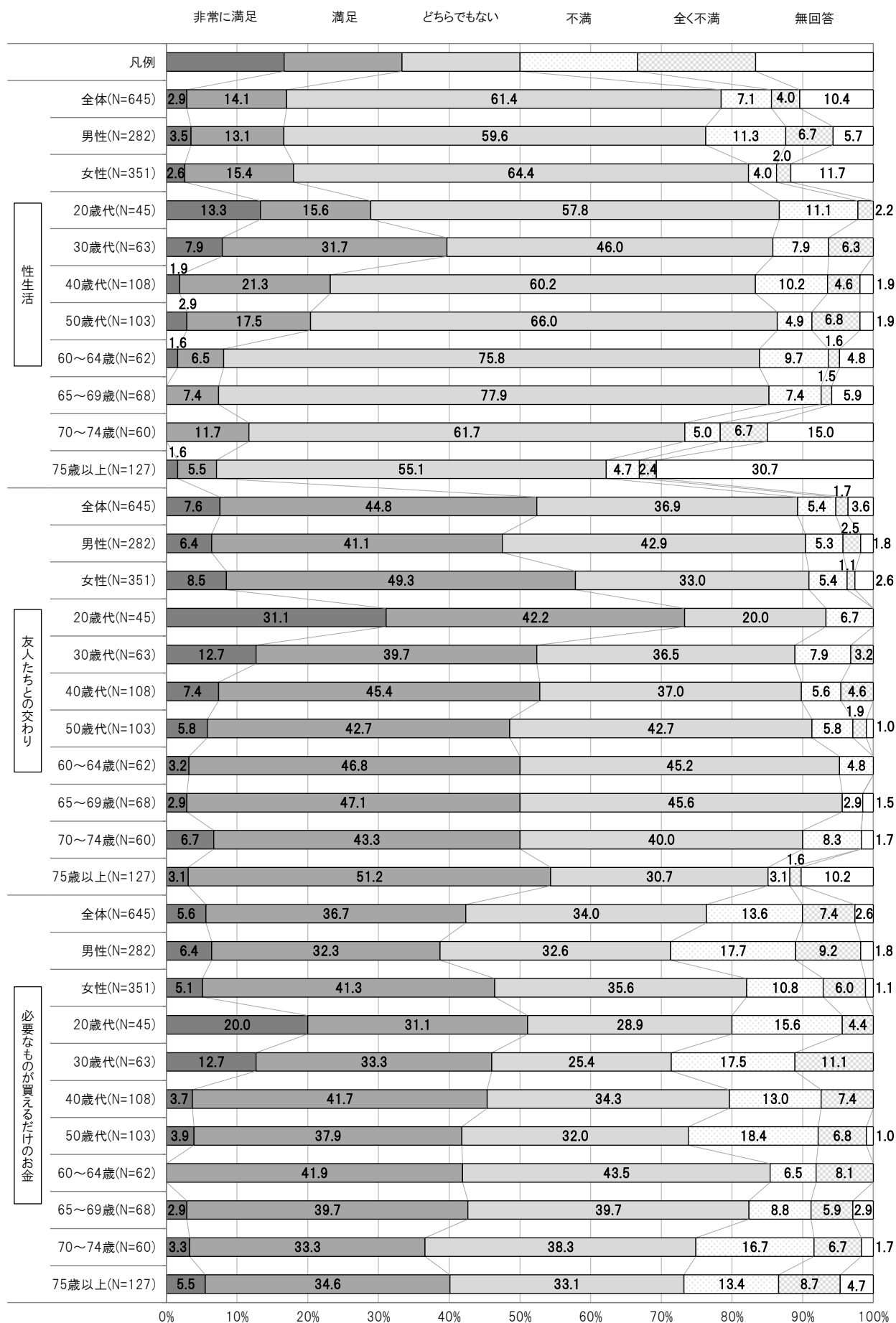
図表 III-290 鹿児島保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



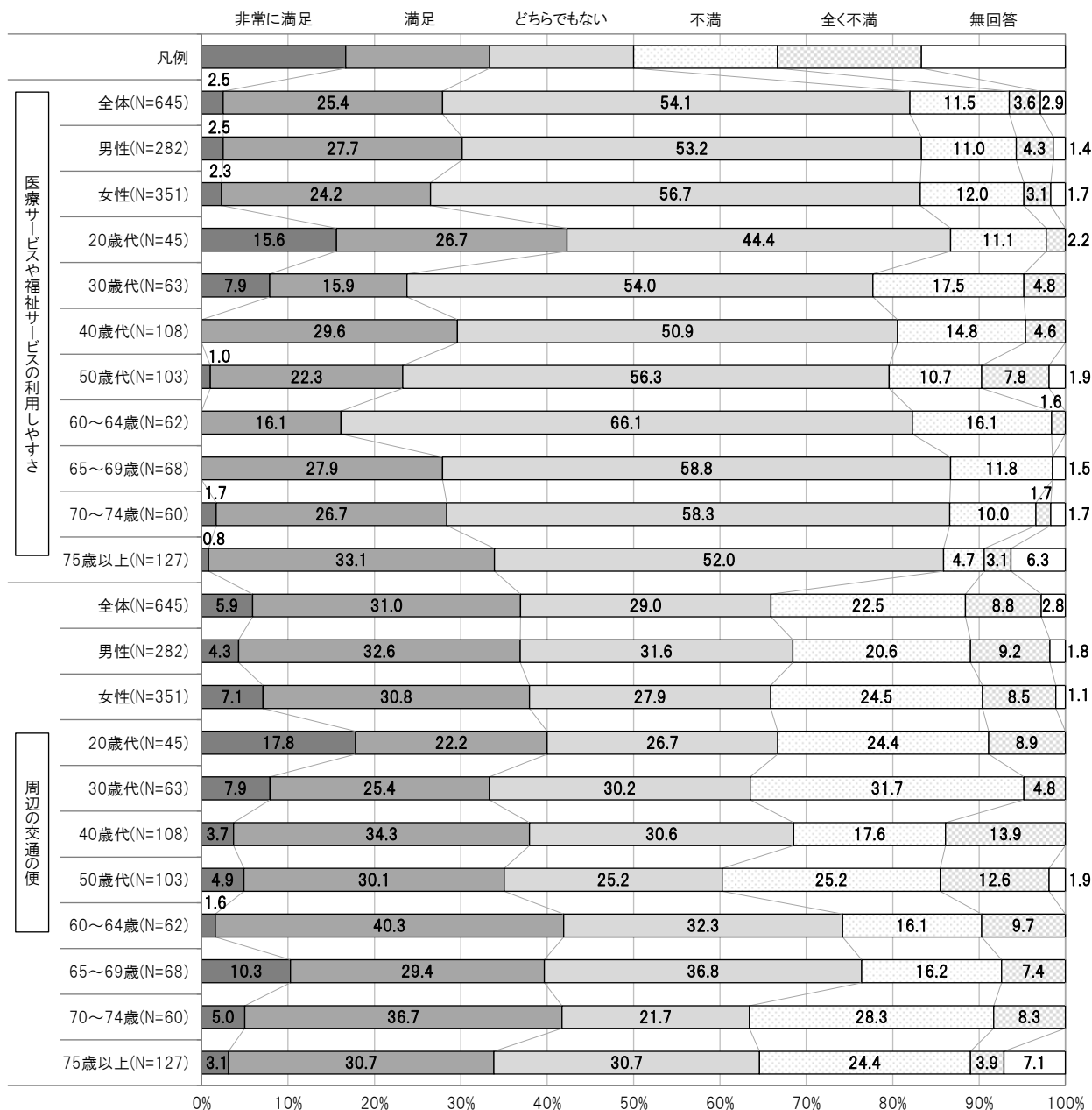
図表 III-291 鹿児島保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】2/4



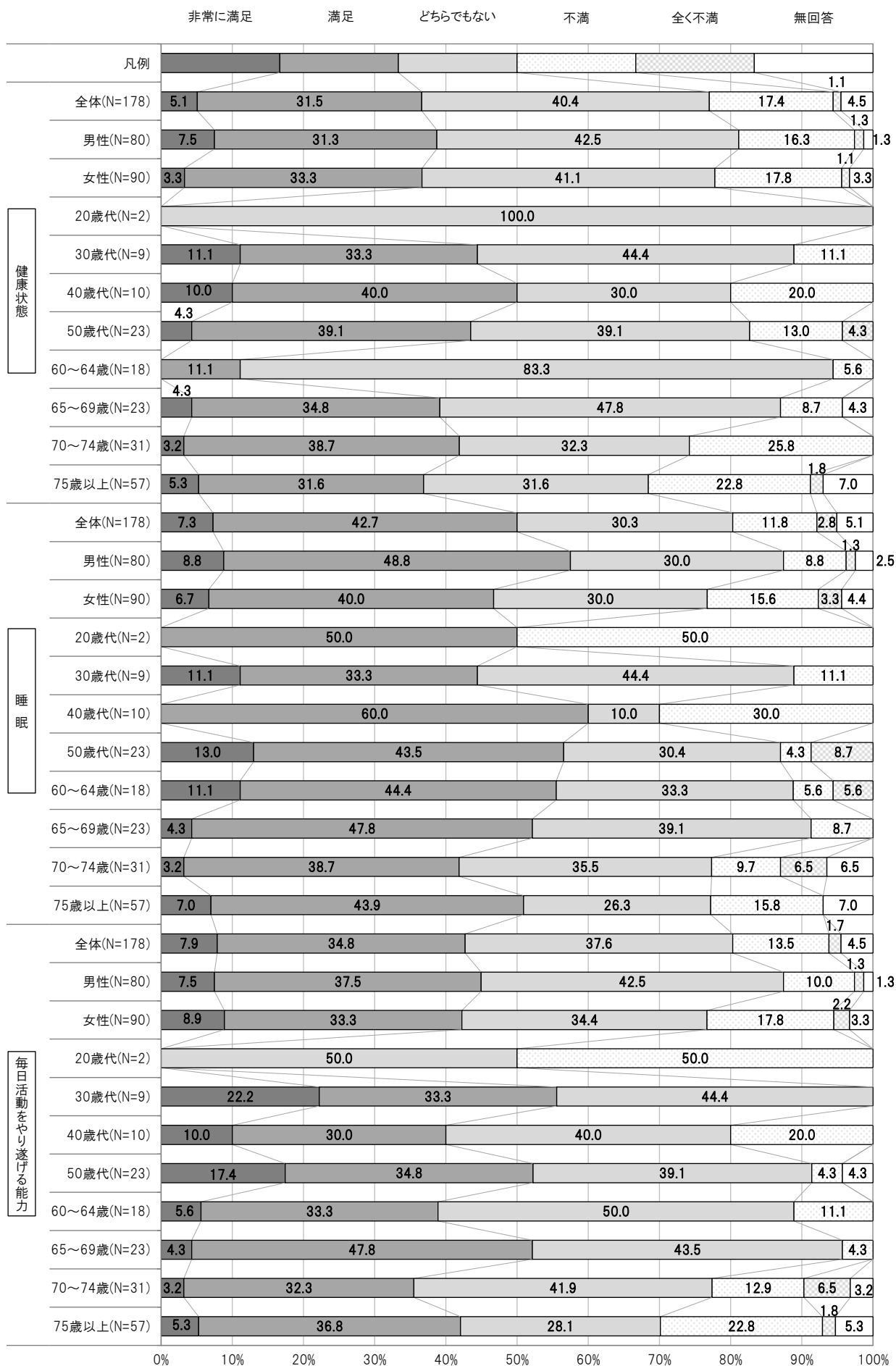
図表 III-292 鹿児島保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



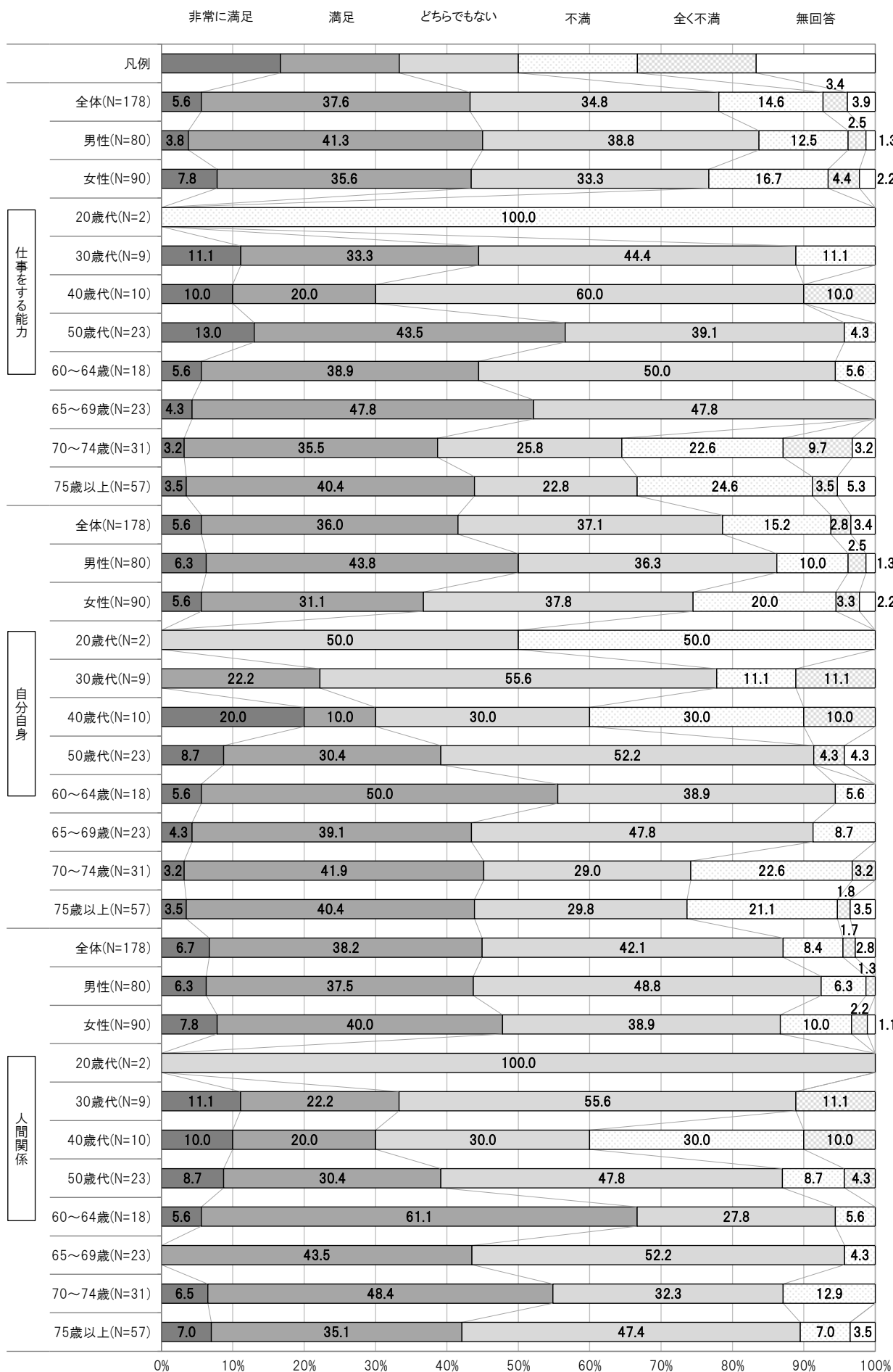
図表 III-293 鹿児島保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



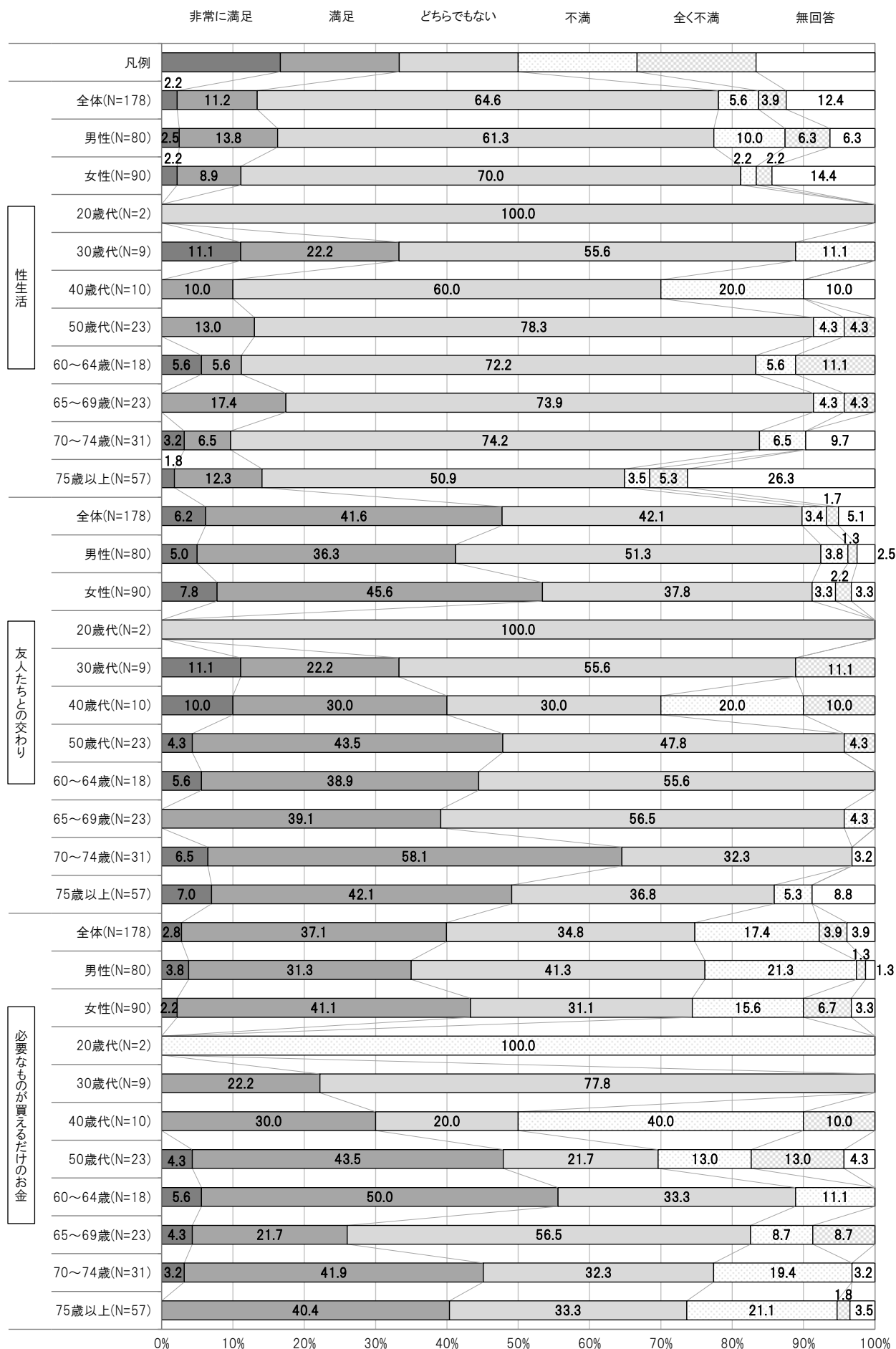
図表 III-294 南薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 1/4



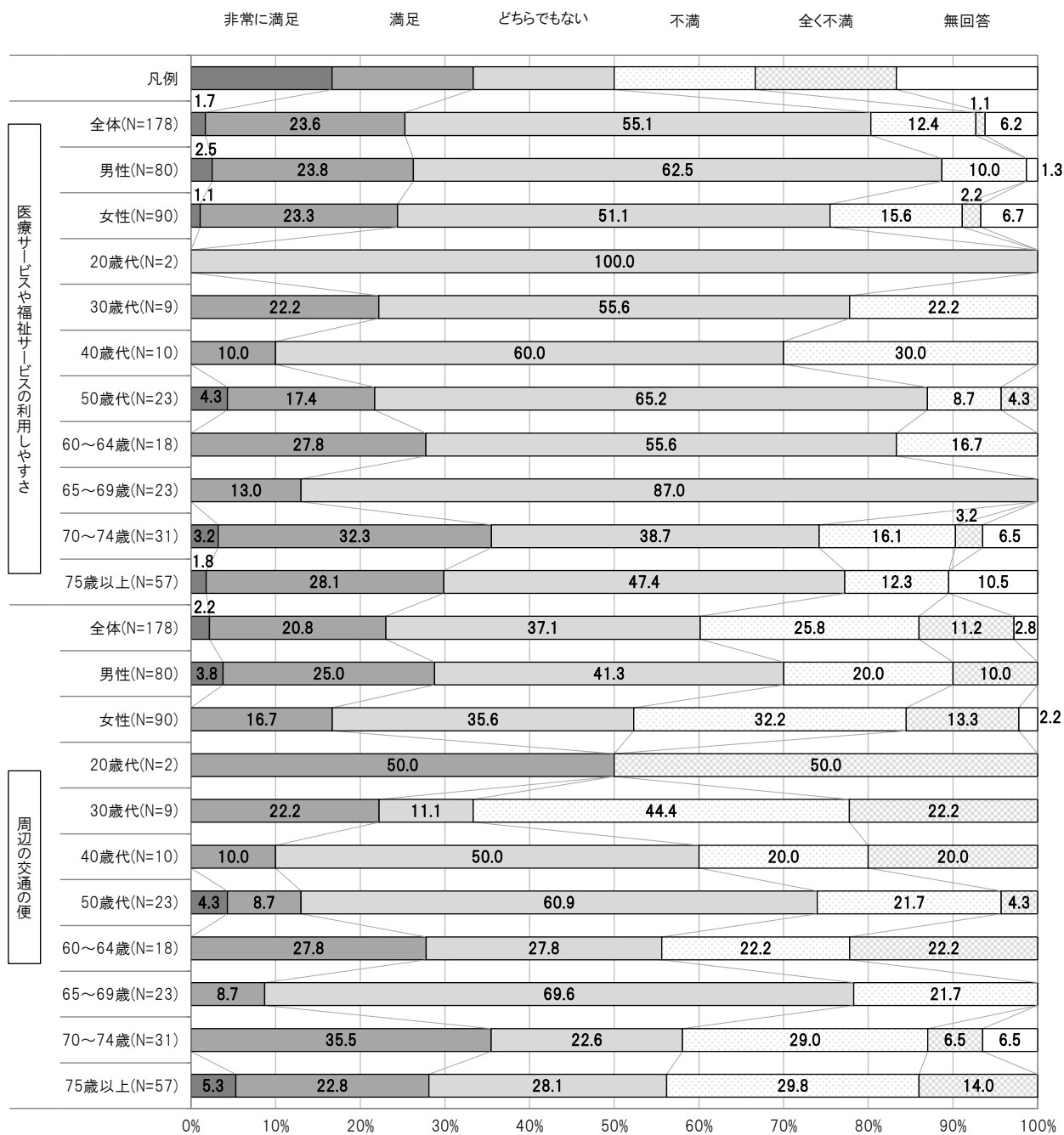
図表 III-295 南薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



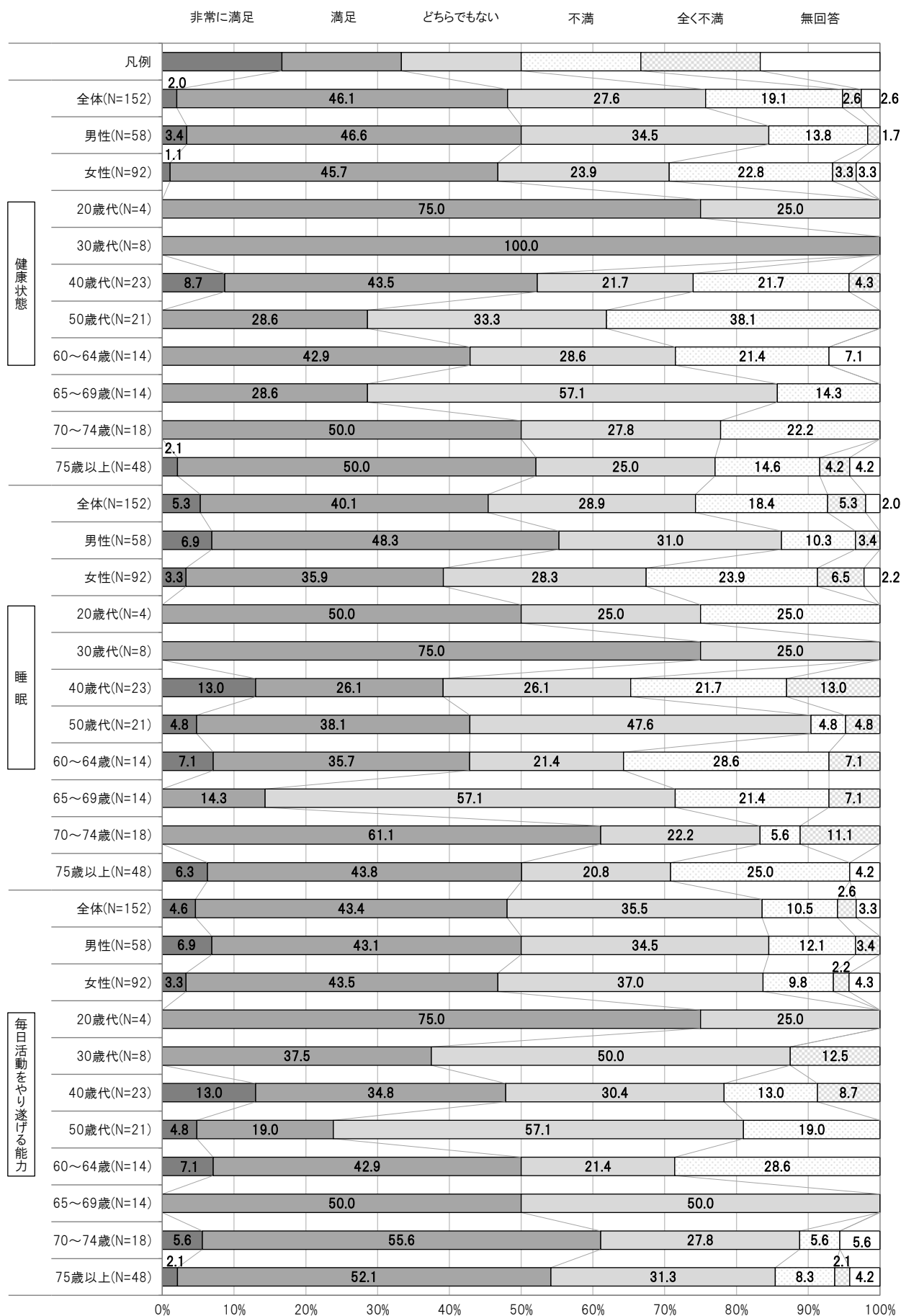
図表 III-296 南薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



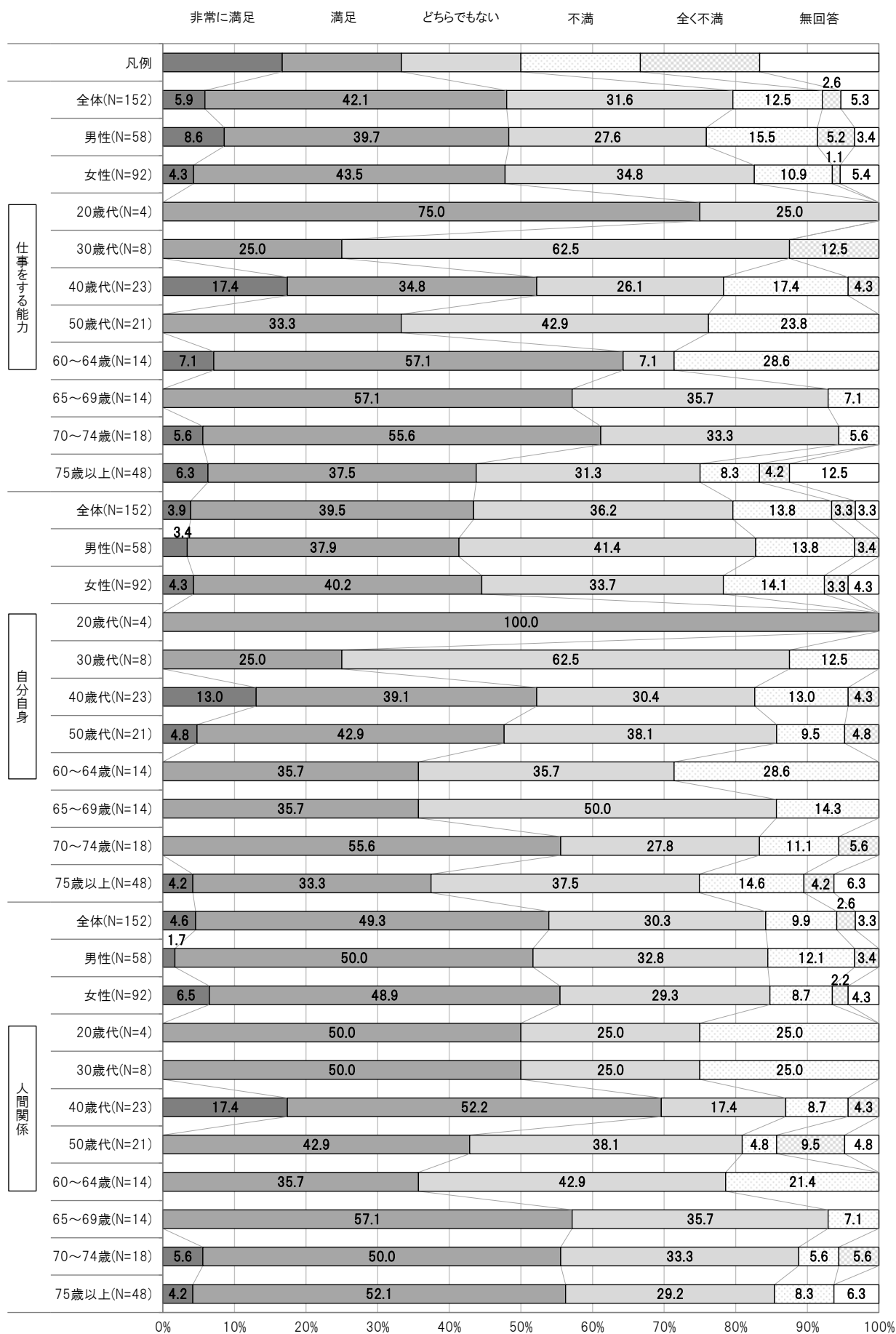
図表 III-297 南薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



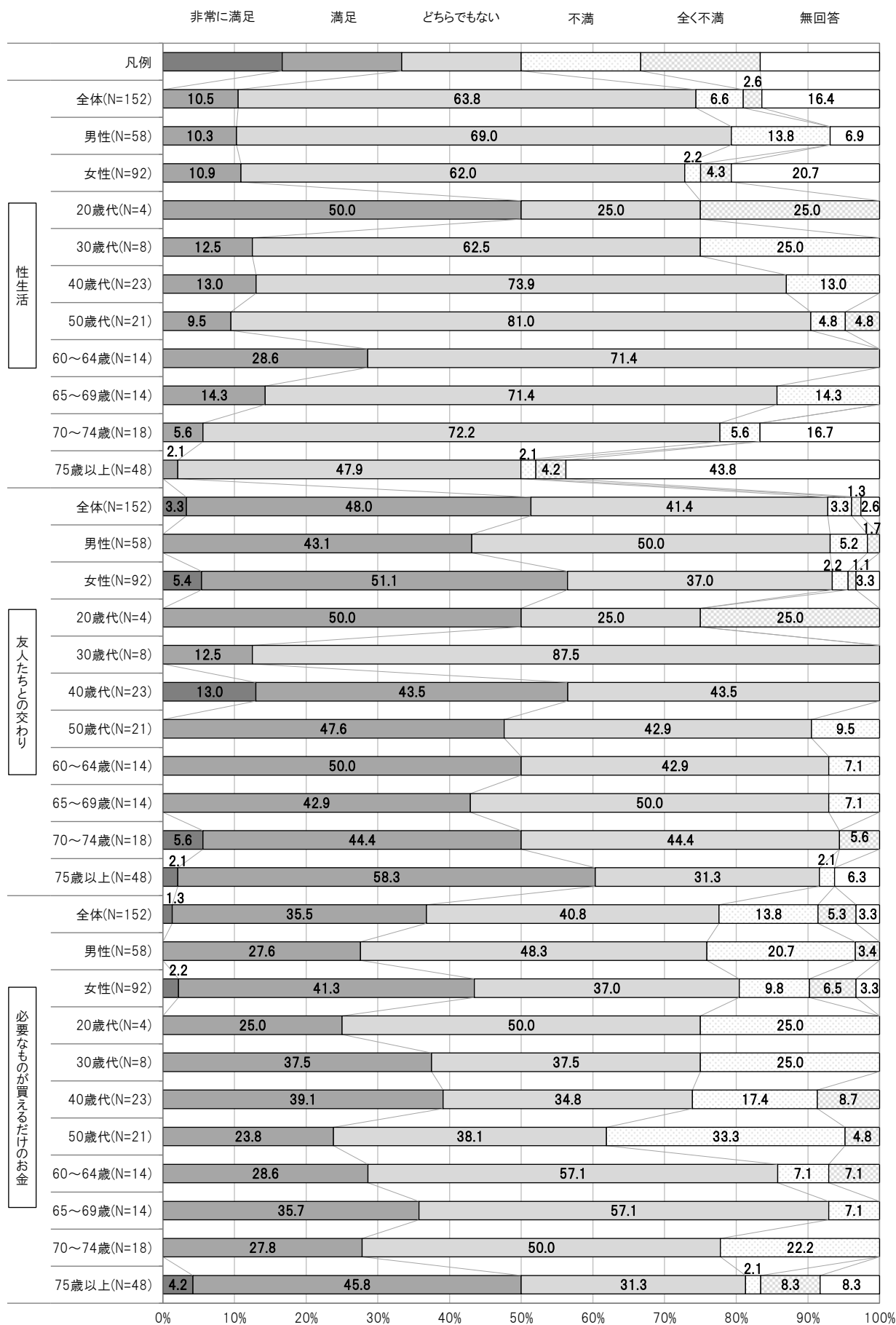
図表 III-298 川薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



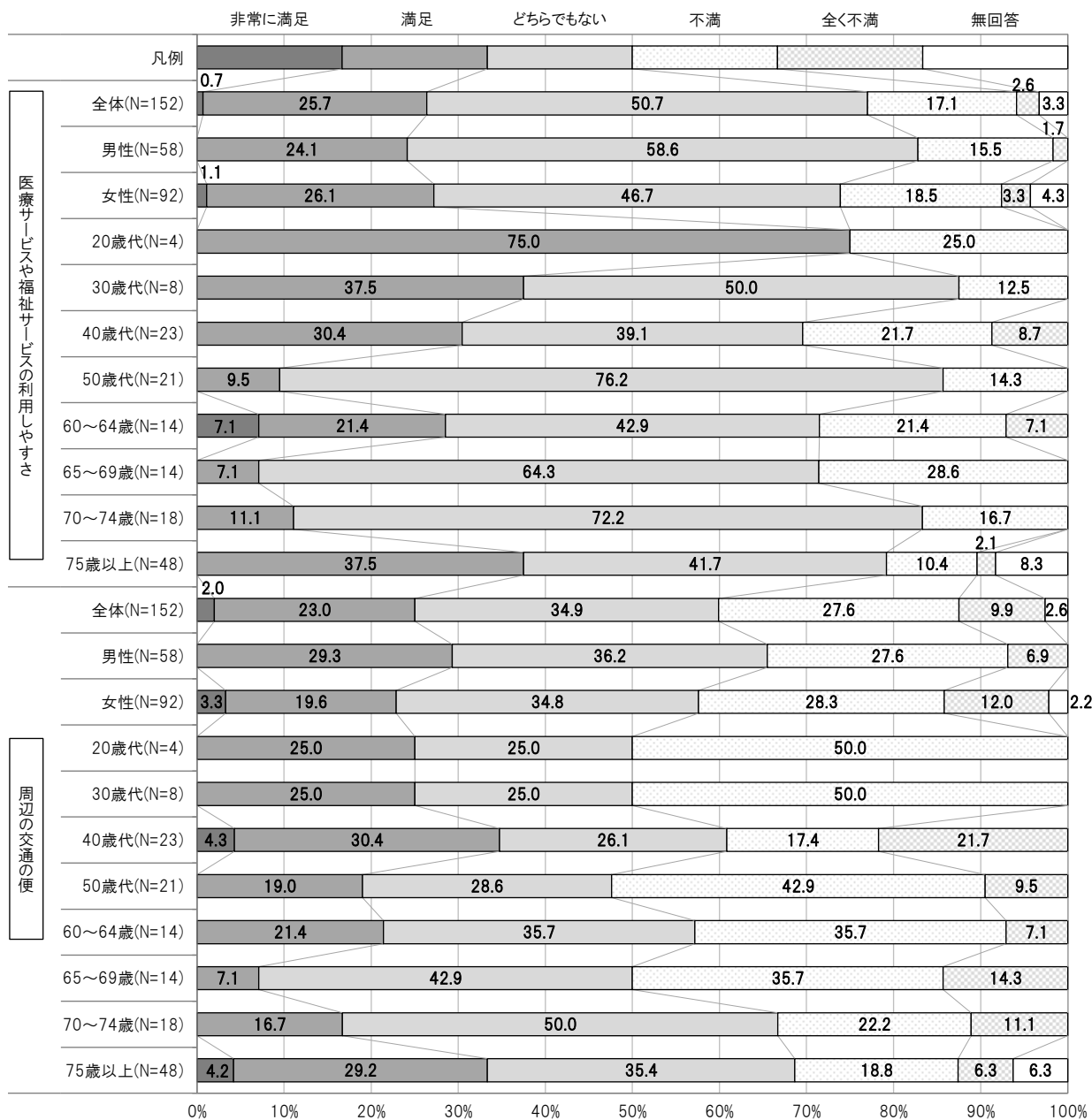
図表 III-299 川薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



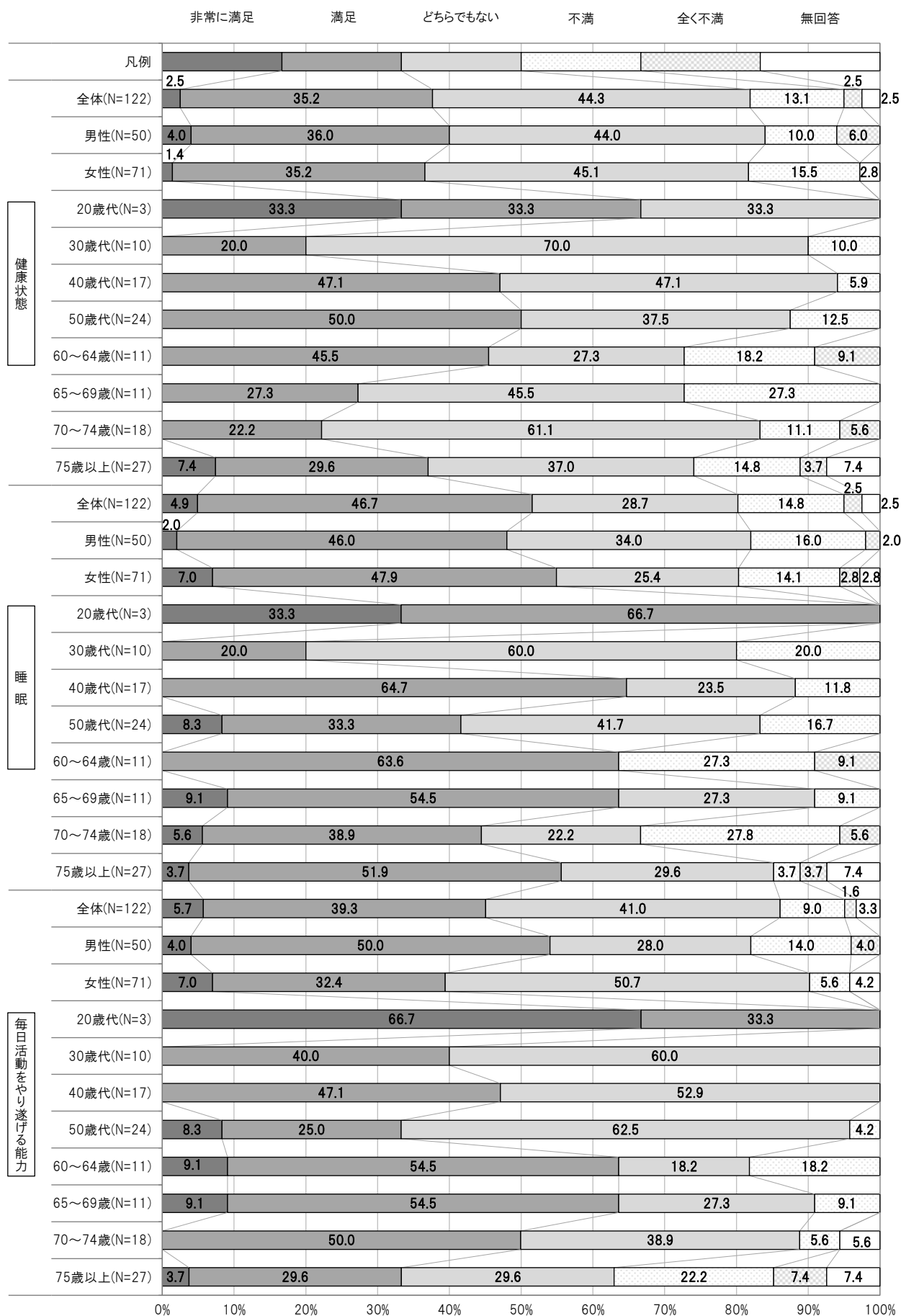
図表 III-300 川薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



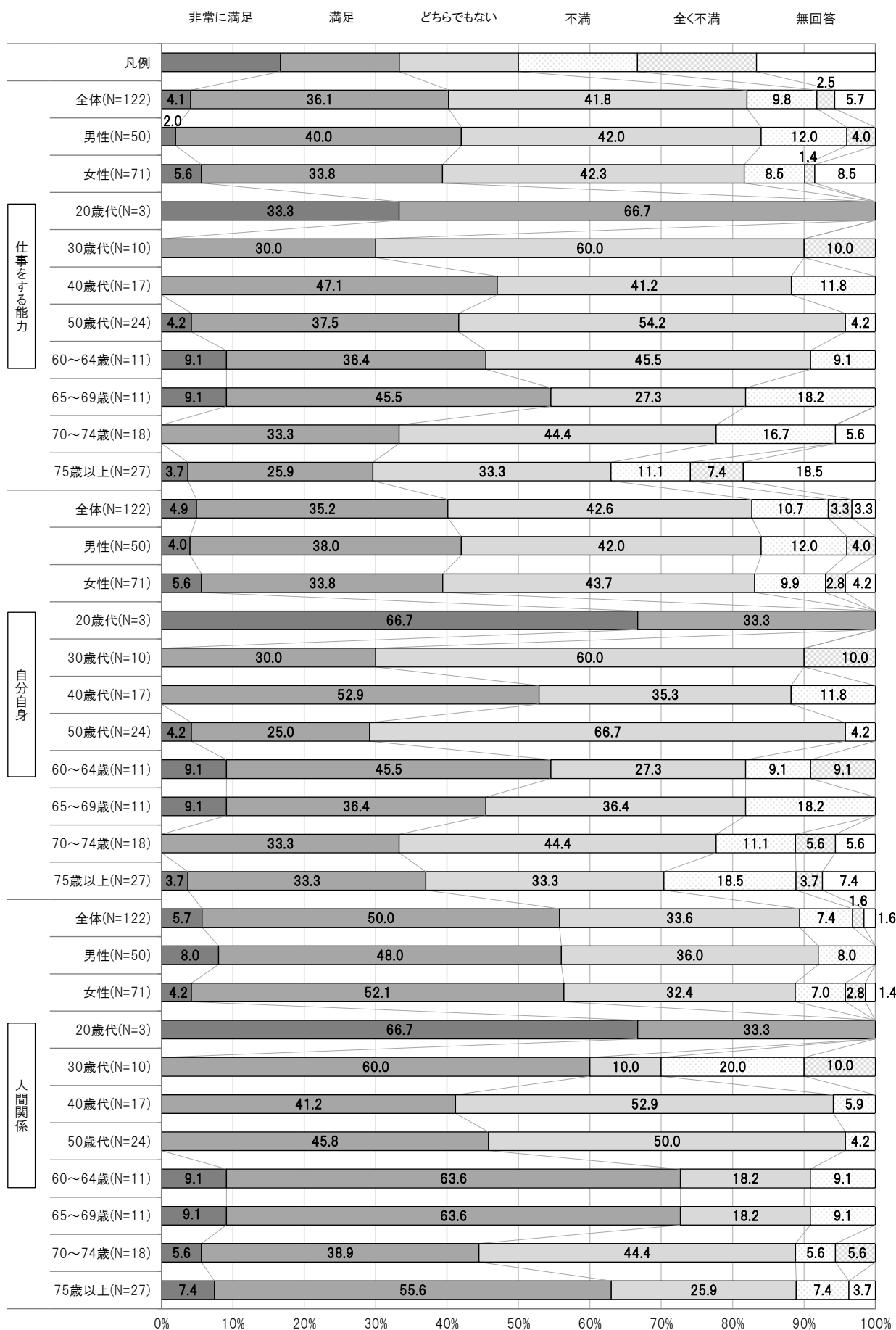
図表 III-301 川薩保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



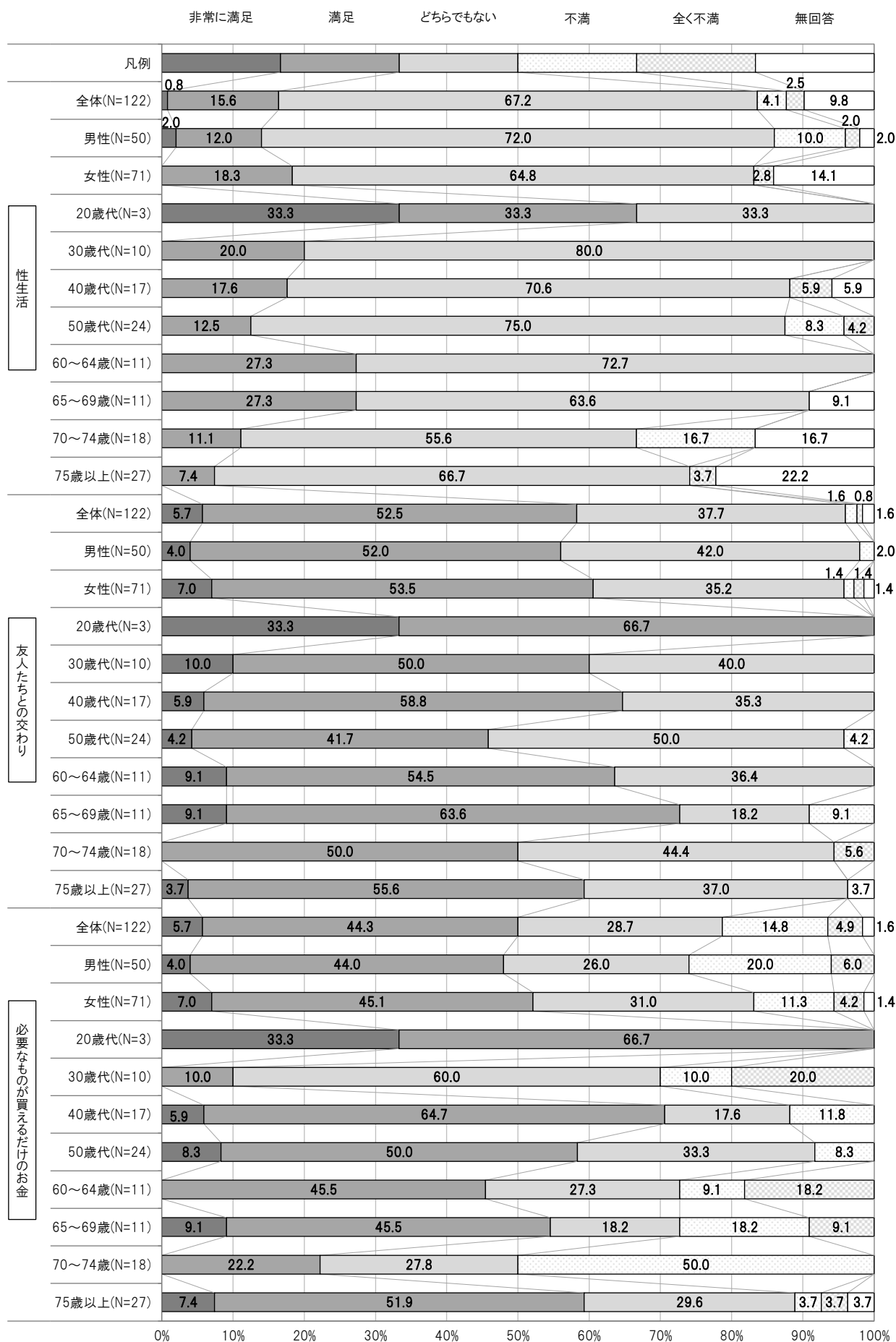
図表 III-302 出水保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



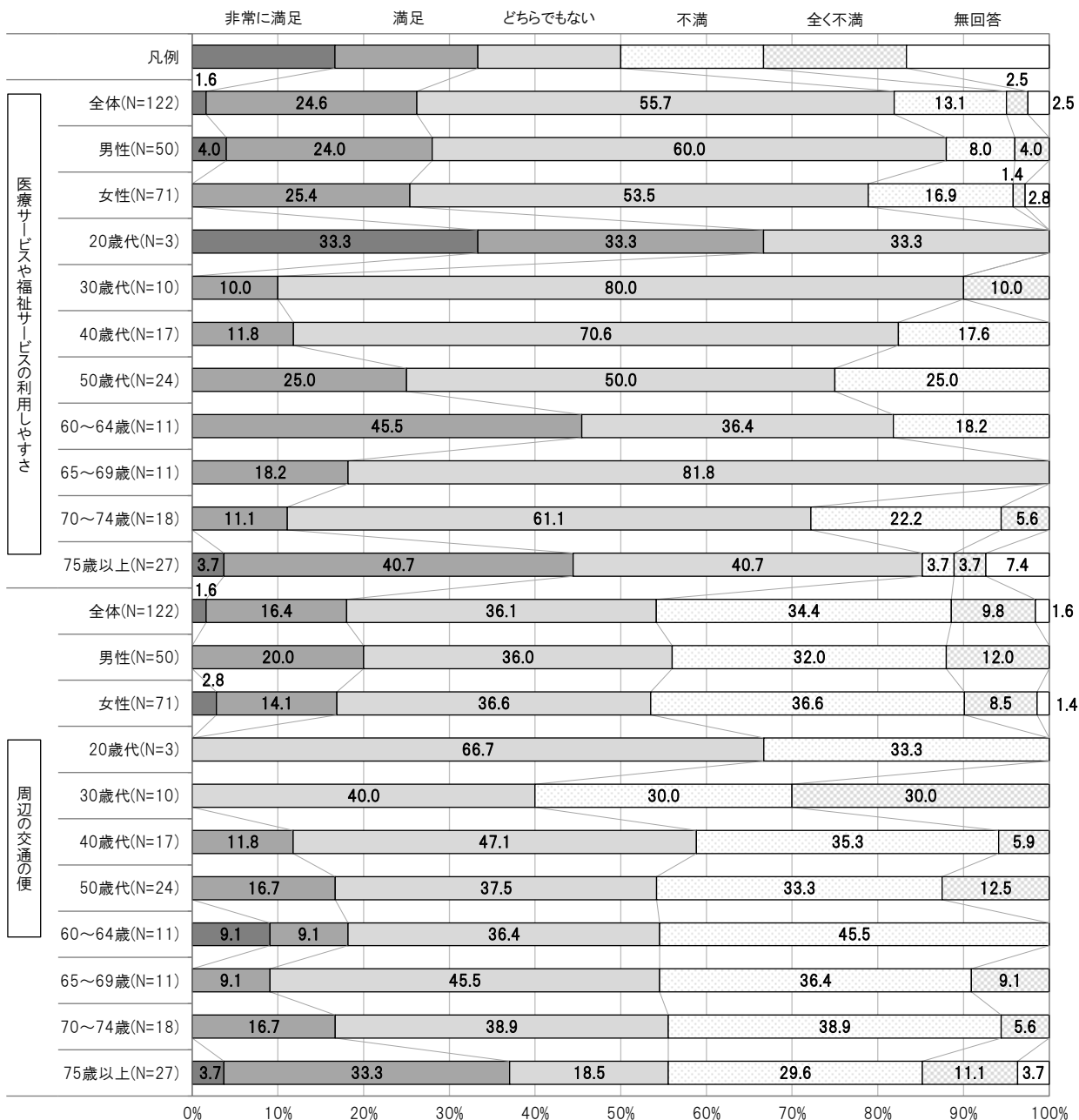
図表 III-303 出水保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



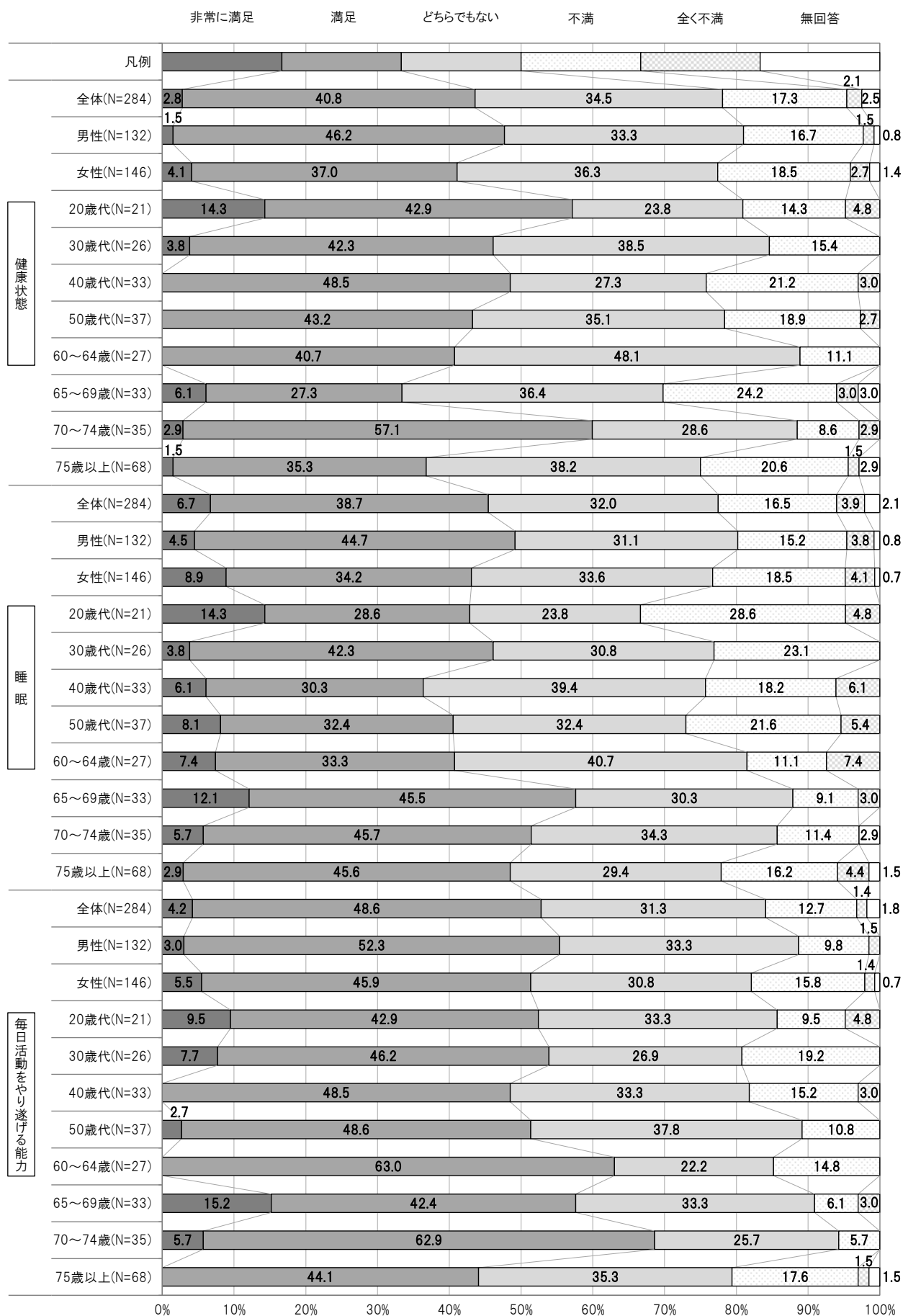
図表 III-304 出水保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



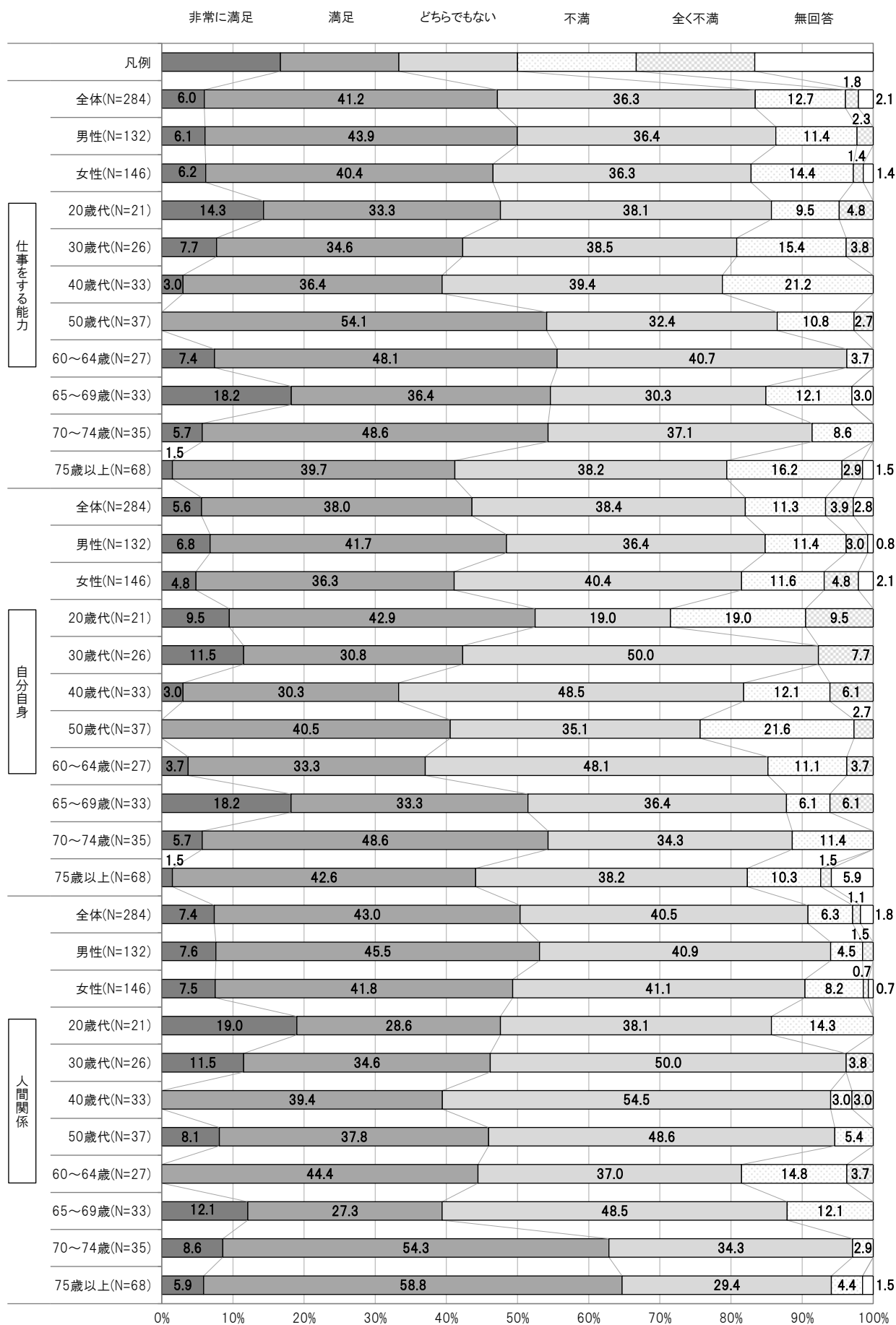
図表 III-305 出水保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



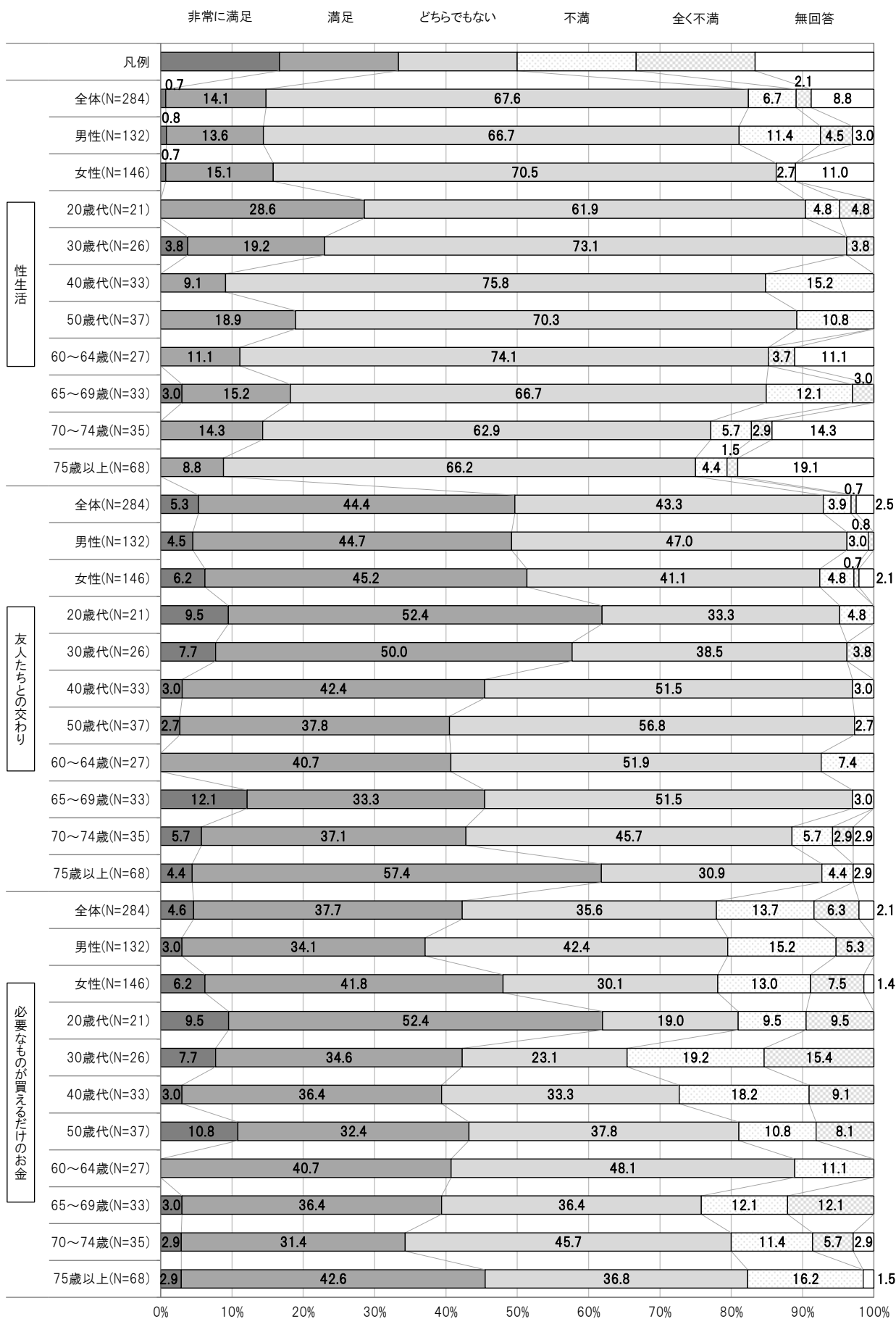
図表 III-306 始良・伊佐保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



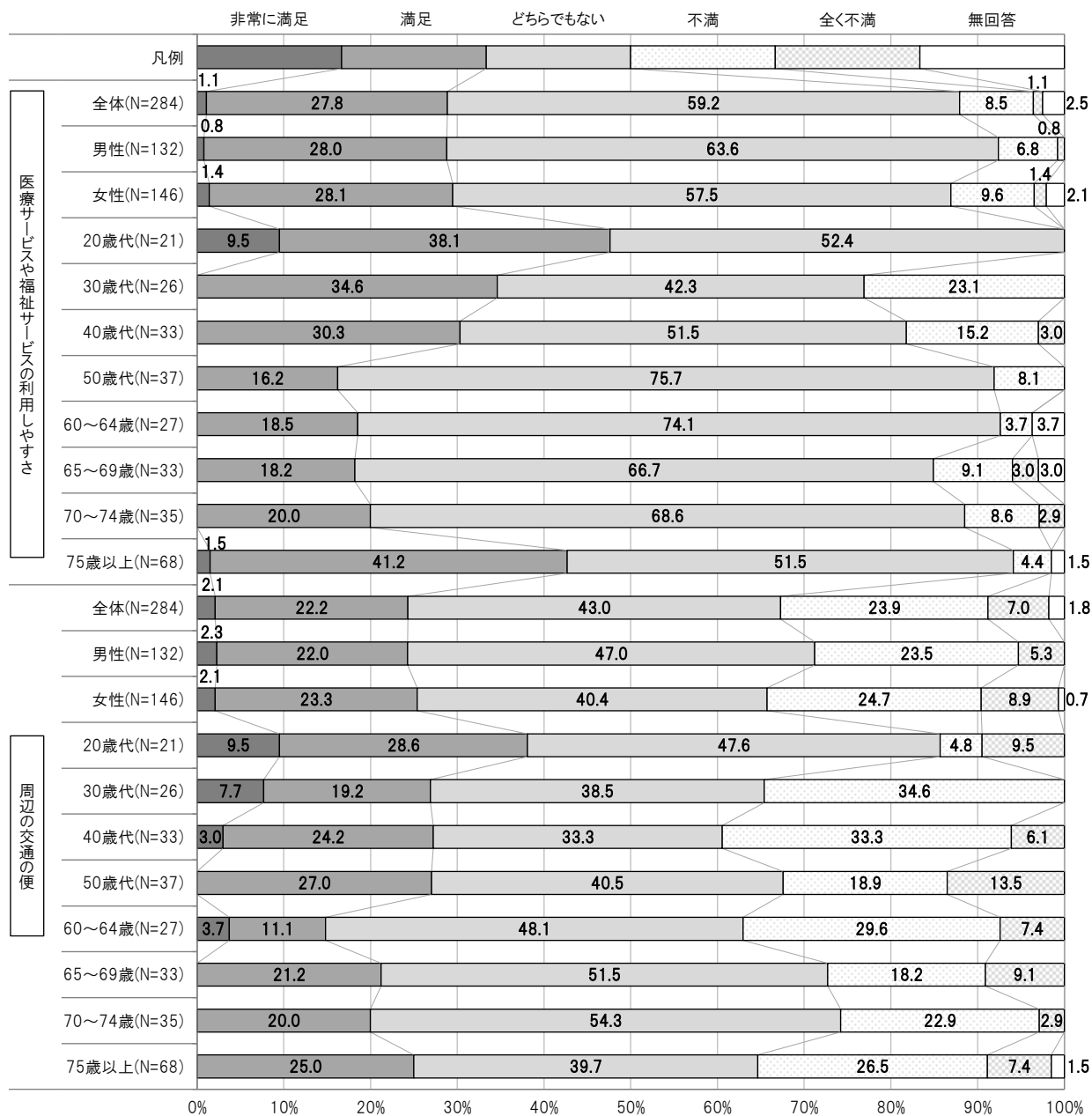
図表 III-307 始良・伊佐保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



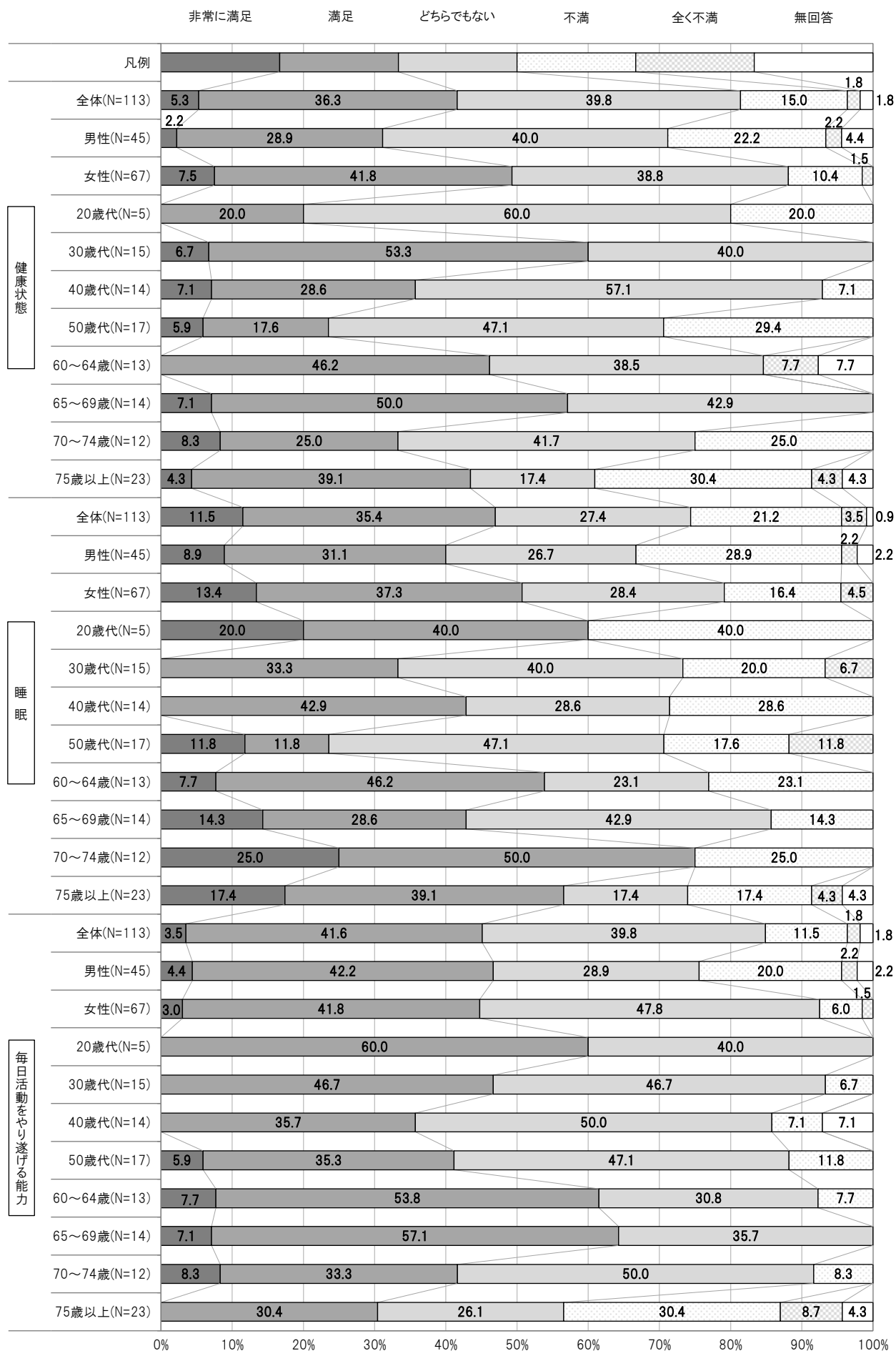
図表 III-308 始良・伊佐保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



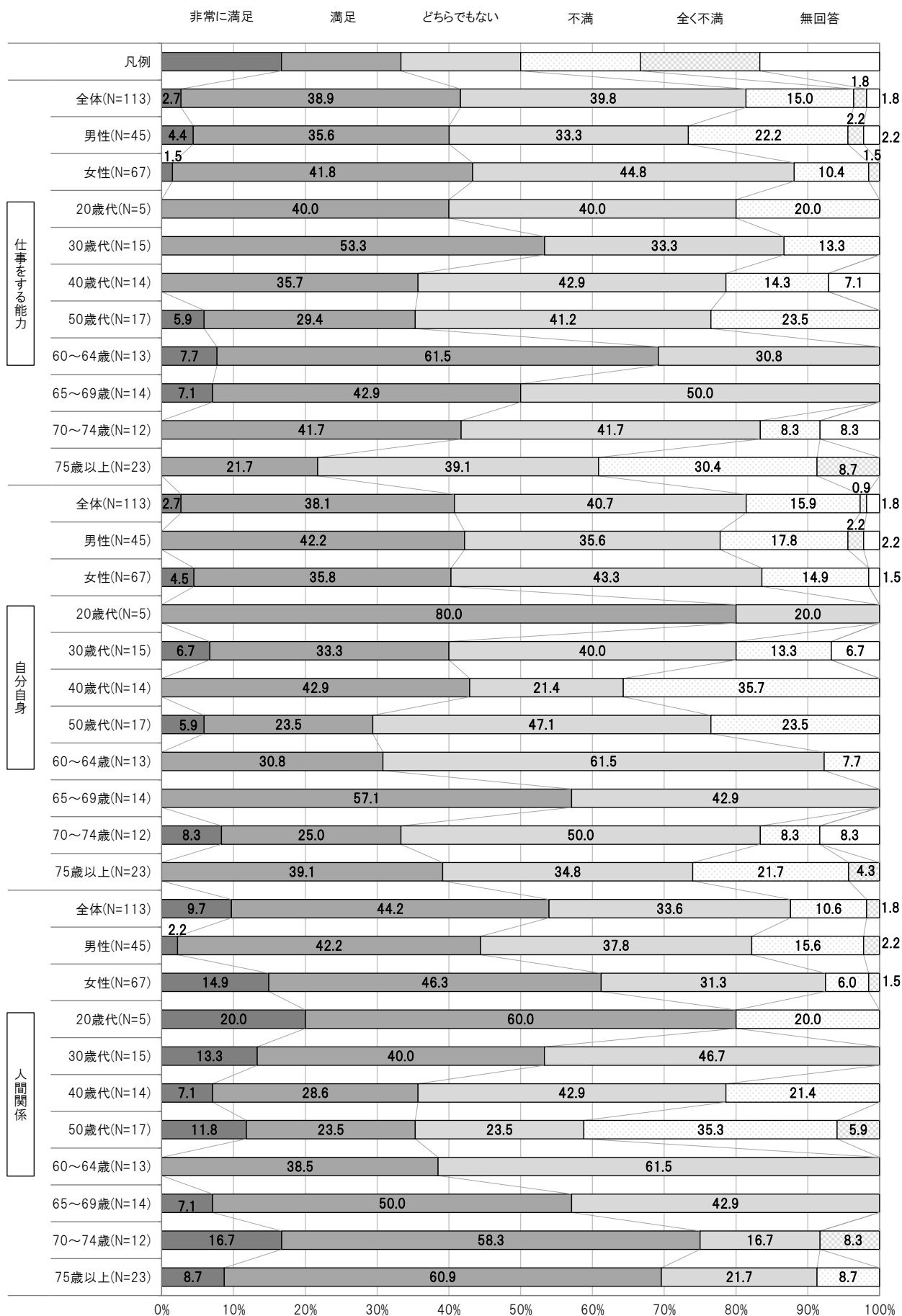
図表 III-309 始良・伊佐保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



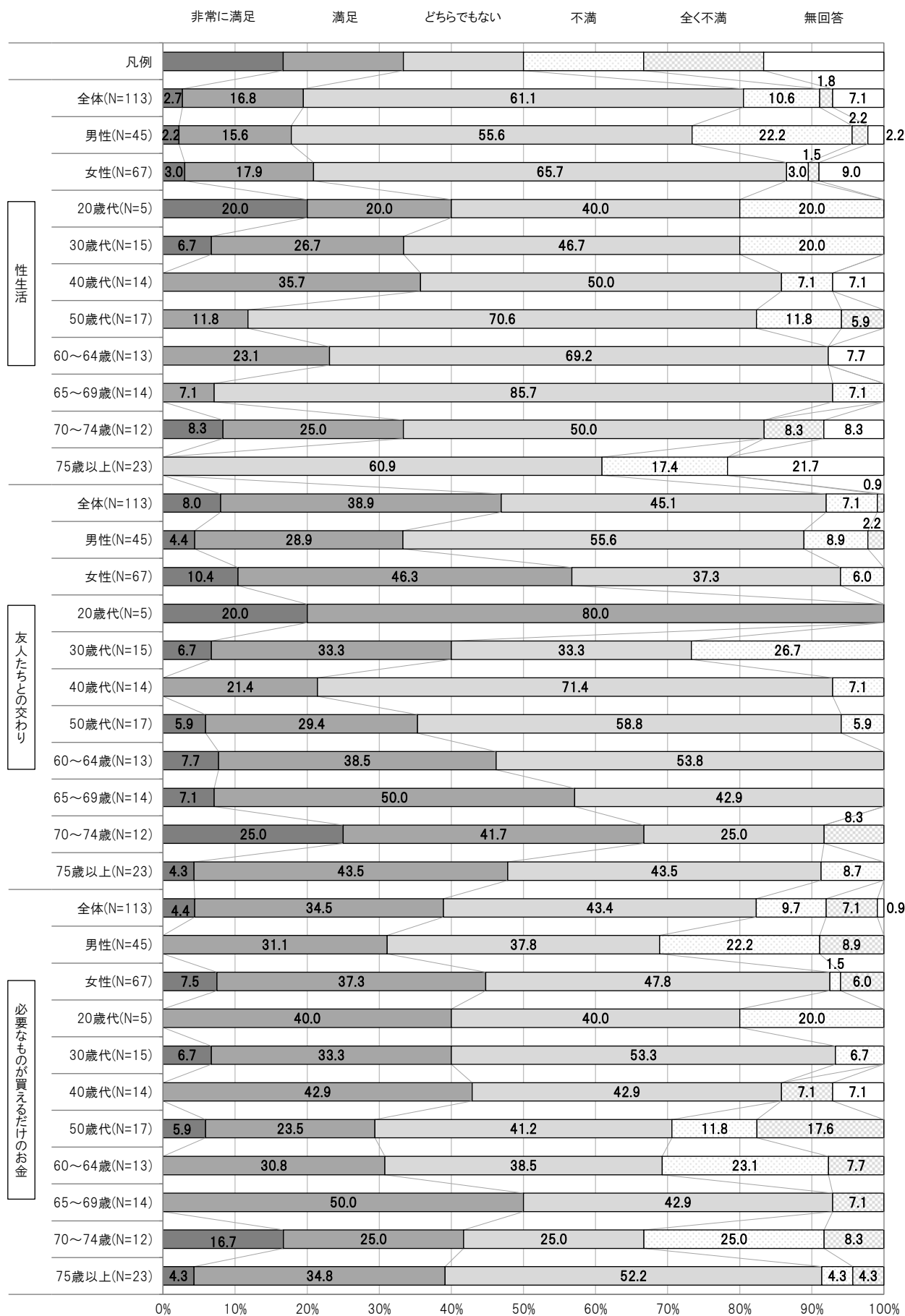
図表 III-310 曾於保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 1/4



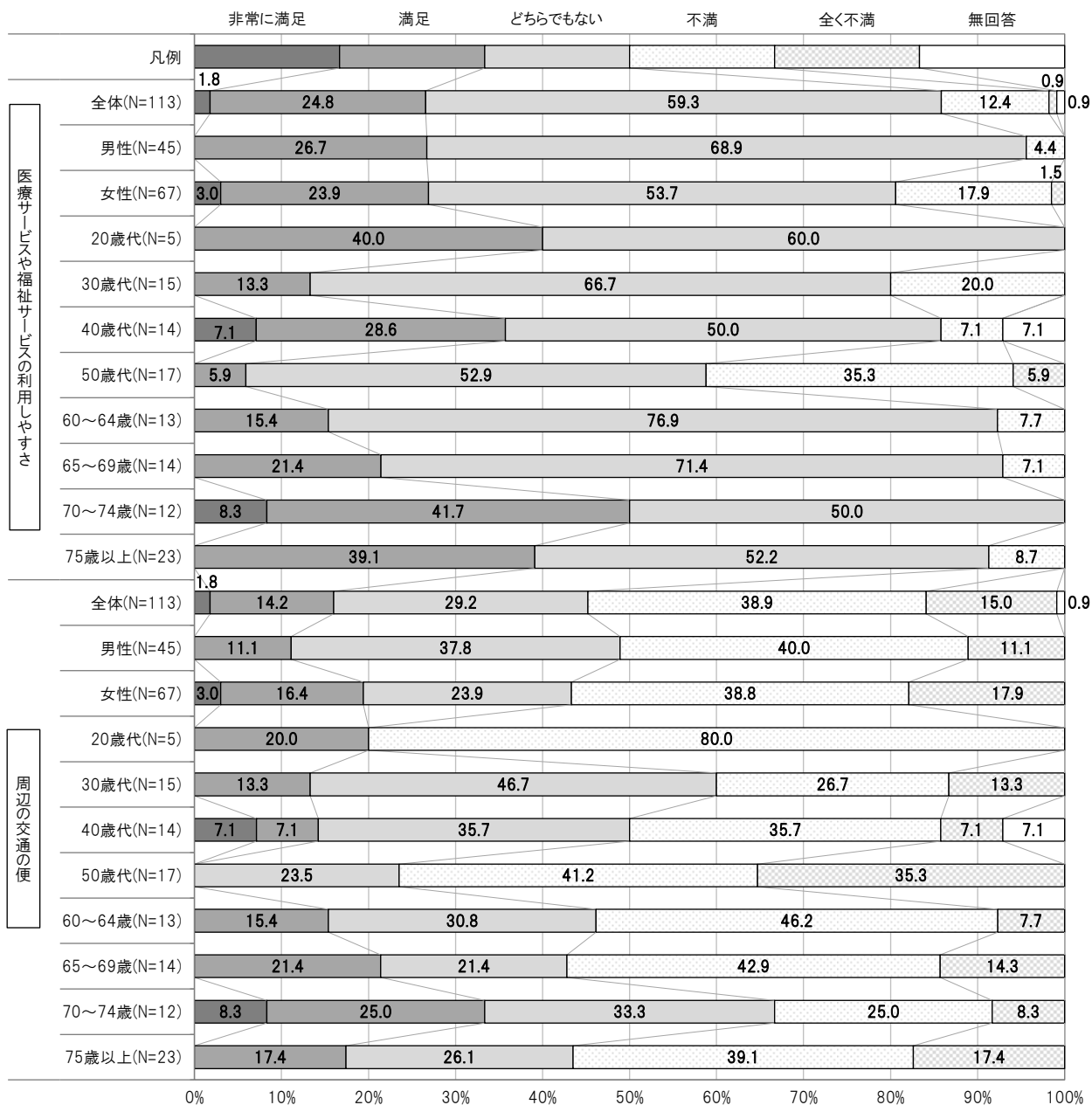
図表 III-311 曾於保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



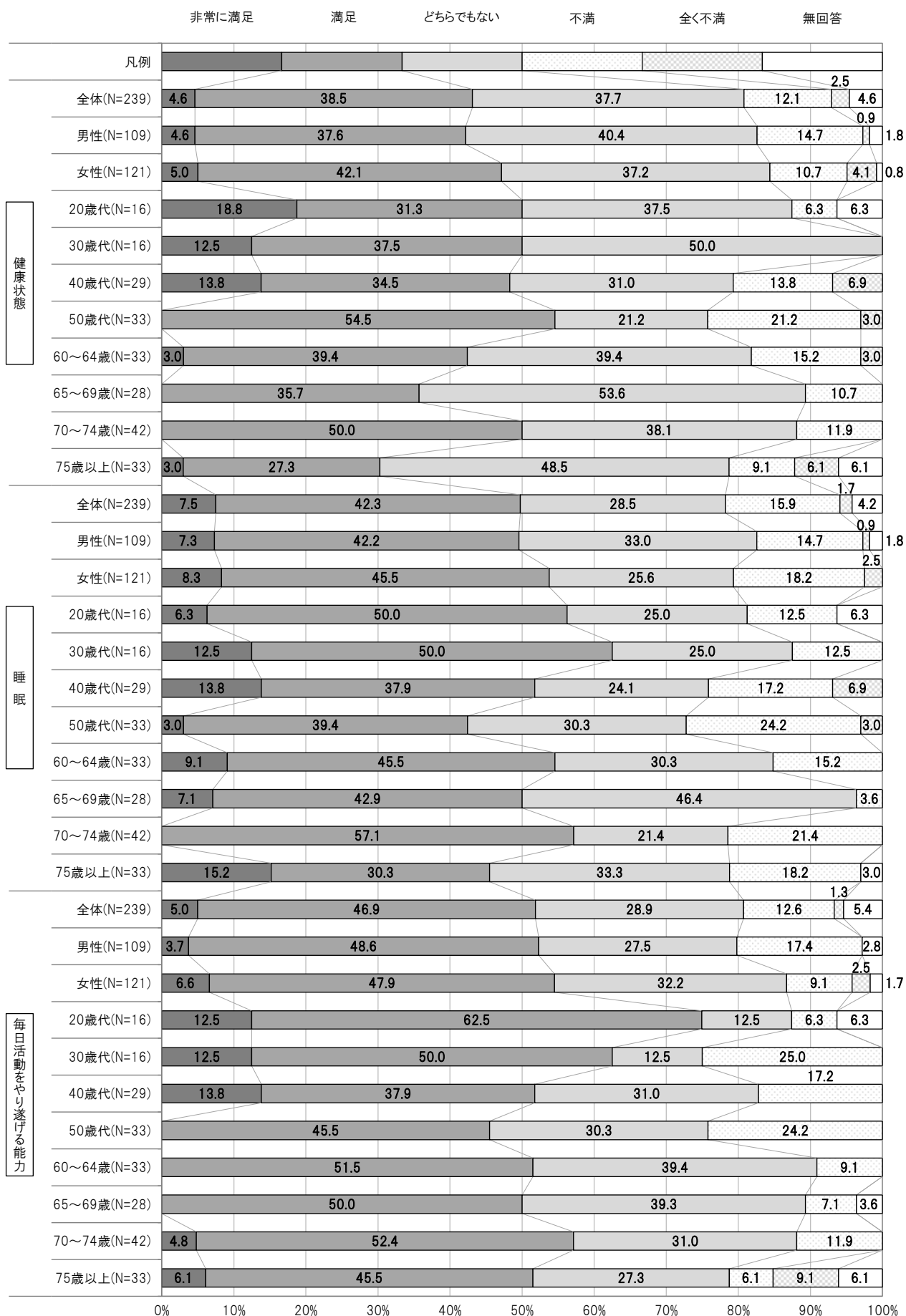
図表 III-312 曾於保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



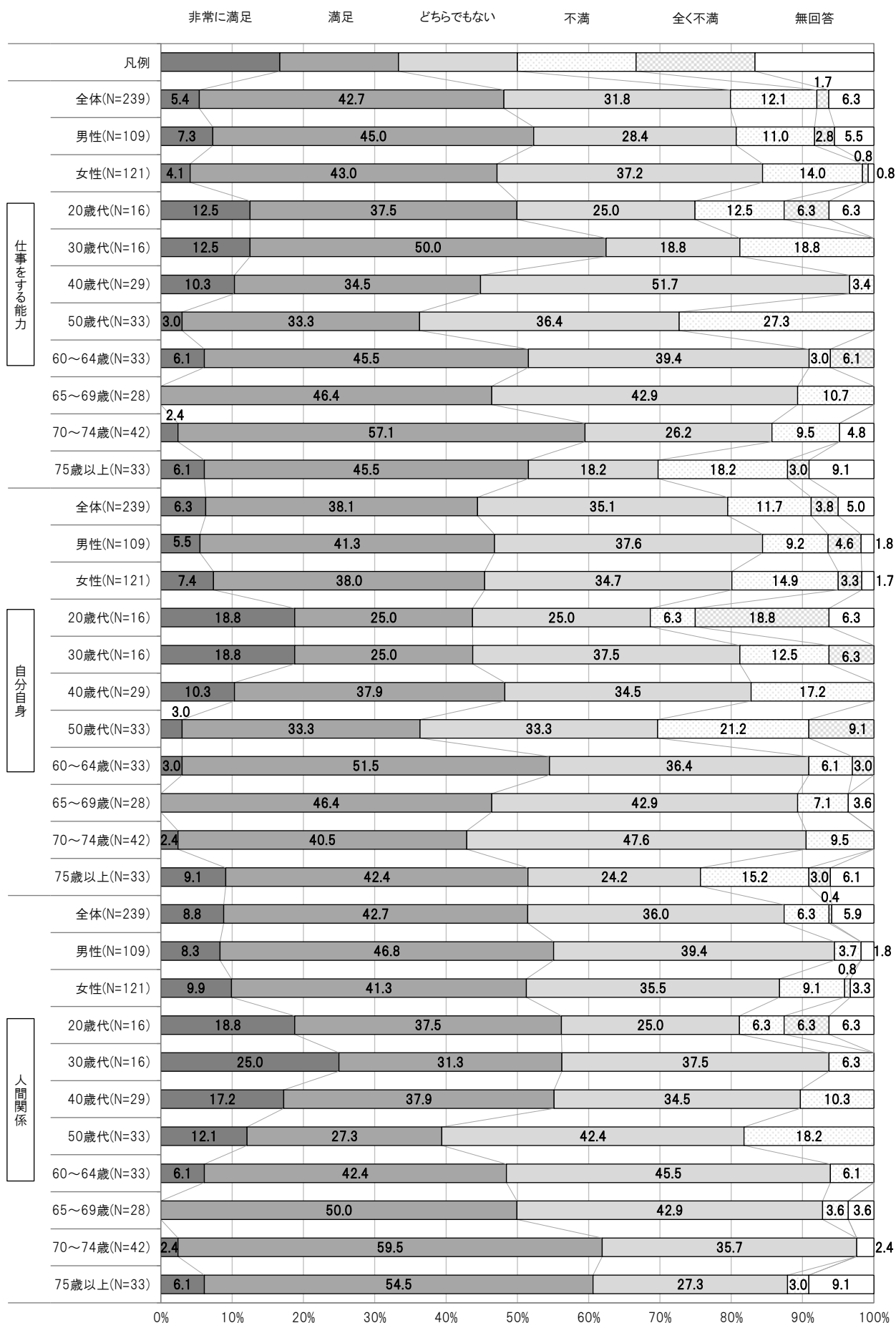
図表 III-313 曾於保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



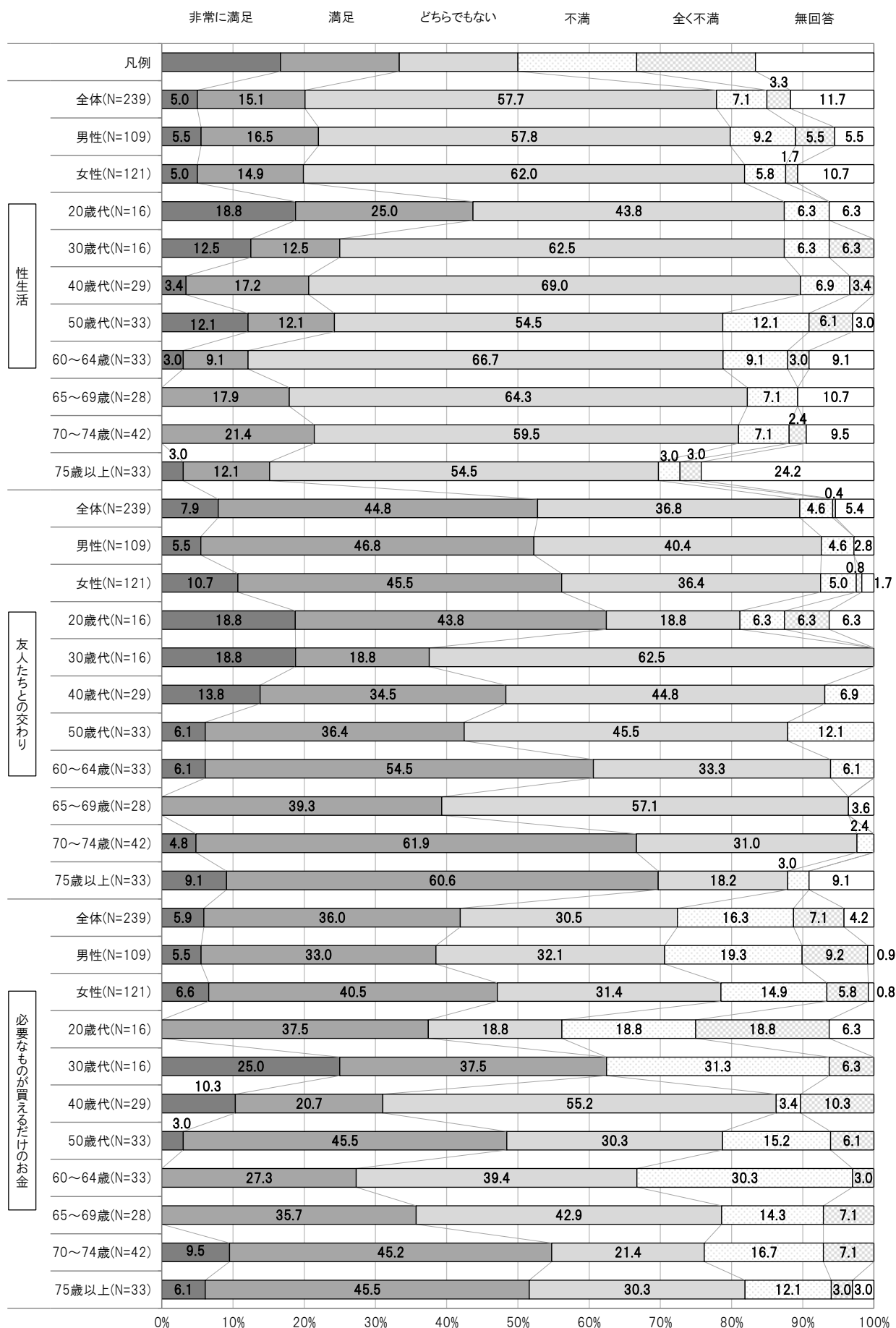
図表 III-314 肝属保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 1/4



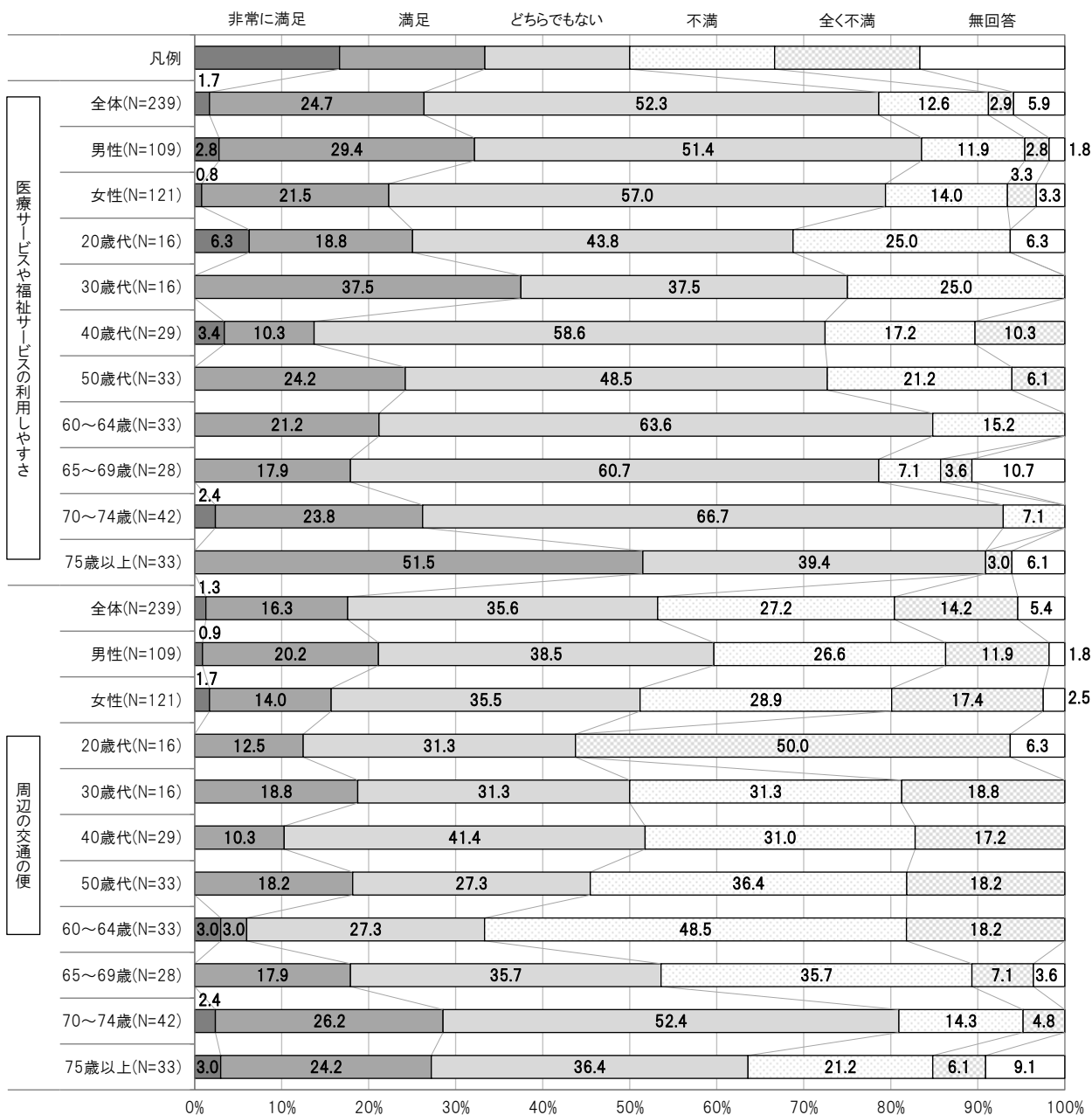
図表 III-315 肝属保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



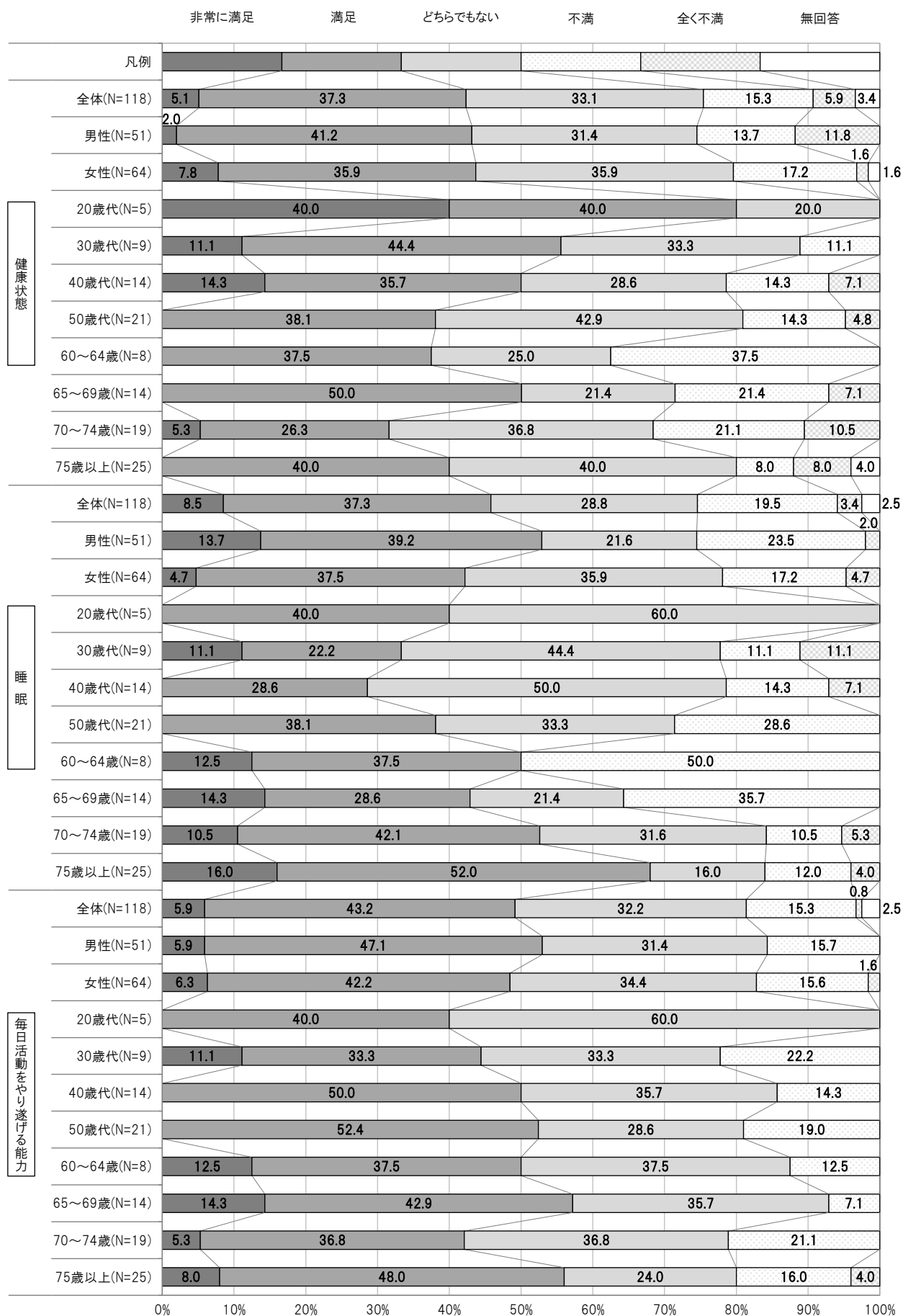
図表 III-316 肝属保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



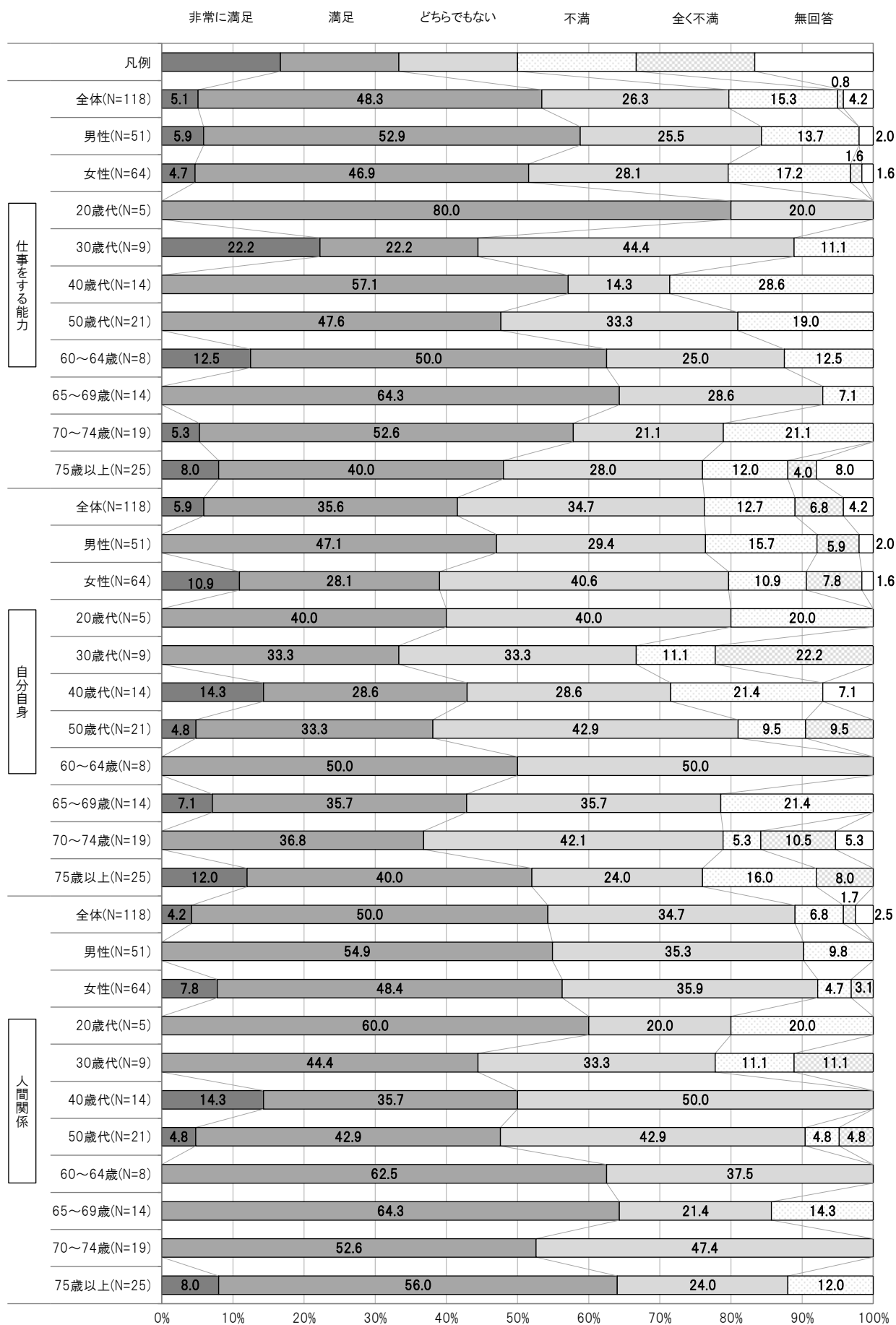
図表 III-317 肝属保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



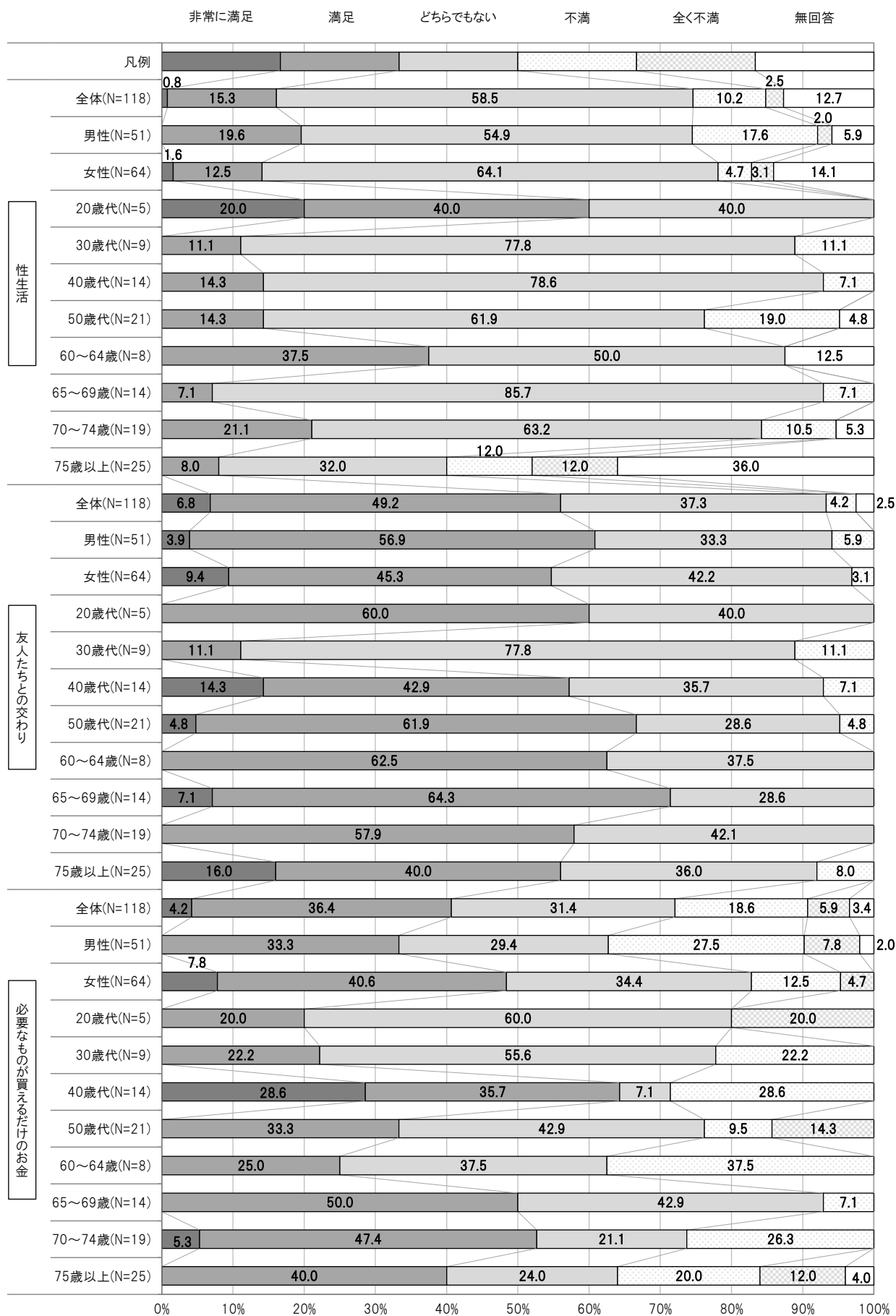
図表 III-318 熊毛保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



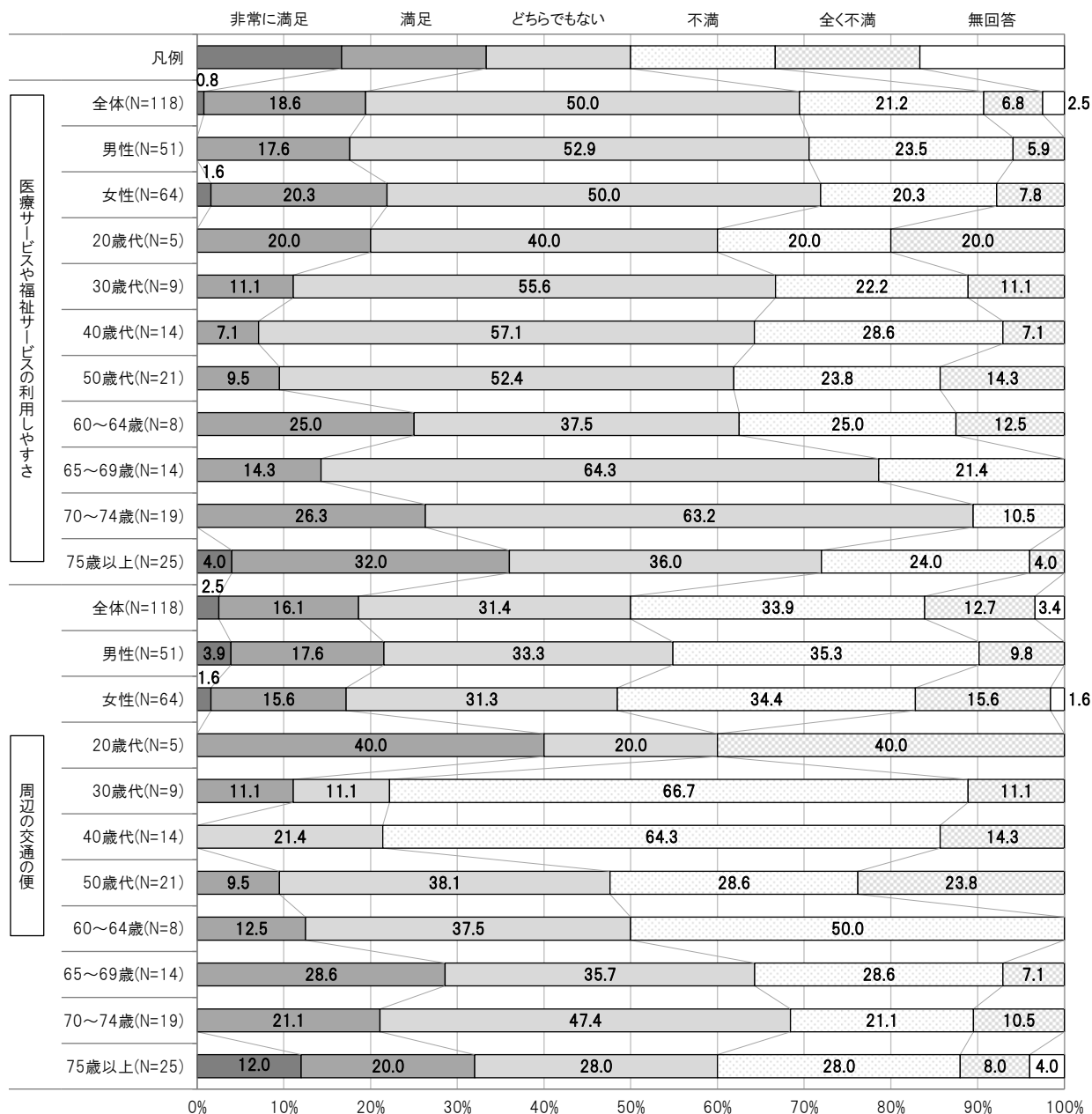
図表 III-319 熊毛保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



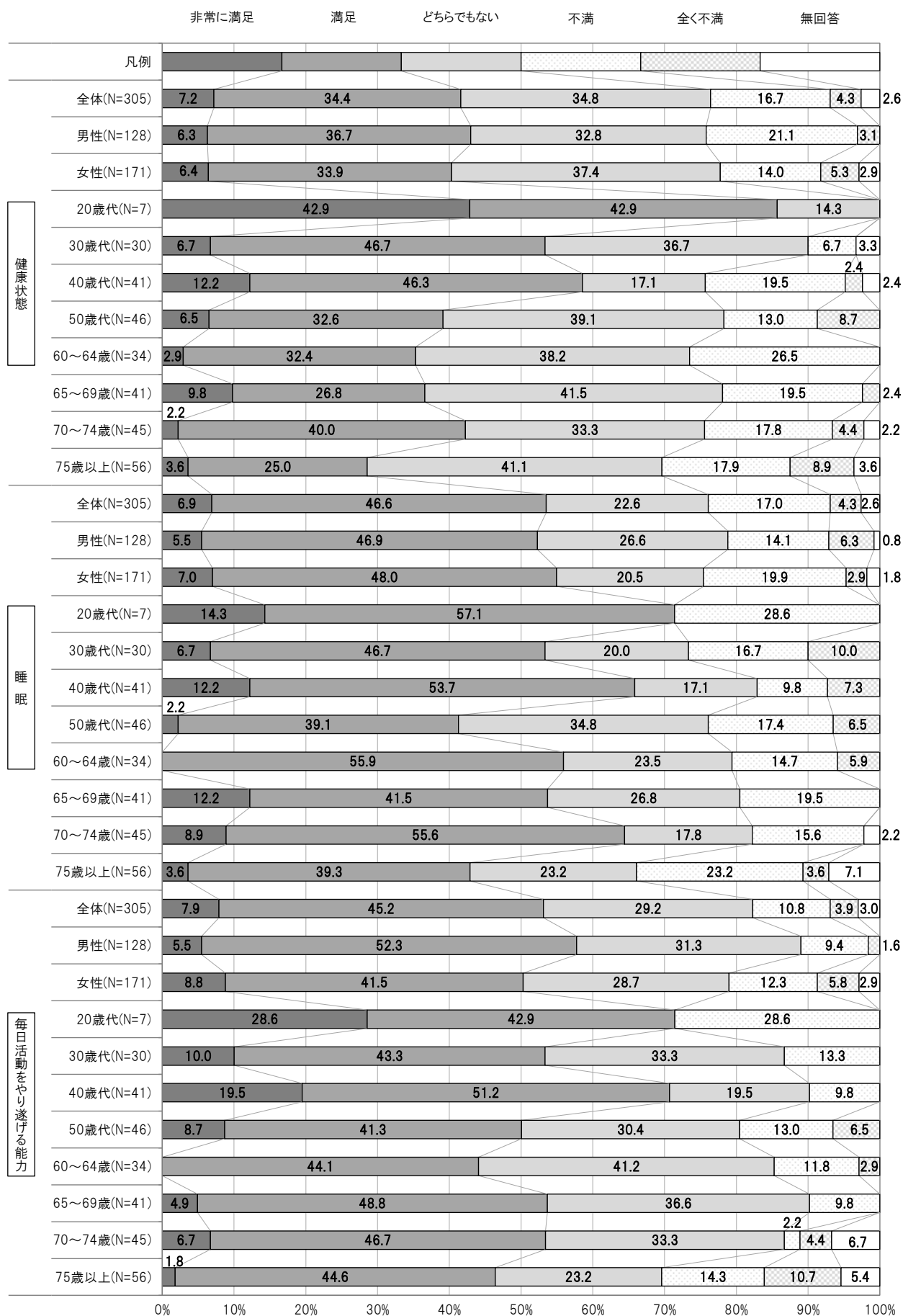
図表 III-320 熊毛保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



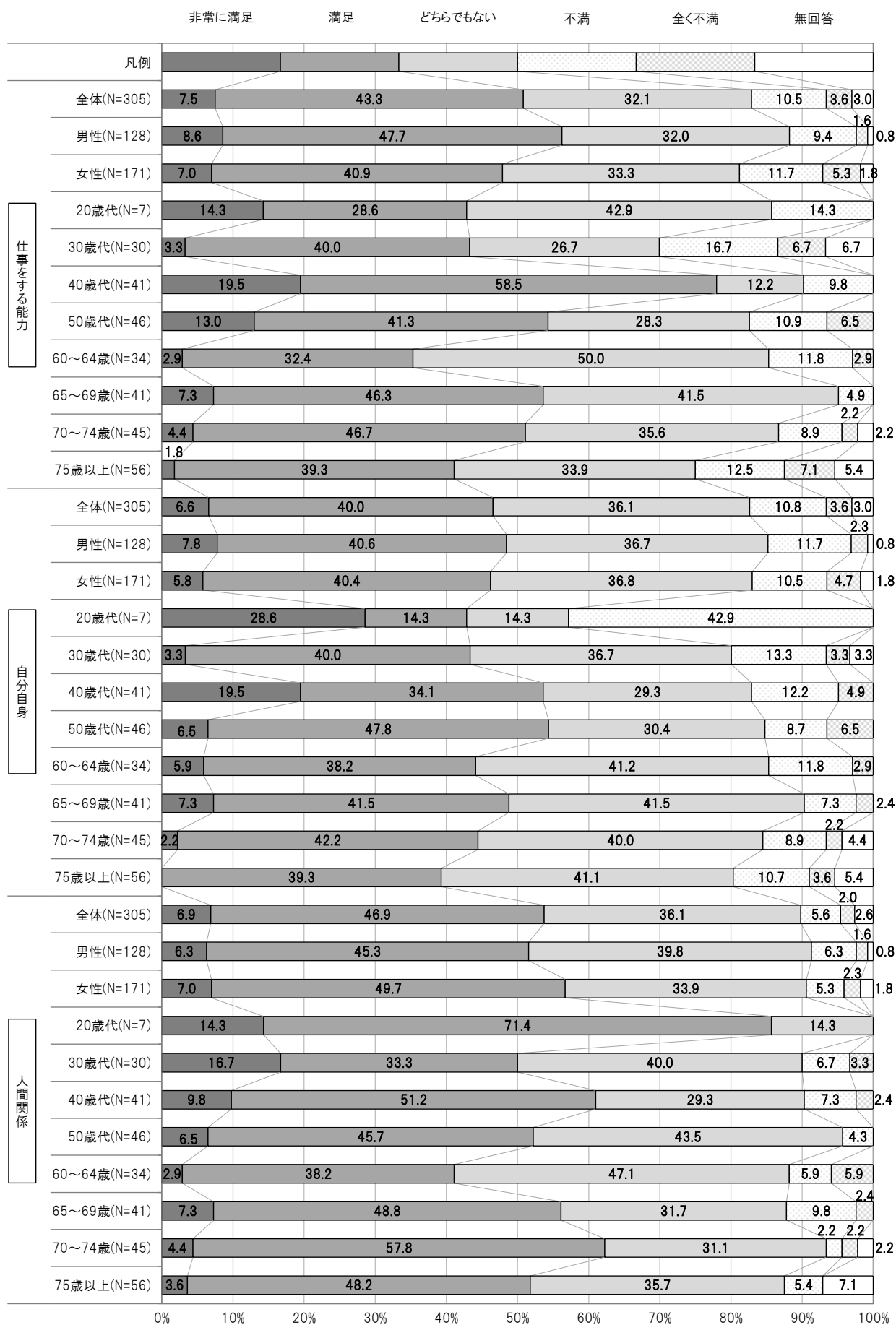
図表 III-321 熊毛保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



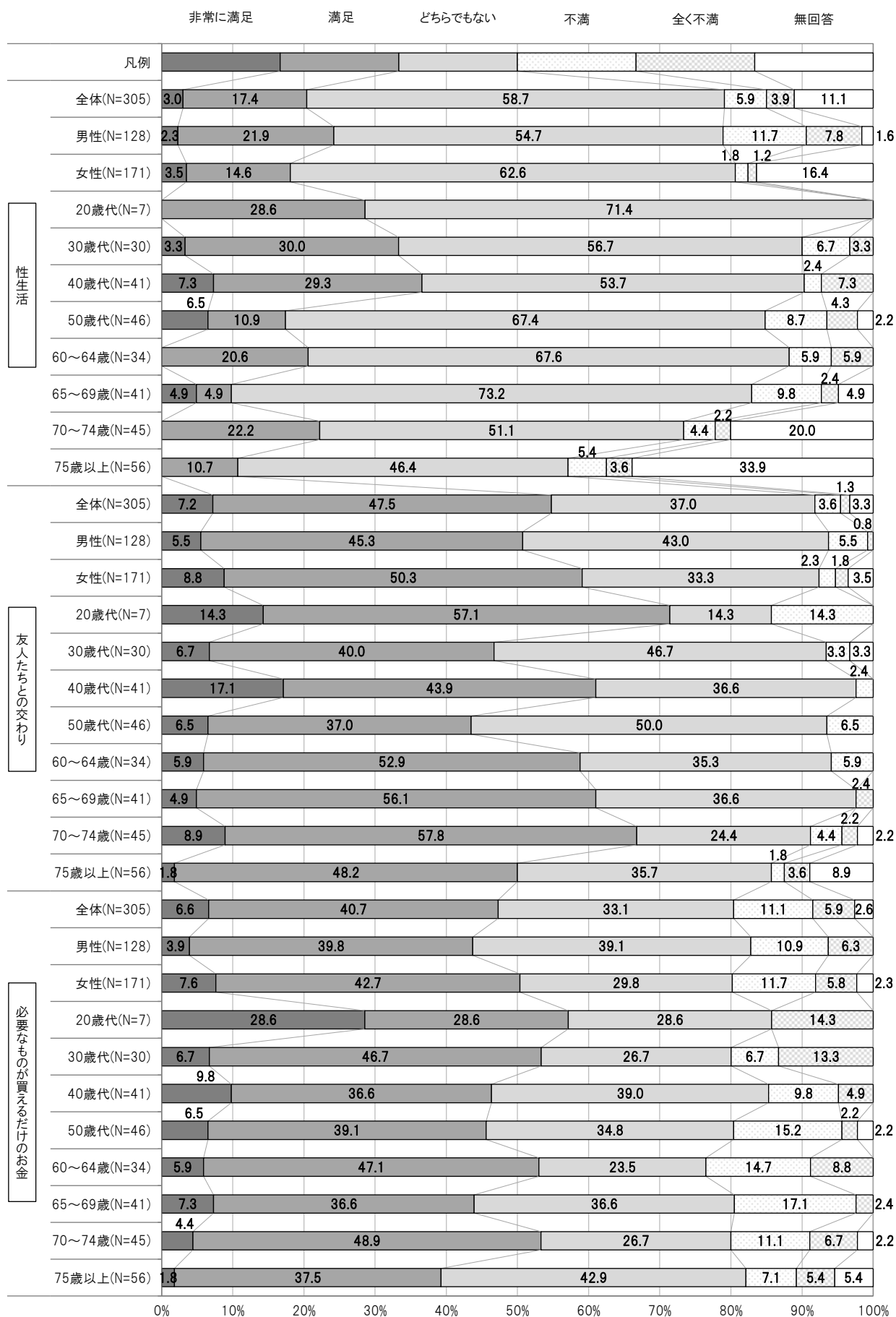
図表 III-322 奄美保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



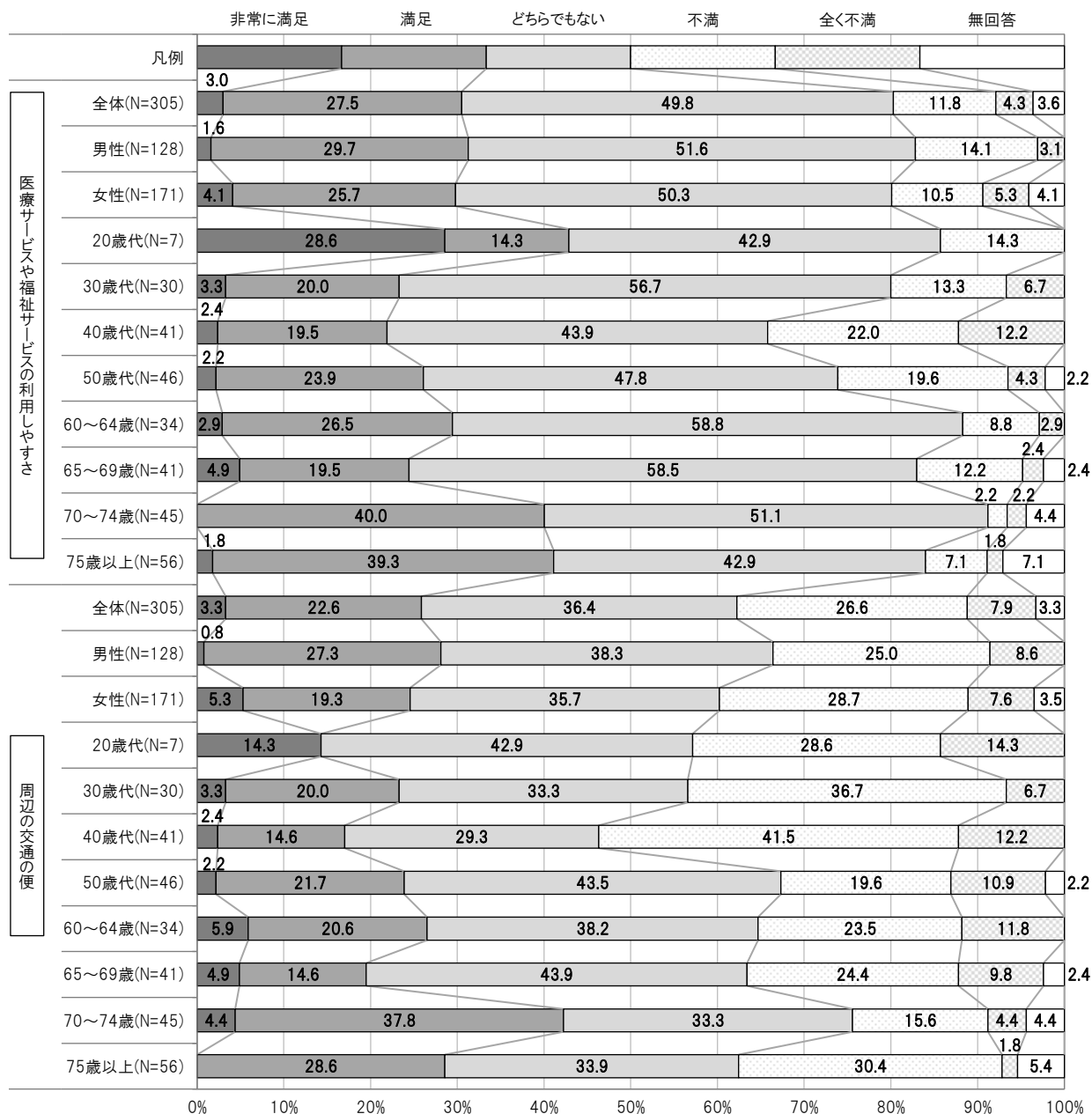
図表 III-323 奄美保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 2/4



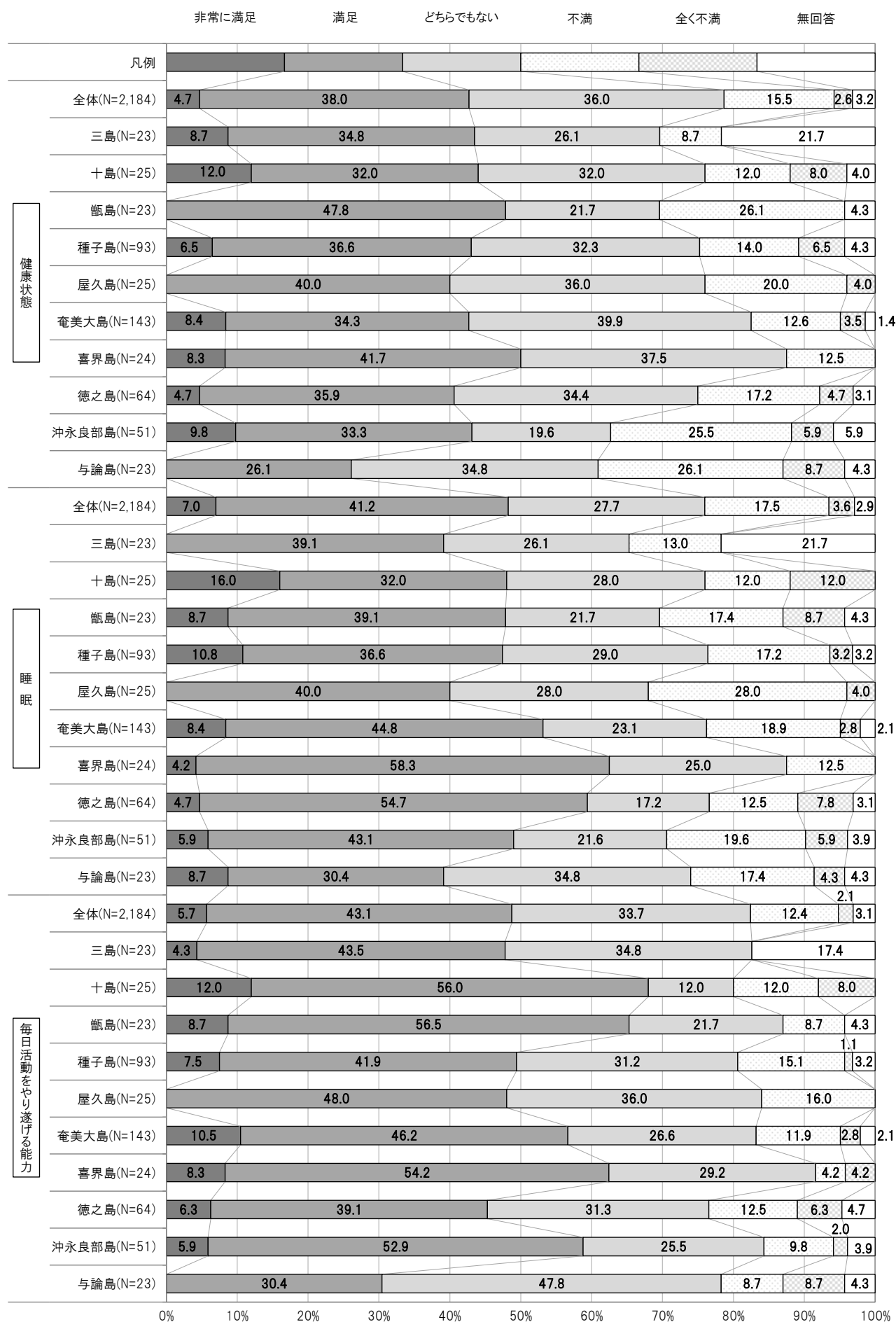
図表 III-324 奄美保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



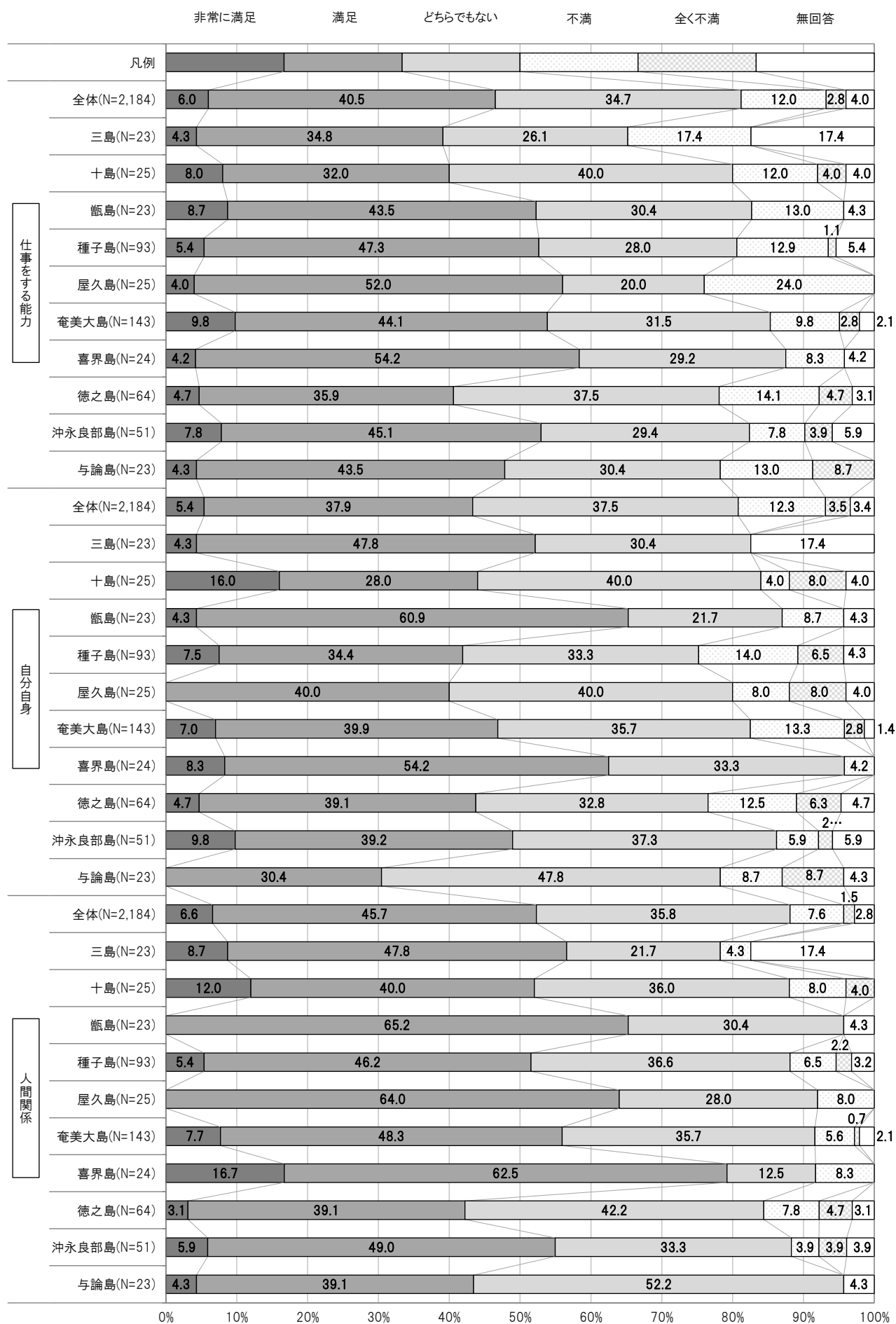
図表 III-325 奄美保健医療圏 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



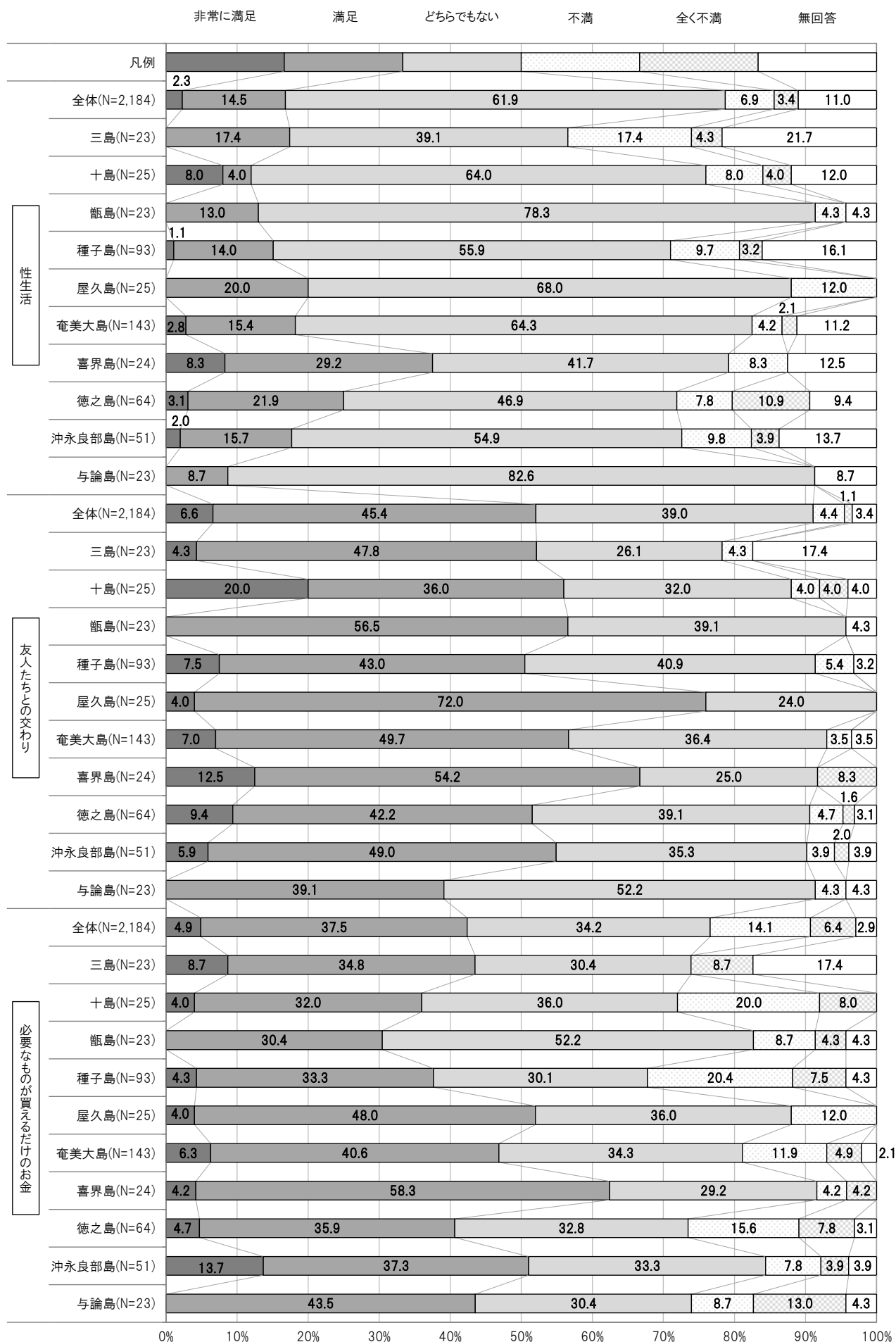
図表 III-326 離島別の分析 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】1/4



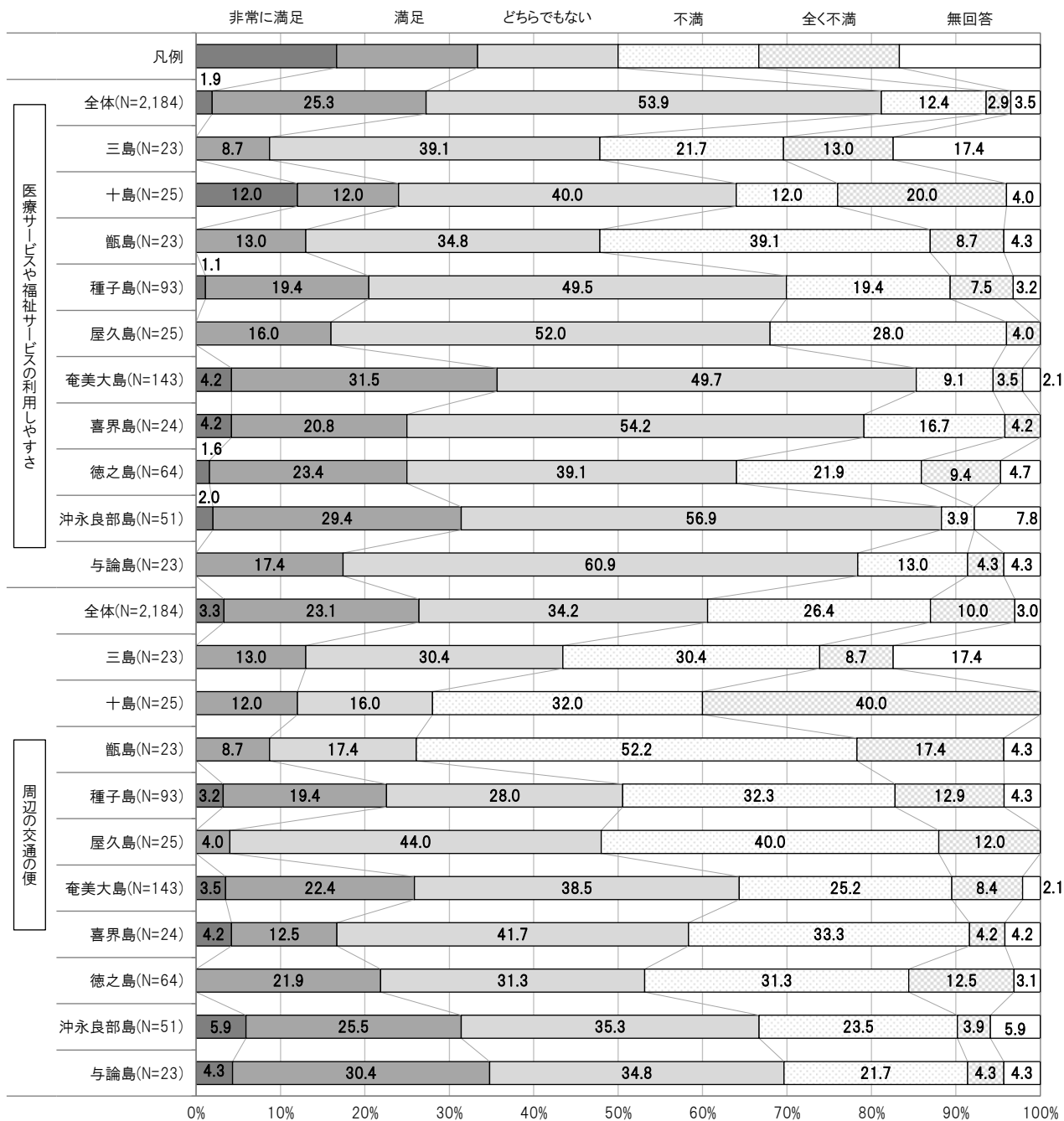
図表 III-327 離島別の分析 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】2/4



図表 III-328 離島別の分析 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 3/4



図表 III-329 離島別の分析 QOL（生活の質）【加重集計前・属性別】 4/4



図表 III-330 合計平均点 QOL（生活の質）【保健医療圏・性・年代別、離島別】

	県全体	鹿児島保健医療圏	南薩保健医療圏	川薩保健医療圏	出水保健医療圏	姶良・伊佐保健医療圏	曾於保健医療圏	肝属保健医療圏	熊毛保健医療圏	奄美保健医療圏
全体(加重集計後)	34.7	35.0	33.8	33.9	34.8	35.2	35.0	33.5	33.6	35.0

■加重集計前

全体		34.5	36.1	35.5	35.4	35.9	36.0	35.3	36.1	35.3	36.3
性別	男性	35.4	36.1	36.0	35.3	35.5	36.1	34.0	36.1	35.1	36.2
	女性	34.8	36.1	35.1	35.4	36.2	35.9	36.3	36.0	35.4	36.4
年齢別	20歳代	37.6	38.7	29.5	37.0	46.0	37.3	37.4	36.5	36.8	39.1
	30歳代	35.9	36.8	35.3	35.4	33.4	36.1	35.8	37.3	33.3	36.1
	40歳代	35.6	35.9	33.1	35.7	36.5	34.6	35.2	35.8	35.1	37.5
	50歳代	34.6	34.7	36.3	33.6	35.8	35.4	32.2	34.2	33.9	35.7
	60～64歳	35.4	35.6	36.2	34.7	36.5	35.6	36.0	35.3	35.7	35.4
	65～69歳	35.8	36.3	36.1	34.5	36.8	36.3	37.2	35.8	36.4	36.5
	70～74歳	35.4	36.2	35.5	35.8	33.7	36.9	37.6	37.2	35.6	37.5
75歳以上	33.1	35.9	35.4	36.4	36.2	36.1	34.2	37.2	35.8	35.2	

■加重集計前

県全体		34.5
離島別	三島	36.3
	十島	34.9
	甌島	35.5
	種子島	35.3
	屋久島	35.1
	奄美大島	36.8
	喜界島	38.1
	徳之島	34.8
	沖永良部島	36.9
	与論島	34.4

※ 合計平均点とは、各項目について算出した加重平均点（「非常に満足」（5点）、「満足」（4点）、「どちらでもない」（3点）、「不満」（2点）、「全く不満」（1点）と各回答者数の積和を回答者数（無回答は除く）で除算）の11項目の合計である。

図表 III-331 『満足している』割合 QOL（生活の質）【保健医療圏・性・年代別、離島別】 1/2

		健康状態	睡眠	毎日の活動を やり遂げる力	仕事をする能力	自分自身	人間関係	性生活	友人たちとの 交わり	必要なものが 買えるだけのお金	医療サービスや福祉サ ービスの利用しやすさ	周辺の交通の便
鹿児島保健医療圏	全体(N=645)	45.0	46.8	47.6	45.3	43.4	53.8	17.0	52.4	42.3	27.9	36.9
	男性(N=282)	48.6	49.7	55.0	50.4	47.5	52.5	16.6	47.5	38.7	30.2	36.9
	女性(N=351)	43.6	45.6	43.0	42.2	41.3	56.4	18.0	57.8	46.4	26.5	37.9
	20歳代(N=45)	64.5	42.2	62.2	51.1	46.7	62.2	28.9	73.3	51.1	42.3	40.0
	30歳代(N=63)	57.1	44.4	52.4	49.2	44.4	54.0	39.6	52.4	46.0	23.8	33.3
	40歳代(N=108)	49.1	46.3	52.7	43.6	49.1	50.9	23.2	52.8	45.4	29.6	38.0
	50歳代(N=103)	35.9	38.9	36.9	40.8	36.9	46.6	20.4	48.5	41.8	23.3	35.0
	60～64歳(N=62)	46.8	48.4	51.6	46.7	51.6	59.7	8.1	50.0	41.9	16.1	41.9
	65～69歳(N=68)	33.9	45.6	55.9	60.3	38.2	51.5	7.4	50.0	42.6	27.9	39.7
	70～74歳(N=60)	50.0	51.7	43.3	51.7	50.0	61.6	11.7	50.0	36.6	28.4	41.7
75歳以上(N=127)	41.8	55.9	42.5	37.0	40.1	56.7	7.1	54.3	40.1	33.9	33.8	
南薩保健医療圏	全体(N=178)	36.6	50.0	42.7	43.2	41.6	44.9	13.4	47.8	39.9	25.3	23.0
	男性(N=80)	38.8	57.6	45.0	45.1	50.1	43.8	16.3	41.3	35.1	26.3	28.8
	女性(N=90)	36.6	46.7	42.2	43.4	36.7	47.8	11.1	53.4	43.3	24.4	16.7
	20歳代(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	30歳代(N=9)	44.4	44.4	55.5	44.4	22.2	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2
	40歳代(N=10)	50.0	60.0	40.0	30.0	30.0	30.0	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0
	50歳代(N=23)	43.4	56.5	52.2	56.5	39.1	39.1	13.0	47.8	47.8	21.7	13.0
	60～64歳(N=18)	11.1	55.5	38.9	44.5	55.6	66.7	11.2	44.5	55.6	27.8	27.8
	65～69歳(N=23)	39.1	52.1	52.1	52.1	43.4	43.5	17.4	39.1	26.0	13.0	8.7
	70～74歳(N=31)	41.9	41.9	35.5	38.7	45.1	54.9	9.7	64.6	45.1	35.5	35.5
75歳以上(N=57)	36.9	50.9	42.1	43.9	43.9	42.1	14.1	49.1	40.4	29.9	28.1	
川薩保健医療圏	全体(N=152)	48.1	45.4	48.0	48.0	43.4	53.9	10.5	51.3	36.8	26.4	25.0
	男性(N=58)	50.0	55.2	50.0	48.3	41.3	51.7	10.3	43.1	27.6	24.1	29.3
	女性(N=92)	46.8	39.2	46.8	47.8	44.5	55.4	10.9	56.5	43.5	27.2	22.9
	20歳代(N=4)	75.0	50.0	75.0	75.0	100.0	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0
	30歳代(N=8)	100.0	75.0	37.5	25.0	25.0	50.0	12.5	12.5	37.5	37.5	25.0
	40歳代(N=23)	52.2	39.1	47.8	52.2	52.1	69.6	13.0	56.5	39.1	30.4	34.7
	50歳代(N=21)	28.6	42.9	23.8	33.3	47.7	42.9	9.5	47.6	23.8	9.5	19.0
	60～64歳(N=14)	42.9	42.8	50.0	64.2	35.7	35.7	28.6	50.0	28.6	28.5	21.4
	65～69歳(N=14)	28.6	14.3	50.0	57.1	35.7	57.1	14.3	42.9	35.7	7.1	7.1
	70～74歳(N=18)	50.0	61.1	61.2	61.2	55.6	55.6	5.6	50.0	27.8	11.1	16.7
75歳以上(N=48)	52.1	50.1	54.2	43.8	37.5	56.3	2.1	60.4	50.0	37.5	33.4	
出水保健医療圏	全体(N=122)	37.7	51.6	45.0	40.2	40.1	55.7	16.4	58.2	50.0	26.2	18.0
	男性(N=50)	40.0	48.0	54.0	42.0	42.0	56.0	14.0	56.0	48.0	28.0	20.0
	女性(N=71)	36.6	54.9	39.4	39.4	39.4	56.3	18.3	60.5	52.1	25.4	16.9
	20歳代(N=3)	66.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.6	100.0	100.0	66.6	0.0
	30歳代(N=10)	20.0	20.0	40.0	30.0	30.0	60.0	20.0	60.0	10.0	10.0	0.0
	40歳代(N=17)	47.1	64.7	47.1	47.1	52.9	41.2	17.6	64.7	70.6	11.8	11.8
	50歳代(N=24)	50.0	41.6	33.3	41.7	29.2	45.8	12.5	45.9	58.3	25.0	16.7
	60～64歳(N=11)	45.5	63.6	63.6	45.5	54.6	72.7	27.3	63.6	45.5	45.5	18.2
	65～69歳(N=11)	27.3	63.6	63.6	54.6	45.5	72.7	27.3	72.7	54.6	18.2	9.1
	70～74歳(N=18)	22.2	44.5	50.0	33.3	33.3	44.5	11.1	50.0	22.2	11.1	16.7
75歳以上(N=27)	37.0	55.6	33.3	29.6	37.0	63.0	7.4	59.3	59.3	44.4	37.0	
始良・伊佐保健医療圏	全体(N=284)	43.6	45.4	52.8	47.2	43.6	50.4	14.8	49.7	42.3	28.9	24.3
	男性(N=132)	47.7	49.2	55.3	50.0	48.5	53.1	14.4	49.2	37.1	28.8	24.3
	女性(N=146)	41.1	43.1	51.4	46.6	41.1	49.3	15.8	51.4	48.0	29.5	25.4
	20歳代(N=21)	57.2	42.9	52.4	47.6	52.4	47.6	28.6	61.9	61.9	47.6	38.1
	30歳代(N=26)	46.1	46.1	53.9	42.3	42.3	46.1	23.0	57.7	42.3	34.6	26.9
	40歳代(N=33)	48.5	36.4	48.5	39.4	33.3	39.4	9.1	45.4	39.4	30.3	27.2
	50歳代(N=37)	43.2	40.5	51.3	54.1	40.5	45.9	18.9	40.5	43.2	16.2	27.0
	60～64歳(N=27)	40.7	40.7	63.0	55.5	37.0	44.4	11.1	40.7	40.7	18.5	14.8
	65～69歳(N=33)	33.4	57.6	57.6	54.6	51.5	39.4	18.2	45.4	39.4	18.2	21.2
	70～74歳(N=35)	60.0	51.4	68.6	54.3	54.3	62.9	14.3	42.8	34.3	20.0	20.0
75歳以上(N=68)	36.8	48.5	44.1	41.2	44.1	64.7	8.8	61.8	45.5	42.7	25.0	

(単位:%)

※ 『満足している』 = 「非常に満足」 + 「満足」

図表 III-332 『満足している』割合 QOL（生活の質）【保健医療圏・性・年代別、離島別】 2/2

		健康状態	睡眠	毎日の活動を やり遂げる力	仕事をする能力	自分自身	人間関係	性生活	友人たちとの 交わり	必要なものが 買えるだけのお金	医療サービスや福祉サ ービスの利用しやすさ	周辺の交通の便
曾於保健医療圏	全体(N=113)	41.6	46.9	45.1	41.6	40.8	53.9	19.5	46.9	38.9	26.6	16.0
	男性(N=45)	31.1	40.0	46.6	40.0	42.2	44.4	17.8	33.3	31.1	26.7	11.1
	女性(N=67)	49.3	50.7	44.8	43.3	40.3	61.2	20.9	56.7	44.8	26.9	19.4
	20歳代(N=5)	20.0	60.0	60.0	40.0	80.0	80.0	40.0	100.0	40.0	40.0	20.0
	30歳代(N=15)	60.0	33.3	46.7	53.3	40.0	53.3	33.4	40.0	40.0	13.3	13.3
	40歳代(N=14)	35.7	42.9	35.7	35.7	42.9	35.7	35.7	21.4	42.9	35.7	14.2
	50歳代(N=17)	23.5	23.6	41.2	35.3	29.4	35.3	11.8	35.3	29.4	5.9	0.0
	60～64歳(N=13)	46.2	53.9	61.5	69.2	30.8	38.5	23.1	46.2	30.8	15.4	15.4
	65～69歳(N=14)	57.1	42.9	64.2	50.0	57.1	57.1	7.1	57.1	50.0	21.4	21.4
	70～74歳(N=12)	33.3	75.0	41.6	41.7	33.3	75.0	33.3	66.7	41.7	50.0	33.3
75歳以上(N=23)	43.4	56.5	30.4	21.7	39.1	69.6	0.0	47.8	39.1	39.1	17.4	
肝属保健医療圏	全体(N=239)	43.1	49.8	51.9	48.1	44.4	51.5	20.1	52.7	41.9	26.4	17.6
	男性(N=109)	42.2	49.5	52.3	52.3	46.8	55.1	22.0	52.3	38.5	32.2	21.1
	女性(N=121)	47.1	53.8	54.5	47.1	45.4	51.2	19.9	56.2	47.1	22.3	15.7
	20歳代(N=16)	50.1	56.3	75.0	50.0	43.8	56.3	43.8	62.6	37.5	25.1	12.5
	30歳代(N=16)	50.0	62.5	62.5	62.5	43.8	56.3	25.0	37.6	62.5	37.5	18.8
	40歳代(N=29)	48.3	51.7	51.7	44.8	48.2	55.1	20.6	48.3	31.0	13.7	10.3
	50歳代(N=33)	54.5	42.4	45.5	36.3	36.3	39.4	24.2	42.5	48.5	24.2	18.2
	60～64歳(N=33)	42.4	54.6	51.5	51.6	54.5	48.5	12.1	60.6	27.3	21.2	6.0
	65～69歳(N=28)	35.7	50.0	50.0	46.4	46.4	50.0	17.9	39.3	35.7	17.9	17.9
	70～74歳(N=42)	50.0	57.1	57.2	59.5	42.9	61.9	21.4	66.7	54.7	26.2	28.6
75歳以上(N=33)	30.3	45.5	51.6	51.6	51.5	60.6	15.1	69.7	51.6	51.5	27.2	
熊毛保健医療圏	全体(N=118)	42.4	45.8	49.1	53.4	41.5	54.2	16.1	56.0	40.6	19.4	18.6
	男性(N=51)	43.2	52.9	53.0	58.8	47.1	54.9	19.6	60.8	33.3	17.6	21.5
	女性(N=64)	43.7	42.2	48.5	51.6	39.0	56.2	14.1	54.7	48.4	21.9	17.2
	20歳代(N=5)	80.0	40.0	40.0	80.0	40.0	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	40.0
	30歳代(N=9)	55.5	33.3	44.4	44.4	33.3	44.4	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1
	40歳代(N=14)	50.0	28.6	50.0	57.1	42.9	50.0	14.3	57.2	64.3	7.1	0.0
	50歳代(N=21)	38.1	38.1	52.4	47.6	38.1	47.7	14.3	66.7	33.3	9.5	9.5
	60～64歳(N=8)	37.5	50.0	50.0	62.5	50.0	62.5	37.5	62.5	25.0	25.0	12.5
	65～69歳(N=14)	50.0	42.9	57.2	64.3	42.8	64.3	7.1	71.4	50.0	14.3	28.6
	70～74歳(N=19)	31.6	52.6	42.1	57.9	36.8	52.6	21.1	57.9	52.7	26.3	21.1
75歳以上(N=25)	40.0	68.0	56.0	48.0	52.0	64.0	8.0	56.0	40.0	36.0	32.0	
奄美保健医療圏	全体(N=305)	41.6	53.5	53.1	50.8	46.6	53.8	20.4	54.7	47.3	30.5	25.9
	男性(N=128)	43.0	52.4	57.8	56.3	48.4	51.6	24.2	50.8	43.7	31.3	28.1
	女性(N=171)	40.3	55.0	50.3	47.9	46.2	56.7	18.1	59.1	50.3	29.8	24.6
	20歳代(N=7)	85.8	71.4	71.5	42.9	42.9	85.7	28.6	71.4	57.2	42.9	14.3
	30歳代(N=30)	53.4	53.4	53.3	43.3	43.3	50.0	33.3	46.7	53.4	23.3	23.3
	40歳代(N=41)	58.5	65.9	70.7	78.0	53.6	61.0	36.6	61.0	46.4	21.9	17.0
	50歳代(N=46)	39.1	41.3	50.0	54.3	54.3	52.2	17.4	43.5	45.6	26.1	23.9
	60～64歳(N=34)	35.3	55.9	44.1	35.3	44.1	41.1	20.6	58.8	53.0	29.4	26.5
	65～69歳(N=41)	36.6	53.7	53.7	53.6	48.8	56.1	9.8	61.0	43.9	24.4	19.5
	70～74歳(N=45)	42.2	64.5	53.4	51.1	44.4	62.2	22.2	66.7	53.3	40.0	42.2
75歳以上(N=56)	28.6	42.9	46.4	41.1	39.3	51.8	10.7	50.0	39.3	41.1	28.6	
離島別	全体(N=2184)	42.7	48.2	48.8	46.5	43.3	52.3	16.8	52.0	42.4	27.2	26.4
	三島(N=23)	43.5	39.1	47.8	39.1	52.1	56.5	17.4	52.1	43.5	8.7	13.0
	十島(N=25)	44.0	48.0	68.0	40.0	44.0	52.0	12.0	56.0	36.0	24.0	12.0
	甌島(N=23)	47.8	47.8	65.2	52.2	65.2	65.2	13.0	56.5	30.4	13.0	8.7
	種子島(N=93)	43.1	47.4	49.4	52.7	41.9	51.6	15.1	50.5	37.6	20.5	22.6
	屋久島(N=25)	40.0	40.0	48.0	56.0	40.0	64.0	20.0	76.0	52.0	16.0	4.0
	奄美大島(N=143)	42.7	53.2	56.7	53.9	46.9	56.0	18.2	56.7	46.9	35.7	25.9
	喜界島(N=24)	50.0	62.5	62.5	58.4	62.5	79.2	37.5	66.7	62.5	25.0	16.7
	徳之島(N=64)	40.6	59.4	45.4	40.6	43.8	42.2	25.0	51.6	40.6	25.0	21.9
	沖永良部島(N=51)	43.1	49.0	58.8	52.9	49.0	54.9	17.7	54.9	51.0	31.4	31.4
与論島(N=23)	26.1	39.1	30.4	47.8	30.4	43.4	8.7	39.1	43.5	17.4	34.7	

(単位:%)

※ 『満足している』 = 「非常に満足」 + 「満足」

20. うつの可能性

問 24

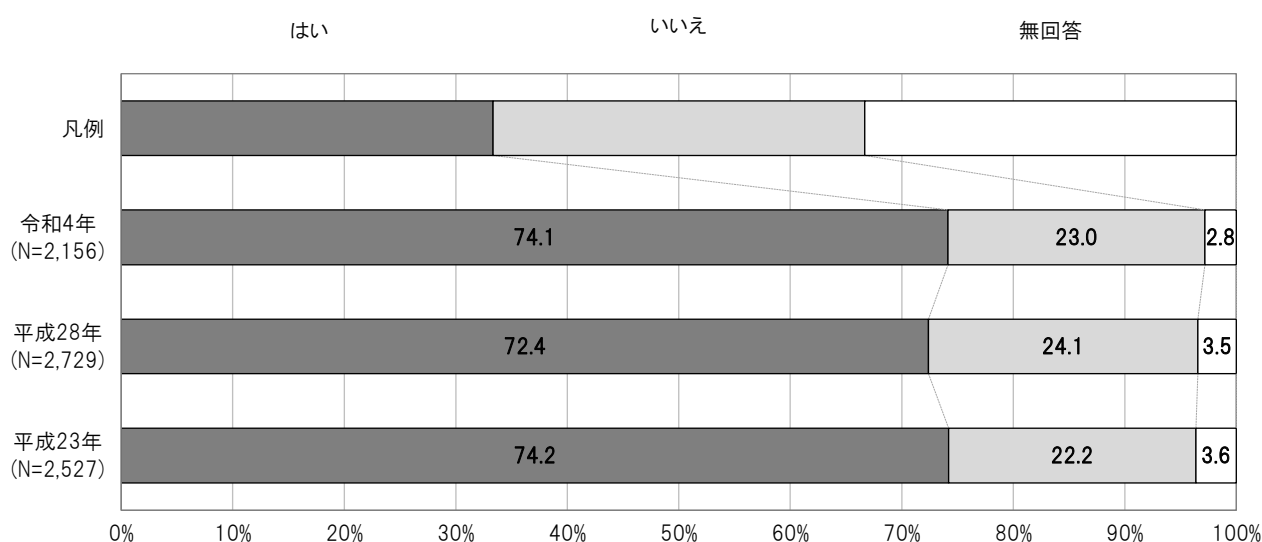
最近のあなたの様子について伺います。以下の各質問を読んで、それぞれ「はい」「いいえ」のうち、あてはまるほうに○印を付けてください。(○はそれぞれ1つ)

ア. 全体の分析

① 毎日の生活が充実していますか

「毎日の生活が充実していますか」の問いに、「はい」と回答したのは74.1%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-333 うつの可能性（毎日の生活が充実していますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「肝属保健医療圏」と「熊毛保健医療圏」では「はい」が7割を下回っている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

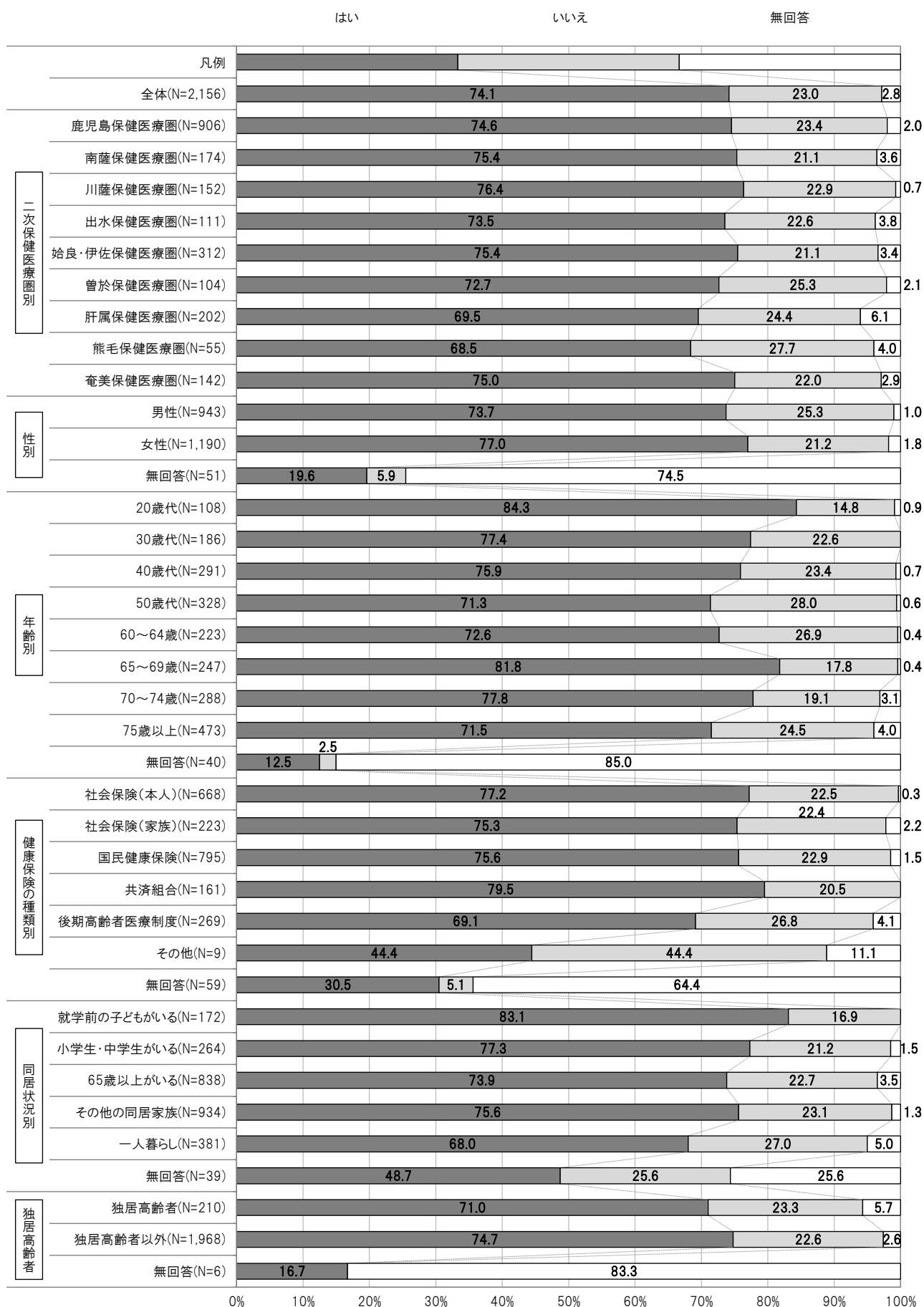
年齢別にみると、「20歳代」「65～69歳」で「はい」が8割を上回っている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」では「はい」が7割を下回っており、他の健康保険より低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「はい」が7割を下回っており、他の同居状況より低い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

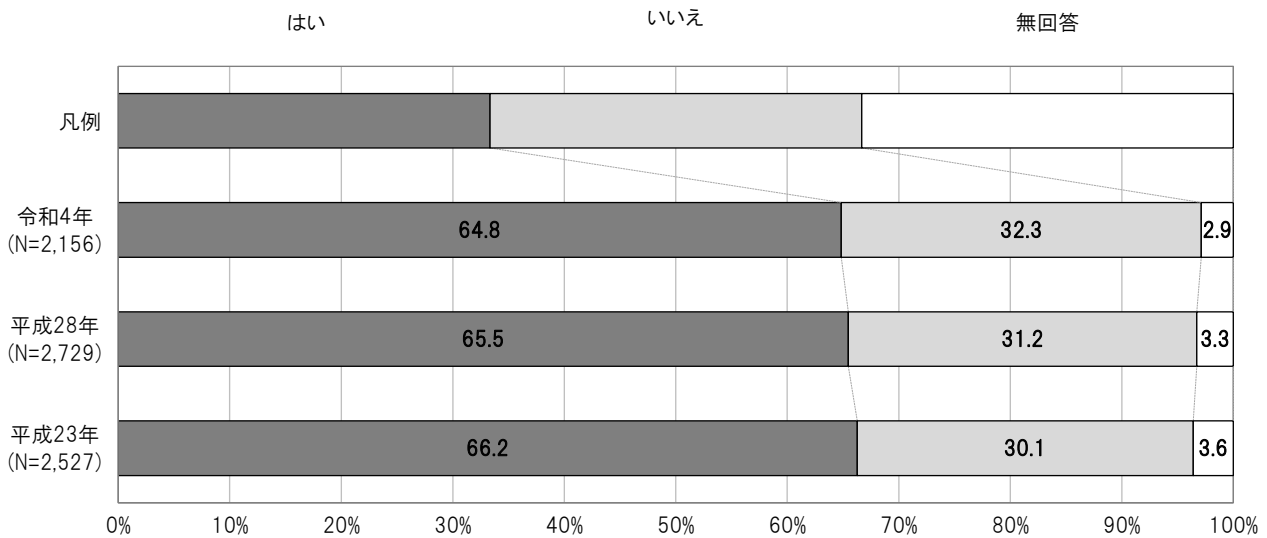
図表 III-334 うつの可能性（毎日の生活が充実していますか）【属性別】



② これまで楽しんでやれたことが、今も楽しんでできていますか

「これまで楽しんでやれたことが、今も楽しんでできていますか」の問いに、「はい」と回答したのは64.8%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-335 うつの可能性（これまで楽しんでやれたことが、今も楽しんでできていますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」と「曽於保健医療圏」を除き、他のすべての保健医療圏で「はい」が6割を超えている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

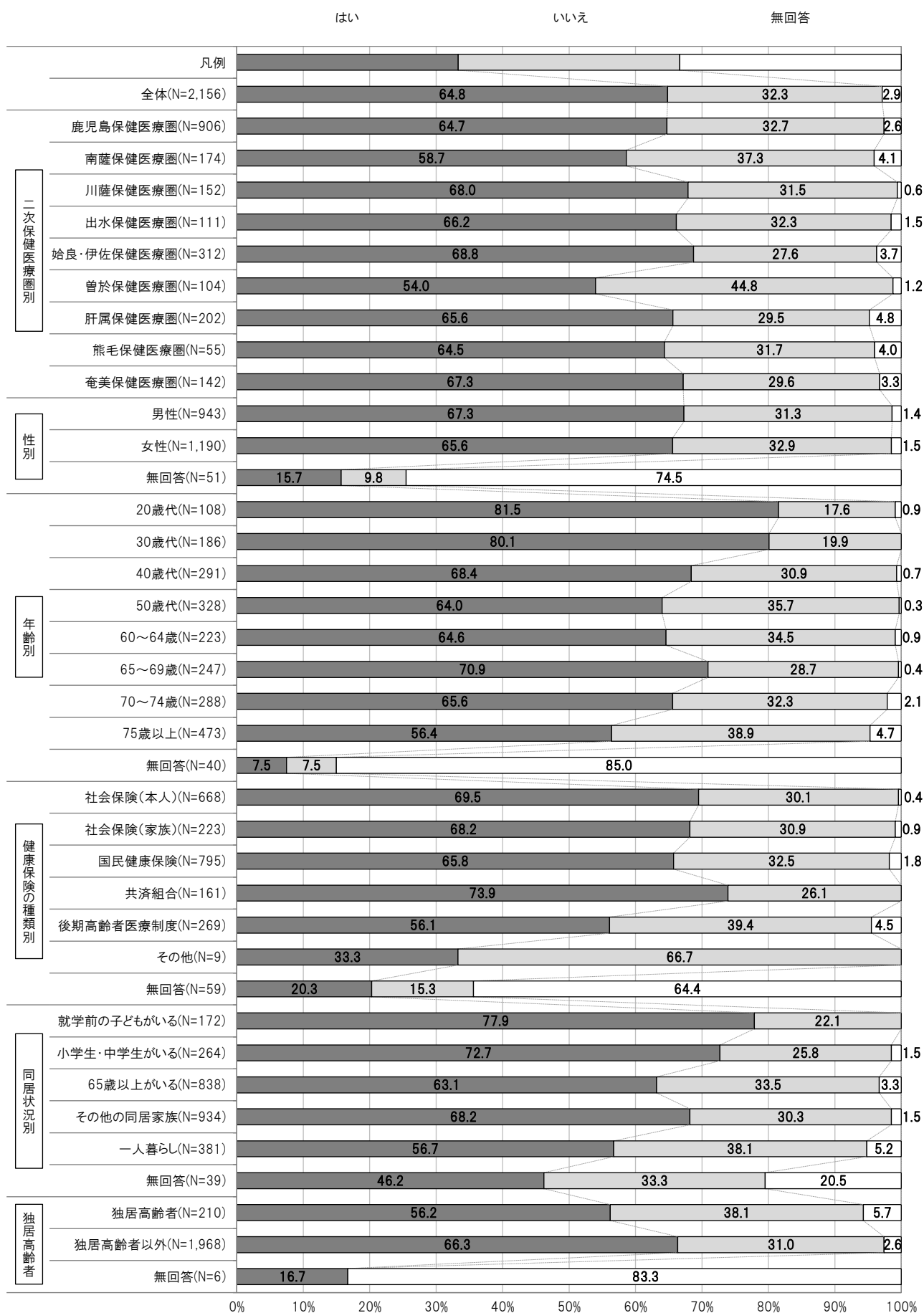
年齢別にみると、20～50歳代にかけて高齢になるほど「はい」が低くなっており、「20歳代」では81.5%だが、「50歳代」では64.0%となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」が7割を超えている。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「はい」が7割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(56.2%)で「独居高齢者以外」より低い傾向がみられた。

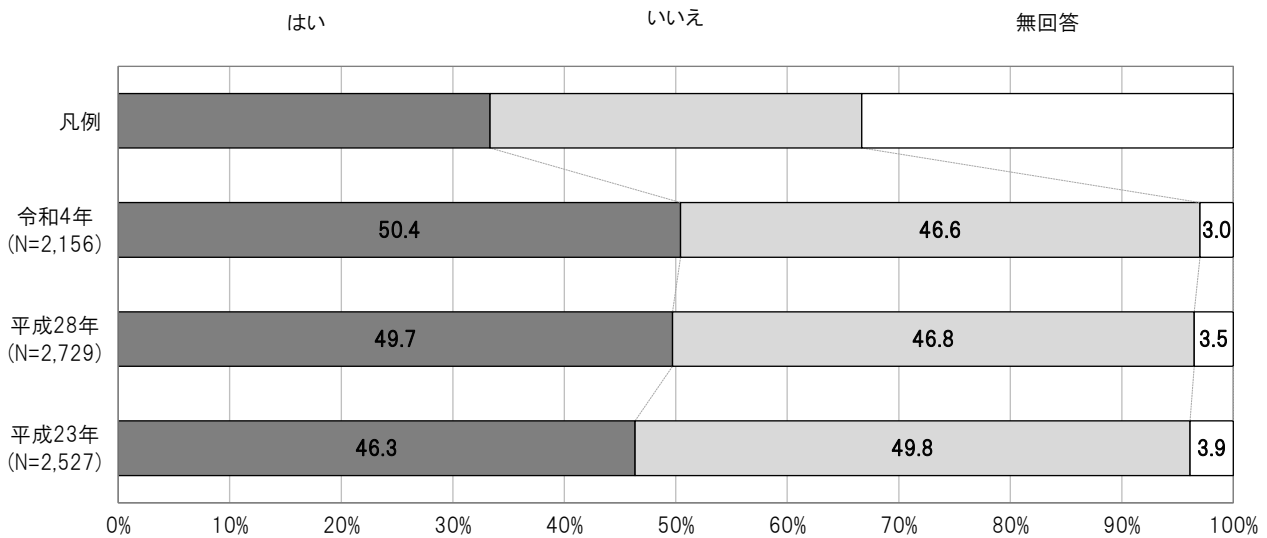
図表 III-336 うつの可能性（これまで楽しんでやれたことが、今も楽しんでできていますか）【属性別】



③ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか

「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか」の問いに、「はい」と回答したのは50.4%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-337 うつの可能性（以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」、「奄美保健医療圏」では「はい」が5割を上回っている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

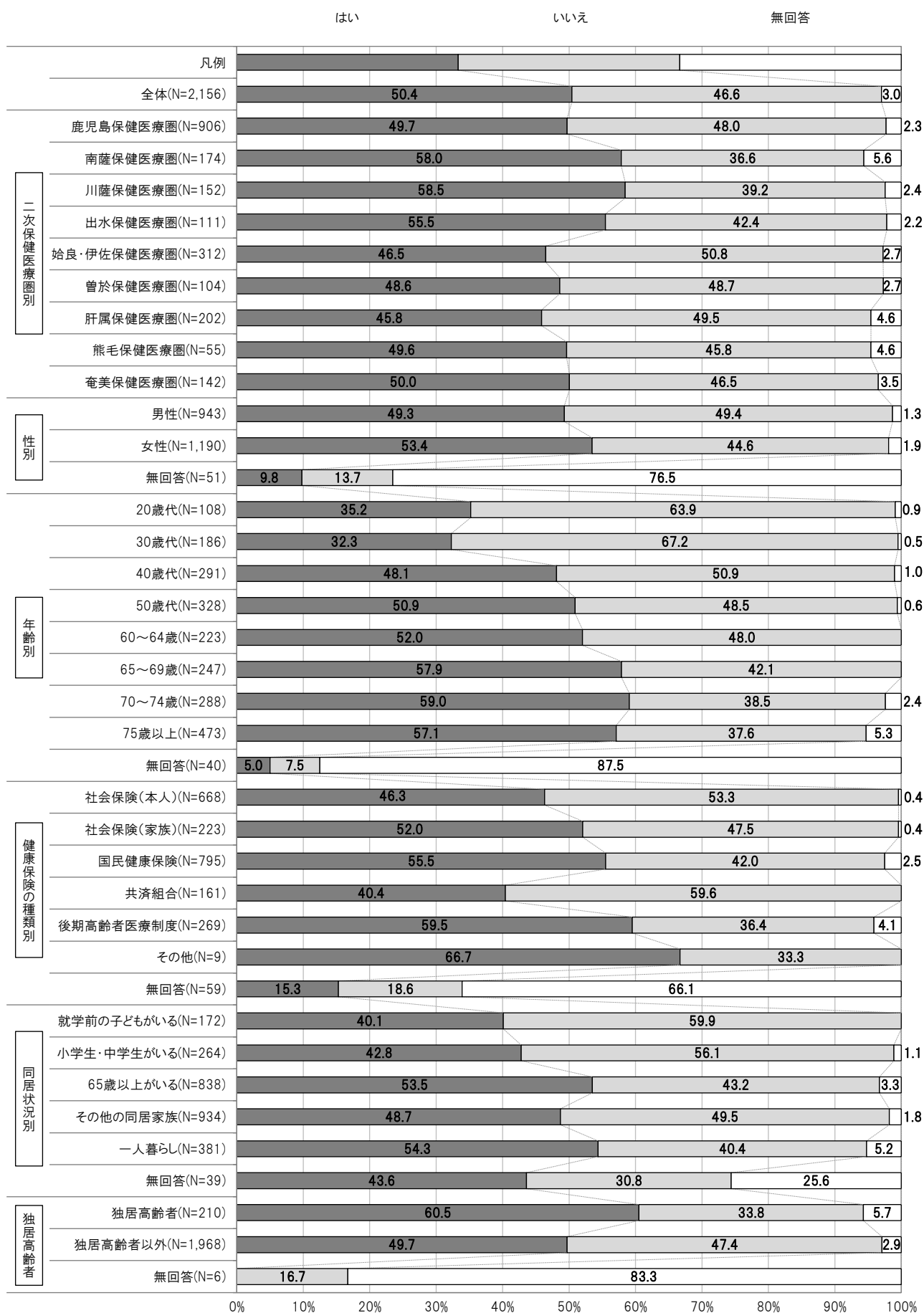
年齢別にみると、50～74歳では「はい」が5割を超え、高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」が他の同居状況より低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では「はい」が他の同居状況より低い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(60.5%)で「独居高齢者以外」より高い傾向がみられた。

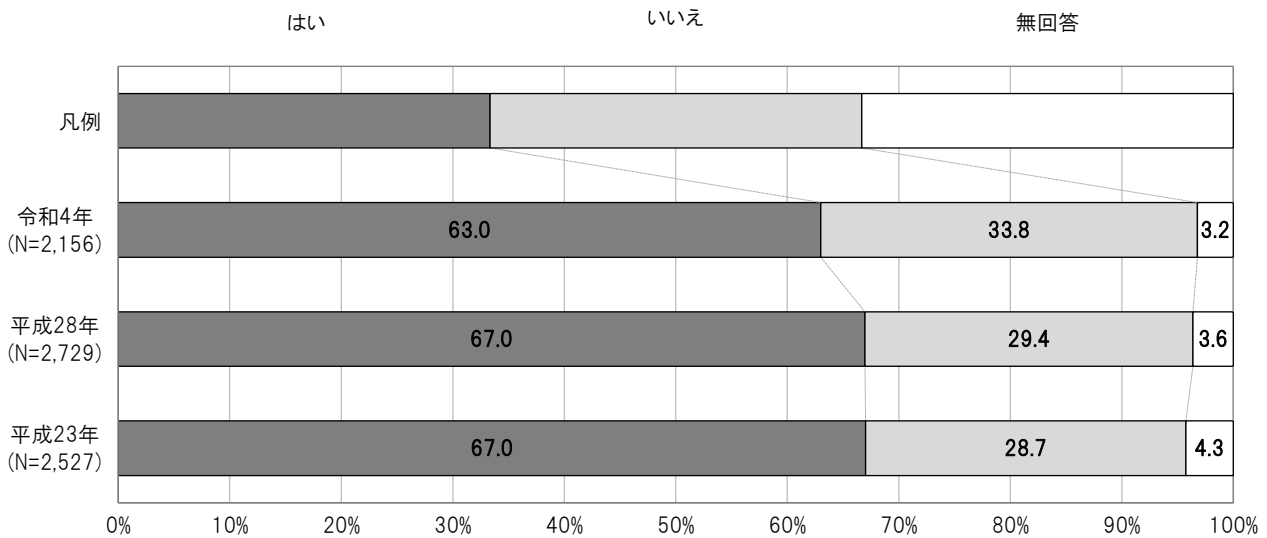
図表 III-338 うつの可能性（以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか）【属性別】



④ 自分は役に立つ人間だと考えることができますか

「自分は役に立つ人間だと考えることができますか」の問いに、「はい」と回答したのは63.0%で、平成28年調査より減少傾向となっている。

図表 III-339 うつの可能性（自分は役に立つ人間だと考えることができますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」と「川薩保健医療圏」、「出水保健医療圏」を除き、他のすべての保健医療圏で「はい」が6割を超えている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

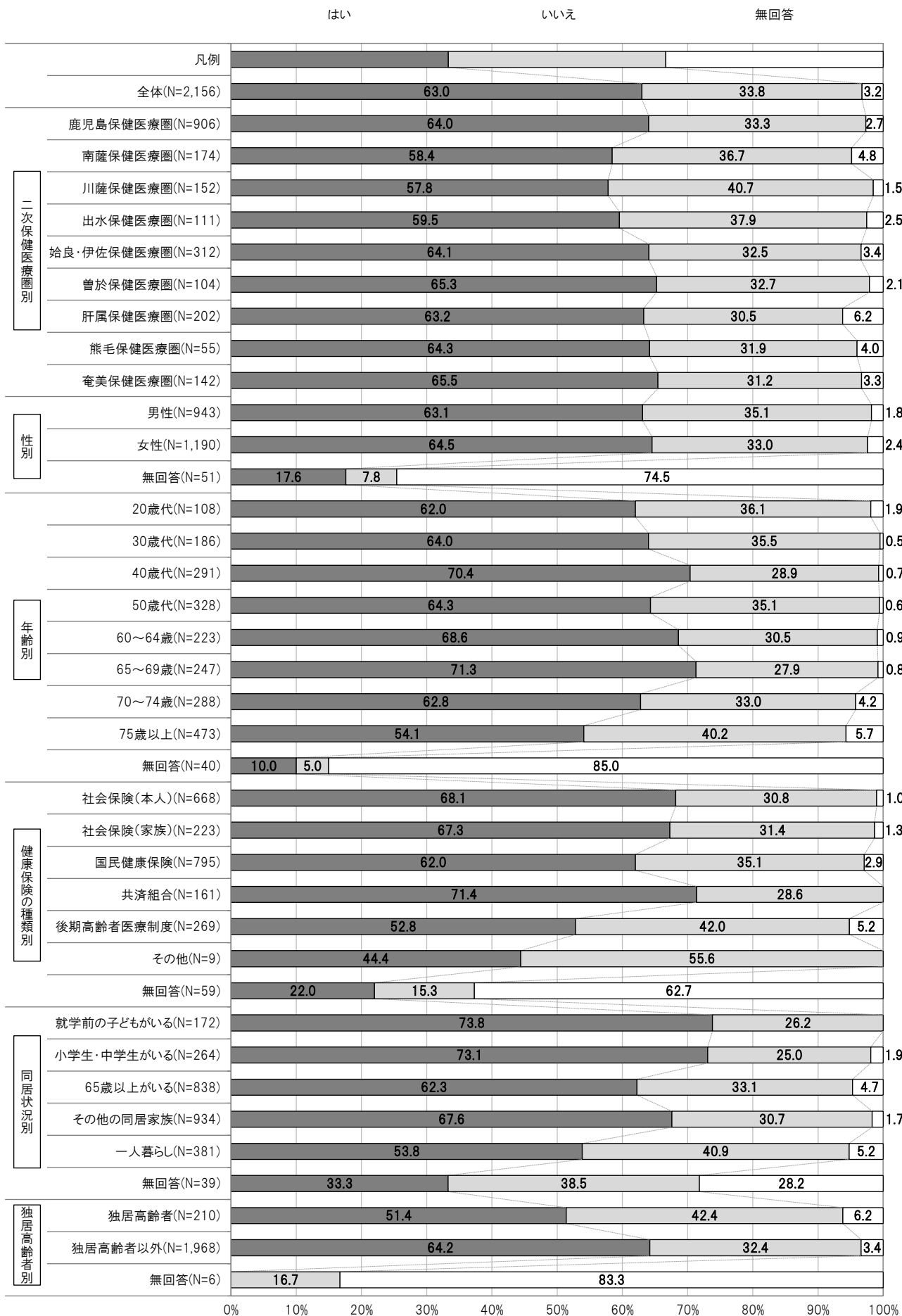
年齢別にみると、「はい」が「40歳代」「65～69歳」では7割を超えており、75歳以上では約5割と他の年代より低い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」が7割を超えている。

同居状況別にみると、「はい」が「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では7割を超えているが、「一人暮らし」(53.8%)は他の同居状況より低い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(51.4%)で「独居高齢者以外」より12.8ポイント低くなっている。

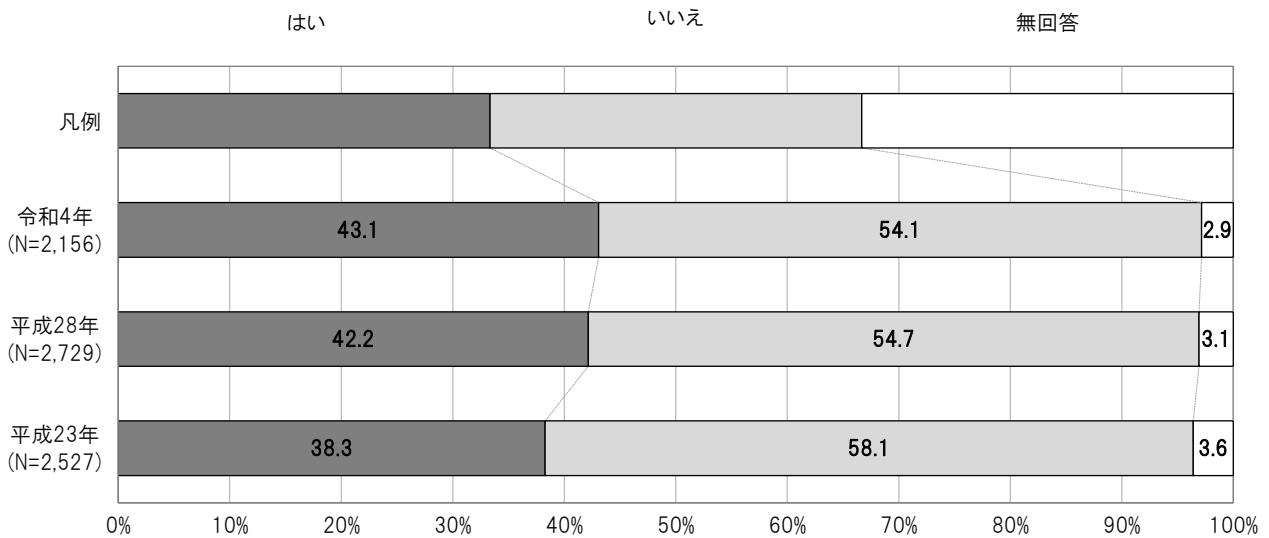
図表 III-340 うつの可能性（自分は役に立つ人間だと考えることができますか）【属性別】



⑤ わけもなく疲れたような感じがしますか

「わけもなく疲れたような感じがしますか」の問いに、「はい」と回答したのは43.1%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-341 うつの可能性（わけもなく疲れたような感じがしますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」では「はい」が4割を下回っている。

性別にみると、「男性」では「はい」(39.9%)で「女性」より低い傾向がみられた。

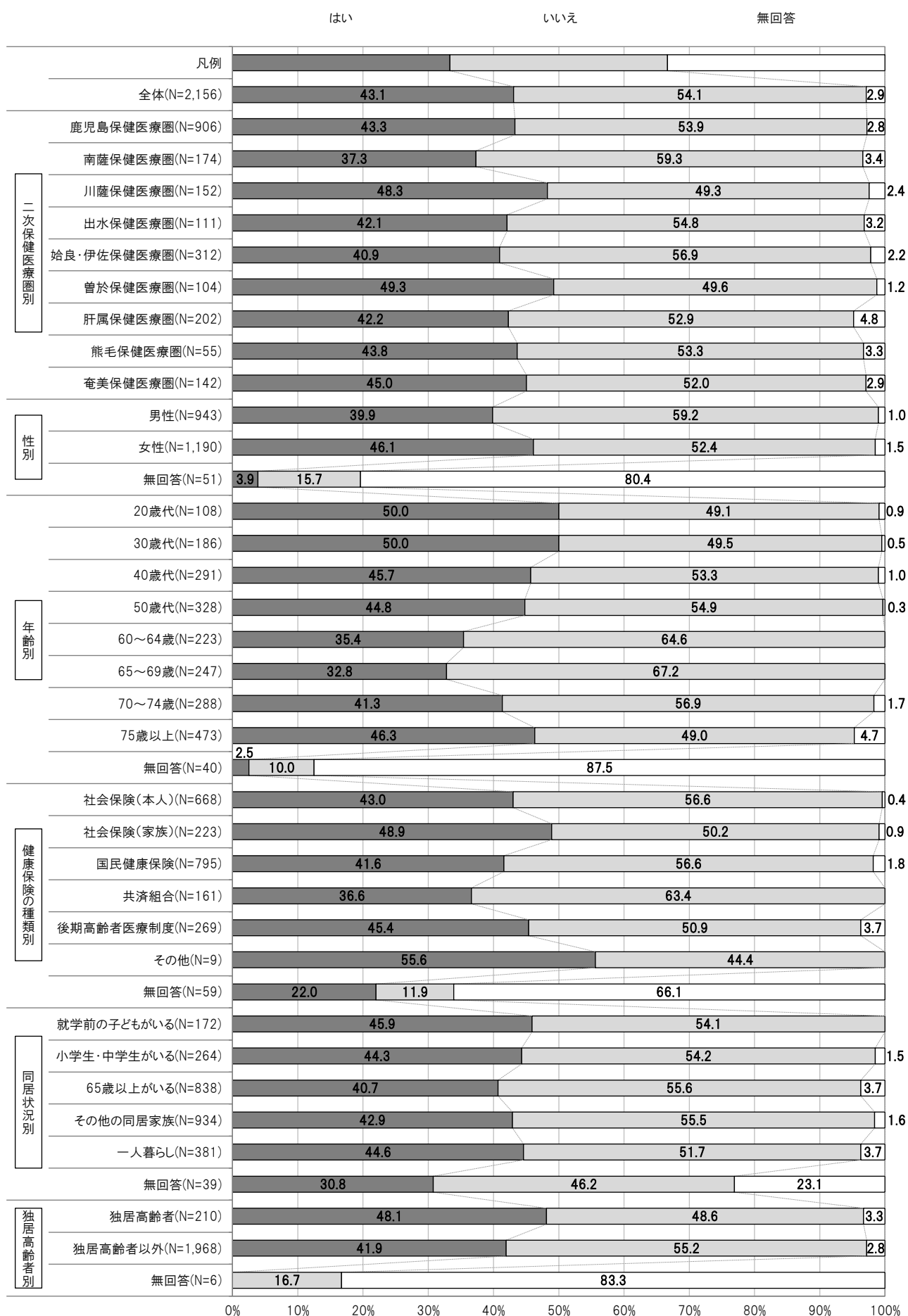
年齢別にみると、「20～69歳」では高齢になるほど「はい」が低くなっており、「20歳代」では50.0%だが「65～69歳」では32.8%となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」が他の同居状況より低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者以外」では「はい」(41.9%)で「独居高齢者」より低い傾向がみられた。

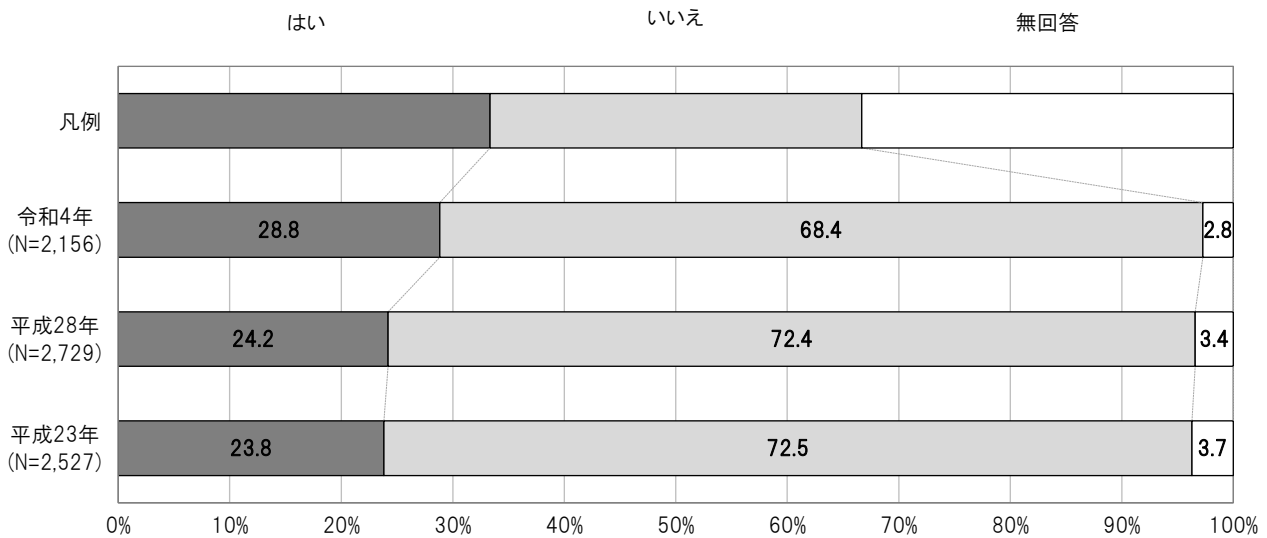
図表 III-342 うつの可能性（わけもなく疲れたような感じがしますか）【属性別】



⑥ 死について何度も考えることがありますか

「死について何度も考えることがありますか」の問いに、「はい」と回答したのは28.8%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-343 うつの可能性（死について何度も考えることがありますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「川薩保健医療圏」(36.5%)では「はい」が他の保健医療圏より高い傾向がみられた。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

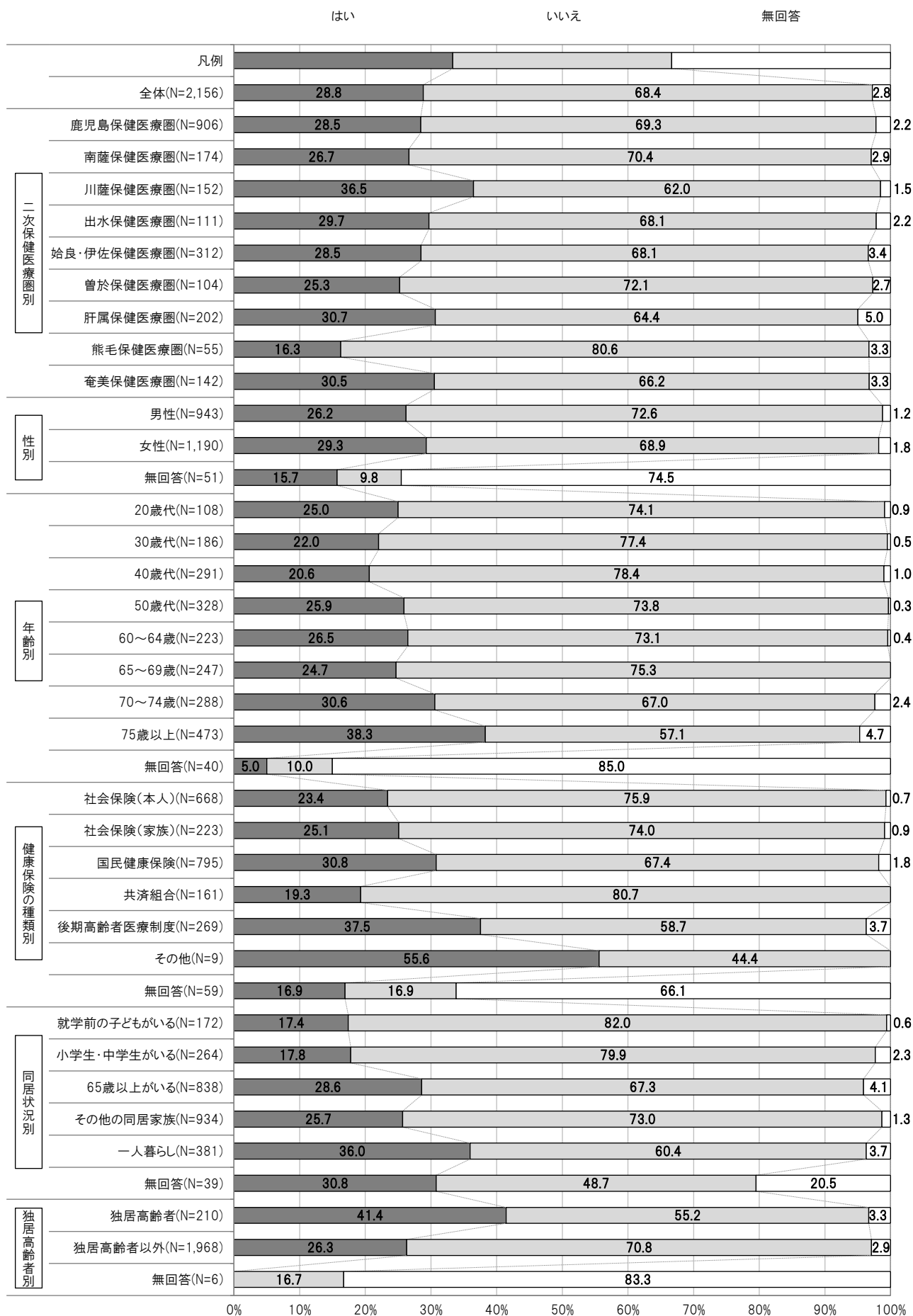
年齢別にみると、40歳以上では高齢になるほど「はい」が高くなっている。

健康保険の種類別にみると、「後期高齢者医療制度」(37.5%)では「はい」が他の健康保険より高い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「はい」は「就学前の子どもがいる」と「小学生・中学生がいる」では2割を下回っているが、「一人暮らし」では3割を超えている。

独居高齢者別にみると、「独居高齢者」では「はい」(41.4%)で「独居高齢者以外」より15.1ポイント高くなっている。

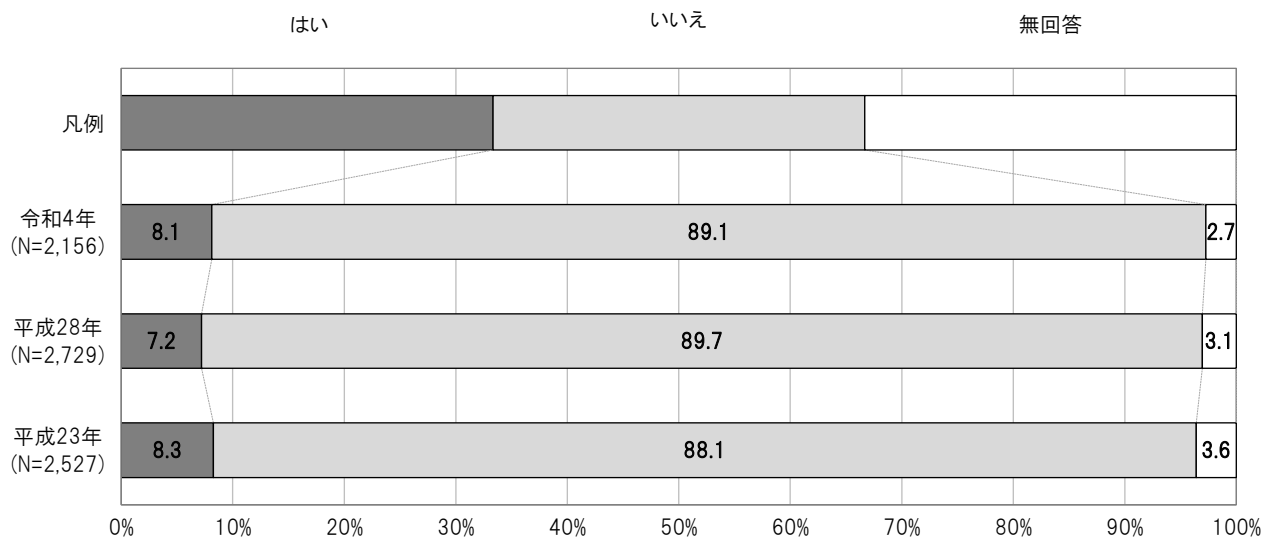
図表 III-344 うつの可能性（死について何度も考えることがありますか）【属性別】



⑦ 気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか

「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか」の問いに、「はい」と回答したのは8.1%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-345 うつの可能性（気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「熊毛保健医療圏」では「はい」(5.3%)が他の保健医療圏より低い傾向がみられた。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

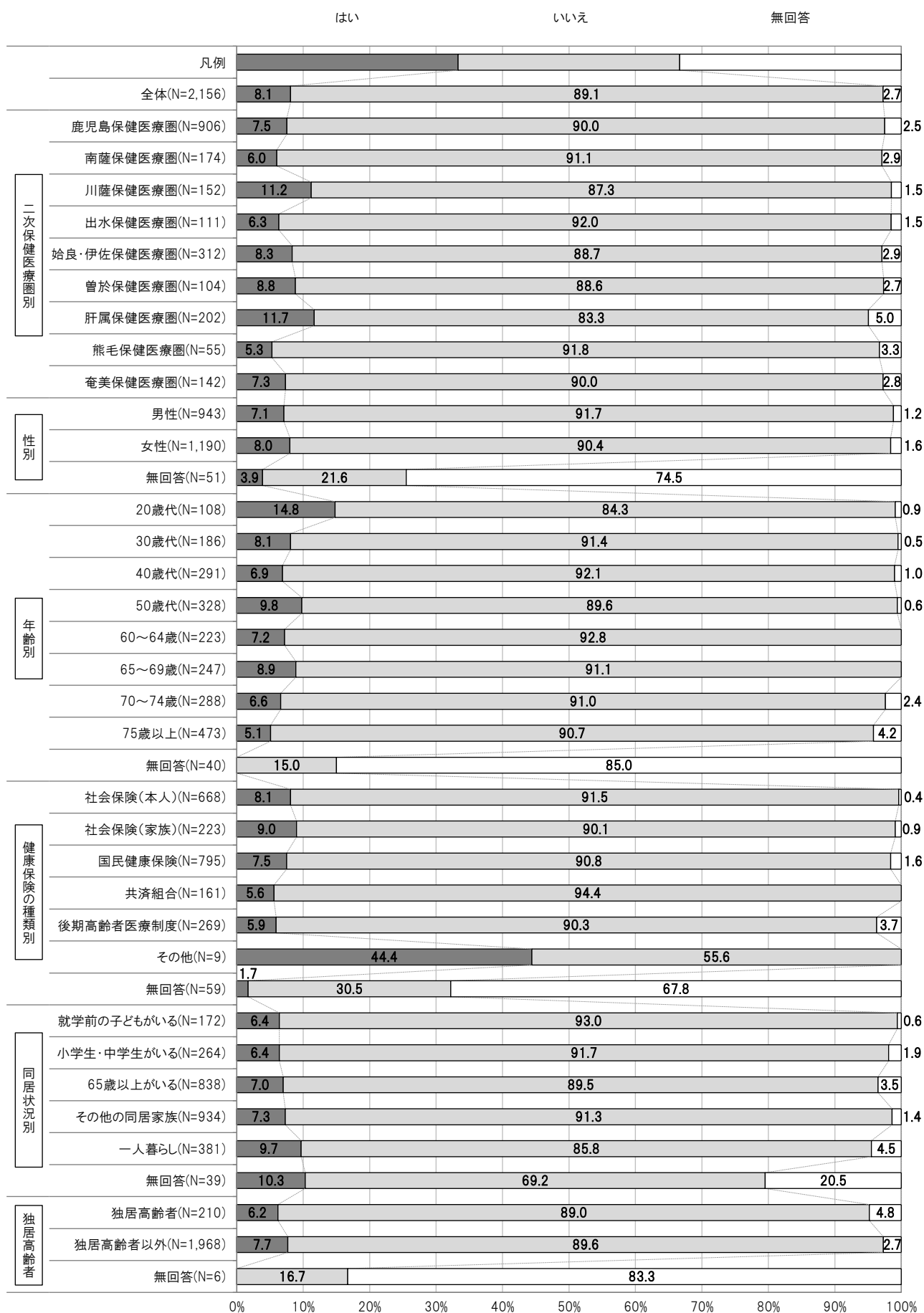
年齢別にみると、「はい」は「20歳代」が14.8%で他の年代より高い傾向がみられた。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」(5.6%)が他の健康保険より低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

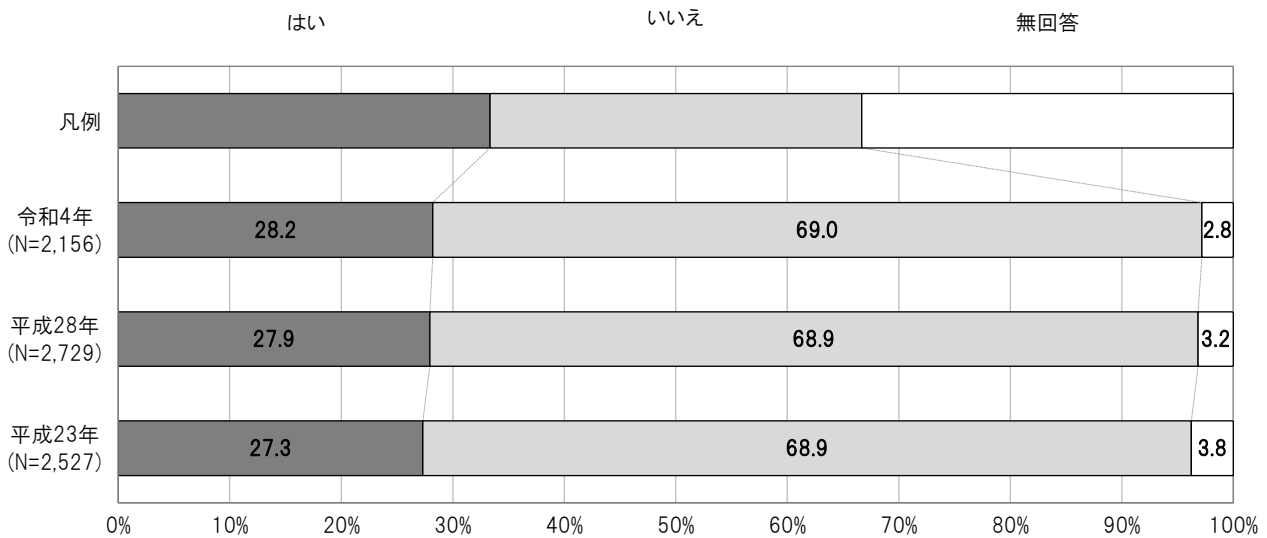
図表 III-346 うつの可能性（気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか）【属性別】



⑧ 最近ひどく困ったことや、つらいと思ったことがありますか

「最近ひどく困ったことや、つらいと思ったことがありますか」の問いに、「はい」と回答したのは28.2%で、平成28年調査よりほぼ横ばいとなっている。

図表 III-347 うつの可能性（最近ひどく困ったことや、つらいと思ったことがありますか）【全体、調査年別】



二次保健医療圏別にみると、「南薩保健医療圏」、「川薩保健医療圏」、「熊毛保健医療圏」、「奄美保険医療圏」では「はい」が3割を超えている。

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

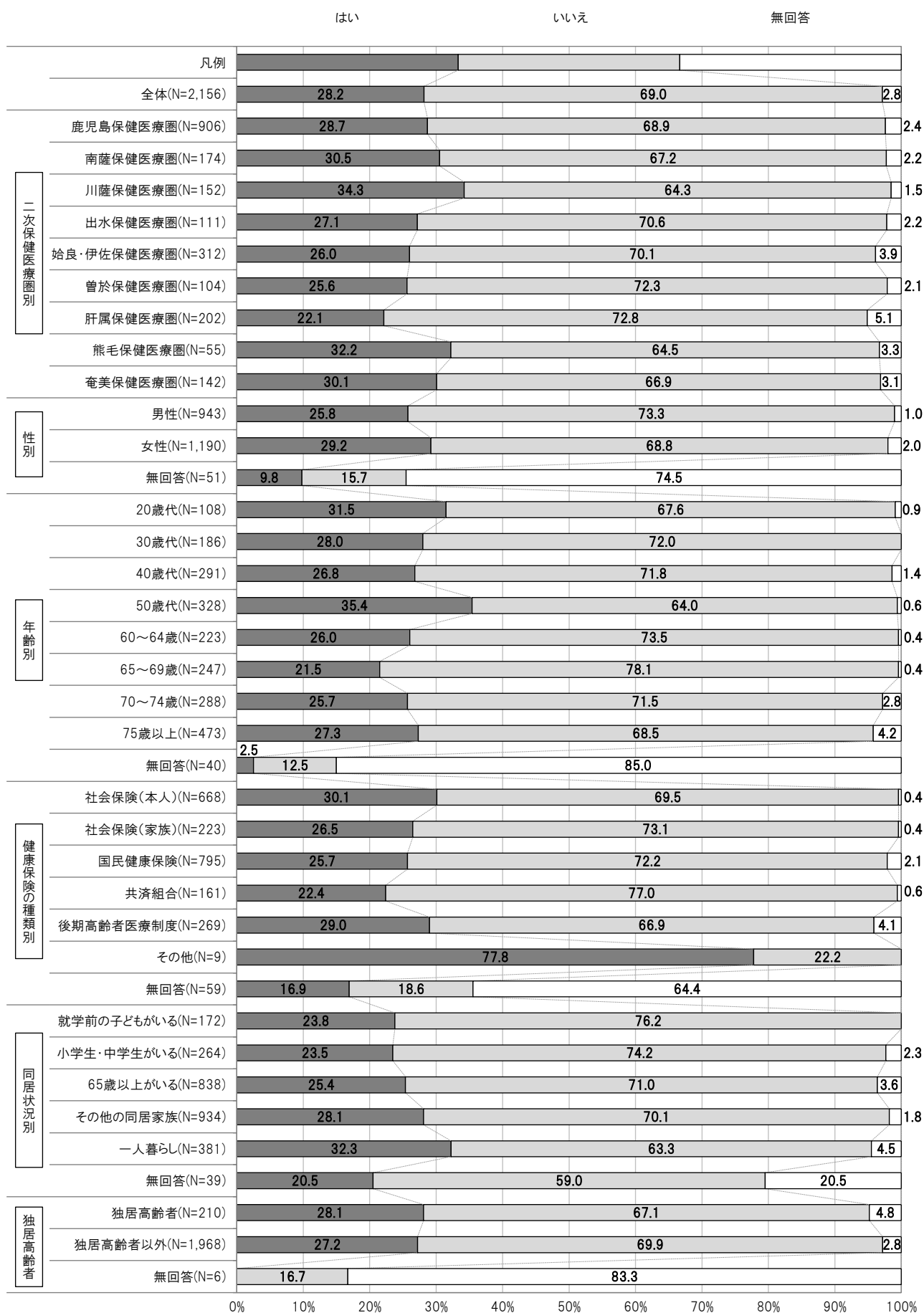
年齢別にみると、「20歳代」と「50歳代」では「はい」が3割以上となっている。

健康保険の種類別にみると、「共済組合」では「はい」(22.4%)が他の健康保険より低い傾向がみられた。

同居状況別にみると、「一人暮らし」では「はい」が3割を超えている。一方、「就学前の子どもがいる」「小学生・中学生がいる」では、他の同居状況より低い傾向がみられた。

独居高齢者別にみると、回答傾向に大きな差はみられなかった。

図表 III-348 うつの可能性（最近ひどく困ったことや、つらいと思ったことがありますか）【属性別】



イ. 二次保健医療圏及び離島別の分析

鹿児島保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 484. 図表 III-349～図表 III-350)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 57.8% (加重集計前) となっている。

性別にみると、「女性」は「わけもなく疲れたような感じがする」(77.2%) が「男性」より高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「わけもなく疲れたような感じがする」(55.6%)、「死について何度も考えることがある」(31.1%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(15.6%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(40.0%) が他の年代より高くなっている。

50 歳代では「毎日の生活が充実していない」(35.0%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(43.7%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(40.8%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(50.5%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(36.9%) が他の年代より高くなっている。

70 歳以上では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」、「死について何度も考えることがある」が他の年代より高くなっている。

南薩保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 486・図表 III-351～図表 III-352)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 60.7% (加重集計前) となっている。

性別にみると、女性は「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(44.4%)、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(64.4%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(42.2%)、「死について何度も考えることがある」(30.0%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(34.4%) が男性より高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(100.0%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(42.2%) が他の年代より高くなっている。

40 歳代では「毎日の生活が充実していない」(40.0%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(80.0%)、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(80.0%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(50.0%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(60.0%)、「死について何度も考えることがある」(30.0%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(60.0%) が他の年代より高くなっている。

50 歳代では「死について何度も考えることがある」(30.4%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(17.4%) が他の年代より高くなっている。

65 歳以上では「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」、「死について何度も考えることがある」が他の年代より高くなっている。

川薩保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 488・図表 III-353～図表 III-354)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 64.5% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「毎日の生活が充実していない」(24.1%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(41.4%)、女性は「これまで楽しんでやれていたことが、今も楽しんでできていない」(32.6%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(56.5%)、「死について何度も考えることがある」(37.0%)が他の性別より高くなっている。

年齢別にみると、20歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(50.0%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(25.0%)が他の年代より高くなっている。

30歳代では「毎日の生活が充実していない」(37.5%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(62.5%)、「死について何度も考えることがある」(50.0%)が他の年代より高くなっている。

60歳代では「毎日の生活が充実していない」、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」が他の年代より高くなっている。

出水保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 490・図表 III-355～図表 III-356)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 59.0% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「毎日の生活が充実していない」(32.0%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(38.0%)、女性は「死について何度も考えることがある」(32.4%)が他の性別より高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「わけもなく疲れたような感じがする」(60.0%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(20.0%)が他の年代より高くなっている。

60～64歳では「毎日の生活が充実していない」(45.5%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(45.5%)が他の年代より高くなっている。

65～69歳では「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(72.7%)、「自分は役に立つ人間だと考えることができない」(63.6%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」が他の年代より高くなっている。

75歳以上では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(44.4%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(55.6%)、「死について何度も考えることがある」(44.4%)が他の年代より高くなっている。

始良・伊佐保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 492・図表 III-357～)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 58.5% (加重集計前) となっている。

性別にみると、女性は「自分は役に立つ人間だと考えることができない」(36.3%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(46.6%)、「死について何度も考えることがある」(34.2%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(34.2%)が男性より高くなっている。

年齢別にみると、30歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることができない」(46.2%)、40歳代では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(39.4%)、65～69歳では「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(57.6%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(15.2%)、75歳以上では「自分は役に立つ人間だと考えることができない」

(39.7%) が他の年代より高くなっている。

曾於保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 494・図表 III-359～図表 III-360)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 60.2% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「毎日の生活が充実していない」(42.2%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(53.3%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(42.2%)、「死について何度も考えることがある」(35.6%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(15.6%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(33.3%)、女性は「わけもなく疲れたような感じがする」(53.7%) が他の性別より高くなっている。

年齢別にみると、50 歳代では「毎日の生活が充実していない」(41.2%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(47.1%) が他の年代より高くなっている。

60 歳以上では「死について何度も考えることがある」、75 歳以上では「毎日の生活が充実していない」(43.5%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(65.2%) が他の年代より高くなっている。

肝属保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 496・図表 III-361～図表 III-362)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 54.4% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(36.7%)、女性は「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」(53.7%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(48.8%)、「死について何度も考えることがある」(32.2%) が他の性別より高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(25.0%)、40 歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(41.4%)、50 歳代では「毎日の生活が充実していない」(33.3%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(39.4%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(36.4%)、65～69 歳では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(39.3%)、75 歳以上では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(36.4%)、「死について何度も考えることがある」(42.4%) が他の年代より高くなっている。

熊毛保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 498・図表 III-363～図表 III-364)

うつの可能性のある人の割合は、全体では 55.9% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「死について何度も考えることがある」(21.6%)、女性は「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」(53.1%) が他の性別より高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「わけもなく疲れたような感じがする」(60.0%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(20.0%)、「最近ひどく困ったことや、つらいことがある」(60.0%)、30 歳代では「わけもなく疲れたような感じがする」(77.8%)、50 歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(47.6%)、60 歳代では「以前は楽にできていたことが、今では

おっくうに感じる」(62.5～64.3%)、75歳以上では「死について何度も考えることがある」(36.0%)が他の年代より高くなっている。

奄美保健医療圏 (P. 504・図表 III-369、P. 500・図表 III-365～図表 III-366)

うつの可能性がある人の割合は、全体では56.7% (加重集計前) となっている。

性別にみると、男性は「わけもなく疲れたような感じがする」(46.9%)が女性より高くなっている。

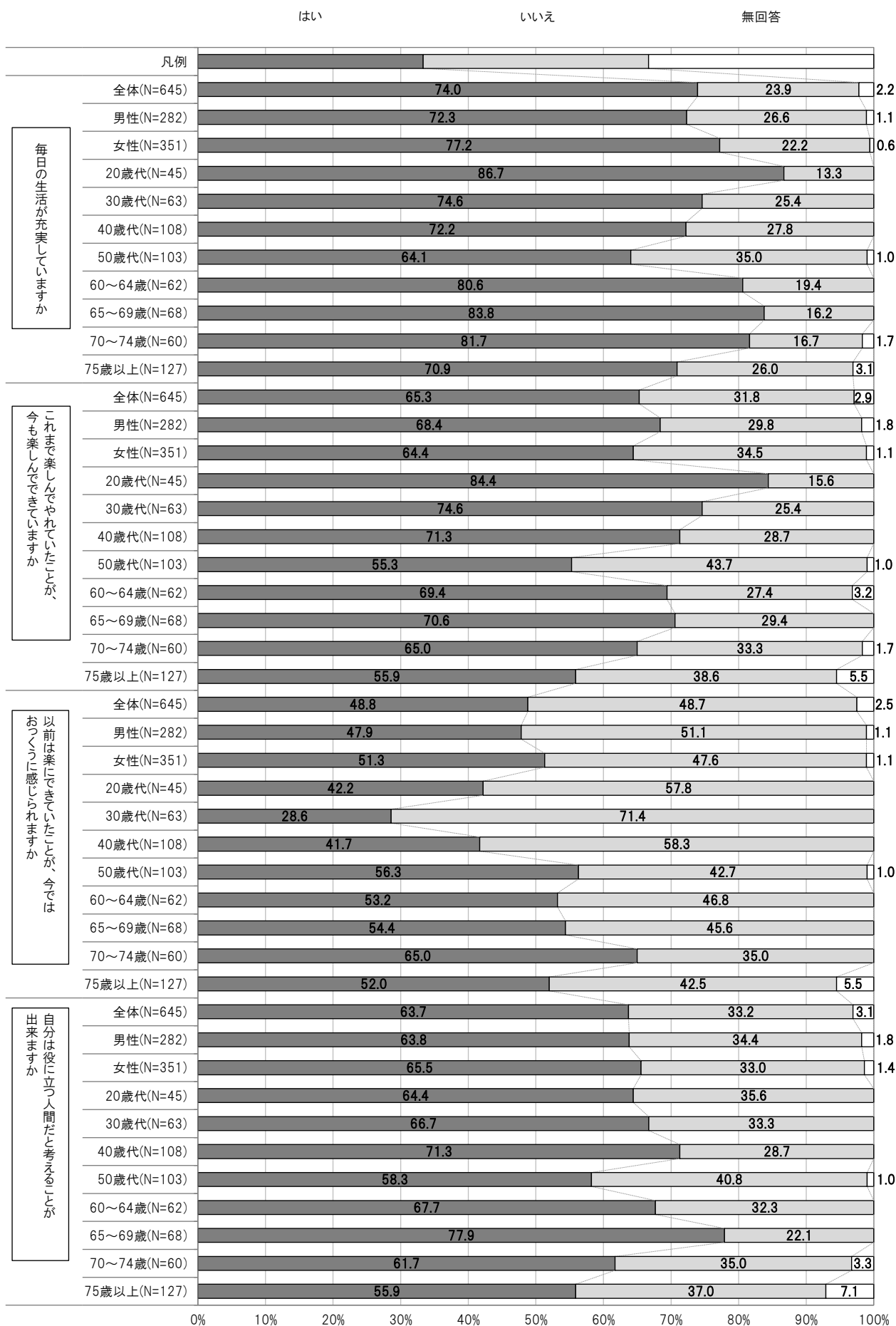
年齢別にみると、30歳代では「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(36.7%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(56.7%)、50歳代では「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(60.9%)、「気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある」(15.2%)が他の年代より高くなっている。

75歳以上では「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(42.9%)、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる」(67.9%)、「自分は役に立つ人間だと考えることが出来ない」(39.3%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(53.6%)、「死について何度も考えることがある」(41.1%)が他の年代より高くなっている。

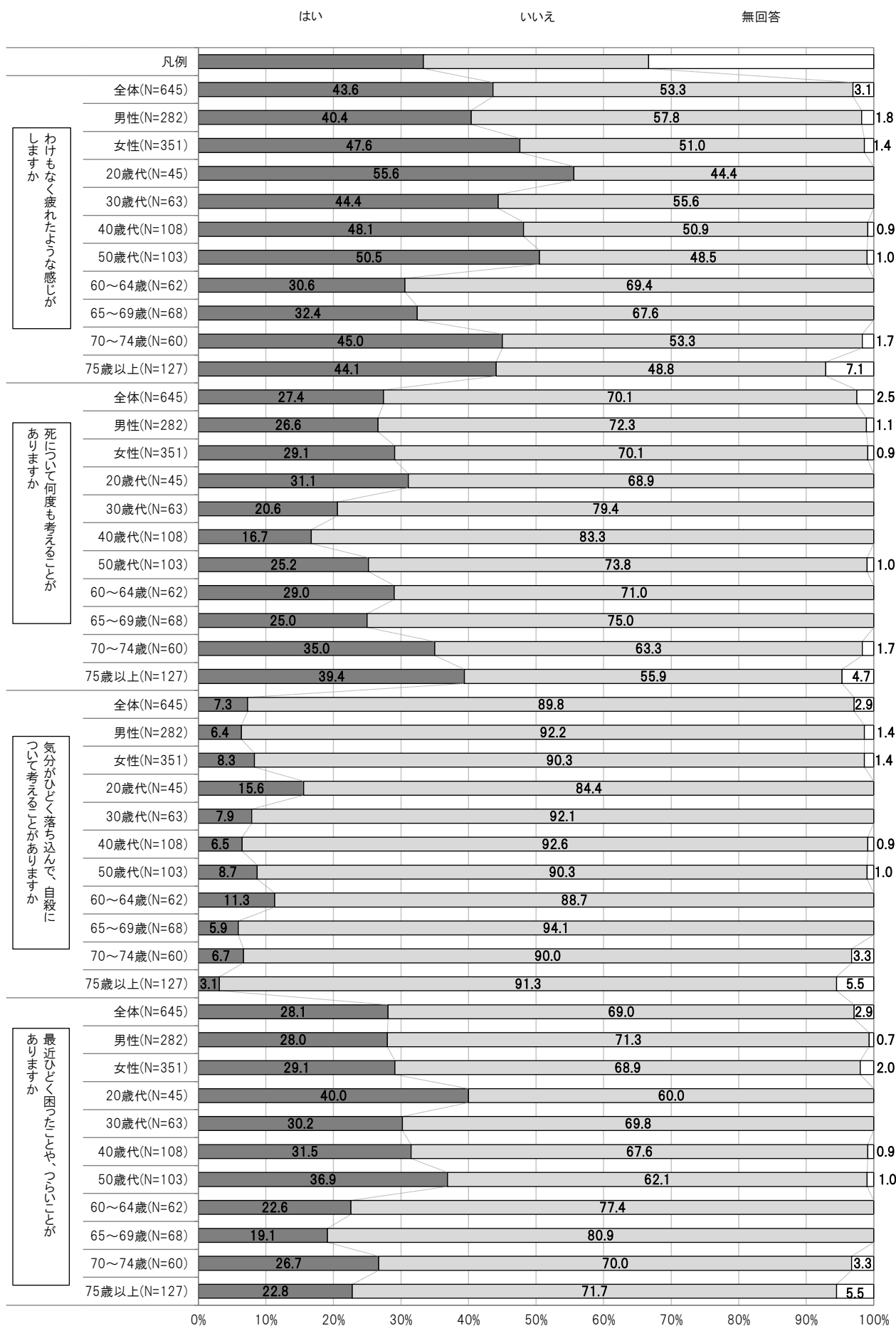
離島別の分析 (P. 504・図表 III-369、P. 502・図表 III-367～図表 III-368)

離島別にみると、うつの可能性がある人の割合は、「三島」と「与論島」を除き概ね5割台となっているが、「与論島」は8割近くとなっている。「与論島」を項目別にみると、「以前は楽しくできていたことが、今ではおっくうに感じられる」(69.6%)、「これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しんでできていない」(43.5%)、「死について何度も考えることがある」(43.5%)となっている。

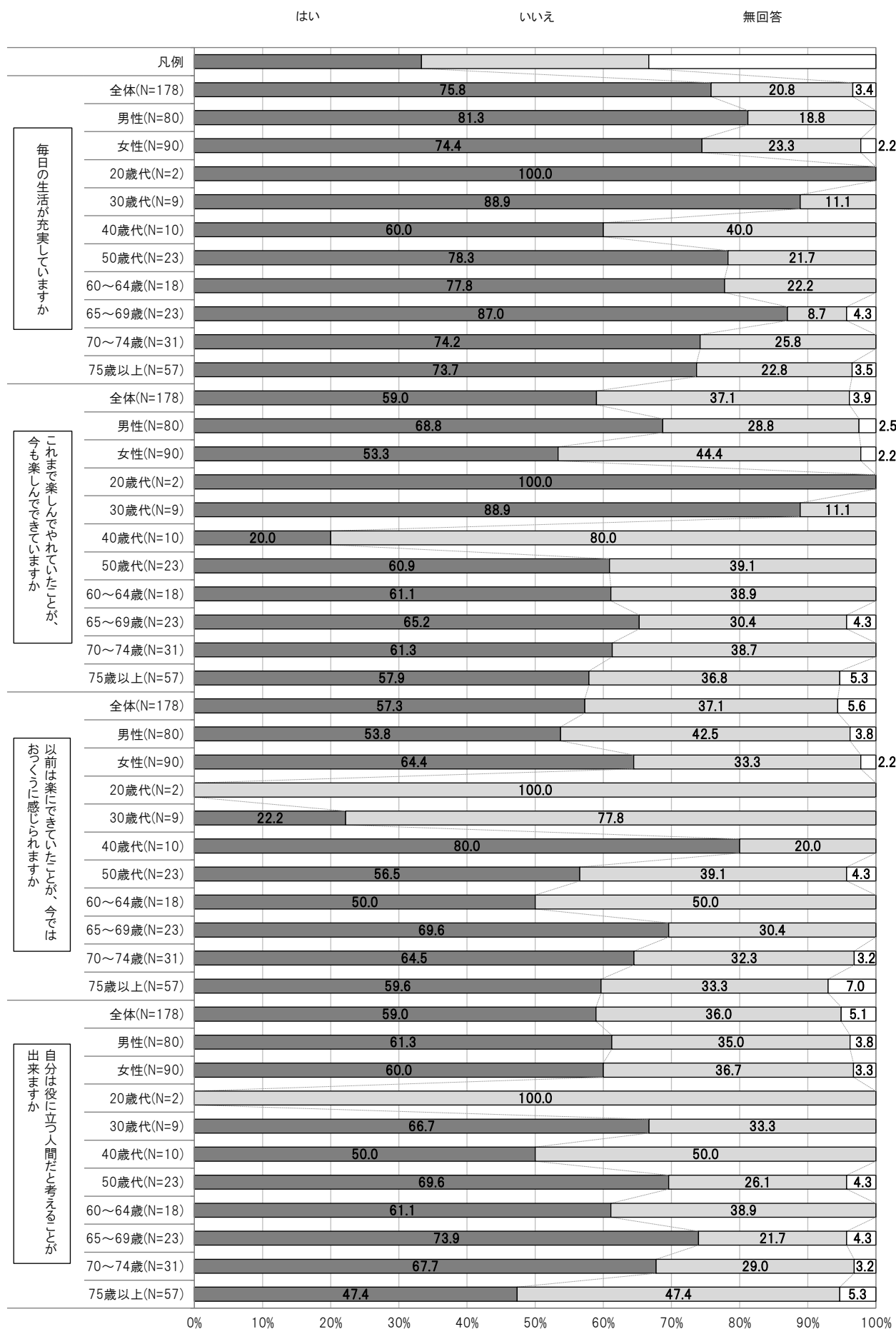
図表 III-349 鹿児島保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



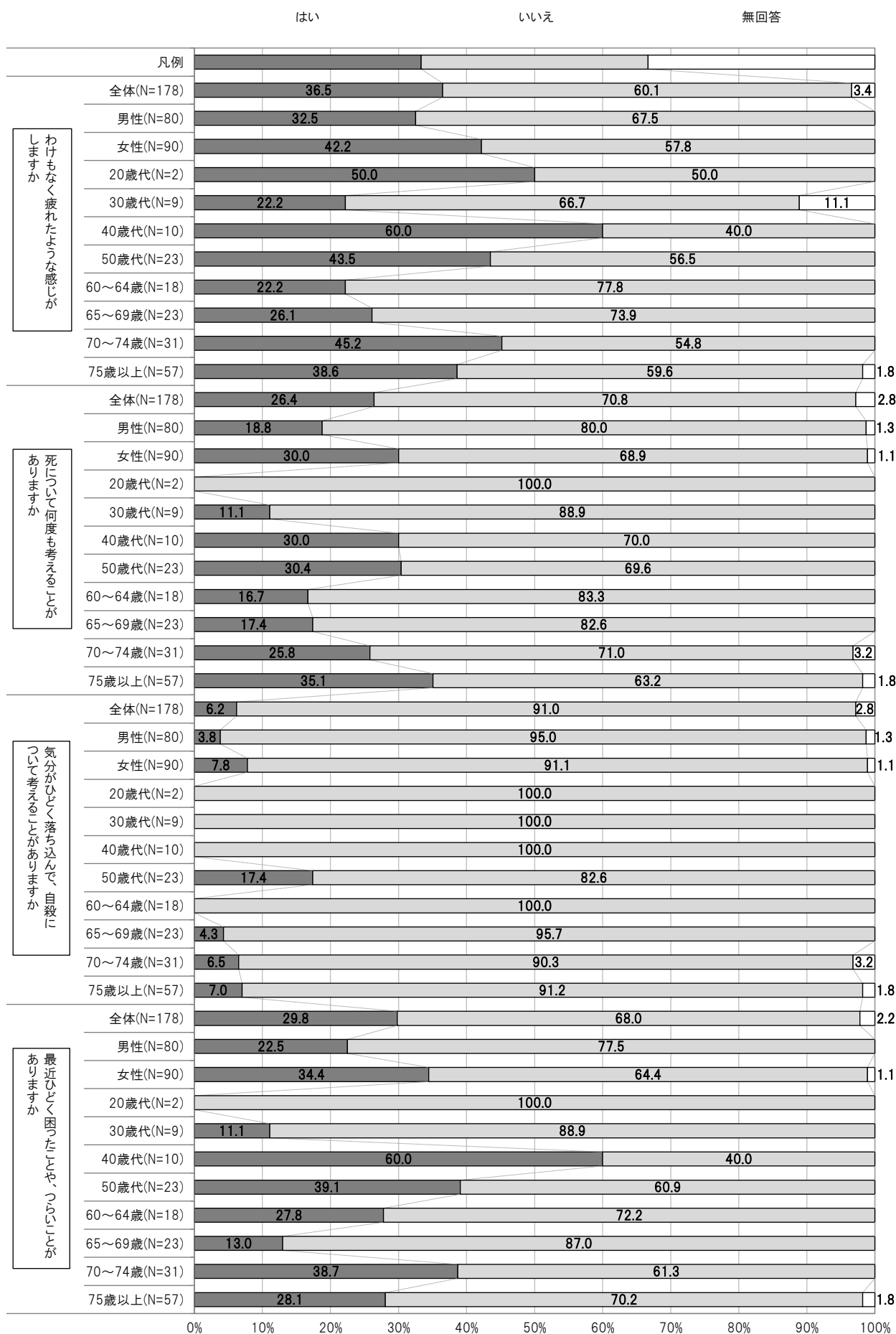
図表 III-350 鹿児島保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】2/2



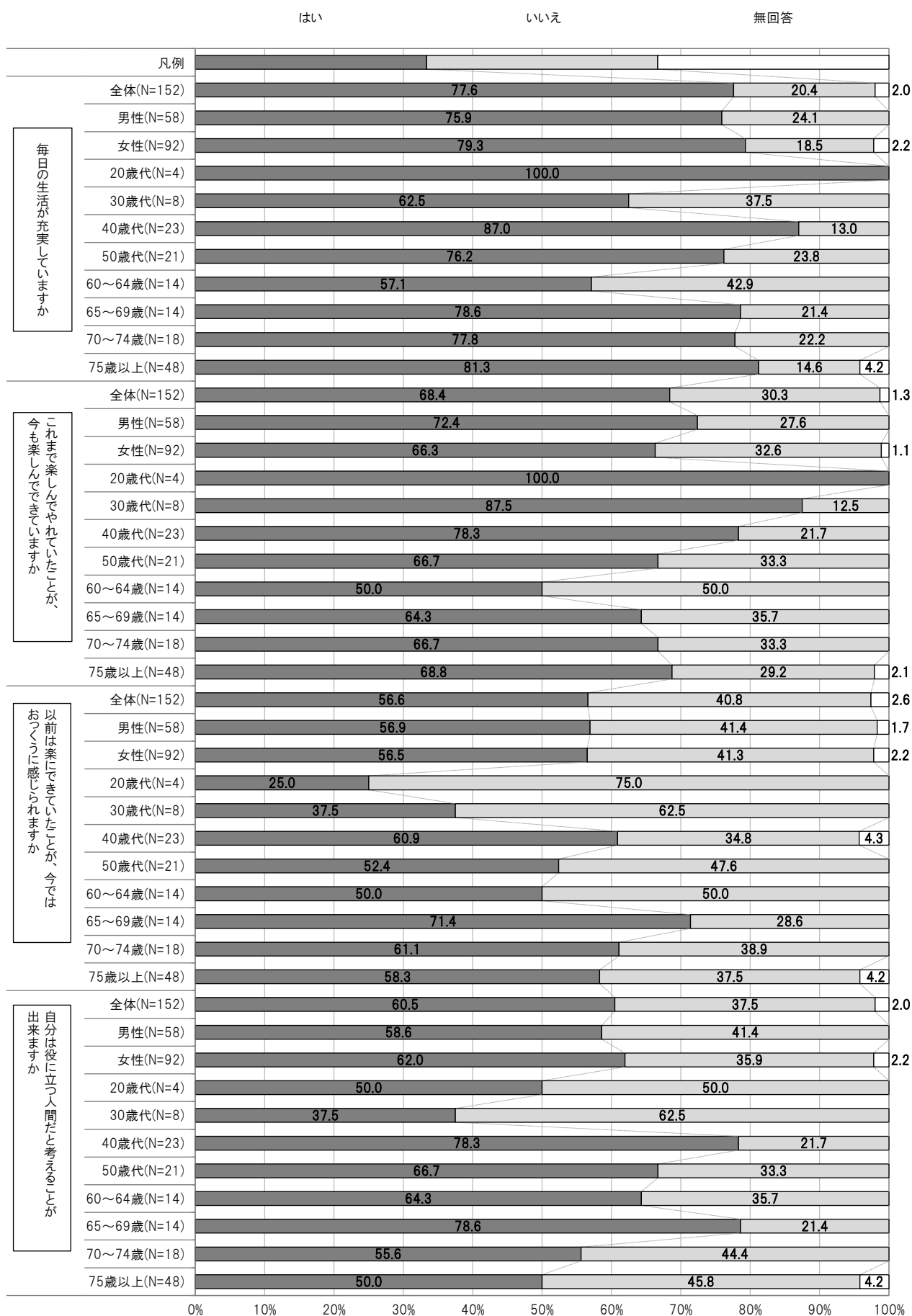
図表 III-351 南薩保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



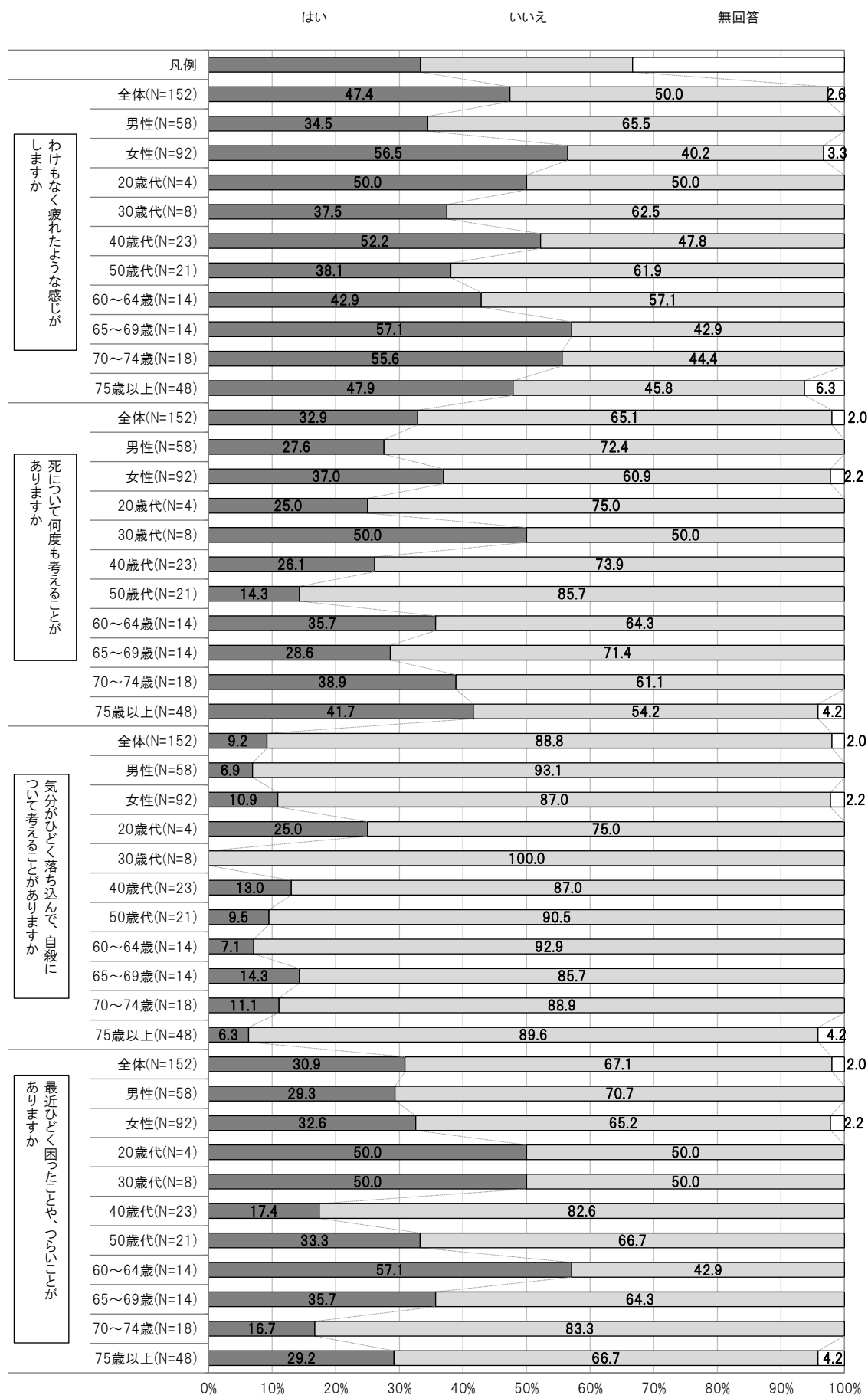
図表 III-352 南薩保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



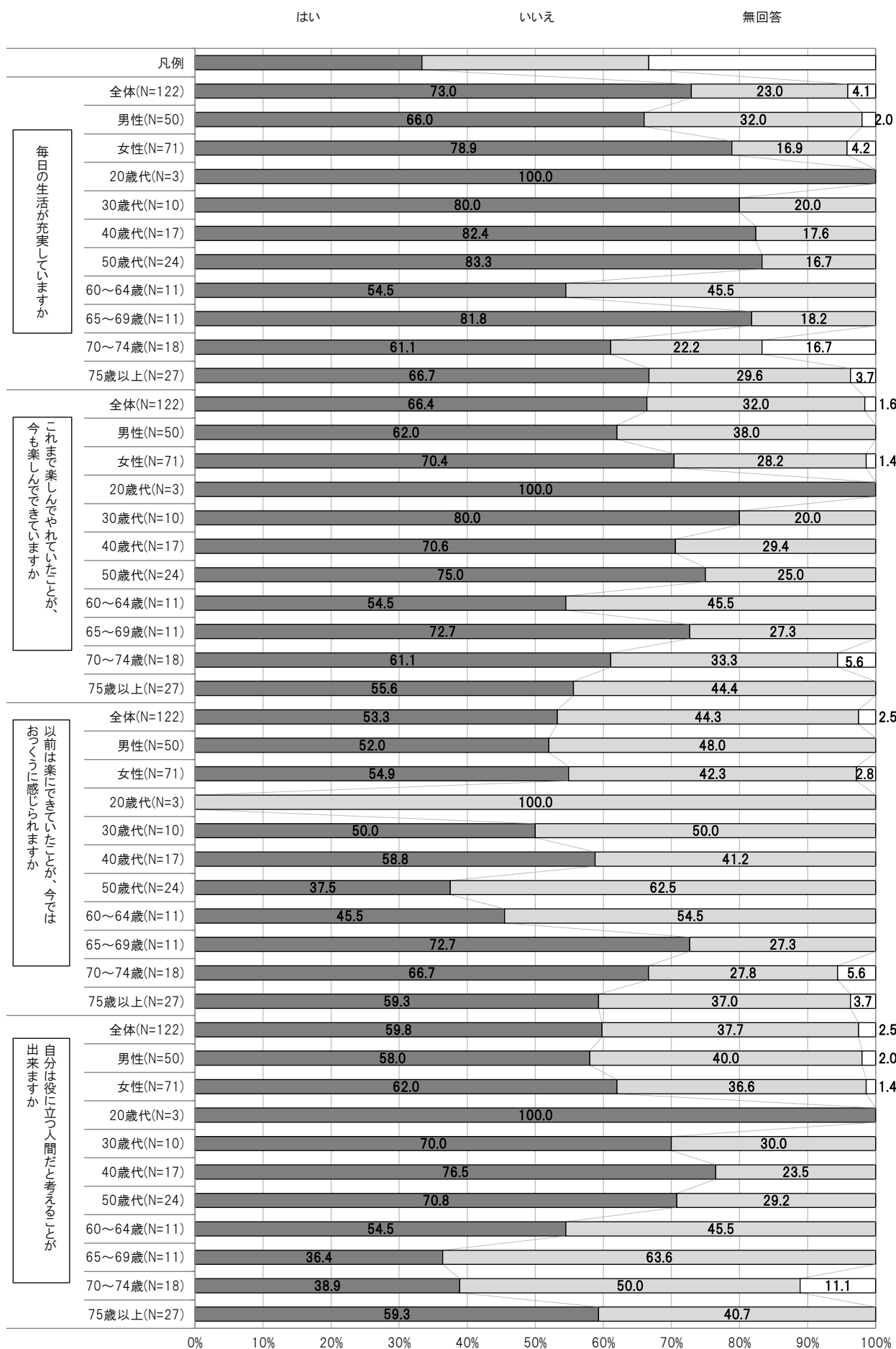
図表 III-353 川薩保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



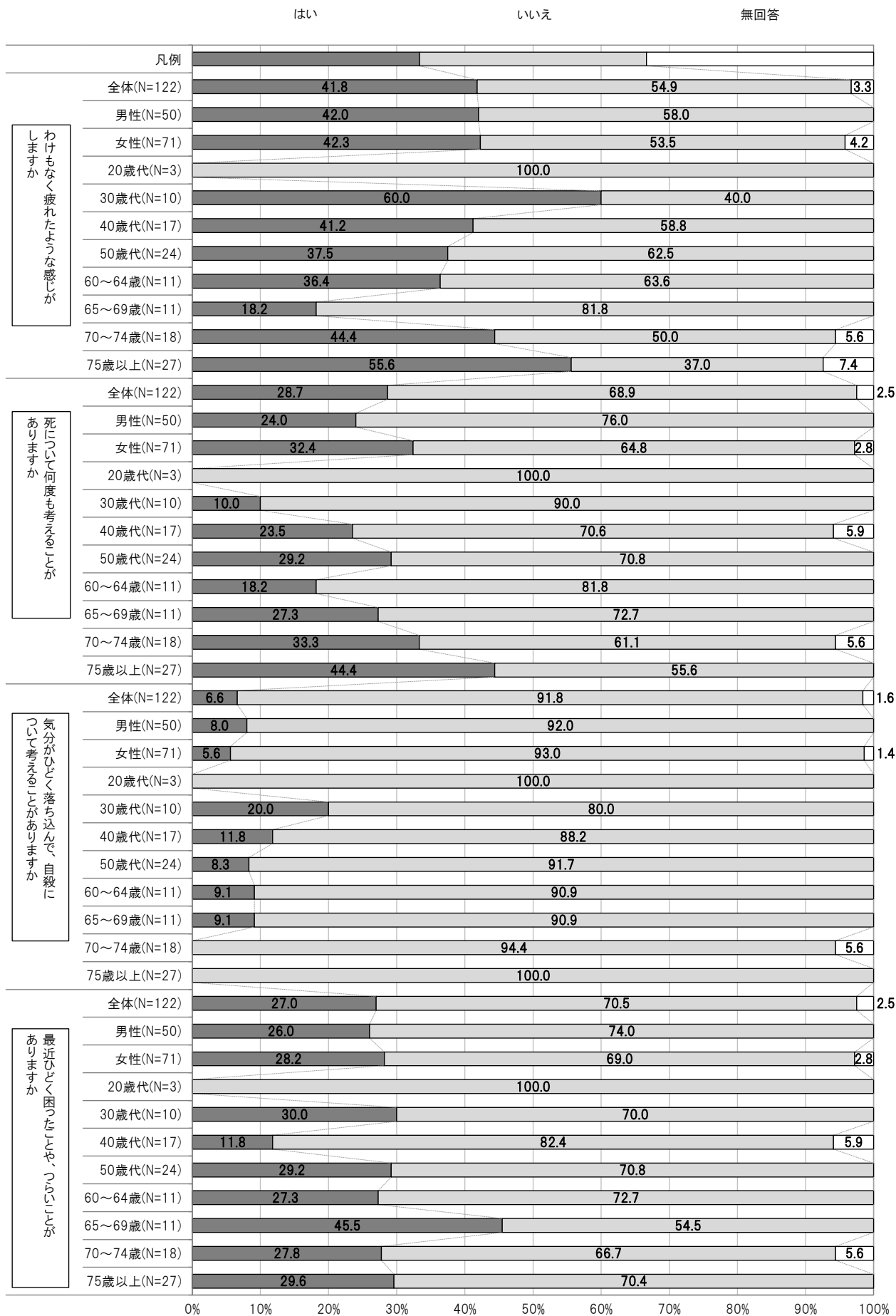
図表 III-354 川薩保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



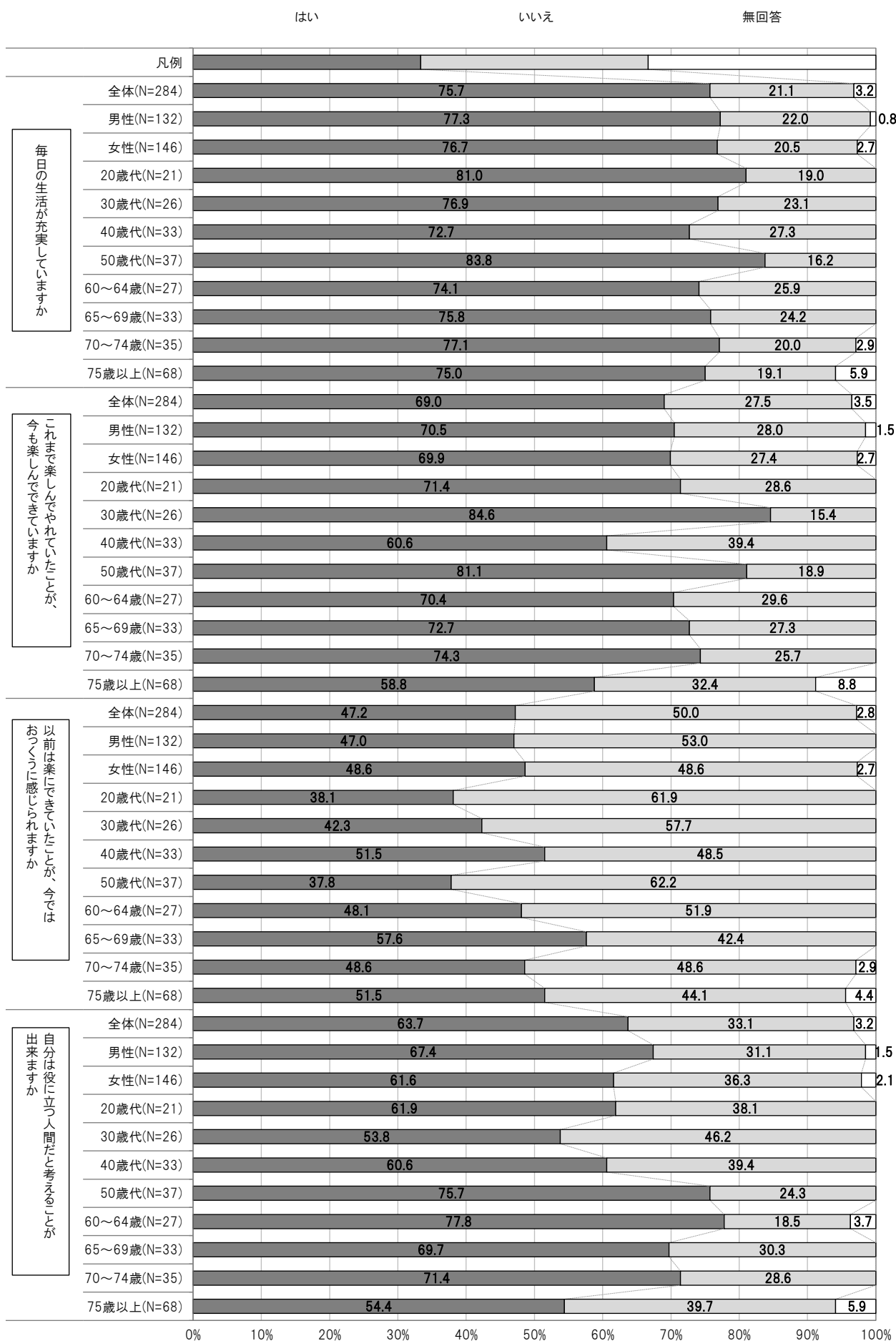
図表 III-355 出水保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



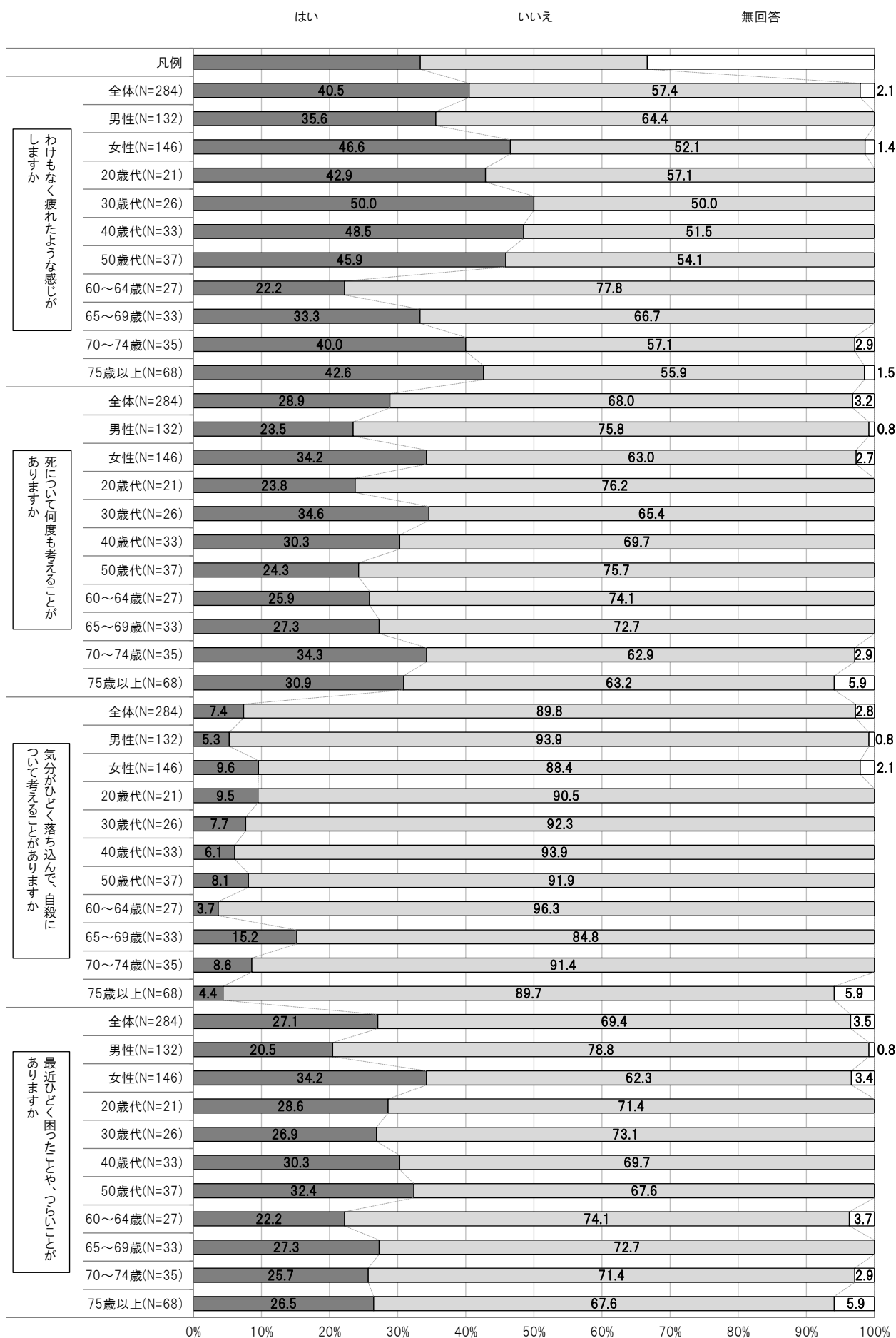
図表 III-356 出水保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



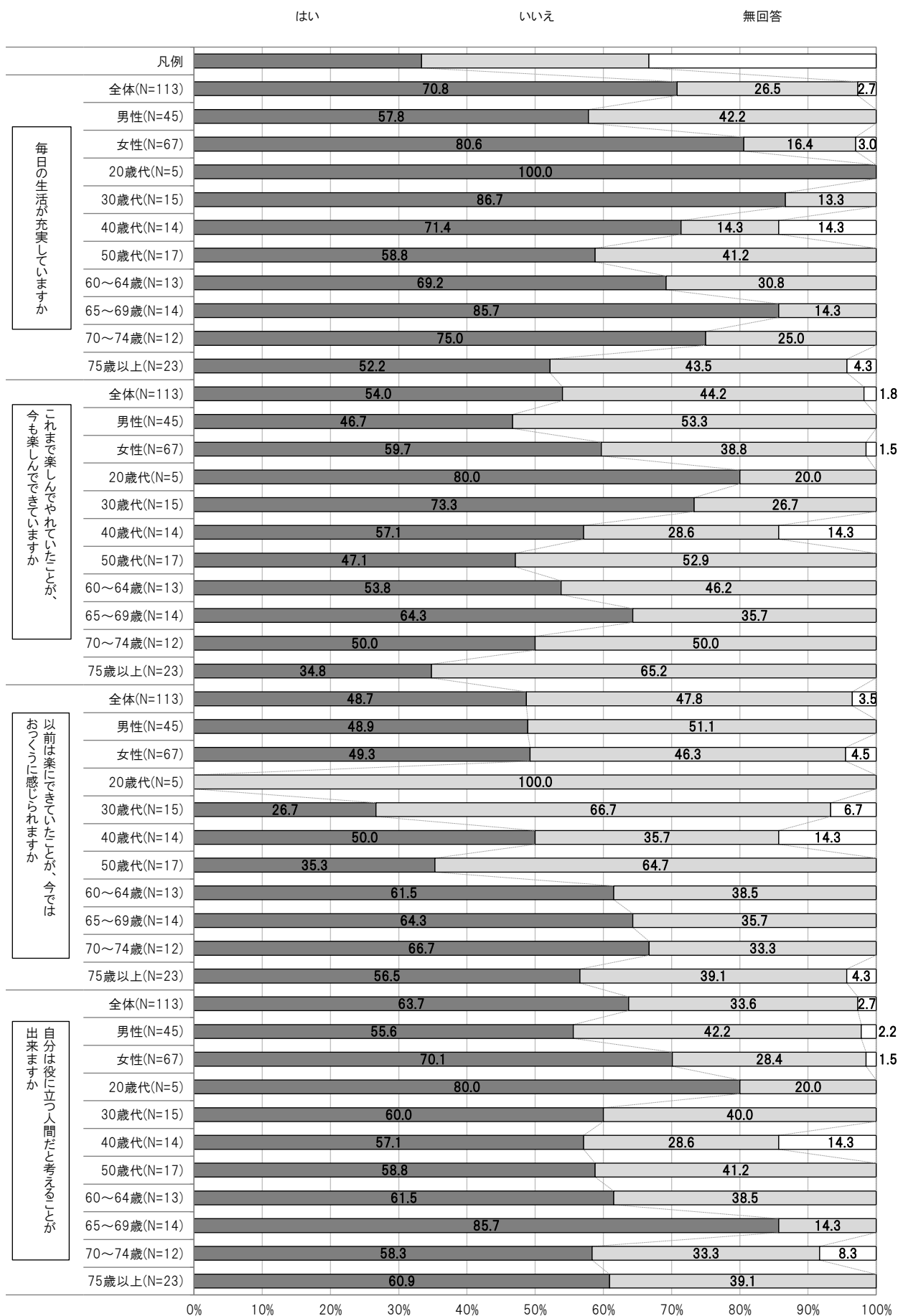
図表 III-357 始良・伊佐保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



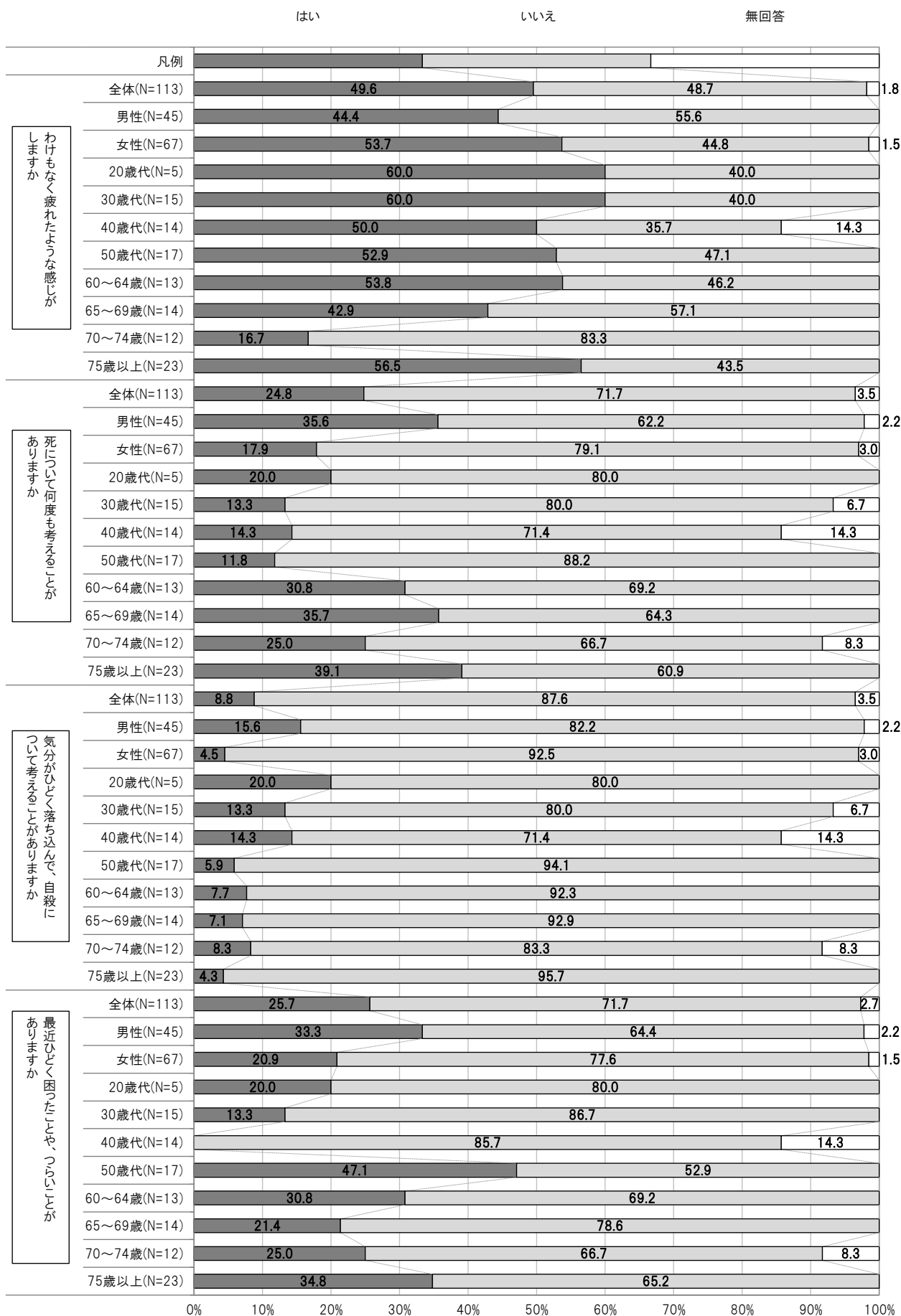
図表 III-358 始良・伊佐保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



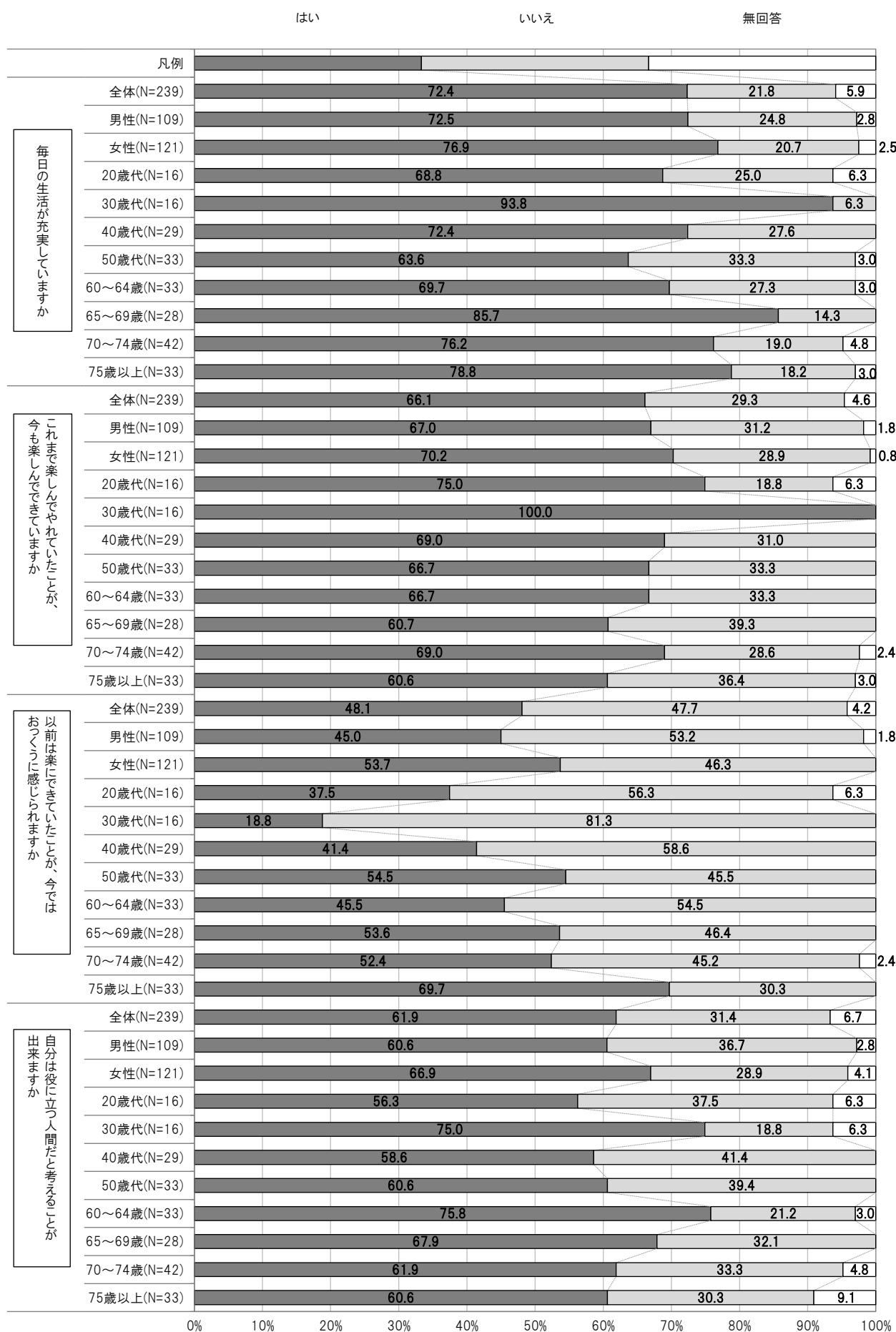
図表 III-359 曾於保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



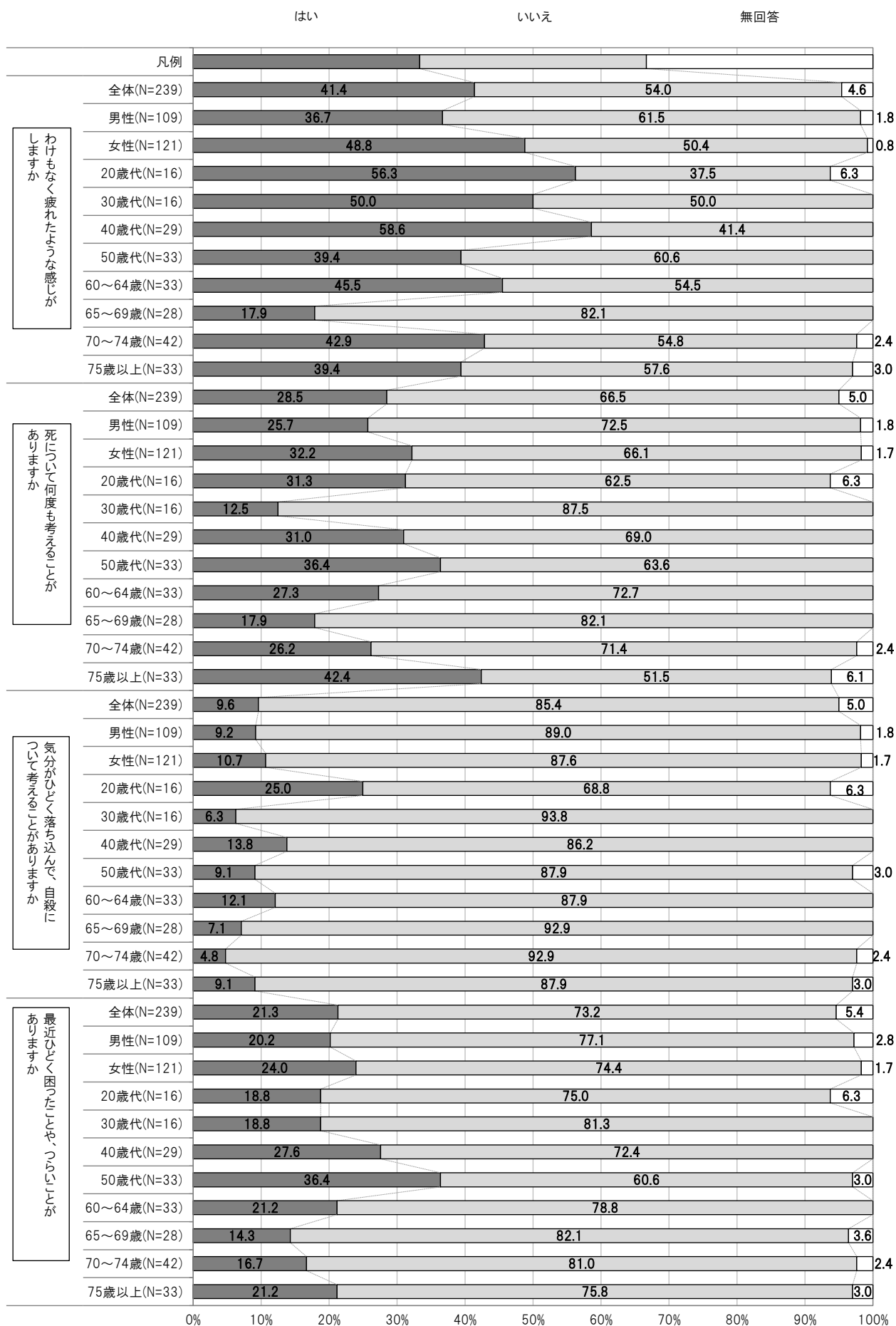
図表 III-360 曾於保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



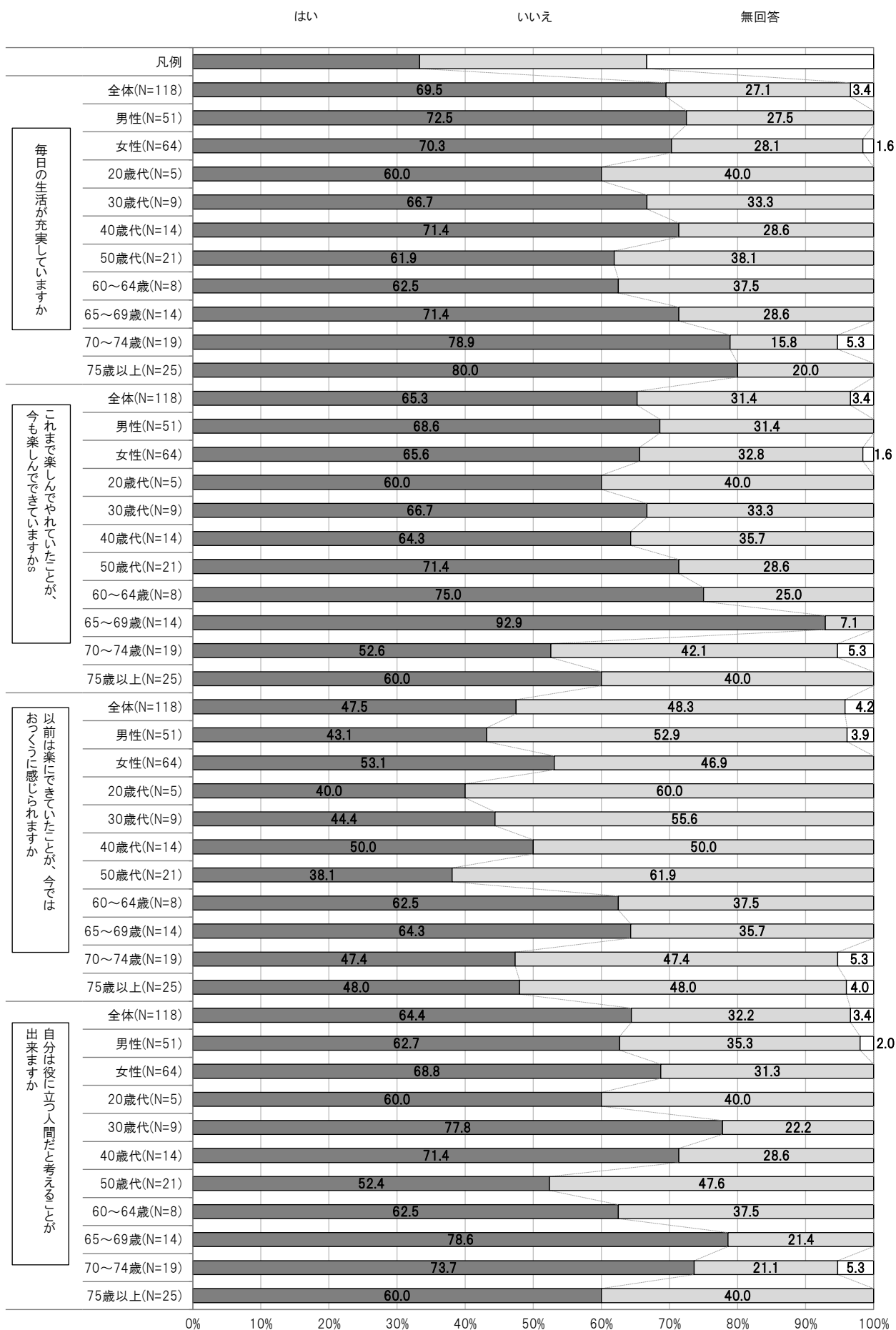
図表 III-361 肝属保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



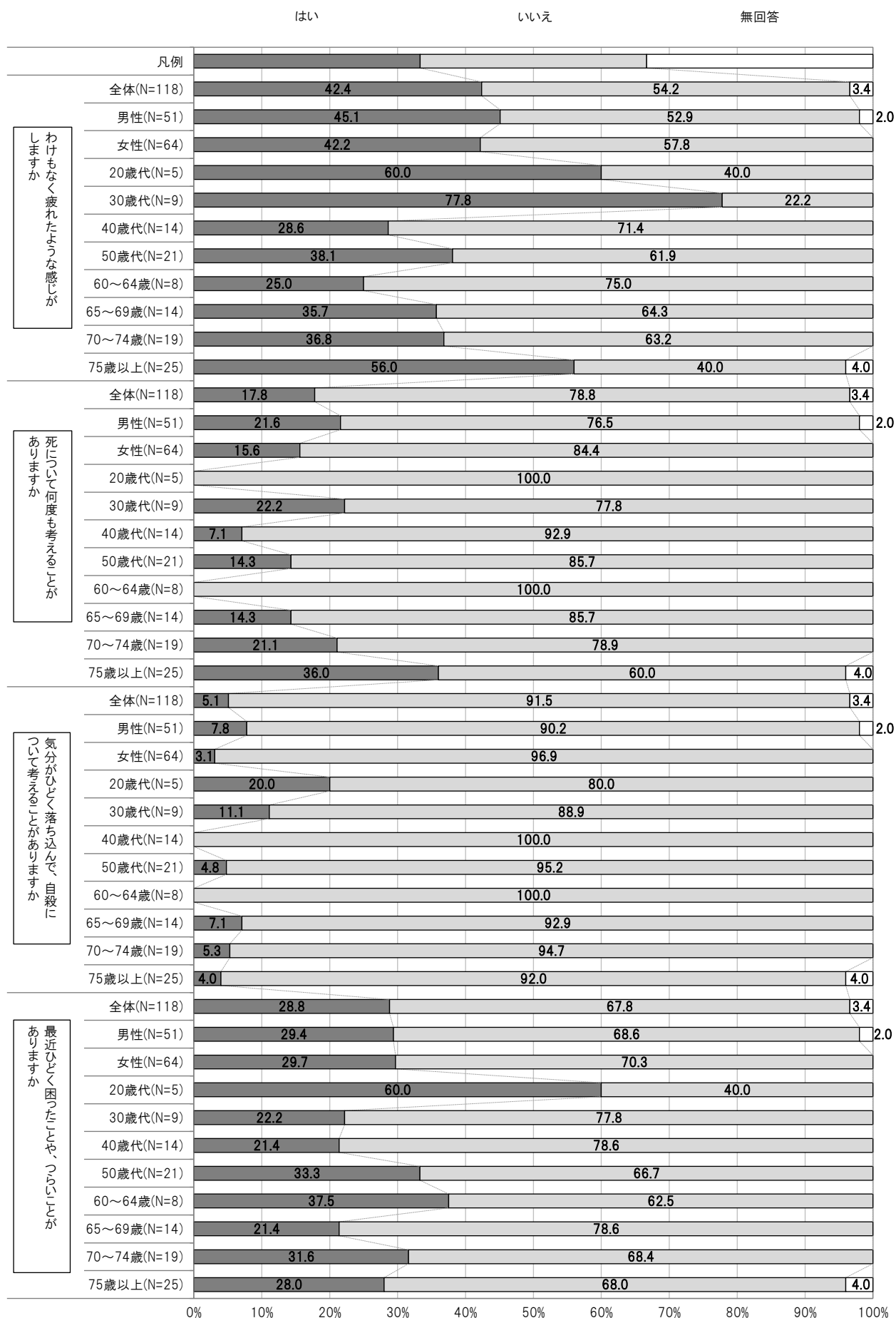
図表 III-362 肝属保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



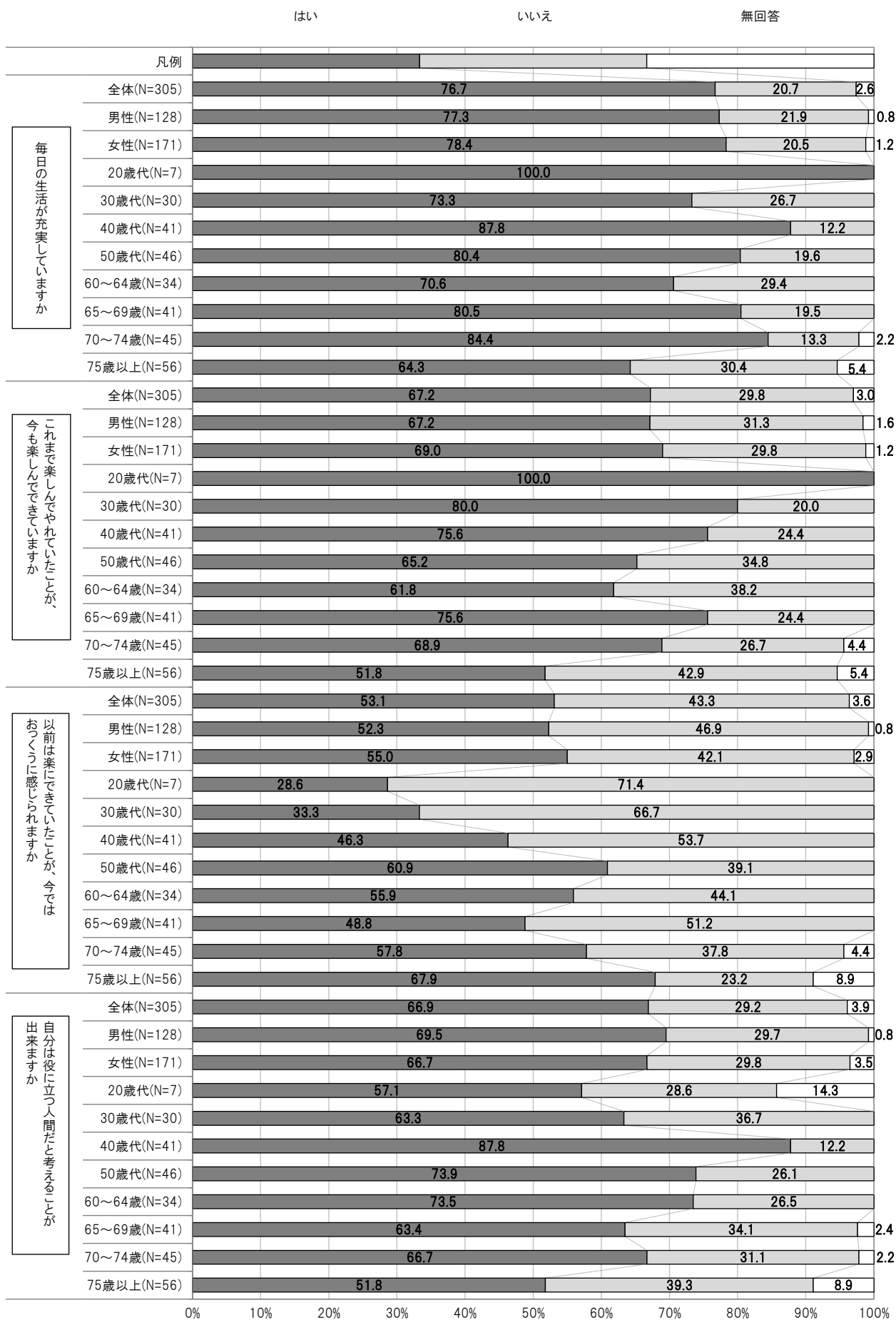
図表 III-363 熊毛保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



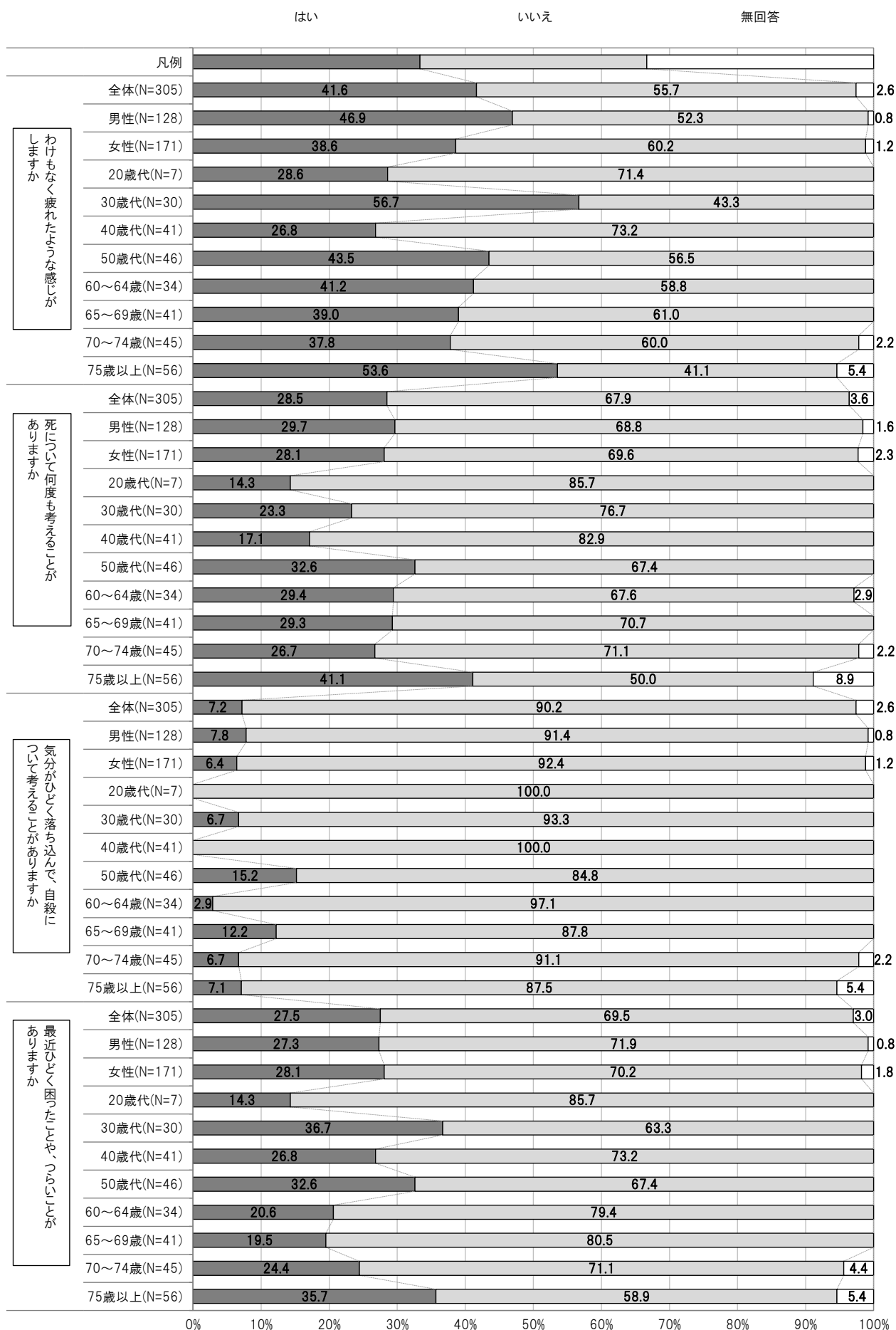
図表 III-364 熊毛保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



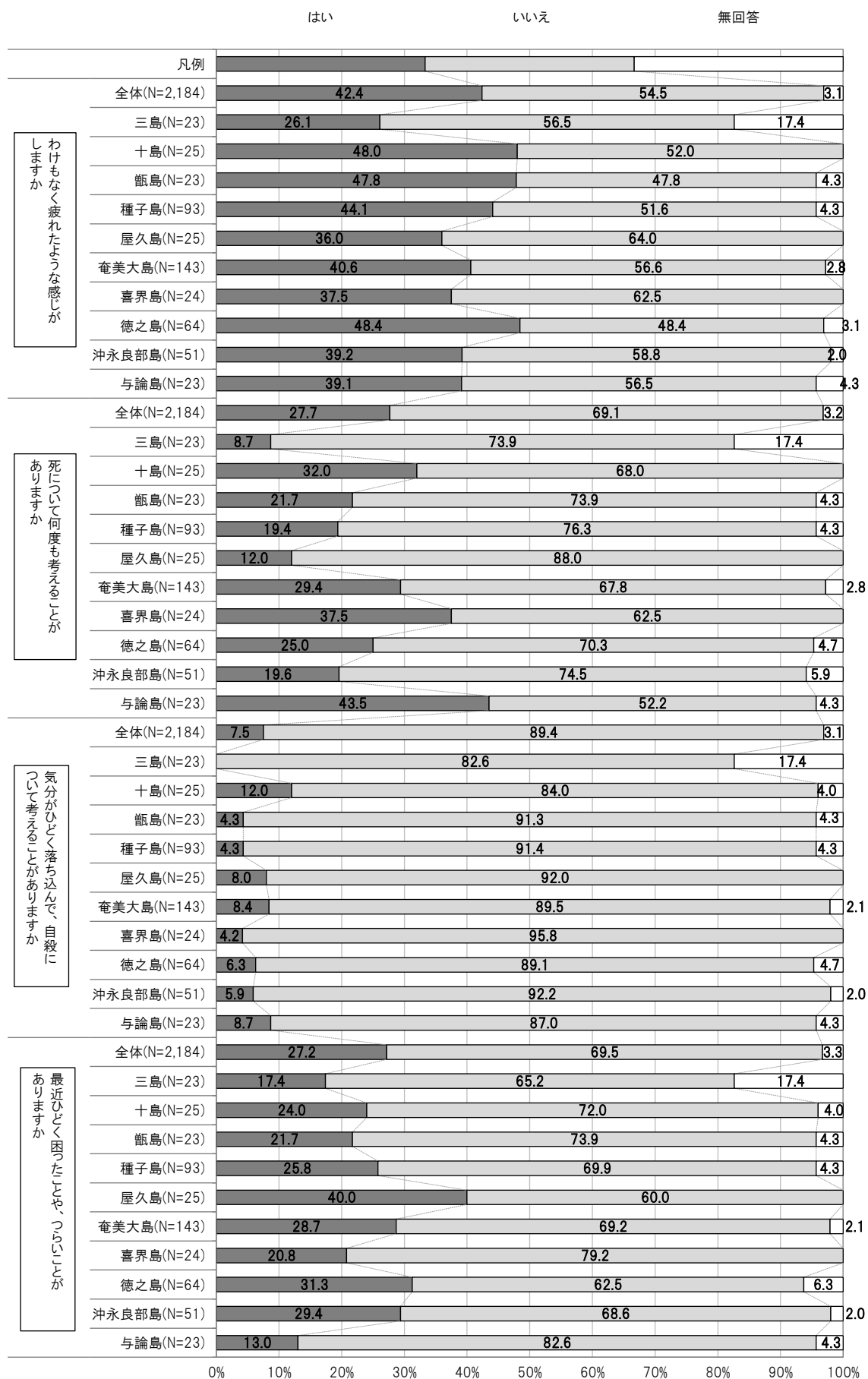
図表 III-365 奄美保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】1/2



図表 III-366 奄美保健医療圏 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



図表 III-368 離島別の分析 うつの可能性【加重集計前・属性別】 2/2



図表 III-369 うつの可能性【二次保健医療圏・属性別】

	県全体	鹿児島保健医療圏	南薩保健医療圏	川薩保健医療圏	出水保健医療圏	始良・伊佐保健医療圏	曾於保健医療圏	肝属保健医療圏	熊毛保健医療圏	奄美保健医療圏
全体(加重集計後)	59.4	59.3	61.1	67.2	59.5	58.6	60.5	55.5	55.9	57.1

単位(%)

■加重集計前

全体		58.2	57.8	60.7	64.5	59.0	58.5	60.2	54.4	55.9	56.7
性別	男性	56.5	56.4	51.3	63.8	56.0	53.8	66.7	50.5	54.9	60.2
	女性	61.3	61.0	68.9	66.3	62.0	63.7	56.7	61.2	59.4	55.6
年齢別	20歳代	48.1	53.3	50.0	50.0	0.0	42.9	20.0	56.3	60.0	42.9
	30歳代	48.9	49.2	44.4	50.0	40.0	53.8	46.7	25.0	55.6	60.0
	40歳代	55.3	52.8	90.0	65.2	47.1	69.7	50.0	62.1	50.0	39.0
	50歳代	61.0	67.0	56.5	47.6	62.5	54.1	64.7	66.7	57.1	56.5
	60～64歳	57.4	51.6	55.6	71.4	54.5	63.0	61.5	54.5	37.5	61.8
	65～69歳	54.3	47.1	47.8	64.3	63.6	60.6	64.3	53.6	50.0	58.5
	70～74歳	62.2	65.0	67.7	77.8	77.8	60.0	66.7	54.8	52.6	51.1
	75歳以上	68.5	70.1	66.7	68.8	66.7	61.8	73.9	60.6	76.0	75.0
健康保険の種類別	社会保険・本人	54.0	55.6	54.7	56.5	46.3	52.4	54.3	59.7	55.3	46.9
	社会保険・家族	58.3	58.2	33.3	73.7	54.5	71.4	53.3	66.7	45.5	43.5
	国民健康保険	62.4	60.6	67.6	65.5	65.1	62.3	65.1	53.8	63.3	63.8
	共済組合	46.6	51.6	50.0	50.0	77.8	35.3	20.0	26.3	40.0	50.0
	後期高齢者医療制度	69.1	66.7	65.7	73.9	66.7	65.9	84.6	76.5	66.7	75.9
	その他	88.9	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
同居状況別	就学前の子どもがいる	44.2	38.1	50.0	50.0	45.5	56.0	42.9	20.0	40.0	51.9
	小学生・中学生がいる	50.8	41.2	50.0	64.7	61.9	70.0	46.2	53.6	72.7	40.4
	65歳以上がいる	60.9	58.7	60.2	68.9	61.7	59.8	66.7	57.3	55.1	65.1
	その他の同居家族	56.6	59.2	58.8	55.9	52.5	60.5	52.0	51.0	55.8	53.3
	一人暮らし	64.6	66.7	64.3	58.6	86.7	64.3	75.0	64.0	61.1	59.1
年齢別 独居高	独居高齢者	69.0	72.2	66.7	66.7	90.0	80.0	72.7	64.0	70.0	57.1
	独居高齢者以外	57.3	56.6	59.9	64.2	56.3	56.8	58.8	53.3	54.6	56.9

単位(%)

■加重集計前

県全体		58.2
離島別	三島	21.7
	十島	52.0
	甌島	56.5
	種子島	57.0
	屋久島	52.0
	奄美大島	53.8
	喜界島	50.0
	徳之島	57.8
	沖永良部島	56.9
	与論島	78.3

単位(%)

※ 判定方法については、「P. 18・20. うつの可能性 (問 24)」

IV. 自由意見の主なもの

問 25-6（生活や地域で健康や医療について感じる事、行政への要望等）において寄せられた 515 件の御意見を 11 項目に分類し、主なものを掲載する。

なお、内容（主旨）の重複があるものをまとめるほか、居住地域や医療機関などが分かる表現については一部記載を変更して掲載する。

1. 地域の医療提供体制に関する事（83 件）

【主な意見】

- 地域の医療を受診しても他の市や病院へ紹介されることが多い。安心して医療を受けられるよう先進医療の対応をしてほしい。
- 近くに充実した医療体制が整っている病院が少ないため、何かあった時不安に思う。鹿児島市へ行くにも交通費がかかる。補助費や医療体制の充実をお願いしたいです。
- 鹿児島市内と他の市町村との医療格差での不安がある。田舎では専門性に不安がある。どこにいても同じ医療がうけられる体制は整わないものか希望したい。
- 産婦人科がないので子供を産むときは隣の市で生まないといけないので病院まで 1 時間かかる。私も経験したが、妊娠 9 か月で入院し、急変して鹿児島市内に転院となったが、夜間のためドクターヘリが飛ばず 2 0 時間かけて救急車で移動したが、(母子ともに命が危ないとのことだったので) 今考えるとぞっとする。2 人目を考えているが、親も高齢者で一人目の時のように自由に動けず協力ももらいにくいので、出産に関して不安があり一歩が踏み出せないでいる。一人目出産から時間もたっていて、リスクもあるのでその病院にも断られたらもっと遠い病院となるとしんどい。
- かかりつけクリニックは消化器専門であるため、発作が出ているにもかかわらず一度かかりつけ医を受診して紹介状をもらい、循環器科のある病院へ行かねばならず不安である。どうにかスムーズに、自分の病状に合った病院への転院ができないものかと思う。
- 以前、他の市町村に住んでいたが、現在住んでいる市町村に引っ越してから、医療機関の待ち時間が科目によっては、ひどく 2～3 時間待ちがあたりまえ。受診の意欲を失う。
- 皮膚科眼科等の診療科があることはありますが、いざ調子が悪く受診しようと思っても予約制で、すでに満員で受診できない事が多い。
- 地域の病院の先生は高齢化のため、これから先の医療体制に不安がある。産婦人科がなく、他の市町村に行かなければならないのが不便。眼科も他の市町村に行っているため不便に感じている(コンタクトを扱える所がないので)。
- 若い人達が移住し、子育てしやすい環境づくりの為に産婦人科、小児科が近隣にあれば帰省しやすいと思う。リモートワークの時代になり、地方に居ても仕事ができる。住める環境が整えば、世代を越えて互いに助け合い生活が出来る環境になれると思う。若者の子育て問題、高齢者問題の解決になると思うし、地域の活性化につながると思う。
- 産婦人科、小児科が自分が住んでいる市町村になく、他の市町村にいかないといけない。少子化対策としてもあってほしい。
- 町内の毎日受診できる小児科がない。曜日によっては受診しか出来ない。眼科、耳鼻科もない。医療を充実させてほしい。
- 自分が住んでいる市町村に大きな病院がない。内科のほか、整形、いろいろな診療が出来る医療機関がほしいです。

- 重い病気地方に住んでいるとかかりつけ医院から専門病院を紹介され、1～2時間かけて病院へいかなければならない。かかりつけ病院にて専門病院の診察をオンラインで受けられる事ができれば通院の軽減ができると思う。地方にはオンライン診察、家も病院も重要な取り組みになって来ると思う。

2. 救急医療に関すること (31 件)

【主な意見】

- スマートフォン、インターネット等の手段を使うことが難しい方に対する医療、福祉に関する情報提供や支援が必要であると思います。
- 救急外来などの(夜間)診療時、薬を1日分のみではなく5日分欲しいです。翌日診察にまた行かないといけなく少し不便だと思います。
- 高齢者のつまずきによる、骨折・おう吐・対処方法もわからず救急で救急車を呼びましたが、病院がなかなか決まらず不安がとても大きかったです。安心して暮らせる、何かあった時の病院の受け入れ対応はとても重要だと痛感します。病院も大変でしょうが、不安なく高齢者も生活していく世の中でありたいと思います。
- 休日に遊びに来ていた赤ちゃんが急に発熱しました。保健所に電話したら休日担当医の電話番号を聞きました。しかしずっと話し中か電話に出られない、断られ、全部ダメでした。とても悲しくて困りました。確実に受け入れるところを教えて欲しかったです。
- 土曜日、日曜日、祝日に診察していただける医療機関があればよいと考えます。また、歯科も必要と思います。
- ネット予約で待ち時間がなくなるような病院を増やしてほしい。
- 休日、夜間等に子供が具合が悪くなったとき近くに受診できる病院がない。眼科、耳鼻科など、当番医が近くにない時があるので、近くで受診できる病院があってほしい。
- 医療機関のない離島に住んでいるので脳梗塞や心筋梗塞などの急を要する疾患になった場合、急病ケガ等の早期対応のシステム化、緊急ヘリコプターの増機等を望みます。
- 緊急時にドクターヘリがきて対応しているが、以前より連絡体制が変わり手続きが難しくなったり、遠方からヘリが来島することになったと聞きます。離島で診療所しかなく、医師が不在で看護師のみという現状なので、ドクターヘリの対応について可能な限り改善の方向で検討していただきたい。
- 医師です。救外を受診するかどうか救急車を呼ぶかどうかの啓発を市民にしてほしいです。

3. 離島の医療に関すること (37 件)

【主な意見】

- 自分が住んでいる市町村には診療所しかないため、医師がいない。常駐する医師をつけてほしいが厳しいと思う。しかし、もっと医療の充実を願う。
- 離島の離島在住の前期高齢者です。我島の病院は専門医が常駐せず、治療・手術などは島外の病院へ行きますが、ほとんどの科が予約制です。行ったついでに複数の科を受診したいと思っても同じ日に予約はほとんど取れません。別々の日受診となり、時間的、経済的、精神的に負担を覚えます。離島からの受診にはそのあたりを配慮していただけるような、柔軟な診療体制を希望します。離島地域医療の中核として、医師の数を増やし、総合病院として充実させていただきたいです。

- 島内の医療機関ではできない治療や手術、又コンタクトレンズを作る為や高齢者の通院手術等で本土への交通費が負担になっている方が大勢いると思います。高速船等の補助が県からあると大変助かります。
- 今後、治療をしながらも在宅で過ごしたいという人はたくさんいるが、家族が介護に対しても不安や時間、費用を要するため、医療機関を使用しなければならないと思うので、そこらへんのサポートが必要。
- 2年前娘が病気になり、手術をするために島外の医療機関に行きました。手術前の検査やその他、手術入院と何度も往復を余儀なくされ、改めて離島の不便さを痛感しました。離島に住む子どもたちの中で大きな病気を抱えている子どもがいたら、その家族の経済的負担はかなりのものになると思います。家族の宿泊費や交通費などいくらかの負担をしてくれる制度があると助かると思います。
- 年に1回しかない耳鼻科、ひふ科など専門医の来島が年2回とか増えてくれると嬉しい。
- 離島のため、専門医を受診しようとしたり手術となると本土まで渡らないといけないのが不便だと思う。そうすると体力的・精神的・金銭的に負担が大きいのので離島でも、どこでも充実した医療や介護を受けられるようになってほしい。
- 離島のため、医療が充実していない。天候により、受けられなくなったりする。医師の滞在日が短いため、受診日が限られ仕事をしているとなかなか受診できない。(耳鼻科・皮膚科・整形…)電話やインターネットで予約可能にして欲しい。オンライン診療を充実させて欲しい。
- 離島に住んでいる為に医師はいません。ネット等を利用した医療サービスが受けられると助かります。が、通信環境が悪く、それ以前の問題です。インフラ整備をまずお願いします。

4. 新型コロナウイルス感染症、感染症対策に関すること (22件)

【主な意見】

- 新型コロナウイルス対策では、町内は介護事業所が多く身近に感染者が出た際に、生活の様々な場面で前に進みにくい事がありました。関係機関の機能が強化されるようお願いしたい。
- 以前、同居家族が新型コロナウイルス感染症にかかった際に、受診できる医療機関が限られていたり、保健所への電話がつながりにくく、どこに相談すればよいのか非常に不安な思いをしたことがあります。これから先、まだコロナ禍は続くと思いますので、普段お世話になっているかかりつけの医療機関や自宅から近くの個人病院などどこでも受診できる体制になればよいなと思います。
- コロナ感染した時発熱外来機関を探すのに戸惑いました。市民の広場などで、町名別に対応できる医療機関を提示してくれると安心できます。かかりつけ医が発熱外来をやってない場合、体調悪く中探するのが大変でした。
- 新型コロナのような新興感染症がいつ発症するか全く予想が出来ないため、今回のコロナのようにならないよう、国と自治体がより一体感を持ち、対策又は緩和の対応を講じるべきだと思います。国の対応が遅い場合は、県独自の委員会等を設置し迅速に対応できる県市町村職員の方々になってほしいと思います。

5. 地域包括ケア体制の整備の充実に関すること (40件)

【主な意見】

- 町は人口が減少している。サービスを提供してくれる人が今後どの程度いるのか。老後はどんなサービスを受けることができるのか不安。

- 施設に入れるのにも高額な費用が心配。
- 少子高齢化が進行しているため、将来の医療費負担や年金受給額に対して大きな不安がある。また医療や看護・介護現場で働く労働力確保も課題になってくると思う。まずは安心して治療等を受けられるための医療費負担を極力小さくするように、財源の確保に努めてほしい。また現場で働く方々の賃金を充実させることで、担い手を確保することも大事と考えている。地域医療については県内自治体での格差(島々を抱えているため)があると思うので、まずは各地域で対応できる拠点医療施設を充実させることも重要であると思う。鹿児島県がモデルケースとして、最先端を示せる取組を進めていただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。
- 訪問診療をしてくれる所が増えていくと良い。24時間相談しやすいとありがたい。
- 介護度1、2でも自宅で生活できるようにおむつ交換に日に3回巡回してもらえるような体制ができたらうれしい。
- 自宅に籠る高齢者が積極的に外に出て、地域と交わることのできる施策を講じて欲しい。近所には顔も見せなくなった独居高齢者が多くいる。
- 診察を受ける高齢者が、上手く自分の状態を伝えられてない。ドクターから言われている事や薬などの説明も理解できていない。フォローしてくれる人がいない高齢者が多い。サポートするシステムがない。付き添いを頼めない人がいる。急に具合が悪くなっても、救急車を呼ぶほどでもない状態の時どうすればよいか分らない高齢者が多い。
- 緩和ケア病棟か介護保険施設が近くにあると良い。

6. 医療従事者の確保及び資質の向上等に関すること (15件)

【主な意見】

- 医師が一人で懸命に住民の対応にあたっています。研修医等の補助的な人材も必要ではないでしょうか。少しでも体を休めてゆっくりした時間も取って頂きたい。
- 医師が必要数を満たしていないので施設機器は、十分そろっているのに十分な検査や簡単なオペも行なえず、40km以上も離れた総合病院まで移動しなければならない。高齢者人口が40%に届きそうな現況の中で、最優先で解決を要する。鹿大医学生の地域枠が機能していない、もっと活用できれば良いと思う。
- 受け答えを優しくできる先生と看護師さんが、近くの病院には少ない。忙しいのはわかるがソフト面の学習が足りないと思う。

7. 医療情報の提供に関すること (29件)

【主な意見】

- 体調不良、体に症状が出た時に、どの病院、クリニックに行けば良いか。病院・クリニックの専門とすところのリストが欲しい。(自分の症状、状態によって、病院、医者を選びやすくなる)
- 相談体制の充実を御願ひしたい。電話相談でプライバシーが保てるもの等。悩んでいる時は、人に会いたくないし、外出する気力もない。1人で悩んで悩んで頭の中は堂々巡り。頭の中を少しでも整理できるように必要時に相談できる体制があれば有り難い。周囲に相談するのはハードルが高く中々難しく、思い詰まった時にはもう、何処からどう整理した方が良いのか？頭の中は混乱してしまっている。ゆっくり休めるのならまだ良いが、今後、生活する為に仕事を再開しなければと思っている今、今後が心配な所。気軽に相談できる体制があれば助かる。

- 健康相談を気軽に受けられる様にして欲しい。ガン検診等受けたいが費用がかかる為受けられない。歯科は多いが眼科や耳鼻科が少ないと思う。医療費について困っている事を相談出来る場所がもっとも必要だと思う。高齢者や子供だけでなくその他の人にももっと福祉・医療のサービスを充実させて欲しい。
- 県内の病院のリストのようなアプリを作って、その中で受付時間や診療時間などを共有できるような体制があれば、いつでも確認ができ、外出している際も病院へかけつけられる。
- 高齢化の中、独居高齢者が増えています。認知症予防のためにも、孤独にさせない、社会との接点を持ち続ける工夫が必要だと思います。解決の方法としては、コミュニティの形成、まちづくりにあると思います。また、必要な情報を適切に伝える仕組みも必要です。そのためには、地域に相談窓口(生活に関わる全て)の設置が求められます。また、医療は社会問題であり、全産業をあげて、暮らしを豊かにするために取り組んでほしいです。
- 住んでいる地域にある医療機関がわかるパンフレット、冊子のようなものがあると、近くの医療機関で受診しやすくなると思う。ネット社会ですが、家に一冊あれば便利。
- 受けられるサービスや支援について、分かりにくいし探しにくい。県や町のHPなども、どこを見れば目的の情報があるのか分かりづらい。
- 39歳の時にくも膜下出血で救急搬送～入院となり、いろんな医療制度を利用してもらい無事社会復帰することができ、とても満足しています。ただ、順調に回復したとはいえ、突然の病気に、不安や孤独感を感じることもあり、その時にもっと心理カウンセラーなどの心のケアを受けたかったのですが、がん患者さん対象はあってもそれ以外のケアサービスをどこで受けられるか全く探せられなかったので、情報がほしいと切に思ったことがあります。もっと気軽に相談や話を聞くだけでもいいので、そういうサービスがあるといいし、あるのなら情報を広く広報してほしいです。

8. 健康づくり・疾病予防に関すること (25件)

【主な意見】

- 子どもが外でおもいっきり遊べる公園があればよい。(健康につながると思う)若い人が健康を見直す機会があればよいと思う。
- 市、町内の現在使われていない建物等を利用して、高齢者の方が集える場所を作ってほしい。
- 私の住んでいる団地は散歩されている方がとても多いです。良いことだと思います。私は腰痛がありあまり散歩が出来なくなりました。公園にシニア向け健康器具等があったらいいのと思います。
- 健康寿命を延ばすことが重要だと思います。若いうちからできれば子供の頃からバランスのとれた食事についての知識を身につけたほうが良いと思います。食べ合わせで栄養の吸収率が変わる知識も必要。具体的な例などもあげて周知することがいいのではと思います。また、男性も女性も一人になっても生活できる生活力を身につけなければいけないと思います。威圧や依存のない関係で自立した生活をすれば、健康寿命がのび、医療費や介護費も少しは抑制できるのではと思います。
- 車での移動が中心なので、車の運転ができなくなった時の病院通いや買い物などが心配。
- 定期的な健康診断を無料で1年に1回でも良いので、実施できるような感じであると受けやすくなるかなと思います。

9. 公共交通の充実に関すること（46件）

【主な意見】

- 身近な方は高齢者が多く、病院へ行く場合は、交通の便が悪く、頼れる親族や知人がいない場合、そして私自身もいつまで車を運転できるかわからないので、交通手段が困るなど思っています。
- 地方の場合は公共交通機関が不便である。現在妻と義母と同居しているが、私たち夫婦がいない場合、母は免許がないのでコミュニティバスを利用しているが、なかなか便数が少なく不便である。なんとかもう少し便数をふやしていただき、引き込もりにならないようにしてほしい。
- 周辺は高齢者が多く地域のコミュニケーションも少なく、新しく地域の集まりに参加する希望があっても勇気がなく誘いもない。病院受診や買物に行く為に自家用車がないと交通手段がタクシーになり、年金受給者には負担が大きいため躊躇する時もある。バス停まで10分以上の坂道歩行がある。
- 病院受診について車を出してくれる医療機関があることは、とても良いことだと思います。逆に車がなくて同居の家族も忙しくて定期の内服薬が切れてしまい、内服できずにいる高齢者がいらっしやいます。高齢者に対する医療機関受診についてももう少し充実できたらと思います。
- 現在は車があり自由にどこにでも行けますが、免許返納した場合病院に行ったり買物に行ったりするのに、足が元気なら歩いていけますが、年老いていくにつれてどこにも行けなくなる不安があり、私の住んでいるところには巡回バスみたいなものはないので、タクシーで銀行・買物・病院など行かれる方を見かけます。なので市内を巡回するバス集合タクシーみたいな乗物があればと思っています。

10. 経済的負担の軽減に関すること（39件）

【主な意見】

- 高齢者の医療費がもう少し安くなって欲しい。年金受給額に応じての医療費の見直しをして欲しい。
- 医療費を無くして欲しい。病院に行きたくても、料金が高いと思ってガマンしてしまうことがあるため。
- 小児の医療機関の窓口支払いをなしにしてほしい。予防接種の予診票の記入が大変なので、何か別の方法があってほしい…（スマホ利用など）
- こどものインフルエンザワクチンの補助があれば助かります。2回目接種×人数はかなりの負担になります。
- 不妊治療を受けることができる医療機関が地方には限られており、通院に時間もお金もかかる状況です。少子化対策のためにも、力を入れて欲しい所です。
- 市（公的機関）が実施しているいきいき健康診断は高額でなく助かっています。しかし、医療機関が実施している健康診断特に人間ドッグ等の健診は余りにも高額であり過ぎる。診療内容結果にもよると思われるが、適切な費用の検討が課題だと思われます。
- 無料でできる検診の項目に、腫瘍マーカーなどのがん検診や眼底検査なども、できれば加えていただくとありがたいです。

11. その他（148件）

【主な意見】

- 健康診断は職場検診で済ませていたが、コロナ感染関係で医療機関になってから、その内その内で一年が過ぎている。昨今、自分の健康は自分で守るを基本に早期発見、早期治療に心掛けたい。地域の医療のご指導の下、残された人生楽しくと考えます。

- すい臓がんだった母の最期を、緩和ケア病棟から自宅に連れて帰り家族や母のきょうだい孫、たくさんの人と母を見送ることができました。その時、在宅でみれるありがたさを痛感しました。(すでにコロナ禍でした) またそういった体制が、連携がされて素早くできたことがありがたかったです。コロナで最期に立ちあえなかつたりさみしい思いをしている人がたくさんいます。仕方ないことかもしれないかもしれませんが、最期が安心して旅立てたなら本人も家族も後悔ない人生だったといえるのかなあと思いました。
- 町の複合検診など定期的に行って下さるので健康維持や病院に行くのに助かっています。健康寿命を伸ばすためにも運動と食に気をつけたいと思っています。
- グランドゴルフ、ラジオ体操、歩いたりをくみ入れたら、病院に行く回数も少しはへるのではないのでしょうか。もっと家まわりに花をうえたり、くだものをうえたり、家庭菜園したりしたら病院へ行く回数もへるのではと思います。
- 私は医療機関に感謝しています。なぜなら生まれたところは病院で、小学生の時には病気で入院したり歯の治療を受けたり、眼の手術や腹部も手術で皮膚や整形外科等いろいろ診察してもらいました、これからもお世話になります。小さい時から健康に興味があり体力もなかったので気を付けていても、つい無理をしてしまったり、頑張りすぎたことがあって気力体力を疲れさせたりしました。要望についてですが、HSPという気質についての認識と理解を社会に広まってほしいです。
- 医療関係の皆様には本当に頭が下がります。自身も助けていただき、今も父を助けてくださり、感謝でいっぱいです。私達…高齢の者より子供たち、孫たちの世代のために赤ちゃんを産みやすい町になればいいなと思っております。子供を産んで育てることに適した町が増えるとよいと思います。よろしくをお願いします。
- 定年退職後、ボランティア、福祉活動、数年前からは父親の介護を何にも気づかず元気で暮らしてきました。2年ほど前、急に腰痛が出現し（腰部脊柱管狭窄症の診断）体の動きと自分の思いが合わず、年齢的にも未だ自分はと思っておりましたが、残念ながら体力の減退を感じております。現在、自分なりに今できることをと元気アップ体操や地域の見守り活動、無理のない程度にグラウンドゴルフにも参加しております。いずれ自身も、福祉や地域のお世話になるとは思いますが、その折はどうぞよろしくお願いいたします。
- 現在の医療制度にとっても満足しています。高齢になって治療を受けることが多くなりましたが、自分の健康は自分で守るとの自覚を持ち、若い人達の負担を少しでも少なくして子育てに頑張ってもらいたいと思っています。
- 現在どんな田舎でも光通信網がありますので、1人世帯の高齢者には常に連絡や状況が把握できる様に、あるいは高齢者から情報が届く様なシステムを考えていただきたい。(TV等利用して)

V. 資料

1. 調査結果の数表

問1 この1年間に健康診断を受けましたか。(○は1つ)

※ がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、免許取得や就職に伴う健康診断、病院や診療所で行う診療としての検査は除きます。

		規正 標本 数	受 け た	受 け な か つ た	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	1,407 65.2	585 27.1	165 7.6
二次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	569 62.9	272 30.0	65 7.1
	南薩 保健医療圏	174 100.0	126 72.2	37 21.5	11 6.4
	川薩 保健医療圏	152 100.0	103 67.6	39 25.3	11 7.2
	出水 保健医療圏	111 100.0	74 66.6	29 26.6	7 6.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	214 68.6	74 23.6	25 7.9
	曾於 保健医療圏	104 100.0	60 57.2	30 29.1	14 13.7
	肝属 保健医療圏	202 100.0	137 68.1	52 25.7	13 6.2
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	38 68.7	14 24.7	4 7.1
	奄美 保健医療圏	142 100.0	88 61.9	38 27.0	16 11.1

問2-1 問1で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。

健康診断で、生活習慣などが原因とされる次の指摘を受けましたか。(○はいくつでも)

		規正 標本 数	肥 満	高 血 圧 (血 圧 が 高 い)	糖 尿 病 (血 糖 が 高 い)	血 中 の 脂 質 (中 性 脂 肪 又 は 悪 玉 コ レ ス テ ロ ー ル 値 な ど) の 異 常	腎 機 能 の 低 下 や 蛋 白 尿 な ど の 腎 障 害	上 記 の 指 摘 は 受 け な か つ た	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)									
全体		1,407 100.0	240 17.1	373 26.5	131 9.3	334 23.8	94 6.7	611 43.4	24 1.7
二次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	569 100.0	115 20.1	153 26.9	51 9.0	145 25.5	43 7.6	249 43.7	3 0.6
	南薩 保健医療圏	126 100.0	11 8.4	39 30.9	11 8.7	23 18.6	10 7.6	53 42.2	2 1.9
	川薩 保健医療圏	103 100.0	11 10.7	22 21.3	17 16.0	23 22.4	8 8.1	49 47.1	2 1.9
	出水 保健医療圏	74 100.0	13 17.9	26 35.2	10 13.5	19 26.0	7 9.5	26 35.5	2 2.6
	始良・伊佐 保健医療圏	214 100.0	31 14.6	48 22.3	21 9.9	47 21.9	12 5.4	102 47.5	7 3.1
	曾於 保健医療圏	60 100.0	11 19.0	17 28.1	5 8.7	14 23.2	2 2.9	24 39.5	2 2.5
	肝属 保健医療圏	137 100.0	19 14.1	33 24.1	8 6.0	31 22.7	7 4.7	60 43.5	4 3.1
	熊毛 保健医療圏	38 100.0	7 17.9	11 28.8	2 5.1	10 26.7	4 11.2	16 41.6	1 2.9
	奄美 保健医療圏	88 100.0	23 25.8	25 28.9	7 7.4	22 24.8	2 2.7	34 39.2	1 1.1

問 2-2 問 1 で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。

健康診断で、保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。また、指導された内容を実行していますか。（○は1つ）

		規 正 標 本 数	指 導 を 受 け て 実 行 し て い る	指 導 を 受 け た が 実 行 し て い な い	指 導 を 受 け て い な い	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)						
全体		1,407 100.0	268 19.0	69 4.9	1,044 74.3	25 1.8
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	569 100.0	104 18.3	19 3.3	443 77.8	3 0.6
	南薩 保健医療圏	126 100.0	28 22.5	5 4.0	90 71.9	2 1.8
	川薩 保健医療圏	103 100.0	19 18.1	9 9.0	72 70.1	3 2.8
	出水 保健医療圏	74 100.0	14 18.8	7 9.8	51 69.7	1 1.9
	始良・伊佐 保健医療圏	214 100.0	43 20.0	14 6.3	153 71.7	4 2.1
	曾於 保健医療圏	60 100.0	11 17.6	2 3.7	46 77.1	1 1.5
	肝属 保健医療圏	137 100.0	28 20.6	4 3.1	100 72.8	5 3.5
	熊毛 保健医療圏	38 100.0	7 19.7	3 7.2	26 69.3	1 3.7
	奄美 保健医療圏	88 100.0	15 16.7	6 7.2	63 71.8	4 4.5

問 2-3 問 1 で「1. 受けた」と回答された方にお尋ねします。

最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。また、勧められた方は、その後、医療機関に行きましたか。（○は1つ）

		規 正 標 本 数	に 勧 め ら れ て 医 療 機 関 に 行 っ た	機 関 に 行 か な か っ た	勧 め ら れ て い な い	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)						
全体		1,407 100.0	367 26.1	90 6.4	891 63.3	59 4.2
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	569 100.0	138 24.2	32 5.7	378 66.4	21 3.7
	南薩 保健医療圏	126 100.0	34 26.8	5 3.6	84 67.0	3 2.7
	川薩 保健医療圏	103 100.0	23 22.5	4 3.9	68 65.8	8 7.7
	出水 保健医療圏	74 100.0	28 37.9	1 1.9	42 56.7	3 3.5
	始良・伊佐 保健医療圏	214 100.0	57 26.7	20 9.4	130 60.6	7 3.3
	曾於 保健医療圏	60 100.0	17 28.2	7 11.3	35 58.3	1 2.2
	肝属 保健医療圏	137 100.0	42 30.5	9 6.8	78 56.9	8 5.8
	熊毛 保健医療圏	38 100.0	11 28.3	3 7.5	22 58.1	2 6.1
	奄美 保健医療圏	88 100.0	19 21.1	9 10.0	55 62.8	6 6.3

問3-1 問1で「2. 受けなかった」と回答された方にお尋ねします。
健康診断を受けなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

	規正標本数	健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから	健康診断があることを知らなかったから	時間・場所がわからなかったから	都合がつかなかったから	健診会場までの交通手段がなかったから	受ける機会があつたが、いやだったから	費用がかかるから	医師の診療を受けていたから	その他	無回答	
												上段：度数 下段：構成比(%)
全体	585 100.0	78 13.4	29 4.9	35 6.0	185 31.6	12 2.1	59 10.1	52 9.0	233 39.8	105 17.9	17 2.9	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	272 100.0	46 16.8	10 3.6	18 6.7	72 26.6	7 2.4	24 8.8	30 11.0	98 36.2	64 23.6	3 1.0
	南薩保健医療圏	37 100.0	3 8.0	1 2.7	0 0.0	11 28.6	1 2.7	2 5.1	2 4.8	22 59.6	6 15.8	3 7.2
	川薩保健医療圏	39 100.0	2 4.9	3 7.3	5 11.9	13 33.7	1 1.6	1 1.6	3 7.3	14 37.3	6 15.0	4 9.6
	出水保健医療圏	29 100.0	5 16.0	1 4.1	1 4.1	11 38.1	1 2.4	2 5.8	3 9.5	15 52.4	3 10.2	0 0.0
	始良・伊佐保健医療圏	74 100.0	5 6.4	3 3.7	5 6.8	26 35.1	0 0.0	8 10.7	5 6.9	28 38.0	7 9.8	3 3.7
	曾於保健医療圏	30 100.0	3 9.2	3 8.6	1 4.3	10 32.0	0 0.0	5 17.2	3 9.2	16 52.1	4 11.9	1 3.0
	肝属保健医療圏	52 100.0	7 13.7	3 5.6	4 8.3	18 35.3	1 2.7	10 18.7	6 11.6	20 38.8	8 15.3	4 7.9
	熊毛保健医療圏	14 100.0	2 12.6	1 8.1	0 1.5	8 59.3	1 9.6	1 10.4	1 5.2	4 29.6	1 9.6	0 0.0
	奄美保健医療圏	38 100.0	7 17.8	4 11.5	1 1.6	16 41.6	1 1.6	6 16.5	1 1.6	14 37.7	6 16.0	1 1.3

問3-2 問1で「2. 受けなかった」と回答された方にお尋ねします。
健康診断を実施する場合、工夫してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

	規正標本数	何らかの理由で健診を受診できなかった方に対する再健診の実施	土曜日・日曜日・祝日の健診の実施	農閑期・早朝・夕方の健診の実施	セット検診(基本健診+がん検診等)の実施	健診を2〜3日連続で実施するなどし、受診しやすいようにする	相談体制を充実させ、予約しやすいようにする	その他	無回答	
										上段：度数 下段：構成比(%)
全体	585 100.0	154 26.4	175 30.0	36 6.2	197 33.6	85 14.5	131 22.4	69 11.7	82 14.1	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	272 100.0	74 27.2	86 31.6	16 5.8	94 34.5	37 13.6	62 22.8	34 12.6	29 10.5
	南薩保健医療圏	37 100.0	7 18.2	11 29.7	2 4.8	11 28.6	6 16.0	9 23.5	7 18.2	6 15.0
	川薩保健医療圏	39 100.0	14 35.2	16 42.2	3 8.0	10 26.4	6 16.3	7 17.1	1 1.6	10 26.4
	出水保健医療圏	29 100.0	7 23.5	9 28.9	2 7.8	8 28.2	2 7.8	8 27.6	5 17.7	3 9.5
	始良・伊佐保健医療圏	74 100.0	20 27.3	21 28.7	3 4.1	26 35.7	10 13.6	16 21.3	7 9.2	10 14.1
	曾於保健医療圏	30 100.0	7 21.8	8 27.1	1 4.3	9 31.0	4 11.9	8 25.7	2 7.6	4 13.2
	肝属保健医療圏	52 100.0	14 27.6	10 19.9	4 6.8	20 39.0	13 24.1	12 23.2	4 8.3	12 23.6
	熊毛保健医療圏	14 100.0	4 32.6	3 21.5	1 6.7	5 36.3	1 8.9	4 26.7	1 8.1	2 17.8
	奄美保健医療圏	38 100.0	7 18.8	12 30.1	5 12.0	13 34.0	6 15.7	7 18.1	7 19.1	6 16.2

問 4 保健所や市町村が行う保健衛生サービスで、今後、どのようなことに力を注いでほしいですか。
(○は3つまで)

上段：度数 下段：構成比(%)	規正標本数	妊娠や出産に関する相談	乳幼児の予防接種や健康診断、相談	療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施	生活習慣病の健康診断や健康相談の実施	B型、C型肝炎に関する検査や相談の実施	個人の健康状態にあわせた健康教育の実施	精神保健（心の悩みなど）についての相談	新型コロナウイルスその他の感染症、難病などについての講習会や相談	寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問	食品衛生に関する講習会	薬物乱用、禁煙等に関する講習会	NPOや民間団体等の情報提供	その他	無回答	
																2,156 100.0
全体	2,156 100.0	196 9.1	203 9.4	406 18.8	713 33.1	65 3.0	630 29.2	356 16.5	289 13.4	836 38.8	217 10.1	66 3.1	99 4.6	83 3.8	204 9.5	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	94 10.3	102 11.2	192 21.2	294 32.5	18 2.0	279 30.8	154 17.0	108 12.0	367 40.5	83 9.1	33 3.6	43 4.8	40 4.4	75 8.2
	南薩保健医療圏	174 100.0	9 5.0	9 5.2	22 12.5	54 30.8	10 5.8	51 29.2	24 13.7	25 14.3	71 40.5	20 11.2	4 2.1	6 3.3	3 1.6	22 12.9
	川薩保健医療圏	152 100.0	9 5.9	14 8.9	22 14.2	39 25.6	8 5.0	38 24.9	21 14.1	24 16.0	57 37.4	17 11.2	0 0.2	5 3.4	5 3.0	22 14.6
	出水保健医療圏	111 100.0	8 7.4	7 6.0	18 16.2	35 31.4	1 1.1	35 32.0	19 16.9	21 18.6	41 37.2	15 13.8	2 2.1	5 4.8	5 4.9	11 9.5
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	34 10.8	23 7.4	69 22.2	112 35.9	16 5.2	82 26.3	64 20.5	40 12.7	101 32.4	37 11.9	10 3.1	14 4.6	12 4.0	28 8.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	9 8.8	9 9.0	19 18.4	33 31.8	4 4.1	25 24.2	11 10.1	20 18.7	45 42.7	8 8.0	3 2.9	5 4.5	2 1.6	12 11.3
	肝属保健医療圏	202 100.0	17 8.5	24 11.9	30 14.6	74 36.5	3 1.2	60 29.6	31 15.3	27 13.3	78 38.8	19 9.2	8 4.1	10 4.9	7 3.3	18 9.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	5 9.3	5 9.9	10 18.9	22 39.4	3 4.9	20 37.2	8 14.8	5 9.0	24 43.8	7 12.3	3 4.6	3 4.6	3 5.1	2 3.7
	奄美保健医療圏	142 100.0	11 7.8	10 6.7	24 17.0	51 36.3	2 1.7	39 27.8	24 17.1	20 14.4	53 37.6	12 8.2	4 3.0	8 5.6	6 4.2	15 10.6

問 5-1 医療機関を選ぶ際に、どのような情報が必要だと思いますか。(○は3つまで)

上段：度数 下段：構成比(%)	規正標本数	病院・診療所の名称、電話番号、所在地	診療日・診療時間・診療科目（時間外・休日対応の有無を含めて）	医師等の人数や専門分野などに関すること（女性医師の有無、認定医、専門医の資格など）	提供している医療機能に関すること（医療機関で受けることのできる検査やスタッフの患者数に対する割合など）	対応できる医療サービス（在宅医療や往診の実施状況、セカンドオピニオン外来の実施又は電話等における相談窓口設置など）	医療機関の施設や設備に関する情報（身体障害者用の駐車場やトイレの有無などのバリアフリー対策、売店、対応できる言語など）	第三者による医療機関の評価（日本医療機能評価機構やISOなど）	費用に関すること（費用の支払い方法や使用できるクレジットカードの種類など）	個人情報保護のための具体的取組	交通アクセスの方法（交通手段や地図、送迎など）	その他	無回答	
														2,156 100.0
全体	2,156 100.0	769 35.7	1,233 57.2	703 32.6	656 30.4	606 28.1	162 7.5	319 14.8	246 11.4	63 2.9	416 19.3	32 1.5	90 4.2	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	347 38.3	507 55.9	314 34.6	279 30.8	253 27.9	68 7.5	163 18.0	111 12.2	16 1.7	194 21.4	19 2.0	29 3.2
	南薩保健医療圏	174 100.0	56 32.2	90 52.0	51 29.0	42 24.4	58 33.5	11 6.3	19 11.0	12 6.8	7 4.3	31 17.5	2 1.1	9 5.3
	川薩保健医療圏	152 100.0	46 30.5	83 54.4	45 29.5	39 25.9	43 28.0	17 11.3	18 11.5	22 14.4	6 3.8	33 21.7	0 0.2	10 6.5
	出水保健医療圏	111 100.0	37 33.7	70 62.9	37 33.8	32 28.6	36 32.1	7 6.2	14 12.5	9 8.0	4 3.2	16 14.7	3 2.4	3 2.6
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	116 37.1	184 59.0	93 29.8	105 33.5	79 25.3	24 7.6	52 16.5	39 12.3	15 4.6	56 17.8	2 0.5	14 4.4
	曾於保健医療圏	104 100.0	34 33.0	65 62.4	31 29.4	30 28.7	30 28.7	9 8.3	3 3.1	12 11.1	5 4.7	18 17.6	3 2.5	9 8.4
	肝属保健医療圏	202 100.0	78 38.9	117 58.2	68 33.6	69 34.2	60 29.8	11 5.3	23 11.4	24 11.9	3 1.7	35 17.2	3 1.4	7 3.4
	熊毛保健医療圏	55 100.0	15 26.6	31 55.9	19 35.3	24 43.0	17 30.4	3 5.5	8 14.3	5 8.2	3 4.8	8 13.7	1 1.1	2 2.9
	奄美保健医療圏	142 100.0	40 28.1	87 61.2	46 32.4	36 25.4	31 22.1	14 9.7	20 14.1	14 10.2	5 3.3	27 18.9	1 0.9	8 5.4

問 5-2 医療機関を選ぶ際に、どこから情報を集めますか。(〇は3つまで)

	規正 標本数	家族・友人などからの 口コミ情報	かかりつけ医などか らの紹介	出版 物	イン ター ネッ ト	行政 機 関 が 提 供 す る 情 報 (市 町 村 の 広 報 誌 な ど)	そ の 他	無 回 答	
									上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	1,604 74.4	1,269 58.9	62 2.9	993 46.1	353 16.4	37 1.7	50 2.3	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	677 74.7	504 55.7	32 3.5	504 55.7	124 13.7	18 2.0	14 1.5
	南薩 保健医療圏	174 100.0	127 73.0	114 65.6	5 2.9	45 25.8	36 20.8	4 2.1	4 2.1
	川薩 保健医療圏	152 100.0	116 76.4	95 62.5	5 3.2	60 39.1	18 11.9	3 1.6	2 1.4
	出水 保健医療圏	111 100.0	78 70.4	77 69.8	2 1.7	36 32.9	27 24.1	2 2.1	4 3.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	226 72.3	178 56.9	7 2.1	151 48.2	57 18.1	7 2.1	5 1.4
	曾於 保健医療圏	104 100.0	66 63.0	63 60.9	3 3.1	36 34.3	10 10.0	1 0.9	10 9.2
	肝属 保健医療圏	202 100.0	160 79.6	118 58.5	5 2.4	92 45.9	45 22.4	1 0.7	2 1.2
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	42 76.7	38 70.0	2 3.1	21 38.6	11 19.4	1 1.1	3 5.1
	奄美 保健医療圏	142 100.0	112 79.4	82 57.6	2 1.7	49 34.3	25 17.5	2 1.1	7 5.1

問 6 あなたの地域（一般的に通勤や通学ができたり、少し遠出の買物をするくらいの範囲）で、不自由を感じている診療科目等がありますか。(〇はいくつでも)

	規正 標本数	内科	呼 吸 器 内 科	消 化 器 内 科	循 環 器 内 科	神 経 内 科	小 児 科	精 神 科 ・ 心 療 内 科	外 科	整 形 外 科	形 成 外 科 ・ 美 容 外 科	
												上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	129 6.0	119 5.5	87 4.1	141 6.5	106 4.9	145 6.7	170 7.9	124 5.8	271 12.6	79 3.6	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	54 6.0	41 4.5	29 3.2	40 4.4	45 5.0	40 4.4	45 5.0	40 4.4	89 9.8	14 1.6
	南薩 保健医療圏	174 100.0	9 4.9	13 7.5	8 4.4	14 8.2	8 4.5	15 8.6	9 5.1	11 6.5	22 12.8	8 4.4
	川薩 保健医療圏	152 100.0	2 1.4	4 2.8	7 4.5	12 8.1	5 3.3	4 2.7	13 8.7	11 7.0	24 15.8	3 1.8
	出水 保健医療圏	111 100.0	7 6.2	10 8.7	6 5.3	9 7.7	5 4.7	9 7.8	15 13.8	3 2.8	21 18.6	2 2.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	16 5.0	14 4.5	7 2.1	21 6.8	15 4.6	20 6.4	28 8.9	19 5.9	43 13.6	14 4.4
	曾於 保健医療圏	104 100.0	4 3.7	9 8.6	2 2.1	11 10.7	3 3.3	14 13.2	12 11.1	8 8.1	9 8.7	4 3.7
	肝属 保健医療圏	202 100.0	18 8.8	11 5.3	15 7.3	11 5.7	10 4.9	14 7.1	21 10.3	11 5.6	24 11.7	17 8.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	8 14.5	7 12.3	5 9.3	7 12.6	5 9.9	8 13.7	9 16.5	9 15.6	16 28.9	9 16.3
	奄美 保健医療圏	142 100.0	12 8.7	11 7.4	10 6.7	16 11.0	10 7.1	22 15.3	19 13.2	12 8.8	24 16.7	8 5.7

	規正標本数	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	産婦人科(産科・婦人科)	眼科	耳鼻いんこう科	食道外科	皮膚科	泌尿器科・性感染症内科	
		上段：度数 下段：構成比(%)										
全体	2,156 100.0	209 9.7	70 3.3	150 7.0	86 4.0	292 13.5	409 19.0	312 14.5	75 3.5	340 15.8	134 6.2	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	67 7.4	18 1.9	37 4.1	15 1.6	75 8.3	141 15.5	87 9.6	25 2.8	109 12.0	42 4.6
	南薩 保健医療圏	174 100.0	25 14.1	4 2.2	18 10.3	8 4.4	34 19.4	29 16.5	17 9.9	5 2.9	20 11.5	22 12.5
	川薩 保健医療圏	152 100.0	16 10.2	4 2.6	13 8.4	7 4.5	20 12.9	28 18.4	16 10.8	3 2.2	25 16.5	13 8.5
	出水 保健医療圏	111 100.0	11 9.6	4 3.8	12 11.1	8 7.1	21 19.3	30 27.2	20 18.1	2 2.2	29 26.5	5 4.3
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	27 8.6	11 3.6	24 7.8	14 4.4	30 9.7	37 11.9	45 14.3	13 4.1	32 10.4	18 5.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	17 16.4	4 3.8	9 8.3	6 5.4	22 20.9	28 27.1	10 9.9	5 5.0	21 20.2	5 4.9
	肝属 保健医療圏	202 100.0	20 9.8	12 6.1	11 5.4	8 3.9	46 22.8	43 21.3	46 23.0	8 4.1	41 20.4	10 4.7
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	11 19.4	5 9.0	11 19.6	6 11.0	9 15.9	21 38.6	19 35.5	4 7.7	22 39.6	6 11.7
	奄美 保健医療圏	142 100.0	16 11.6	8 5.8	16 11.1	15 10.5	36 25.2	52 37.0	51 36.3	9 6.0	41 29.0	14 9.6

	規正標本数	肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	歯科	薬局	その他	不自由を感じているものはない	無回答	
		上段：度数 下段：構成比(%)									
全体	2,156 100.0	99 4.6	94 4.3	49 2.3	35 1.6	125 5.8	52 2.4	38 1.8	781 36.2	133 6.2	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	34 3.8	36 4.0	13 1.4	9 1.0	57 6.3	17 1.9	20 2.2	409 45.2	43 4.8
	南薩 保健医療圏	174 100.0	10 5.8	12 6.9	5 2.9	4 2.4	5 2.7	3 1.7	4 2.2	47 27.0	14 7.8
	川薩 保健医療圏	152 100.0	8 5.5	8 5.2	4 2.4	1 0.3	6 4.2	6 3.6	1 0.9	50 32.9	12 8.0
	出水 保健医療圏	111 100.0	6 5.8	3 3.1	5 4.9	3 2.4	2 1.6	1 1.0	0 0.0	27 24.8	11 9.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	15 4.7	10 3.0	2 0.6	4 1.2	13 4.2	8 2.5	4 1.2	127 40.6	24 7.6
	曾於 保健医療圏	104 100.0	6 5.4	4 3.9	3 2.9	3 2.5	1 0.6	1 0.6	2 2.1	22 21.4	11 10.9
	肝属 保健医療圏	202 100.0	7 3.3	6 3.1	7 3.7	3 1.6	10 4.8	5 2.4	3 1.6	65 32.3	9 4.5
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	5 9.9	5 9.5	4 7.1	2 4.0	13 23.4	3 5.7	4 6.4	3 6.0	1 2.0
	奄美 保健医療圏	142 100.0	8 5.4	9 6.6	6 4.0	7 5.2	19 13.6	9 6.5	1 0.4	30 21.5	8 5.7

問7 歯科医療や歯科保健について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

上段：度数 下段：構成比(%)	規正標本数	地域や職場での健康診断にも歯科を含めること	歯の健康指導や予防サービスの充実	休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実	障害者への歯科保健医療提供体制の充実	在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実	園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実	歯科の巡回診療の充実	その他	無回答	
全体	2,156 100.0	646 30.0	589 27.3	1,197 55.5	200 9.3	423 19.6	291 13.5	218 10.1	78 3.6	172 8.0	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	268 29.6	267 29.5	518 57.2	85 9.4	191 21.1	120 13.3	94 10.4	27 3.0	63 6.9
	南薩保健医療圏	174 100.0	47 26.7	45 25.9	92 52.6	14 7.8	35 20.1	21 12.0	17 9.5	8 4.7	22 12.7
	川薩保健医療圏	152 100.0	47 31.1	31 20.6	92 60.3	12 7.8	30 19.8	15 9.8	15 9.8	7 4.5	16 10.2
	出水保健医療圏	111 100.0	25 22.6	23 20.5	58 52.7	13 11.7	22 19.5	15 13.9	9 8.3	5 4.1	12 10.6
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	99 31.6	82 26.3	167 53.4	22 7.1	43 13.7	44 14.0	33 10.6	11 3.7	21 6.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	28 27.3	29 27.5	55 53.0	7 6.6	21 19.7	15 14.2	6 5.8	4 4.1	10 9.2
	肝属保健医療圏	202 100.0	75 37.0	60 29.8	112 55.7	23 11.2	42 20.9	33 16.3	19 9.2	6 3.1	14 6.7
	熊毛保健医療圏	55 100.0	17 30.2	14 24.9	30 54.6	5 8.4	11 20.1	7 13.0	9 16.5	5 8.2	4 6.6
	奄美保健医療圏	142 100.0	41 29.3	38 27.1	73 51.7	20 14.4	28 19.7	21 14.8	17 11.8	6 3.9	12 8.7

問8 現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関がありますか。（子どもさんが定期的に通院されており、医療機関に連れて行っている場合も含まれます。）

上段：度数 下段：構成比(%)	規正標本数	ある	ない	無回答	
全体	2,156 100.0	1,229 57.0	897 41.6	29 1.4	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	505 55.8	389 42.9	12 1.3
	南薩保健医療圏	174 100.0	111 63.9	57 32.9	6 3.2
	川薩保健医療圏	152 100.0	99 65.0	53 34.6	1 0.4
	出水保健医療圏	111 100.0	69 62.8	40 35.9	1 1.3
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	177 56.9	134 42.9	1 0.3
	曾於保健医療圏	104 100.0	56 53.7	47 44.9	2 1.6
	肝属保健医療圏	202 100.0	114 56.6	86 42.5	2 0.8
	熊毛保健医療圏	55 100.0	22 40.1	32 59.0	1 1.1
	奄美保健医療圏	142 100.0	75 53.3	61 43.0	5 3.7

問9 問8で「1. ある」と回答された方にお尋ねします。
その医療機関へは、通常、どのような交通手段で行きますか。(〇は1つ)

	規正 標本数	自家用車	家族の送迎	公共交通機関(バス、電車、船など)	タクシー	NPO等による福祉有償バスなど	その他	無回答	
									上段: 度数 下段: 構成比(%)
全体	1,229 100.0	876 71.2	131 10.7	78 6.3	39 3.2	2 0.2	66 5.3	37 3.0	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	505 100.0	321 63.5	43 8.6	61 12.0	28 5.6	0 0.0	37 7.3	15 3.0
	南薩保健医療圏	111 100.0	89 79.8	12 10.6	3 2.6	2 1.5	0 0.0	4 3.7	2 1.8
	川薩保健医療圏	99 100.0	79 79.8	8 7.8	1 1.4	2 2.0	1 1.4	6 5.9	2 1.7
	出水保健医療圏	69 100.0	58 83.3	8 11.7	1 1.0	1 1.7	0 0.0	1 1.7	1 0.7
	始良・伊佐保健医療圏	177 100.0	129 72.6	32 18.2	1 0.7	4 2.0	0 0.0	4 2.5	7 4.0
	曾於保健医療圏	56 100.0	44 78.7	6 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.3	2 3.0
	肝属保健医療圏	114 100.0	90 79.2	10 8.5	4 3.2	1 1.2	1 0.4	4 3.5	4 3.8
	熊毛保健医療圏	22 100.0	15 66.7	3 11.4	3 14.2	0 1.8	0 0.0	1 3.2	1 4.1
	奄美保健医療圏	75 100.0	51 68.2	10 13.1	4 5.7	1 1.5	0 0.0	5 6.1	4 5.6

問10 もしあなたが入院することになった場合、どのようなことについて説明を受けたいですか。(〇は3つまで)

	規正 標本数	入院に当たっての 続や準備	入院中の治療内容、 治療方針、治療計画	入院治療に要する 費用の見込み	入院中の食事時間や 面会可能時間	入院中の看護・介護 体制	退院までに要する日 数の見込み	退院後の療養やケア の内容	その他	無回答	
											上段: 度数 下段: 構成比(%)
全体	2,156 100.0	926 43.0	1,611 74.7	1,272 59.0	129 6.0	285 13.2	919 42.6	581 26.9	20 0.9	73 3.4	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	374 41.3	683 75.4	556 61.4	58 6.4	123 13.6	394 43.5	242 26.7	10 1.1	31 3.4
	南薩保健医療圏	174 100.0	74 42.8	128 73.8	92 52.7	6 3.7	26 15.1	67 38.8	54 31.1	1 0.6	8 4.4
	川薩保健医療圏	152 100.0	75 49.4	106 69.6	96 62.7	11 7.3	19 12.2	57 37.4	38 25.2	0 0.2	7 4.4
	出水保健医療圏	111 100.0	49 44.6	88 79.6	52 46.9	3 2.5	16 14.7	45 40.9	31 28.0	0 0.0	7 6.5
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	138 44.3	238 76.4	193 61.9	18 5.6	28 9.0	131 42.1	84 27.0	6 1.8	5 1.7
	曾於保健医療圏	104 100.0	50 47.7	72 69.5	65 62.4	9 8.6	15 14.8	44 42.2	25 24.0	1 1.2	4 3.4
	肝属保健医療圏	202 100.0	82 40.7	149 73.8	116 57.4	9 4.3	26 12.9	87 43.4	61 30.2	0 0.0	7 3.6
	熊毛保健医療圏	55 100.0	22 39.4	45 81.5	30 54.6	2 3.8	8 14.1	28 51.3	12 22.7	0 0.0	1 1.6
	奄美保健医療圏	142 100.0	62 43.5	101 71.7	73 51.7	14 9.9	24 16.7	64 45.4	33 23.2	2 1.1	4 3.0

問 11 在院日数の短縮化が一般的になり、病院から在宅への移行が推進されていますが、あなたが入院し退院することになった場合、どのようなことについて説明が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

上段：度数 下段：構成比(%)	規正 標本数	退院に 当たっての 手続や準備	退院後の 治療方針、 治療計画	退院後に 要する治療 費等の見込み	退院後に 要する自己 負担の軽減 制度等につ いて	退院後の 日常生活の 過ごし方や 通院方法 について	退院後の 食生活につ いて	退院後に 受けられる 医療・介護 サービス等 について	退院後の 相談窓口 について	退院後の 家族や支 援者の役割 や支援方法 について	退院後の 病気の再 発や急病時 の対応につ いて	その他	無回 答	
														2,156
全体	100.0	17.6	65.7	22.6	27.2	32.8	9.1	34.0	8.4	7.6	39.6	0.9	3.2	
二次保 健医 療圏 別	鹿児島 保健医療圏	906	147	601	221	247	286	82	318	80	61	346	14	30
	南薩 保健医療圏	174	25	123	27	37	59	21	63	13	14	68	1	4
	川薩 保健医療圏	152	33	98	43	41	52	20	39	7	11	55	0	6
	出水 保健医療圏	111	19	67	16	29	37	12	40	6	7	53	0	9
	始良・伊佐 保健医療圏	312	65	210	76	76	101	23	102	30	30	127	0	8
	曾於 保健医療圏	104	19	65	21	35	31	11	31	6	10	45	2	4
	肝属 保健医療圏	202	35	131	44	60	72	11	76	22	17	81	0	3
	熊毛 保健医療圏	55	8	35	9	19	20	6	17	6	4	24	0	1
	奄美 保健医療圏	142	29	88	30	40	52	10	47	11	10	56	1	5
	規正 標本数	100.0	20.1	61.9	21.4	28.6	36.5	7.1	33.4	7.5	7.0	39.4	0.6	3.6

問 12 あなたはかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を決めていますか。(〇はそれぞれ1つ)

■ かかりつけ医

上段：度数 下段：構成比(%)	規正 標本数	決 めて い る	現 在 は 決 め て い な い が、 決 め たい と 思 う	決 め て い な い し、 必 要 と 思 わ な い	無 回 答	
全体	2,156	1,419	598	93	46	
	100.0	65.8	27.7	4.3	2.1	
二次保 健医 療圏 別	鹿児島 保健医療圏	906	560	286	40	19
	南薩 保健医療圏	174	133	32	6	4
	川薩 保健医療圏	152	122	22	4	5
	出水 保健医療圏	111	84	25	0	2
	始良・伊佐 保健医療圏	312	208	83	19	3
	曾於 保健医療圏	104	66	33	3	3
	肝属 保健医療圏	202	124	67	7	3
	熊毛 保健医療圏	55	33	16	4	2
	奄美 保健医療圏	142	92	34	11	5
	規正 標本数	100.0	64.8	24.2	7.7	3.3

■ かかりつけ歯科医

上段：度数 下段：構成比(%)		規正 標本 数	決 め て い る	現 在 は 決 め て い な い が、 決 め たい と 思 う	決 め て い な い し、 必 要 と は 思 わ な い	無 回 答
全体		2,156 100.0	1,394 64.7	508 23.6	115 5.4	139 6.4
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	571 63.0	232 25.6	56 6.2	48 5.3
	南薩保健医療圏	174 100.0	121 69.4	31 17.8	10 5.6	13 7.4
	川薩保健医療圏	152 100.0	103 67.3	27 17.9	5 3.0	18 11.9
	出水保健医療圏	111 100.0	81 72.9	21 19.2	1 1.1	8 6.8
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	210 67.4	63 20.2	16 5.1	23 7.3
	曾於保健医療圏	104 100.0	69 66.5	26 24.7	6 5.9	3 3.1
	肝属保健医療圏	202 100.0	127 62.8	59 29.3	8 3.8	8 4.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	34 61.4	16 28.8	3 4.8	3 5.1
	奄美保健医療圏	142 100.0	80 56.6	34 24.0	12 8.6	16 11.0

■ かかりつけ薬局

上段：度数 下段：構成比(%)		規正 標本 数	決 め て い る	現 在 は 決 め て い な い が、 決 め たい と 思 う	決 め て い な い し、 必 要 と は 思 わ な い	無 回 答
全体		2,156 100.0	922 42.8	662 30.7	415 19.2	158 7.3
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	333 36.8	305 33.7	203 22.4	65 7.1
	南薩保健医療圏	174 100.0	106 60.9	36 20.9	20 11.4	12 7.0
	川薩保健医療圏	152 100.0	79 51.9	35 22.8	22 14.3	17 11.1
	出水保健医療圏	111 100.0	54 48.7	31 28.1	19 16.7	7 6.3
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	130 41.7	99 31.8	62 19.9	21 6.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	42 40.6	40 37.9	16 15.3	7 6.2
	肝属保健医療圏	202 100.0	85 42.4	68 33.8	38 18.9	9 4.7
	熊毛保健医療圏	55 100.0	28 51.8	17 31.0	6 10.8	4 6.6
	奄美保健医療圏	142 100.0	64 45.0	31 21.9	30 20.9	17 12.2

問 13-1

あなたは、かかりつけ薬局では必要に応じ夜間や休日にも対応することを知っていますか。
(○は1つ)

		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	363 16.9	1,747 81.0	45 2.1
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	150 16.6	733 80.9	23 2.5
	南薩 保健医療圏	174 100.0	29 16.7	144 82.9	1 0.5
	川薩 保健医療圏	152 100.0	36 23.4	114 74.7	3 2.0
	出水 保健医療圏	111 100.0	27 24.4	82 73.8	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	53 17.0	254 81.4	5 1.6
	曾於 保健医療圏	104 100.0	12 11.9	90 86.2	2 1.8
	肝属 保健医療圏	202 100.0	26 12.8	175 86.7	1 0.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	10 18.9	42 77.1	2 4.0
	奄美 保健医療圏	142 100.0	20 14.1	115 80.9	7 4.9

問 13-2

あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が医療機関で処方された薬や市販薬など服用しているすべての薬の情報を一元的・継続的に把握し、薬の重複や飲み合わせ、副作用がないかなどを確認して服薬に関する説明をすることを知っていますか。(○は1つ)

		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	1,483 68.8	621 28.8	53 2.4
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	593 65.4	287 31.6	27 2.9
	南薩 保健医療圏	174 100.0	141 80.9	30 17.1	4 2.0
	川薩 保健医療圏	152 100.0	107 70.5	42 27.2	3 2.2
	出水 保健医療圏	111 100.0	85 76.8	24 21.3	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	219 70.3	88 28.1	5 1.6
	曾於 保健医療圏	104 100.0	77 73.7	24 23.2	3 3.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	143 70.9	58 28.6	1 0.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	37 68.3	16 28.6	2 2.9
	奄美 保健医療圏	142 100.0	81 57.2	54 38.2	6 4.5

問 13-3

あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が処方内容を確認し必要に応じ、医師に問い合わせ
て処方内容の変更を提案したり、服用期間中の患者の体調変化（副作用）などについて医師
へ情報提供するなど、地域の医療機関と連携して患者を支える体制を作っていることを知っ
ていますか。（○は1つ）

上段：度数 下段：構成比(%)		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
全体		2,156 100.0	1,107 51.3	982 45.6	67 3.1
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	445 49.1	425 47.0	36 4.0
	南薩 保健医療圏	174 100.0	102 58.4	72 41.1	1 0.5
	川薩 保健医療圏	152 100.0	90 59.3	57 37.1	6 3.6
	出水 保健医療圏	111 100.0	63 56.7	46 41.6	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	160 51.4	145 46.5	7 2.1
	曾於 保健医療圏	104 100.0	56 53.5	45 43.3	3 3.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	103 50.9	96 47.4	3 1.5
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	31 56.8	22 40.3	2 2.9
	奄美 保健医療圏	142 100.0	58 40.9	75 53.1	9 6.1

問 13-4

あなたは、かかりつけ薬剤師制度（※）のことを知っていますか。（○は1つ）
※ かかりつけ薬剤師制度とは、いつも利用する薬局の中で、服用している薬の管理や相談
ができ、健康の相談にも応じる薬剤師で、あなた自身がその薬剤師を選択する制度のこと
です。

上段：度数 下段：構成比(%)		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
全体		2,156 100.0	605 28.0	1,493 69.3	58 2.7
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	238 26.3	640 70.6	28 3.0
	南薩 保健医療圏	174 100.0	52 30.0	119 68.5	3 1.6
	川薩 保健医療圏	152 100.0	55 36.4	92 60.2	5 3.4
	出水 保健医療圏	111 100.0	34 30.9	74 67.3	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	98 31.3	210 67.1	5 1.6
	曾於 保健医療圏	104 100.0	33 31.6	68 65.3	3 3.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	49 24.3	151 74.9	2 0.7
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	14 25.3	40 72.3	1 2.4
	奄美 保健医療圏	142 100.0	32 22.5	100 70.7	10 6.9

問 14-1 あなたは、自宅での医療や介護を受け入れるためには特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

	規正標本数	病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている	介護をする家族がいる	介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなならない体制(介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む)が整っている	経済的負担が大きくなならない	本人や家族の相談体制が整っている	往診できる医師がいる	往診できる歯科医師がいる	ホームヘルパーによる訪問介護体制が整っている	
										上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	1,385 64.2	370 17.2	1,234 57.2	800 37.1	238 11.0	512 23.7	20 0.9	207 9.6	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	601 66.4	128 14.2	527 58.1	364 40.2	100 11.0	212 23.4	8 0.9	85 9.4
	南薩保健医療圏	174 100.0	116 66.5	29 16.4	93 53.2	48 27.5	13 7.5	53 30.5	2 1.2	16 9.1
	川薩保健医療圏	152 100.0	94 61.8	41 27.2	86 56.7	52 34.3	16 10.6	38 25.0	2 1.1	14 9.1
	出水保健医療圏	111 100.0	61 54.8	17 15.0	69 62.4	40 36.3	15 13.3	22 20.2	1 1.1	9 8.1
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	202 64.9	58 18.6	181 58.0	119 38.0	39 12.4	72 23.1	3 0.9	22 7.0
	曾於保健医療圏	104 100.0	67 64.3	19 17.9	53 51.0	42 40.1	9 8.3	18 17.0	0 0.0	15 14.4
	肝属保健医療圏	202 100.0	132 65.6	41 20.5	112 55.3	75 37.0	24 11.7	50 24.7	1 0.7	24 11.7
	熊毛保健医療圏	55 100.0	31 56.8	9 16.5	29 53.3	16 28.9	6 10.4	15 28.0	1 2.0	8 14.3
	奄美保健医療圏	142 100.0	81 57.3	28 19.9	85 59.9	45 32.1	18 13.0	31 21.9	1 0.9	15 10.6

	規正標本数	看護師等による訪問看護体制が整っている	薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている	管理栄養士による食支援体制が整っている	夜間・休日の医療や介護体制が整っている	地域ぐるみの支援体制が整っている	その他	無回答	
									上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	243 11.3	11 0.5	33 1.6	519 24.1	123 5.7	21 1.0	102 4.7	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	107 11.8	3 0.4	19 2.0	203 22.4	52 5.7	8 0.8	47 5.2
	南薩保健医療圏	174 100.0	19 10.6	1 0.5	5 2.9	47 26.9	12 6.7	3 1.6	5 2.9
	川薩保健医療圏	152 100.0	12 7.9	1 0.4	0 0.2	34 22.6	5 3.3	4 2.4	10 6.5
	出水保健医療圏	111 100.0	20 18.1	0 0.0	2 2.1	19 16.8	9 8.0	2 1.7	5 4.8
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	33 10.4	2 0.5	2 0.8	82 26.4	24 7.8	2 0.5	9 2.9
	曾於保健医療圏	104 100.0	12 11.9	0 0.0	0 0.0	25 24.2	4 3.9	1 1.2	7 6.8
	肝属保健医療圏	202 100.0	18 8.7	1 0.7	2 0.8	59 29.4	11 5.6	0 0.0	4 2.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	9 15.6	0 0.4	1 1.6	16 29.3	4 6.4	1 1.3	3 5.9
	奄美保健医療圏	142 100.0	15 10.3	3 2.1	2 1.6	34 24.0	3 1.8	1 0.8	11 7.8

問 14-2 あなたが、入院以外の医療や介護を受けたい場所はどこですか。(○は1つ)

		規正標本数	高齢者や障害者の支援施設	高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど	高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅	自宅	その他	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	390 18.1	314 14.6	366 17.0	976 45.3	24 1.1	86 4.0
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	165 18.2	103 11.4	168 18.5	423 46.7	8 0.8	39 4.3
	南薩保健医療圏	174 100.0	27 15.8	31 17.8	35 20.1	71 40.9	3 1.7	6 3.7
	川薩保健医療圏	152 100.0	30 19.4	32 21.2	27 17.5	54 35.7	2 1.1	8 5.1
	出水保健医療圏	111 100.0	17 15.4	14 12.9	22 19.8	52 46.7	1 1.1	5 4.1
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	51 16.3	46 14.8	46 14.6	160 51.3	1 0.4	8 2.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	21 20.3	26 24.5	10 9.7	40 38.6	1 0.9	7 6.2
	肝属保健医療圏	202 100.0	50 24.7	34 16.8	32 15.9	79 39.0	5 2.3	3 1.3
	熊毛保健医療圏	55 100.0	11 19.2	10 18.5	6 10.4	24 44.5	1 2.4	3 5.5
	奄美保健医療圏	142 100.0	19 13.5	18 12.5	21 14.6	73 51.4	3 2.1	9 6.1

問 14-3 あなたは、ご家族の介護が必要となったとき、実際にはどうされると思いますか。(○は1つ)

		規正標本数	高齢者や障害者の支援施設に入居させる	高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる	高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅で介護する	自宅で介護する	その他	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	630 29.2	468 21.7	200 9.3	659 30.5	127 5.9	72 3.3
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	267 29.5	177 19.5	103 11.4	268 29.6	58 6.4	32 3.5
	南薩保健医療圏	174 100.0	49 28.3	37 21.1	18 10.1	48 27.7	16 9.3	7 3.7
	川薩保健医療圏	152 100.0	51 33.4	40 25.9	10 6.7	46 29.9	2 1.6	4 2.5
	出水保健医療圏	111 100.0	31 27.9	21 19.1	7 6.7	39 35.5	8 7.5	4 3.3
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	82 26.4	68 21.8	26 8.4	111 35.5	16 5.1	9 2.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	34 32.9	28 26.7	12 11.3	20 19.5	8 7.2	3 2.5
	肝属保健医療圏	202 100.0	59 29.3	60 29.9	8 4.2	60 29.6	9 4.3	5 2.6
	熊毛保健医療圏	55 100.0	17 30.2	12 22.0	3 5.3	19 35.0	2 4.0	2 4.2
	奄美保健医療圏	142 100.0	40 28.3	26 18.5	13 9.4	48 33.7	7 5.1	7 4.9

問 15-1 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等（※）や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。（○は1つ）

※ 「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます。

		規正 標本 数	詳 しく 話 し 合 っ て い る	一 応 話 し 合 っ て い る	全 く 話 し 合 っ て い な い	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)						
全体		2,156 100.0	73 3.4	690 32.0	1,343 62.3	50 2.3
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	35 3.9	291 32.1	559 61.8	21 2.3
	南薩 保健医療圏	174 100.0	3 1.7	67 38.3	101 57.8	4 2.1
	川薩 保健医療圏	152 100.0	6 3.9	50 32.9	90 59.2	6 4.1
	出水 保健医療圏	111 100.0	1 1.1	32 29.2	75 68.0	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	19 5.9	94 30.2	195 62.4	4 1.4
	曾於 保健医療圏	104 100.0	2 2.2	38 36.5	62 59.2	2 2.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	3 1.4	54 27.0	138 68.2	7 3.2
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	2 2.9	17 31.3	35 64.1	1 2.2
	奄美 保健医療圏	142 100.0	3 1.9	47 33.0	89 62.9	3 2.2

問 15-2 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいと思いますか。（○は1つ）

		規正 標本 数	受 け た い	受 け た く な い	わ か ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)						
全体		2,156 100.0	1,729 80.2	51 2.4	324 15.0	52 2.4
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	750 82.8	15 1.7	119 13.1	22 2.4
	南薩 保健医療圏	174 100.0	135 77.8	1 0.5	32 18.3	6 3.3
	川薩 保健医療圏	152 100.0	116 76.0	7 4.5	24 16.0	6 3.6
	出水 保健医療圏	111 100.0	85 76.8	3 3.1	20 17.6	3 2.4
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	258 82.6	6 1.9	46 14.7	2 0.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	76 72.9	7 7.0	19 18.1	2 2.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	156 77.3	6 3.1	34 16.7	6 2.9
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	44 80.2	2 2.9	8 13.7	2 3.3
	奄美 保健医療圏	142 100.0	110 77.5	4 2.5	24 16.9	4 3.0

問 15-3 説明を受けたくない、あるいはわからない理由は何ですか。(○は1つ)

		規正 標本数	怖いから	医師の判断に任せるだろ うから	家族の判断に任せるだろ うから	治る見込みがなければ聞 いても意味がないから	その他	無回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		375 100.0	94 25.2	98 26.1	99 26.3	50 13.4	19 5.1	15 4.0
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	134 100.0	39 28.7	29 21.9	36 26.7	15 11.3	10 7.4	5 3.8
	南薩保健医療圏	33 100.0	6 17.1	8 24.1	12 37.5	4 12.5	1 3.0	2 5.8
	川薩保健医療圏	31 100.0	8 24.4	10 32.1	7 20.8	4 12.8	2 5.4	1 4.5
	出水保健医療圏	23 100.0	9 38.0	6 26.6	6 25.3	1 5.2	0 0.0	1 5.2
	始良・伊佐保健医療圏	52 100.0	13 25.1	14 26.5	13 24.2	8 15.3	1 2.3	3 6.4
	曾於保健医療圏	26 100.0	6 23.1	10 38.8	5 20.0	4 15.8	1 3.5	0 0.0
	肝属保健医療圏	40 100.0	6 14.1	11 28.2	11 27.0	8 19.4	3 7.3	2 4.3
	熊毛保健医療圏	9 100.0	2 25.6	2 20.0	3 34.4	1 7.8	1 12.2	0 2.2
	奄美保健医療圏	27 100.0	7 27.0	7 27.0	7 24.5	5 19.7	1 2.2	0 0.0

問 15-4 あなたは、どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

		規正 標本数	自宅	医療機 関	特養・老健等の介護保 険施設	グル ープ ホーム	その他	無回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	1,052 48.8	782 36.3	163 7.6	56 2.6	25 1.2	77 3.6
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	452 49.9	342 37.8	53 5.9	16 1.7	11 1.2	32 3.5
	南薩保健医療圏	174 100.0	79 45.5	64 37.0	20 11.3	5 2.9	2 1.3	4 2.1
	川薩保健医療圏	152 100.0	72 47.2	55 35.8	13 8.5	3 1.8	2 1.2	8 5.4
	出水保健医療圏	111 100.0	49 43.9	42 38.2	12 10.4	2 1.7	0 0.0	6 5.8
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	162 52.1	112 35.9	19 6.1	12 3.9	4 1.3	3 0.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	39 37.1	45 42.9	9 8.3	7 6.8	0 0.0	5 5.0
	肝属保健医療圏	202 100.0	92 45.8	69 34.2	20 10.1	7 3.4	3 1.3	10 5.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	25 46.2	18 32.8	6 10.3	2 2.9	2 3.5	3 4.8
	奄美保健医療圏	142 100.0	82 57.7	35 24.9	12 8.6	3 2.3	2 1.5	7 5.2

問 15-5 あなたは、ご自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

	規正標本数	自宅	自宅から緩和ケア病棟(終末期等における症状を和らげることを目的とした病棟)	緩和ケア病棟から自宅	医療機関	医療機関から緩和ケア病棟	特養・老健等の介護保険施設	グループホーム	その他	無回答	
											上段：度数
全体	2,156	918	441	145	234	199	63	23	54	79	
	100.0	42.6	20.5	6.7	10.8	9.2	2.9	1.1	2.5	3.6	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906	369	208	41	108	89	23	10	25	33
		100.0	40.8	22.9	4.6	11.9	9.8	2.6	1.1	2.7	3.6
	南薩保健医療圏	174	64	39	17	11	21	12	1	4	5
		100.0	36.6	22.5	9.9	6.1	12.2	6.7	0.7	2.2	3.0
	川薩保健医療圏	152	62	43	8	12	11	4	2	3	7
		100.0	41.0	28.2	5.3	8.1	7.4	2.9	1.1	1.6	4.5
	出水保健医療圏	111	50	22	7	11	11	5	1	2	3
		100.0	45.2	19.5	6.5	10.1	9.5	4.3	0.6	1.6	2.6
	始良・伊佐保健医療圏	312	148	58	24	33	28	3	3	8	8
		100.0	47.3	18.7	7.6	10.5	8.9	1.0	0.9	2.6	2.7
曾於保健医療圏	104	41	20	10	17	5	3	3	2	4	
	100.0	39.5	19.4	9.1	16.6	5.1	2.5	2.7	1.4	3.7	
肝属保健医療圏	202	90	29	17	19	21	10	2	4	10	
	100.0	44.7	14.4	8.5	9.2	10.4	4.8	0.8	2.1	4.9	
熊毛保健医療圏	55	23	7	7	7	6	0	1	1	3	
	100.0	42.5	12.6	12.3	13.4	11.7	0.7	2.0	0.9	4.6	
奄美保健医療圏	142	70	15	15	16	7	3	2	7	7	
	100.0	49.8	10.7	10.3	11.4	4.9	2.4	1.1	4.7	4.7	

問 15-6 残された日々を自宅で過ごす場合、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

	規正標本数	医師の定期的な往診	看護師の定期的な訪問看護	歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援	薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援	管理栄養士の定期的な訪問による食の支援	緊急時の受け入れ医療機関	介護	ホームヘルパーの定期的な訪問	ボランティアによる支援	地域の保健師による支援	家族の理解	ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援	その他	無回答
全体	2,156	1,306	718	89	40	108	1,019	520	28	72	1,134	315	29	69	
	100.0	60.6	33.3	4.1	1.9	5.0	47.3	24.1	1.3	3.4	52.6	14.6	1.3	3.2	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906	531	304	46	14	52	442	228	16	33	471	119	13	28
		100.0	58.6	33.6	5.1	1.6	5.7	48.8	25.2	1.7	3.6	52.0	13.1	1.5	3.1
	南薩保健医療圏	174	106	60	8	3	7	82	39	0	5	75	25	2	8
		100.0	61.2	34.7	4.7	1.8	4.1	47.4	22.4	0.0	3.0	43.1	14.4	1.1	4.6
	川薩保健医療圏	152	92	52	5	1	6	72	39	1	3	75	24	1	7
		100.0	60.7	33.9	3.0	0.4	4.1	47.5	25.8	0.9	1.7	49.3	16.0	0.9	4.9
	出水保健医療圏	111	69	31	5	0	8	47	28	0	2	56	26	1	4
		100.0	62.1	28.3	4.3	0.0	6.9	42.5	24.9	0.0	1.7	50.4	23.5	0.5	3.3
	始良・伊佐保健医療圏	312	212	115	9	12	11	147	72	0	13	171	40	3	6
		100.0	67.8	37.0	2.8	3.8	3.6	47.1	23.2	0.0	4.1	54.8	12.9	0.9	2.1
曾於保健医療圏	104	61	32	2	3	4	52	28	1	3	57	14	1	4	
	100.0	58.5	30.4	1.6	2.5	3.9	49.5	26.7	0.9	2.9	54.3	13.6	0.9	4.1	
肝属保健医療圏	202	120	62	6	3	11	93	41	5	8	121	30	4	5	
	100.0	59.5	30.9	3.0	1.4	5.3	46.1	20.1	2.5	4.1	60.0	14.6	2.1	2.7	
熊毛保健医療圏	55	29	17	2	1	3	23	13	1	1	30	11	2	2	
	100.0	53.3	30.8	4.0	2.0	4.8	42.9	23.3	2.6	2.4	54.4	20.5	2.9	3.5	
奄美保健医療圏	142	86	44	6	4	7	60	32	4	5	79	26	2	4	
	100.0	60.8	31.4	4.5	2.5	5.2	42.5	22.7	2.5	3.5	55.8	18.2	1.5	2.8	

問 16	あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉）についてどのくらい知っていますか。（○は1つ）
------	---

		規 正 標 本 数	よ く 知 っ て い る	よ く 知 ら な い こ と は あ る が よ く 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)						
全体		2,156 100.0	141 6.5	709 32.9	1,265 58.7	40 1.9
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	68 7.5	298 32.9	524 57.8	16 1.7
	南薩 保健医療圏	174 100.0	13 7.6	69 39.5	90 51.9	2 1.0
	川薩 保健医療圏	152 100.0	8 5.1	49 32.1	91 59.8	5 3.1
	出水 保健医療圏	111 100.0	6 5.0	41 37.0	62 56.3	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	19 6.0	97 31.2	194 62.1	2 0.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	6 6.0	39 37.0	57 54.9	2 2.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	7 3.2	61 30.3	128 63.3	6 3.0
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	5 9.5	18 32.1	30 55.1	2 3.3
	奄美 保健医療圏	142 100.0	10 6.9	38 27.1	90 63.3	4 2.7

問 17	「小児救急電話相談窓口（#8000）」を知っていましたか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）
------	---

		規 正 標 本 数	立 っ た 利 用 し た こ と が あ り 、 役 に	立 た な か っ た 利 用 し た こ と が あ り 、 役 に	知 っ て い る が 、 ま だ 利 用 し た こ と が な い	知 ら な か っ た	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)							
全体		2,156 100.0	97 4.5	23 1.1	443 20.5	1,497 69.4	97 4.5
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	54.1 6.0	12.5 1.4	188.2 20.8	615.8 68.0	35 3.9
	南薩 保健医療圏	174 100.0	7 3.9	1 0.6	30 17.2	131 75.2	6 3.2
	川薩 保健医療圏	152 100.0	2 1.5	3 1.8	30 20.0	104 68.5	13 8.2
	出水 保健医療圏	111 100.0	9 8.3	0 0.0	27 24.4	69 62.7	5 4.3
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	9 2.9	4 1.4	68 21.9	217 69.6	13 4.1
	曾於 保健医療圏	104 100.0	5 4.3	2 1.4	20 19.1	72 69.4	6 5.8
	肝属 保健医療圏	202 100.0	7 3.6	0 0.0	43 21.2	141 70.1	10 5.1
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	0 0.0	0 0.0	13 24.5	39 71.4	2 4.2
	奄美 保健医療圏	142 100.0	3 2.3	1 0.6	23 16.0	107 75.6	8 5.4

問 18 あなたの地域の救急医療を充実させるためには、どのようなことが重要になると考えますか。
(○は3つまで)

	規正標本数	夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること	夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実	救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実	救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実	コンビニ受診(緊急性がないにも関わらず、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等	AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実	その他	無回答	
										上段: 度数 下段: 構成比(%)
全体	2,156 100.0	1,560 72.4	1,051 48.7	811 37.6	649 30.1	381 17.7	361 16.7	44 2.1	86 4.0	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	638 70.5	466 51.5	329 36.3	257 28.3	177 19.5	161 17.7	24 2.6	33 3.6
	南薩保健医療圏	174 100.0	127 73.3	85 48.6	69 39.8	52 29.9	27 15.8	25 14.5	1 0.5	10 5.9
	川薩保健医療圏	152 100.0	117 76.5	65 42.8	60 39.6	48 31.3	20 13.1	20 13.2	3 1.6	7 4.7
	出水保健医療圏	111 100.0	86 78.2	50 45.6	37 33.1	32 29.2	23 20.5	16 14.1	4 3.2	3 2.8
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	247 79.0	159 51.1	132 42.4	87 28.0	54 17.2	44 13.9	3 0.9	9 2.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	82 78.9	44 42.3	44 42.6	31 30.2	16 15.8	19 17.9	2 1.6	4 3.4
	肝属保健医療圏	202 100.0	131 65.1	107 53.0	66 32.9	57 28.1	34 16.9	40 20.0	5 2.3	11 5.5
	熊毛保健医療圏	55 100.0	33 60.3	18 33.3	22 40.1	27 49.5	10 17.8	8 14.8	2 3.5	2 3.8
	奄美保健医療圏	142 100.0	99 70.2	56 39.6	51 36.3	58 41.1	21 14.6	28 20.0	3 2.2	7 5.2

問 19 安心して医療を受けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

	規正標本数	十分な説明を受け、納得して治療を受けること(インフォームドコンセント)	十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと(インフォームドチョイス)	診断や治療方針について主治医以外の医師の意見も聞くこと(セカンドオピニオン)	診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること(医療に関する相談窓口の設置)	治療から完治までの大まかな日程についてあらかじめ説明を受けること	治療から完治までの大まかな医療費についてあらかじめ説明を受けること	カルテ開示の求めに応じてもらうこと	その他	無回答	
											上段: 度数 下段: 構成比(%)
全体	2,156 100.0	1,610 74.7	734 34.1	875 40.6	927 43.0	616 28.6	631 29.3	118 5.5	19 0.9	61 2.8	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	687 75.9	304 33.5	380 41.9	389 43.0	253 27.9	272 30.0	53 5.8	10 1.1	22 2.5
	南薩保健医療圏	174 100.0	132 75.8	53 30.5	65 37.5	76 43.8	48 27.8	39 22.5	8 4.4	2 1.4	8 4.4
	川薩保健医療圏	152 100.0	100 65.5	68 44.4	52 34.1	59 38.6	41 26.7	51 33.2	7 4.9	2 1.1	4 2.8
	出水保健医療圏	111 100.0	82 74.1	37 33.4	42 38.1	57 51.1	32 28.5	20 18.2	7 6.5	1 0.6	2 1.7
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	239 76.7	102 32.5	125 40.1	127 40.8	101 32.2	97 31.2	18 5.6	2 0.5	8 2.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	75 71.7	34 32.7	40 38.8	45 42.7	35 33.5	41 38.9	4 4.1	0 0.0	3 2.9
	肝属保健医療圏	202 100.0	149 73.7	73 36.4	88 43.7	91 44.9	47 23.2	58 28.7	13 6.3	1 0.7	6 3.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	42 77.1	21 38.3	25 46.5	21 38.5	17 31.1	13 24.4	2 4.0	1 1.1	2 3.7
	奄美保健医療圏	142 100.0	105 74.5	44 30.9	58 40.6	63 44.6	44 30.7	40 28.1	6 4.3	1 0.4	6 4.0

問 20-1 これまでに、後発医薬品（ジェネリック）を処方してもらったことがありますか。（○は1つ）

	規正標本数	自分から依頼して処方してもらった	病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった	薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した	処方してもらったことはない	処方してもらったかどうか分からない	無回答	
								上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	418 19.4	674 31.3	515 23.9	183 8.5	288 13.3	78 3.6	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	187 20.7	314 34.7	200 22.1	56 6.2	113 12.4	36 4.0
	南薩保健医療圏	174 100.0	21 12.0	59 33.8	50 28.8	18 10.3	20 11.6	6 3.6
	川薩保健医療圏	152 100.0	21 14.0	50 32.5	35 22.7	17 11.3	22 14.4	8 5.2
	出水保健医療圏	111 100.0	20 18.2	25 22.6	34 30.3	13 12.0	16 14.3	3 2.4
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	70 22.5	97 31.0	68 21.7	25 8.1	44 14.0	9 2.7
	曾於保健医療圏	104 100.0	24 23.0	29 27.7	21 20.1	13 12.0	14 13.2	4 4.1
	肝属保健医療圏	202 100.0	48 24.0	49 24.4	67 33.4	11 5.3	23 11.3	3 1.5
	熊毛保健医療圏	55 100.0	7 13.2	14 25.1	13 23.4	9 16.8	10 17.4	2 4.0
	奄美保健医療圏	142 100.0	19 13.7	39 27.3	28 19.6	21 15.1	28 19.6	7 4.8

問 20-2 今後、後発医薬品（ジェネリック）を処方してもらいたいと思いますか。（○は1つ）

	規正標本数	薬代が安くなるなら処方してもらいたい	医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい	効果に信頼が持てないのに処方してもらいたくない	副作用や安全性が心配なので処方してもらいたくない	なんとなく抵抗感があるので処方してもらいたくない	わからない	無回答	
									上段：度数 下段：構成比(%)
全体	2,156 100.0	921 42.7	897 41.6	45 2.1	49 2.3	41 1.9	128 5.9	76 3.5	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	386 42.6	375 41.4	28 3.1	28 3.1	19 2.1	38 4.2	32 3.5
	南薩保健医療圏	174 100.0	70 40.3	78 44.7	1 0.5	2 1.2	2 1.2	15 8.7	6 3.5
	川薩保健医療圏	152 100.0	61 40.3	58 38.1	5 3.2	5 3.4	4 2.4	12 8.1	7 4.6
	出水保健医療圏	111 100.0	40 36.6	51 45.9	4 3.8	2 1.5	2 2.2	8 7.3	3 2.7
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	139 44.5	142 45.4	2 0.8	5 1.6	2 0.6	14 4.5	9 2.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	48 46.2	41 39.8	0 0.0	1 0.6	4 3.5	8 7.8	2 2.1
	肝属保健医療圏	202 100.0	98 48.5	79 39.1	2 0.8	2 1.2	2 2.4	10 4.9	6 3.0
	熊毛保健医療圏	55 100.0	20 36.8	23 42.7	1 1.1	2 2.9	0 0.0	7 12.6	2 4.0
	奄美保健医療圏	142 100.0	58 41.2	51 36.2	2 1.5	2 1.3	4 2.7	16 11.1	9 6.2

問 21 新興感染症（新型コロナウイルス感染症等）など、大規模な感染症の発生に備えるため、どのようなことが重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

	規正標本数	感染症防止に対する正しい知識の普及啓発	万一の際の相談窓口の設置	迅速な情報提供体制の整備	告体制 医療機関からの定期的な報告体制	感染者の発生などに備えた医療機関からの定期的な報告体制	感染者に対する健康管理や感染拡大防止に関するマニュアル作成	PCR検査等病原体検査の体制整備	医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備	万が一に備えた医療提供体制の整備（ワクチン等の備蓄を含む）	保健所体制の整備	その他	無回答
全体	2,156 100.0	1,477 68.5	986 45.7	877 40.7	411 19.1	632 29.3	1,013 47.0	925 42.9	562 26.1	69 3.2	66 3.1		
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	627 69.2	427 47.1	356 39.3	165 18.2	263 29.0	412 45.5	408 45.1	243 26.8	34 3.8	31 3.4	
	南薩保健医療圏	174 100.0	111 64.1	75 43.0	74 42.3	32 18.2	54 30.8	87 50.1	70 40.1	38 21.9	4 2.2	5 2.9	
	川薩保健医療圏	152 100.0	94 61.5	76 50.0	56 37.0	22 14.5	39 25.9	76 49.8	61 40.1	42 27.7	1 0.9	4 2.4	
	出水保健医療圏	111 100.0	79 71.0	50 44.9	42 38.3	20 18.5	32 29.2	58 52.3	54 49.0	25 22.3	1 1.3	1 1.1	
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	224 71.9	151 48.5	125 40.1	66 21.0	94 30.0	152 48.6	110 35.2	85 27.3	11 3.4	10 3.0	
	曾於保健医療圏	104 100.0	70 67.5	50 47.6	43 40.9	19 18.6	31 30.1	51 48.7	50 47.9	23 22.0	2 1.6	3 2.7	
	肝属保健医療圏	202 100.0	139 69.1	88 43.8	94 46.7	40 20.0	59 29.1	91 45.0	87 43.0	58 28.6	8 3.9	5 2.4	
	熊毛保健医療圏	55 100.0	39 71.8	19 35.5	21 38.6	13 24.4	18 32.4	25 45.2	21 38.6	17 31.0	2 3.5	2 4.0	
	奄美保健医療圏	142 100.0	93 66.0	50 35.5	65 46.2	33 23.6	43 30.6	63 44.6	65 45.7	32 22.3	6 4.2	7 4.8	

問 22 今後、あなたは、本県の医療体制について何を優先して充実させるべきだと思いますか。（〇は1つ）

	規正標本数	近所のかかりつけ医の充実	地域における救急医療体制の充実	整備 術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備	県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備	県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備	在宅で最期を迎えられる医療環境の整備	その他	無回答
全体	2,156 100.0	361 16.7	531 24.6	527 24.4	286 13.3	273 12.6	30 1.4	148 6.9	
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	150 16.5	208 22.9	209 23.1	132 14.5	135 15.0	19 2.1	53 5.8
	南薩保健医療圏	174 100.0	31 17.8	45 25.9	43 24.9	14 7.9	26 15.0	2 1.2	13 7.3
	川薩保健医療圏	152 100.0	33 21.5	30 20.0	40 26.3	12 8.0	21 14.1	1 0.3	15 10.0
	出水保健医療圏	111 100.0	23 20.5	26 23.1	29 26.2	16 14.2	10 9.1	0 0.0	7 6.7
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	52 16.7	94 30.2	78 24.8	37 11.8	33 10.5	4 1.4	14 4.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	15 14.0	33 31.6	24 22.7	14 13.6	9 9.0	0 0.0	10 9.2
	肝属保健医療圏	202 100.0	30 14.7	51 25.5	48 23.7	36 18.1	18 9.1	2 1.0	16 7.8
	熊毛保健医療圏	55 100.0	13 24.4	11 19.6	12 22.7	4 7.0	6 10.8	1 2.0	8 14.1
	奄美保健医療圏	142 100.0	15 10.5	33 23.0	44 31.2	22 15.6	14 9.5	1 0.7	13 9.2

問 23

あなたご自身のことについて、最もあてはまると思われるものに、それぞれ○を1つだけ付けてください。(○はそれぞれ1つ)

健康状態

		規正 標本 数	非常 に満 足	満 足	ど ち ら だ も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	102 4.7	828 38.4	777 36.0	335 15.6	55 2.6	59 2.7
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	46 5.1	363 40.1	326 36.0	132 14.6	18 2.0	21 2.3
	南薩保健医療圏	174 100.0	9 5.1	55 31.5	71 40.5	30 17.0	2 1.2	9 4.9
	川薩保健医療圏	152 100.0	3 1.7	70 45.8	40 25.9	32 20.9	5 3.2	4 2.4
	出水保健医療圏	111 100.0	3 2.5	37 33.8	49 44.1	16 14.3	3 2.7	3 2.4
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	9 3.0	128 41.1	104 33.2	55 17.5	8 2.7	8 2.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	7 6.2	38 36.4	40 38.6	17 16.0	2 1.4	2 1.4
	肝属保健医療圏	202 100.0	12 5.7	67 33.3	80 39.6	25 12.6	8 3.9	10 4.8
	熊毛保健医療圏	55 100.0	3 5.9	19 34.6	18 33.7	10 17.6	3 5.1	2 3.5
	奄美保健医療圏	142 100.0	11 7.8	51 35.7	50 35.3	20 14.3	8 5.3	2 1.6

睡眠

		規正 標本 数	非常 に満 足	満 足	ど ち ら だ も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	152 7.1	871 40.4	609 28.2	385 17.9	85 4.0	54 2.5
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	64 7.1	360 39.7	244 27.0	180 19.8	37 4.0	21 2.3
	南薩保健医療圏	174 100.0	13 7.3	75 42.8	53 30.2	21 12.0	5 2.7	9 4.9
	川薩保健医療圏	152 100.0	7 4.9	60 39.5	45 29.3	29 18.8	9 5.9	2 1.5
	出水保健医療圏	111 100.0	5 4.1	53 47.5	31 28.2	17 15.0	3 2.7	3 2.4
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	22 7.0	125 39.9	98 31.5	49 15.7	13 4.1	6 1.8
	曾於保健医療圏	104 100.0	13 12.5	39 37.2	28 26.6	20 19.5	4 3.4	1 0.9
	肝属保健医療圏	202 100.0	14 7.1	80 39.7	60 29.7	32 15.9	6 2.8	9 4.6
	熊毛保健医療圏	55 100.0	4 7.3	19 35.2	16 29.7	12 21.4	2 3.8	2 2.7
	奄美保健医療圏	142 100.0	10 7.2	61 43.2	34 23.9	26 18.5	8 5.7	3 1.8

■ 毎日の活動をやり遂げる能力

上段：度数 下段：構成比(%)		規正標本数	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	全く不満	無回答
全体		2,156	118	908	751	274	46	59
		100.0	5.5	42.1	34.8	12.7	2.1	2.7
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906	53	369	322	125	18	19
		100.0	5.9	40.7	35.5	13.8	2.0	2.1
	南薩保健医療圏	174	13	61	65	23	3	8
		100.0	7.5	35.0	37.6	13.3	1.9	4.8
	川薩保健医療圏	152	5	61	61	16	5	4
		100.0	3.4	40.1	39.8	10.8	3.2	2.8
	出水保健医療圏	111	5	45	46	9	2	3
		100.0	4.8	40.7	41.6	8.1	1.7	2.8
	始良・伊佐保健医療圏	312	14	150	97	40	6	5
		100.0	4.6	47.9	31.0	12.9	1.8	1.7
曾於保健医療圏	104	4	44	41	13	2	2	
	100.0	3.5	41.9	39.5	12.0	1.6	1.4	
肝属保健医療圏	202	11	93	58	24	3	13	
	100.0	5.3	46.3	28.9	11.7	1.7	6.3	
熊毛保健医療圏	55	3	22	19	10	0	2	
	100.0	5.9	39.6	34.2	17.4	0.4	2.7	
奄美保健医療圏	142	10	65	43	15	6	3	
	100.0	7.0	46.0	30.1	10.4	4.5	2.2	

■ 仕事をする能力

上段：度数 下段：構成比(%)		規正標本数	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	全く不満	無回答
全体		2,156	131	863	758	256	68	80
		100.0	6.1	40.0	35.2	11.9	3.1	3.7
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906	65	353	323	97	37	32
		100.0	7.2	38.9	35.6	10.7	4.0	3.5
	南薩保健医療圏	174	9	65	61	26	6	7
		100.0	5.3	37.3	34.8	14.8	3.7	4.0
	川薩保健医療圏	152	8	65	48	20	5	7
		100.0	5.3	42.7	31.5	12.8	3.2	4.7
	出水保健医療圏	111	4	41	48	9	2	7
		100.0	3.3	36.7	43.0	8.5	2.2	6.2
	始良・伊佐保健医療圏	312	20	124	116	40	6	7
		100.0	6.3	39.6	37.2	12.7	2.0	2.1
曾於保健医療圏	104	3	40	42	17	2	2	
	100.0	2.5	38.3	40.1	16.0	1.6	1.4	
肝属保健医療圏	202	12	88	59	26	3	14	
	100.0	5.9	43.7	29.1	12.7	1.5	6.8	
熊毛保健医療圏	55	3	25	16	10	0	2	
	100.0	4.8	45.1	28.4	17.8	0.4	4.0	
奄美保健医療圏	142	9	64	48	13	6	3	
	100.0	6.0	45.3	33.6	8.8	4.4	2.0	

■ 自分自身

		規 正 標 本 数	非 常 に 満 足	満 足	ど ち ら で も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	113 5.3	811 37.6	809 37.5	279 12.9	79 3.7	65 3.0
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	46 5.1	348 38.4	342 37.8	113 12.5	32 3.5	24 2.7
	南薩 保健医療圏	174 100.0	9 5.4	64 36.5	64 36.7	26 14.9	5 3.1	6 3.5
	川薩 保健医療圏	152 100.0	6 3.8	55 36.3	57 37.6	23 14.9	6 4.1	5 3.4
	出水 保健医療圏	111 100.0	5 4.3	40 35.8	49 44.3	11 9.5	3 2.8	4 3.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	20 6.5	118 37.7	117 37.5	37 11.8	13 4.3	7 2.3
	曾於 保健医療圏	104 100.0	3 2.7	42 40.3	41 39.2	16 15.7	1 0.9	2 1.4
	肝属 保健医療圏	202 100.0	14 6.7	70 34.9	71 35.4	25 12.3	10 4.9	11 5.6
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	3 4.6	18 33.5	20 36.6	7 12.5	4 7.7	3 5.3
	奄美 保健医療圏	142 100.0	9 6.0	56 39.6	47 33.4	22 15.3	5 3.4	3 2.3

■ 人間関係

		規 正 標 本 数	非 常 に 満 足	満 足	ど ち ら で も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	143 6.6	987 45.8	757 35.1	181 8.4	35 1.6	53 2.5
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	53 5.8	442 48.8	298 32.9	79 8.8	14 1.6	20 2.2
	南薩 保健医療圏	174 100.0	12 6.7	66 37.9	74 42.4	15 8.4	3 1.8	5 2.9
	川薩 保健医療圏	152 100.0	8 5.4	72 46.9	43 28.1	19 12.5	6 3.7	5 3.4
	出水 保健医療圏	111 100.0	6 5.4	55 49.7	39 34.8	8 6.8	2 1.5	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	24 7.7	130 41.8	130 41.7	19 6.1	3 1.1	5 1.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	11 10.3	47 45.3	32 30.4	13 12.5	2 1.4	0 0.0
	肝属 保健医療圏	202 100.0	18 8.9	83 41.0	73 36.2	15 7.4	1 0.7	11 5.6
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	1 2.6	28 51.1	18 33.3	4 7.7	1 2.4	2 2.7
	奄美 保健医療圏	142 100.0	10 7.1	65 45.9	52 36.4	10 6.8	3 1.8	3 1.8

■ 性生活

		規正標本数	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	全く不満	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	53 2.5	314 14.6	1,348 62.5	146 6.8	70 3.2	225 10.4
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	26 2.9	128 14.1	566 62.5	60 6.6	37 4.1	90 9.9
	南薩保健医療圏	174 100.0	4 2.2	20 11.6	113 64.9	10 5.5	6 3.5	21 12.2
	川薩保健医療圏	152 100.0	0 0.0	19 12.1	95 62.0	11 7.5	4 2.6	24 15.8
	出水保健医療圏	111 100.0	1 1.1	17 15.2	75 67.7	4 3.8	3 2.4	11 9.8
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	3 0.9	51 16.2	207 66.3	21 6.6	8 2.5	24 7.6
	曾於保健医療圏	104 100.0	3 2.7	18 17.3	63 60.0	12 11.5	2 1.6	7 7.0
	肝属保健医療圏	202 100.0	12 5.8	29 14.5	117 58.0	15 7.4	6 2.8	23 11.4
	熊毛保健医療圏	55 100.0	1 1.3	8 14.1	34 61.4	6 11.0	1 1.6	6 11.0
	奄美保健医療圏	142 100.0	4 2.9	26 18.0	81 57.2	7 5.2	4 3.1	19 13.6

■ 友人たちとの交わり

		規正標本数	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	全く不満	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	144 6.7	966 44.8	849 39.4	102 4.7	28 1.3	68 3.1
二次保健医療圏別	鹿児島保健医療圏	906 100.0	66 7.3	412 45.5	333 36.8	51 5.6	15 1.7	28 3.0
	南薩保健医療圏	174 100.0	11 6.1	71 41.1	74 42.7	6 3.2	3 1.8	9 5.1
	川薩保健医療圏	152 100.0	6 4.1	68 44.5	65 42.9	7 4.7	3 1.8	3 1.9
	出水保健医療圏	111 100.0	5 4.8	59 52.9	42 37.6	2 1.7	1 1.1	2 1.7
	始良・伊佐保健医療圏	312 100.0	17 5.5	137 43.8	137 43.8	12 3.8	2 0.6	8 2.7
	曾於保健医療圏	104 100.0	9 8.6	42 39.9	46 44.0	7 6.8	1 0.9	0 0.0
	肝属保健医療圏	202 100.0	17 8.5	86 42.5	74 36.9	10 5.0	1 0.7	13 6.3
	熊毛保健医療圏	55 100.0	4 7.1	27 49.3	20 36.4	3 4.8	0 0.0	2 2.7
	奄美保健医療圏	142 100.0	9 6.0	65 46.0	58 40.9	5 3.4	2 1.1	4 2.8

■ 必要なものが買えるだけのお金

	規 正 標 本 数	非 常 に 満 足	満 足	ど ち ら で も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答	上段：度数
								下段：構成比(%)
全体	2,156	106	802	739	316	138	55	
	100.0	4.9	37.2	34.3	14.7	6.4	2.6	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906	51	335	306	128	65	21
		100.0	5.6	36.9	33.7	14.2	7.2	2.3
	南薩 保健医療圏	174	5	63	62	30	7	7
		100.0	2.8	36.4	35.4	17.5	3.9	3.9
	川薩 保健医療圏	152	2	52	64	24	7	4
		100.0	1.3	33.9	41.9	15.4	4.7	2.8
	出水 保健医療圏	111	6	49	33	16	5	2
		100.0	5.2	44.3	29.4	14.4	4.9	1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312	15	122	105	42	21	7
		100.0	4.8	39.1	33.6	13.5	6.8	2.2
	曾於 保健医療圏	104	5	36	47	9	7	1
		100.0	4.7	34.5	44.8	8.4	7.0	0.6
	肝属 保健医療圏	202	11	67	62	38	14	9
		100.0	5.6	33.4	30.5	18.6	7.0	4.6
熊毛 保健医療圏	55	3	20	18	10	3	2	
	100.0	4.8	36.8	32.8	17.6	5.3	3.3	
奄美 保健医療圏	142	9	58	45	20	8	3	
	100.0	6.1	40.8	31.8	13.9	5.5	2.0	

■ 医療サービスや福祉サービスの利用しやすさ

	規 正 標 本 数	非 常 に 満 足	満 足	ど ち ら で も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答	上段：度数
								下段：構成比(%)
全体	2,156	41	568	1,170	256	54	67	
	100.0	1.9	26.4	54.3	11.9	2.5	3.1	
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906	20	238	501	100	24	23
		100.0	2.2	26.3	55.3	11.0	2.7	2.5
	南薩 保健医療圏	174	3	41	96	22	2	11
		100.0	1.5	23.4	55.0	12.9	1.2	6.1
	川薩 保健医療圏	152	1	42	79	23	3	4
		100.0	0.9	27.3	51.5	15.3	2.2	2.8
	出水 保健医療圏	111	2	29	61	13	2	3
		100.0	1.7	26.6	55.3	11.8	1.7	2.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312	4	94	176	28	3	8
		100.0	1.3	30.0	56.3	9.0	1.1	2.4
	曾於 保健医療圏	104	3	28	59	13	1	1
		100.0	2.5	26.4	56.7	12.5	1.2	0.6
	肝属 保健医療圏	202	4	49	103	27	6	13
		100.0	1.8	24.3	51.2	13.3	2.8	6.6
熊毛 保健医療圏	55	0	8	29	12	4	2	
	100.0	0.4	15.4	52.6	22.7	6.6	2.7	
奄美 保健医療圏	142	5	40	67	17	8	4	
	100.0	3.5	28.1	47.6	12.2	5.9	2.8	

■ 周辺の交通の便

		規 正 標 本 数	非 常 に 満 足	満 足	ど ち ら で も な い	不 満	全 く 不 満	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	88 4.1	561 26.0	725 33.6	525 24.4	201 9.3	56 2.6
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	61 6.8	302 33.4	262 29.0	189 20.8	69 7.6	23 2.5
	南薩 保健医療圏	174 100.0	4 2.2	35 20.4	64 37.0	46 26.2	20 11.3	5 2.9
	川薩 保健医療圏	152 100.0	4 2.8	39 25.9	54 35.3	37 24.2	15 9.8	3 1.9
	出水 保健医療圏	111 100.0	1 1.0	20 18.0	42 37.6	38 34.0	9 7.7	2 1.7
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	7 2.4	78 25.1	132 42.2	70 22.5	19 6.0	5 1.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	3 2.5	16 15.0	30 29.0	39 37.2	16 15.8	1 0.6
	肝属 保健医療圏	202 100.0	1 0.5	32 15.7	68 33.7	54 26.9	34 16.8	13 6.3
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	2 3.1	7 13.2	17 31.5	20 36.6	7 12.5	2 3.5
	奄美 保健医療圏	142 100.0	4 3.0	31 22.0	56 39.5	34 23.8	13 9.4	4 2.5

問 24

最近のあなたの様子について伺います。以下の各質問を読んで、それぞれ「はい」「いいえ」のうち、あてはまるほうに○印を付けてください。(○はそれぞれ1つ)

■ 毎日の生活が充実していますか

		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	1,599 74.1	497 23.0	61 2.8
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	675 74.6	212 23.4	18 2.0
	南薩 保健医療圏	174 100.0	131 75.4	37 21.1	6 3.6
	川薩 保健医療圏	152 100.0	116 76.4	35 22.9	1 0.7
	出水 保健医療圏	111 100.0	81 73.5	25 22.6	4 3.8
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	235 75.4	66 21.1	11 3.4
	曾於 保健医療圏	104 100.0	76 72.7	26 25.3	2 2.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	140 69.5	49 24.4	12 6.1
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	37 68.5	15 27.7	2 4.0
	奄美 保健医療圏	142 100.0	106 75.0	31 22.0	4 2.9

■ これまで楽しんでやれていたことが、今でも楽しんでできていますか

		規 正 標 本 数	はい	いいえ	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	1,398 64.8	696 32.3	62 2.9
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	586 64.7	296 32.7	23 2.6
	南薩 保健医療圏	174 100.0	102 58.7	65 37.3	7 4.1
	川薩 保健医療圏	152 100.0	104 68.0	48 31.5	1 0.6
	出水 保健医療圏	111 100.0	73 66.2	36 32.3	2 1.5
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	215 68.8	86 27.6	12 3.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	56 54.0	47 44.8	1 1.2
	肝属 保健医療圏	202 100.0	132 65.6	60 29.5	10 4.8
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	35 64.5	17 31.7	2 4.0
	奄美 保健医療圏	142 100.0	95 67.3	42 29.6	5 3.3

■ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか

		規 正 標 本 数	はい	いいえ	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	1,087 50.4	1,004 46.6	64 3.0
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	450 49.7	435 48.0	21 2.3
	南薩 保健医療圏	174 100.0	101 58.0	64 36.6	10 5.6
	川薩 保健医療圏	152 100.0	89 58.5	60 39.2	4 2.4
	出水 保健医療圏	111 100.0	61 55.5	47 42.4	2 2.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	145 46.5	158 50.8	9 2.7
	曾於 保健医療圏	104 100.0	51 48.6	51 48.7	3 2.7
	肝属 保健医療圏	202 100.0	92 45.8	100 49.5	9 4.6
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	27 49.6	25 45.8	3 4.6
	奄美 保健医療圏	142 100.0	71 50.0	66 46.5	5 3.5

■ 自分は役に立つ人間だと考えることができますか

		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156	1,359	728	70
		100.0	63.0	33.8	3.2
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906	580	302	24
		100.0	64.0	33.3	2.7
	南薩 保健医療圏	174	102	64	8
		100.0	58.4	36.7	4.8
	川薩 保健医療圏	152	88	62	2
		100.0	57.8	40.7	1.5
	出水 保健医療圏	111	66	42	3
		100.0	59.5	37.9	2.5
	始良・伊佐 保健医療圏	312	200	102	11
		100.0	64.1	32.5	3.4
曾於 保健医療圏	104	68	34	2	
	100.0	65.3	32.7	2.1	
肝属 保健医療圏	202	127	61	13	
	100.0	63.2	30.5	6.2	
熊毛 保健医療圏	55	35	17	2	
	100.0	64.3	31.9	4.0	
奄美 保健医療圏	142	93	44	5	
	100.0	65.5	31.2	3.3	

■ わけもなく疲れたような感じがしますか

		規 正 標 本 数	は い	い い え	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156	929	1,165	62
		100.0	43.1	54.1	2.9
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906	392	489	25
		100.0	43.3	53.9	2.8
	南薩 保健医療圏	174	65	103	6
		100.0	37.3	59.3	3.4
	川薩 保健医療圏	152	74	75	4
		100.0	48.3	49.3	2.4
	出水 保健医療圏	111	47	61	4
		100.0	42.1	54.8	3.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312	128	178	7
		100.0	40.9	56.9	2.2
曾於 保健医療圏	104	51	52	1	
	100.0	49.3	49.6	1.2	
肝属 保健医療圏	202	85	107	10	
	100.0	42.2	52.9	4.8	
熊毛 保健医療圏	55	24	29	2	
	100.0	43.8	53.3	3.3	
奄美 保健医療圏	142	64	74	4	
	100.0	45.0	52.0	2.9	

■ 死について何度も考えることがありますか

		規 正 標 本 数	はい	いいえ	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156	622	1,475	59
		100.0	28.8	68.4	2.8
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906	258	628	20
		100.0	28.5	69.3	2.2
	南薩 保健医療圏	174	46	123	5
		100.0	26.7	70.4	2.9
	川薩 保健医療圏	152	56	95	2
		100.0	36.5	62.0	1.5
	出水 保健医療圏	111	33	75	2
		100.0	29.7	68.1	2.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312	89	213	11
		100.0	28.5	68.1	3.4
	曾於 保健医療圏	104	26	75	3
		100.0	25.3	72.1	2.7
肝属 保健医療圏	202	62	130	10	
	100.0	30.7	64.4	5.0	
熊毛 保健医療圏	55	9	44	2	
	100.0	16.3	80.6	3.3	
奄美 保健医療圏	142	43	94	5	
	100.0	30.5	66.2	3.3	

■ 気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがありますか

		規 正 標 本 数	はい	いいえ	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156	175	1,922	59
		100.0	8.1	89.1	2.7
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906	68	815	23
		100.0	7.5	90.0	2.5
	南薩 保健医療圏	174	11	158	5
		100.0	6.0	91.1	2.9
	川薩 保健医療圏	152	17	133	2
		100.0	11.2	87.3	1.5
	出水 保健医療圏	111	7	102	2
		100.0	6.3	92.0	1.5
	始良・伊佐 保健医療圏	312	26	277	9
		100.0	8.3	88.7	2.9
	曾於 保健医療圏	104	9	92	3
		100.0	8.8	88.6	2.7
肝属 保健医療圏	202	24	168	10	
	100.0	11.7	83.3	5.0	
熊毛 保健医療圏	55	3	50	2	
	100.0	5.3	91.8	3.3	
奄美 保健医療圏	142	10	127	4	
	100.0	7.3	90.0	2.8	

■ 最近ひどく困ったことや、つらいことがありますか

		規 正 標 本 数	はい	いいえ	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	608 28.2	1,487 69.0	61 2.8
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	260 28.7	624 68.9	22 2.4
	南薩 保健医療圏	174 100.0	53 30.5	117 67.2	4 2.2
	川薩 保健医療圏	152 100.0	52 34.3	98 64.3	2 1.5
	出水 保健医療圏	111 100.0	30 27.1	78 70.6	2 2.2
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	81 26.0	219 70.1	12 3.9
	曾於 保健医療圏	104 100.0	27 25.6	75 72.3	2 2.1
	肝属 保健医療圏	202 100.0	45 22.1	147 72.8	10 5.1
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	18 32.2	35 64.5	2 3.3
	奄美 保健医療圏	142 100.0	43 30.1	95 66.9	4 3.1

問 25-1 性別についてお答えください。(○は1つ)

		規 正 標 本 数	男	女	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)					
全体		2,156 100.0	930 43.1	1,182 54.8	44 2.0
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	389 42.9	504 55.6	13 1.5
	南薩 保健医療圏	174 100.0	78 44.9	88 50.6	8 4.6
	川薩 保健医療圏	152 100.0	56 36.7	96 62.7	1 0.6
	出水 保健医療圏	111 100.0	47 42.3	63 56.7	1 1.1
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	147 47.1	159 50.8	7 2.1
	曾於 保健医療圏	104 100.0	41 39.8	62 59.6	1 0.6
	肝属 保健医療圏	202 100.0	92 45.6	101 50.0	9 4.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	23 42.7	30 54.6	2 2.7
	奄美 保健医療圏	142 100.0	57 40.6	81 57.2	3 2.2

問 25-2 年齢についてお答えください。(○は1つ)

上段：度数 下段：構成比(%)	規 正 標 本 数	2 0 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以上	無 回 答	
		全体	2,156 100.0	127 5.9	198 9.2	314 14.6	331 15.4	219 10.2	236 10.9	245 11.4	449 20.8
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	61 6.7	89 9.8	150 16.5	145 16.1	92 10.1	98 10.8	84 9.2	176 19.4	12 1.3
	南薩 保健医療圏	174 100.0	2 1.3	8 4.8	10 5.8	23 13.0	17 9.7	23 12.9	31 17.8	56 32.0	5 2.9
	川薩 保健医療圏	152 100.0	3 2.2	10 6.7	25 16.3	23 15.2	15 10.0	12 7.6	17 11.1	46 29.9	2 1.1
	出水 保健医療圏	111 100.0	4 3.2	8 7.5	16 14.2	20 18.5	10 9.3	12 10.4	15 13.7	25 22.3	1 1.1
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	28 9.0	32 10.2	44 14.1	44 14.0	28 8.9	36 11.6	32 10.2	64 20.6	4 1.3
	曾於 保健医療圏	104 100.0	5 4.3	12 11.5	12 11.7	16 15.7	11 10.1	13 12.7	13 12.3	23 21.7	0 0.0
	肝属 保健医療圏	202 100.0	20 9.7	16 7.9	31 15.4	28 13.9	26 13.1	20 10.1	28 13.9	23 11.3	9 4.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	3 4.6	5 9.5	7 12.8	10 18.1	4 7.3	7 12.1	9 16.5	9 16.7	2 2.7
	奄美 保健医療圏	142 100.0	3 1.8	18 12.5	20 14.1	22 15.3	16 11.5	16 11.4	17 11.7	29 20.2	2 1.6

問 25-3 健康保険の種類についてお答えください。(○は1つ)

上段：度数 下段：構成比(%)	規 正 標 本 数	社 会 保 険 (本 人)	社 会 保 険 (家 族)	国 民 健 康 保 険	共 済 組 合	後 期 高 齢 者 医 療 制 度	そ の 他	無 回 答	
		全体	2,156 100.0	729 33.8	253 11.7	696 32.3	155 7.2	264 12.3	8 0.4
二次保健医療圏別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	333 36.8	118 13.1	242 26.7	76 8.4	116 12.9	5 0.6	15 1.7
	南薩 保健医療圏	174 100.0	51 29.4	9 5.4	69 39.6	4 2.2	35 20.1	0 0.0	6 3.2
	川薩 保健医療圏	152 100.0	48 31.3	20 12.8	56 37.0	5 3.5	20 13.4	0 0.0	3 2.0
	出水 保健医療圏	111 100.0	36 32.1	11 9.7	41 37.5	7 6.2	13 11.7	1 0.6	2 2.1
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	107 34.4	35 11.1	100 32.0	23 7.3	39 12.6	0 0.0	8 2.6
	曾於 保健医療圏	104 100.0	30 28.7	14 13.4	42 40.2	4 4.1	12 11.9	0 0.0	2 1.6
	肝属 保健医療圏	202 100.0	65 32.1	29 14.1	67 33.1	19 9.4	12 6.1	1 0.7	9 4.4
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	19 34.1	4 7.9	23 42.5	3 5.5	3 5.3	0 0.7	3 4.6
	奄美 保健医療圏	142 100.0	41 28.8	14 10.0	56 39.4	13 9.4	13 9.0	1 0.4	4 3.0

問 25-4 現在同居されているご家族についてお答えください。(〇はいくつでも)

		規 正 標 本 数	小 学 校 就 学 前 の 子 も が い る	小 学 生 ・ 中 学 生 の 子 ど も が い る	6 5 歳 以 上 の 高 齢 者 が い る	そ の 他 の 同 居 し て い る 家 族 が い る	同 居 し て い る 家 族 は い な い (一 人 暮 ら し)	無 回 答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全体		2,156 100.0	195 9.0	278 12.9	801 37.2	968 44.9	359 16.6	17 0.8
二 次 保 健 医 療 圏 別	鹿児島 保健医療圏	906 100.0	95 10.5	120 13.3	306 33.8	438 48.3	149 16.5	3 0.4
	南薩 保健医療圏	174 100.0	6 3.4	10 5.6	92 53.1	66 37.9	26 15.0	2 1.2
	川薩 保健医療圏	152 100.0	12 8.1	21 13.6	63 41.0	62 40.5	24 15.9	3 2.2
	出水 保健医療圏	111 100.0	12 10.6	18 16.4	44 39.9	53 47.5	13 11.6	2 1.5
	始良・伊佐 保健医療圏	312 100.0	35 11.3	39 12.6	118 37.9	146 46.8	44 14.2	3 0.8
	曾於 保健医療圏	104 100.0	7 6.2	12 11.1	52 49.9	46 44.1	11 10.9	1 0.6
	肝属 保健医療圏	202 100.0	11 5.7	28 13.7	63 31.3	79 39.1	48 24.0	2 0.7
	熊毛 保健医療圏	55 100.0	5 9.3	5 9.0	23 42.9	23 42.5	9 15.8	1 2.0
	奄美 保健医療圏	142 100.0	12 8.4	25 18.0	40 28.2	57 40.1	34 24.1	1 0.5

県民保健医療意識調査

ご記入にあたってのお願い

- ◎このアンケートは、封筒のあて名の方（本人）が記入してください。
本人によるご記入が困難な場合は、ご家族などが本人から聞き取って代筆をお願いします。
- ◎回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号に○印をつけてください。「その他」を選んだ方は、（ ）にあなたのお考えをお書きください。
- ◎回答は、質問ごとに指定している数でお答えください。また、該当する方にのみ回答をお願いします場合がありますので、各質問の説明にしたがってお答えください。

※回答していただいた内容は、調査目的以外に使用することはありません。
また、個人が特定できないように集計し公表しますので、個人情報他に漏れることはありません。
なお、いただいたアンケート用紙については、厳重に管理します。

問1 この1年間に健康診断を受けましたか。（○は1つ）
※がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、免許取得や就職に伴う健康診断、病院や診療所で行う診療としての検査は除きます。

- 1 受けた → 問2をお答えください。
- 2 受けなかった → 問3をお答えください。

問2 問1で「1 受けた」と回答された方にお尋ねします。
次の3点についてお答えください。

2-1 健康診断で、生活習慣などが原因とされる次の指摘を受けましたか。
(○はいくつでも)

- 1 肥満
- 2 高血圧 (血圧が高い)
- 3 糖尿病 (血糖が高い)
- 4 血中の脂質 (中性脂肪又は悪玉コレステロール値など) の異常
- 5 腎機能の低下や蛋白尿などの腎障害
- 6 上記の指摘は受けなかった

2-2 健康診断で、保健指導 (食事や生活習慣の改善の指導) を受けましたか。また、
指導された内容を実行していますか。(○は1つ)

- 1 指導を受けて実行している
- 2 指導を受けたが実行していない
- 3 指導を受けていない

2-3 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。また、勧められた方
は、その後、医療機関に行きましたか。(○は1つ)

- 1 勧められて医療機関に行った
- 2 勧められたが、医療機関に行かなかった
- 3 勧められていない

次は→問4をお答えください。

問3 問1で「2 受けなかった」と回答された方にお尋ねします。
次の2つの問いにお答えください。

3-1 健康診断を受けなかった理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 健康に自信があり、受ける必要を感じなかったから
- 2 健康診断があることを知らなかったから
- 3 時間・場所がわからなかったから
- 4 都合がつかなかったから
- 5 健診会場までの交通手段がなかったから
- 6 受ける機会があったが、いやだったから
- 7 費用がかかるから
- 8 医師の診療を受けていたから
- 9 その他 (具体的に)

3-2 健康診断を実施する場合、工夫してほしいことは何ですか。(○は3つまで)

- 1 何らかの理由で健診を受診できなかった方に対する再健診の実施
- 2 土曜日・日曜日・祝日の健診の実施
- 3 農閑期・早朝・夕方の健診の実施
- 4 セット検診 (基本健診+がん検診等) の実施
- 5 健診を2~3日連続で実施するなどし、受診しやすいようにする
- 6 相談体制を充実させ、予約しやすいようにする
- 7 その他 (具体的に)

次は→問4をお答えください。

問4 保健所や市町村が行う保健衛生サービスで、今後、どのようなことに力を注いでほしいですか。(〇は3つまで)

- 1 妊娠や出産に関する相談
- 2 乳幼児の予防接種や健康診断、相談
- 3 療育や子どもの発育、発達に関する相談の実施
- 4 生活習慣病の健康診断や健康相談の実施
- 5 B型、C型肝炎に関する検査や相談の実施
- 6 個人の健康状態にあわせた健康教育の実施
- 7 精神保健（心の悩みなど）についての相談
- 8 新型インフルエンザその他の感染症、難病などについての講習会や相談
- 9 寝たきりの高齢者や認知症の症状のある高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問
- 10 食品衛生に関する講習会
- 11 薬物乱用、禁煙等に関する講習会
- 12 NPOや民間団体等の情報提供
- 13 その他（具体的に _____)

次は→問5をお答えください。

問5 次の2つの問いにお答えください。

5-1 医療機関を選ぶ際に、どのような情報が必要と思いますか。(○は3つまで)

- 1 病院・診療所の名称、電話番号、所在地
- 2 診療日・診療時間・診療科目(時間外・休日対応の有無を含めて)
- 3 医師等の人数や専門分野などに関すること
(女性医師の有無、認定医、専門医の資格など)
- 4 提供している医療機能に関すること
(医療機関で受けることのできる検査や、患者に対するスタッフの割合など)
- 5 対応できる医療サービス
(在宅医療や往診の実施状況、セカンドオピニオン外来の実施又は電話等における相談窓口設置など)
- 6 医療機関の施設や設備に関する情報
(身体障害者用の駐車場やトイレの有無などのバリアフリー対策、売店、対応できる言語など)
- 7 第三者による医療機関の評価(日本医療機能評価機構やISOなど)
- 8 費用に関すること
(費用の支払い方法や使用できるクレジットカードの種類など)
- 9 個人情報保護のための具体的取組
- 10 交通アクセスの方法(交通手段や地図、送迎など)
- 11 その他(具体的に)

5-2 医療機関を選ぶ際に、どこから情報を集めますか。(○は3つまで)

- 1 家族・友人などからの口コミ情報
- 2 かかりつけ医などからの紹介
- 3 出版物
- 4 インターネット
- 5 行政機関が提供する情報(市町村の広報誌など)
- 6 その他(具体的に)

次は→問6をお答えください。

問6 あなたの地域（一般的に通勤や通学ができたり、少し遠出の買物をするくらいの範囲）で、不自由を感じている診療科目等がありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 内科 | 15 産婦人科（産科・婦人科） |
| 2 呼吸器内科 | 16 眼科 |
| 3 消化器内科 | 17 耳鼻いんこう科 |
| 4 循環器内科 | 18 食道外科 |
| 5 神経内科 | 19 皮膚科 |
| 6 小児科 | 20 泌尿器科・性感染症内科 |
| 7 精神科・心療内科 | 21 肛門外科 |
| 8 外科 | 22 リハビリテーション科 |
| 9 整形外科 | 23 放射線科 |
| 10 形成外科・美容外科 | 24 麻酔科 |
| 11 脳神経外科 | 25 歯科 |
| 12 呼吸器外科 | 26 薬局 |
| 13 心臓血管外科 | 27 その他（具体的に) |
| 14 小児外科 | 28 不自由を感じているものはない |

次は→問7をお答えください。

問7 歯科医療や歯科保健について、どのようなことを望みますか。（○はいくつでも）

- 1 地域や職場での健康診断にも歯科を含めること
- 2 歯の健康指導や予防サービスの充実
- 3 休日、夜間でも治療が受けられる体制の充実
- 4 障害者への歯科保健医療提供体制の充実
- 5 在宅寝たきり者等への歯科保健医療提供体制の充実
- 6 園児や学童への歯科保健医療提供体制の充実
- 7 歯科の巡回診療の充実
- 8 その他（具体的に)

次は→問8をお答えください。

問8 現在、定期的（月1回以上）に通院している医療機関がありますか。（子どもさんが定期的に通院されており、医療機関に連れて行っている場合も含みます）（○は1つ）

- 1 ある → 問9をお答えください。
- 2 ない → 問10をお答えください。

問9 問8で「1 ある」と回答された方にお尋ねします。
その医療機関へは、通常、どのような交通手段で行きますか。（○は1つ）

- 1 自家用車
- 2 家族の送迎
- 3 公共交通機関（バス、電車、船など）
- 4 タクシー
- 5 NPO等による福祉有償バスなど
- 6 その他（具体的に)

次は→問10をお答えください。

問10 もしあなたが入院することになった場合、どのようなことについて説明を受けたいですか。（○は3つまで）

- 1 入院に当たってのしつづや準備
- 2 入院中の治療内容、治療方針、治療計画
- 3 入院治療に要する費用の見込み
- 4 入院中の食事時間や面会可能時間
- 5 入院中の看護・介護体制
- 6 退院までに要する日数の見込み
- 7 退院後の療養やケアの内容
- 8 その他（具体的に)

次は→問11をお答えください。

問 11 在院日数の短縮化が一般的になり、病院から在宅への移行が推進されていますが、あなたが入院し退院することになった場合、どのようなことについて説明が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 退院に当たってのしつうや準備
- 2 退院後の治療内容、治療方針、治療計画
- 3 退院後に要する治療費等の見込み
- 4 退院後に要する自己負担の軽減制度等について
- 5 退院後の日常生活の過ごし方や通院方法について
- 6 退院後の食生活について
- 7 退院後に受けられる医療・介護サービス等について
- 8 退院後の相談窓口について
- 9 退院後の家族や支援者の役割や支援方法について
- 10 退院後の病気の再発や急病時の対応について
- 11 その他 (具体的に)

次は→問 12 をお答えください。

問 12 あなたはかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を決めていますか。(〇はそれぞれ1つ)

かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局について

かかりつけ医・かかりつけ歯科医とは、日頃から気軽に相談できる身近な医師や歯科医師のことで、かかりつけ医・かかりつけ歯科医を決めておけばいつでも、治療だけでなく、予防から健康教育、健康相談、生活指導などを含めた幅広い日常の健康管理についても支援してもらえます。

かかりつけ薬局とは、病院・診療所で処方された薬をいつも調剤・管理してもらう身近な薬局のことで、かかりつけ薬局(薬剤師)を決めておけば、処方薬や市販薬などすべての薬を一元的に管理してもらえ、飲み合わせなどを含めて薬による治療がより効果的なものになるようサポートしてもらえます。

	決めている	現在は決めているが、決めたいと思う	決めているし、必要とは思わない
かかりつけ医	1	2	3
かかりつけ歯科医	1	2	3
かかりつけ薬局	1	2	3

次は→問 13 をお答えください。

問 13 かかりつけ薬局に関する次の4つの問いにお答えください。

13-1 あなたは、かかりつけ薬局では必要に応じ夜間や休日にも対応することを知っていますか。(○は1つ)

- 1 はい
- 2 いいえ

13-2 あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が医療機関で処方された薬や市販薬など服用しているすべての薬の情報を一元的・継続的に把握し、薬の重複や飲み合わせ、副作用がないかなどを確認して服薬に関する説明をすることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 はい
- 2 いいえ

13-3 あなたは、かかりつけ薬局では、薬剤師が処方内容を確認し必要に応じ、医師に問い合わせた処方内容の変更を提案したり、服用期間中の患者の体調変化(副作用)などについて医師へ情報提供するなど、地域の医療機関と連携して患者を支える体制を作っていることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 はい
- 2 いいえ

13-4 あなたは、かかりつけ薬剤師制度(※)のことを知っていますか。(○は1つ)

※ かかりつけ薬剤師制度とは、いつも利用する薬局の中で、服用している薬の管理や相談ができ、健康の相談にも応じる薬剤師で、あなた自身がその薬剤師を選択する制度のことです。

- 1 はい
- 2 いいえ

次は→問 14 をお答えください。

問 14 在宅医療（入院以外の医療）や介護に関する次の3つの問いにお答えください。

14-1 あなたは、自宅での医療や介護を受け入れるためには特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っている
- 2 介護をする家族がいる
- 3 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制（介護を一時的に肩代わりするサービスなどを含む）が整っている
- 4 経済的負担が大きくなる体制
- 5 本人や家族の相談体制が整っている
- 6 往診できる医師がいる
- 7 往診できる歯科医師がいる
- 8 ホームヘルパーによる訪問介護体制が整っている
- 9 看護師等による訪問看護体制が整っている
- 10 薬剤師による訪問服薬管理支援体制が整っている
- 11 管理栄養士による食支援体制が整っている
- 12 夜間・休日の医療や介護体制が整っている
- 13 地域ぐるみの支援体制が整っている
- 14 その他（具体的に _____）

14-2 あなたが、入院以外の医療や介護を受けたい場所はどこですか。（○は1つ）

- 1 高齢者や障害者の支援施設
- 2 高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなど
- 3 高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅
- 4 自宅
- 5 その他（具体的に _____）

14-3 あなたは、ご家族の介護が必要となったとき、実際にはどうされると思いますか。（○は1つ）

- 1 高齢者や障害者の支援施設に入居させる
- 2 高齢者や障害者のグループホーム、ケアホームなどへ入居させる
- 3 高齢者専用賃貸住宅などサービス付き高齢者住宅で介護する
- 4 自宅で介護する
- 5 その他（具体的に _____）

次は→問 15 をお答えください。

問 15 あなたご自身が回復の見込みがない状態になった場合について、以下の設問についてお答えください。

15-1 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等（※）や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。（○は1つ）

※ 「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます。

- 1 詳しく話し合っている
- 2 一応話し合っている
- 3 全く話し合っていない

15-2 真の病状や治療方針について医師の説明を受けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 受けたい → 問 15-4 をお答えください。
- 2 受けたくない → 問 15-3 をお答えください。
- 3 わからない → 問 15-3 をお答えください。

15-3 問 15-2 で「2 受けたくない」または「3 わからない」と回答された方にお尋ねします。

説明を受けたくない、あるいはわからない理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 怖いから
- 2 医師の判断に任せるだろうから
- 3 家族の判断に任せるだろうから
- 4 治る見込みがなければ聞いても意味がないから
- 5 その他（具体的に _____）

→ 問 15-4 をお答えください。

15-4 あなたは、どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。（○は1つ）

- 1 自宅
- 2 医療機関
- 3 特養・老健等の介護保険施設
- 4 グループホーム
- 5 その他（具体的に _____）

→ 問 15-5 をお答えください。

15-5 あなたは、ご自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 自宅
- 2 自宅から緩和ケア病棟（終末期等における症状を和らげることを目的とした病棟）
- 3 緩和ケア病棟から自宅
- 4 医療機関
- 5 医療機関から緩和ケア病棟
- 6 特養・老健等の介護保険施設
- 7 グループホーム
- 8 その他（具体的に _____）

→ 問 15-6 をお答えください。

恐れ入りますが、次のページまでお答えください。

問 15 (続き)

15-6 残された日々を自宅で過ごす場合、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 医師の定期的な往診
- 2 看護師の定期的な訪問看護
- 3 歯科医師、歯科衛生士による口腔管理・食支援
- 4 薬剤師の定期的な訪問服薬管理支援
- 5 管理栄養士の定期的な訪問による食の支援
- 6 緊急時の受け入れ医療機関
- 7 ホームヘルパーの定期的な訪問介護
- 8 ボランティアによる支援
- 9 地域の保健師による支援
- 10 家族の理解
- 11 ご近所や友人、専門職種による患者・家族への精神的な支援
- 12 その他(具体的に)

次は→問 16 をお答えください。

問 16 あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)についてどのくらい知っていますか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 聞いたことはあるがよく知らない
- 3 知らない

次は→問 17 をお答えください。

問 17 「小児救急電話相談窓口(#8000)」を知っていましたか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

- 1 利用したことがあり、役に立った
- 2 利用したことがあり、役に立たなかった
- 3 知っているが、まだ利用したことがない
- 4 知らなかった

次は→問 18 をお答えください。

問 18 あなたの地域の救急医療を充実させるためには、どのようなことが重要になると考えますか。(○は3つまで)

- 1 夜間・休日でも診療してもらえるような体制を作ること
- 2 夜間・休日に診療できる医療機関に関する情報提供体制の充実
- 3 救急車内で高度な応急処置ができる救急救命士(救急隊員)の充実
- 4 救急車だけでなく、医師などが同乗するドクターカーやドクターヘリの充実
- 5 コンビニ受診(緊急性がないにも関わらず、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する軽症患者の行動)等を減少させるための救急医療の適切な利用のための広報等
- 6 AED(自動体外式除細動器)の使用方法などに関する応急処置の講習会の充実
- 7 その他(具体的に)

次は→問 19 をお答えください。

問 19 安心して医療を受けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 十分な説明を受け、納得して治療を受けること(インフォームドコンセント)
- 2 十分な説明を受け、自ら治療方針を選ぶこと(インフォームドチョイス)
- 3 診断や治療方針について主治医以外の医師の意見も聞くこと(セカンドオピニオン)
- 4 診療後に疑問が生じたら相談できる窓口があること(医療に関する相談窓口の設置)
- 5 治療から完治までの大まかな日程についてあらかじめ説明を受けること
- 6 治療から完治までの大まかな医療費についてあらかじめ説明を受けること
- 7 カルテ開示の求めに応じてもらうこと
- 8 その他(具体的に)

次は→問 20 をお答えください。

問 20 後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関する次の2つの問いにお答えください。

「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」とは

最初に発売された薬は、特許により開発したメーカーだけが製造販売できます。これが「先発医薬品（新薬）」です。

先発医薬品の特許期間（20～25年間）が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果の医薬品を製造できるようになります。これが「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」で、開発費用がかからないことなどから、国は原則として先発医薬品の7割以下の価格に設定しています。

後発医薬品を使用することで患者さんの薬代の負担が減り、医療費の節約に役立つといわれています。

20-1 これまでに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を処方してもらったことがありますか。（○は1つ）

- 1 自分から依頼して処方してもらった
- 2 病院で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった
- 3 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した
- 4 処方してもらったことはない
- 5 処方してもらったかどうかわからない

20-2 今後、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を処方してもらいたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 薬代が安くなるなら処方してもらいたい
- 2 医師又は薬剤師が薦めるなら処方してもらいたい
- 3 効果に信頼が持てないので処方してもらいたくない
- 4 副作用や安全性が心配なので処方してもらいたくない
- 5 なんとなく抵抗感があるので処方してもらいたくない
- 6 わからない

次は→問 21 をお答えください。

問 21 新興感染症（新型コロナウイルス感染症等）など、大規模な感染症の発生に備えるため、どのようなことが重要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 感染症防止に対する正しい知識の普及啓発
- 2 万一の際の相談窓口の設置
- 3 迅速な情報提供体制の整備
- 4 感染症の発生などに備えた医療機関からの定期的な報告体制
- 5 感染者に対する健康管理や感染拡大防止に関するマニュアル作成
- 6 医療機関・薬局等におけるPCR検査等病原体検査の体制整備
- 7 万一に備えた医療提供体制の整備（ワクチン等の備蓄を含む）
- 8 保健所体制の整備
- 9 その他（具体的に)

次は→問 22 をお答えください。

問 22 今後、あなたは、本県の医療体制について何を優先して充実させるべきだと思いますか。(○は1つ)

- 1 近所のかかりつけ医の充実
- 2 地域における救急医療体制の充実
- 3 県内において、複雑で高い技術が要求される手術など、高度な医療が受けられる環境の整備
- 4 県内どこに住んでいても安心して子どもを出産し、健やかに育てられる環境の整備
- 5 在宅で最期を迎えられる医療環境の整備
- 6 その他(具体的に)

次は→問 23 をお答えください。

問 23 あなたご自身のことについて、最もあてはまると思われるものに、それぞれ○を1つだけ付けてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	全く不満
自分の健康状態に満足していますか	1	2	3	4	5
睡眠は満足のものですか	1	2	3	4	5
毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	1	2	3	4	5
自分の仕事をする能力に満足していますか	1	2	3	4	5
自分自身に満足していますか	1	2	3	4	5
人間関係に満足していますか	1	2	3	4	5
性生活に満足していますか	1	2	3	4	5
友人たちの交わりに満足していますか	1	2	3	4	5
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	1	2	3	4	5
医療サービスや福祉サービスの利用しやすさに満足していますか	1	2	3	4	5
周辺の交通の便に満足していますか	1	2	3	4	5

次は→問 24 をお答えください。

問 25 (続き)

25-4 現在同居されているご家族についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 小学校就学前の子どもがいる
- 2 小学生・中学生の子どもがいる
- 3 65歳以上の高齢者がいる
- 4 その他の同居している家族がいる
- 5 同居している家族はいない(一人暮らし)

25-5 お住まいの市町村についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------|---------|
| 1 鹿児島市 | 18 南九州市 | 35 宇検村 |
| 2 鹿屋市 | 19 伊佐市 | 36 瀬戸内町 |
| 3 枕崎市 | 20 姶良市 | 37 龍郷町 |
| 4 阿久根市 | 21 三島村 | 38 喜界町 |
| 5 出水市 | 22 十島村 | 39 徳之島町 |
| 6 指宿市 | 23 さつま町 | 40 天城町 |
| 7 西之表市 | 24 長島町 | 41 伊仙町 |
| 8 垂水市 | 25 湧水町 | 42 和泊町 |
| 9 薩摩川内市(本土) | 26 大崎町 | 43 知名町 |
| 10 薩摩川内市(甑島) | 27 東串良町 | 44 与論町 |
| 11 日置市 | 28 錦江町 | |
| 12 曾於市 | 29 南大隅町 | |
| 13 霧島市 | 30 肝付町 | |
| 14 いちき串木野市 | 31 中種子町 | |
| 15 南さつま市 | 32 南種子町 | |
| 16 志布志市 | 33 屋久島町 | |
| 17 奄美市 | 34 大和村 | |

25-6 あなたの生活や地域で健康や医療について感じる事、あるいは行政への要望などについて、何かご意見がありましたらお聞かせください。

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒に入れてお送りください。

鹿児島県民保健医療意識調査

調査報告書

令和5年3月

発行 鹿児島県 くらし保健福祉部 保健医療福祉課
〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 10-1
TEL : 099-286-2111 (代表) FAX : 099-286-5928
